

图239 第3-1·3-2层出土石器

図239には第3-1・第3-2b層出土の石器類を掲出する。1946は頁岩の、1947～1949はサヌカイトの剥片で、形態、法量ともさまざまである。1950はサヌカイト製の石鎌で、最大幅部位が全長の中位にある突基Ⅱ式に属するかと考えられる。先端を一部欠き、残存長3.5cm、最大幅1.6cm、厚さ0.4cm、重量2.3gを測る。1951はやや大型のサヌカイト剥片で、重量は15.5gを測る。1952・1953は円礫に近い形態を示すが、もとより礫の堆積する層ではないことから、人為的に近傍にもち込まれ、堆積層に含まれたものかと考える。1952は砂岩、1953はチャートである。

第3-2b層からは木製品も数点出土している。図247-1996・1997、図249-2006・2008は小さな木片であるが、先端付近が焦げており付け木と考えられる。2009は用途不明の木製品である。薄い方形の断面形を示す。2011は微高地1を形成する、調査範囲東寄りの範囲から出土した横槌で、把手の一部を欠くが、全体に精緻な加工が施されている。長さ20cm、槌部の径5.3cmを測り、樹種はマツ属複雑管束亜属である。2012は第3-2b層でも最下位にある植物遺体を多く含むシルト層から出土した組み合わせ式の鋤で、出土位置は調査範囲北東寄りの部分である。鋤身の基部に方形の穴を穿ち、柄の先端を差し込む構造となっている。柄を差し込む穴は屈曲し、鋤身の背面に貫通する。この穿孔部分を覆うかたちとなる鋤身の基部には逆「Y」字に稜が削りだれている。樹種はコナラ属アカガシ亜属である。2014はやや厚みをもつ円形の木製品である。2ヶ所に穿孔があり木庖丁かと推測するが、断定できない。

以上の遺物には縄文時代中期～弥生時代後期のものが含まれるが、弥生時代でも後期のものは出土層位などにやや不正確な部分があり、主体を占めるものは弥生時代中期の遺物である。凹線紋を施すものが含まれることから、第3-2b層の堆積時期を第Ⅳ様式段階においておきたい。

第5項 第2-4面（図240）

第2-3面は第3-3層とするシルトを除去することで検出される面であるが、第3-3層の分布しない範囲では既に第3-2b層を除去した段階で現れている部分もあり、逆に第3-3層により浸食を受けている範囲では第2-4面は残存していない。調査範囲の西寄りの範囲（03-5-1～2トレンチ、03-5-10トレンチ）では第3-3層の最下位に灰白色のシルト層が古い地表面を覆うように堆積しており、これを除去することにより第2-4面を検出した。また03-5-8トレンチの範囲では灰白色のシルト層の分布が限られ、かつ地震による変形もあり、第3-3層下位の変形土層を除去することで第2-4面を検出した。なお、03-5-1トレンチ東寄り、03-5-9トレンチ、06-2-1～4トレンチにおいては第2-4面の調査を実施していない。調査範囲東寄りでは03-5-4トレンチ東端部から03-5-5トレンチ南端部を除くと、第2-4面のベースとなる第3-4層は遺存しておらず、第2-4面において検出した遺構は第2-3面の土壌層下面の遺構と認識すべきものと考えられる。

第2-4面の全体的な地形としては、調査範囲南側中央付近に微高地があり、微高地上で標高T.P.+0.3m程度を測る。そこから北西方向にゆるやかな傾斜をもつ地形が広がり、03-5-8トレンチ北西付近ではT.P.+0.0m付近まで下がる。また若干の鞍部を挟み、調査範囲東端はやや高い地形をみせるが、これは下層の第3面の地形を反映している。

第2-4面では調査範囲南寄りで比較的明瞭な畦畔と溝（溝32）を検出した。また北寄りでは検出状況は不明瞭であるが、断片的に畦畔状の高まりを検出したほか、木材集中と呼ぶ遺構がみられた。調査範囲中央付近では不定形の土坑群も散在する。調査範囲東側では第3-3層により削り残された畦畔状の高まりを確認したほか、土坑、ピットの比較的まとまった分布がみられた。

調査範囲南側に分布する畦畔は灰白色の堆積層に覆われていたことから比較的明瞭に検出することが

できた。03-5-1トレンチで検出した、最も西端に位置するものはやや蛇行する形状をみせるが、03-5-2トレンチ、03-5-10トレンチで検出したものは東西、南北方向に直線的にのびるものが認められた。南北方向の大規模なものは幅3m前後、高さ15cm程度を測り、東西方向の小規模なものでも幅1.5～2m程度を測るものである。東西に走る畦畔に直交する形でのびる溝32は部分的ではあるが畦畔を伴う箇所もあり、水田に伴う水路の様相をみせる。しかしながら水田景観全体の配置については検出範囲が狭く、明確には把握できない。溝32より東側で検出した畦畔から水田区画を推定すると、矩形を呈するという前提の上では、最低でも30m×10mの区画が復元され、水田区画としては広い部類となる。想定される水田区画内も傾斜をもつ地形であることから、区画全体に滞水させるためには畦畔も高くする必要があるものと推測する。部分的な試料の採取ではあるが、植物珪酸体分析においても水田としての利用に肯定的な結果が出ており（第5章第1節）、不明な部分も多いものの、水田としての土地利用がなされていたものと考えられる。なお、03-5-10トレンチの範囲において、第1面流路1の侵食痕跡に接する付近で土坑状の落ち込みを検出した。周辺に足跡の集中も認められたが、水田との直接の関係はよくわからない。さらに溝32と重なる位置にピットの散在がみられたが、層位的な関係からは第2-2面、あるいは第2-3面の土壌下面の遺構と考えられる。

調査範囲北寄りの部分では不定形で断片的な畦畔状の高まりと、木材の集中がみられた。区画や広がりについては不明瞭であるが、水田畦畔と考えると幅15m、長さ20m程度の矩形の区画となる。木材集中1は畦畔状の高まりと連結する形で木材を重ねおくもので、畦の補強材として設置されたものと考えられる。ほとんどが自然木であるが、1点のみ加工の施された材が含まれていた（図247-1998）。

調査範囲東寄りの部分では第3-3層による攪拌から残された畦畔状の高まりとそれと重なる位置、さらには調査範囲北端付近で、溝、ピット、土坑を検出した。畦畔状の高まりは第2-4面ではなく、第2-3面段階の水田造成の痕跡と考えられる。溝、土坑、ピットについては溝31、土坑82～87、ピット184～189の遺構番号を付した。これらのうち土坑82～87については個別の実測図を掲出する。いずれもやや不整形な楕円形の平面形を呈し、断面形状もゆるやかな逆台形状を呈するものである。埋土は掘削時の発生土とおもわれるブロック土を主体に埋め戻されており、掘削後、それほど時間をおかない段階での埋め戻しが推測される。これら土坑の埋土について水洗を行った結果、土坑82・84～87からサヌカイトチップを、またすべての土坑から複数の植物種子を検出した。土坑群からそれほどはなれていない箇所から、石鏃（図224-1979）が出土しており、また投弾の可能性のある円礫も多数出土する。水田域として利用される低地域においても、狩猟活動がなされていたことの証左であり、またかかる場所においても石器の加工（調整）が行われていたものと考えられる。土坑出土の植物種子の詳細については巻末の植物遺存体一覧表を参照されたいが、周辺の土壌を用いた対照試料が無く、単に周辺の植生を反映するだけのものなのか、あるいは各種植物が納められたといったような、土坑の性格を規定するものであるのかはわからない。なお調査範囲北端付近に位置するピット187からは、付け木と考えられる木製品が1点出土している（図249-2005）。

第2-4面にかかわる遺物としては、03-5-10トレンチにおける第2-4面を覆う堆積層出土土器（図243-1954～1975）、調査範囲中央～東付近において第2-4面を削る関係となる土壌層出土土器（図237-1920～図238-1933）、調査範囲中央～西寄りの範囲において第2-4面の土壌となる第3-4層出土土器（図238-1934～1941）、第2-4面を覆う堆積層出土石器（図244-1976～図246-1995）、第3-3a層・第2-4面出土木製品（図247-1998～図248-2004、図249-2010・2014）がある。

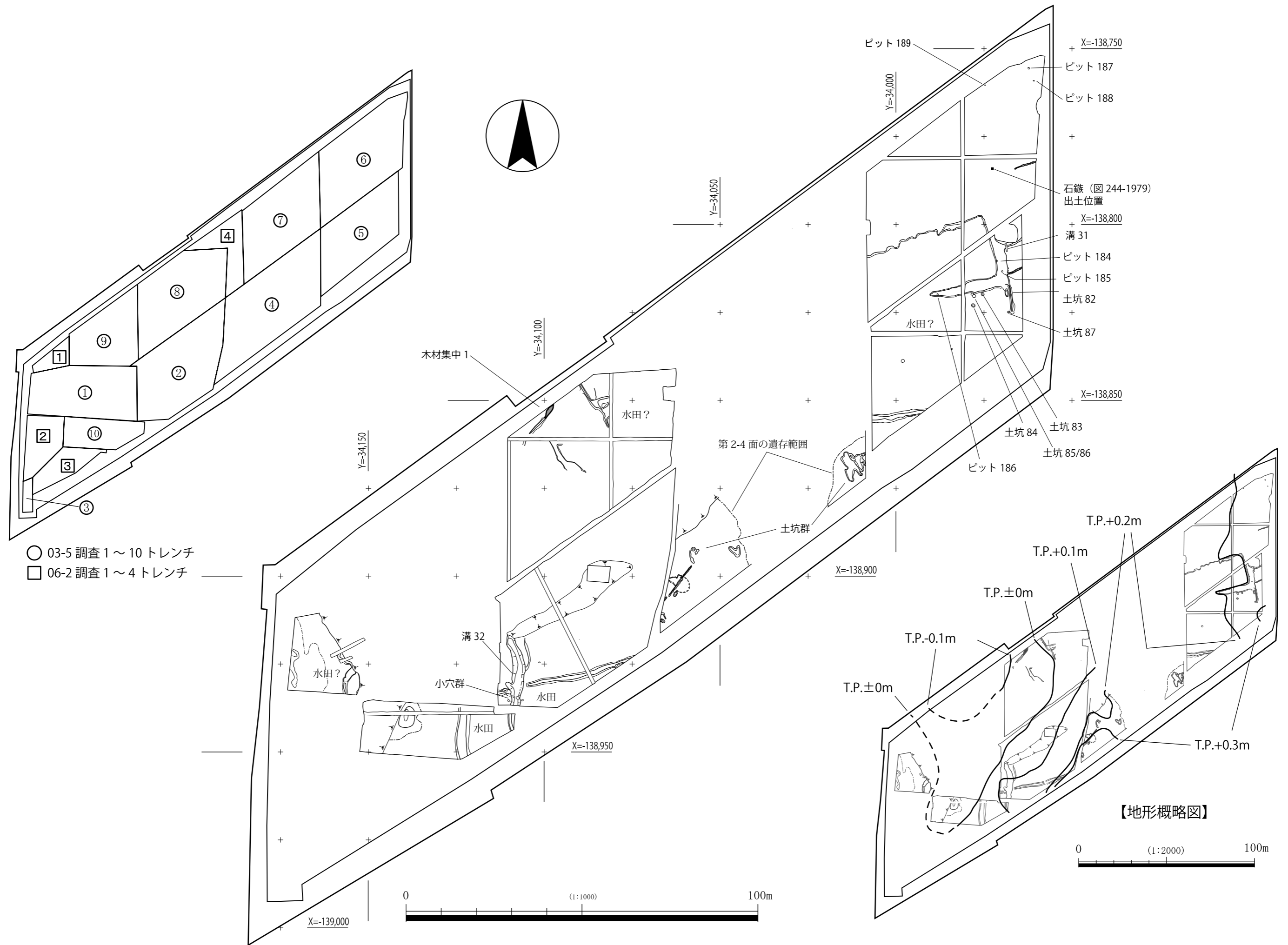
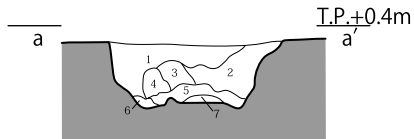
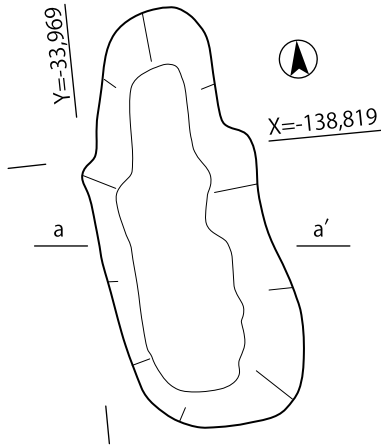


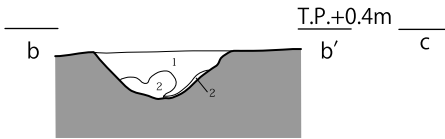
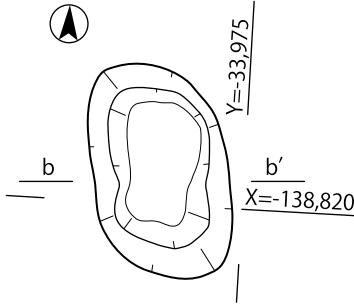
図240 第2面(第2-4面) 遺構分布図 (s=1/1000) ・地形概略図

〈土坑 82〉



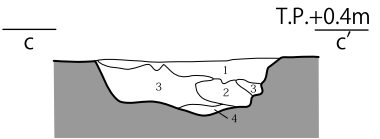
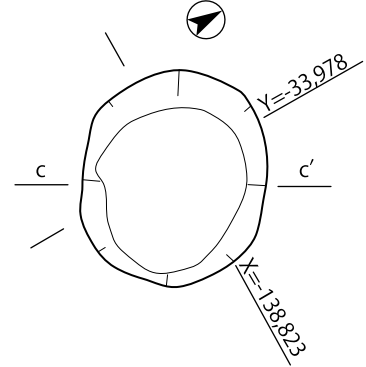
1. オリーブ黒 5Y3/1 シルト中粒～細粒砂多含む (第 3-3a 層に近い)
- 2.1+ オリーブ黒 10Y3/1+ 暗緑灰 7.5GY4/1 シルト (第 3-3b 層シルトブロック) ブロック状に入る
- 3.1 にオリーブ黒 10Y3/1 シルトブロックに入る
- 4.2 と同じ
5. オリーブ黒 7.5Y3/1 シルト植物繊維含む
6. オリーブ黒 10Y3/1 シルト (第 4 層?)
- 7.5+ オリーブ黒 10Y3/1 シルト (第 4 層?)

〈土坑 83〉

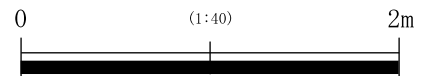


1. オリーブ黒 7.5Y3/1 シルト上部に中粒～細粒砂含む
2. 緑灰～緑黒 7.5GY5/1 ～ 2/1 シルトブロック

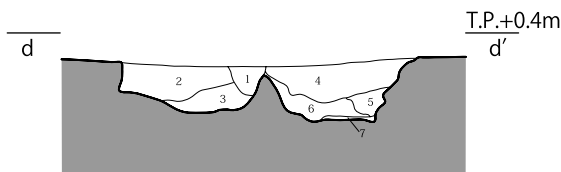
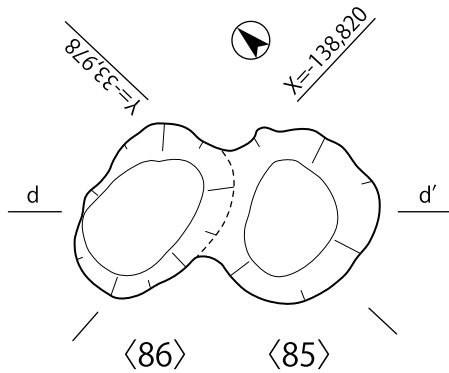
〈土坑 84〉



1. オリーブ黒 5Y3/1 シルト (中粒～細粒砂多含む)
+ オリーブ黒 10Y3/1 シルト+暗緑灰 7.5GY4/1 シルトブロック
2. 緑灰～緑黒 7.5GY5/1 ～ 2/1 シルトブロック
3. オリーブ黒 7.5Y3/1 シルト植物繊維含む
- 4.2 と同じ

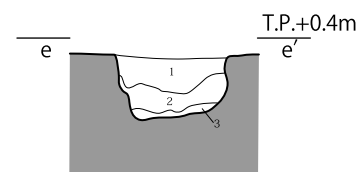
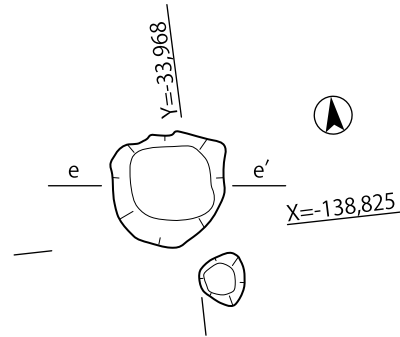


〈土坑 85.86〉



1. オリーブ黒 10Y3/1 シルト中粒砂混じる
2. 灰～オリーブ黒 7.5Y4/1 ～ 3/2 シルト中～細粒砂混じる
3. 緑灰～緑黒 7.5GY5/1 ～ 2/1 シルトブロック
4. オリーブ灰～オリーブ黒 5GY4/1 ～ 2/1 シルトブロック
+ オリーブ黒 10Y3/1 シルト中粒砂混じる
5. オリーブ黒 10Y3/1 シルト主体にオリーブ灰～オリーブ黒 5GY4/1 ～ 2/1 シルトブロック混じる
6. オリーブ黒 10Y3/1 シルト細粒砂少量含む
7. 黒 N2/1 シルト+暗オリーブ灰 2.5GY4/1 暗オリーブ灰ブロック

〈土坑 87〉



1. 暗灰 N3/ シルト径 4cm のブロック (第 4 層の黒)
黒褐 2.5GY3/1 シルト中粒砂混入 (第 3-3a 層)
緑灰 7.5GY6/1 シルト (第 4 層の青)
2. 黒褐 2.5GY3/1 シルト細砂わずかに混入 (のっぺりした第 3-3a 層)
3. 暗灰 N3/ シルトブロック
緑灰 7.5GY6/1 シルトブロック

図241 土坑82～87 平・断面図

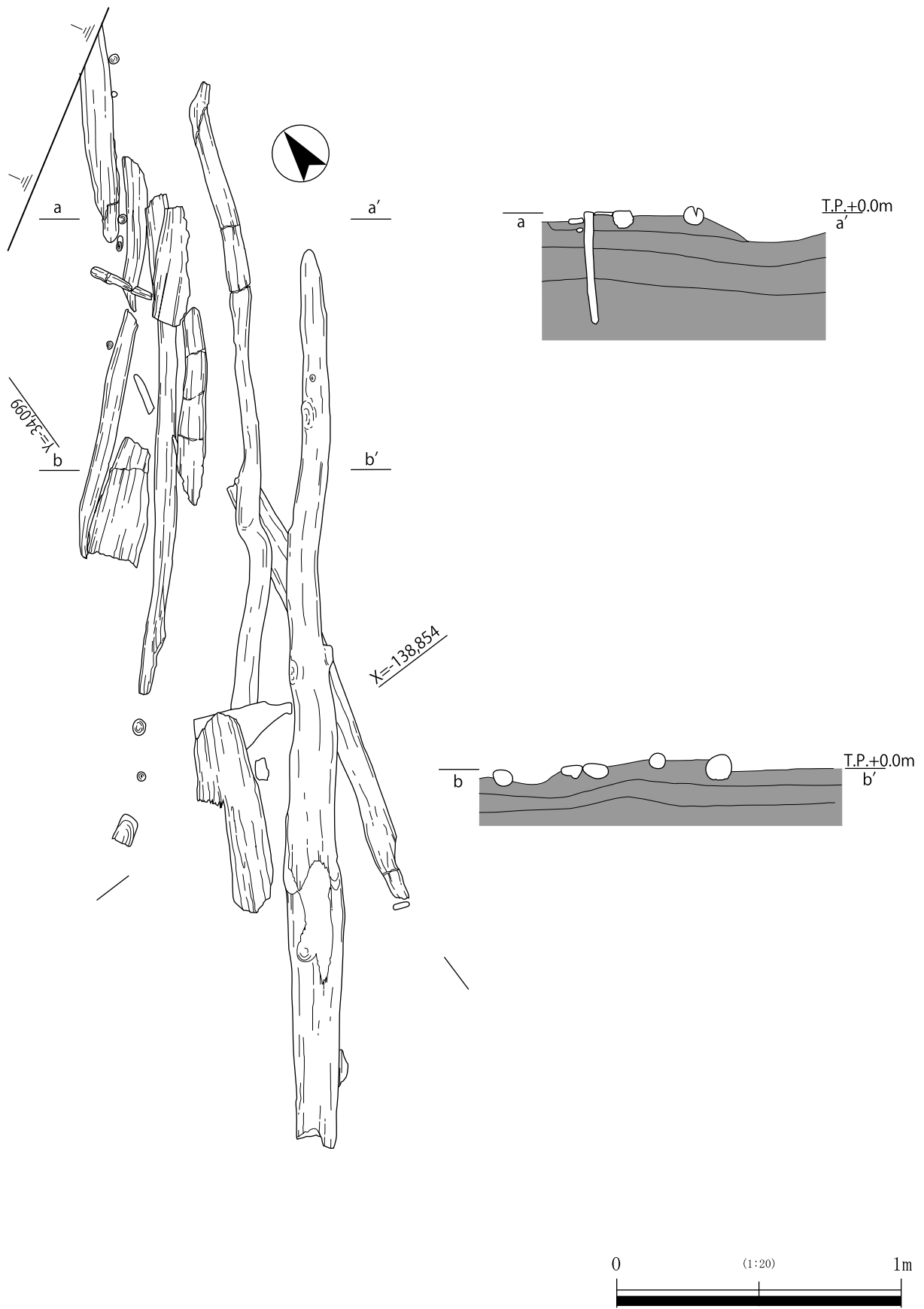


图242 木材集中1 平·断面图

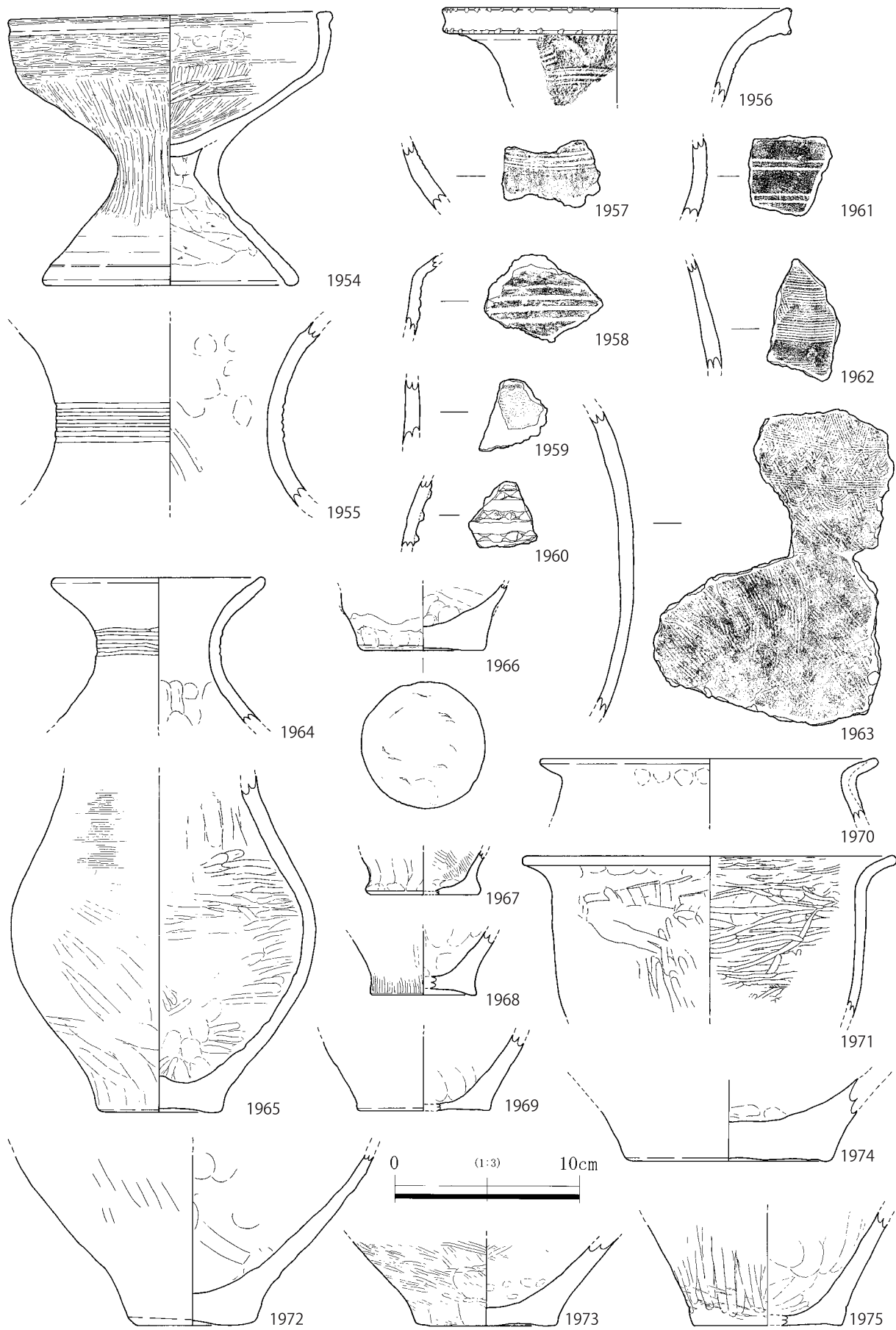


图243 西低地域第3層出土遺物 1

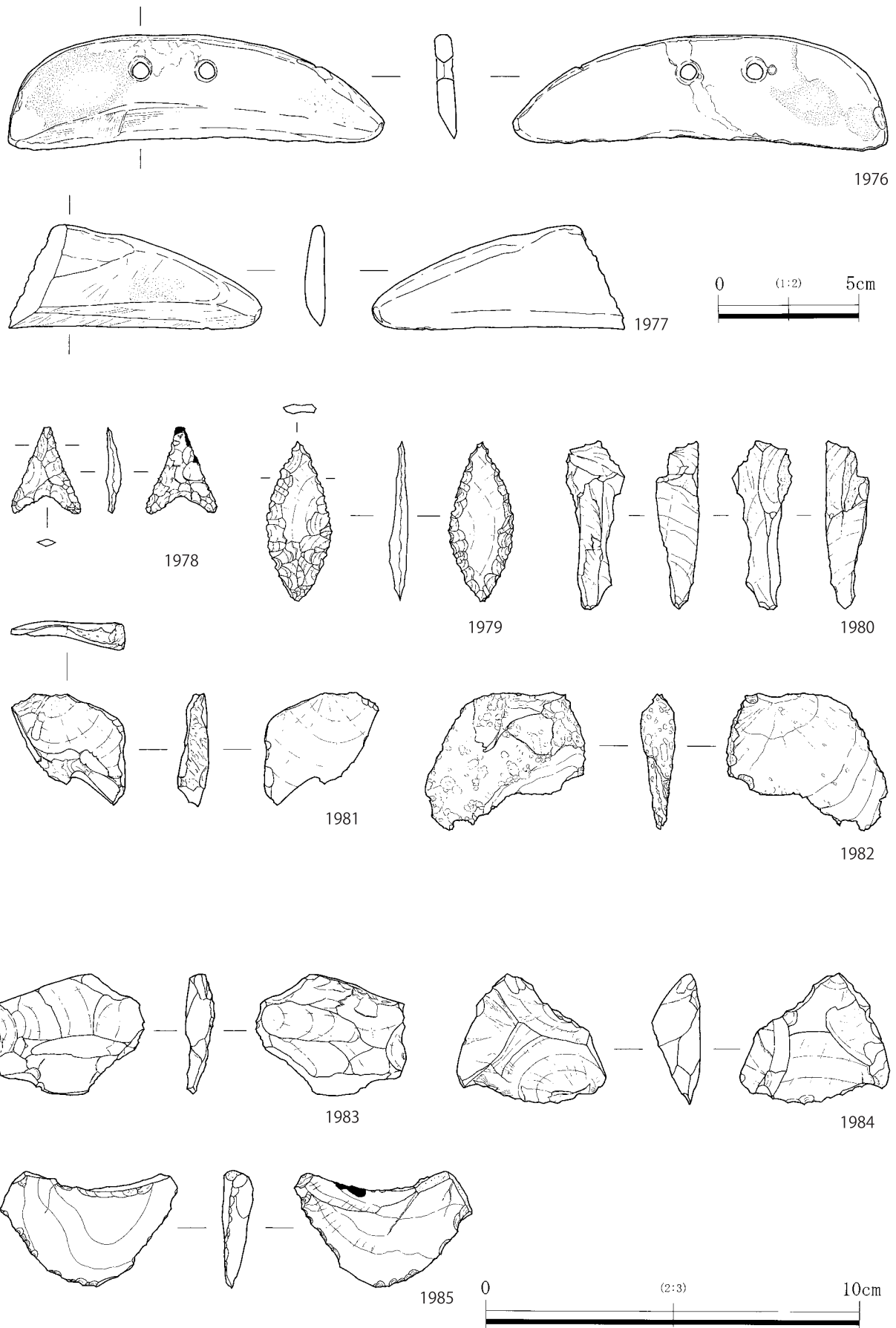


图244 第3-3層出土石器 1

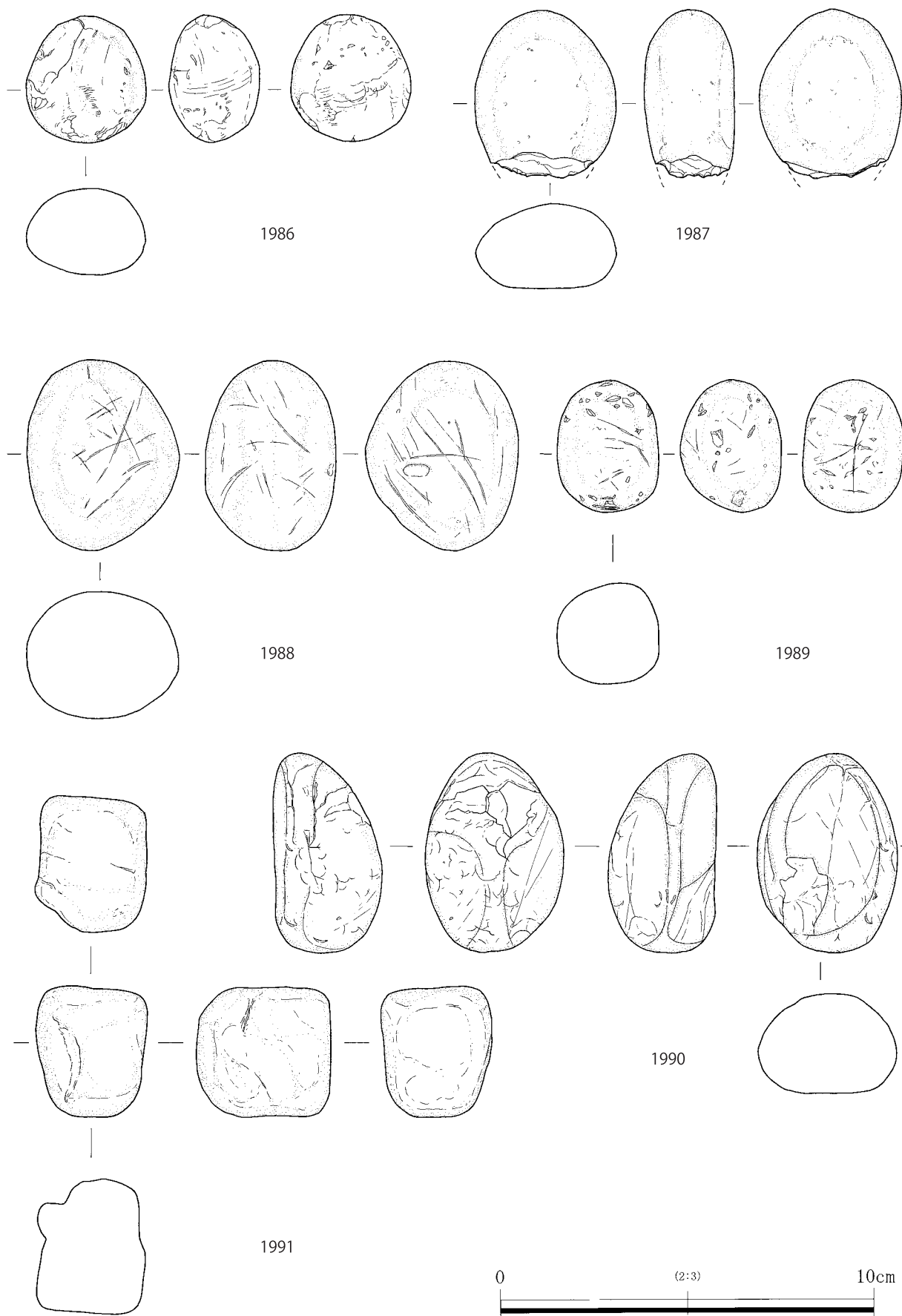


图245 第3-3层出土石器 2

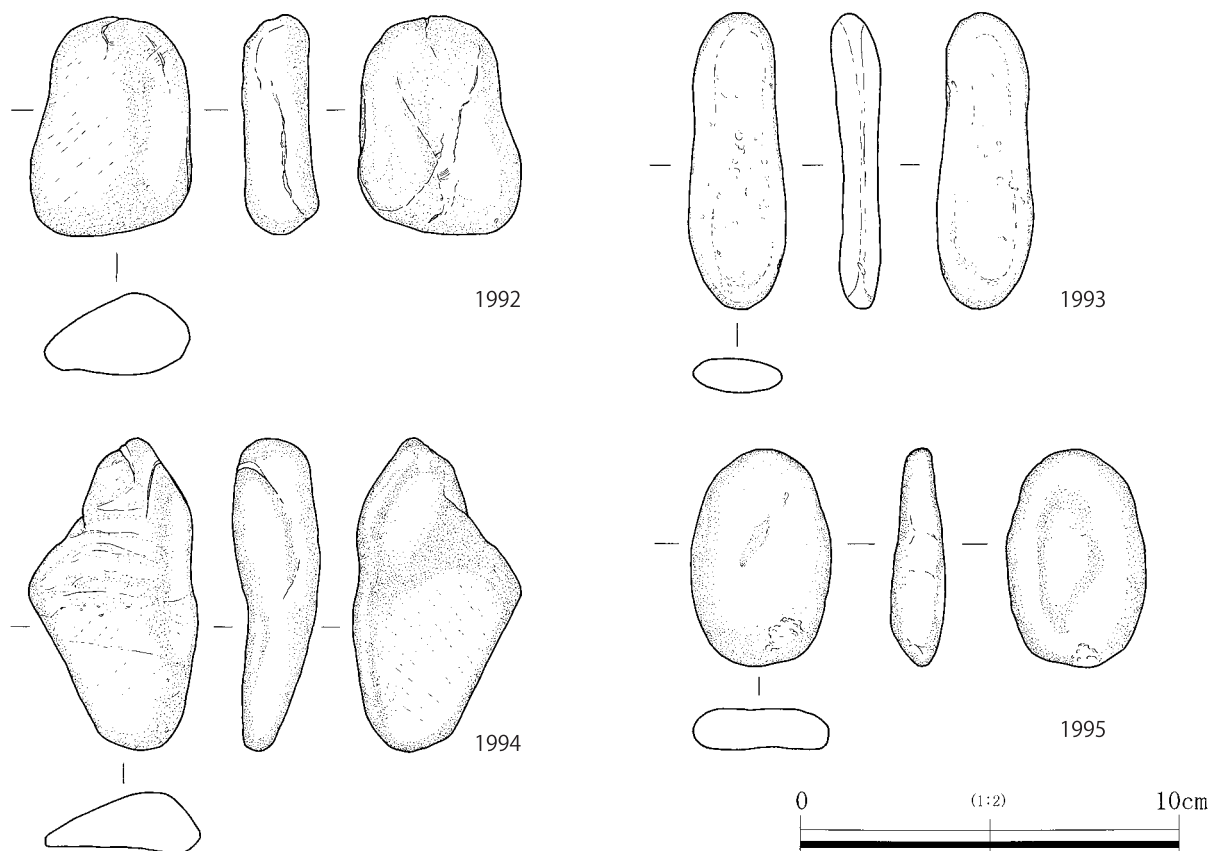


図246 第3-3層出土石器 3

弥生土器はいずれも残存率の低い個体が主体で、全形をしることのできる例は少ない。前期にさかのぼると考えられる壺・甕を含むが、中心を占めるものは中期段階のものである。有段口縁の壺（1942）、櫛描紋で頸部を飾る壺（1935）、肩部を波状紋などで飾る壺（1922・1963）、精緻な簾状紋を巡らす壺（1920）、凹線紋を施す高坏（1954）などがある。1939は古墳時代のもので、流路1の遺物の混入の可能性が高い。

石器では石庖丁が2点（1976・1977）あり、緑色片岩製の1976は、右手で使用した際の親指の位置に指擦れの痕跡が明瞭に残るものである。石鏃にはサヌカイト製の1978・1979がある。1978は凹基無茎式のもので先端を欠く。1979は横長剥片を素材にし、素材面を背・腹両面に残し、周縁を細かく加工している。1980～1985はサヌカイト剥片である。1986～1991は比較的類似した法量の円礫で、重量も30～70g程度のものである。また図示していないものにも27点に及ぶ類似する円礫が出土している。リッターなど工具としての使用も考慮されるが、水田面を覆う泥の中から出土するものが多いことから、投弾として使用されたものも含んでいると考える。石鏃の出土や土坑における石器加工の痕跡からも、水田域は農業生産の場でありながらも、鳥獣類の捕獲にも良好な環境であったものと考えられる。なお1991については平滑な平面をもつ部分がみられることから、磨石としての使用も想定される。1992～1995はほぼ自然礫に近い形態を示すが、いずれも表面が円滑なものであり、堆積物に含まれていたものではなく、何らかの意図で水田域にもち込まれたものと考えられる。投弾としての機能も想定されるが、上記のものとは形態もややことなり、リッターや磨石、敲石としても使用されたものとする。

木製品では遺構面出土のものとして、木材集中1出土の1998がある。ブナ科を素材とする扁平な板材であるが、一部に丁寧な加工のみられるもので、用途は不明である。1999は2ヶ所に穿孔の残る板材で、

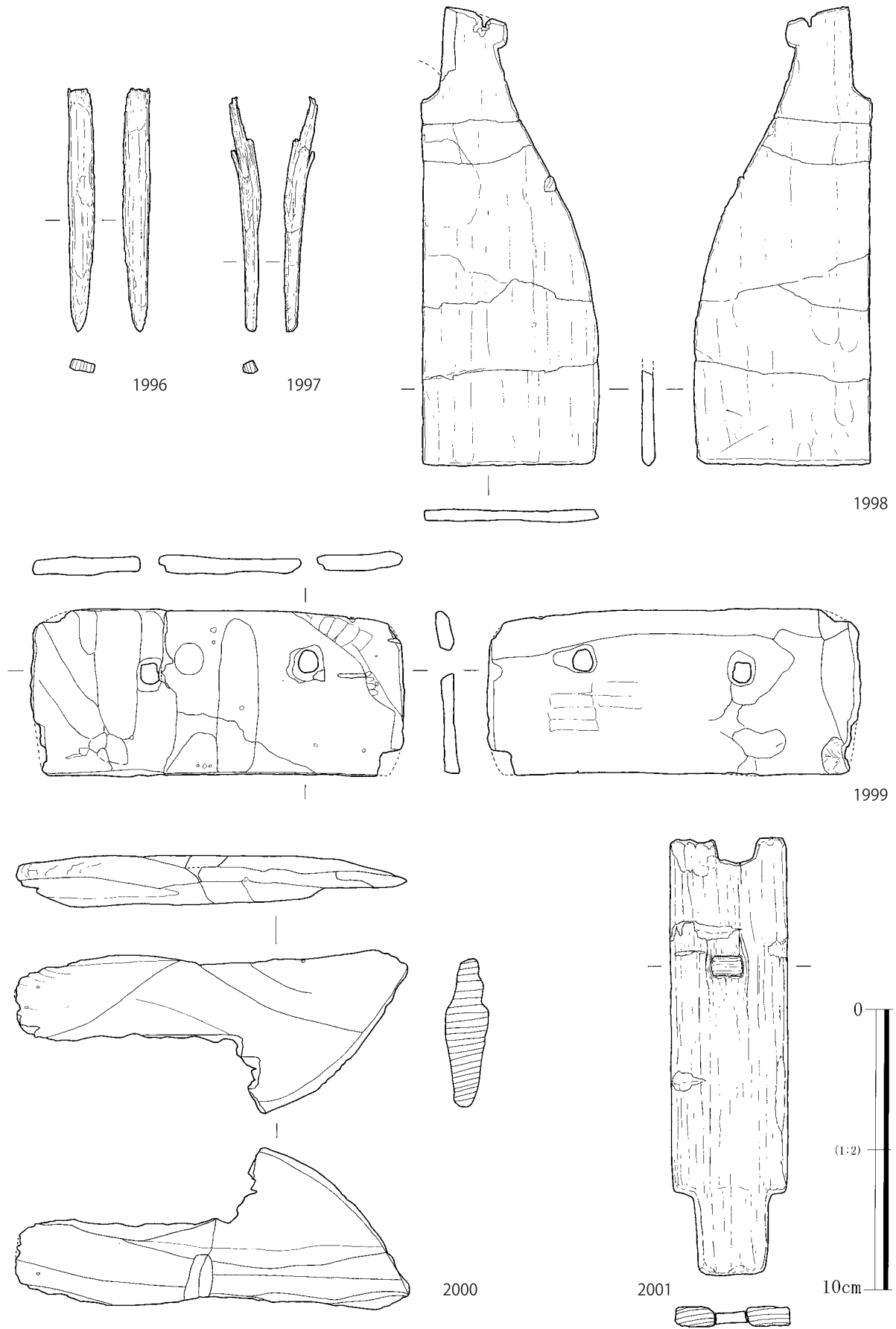
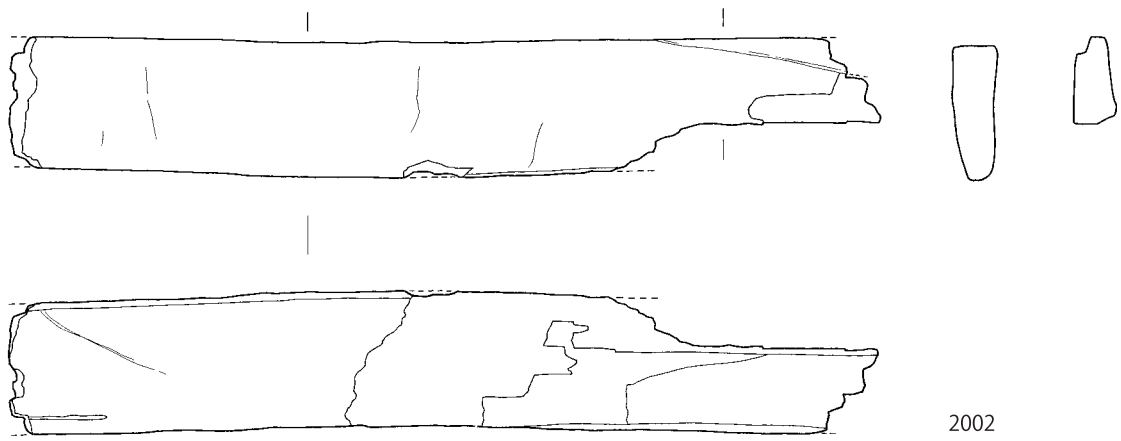
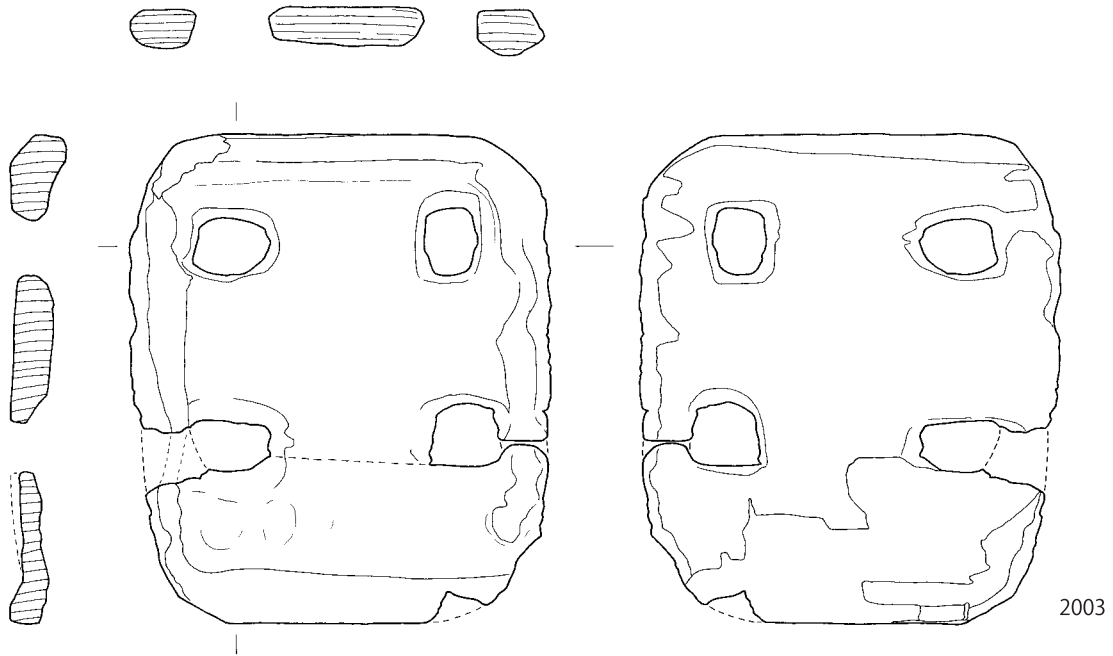


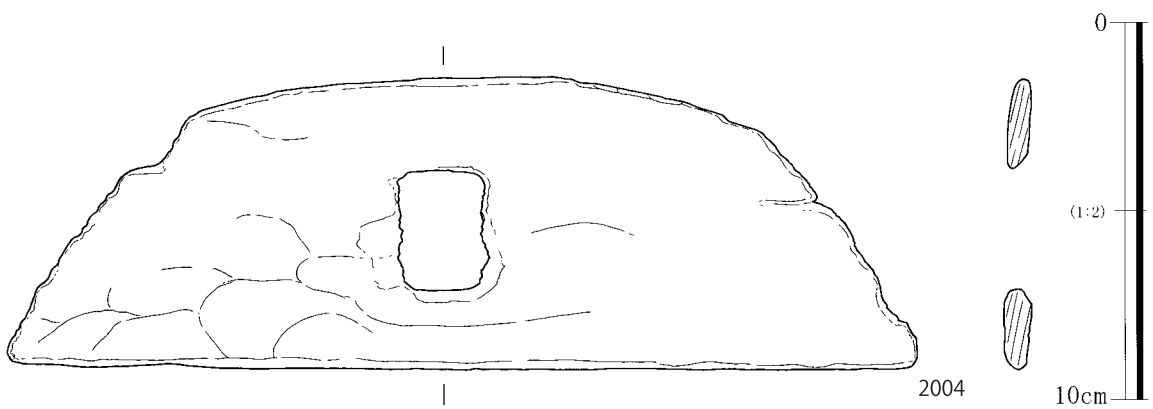
图247 西低地域第3層出土遺物2



2002



2003



2004

图248 西低地域第3層出土遺物3

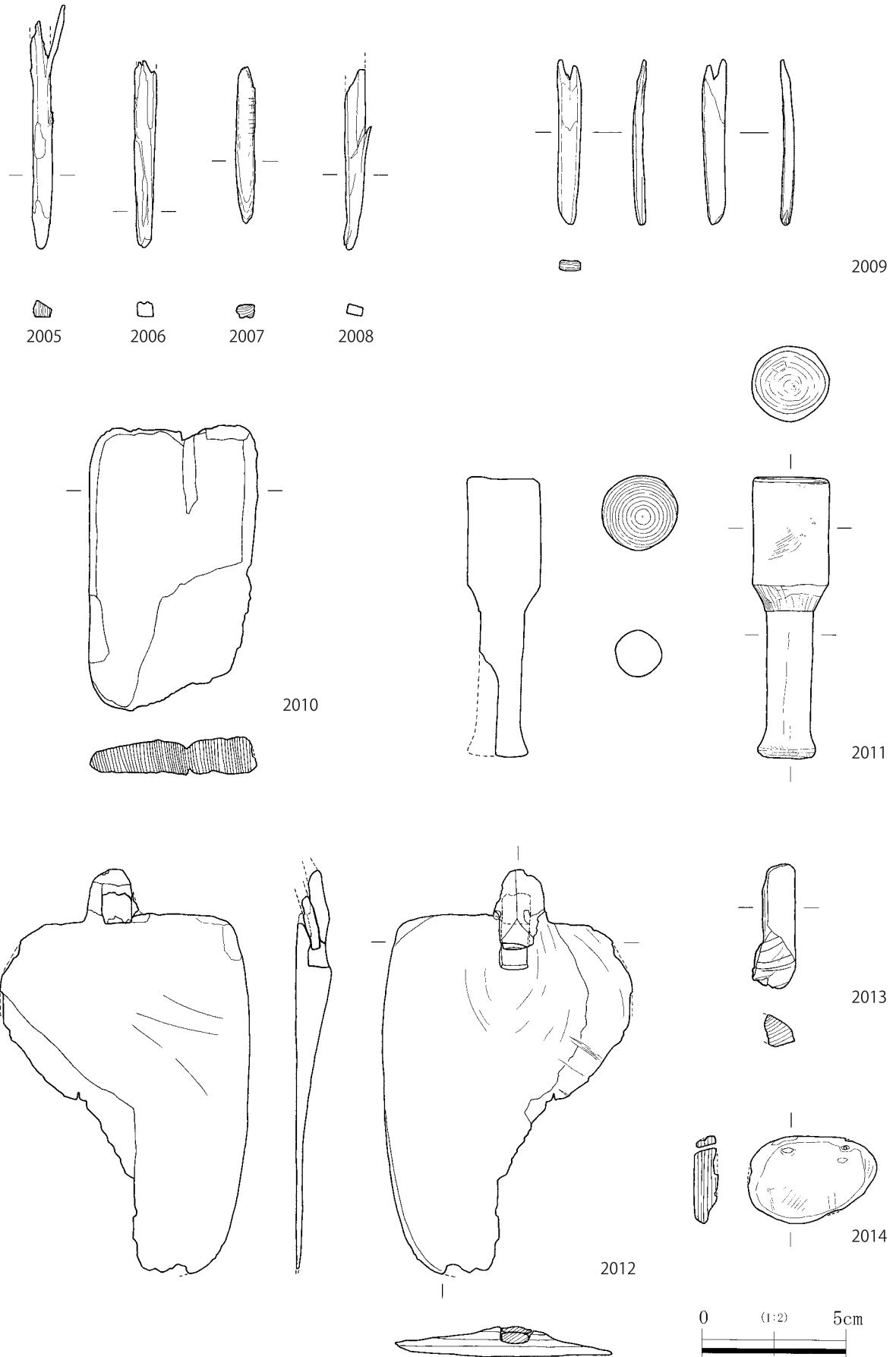


图249 東低地域第3層出土遺物

2003のような田下駄の一部かとも考えたが、不明である。2000・2004も用途はわからないが、周縁の一部を弧状に加工する点が共通する。2004に認められる方形の穴は、別の材を組み合わせた可能性があり、単独で用いられるものではないようである。2001は一方の端をほぞ上に加工し、中央の穴に木栓の残るもので、建築材かとする。2002も板状の加工材である。2003は田下駄で、やや離れた2ヶ所から出土したものが接合したものである。樹種はヒノキである。2010は一部が焼け焦げた板状の材、2013は農具などの柄の一部と推測する。

第2-4面の帰属時期は、遺構に伴う遺物が木製品のみであり、判断が難しいが、遺構面を覆う層出土遺物からは、遺構面が機能していた時期は弥生時代前期にさかのぼる可能性が考えられる。また廃絶の時期は弥生時代中期であると考えられる。

第4節 第3面の調査成果

第3面は調査範囲全域で第3-3層、3-4層を除去することで検出される面である。ベースとなる黒色粘土層（第4層）は、確認調査の成果も加味すると、調査範囲全域に認められると考えられるが、図250に示したように、調査範囲西半分（03-5-1～3トレンチ、03-5-9トレンチ、06-2-1～4トレンチ）範囲では調査を実施していない。したがって遺構面の記述も調査範囲東半分についてのものが中心となる。

調査範囲東端部分における土層断面の観察から、第3面のベースとなる第4層は、黒色粘土層と緑灰色粘土層の互層が4組以上累重するものであることが認められたが、その上面は第3-3層あるいは第3-4層の攪拌や侵食により削られていることもあきらかとなった。第3-3層あるいは第3-4層による第4層上面の侵食は、調査範囲東端から15m程度はなれたところから急激に深くなり、調査範囲の大部分では第4層を構成する複数の層位の組み合わせの内、最下位に残存する単位のみを検出したこととなる。検出した地形は調査範囲東端が最も高く、わずかな鞍部を挟んで調査範囲中央南側にも高まりが認められたが、検出した第4面は第3-3層、第3-4層の下面として認識すべき遺構面であり、本来の第4層の上面がどのような状態であったかをすることはできない。したがって検出した第4面の地形も、厳密には第3層による削平の影響を示すものに過ぎないが、残存する第4層の傾きなども合わせて考えると、第3層による削平が本来の第3面の地形を反映している可能性も残される。

第4面においては03-5-4トレンチにおいて東西方向に走る溝を1条検出したのみである。上述の層位的な理解から、この遺構も第3層の下面に残されたものとするができるが、埋土はブロック土を含む灰色シルトであり、埋土の様相からも第3層の初期の攪拌により形成されたもので、第3層上位の顕著な土壌化からはまぬがれたものと理解できる。

第3面の形成時期はすなわち第3層による旧地表面の削平時期ということになるが、前節で示したように第2-4面の機能していた時期は弥生時代前期にさかのぼる可能性がある。したがって第4面が形成された時期も弥生時代前期にさかのぼることとなる。今回の調査では第4層の具体的な年代を知る材料は得られなかったが、確認調査における所見では縄文時代の海成層より上位にあり、弥生時代前期よりはさかのぼる可能性が示されている。また第5章第1節に記す土壌学的検討からは離水と水没を頻りに繰り返す堆積環境が推測されている。今回の調査範囲では第4層にかかわる、人の活動痕跡は認められなかったが、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけて離水が進むにつれ、第3層による攪拌という人間活動が開始されたものと理解できる。

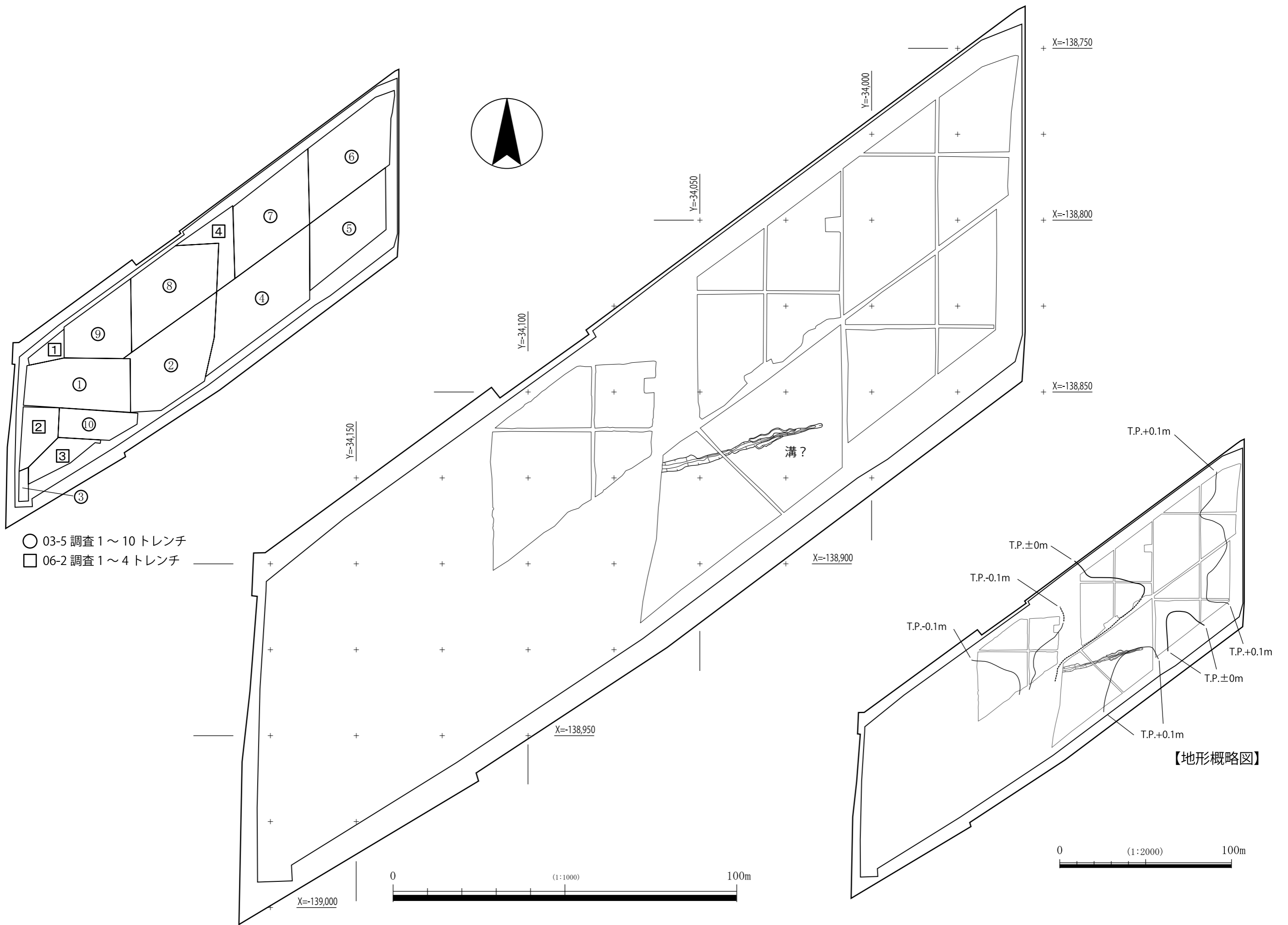


図250 第3面 遺構分布図 (s=1/1000) ・地形概略図

第5節 近世～中世の調査成果

第1項 近世～中世の調査方針

今回の調査では第4章・第1節に記したように、当初、調査に着手した西寄りの部分では中世以降の様相について、記録が求められる状況ではないと判断されたため、土層観察以外の記録は残していない。したがって、中世以降の遺構面についても03-5-5～7トレンチに限って記載する。出土遺物については、調査範囲全体から出土したものを対象とするが、上記の調査範囲以外では中近世の層を機械掘削の対象としており、全体的な出土傾向を反映したものではない。

中世以降の層準としては大きくは第1層ということになるが、03-5-5～7トレンチにおいてはそれらを細分した単位において、遺構面の存在があきらかであったことから、第1層を第1-1層～第1-5層まで細分し、面的な把握を行った。面呼称は便宜的に第0-1面～第0-5面の呼称を用いたが、いささか理解しがたい呼称でもあり、近世面1・2、中世面1・2という名称も併記して、記述する。なお第0-5面は第1面が一部露出する、第1-5層の上面となるが、結果的には第1-5層上面には遺構の分布は無く、第1面の露出する箇所においてのみ遺構がみられる状況であった。このため第1面によりかかわる遺構面として、第4章・第2節・第3項の末尾に記述した。以下、近世の遺構面から順次、記述していく。

第2項 近世面1（図251上段）

近世面1（第0-1面）は機械掘削において現代の耕作土などを除去している過程において確認された面で、03-5-5トレンチ南部では遺構の存在は不明瞭であったが、北寄りでは坪境、水田、島畑などが確認できた。遺構面の標高はT.P.+2.9m～2.6mであり、比較的平坦である。条里型地割が認められ、坪境は東西、南北方向のものが交差する形で現れるが、南北方向の坪境については、03-4調査との境界とも重なっており、部分的な確認にとどまった。南北方向の坪境は地表面を確認できなかったが、ベースとなる砂層の盛り上がり確認でき、隣接する南北方向の島畑との関係は不明瞭ながらも、大型の畦畔を構成していたものと考えられる。東西方向の坪境は交点以東については不明であるが、西側では畦畔をなしていたものと考えられる。03-5-5トレンチではやや湾曲する不明瞭な形で現れたが、03-5-7トレンチ部分では北が高く南が低い、段の形状で確認された。

坪境交点北西側の坪ではおおむね東西方向の土地利用がみられた。上面は現代の耕作によりほぼ水平に削平されているため、島畑などの高まりを確認することはなかったが、島畑間に残存する作土、島畑の芯に残る砂層、また部分的な拡張を示す堆積層の遺存から、島畑を主体とした土地利用が行われており、小規模な洪水被害に際しては、島畑の拡張により対応していたことが理解できる。島畑の拡張が重ねられた最終の景観であり、単純な比較では水田作土部分より島畑のほうが広い面積を占めているようである。

坪境交点の南西側の坪では、検出範囲は限られるものの南北方向の土地利用が見受けられる。同様に水田作土の遺存範囲と島畑芯の砂の分布が確認できたが、やはり残存部分に限っての見立てでは島畑部分の面積が広い状況が認められる。

調査範囲内各所に大型の攪乱が散在するが、これらのうちいくつかは最近に使用されていた池や溜井の痕跡である可能性がある。確認調査（その3）②トレンチでは池に設置された水利施設の残骸が確認されている。

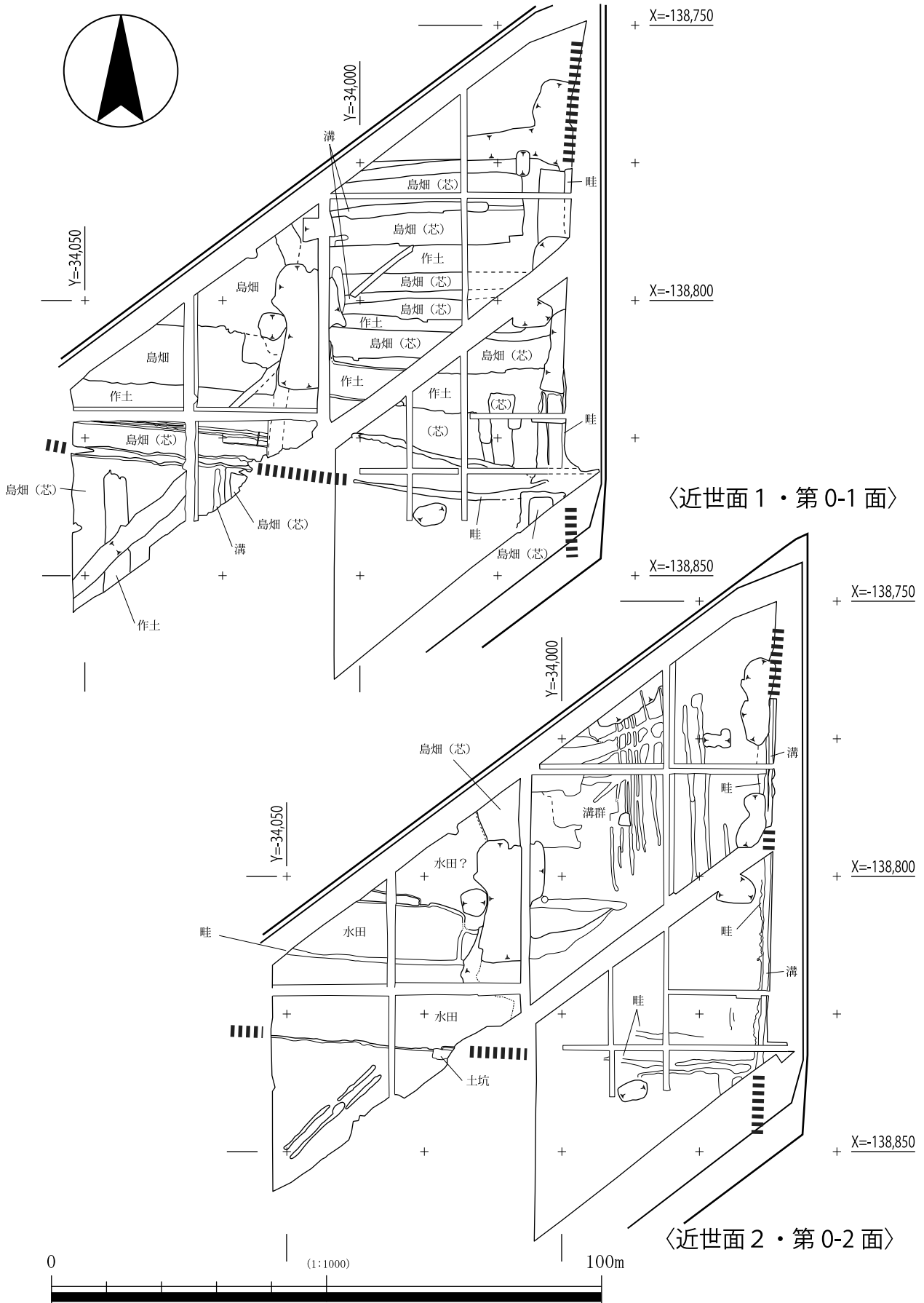


図251 近世 遺構変遷図 (s=1/1000)

近世面1にかかわる遺物の出土はみられず、遺構面の機能時期については不明であるが、近世面2のベースとなる洪水堆積が中世と近世の境頃の堆積と考えられ、近世面1の機能時期も近・現代に近い近世を下限とするものと推測する。

第3項 近世面2 (図251下段)

近世面1を構成する作土や島畑の芯材となる砂層を除去し、検出される面で、砂層に覆われることから部分的には遺構面の遺存状態は良好であった。遺構面の標高はT.P.+2.8m~2.0mであり、南北方向に高低差が認められる。近世面1同様、東西南北の坪境とその交点が位置し、それらに区画された坪では農地利用の痕跡が確認された。この段階の南北坪境は厚い洪水砂に埋没する溝とその西側に畦畔の付帯するものが認められた。溝の東側の状況は不明である。畦上から溝の底までの深さは70cm程度を測り、北寄りでは溝の深部は2列に分岐しているが、南寄りでは合流する形を取り、一本化する。東西方向の坪境はこの段階では明瞭な畦は確認できず、交点付近では小規模な溝が平行してみられるのみである。03-5-7トレンチにおいても北が高く、南側が低くなる段を残すのみで、段の北側が水田であったと思われることから、畦畔が失われた可能性を考慮する必要がある。なお03-5-7トレンチの西端で、坪境部分を切り込む土坑がみられた。長方形の平面形をもつものと推定され、壁はほぼ垂直に掘削される。

坪境交点北西側の坪では、北東端が極端に高い地形となっており、南側に下がる傾斜面をみせる。この範囲では作土層が明瞭ではなく、上面にも遺構はみられない。やや平坦化した部分では、南北坪境に近い東寄りの部分で南北方向に配置される溝が平行して多数検出された。浅く、肩のはっきりしないものであり、2.5~3mの間隔をみせるところがあることから、畝立ての痕跡かと考える。これら溝の分布する区画の南側、西側には東西方向に配置された島畑や畦畔が分布する。東西方向の畦は東西方向の坪境より約13m離れて平行しており、さらに北に約10m離れた位置に島畑の裾が位置することになる。水田部分では東西方向に歩行するウシの足跡が多数認められ、作土層に対する耕起の痕跡と考えられる。03-5-7トレンチ北側の島畑は大型のもので南辺を確認したものの、北端は調査区外へ広がっている。東端は03-5-6トレンチと03-5-7トレンチの境付近にあるようであるが、さらに東側にも島畑の芯と考えられる砂の分布がみられ、畝畑分布域との明確な境界は残存していない可能性がある。あるいは比較的広い島畑上面に畝畑を設けたものかもしれない。

坪境交点の南西側の坪では、作土は部分的に残存しているが、耕作痕跡などは不明瞭であった。特に03-5-7トレンチ南半部分では薄いシルト層の上面が現れ、作土とは考えがたい状況であった。このシルト層も土壌化が進んだものではなく、堆積時の状態がよく残されていると考えられる。作土が流失した可能性も考慮されるが、実態はよくわからない。

いずれの耕作面も、地表面の高低といった状況が水田や畑といった利用形態を考えるための材料になりうる可能性があったが、今回の調査範囲では、既に実施された工事などの影響による地盤の不等沈下が著しく、実際の検討に使うことは難しいと考えられる。

近世面2においても、遺構面にかかわる遺物の出土は無く、遺物から遺構面の年代を考察することはできない。ベースとなる堆積層は北東側に厚く、南西側に薄い堆積をしており、調査範囲南西端、03-5-1トレンチ付近では厚さ10cm程度しか残存していない。堆積物の供給源は現在の讃良川であると予想され、現在の新家集落ののる微高地を形成するものと、基本的には同じものであろうと考える。この堆積が発生した時期については、既往の調査成果から、中世末~近世初頭頃と推測される。したがって、そ

の堆積層を母材とする近世面2の機能年代は近世前半と推定しておきたい。

これら近世段階の洪水堆積層からは、それほど多くの遺物は出土しないが、図252に示したように今回の調査範囲外からもたらされたと考えられる、いくつかの遺物が含まれていた。2015は軒丸瓦で、わずかにのこる瓦当面も著しい摩滅を受けるものである。痕跡程度に認められる瓦当紋様は、蓮弁の端部と、その外側の珠紋のみである。古代にさかのぼる瓦かと考えるが、近傍の古代寺院には高宮廃寺、正法寺などがいられている。2016は土師器の高坏で、古墳時代のものであろう。2017~2023は各種の埴輪で、2018・2019・2021・2022は円筒埴輪、2023は朝顔形埴輪、2017・2020は形象埴輪である。2018・2019は突帯周辺の残存であるが、低く、ゆるやかな突帯が残る。2018は突帯に接して横ハケがわずかに認められる。2021も同様に低い突帯をもつが、突帯に接して円形の透孔が認められる。2022は残存率の低い個体であるが、あえて復元すると径15cm程度となり、普通円筒埴輪としては細いものとなる。外面には粗い縦ハケのみが認められる。2023は朝顔形埴輪の頸部付近が残るもので、くびれ部下寄りに突帯を巡らすものである。形象埴輪の残存部位については良くわからないが、2020は盾形埴輪の可能性があり、湾

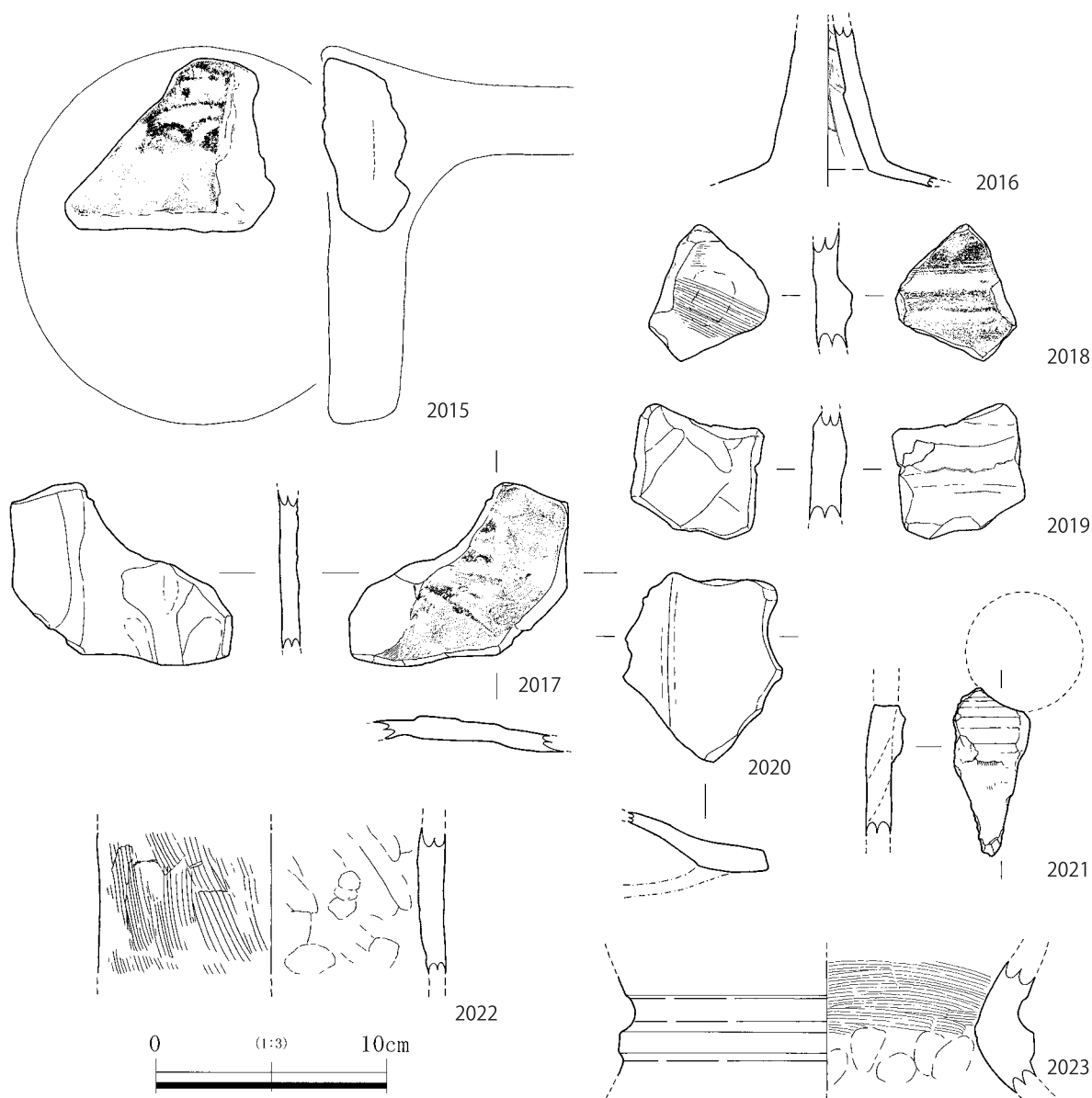


図252 近世層出土遺物

曲する側端部が認められる。埴輪の時期は詳細にはわからないが、おおむねV期に下るもので、6世紀代に下るものかと考えられる。これら埴輪が本来使用されていた場所については、調査地近傍に未発見の古墳が存在する可能性も否定できないが、軒丸瓦2015も近接地に寺院はなく、丘陵部分からの流入の可能性あることから、埴輪についても遺跡東方の丘陵部に位置する太秦古墳群などの初期群集墳を候補とする必要があるかもしれない。

第4項 中世面1 (図253上段)

中世面1は、中世と近世の交わり頃に堆積した大規模な堆積層を除去することで検出される遺構面である。近世面に踏襲される位置に、東西・南北の坪境があり、それらに区画された耕作域が配置される条里型地割がみられる。遺構面の標高はT.P.+2.3m～1.9mであり、比較的平坦である。南北坪境は検出範囲の北寄りでは畦がみられ、南寄りでは溝がみられる。両者のつながりについては攪乱やトレンチの境界にかかっており、よくわからない。東西の坪境については近世面2とほぼ同じ位置に2条の畦畔がみられた。この部分では中世面1と近世面2の間にほとんど堆積層が認められず、結果的に踏襲されたものと考えられる。中世面2に残された畦畔もわずかな高まりをみせるもので、西寄りでは高まり自体が不明瞭となり、03-5-7トレンチでは平坦であり、遺構としての坪境を残さない。

この面を襲った洪水による流失は激しく、中世面1に伴う作土層は03-5-6トレンチの北寄りにわずかに残存するのみであった。作土層の上面ではわずかに東西方向の鋤溝とおぼしき小溝が認められたが、畦畔や島畑はみられない。作土層が途切れた南寄りでは東西、あるいは斜め方向の溝が検出された。また03-5-7トレンチ北端では東西方向の畦畔が調査範囲内にわずかにかかっていたが、03-5-6トレンチの範囲には明瞭には続かない。作土の消失により畦畔自体が失われた可能性が高いと考えるが、その境がトレンチの境界部にあたるため検証はできなかった。

中世面1に帰属する遺物の出土はみられなかった。時期を考察する材料としてはベース層の地震痕跡があげられる。中世面1のベースとなる第1-2層は中間に植物遺体を多く含む層を挟む堆積層と考えられるが、調査範囲全域で地震による変形構造が確認された。遺物による検証ができたわけではないが、近世初頭の洪水堆積層に覆われる以前の大規模な地震としては、慶長の大地震(1604年)が候補となる。第1-2層の上面とそれを覆う近世洪水砂との境界は整ったものであり、中世面1の廃絶は地震後のことであったと考えられるので、中世面1の機能時期も中世後半が中心であったと推測される。

第5項 中世面2 (図253下段)

中世面1のベースとなる第1-2層を除去し、さらに低い部分に堆積したと考えられる第1-3層を除去することで検出される面である。既に部分的に第1面の微高地1が露出する部分があり、起伏を残す地形をみせる。遺構面の標高はT.P.+1.8m～1.3mを測る。基本的に条里型地割に基づく土地区画がなされたものと思われ、坪境にかかわる遺構も認められるが、地形の高低を克服できていないようにおもわれる。坪境は南北方向のものは調査範囲北端寄りの部分で畦畔を確認したが、南北へのつながりは不明である。近世に坪境の交点となる箇所には遺構はみられない。また東西方向の坪境も03-5-5トレンチでは高まり上のわずかな段差としてみられ、03-5-7トレンチでは断続的な溝状の遺構として認められた(溝33・図256など)。溝33は東西に配置される溝状の遺構で、第1-3層上面を検出する以前に瓦器碗が既に姿をみせていたが、遺構としての把握が遅れ、第0-4面(中世面2)の検出段階で溝であることを確認した。遺構

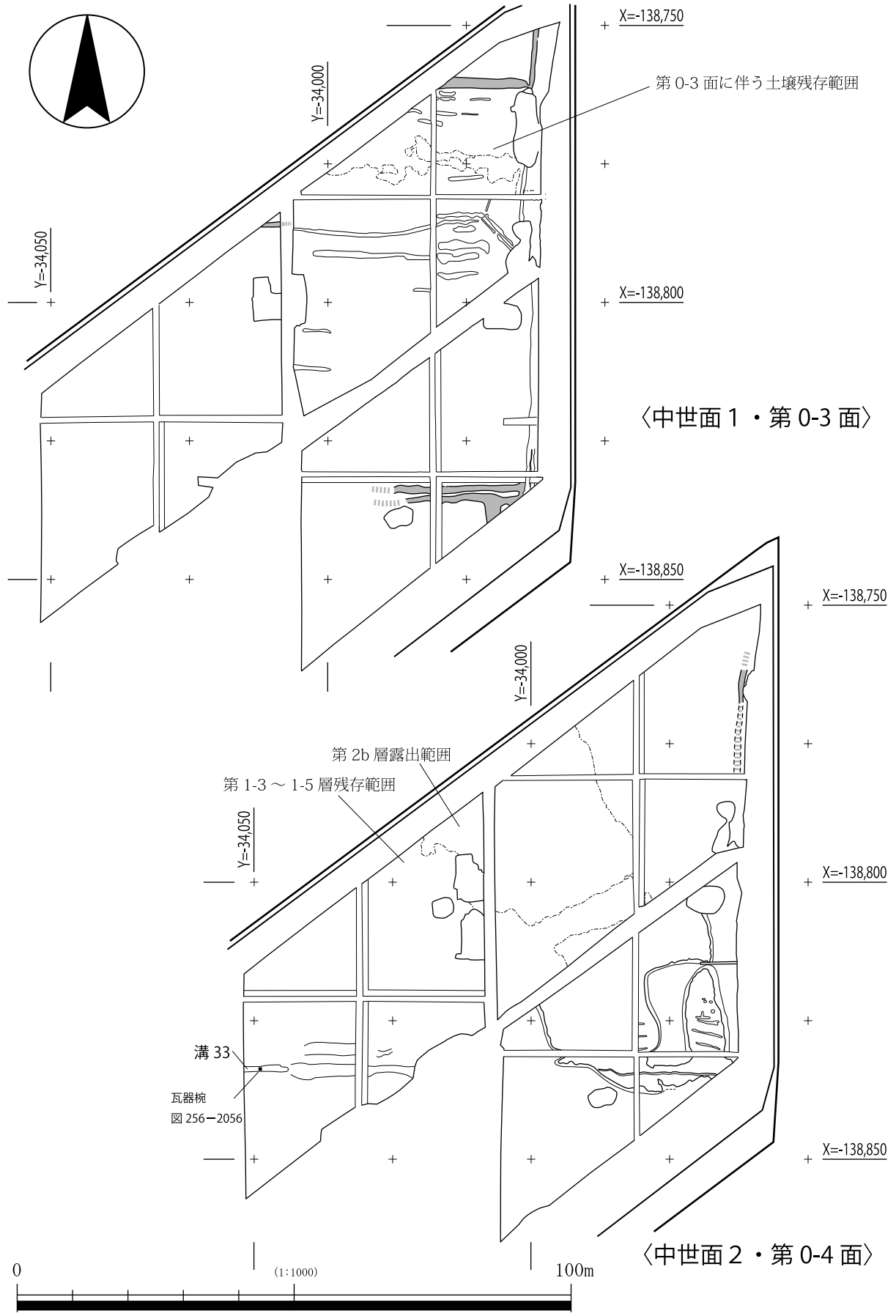


図253 中世 遺構変遷図 (s=1/1000)

掘削面は第1-3層より上であるので、中世面1と中世面2の間ということになる。溝埋土は第1-3層や第1-5層のブロック土を含むシルト層で、掘削段階で水没していた可能性がある。この段階で瓦器椀（図256-2056）が埋置、ないしは投棄されたと考えられ、埋土の比較的上位から出土した。2056の瓦器椀は痕跡程度の高台を残すもので、13世紀後半～14世紀前半のものかと考えられる。

坪境により区画された耕地部分の土地利用についても明確にはわからない。第1-5層は攪拌を伴う作土層と考えるが、植物遺体の残存が著しいこともあり、水田耕作土かどうかは断定できない。坪境交点想定位置の北西部分には島状の高まりがあるが、この上面には数条の溝がみられた。畑として利用された可能性があるが、広範に広がるものではない。

中世面2の帰属時期については、溝33が中世面2を覆う堆積層のさらに上位から掘削された遺構であるので、2056の瓦器椀の時期以前となる。また中世面2より一段階古い遺構面となる第1面微高地1上で、最も新しい遺構の時期は奈良時代のものであるので、奈良時代の集落廃絶後、13世紀後半までの比較的長期にわたる時間幅の中で位置づけなければならない。しかし後述するように、第1層出土遺物全体をみても奈良時代から平安時代にかけての遺物の出土量は極めて少なく、少ない中でも相対的に出土量が増すのは12世紀代といえることができる。したがって、第1-5層による何がしかの開発行為も、12世紀を中心とするものであり、その廃絶後、第1-3層の堆積を経た後に、溝33を含む条里型地割の設定を伴う再開発が進められたものと考えられる。

中世面1を覆う第1-2層からは図254・図255に示す遺物が出土した。瓦器、須恵器、土師器、鉄器、瓦、砥石、石器などがあるが、いずれも細片ばかりである。2024～2035は瓦器椀で、大和型が主体を占めるようである。12～13世紀のものが主体であろうか。須恵器には5世紀代のものから古代にかけてのものが含まれる。2040は奈良時代の小型壺かと考えられる。土師器は古代のものが中心になるが、2042は土師器の羽釜で、中世のものと考えられる。また把手類には古墳時代にさかのぼるものがあり、2050は上面から切込みの入る韓式系土器である。鉄製品には2045の鋤先、2046の鎌があるが、両者とも錆に覆われ遺存状態は不良である。2051は軒平瓦の残欠で、貼付けの頸部分が剥離するものである。剥離痕跡部分に格子のキザミが確認でき、接合を強固にするための造作と考えられる。遺存する瓦当面上半には圏線と珠紋がわずかに認められ、珠紋が一列に配置される紋様をもつもので、中世のものと考えられる。2052・2053は砥石で、2052は流紋岩、2053は砂岩である。2053は側面に滑らかな研磨部分がみられるが、上面には敲打痕の残る部分もあり、複数の機能をもつものと考えられる。2054・2055はサヌカイトの剥片であり、弥生時代のものとする。第1-2層出土遺物には弥生時代から中世までの時期幅があり、特定の時期に限定できる資料ではないが、瓦器椀の出土量が比較的まとまっている点は、古代以降の土地利用の時期をしる上で注意される。

図257～図260にはこれまでに記載していない第1層出土遺物を示す。図275には第1-3層、第1-4出土の遺物を中心に掲出すが、側溝掘削時など出土層位を限定できない形で出土したものも含まれる。瓦器、黒色土器、土師器、須恵器、鉄製品がある。時期も古墳時代から中世にわたるものである。2057～2059・2061は瓦器椀で、2060は黒色土器A類の椀である。2074は鉄製の馬鍬の歯で、長方形の断面形をもつが、先端付近は断面が円形を呈しており、使用による摩滅の痕跡であると考えられる。後述する2111・2112と比較しても短く、中世段階の耕作に用いられ、よく使い込まれたものであろう。土師器では2070・2071は古墳時代中期のものと考えられる。2075は極めて粗いつくりの土師器で、図210-1657と同じ形態の製塩土器片とおもわれる。2073は鉄鉢形の須恵器で、2065の長頸壺、2066の壺蓋、2069の高台などとも

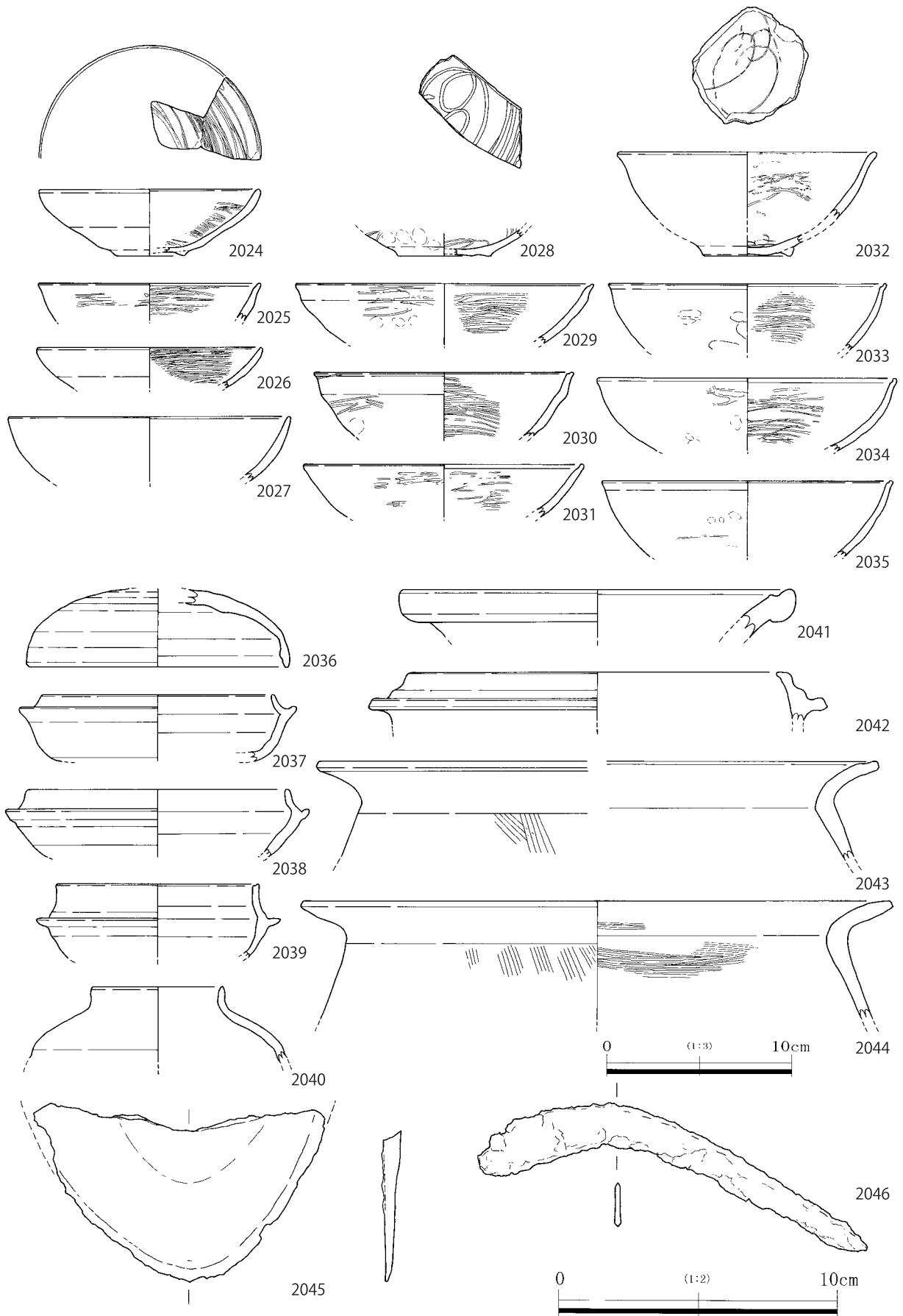


图254 東半 第1-2層 出土遺物 1

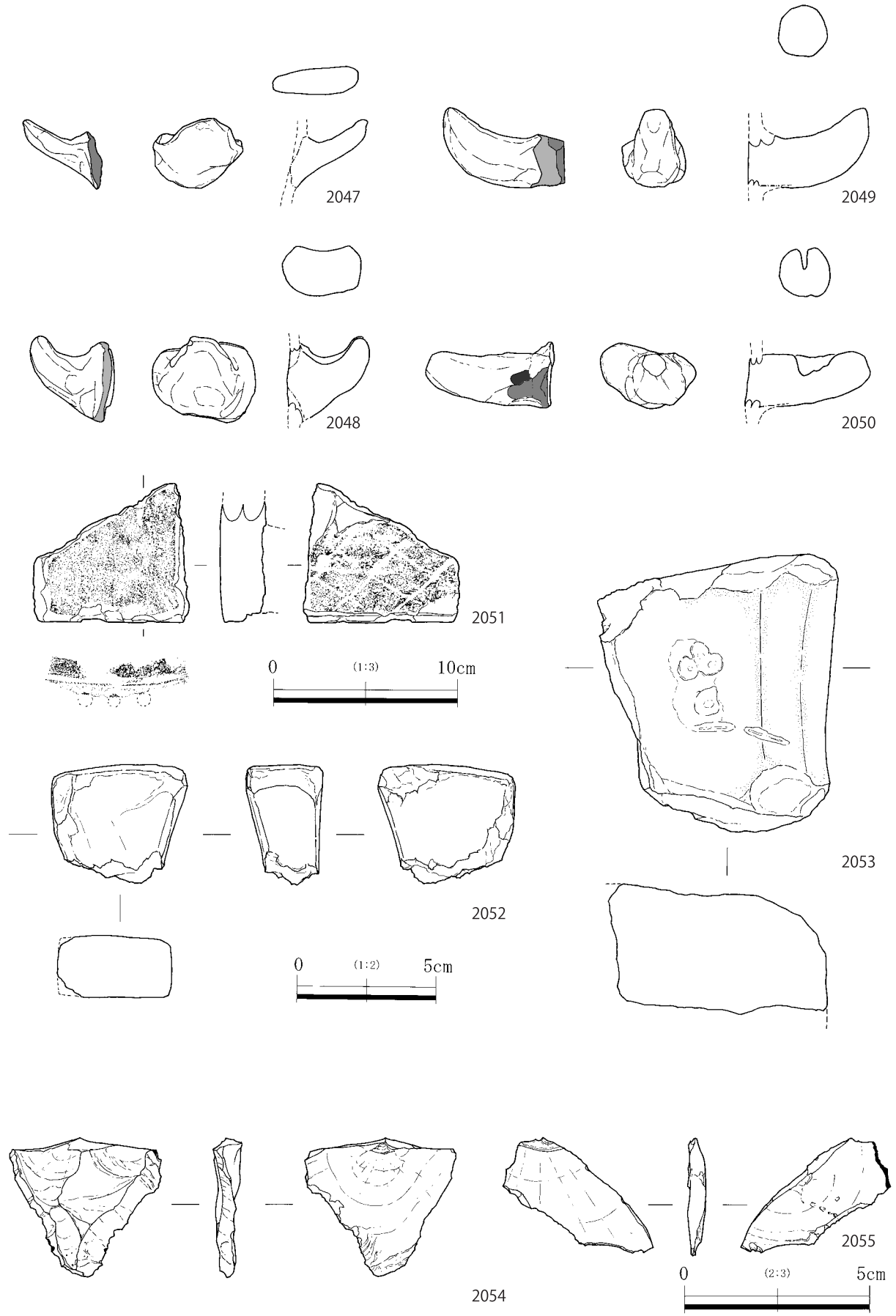


图255 東半 第1-2層 出土遺物 2

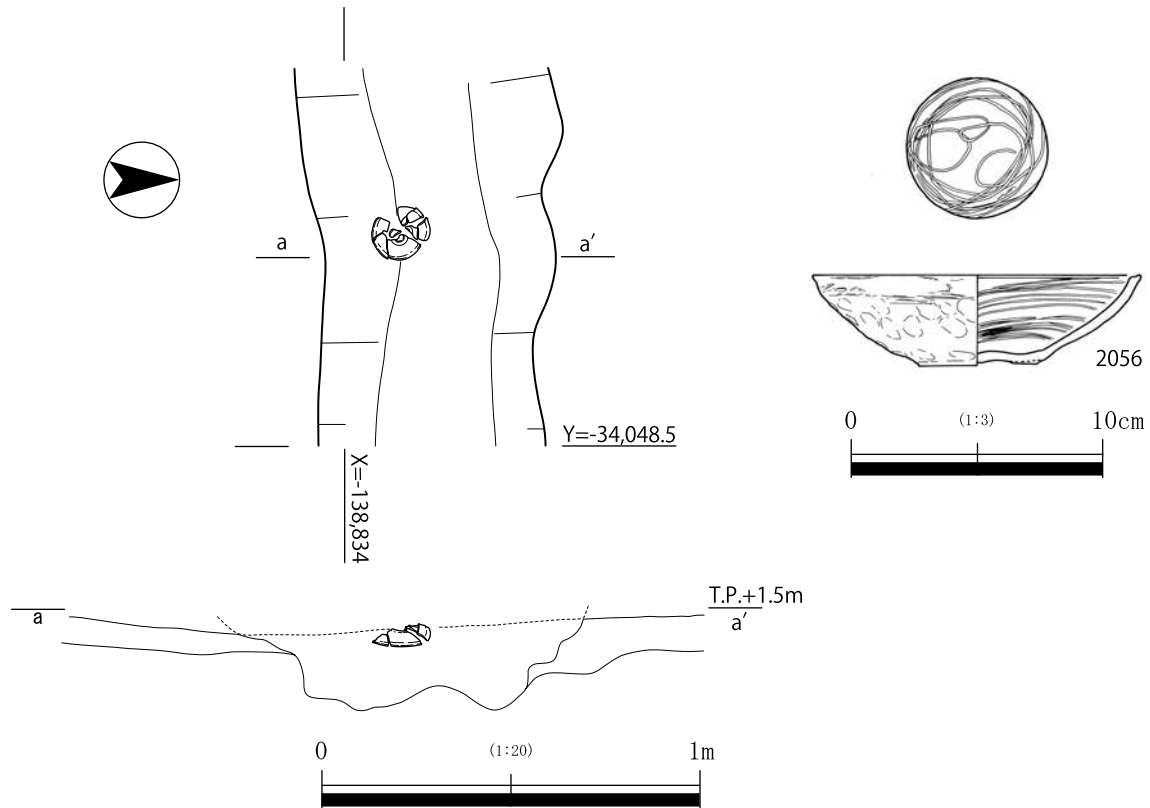


図256 溝33 平・断面図 出土遺物

に奈良時代のものかと考えられる。2080・2081は鉄製の利器であるが、用途はよくわからない。断面形が方形を呈し、馬銜の歯、釘、楔などが候補となるが、馬銜とするにはやや小ぶりである。

図258～図260には層の細分を行わずに掘削したトレンチで出土した第1層出土遺物を示す。瓦器、瓦質土器、黒色土器、土師器、須恵器、緑釉陶器、韓式系土器、埴輪、瓦、木製品、鉄製品、石製品と多岐にわたる遺物の出土がある。瓦器碗は6点を図示したが、12～13世紀のものが中心であると考えられる。2088の黒色土器B類の碗は11世紀代のものと考えられ、平安時代の土地利用を示す可能性がある。希少なものは緑釉陶器2089があり、蛇の目の削出高台部分がのこる。2101～2103の瓦質土器は羽釜である。2101は鏝を欠くが、長くゆるやかに内湾する口縁部をもち、灰色に硬く焼成されている。2102は口縁端部の直下に短い鏝を巡らせ、口縁端部、鏝端部とも面をもたせる。2103は口縁部を欠くが比較的長くのびる鏝をもち、端部を丸く納めている。2104の韓式系土器は外面に格子タタキを残す体部の破片である。2108の把手も韓式系土器で、上面からの切込みが施される。2105は極部分的な破片であるが、円筒埴輪の突帯部分と考えられ、比較的突出する突帯が認められる。突帯のみの比較では、近世の砂層に含まれていた2108・2109より時期的にさかのぼる可能性がある。2109の平瓦は端部の面取りが認められるものの、表面の成形・調整痕が観察困難で、時期も不明である。2110は雁又鏝で、時期は不詳である。古墳時代の雁又鏝の使用例は少ないことから、中世段階のものかと考える。中世の水田域での出土例は池島・福万寺遺跡に複数例みられる。2111・2112は鉄製の馬銜の歯である。長さが20cm近いもので、2111は先端まで断面形とも方形をよく保っている。2112は先端付近がやや丸みをおびており、2111とは使用度合いに差があるものとする。2113は用途不明の木製品で、薄い板状を呈する。樹種はヒノキ科である。2114は下駄である。断面形が逆三角形の本体に歯が2枚組み合わせられる。樹種はセンダンが用いられている。図260～2115は粘板岩製の砥石と考えられ、背面には剥離した痕跡がみられる。2116

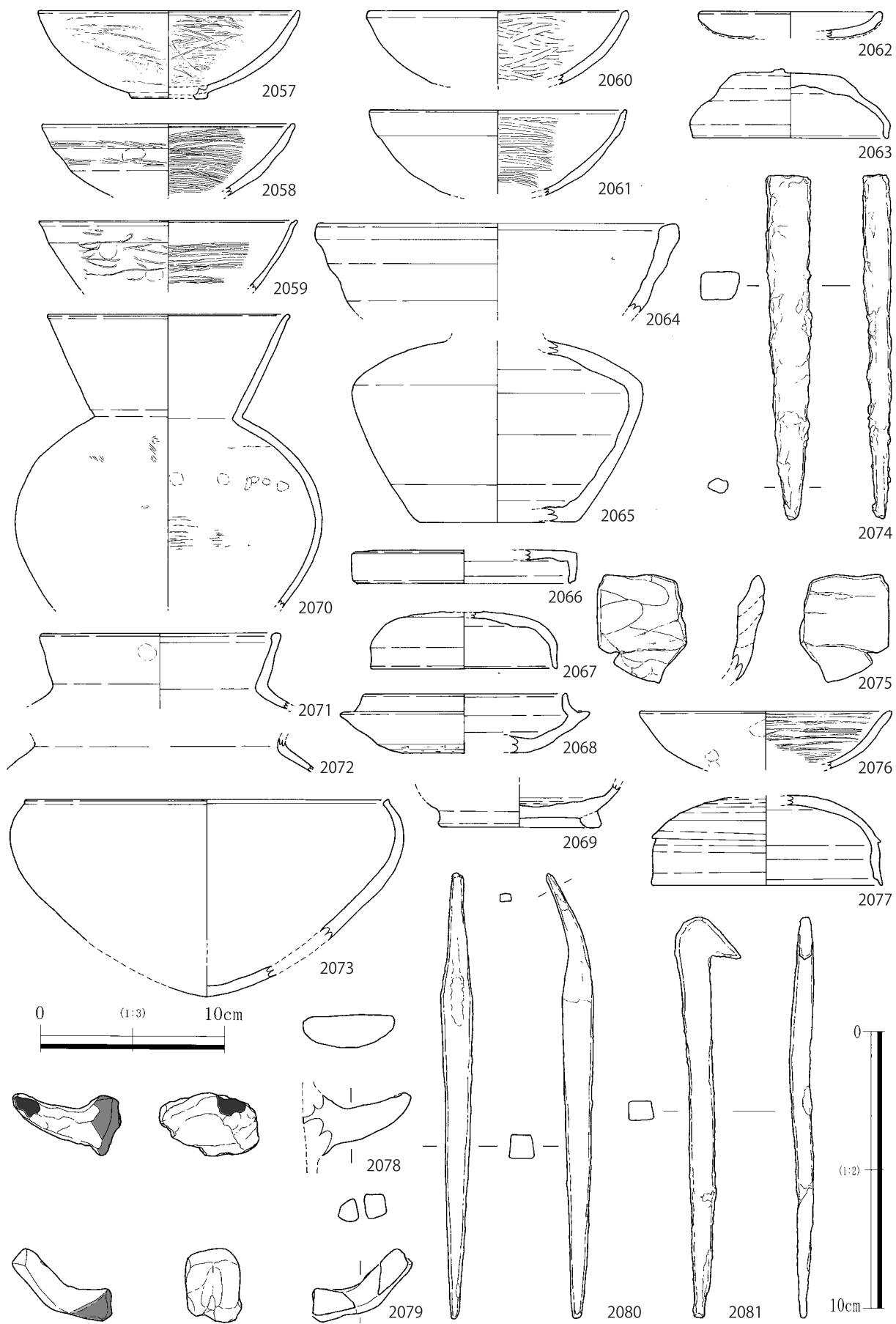


图257 東半 第1-3~1-5層 出土遺物

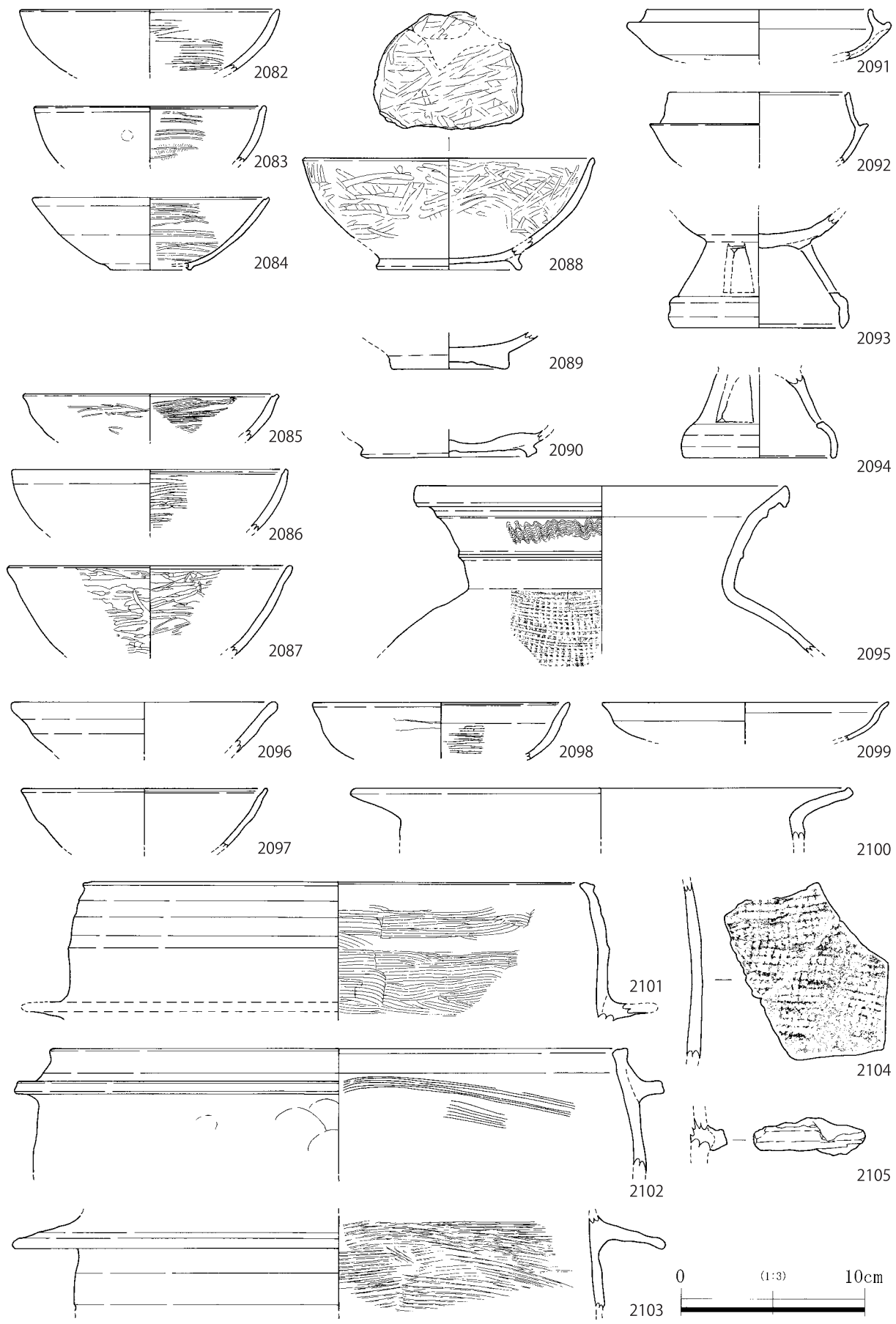


图258 西半第1层 出土遗物1

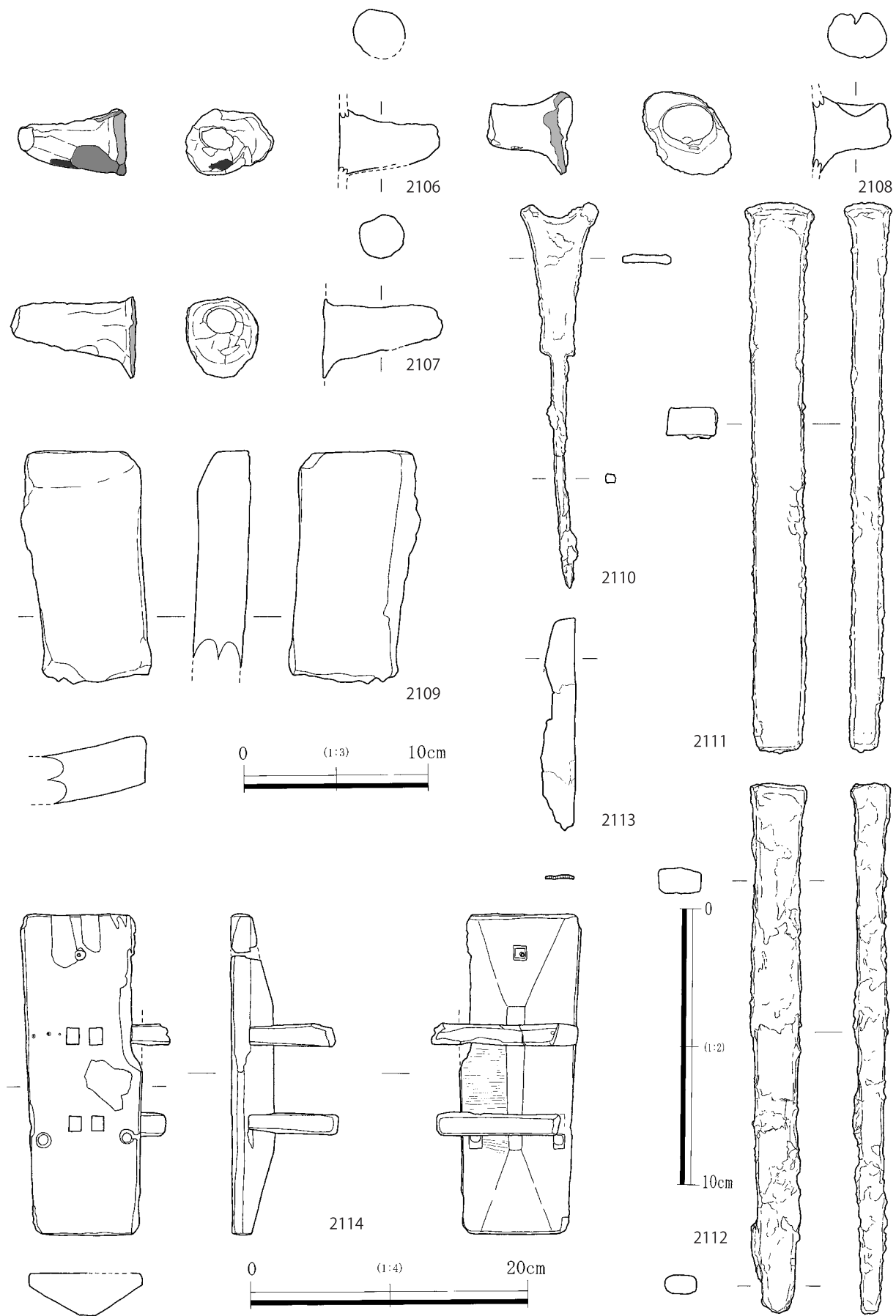


图259 西半第1層 出土遺物2

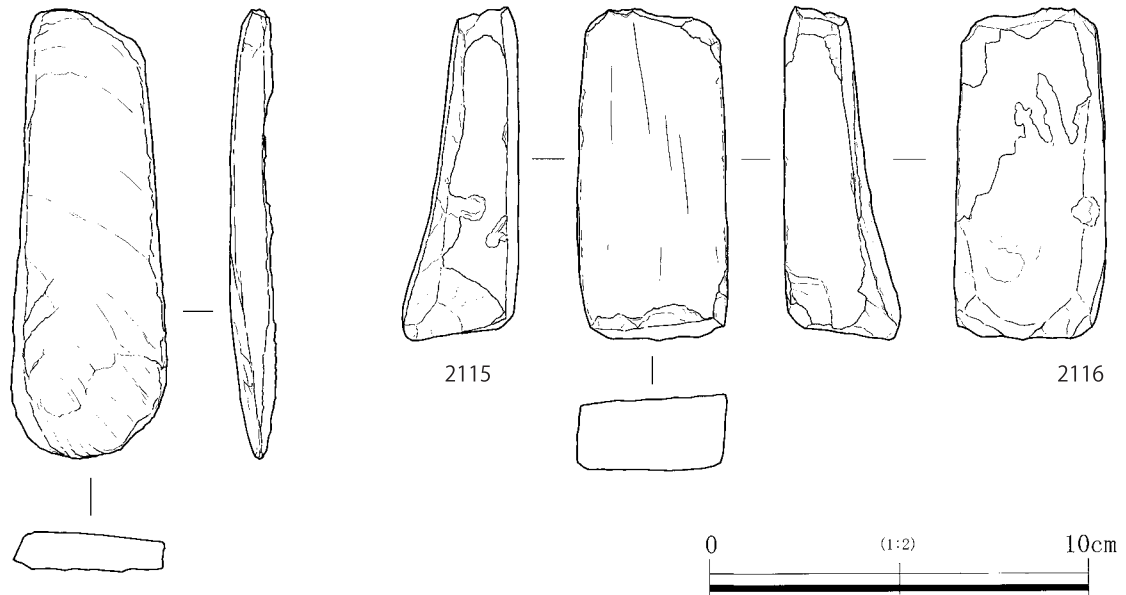


図260 西半 第1層 出土遺物 3

は流紋岩製の砥石である。写真のみ掲載した木製品に2996の曲物がある。また写真のみ掲載した石製品類には2923・2977・2979・2996～2998がある。砥石の可能性をもつものもあるが、自然石も含まれていると考える。

第1層出土遺物には、古墳時代から中世にかけての遺物がみられ、種類も多様である。馬鍬の歯や鋤先のように水田としての利用を直接的に示すものもあるが、土器類は遺構面の性格とは直接にはかかわらない。しかしある程度の年代的な根拠となるものもあり、遺跡の周辺環境を考える上で注意すべきものも含まれる。

第5章 分析

第1節 古環境分析

はじめに

讃良郡条里遺跡は、生駒山地西麓部の氾濫原上に立地する。本遺跡における周知の遺跡範囲は、沖積扇状地から沖積低地にかけて広がっている。遺跡範囲内では、西に向かって沖積扇状地からおもに後背湿地からなる沖積低地面へと地形面が推移していく。沖積扇状地面は、離水時期が異なるいくつかの地形面によって構成される。但し、現段階においては、詳細な地形面の離水時期についての地質学的情報は得られていない。遺跡の地形勾配に沿った相対的な水位は、沖積扇状地から沖積低地に向かって上昇傾向にあり、西側へ行くに従ってより湿潤な土壌・水文環境が形成されている。このような西側に向かって湿潤化する環境・地形勾配が認められる讃良郡条里遺跡において、発掘調査結果から、今回の調査地点は、扇状地扇端部付近から沖積低地面にかけて位置する。

本節では、古環境復元と遺跡形成過程の検討を目的に実施した、本書報告にかかわる調査範囲（讃良郡条里遺跡03-5・06-2調査）東半部の03-5-5～7トレンチと西半部の03-5-8～10トレンチの珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析、不攪乱土壌柱状サンプルの軟X線写真による層相解析の結果について述べる。

なお、今回の報文では、紙面の都合上、実施した分析結果の一部を抜粋して掲載している。また、抜粋した分析結果（記載とその根拠および図表類）や実施したすべての分析結果に関するデータについては、財団法人大阪府文化財センターが保管しているので、参照されたい。

本節の記述においては、各層準の帰属時期を用いた表現を行う箇所があるが、本書報告範囲においては考古資料により確定できない層準もあることから、隣接する調査区の成果等を引用し、推定した。

第1項 試料

(1) 03-5-5～7トレンチ

採取地点および採取層準を図261に示す。分析は1～4地点から採取された試料のうち、目的等を考慮して15点を選択し、珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析を実施する。また、15～19地点では植物珪酸体分析を実施する。

(2) 03-5-8～10トレンチ

採取地点および採取層準を図262に示す。分析は、6～14地点から採取された試料のうち、目的等を考慮して37点を選択し、珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析を実施する。軟X線写真撮影を実施したのは、7地点と14地点で、3点分のサンプルの分析を行う。

第2項 分析方法

上記の各分析のうち、1～14点の珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析については「池島・福万寺遺跡3」（パリノ・サーヴェイ,2007）、15～19地点の植物珪酸体分析は「讃良郡条里遺跡Ⅳ」（鈴木,2006）、軟X線写真撮影については「東倉治遺跡Ⅱ」（パリノ・サーヴェイ,2006）に記載した方法と同様の手順で実施した。詳細は、各報告書の分析方法の項を参照されたい。

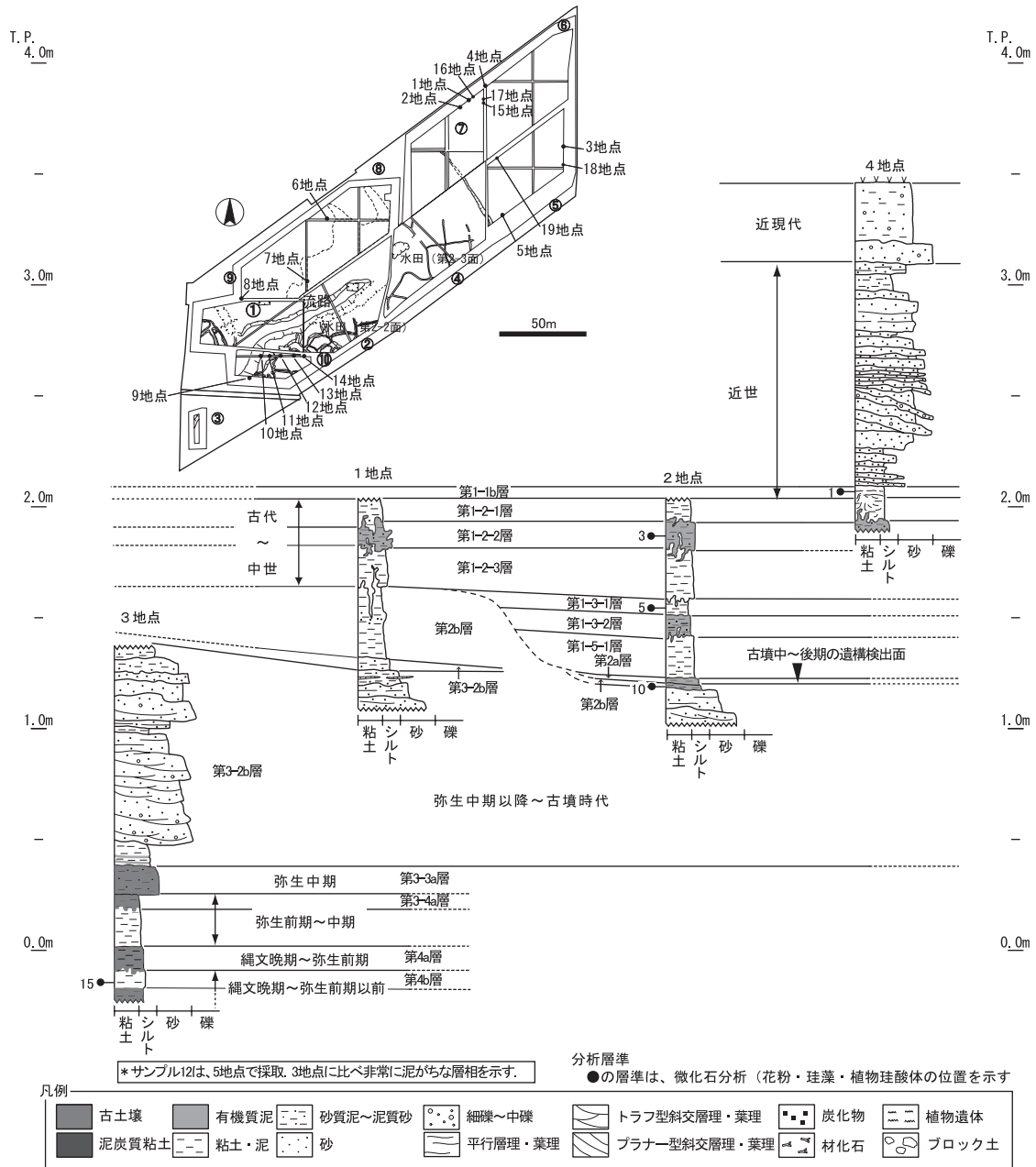


図261 03-5-5～7トレンチの柱状模式断面図および分析試料採取地点

第3項 分析結果の検討

(1) 珪藻分析

i) 5～7トレンチ

・縄文晩期～弥生前期以前から弥生前期～中期

本節では、現地調査で記載した分析地点の層相をふまえ、珪藻化石群集 から5～7区と8～10区の各地点の古水文環境や堆積・土壌環境について検討する。03-5-5～7トレンチの珪藻分析結果を図3に示す。層相から湿地の堆積環境下で形成されたと推定される本区の第4b層～第3-4a層では、珪藻化石の産出が非常に少ない。このような産出状況となった要因については、後述する珪藻化石の分解消失過程事例と層序対比から復元される03-4調査区からの一連の地形復元に基づくると、本地点が堆積層の累重後に、好

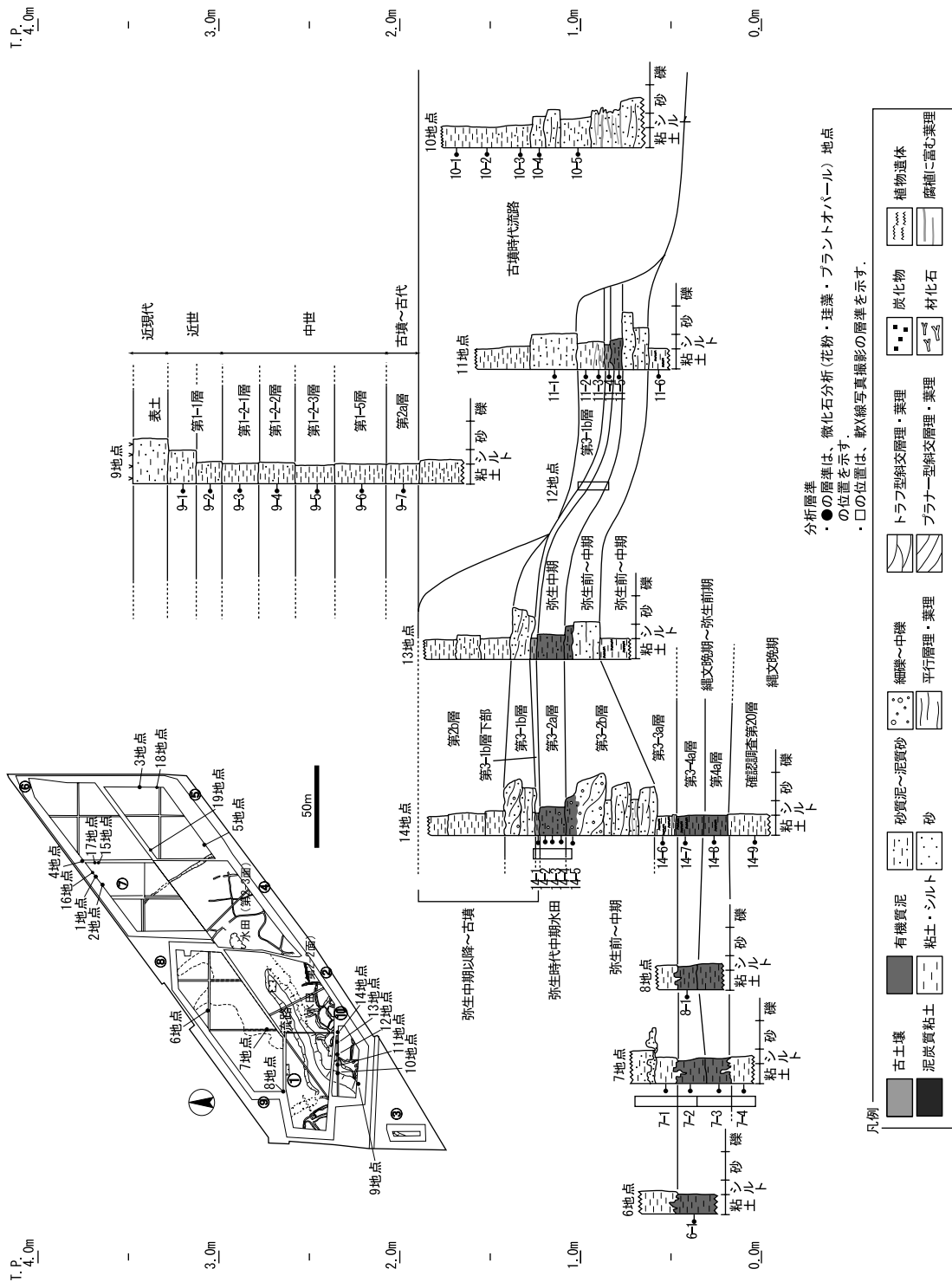


図262 03-5-8~10トレンチの柱状模式断面図および分析試料採取地点

氣的な土壤環境が比較的長期間にわたって維持されるような環境へと変化したためと解釈される。

・弥生時代中期

第3-3a層からは、富栄養~中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種が優占することから、止水域下の堆積環境が示唆される。本層のうち、3地点は5地点に比べ砂質な層相を示す。珪藻分析結果では、

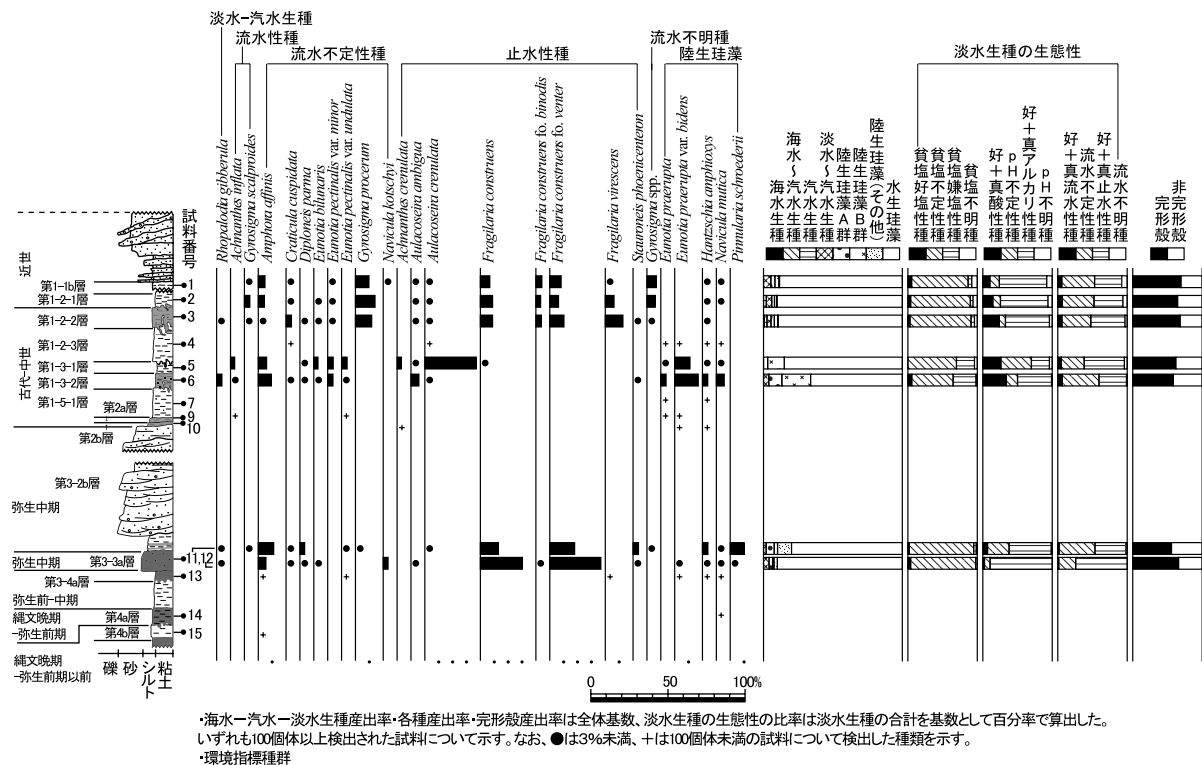


図263 2・3・4地点主要珪藻化石群集の層位分布

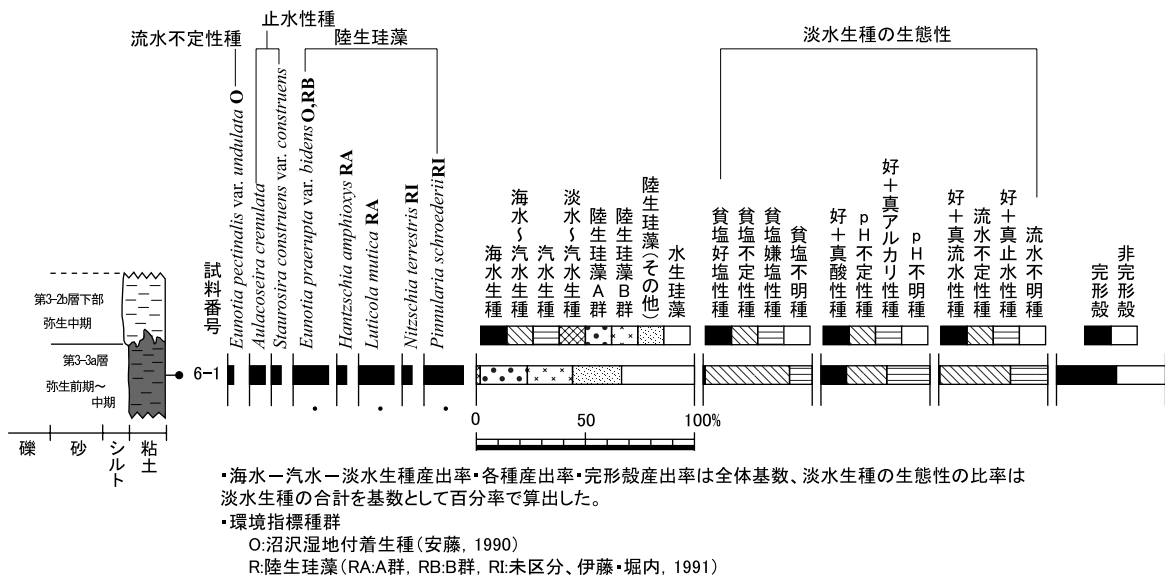
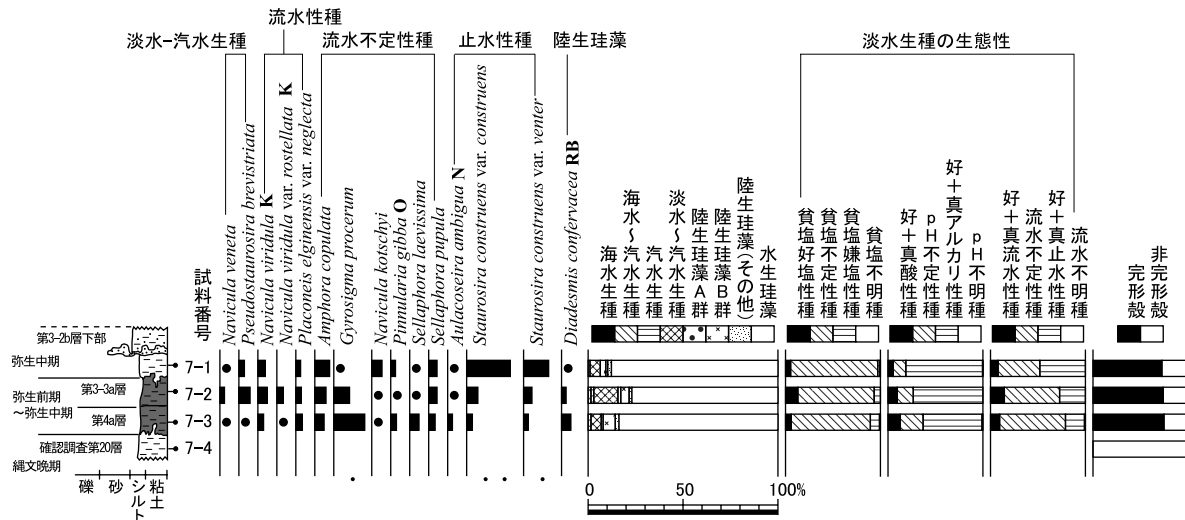


図264 6地点主要珪藻化石群集の層位分布

泥質な層相を示す5地点で採取した試料番号12でより多く止水性種が確認された。このような3地点、5地点の珪藻分析結果および層相からは、5地点の方が局所的により湿潤な環境であった可能性が示唆される。分析結果において偶来性浮遊性種の珪藻化石が優占するのは、降雨時などに周囲からの流れ込みによって本調査区が一時的な滞水域となるような状況であったことを示している。

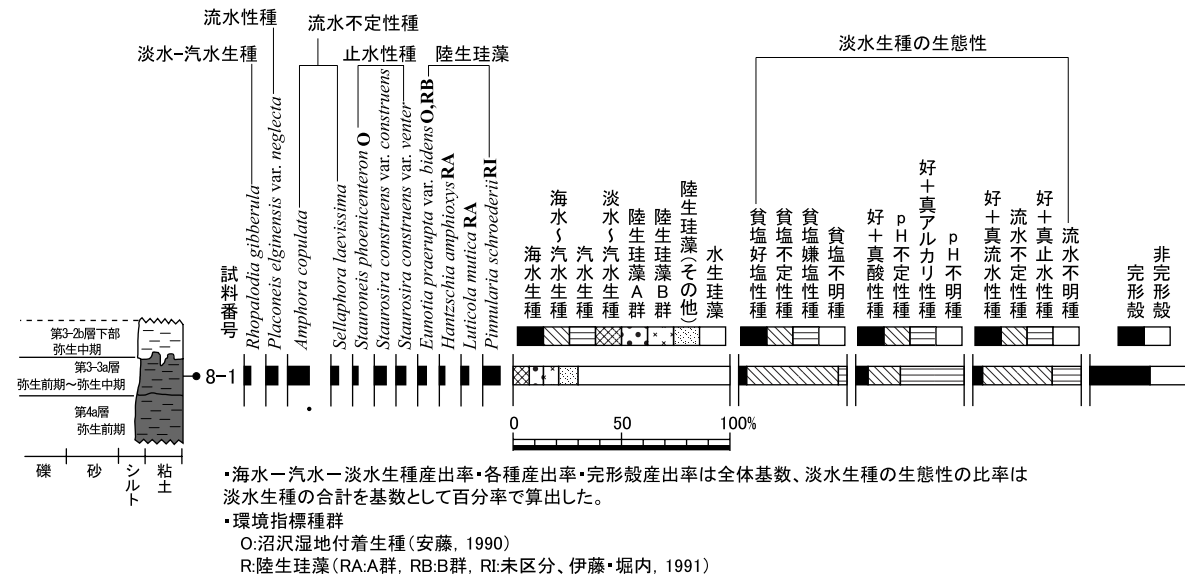
・古墳時代

古墳時代中期～後期の遺構検出面およびそれを覆う第2a層と第2b層では、珪藻化石の産出が少なかった。ただし、少量産出する珪藻化石には沼沢湿地付着生種群も含まれている。珪藻化石が少ない理由は、層相を考慮すると、乾湿変動ないし土壤化等の影響を受けて溶解・消失してしまった可能性が指摘され



・海水-汽水-淡水生産率・各種産率・完形殻産率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。いずれも100個体以上検出された試料について示す。なお、●は2%未満の産出を示す。
 ・環境指標種群
 K:中～下流性河川指標種, N:湖沼沼沢湿地指標種, O:沼沢湿地付着生種(以上は安藤, 1990)
 R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分、伊藤・堀内, 1991)

図265 7地点の主要珪藻化石群集の層位分布



・海水-汽水-淡水生産率・各種産率・完形殻産率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。
 ・環境指標種群
 O:沼沢湿地付着生種(安藤, 1990)
 R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分、伊藤・堀内, 1991)

図266 8地点の主要珪藻化石群集の層位分布

る。

・古墳時代以降

この時期には、第1-5層のように化石の産出の少ない層も存在する。第1-3-2層・第1-3-1層では、沼沢湿地付着生種群を含む流水不定性種と湖沼沼沢湿地指標種群を含む止水性種によって特徴付けられる。このような珪藻化石群集からは、沼沢地ないし湿地のような環境が推定される。上記の珪藻化石群集と堆積層の累重の特徴から、03-5-5～7トレンチでは、古墳時代以降になると再び相対的な水位の上昇があり、後背湿地の堆積環境が形成されたことが認識される。

近世の第1-2-2層から第1-1b層では、富栄養～中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種が優占することから、富栄養した沼沢地などの止水域の環境が推定される。

ii) 8～10トレンチ

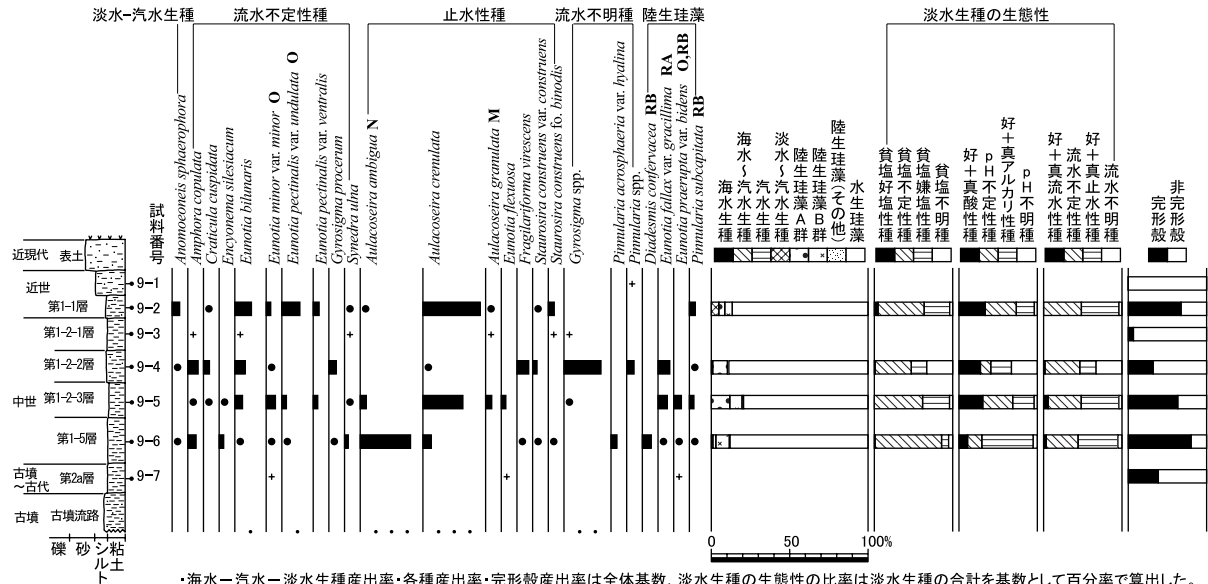


図267 9地点の主要珪藻化石群集の層位分布

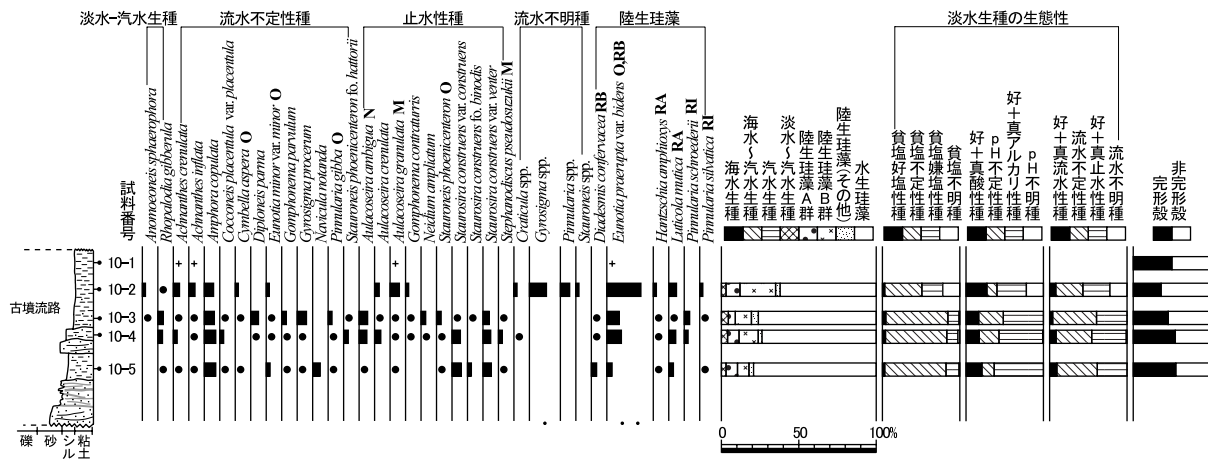


図268 10地点の主要珪藻化石群集の層位分布

・縄文時代晩期～弥生時代前期

本区の分析結果を図264～270に示す。確認調査第20層（以下、旧第20層と表記）では、化石の産出が少なく、陸生珪藻や流水不定性が少量認められるのみである（図265・270）。

第3-3a層の珪藻化石群集は、地点によって若干異なる（図264～266・図270）。6地点では、陸生珪藻が全体の約65%と多産し、沼沢湿地付着生種群を伴うことで特徴付けられることから、しばしば乾燥するような湿地のような堆積環境が推定される。これに対して、8地点や7地点、14地点では水生珪藻が優占する。これら水生珪藻の中には沼沢湿地付着生種群を含む流水不定性種や富栄養～中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種を含む止水性種を伴う。よって、塩類の豊富な沼沢地～池沼のような止水域であったことが示唆される。

なお、第3-3a層に対比される03-5-5～7トレンチの分析層準では、珪藻化石の保存状態が不良であった。

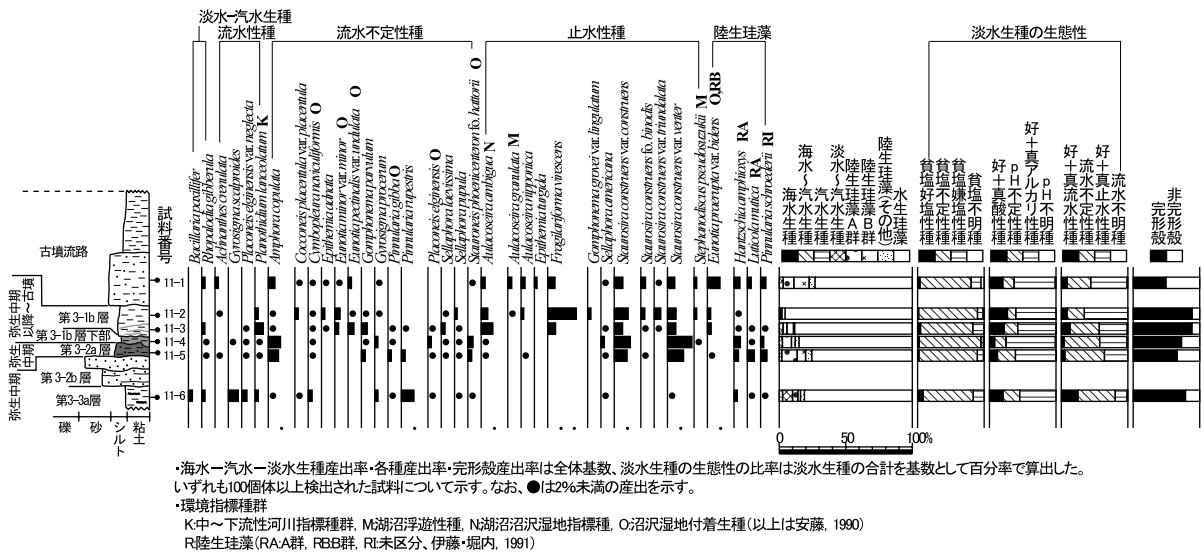


図269 11地点の主要珪藻化石群集の層位分布

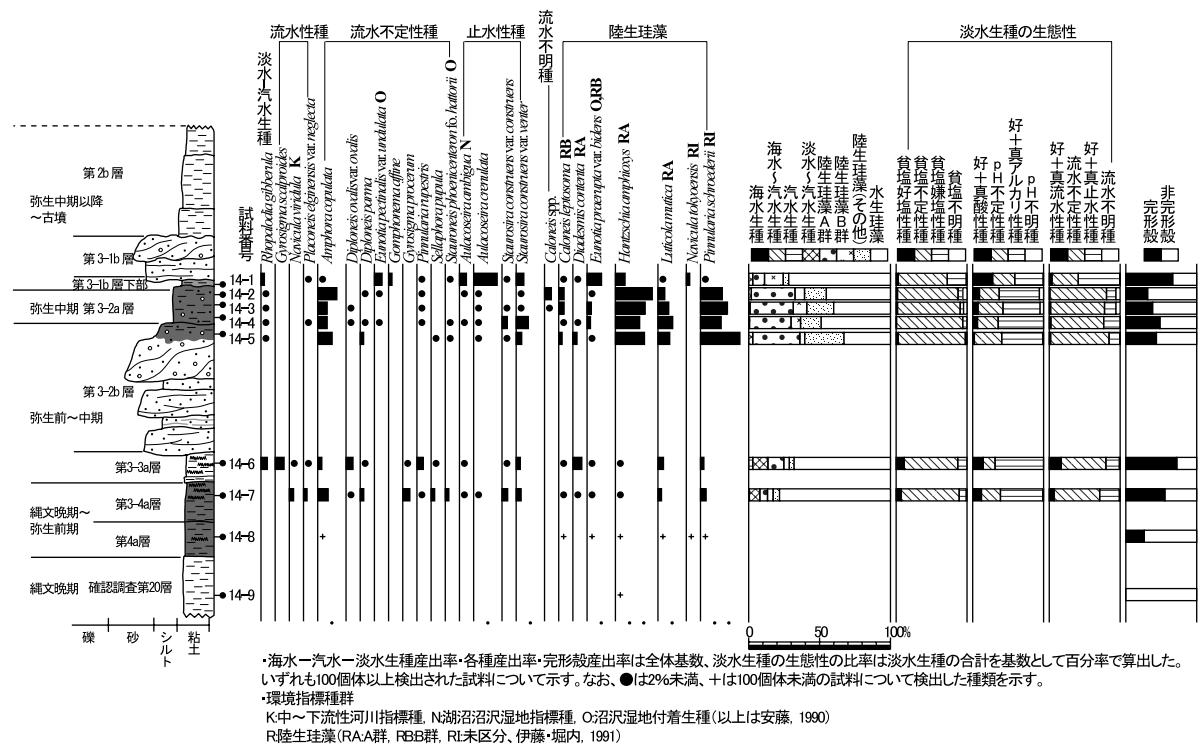


図270 14地点の主要珪藻化石群集の層位分布

また、03-4調査区でも、第3-3a層に対比される層準で珪藻化石の保存状態が不良であった。珪藻化石を構成するシリカは、温度が高いほど、流速が早いほど、水素イオン濃度が高いほど溶解度が大きくなり溶けやすいことが実験により推定されている(千木良,1995)。また、珪藻殻と類似した化学組成を持つ植物珪酸体は、土壌の風化によって溶解する可能性が指摘されているほか(近藤,1988)、pH値が高い場所や乾湿を繰り返すような場所では、風化が進みやすいと考えられている(江口,1994,1996)。その他、湿原の乾燥化によって珪藻殻数が急減し保存が悪くなる現象もみられる(小杉,1987)。考古遺跡においても、安定した地表面となり土壌発達が認められる遺構検出面で、珪藻化石の産出が極めて不良となることが指摘されている(井上,2003)。

上記の珪藻化石のタフオノミーと分析層準の層相をふまえると、03-4調査区と03-5-5トレンチ3地点で

珪藻化石の保存状態が不良であったのは、これらの場所が当時、長期間にわたって地表面付近が大気に曝され、乾燥した状態が維持されるような好氣的な土壤環境下にあったためと判断される。また6地点以西では、03-5-5トレンチ3地点に比べ、湿地や滞水域となるような湿潤な土壤環境が形成されていたと考えられる。上記のような縄文時代晩期～弥生時代前期の層準の古水文環境勾配の中間地点に位置する6地点では、基本的に地表面が大気化に存在するものの、半乾～半湿の適度に土壤中の水分が保たれるような状態であったと推測される。

・弥生時代前期～中期

第3-2b層下部では、7地点で富栄養～中栄養の止水水域に生育する偶来性浮遊性種が多産することで特徴付けられ、安定した止水水域が存在したと考えられる。また、11・14地点では流水不定性種が多産し、中～下流性河川指標種群を含む流水性種を伴うことから、流水の影響が示唆される。14地点の第3-2b層最上部の古土壤では、陸生珪藻が多産しており、半乾～半湿の土壤環境が推測される。

・弥生時代中期

第3-2a層では陸生珪藻が多産し、富栄養～中栄養の止水水域に生育する偶来性浮遊性種を伴う組成である。よって、第3-2a層では、地表面付近がしばしば乾燥するような環境下にあったと考えられる。これに対して、標高が低い11地点では水生珪藻が多産しており、周囲に比べ水が溜まりやすい状況であったことが示唆される。

・弥生時代中期以降～古墳時代

第3-2a層直上を覆う第3-1b層下部では、14地点で好止水性の*Aulacoseira crenulata*が共通して多産し、沼沢湿地付着生種群を伴う。*Aulacoseira crenulata*は、石灰分の多い貧栄養の小水域に多産する種とされ、流れの影響が少なく、水深の浅い沼沢地のような環境が推定される。但し、11地点では本種が殆んど産出しなかった。

・古墳時代

10地点の古墳時代流路内堆積物の珪藻化石群集は、とくに多産するものはなかったが、止水水域に生育する偶来性浮遊性種や湖沼沼沢湿地指標種群の産出がやや目立つ。堆積層の特徴をふまえると、流路内は池沼～沼沢地のような止水水域であったと判断される。

・古墳時代以降

第1-5層は、湖沼沼沢湿地指標種群が多産することから、池沼のような止水水域が推定される。第1-2-3層は、好止水性の*Aulacoseira crenulata*が多産し、沼沢湿地付着生種群や湖沼沼沢湿地指標種群を伴う。これより、流れの影響が少ない沼沢地のような環境であったと考えられる。砂混じり粘土・シルトの第1-2-2層は、化石の保存が悪いが、流水不定性種が多産し真+好止水性種を伴うことからすると、下位と同様に沼沢地～湿地のような水域環境が推定される。

近世の第1-1層は、化石の保存も良く中世の第1-2-3層と同様な群集が産出したことから、沼沢地～湿地のような水域環境が推定される。

(2) 古植生

・縄文時代晩期以前～弥生時代中期

本節では、花粉分析と植物珪酸体分析結果をふまえ、調査区や背後の山地斜面における植生変遷について検討する。検討の中心となる花粉分析結果を図271～257に示す。当該期の木本花粉の産状についてまず着目してみると、縄文時代晩期以前～弥生時代中期の層準では、アカガシ亜属が多産し、これにモ

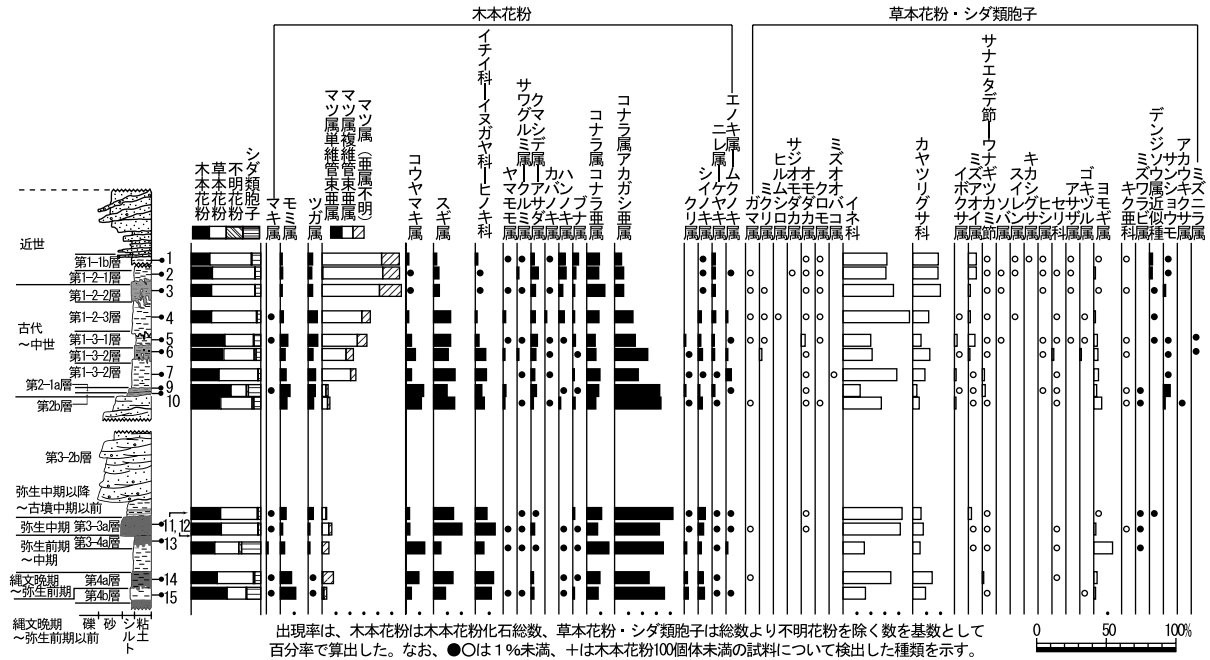


図271 2・3・4地点の花粉化石群集の層位分布

ミ属、ツガ属、コウヤマキ属、マツ属、スギ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科の針葉樹を伴う花粉化石群集であることが認識される。このような花粉化石群集には、常緑樹のヤマモモ属、シイノキ属、落葉樹のサワグルミ属-クルミ属、クマシデ属-アサダ属、カバノキ属、コナラ亜属、クリ属、ニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムキノキ属が随伴する。上記の木本花粉の特徴および生態性と遺跡の立地環境をふまえると、縄文時代晩期以前～弥生時代中期には、調査区背後の山地斜面から扇状地にかけて、カシ類・シイ類などの常緑樹を主体とする、モミ属、ツガ属、マツ属、スギ属などの温帯針葉樹が混在する森林が広く成立し、林縁部にヤマモモ属、山地斜面の谷沿いなどを中心としてサワグルミ属-クルミ属、クマシデ属-アサダ属、カバノキ属、コナラ亜属といった落葉樹、沖積扇状地面上の流路沿いや氾濫原面に、コナラ亜属、クリ属、ニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムキノキ属の落葉樹が分布していたと解釈される。また、弥生時代中期にかけては、アカガシ亜属が減少傾向を示しており、萌芽能力の高いシイノキ属が漸増傾向を示していることから、弥生時代には森林植生に多少の変化が起こっている可能性がある。

さらに、本調査区および東接する03-4調査区で非常に注目される木本花粉の産状としては、コウヤマキ属花粉とシダ類孢子が弥生時代前期～中期の層準で極大となることがあげられる。この傾向は、局地的な凹地に位置する03-5-5トレンチ3地点を除く、弥生時代中期の古土壌の層準で顕著である。針葉樹花粉とシダ類孢子は、広葉樹花粉と比べて風化に強いことから（徳永・山内,1971など）、花粉化石の保存状態が悪い試料で増加することが多い。当該期には、調査区の広い範囲で古土壌が発達するような環境であったことが層相から確認されており、好氣的な土壌環境下での花粉化石の風化が進行し易い状況であったことが確認される。このことから、弥生時代中期に顕著となるコウヤマキ属とシダ類孢子的の増加については、調査区やその周囲で広く発達した土壌化に伴う風化により、強い花粉化石が相対的に高くなったと判断され、花粉化石群集からも弥生時代中期における相対的水位の低下と土地条件の安定化に伴う土壌発達が示唆される。

一方、草本花粉については、縄文時代晩期から弥生時代中期の層準に向かって、草本花粉の比率が急増することが大きな特徴として認識される。後述する植物珪酸体分析結果をふまえると、調査区には、ヨ

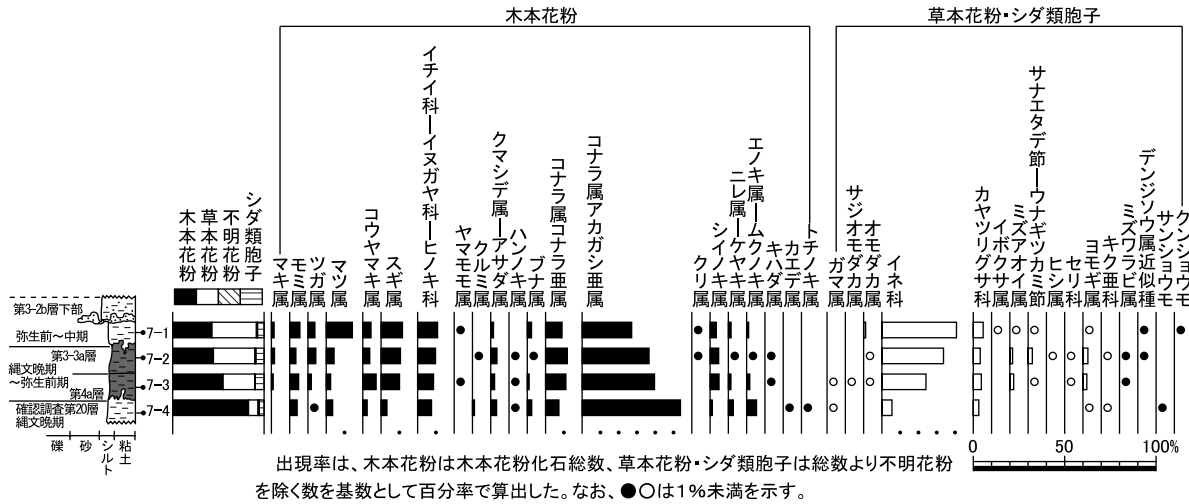


図272 7地点の花粉化石群集の層位分布

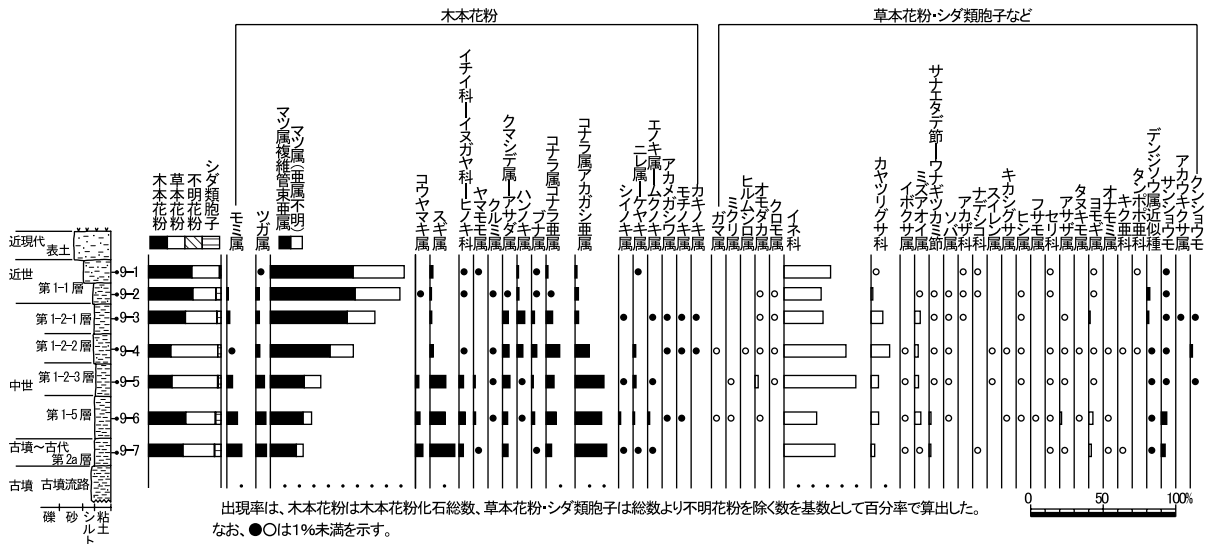


図273 9地点の花粉化石群集の層位分布

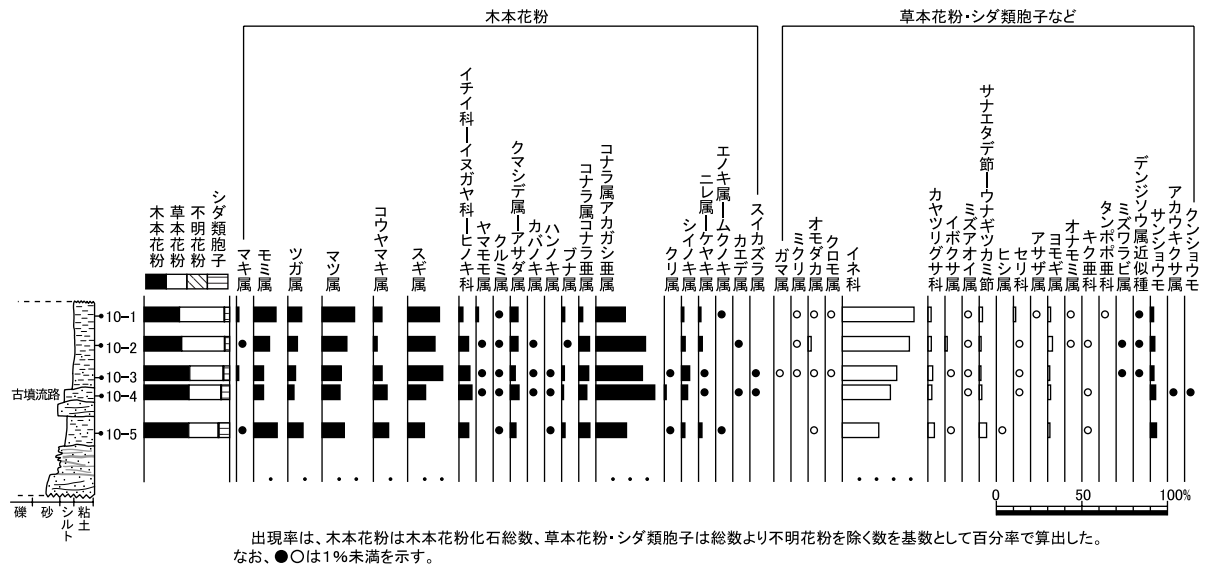


図274 10地点の花粉化石群集の層位分布

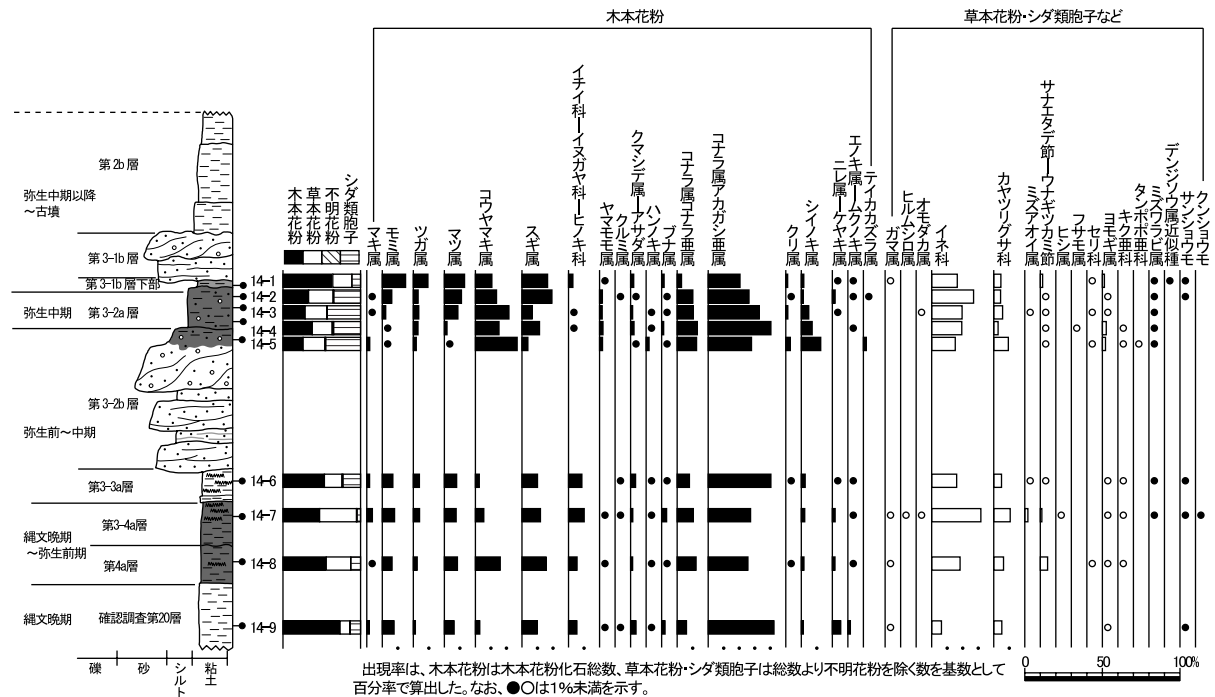


図275 14地点の花化石群集の層位分布

シ属、ススキ属などのイネ科、サナエダダ節・ウナギツカミ節、カヤツリグサ科、ヨモギ属が生育していたと推定される。本調査区やその周囲では、弥生時代前期頃から人間活動が本格的に展開し、弥生時代中期に比較的広い範囲で水田が造成される。このような発掘調査結果をふまえると、当該期に認められる草地拡大は、讃良郡条里遺跡およびその周辺での居住地や耕作地形成と、その領域増加に伴うものと判断される。よって、弥生時代前期～中期に調査区やその近辺では、上記した草地在微地形や遺構などの土地条件に応じて主体をなすような明るく開けた景観が形成されていたと考えられる。

また、人間活動が本格化する以前の縄文時代晩期～弥生時代前期ないしそれ以前の調査区では、珪藻分析および層相から復元される古水文環境をふまえると、ヨシ属を中心とする草本が生育する湿地が広がっていたと考えられる。

・弥生時代中期以降～古墳時代

古墳時代には、モミ属、ツガ属、コウヤマキ属、マツ属、スギ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科の針葉樹花粉の割合が増加し、アカガシ亜属の割合が減少したため、木本花粉化石においては、際だって多い種類がみられなくなる。このような花粉化石群集の変化は、当該期に認められるとされる冷涼・多雨化の気候変化に伴う温帯針葉樹林の増加によるものと推定される。これまでの大阪湾岸域での考古遺跡での花粉分析を考慮すると、本遺跡で認められた針葉樹の増加は、広域的な植生変化であり、局地的な変化ではないと判断される。よって、調査区背後に山地斜面では、古墳時代に針葉樹が増加したことが推測される。

草本花粉では、ガマ属、ミクリ属、オモダカ属、クロモ属、ヨシ属、イボクサ属、ミズアオイ属、ヒシ属、アサザ属、ミズワラビ属、サンショウモ、アカウキクサ属、クンショウモといった水生～湿地生の草本植物の種類数が増加し、産出率も高くなる傾向が全体的に認められるようになる。層相および珪藻分析では、弥生時代中期以降に調査区において相対的水位が上昇傾向に転じたことが確かめられており、調和的な分析結果と判断される。従って、弥生時代中期以降から古墳時代に調査区では、微高地を

なす扇状地のローブ頂部付近を除き、沼沢地や湿地、一部に池沼などが存在するような場所に、上記した水生～湿地生植物が繁茂するような湿潤な環境が形成されていたと考えられる。

・古代～近世

古代～近世には、近世に向かいマツ属の急増と、これとは逆にモミ属、ツガ属、コウヤマキ属、マツ属、スギ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科の針葉樹、アカガシ亜属の常緑樹、コナラ亜属の落葉樹が急減していく。マツ属が優占する近世の層準では、分析地点が少なく確定的ではないが、木本花粉の種類集が中世の層準に比べ減少する傾向もうかがえる。当該期におけるマツ属の増加に特徴づけられる花粉化石群集の変遷については、これまで蓄積されてきた弥生時代以降の植生史的研究成果（波田，1987・那須，1980など）をふまえると、人間による山地斜面の植生干渉に伴うマツの二次林化やハゲ山化によるものであると解釈される。よって、讚良郡条里遺跡周辺では、古代頃から次第に山地斜面での人間による植生干渉の頻度と強度が強まり、中世～近世にかけてそれが加速的に強まったことが花粉分析結果から示唆される。

当該期の草本花粉については、弥生時代中期以降～古墳時代と同様に、多様な水湿地生の草本の産出が目立つ。弥生時代中期以降～古墳時代に産出した上記の水湿地生の草本は、いずれも水田雑草として水田内や付帯施設（用水路や溜め池など）に普通にみられる種類でもある。古代～近世には、調査区やその周囲で広く水田などの耕作地が広がっていたことが発掘調査結果から確認される。このことから、本時期に確認されるガマ属、ミクリ属、ヒルムシロ属、サジオモダカ属、オモダカ属、クロモ属、ミズオオバコ属、ヨシ属、イボクサ属、ミズアオイ属、スイレン属、ヒシ属、アサザ属、ゴキズル属、ミズワラビ属、サンショウモ、アカウキクサ属、クンショウモといった水湿地生の草本の多くは、耕作地に伴う雑草としてススキ属、コブナグサ属、イチゴツナギ亜科、ヨモギ属、キク亜科などと共に、水田、畦畔や畑地もしくは休閑地、耕作地の周囲などに生育していたと推定される。

また、後述する植物珪酸体群集では、古墳時代から古代にかけてヨシ属が減少し、ネザサ節を含むタケ亜科の増加が広く認められるようになる。このような変化からは、調査区およびその周辺において、洪水堆積物による湿地域の埋積や、人間による耕作地造成による湿潤地の減少に伴い、ネザサ節などの生育するような乾いた場所が当該期に広がった可能性が示唆される。

（3）栽培植物のイネ属の産状について

・03-5-5～7トレンチ

本節では、栽培種であるイネ属珪酸体の産状について検討を行う。分析結果については、図276～278に示す。縄文時代晩期～弥生時代前期頃の第4b層ではイネ属がわずかに認められた。これらの層には層相や珪藻化石の産状から流水の影響がうかがえるため、検出されたイネ属は上流域での稲作地から流入したものと思われる。この点については、03-5-8～10トレンチで本層準に対比される堆積層で実施した軟X線写真による層相からも裏付けられている。

弥生時代中期の第3-3a層では、イネ属珪酸体が認められ、特に機動細胞珪酸体の含量が多く、8,000個/g以上の密度を示した。当該期の本調査区および03-4調査区の発掘成果をふまえると、本分析地点ないし極近辺において、稲作が行われていた可能性が指摘される。また、03-5-5トレンチの試料ではヨシ属も大量に検出されており、ヨシヤツルヨシといったヨシ属の大群落が形成される時期が存在したとみられる。

古墳時代～古代の土壌である第2a層では、イネ属が認められたものの、その含量は少ない。

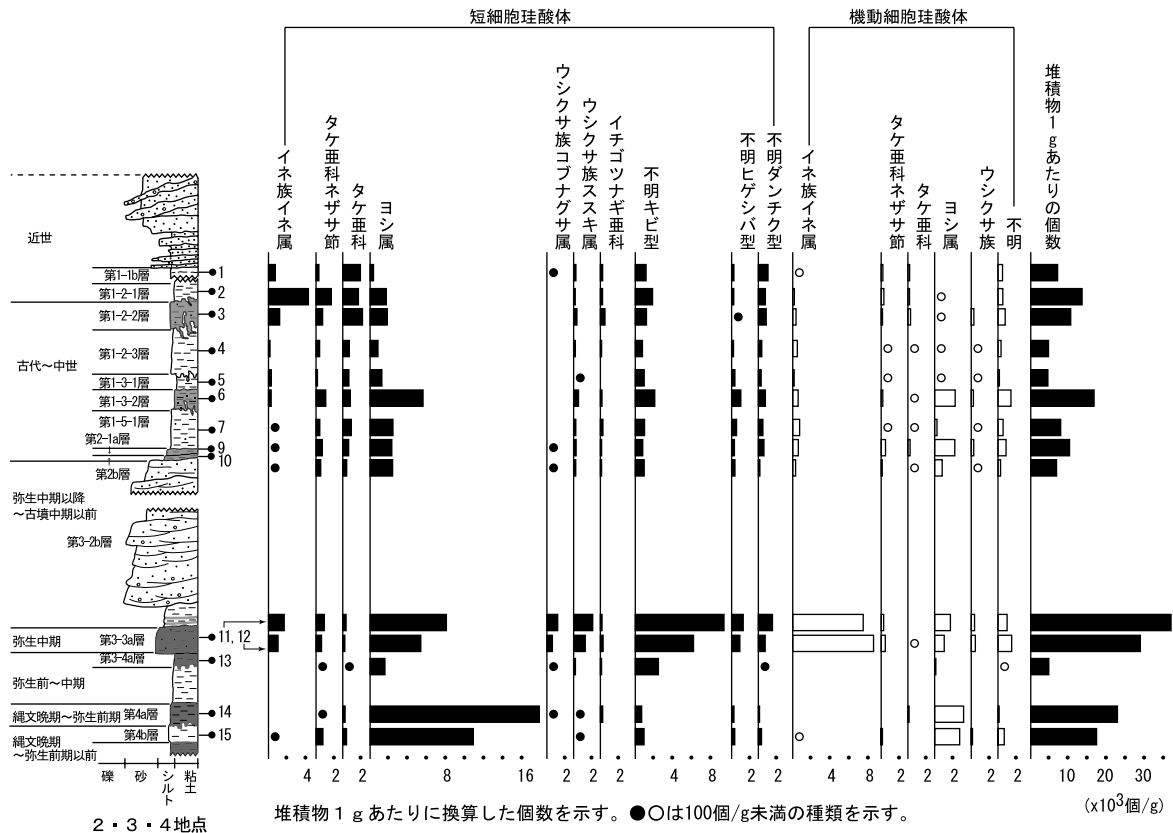


図276 1～4地点の植物珪酸体含量の層位変化

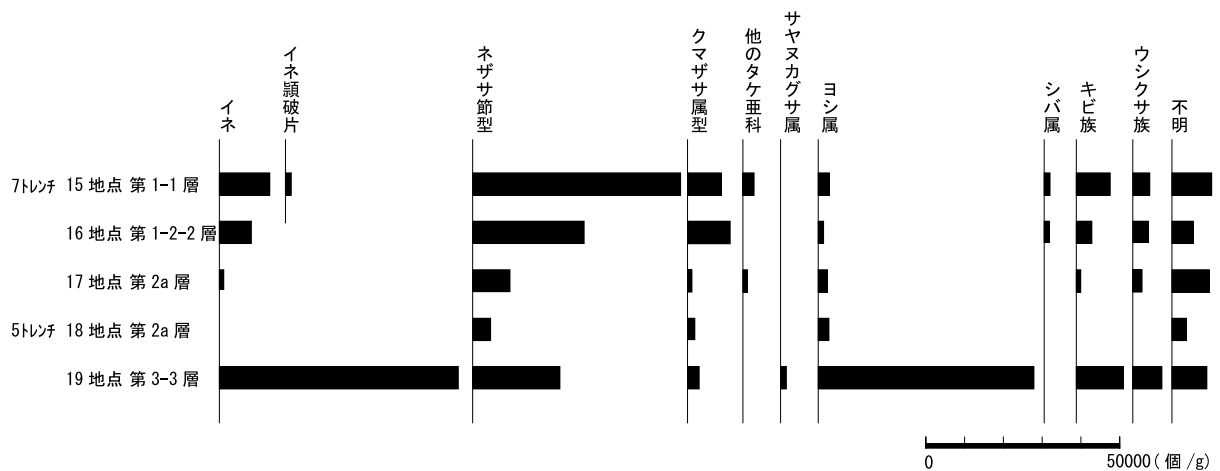


図277 03-5-5～7トレンチ15～19地点の機動細胞植物珪酸体含量の層位変化

古代～中世の第1-5層から第1-2-2層ではイネ属が認められたものの、その含量が少ない地点が多く、03-5-7トレンチの第1-2-2層でのみ8,300個/gと比較的多産した。第2-1a層から第1-2-2層には、上流側などで水田域が分布しており、相対的に低所に位置する調査区内に周囲から流れ込みがあった可能性も十分に想起される。そのため、古代～中世の層準での稲作の有無は、イネ属珪酸体の含量のみから判断することは難しい。

近世と推定される第1-1層からは、イネ族機動細胞珪酸体が13,200個/gと多産した。本分析地点ないし極近辺において、稲作が行われていた可能性が指摘される。本試料の採取地点が畦畔の可能性が高いに近接することとも同調的である。

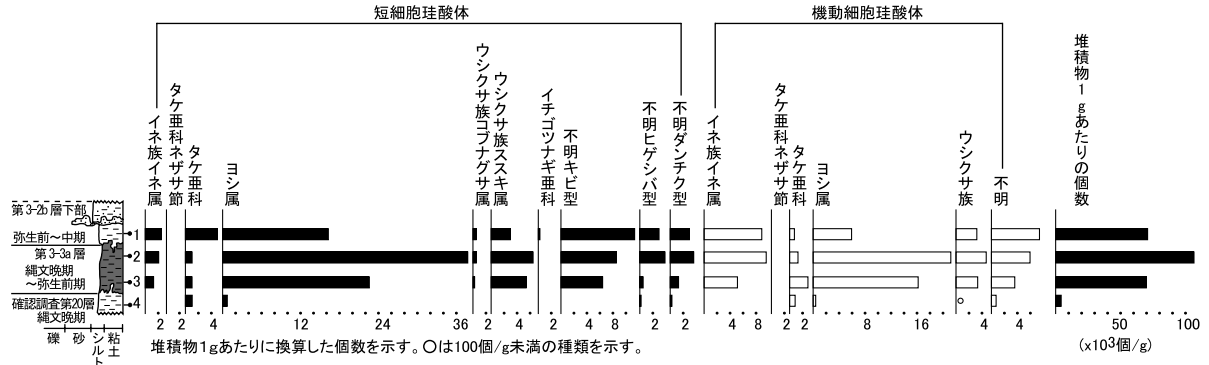


図278 7地点の植物珪酸体含量の層位分布

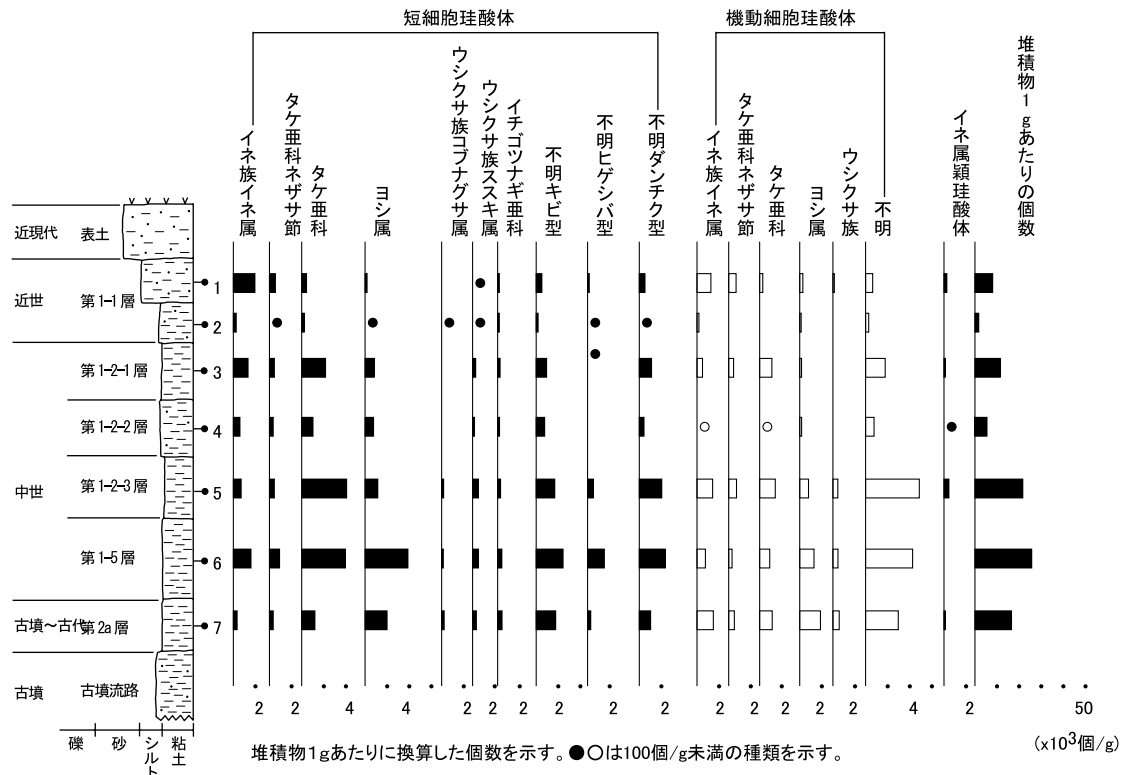


図279 9地点の植物珪酸体含量の層位分布

・03-5-8～10トレンチ

分析結果を図279～281に示す。7地点、14地点の縄文時代晩期～弥生時代前期の第3-4a層からは、栽培種であるイネ属の短細胞珪酸体や機動細胞珪酸体が検出されている。これまで各地で行われた植物珪酸体分析の結果をみると、稲作が行われた水田跡の土壌ではイネ属の機動細胞珪酸体が5,000個/g程度検出されることが多いとされる(杉山,2000)。7地点では、この含量を超える5,000個/gないし9,000個/g程度のイネ属機動細胞珪酸体が検出されており注目される。但し、03-5-5トレンチ3地点で第3-4a層に対比される層準では、イネ属が検出されず、その直下の第4b層に対比される層準で、わずかにイネ属が検出されているのみである。本層準のイネ属については、後述する軟X線写真による層相観察から、周囲からの流れ込みであると認識される。水田跡が検出された弥生時代中期の第3-2a層では、イネ属珪酸体が水田検出層準の直下および直上の層準に比べ顕著な産出を示す。このようなイネ属珪酸体の産状から、植物珪酸体分析においても本層準での稲作が裏付けられる。イネ属の含量は13地点の試料番号13-2で多

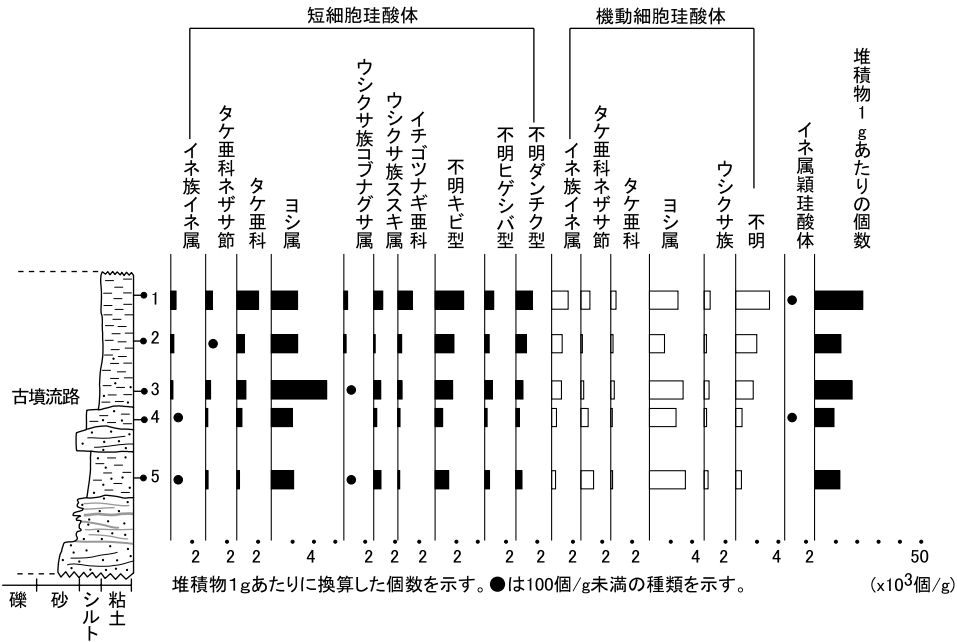


図280 10地点の植物珪酸体含量の層位分布

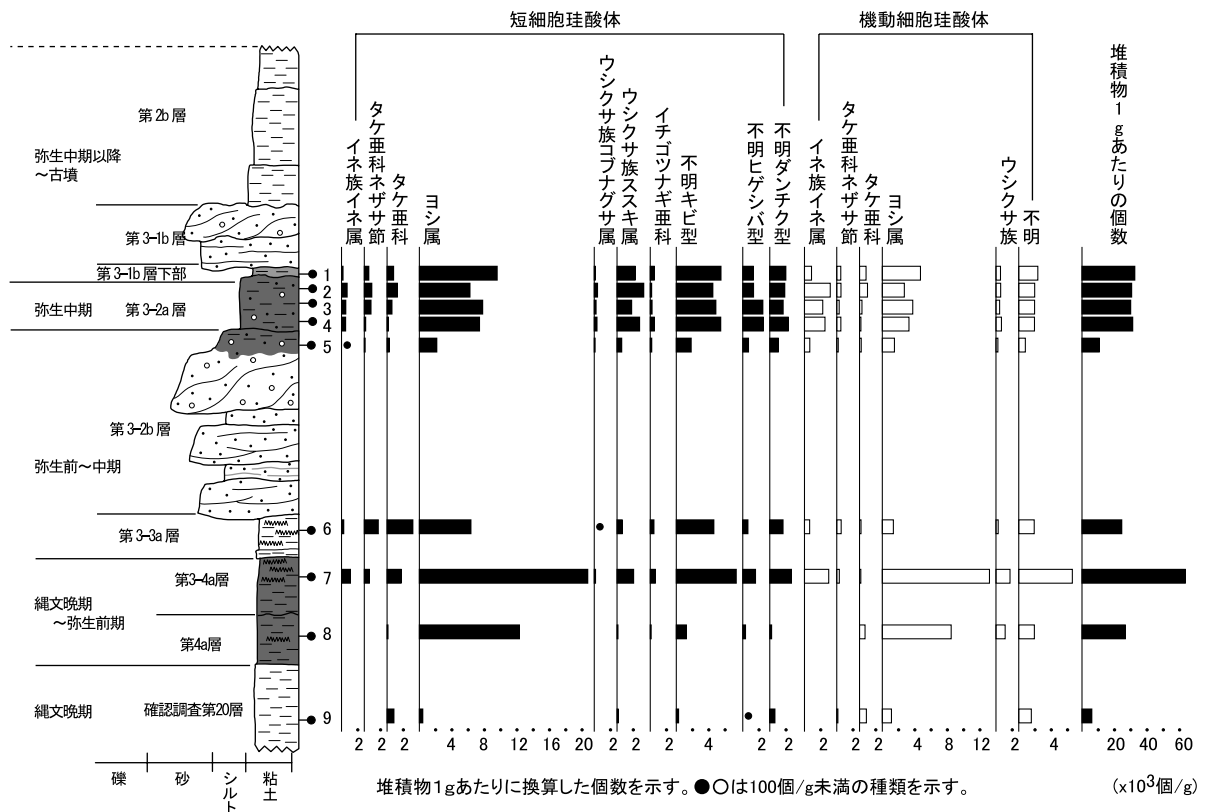


図281 14地点の植物珪酸体含量の層位分布

く（短細胞珪酸体が約1,700個/g、機動細胞珪酸体が約3,700個/g）、他の試料では同等である（短細胞珪酸体が500個/g前後、機動細胞珪酸体が2,000個/g前後）。第3-2a層に対比される03-4調査区の層準では、短細胞珪酸体が700個/g前後、機動細胞珪酸体が3,200個/g前後であった。また03-5-5トレンチ3地点で第3-3a層に対比される層準では、短細胞珪酸体が1,000～1,600個/g前後、機動細胞珪酸体が7,300～8,400個/g前後であった。03-5-5トレンチ3地点において周囲よりもイネ属珪酸体が多産したのは、本地点が03-

4と03-5調査区の領域において局地的な凹部に相当しており、周囲の水田から供給された珪酸体が集積するような場所であったと推測される。さらに当該期に本地点は、湿潤な土壤環境が形成されており、化石の保存状態も周囲の地点よりも良好であったことも多産の要因となっていると推定される。

10地点の古墳時代流路堆積物では、イネ属も検出されているが、分析地点が流路内であることを考慮すると、これらは周辺に存在していた稲作地から供給されたものと考えられる。

中世～近世の耕作土の分析を実施した9地点では、イネ属機動細胞珪酸体の含量が数百～千個/g前後と低密度であったが、03-5-7トレンチの第1-2層では8,300個/gと多産した。地点によるイネ属珪酸体含量の差異については、03-5-7トレンチ側で標高が低いことを踏まえると、珪酸体を引き領域に移動・集積した結果を示している可能性が高い。また、第2a層～第1-2-3層でイネ属珪酸体の含量が少なかった要因については、現段階で不明であり、今後、軟X線写真など用いたより詳細な層相解析などをふまえ検討を行っていくことが必要と判断される。

(4) 調査区内に累重する堆積層

i) 堆積相

今回の分析調査では、現地において試料採取を行うとともに、試料採取地点付近に認められた堆積層についての地質学的な記載に努めるようにも心掛けた。その結果、現地における堆積層の肉眼観察から以下のような堆積相が認定された(図282)。さらに図283には、03-4調査区と03-5調査区との分析地点についての層序対比図を示す。

本節では、これらの堆積相と上記した微化石分析結果にもとづき、調査区の堆積環境と古環境変遷を記述する。なお、堆積相については、Miall (1992,1996) の河成堆積相コードや松田 (1999b,2000) と中嶋ほか (2004)、人為的な擾乱堆積物の層相については、松田・パリノ・サーヴェイ (1996) の記載を参考とした。土壤については、日本ペトロロジー学会編「土壤調査ハンドブック 改訂版」に準じて記載を行った。また、堆積相の形状を示すarchitectureについては、中嶋ほか (2004) に従い「外形」と表現する。

GSt：トラフ型斜交層理：葉理をなす砂礫。礫が卓越する。細粒の中礫混じりの細礫から極粗粒砂で構成される。外形は流路状の層理面を示し、下位層を侵食して累重する。

GSp：プラナー型斜交層理・葉理をなす砂礫。非常に礫がち。中粒の中礫混じりの細礫～極粗粒砂で構成される。下位層への侵食はほとんど認められない。外形はレンズ状を呈し、上の凸状の層理面を示す。

St：ラフ型斜交層理：葉理をなす礫混じり砂。おもに中粒砂～極粗粒砂からなる。外形は流路状の層理面を示すものが多いが、層状やレンズ状を呈すものも認められる。上方細粒化がよく観察される。

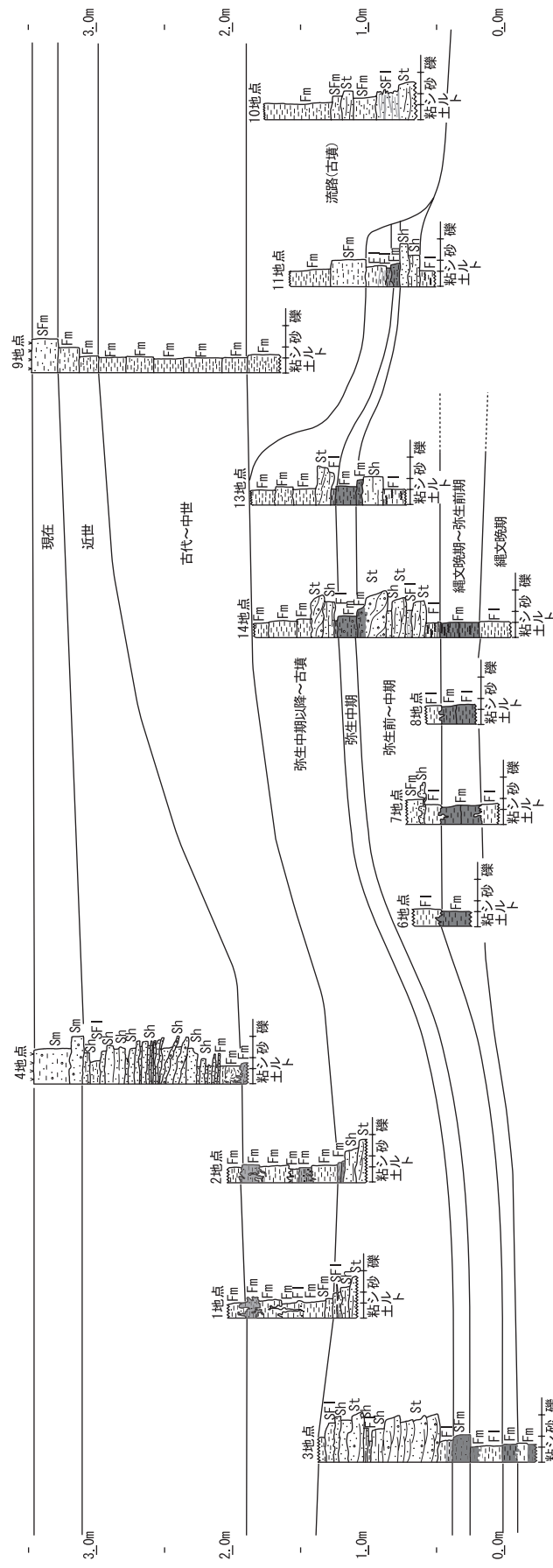
Sh：水平ないし低角度(10°以下)の平行葉理をなす砂。中粒砂～極粗粒砂で構成される。下位層への侵食はほとんど認められない。外形は層状、レンズ状を示す。

Sm：塊状をなす砂。細礫混じりの細粒砂～極粗粒砂で構成される。淘汰は悪い。下位層への侵食はほとんど認められない。外形は層状、レンズ状を示す。

SFl：平行葉理をなす泥混じり砂～泥質砂。不明瞭な平行葉理を持つものが多い。砂は細粒砂～粗粒砂で構成される。下位層への侵食はほとんど認められない。外形は層状を示すものがほとんどであるが、流路状の外形を埋積するものも認められる。有機質に富む層相を示すものも存在する。このような層相を示す堆積相では、材および種実・葉化石が多く含まれる場合が多い。葉化石片は、平行葉理をなして

T. P. 4.0m

T. P. 4.0m



凡例

	古土壌		有機質泥		砂質泥~泥質砂		細砂~中礫		平行管理・薬理		トラフ型斜交管理・薬理		炭化物		植物遺体
	泥炭質粘土		粘土・シルト		砂		平行管理・薬理		プラナー型斜交管理・薬理		炭化物		植物遺体		腐植に富む薬理
	粘シ砂礫		粘シ砂礫		粘シ砂礫		粘シ砂礫		粘シ砂礫		粘シ砂礫		粘シ砂礫		粘シ砂礫

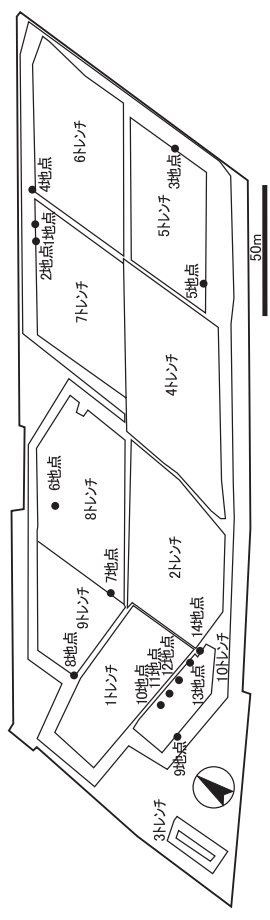


図282 讚良郡糸里遺跡 (03-5・06-2) における堆積物の累重状況

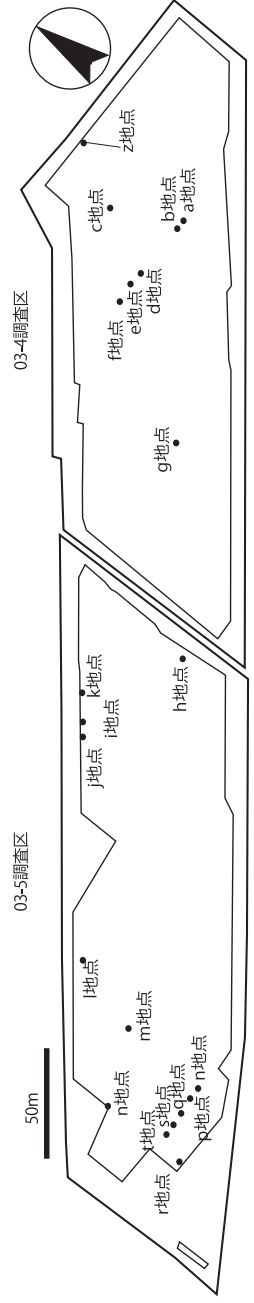
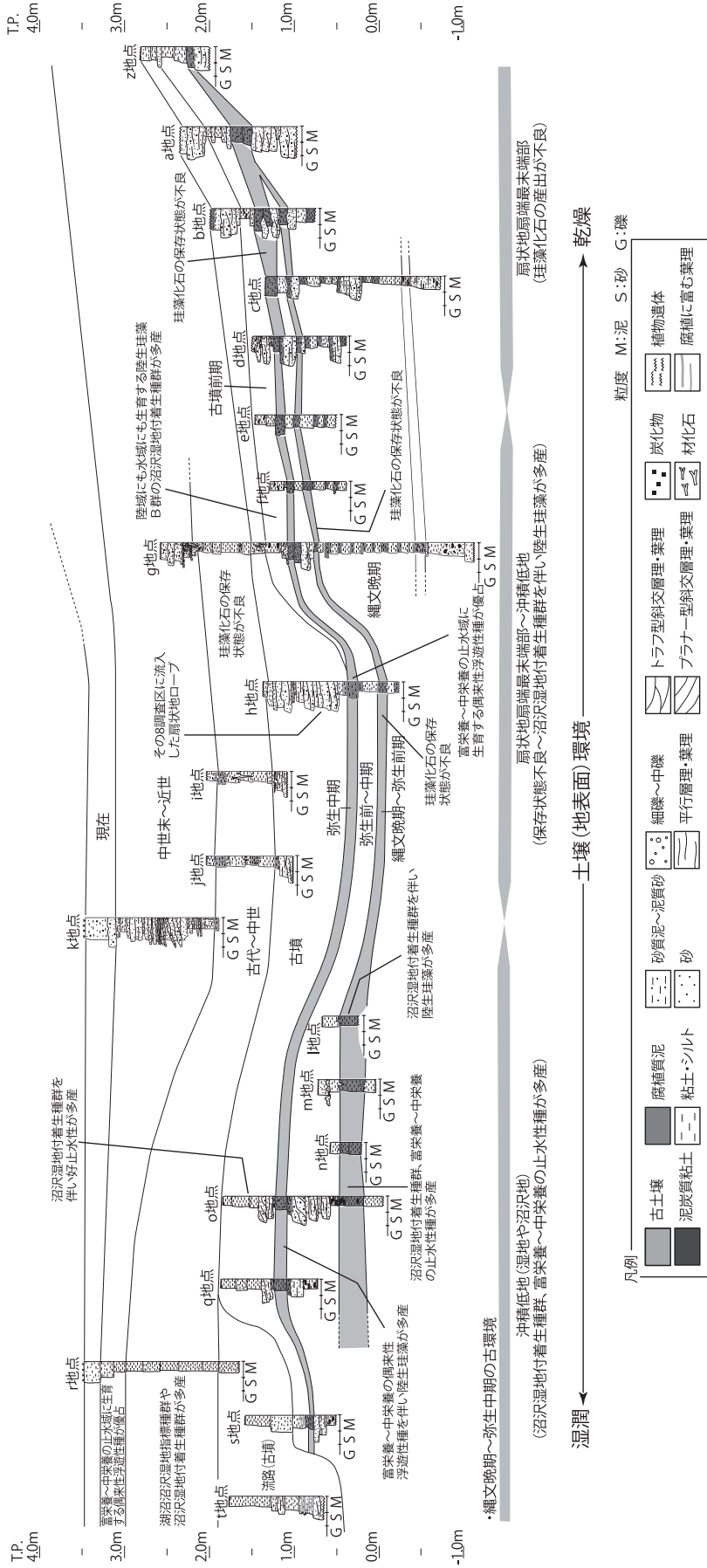


図283 讚良郡桑里遺跡03-4・03-5調査区柱状模式断面図

挟在することが多い。砂層と泥層の互層をなす場合がある。砂層は淘汰の良い細粒砂～極粗粒砂、泥層はおもにシルトで構成される。砂泥互層ないし砂層のレンズの層厚は、5mm～数cm程度を測る。砂層をレンズ状に挟在する場合もある。

SFm：見せかけ上塊状をなす泥混じり砂～泥質砂。砂は細粒砂～粗粒砂で構成される。淘汰は悪い。下位層への侵食は認められない。外形は層状を示す。有機質に富む層相を示すものも存在する。本相では、古土壌と判断される堆積相を含む。古土壌と判断される層準では、根痕などの著しい生物擾乱や土壌発達による構造が顕著に認められる。また、砂質の耕作土や遺構堆積物などの人為的擾乱堆積物も本相に含まれる。

Fl：平行葉理をなす泥～砂質泥。泥はおもにシルト質粘土～粘土質シルトで構成される。下位層への侵食は認められない。外形は層状を示すものがほとんどであるが、流路状の外形を埋積するものも認められる。泥層中に細かな植物片が含まれることが多い。また、有機質に富む層相を示し、多量の植物遺体が含まれるものも存在する。

Fm：見せかけ上塊状をなす泥～砂質泥。泥はおもにシルト質粘土～粘土質シルトで構成される。下位層への侵食は認められない。外形は層状を示す。泥層中に細かな植物片が含まれる。本相では、古土壌と判断される堆積相を含む。古土壌と判断される層準では、根痕などの著しい生物擾乱や土壌発達による構造が顕著に認められる。また、泥質の耕作土や遺構堆積物などの人為的擾乱堆積物も本相に含まれる。

ii) 堆積環境変遷

・縄文時代晩期～弥生時代前期

調査区内に累重する堆積層の最下部には、層状の外形をなしてFm、Flをなす縄文時代晩期～弥生時代前期に形成された層準が累重する。Fmは有機質に富み暗灰～黒褐色、Flは緑灰色を呈し、これらが互層をなす。緑灰色を呈するFlは、浮遊土砂を多く含む懸濁した氾濫水が浮遊沈降するような堆積場が推定される。灰～黒褐色を呈し腐植質に富み、草本植物の根痕と考えられる生物擾乱が顕著に観察されるFmは、滞水域の水位低下や離水によって地表面付近で発達した古土壌と判断される。縄文時代晩期から弥生時代前期には、滞水域と古土壌の層相が互層をなして上方へと累層することから、離水と水没を頻繁に繰り返すような堆積環境を繰り返しながら埋積が進行したことが示唆される。

縄文時代晩期から弥生時代前期にかけて形成された層準では、調査区の東方へ向かうに連れて粗粒物質の挟在が顕著となる。03-4調査区の東半部に相当するa～d地点では、Fm、Flの互層中に、レンズ状の外形を呈するStが挟在する。このStは、外形と層相から洪水によって流入した掃流砂礫と考えられる。03-4調査区e、f、g地点と03-5調査区東半部に相当するh地点では、Fm、Flの互層のみとなり、粗粒物質の挟在が認められなくなる。さらに03-5調査区西半部では、互層をなすFm、Flのそれぞれの層厚が増す傾向が観察される。上記のような03-4から03-5調査区にかけての縄文時代晩期から弥生時代前期における側方への堆積層の層相変化は、地形と累重する堆積層をふまえると、沖積扇状地扇端部から後背湿地の層相変化を示していると判断される。

これらの堆積相のうち、最上部に形成された古土壌をなす縄文時代晩期～弥生時代前期に形成されたFmでは、側方への堆積相変化および地形勾配と珪藻分析結果に明瞭な対応関係が認められた。相対的高所に位置するg地点やこの地点に近いh地点では、珪藻化石の産出が不良であり、層相をふまえると乾燥した好気的な土壌環境下での風化・消失が推定される。l地点では沼沢湿地付着生種群を伴い陸生珪

藻が多産し、基本的に地表面が大気化に存在するものの、半乾～半湿の適度に土壤中の水分が保たれるような土壌環境であったと解釈される。m地点以西では、沼沢湿地付着生種群を含む流水不定性種や富栄養～中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種を含む止水性種を伴い、塩類の豊富な沼沢地や池沼のような止水域であったことが示唆される。

上記の堆積層の観察および珪藻分析結果と図283の層序対比結果から、縄文時代晩期から弥生時代前期に03-4から03-5調査区では、03-4調査区 a～d 地点で扇状地扇端最末端部、03-4調査区 e～g 地点から03-5調査区 l 地点で扇状地扇端最末端部～沖積低地への移行帯、03-5調査区 m 地点以西で湿地や沼沢地の堆積環境が形成されたと考えられる。

以上、縄文時代晩期～弥生時代前期の03-4～03-5調査区の土壌環境についてまとめると、03-4調査区から03-5調査区東半部では、03-5調査区西半部よりも相対的に乾燥した土壌環境が形成されていたと判断される。さらに扇状地扇央部やより古い扇状地面が分布する03-4調査区以東の調査区では、地表面がさらに乾燥した土壌環境であったと推定される。03-5調査区西半部では、かなり湿潤な土壌環境であったと考えられる。このような03-5調査区では、ほぼ全域にヨシ属などからなる湿性草本が分布していたと判断される。これに対し、03-4調査区でもこの時期には、ヨシ属が多く生育していたと考えられるが、扇状地ロープ上や相対的に標高の高い調査区東半部付近を中心にススキ属やヨモギ属といった比較的乾いた場所を好む草本も分布していたことが推察される。

・弥生時代前期～中期

縄文時代晩期～弥生時代前期の古土壌のFm上部には、03-4調査区西半部以西にかけて弥生時代前期～中期に形成されたF1が累重する。03-4調査区東半部では、縄文時代晩期～弥生時代前期のFmをレンズ状の外形をなすStが直接覆う。03-5調査区に存在するF1からは、富栄養～中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種や、中～下流性河川指標種群を含む流水性種を伴う流水不定性種が多産する珪藻分析結果が得られている。このようなF1の上部には、レンズ状ないし層状の外形をなすSF1、Sh、Stからなる砂層が累重する。当該期の層準に挟在する砂層は、外形と層相から洪水によって流入した掃流砂礫と考えられる。これらの砂層最上部には、Fmからなる古土壌が形成されており、03-5調査区の珪藻分析の結果、陸生珪藻が多産することが判明している。

上記の堆積層の観察および珪藻分析結果から、弥生時代前期～中期に03-4から03-5調査区では、相対的な水位上昇によって、地形勾配に対応して乾燥から湿潤に至る安定した土壌が形成されるような環境から、河川氾濫の影響を受けるような後背湿地へと堆積環境が変化したことが推定される。その後、後背湿地は流路や洪水によって運搬されてきた砂層に埋積され、その上面が離水し、地表面付近が乾燥した環境となり、土壌が形成されるような好気的な地表面の環境となったと考えられる。なお、後背湿地へ堆積環境が変化した時期には、03-4～03-5調査区の広い範囲でヨシ属が分布するようになったと推測される。

・弥生時代中期

弥生時代中期の層準は、古土壌である腐植質に富むSFmとFmで構成される。03-5調査区では、相対的に標高の高いo、q地点で富栄養～中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種を伴い陸生珪藻が多産、標高の低いh地点で富栄養～中栄養の止水域に生育する偶来性浮遊性種が優占する珪藻分析結果が得られている。03-4調査区のg地点では、珪藻化石の保存状態が不良である。なお、弥生時代中期のSFmとFmでは、広い範囲において人為的な攪乱を示す層相が分布し、最上部で畦畔などの水田耕作に伴う遺構が

検出されている。

上記の堆積層の観察および珪藻分析結果から、弥生時代中期に03-4から03-5調査区は、地表面付近がしばしば乾燥する状況において、好气的環境下で安定して土壌発達が行われるような場所であったと推定される。当該期には、このような土壌帯において耕作地の開発とその維持・管理を主体とする人間活動を行っていたことが発掘調査結果からうかがえる。このような人間活動に伴い、調査区やその周囲では、ヨシ属、ススキ属などのイネ科、サナエダデ節・ウナギツカミ節、カヤツリグサ科、ヨモギ属などからなる明るく開けた草地の面積が相対的に拡大したと考えられる。

なお、珪藻分析結果からは、03-5調査区の方が03-4調査区に比べ相対的に湿潤な土壌環境であったことが示唆される。また、弥生時代前期～中期に累重した氾濫堆積物の砂層の高まりに囲まれた局地的な凹部をなすh地点では、層相と珪藻分析結果から、過湿の土壌環境ないし、降雨後には浅い滞水域となるような堆積環境であったとも推定される。湿潤な場所を好むヨシ属などの水湿地生の草本は、03-5調査区で比較的広く存在していたと推測される相対的な水位が高い湿潤な領域や、水田、溝などの遺構および上記したような地形的凹地を中心として分布していたものと推測される。一方、03-5調査区よりも乾燥した土壌環境下にあったと判断される03-4調査区の水田およびその周囲の領域では、ヨシ属の他に、コブナグサ属やススキ属、ナデシコ科、アブラナ科、ヨモギ属といった草本も相対的に多く分布していたものと考えられる。さらに、03-4調査区の水田耕作土では、03-5調査区で検出されていない樹木起源の珪酸体が広く検出されていることにも注目される。上記のような樹木起源珪酸体の産状から、03-4調査区では、水田造成以前ないしその後、調査区内に部分的に樹木が存在していたことも想定される。これらのように、弥生時代中期の水田耕作土における花粉化石および植物珪酸体群集は、03-5調査区と03-4調査区において差異が認められ、この点について今後より詳細な古環境に関する検討を行っていくことが課題と認識される。

・弥生時代中期～古墳時代

弥生時代中期の古土壌をなすSFm、Fmは、弥生時代中期以降～古墳時代に形成されたFIに覆われる。このFIでは、03-4調査区で陸域にも水域にも生育する陸生珪藻B群であり沼沢湿地付着生種群の珪藻が、03-5調査区で沼沢湿地付着生種群を伴い好止水性が多産する。FIの上部には、レンズ状ないしローブ状をなしてSt、Sh、SF1、FIが累重する。これらは、下位層をほとんど侵食することなく堆積している。03-5調査区東半部のh地点では、StないしShが厚く堆積しており、これらにSF1、FIの薄層が挟在する。h地点で当該期に累重した砂礫層は、03-4と03-5調査区での層序対比結果や外形から、扇状地のローブを構成する堆積層と解釈される。Stからなる砂層の累重は、03-4調査区東半部のa、b地点でも認められる。これらのStは、外形と層相から洪水によって流入した掃流砂礫と考えられる。なおh地点やa、b地点付近では、砂層の高まり上に形成された古土壌から、古墳時代の居住域に関連する遺構が検出されている。これらの砂礫層の高まりの周囲には、03-5調査区西半部のo、q地点でFmの累重が、s、t地点でSt、Sh、SF1、SFm、Fmで埋積される古墳時代の流路が確認されている。

上記の堆積層の観察および珪藻分析結果から、弥生時代中期以降～古墳時代には、地表面で土壌が発達するような好气的な環境から湿地ないし滞水域へと堆積環境が変化したことが読みとれる。その後、古墳時代までには、a、b地点やh地点で、洪水によって流入した砂層が累重するようになる。砂層が厚く堆積したh地点では、扇状地のローブが形成されたと考えられる。当該期のh地点での砂層累重は、縄文時代晩期～弥生時代前期に形成された扇状地堆積物の前面に形成されており、低地側に位置する03-5

調査区へ扇状地扇端部が前進したことを示すと解釈される。古墳時代には、このような扇状地性の氾濫堆積物からなる微高地上で居住域が形成されたことが発掘調査において確認されている。微化石分析の結果から、微高地の縁辺部は、ヨシ属が多く見られ、地下水位が高い湿潤な環境であったことがうかがえる。さらにその周囲には、湿地や沼沢地が広がり、そのような場所でガマ属、ミクリ属、オモダカ属、クロモ属、ヨシ属、イボクサ属、ミズアオイ属、ヒシ属、アサザ属、ミズワラビ属、サンショウモ、アカウキクサ属、クンショウモなどが生育する湿性の草地が成立していたと判断される。

・古代～中世

古代～中世には、03-4・03-5調査区内において層状の外形をなすFm、Flが広く分布するようになる。これらのFl、Fmは、その粒度組成から、河川から氾濫してきた浮遊土砂が静水域で沈降して形成された堆積物ないし、それらを母材としていることが推定される。本層準のほとんどは、Fmによって構成される。Fmでは、青灰色と有機質を含み褐色を呈する層準が存在する。堆積層中には、炭化物粒や黒褐色の有機物や炭化物からなる葉理が挟在する部分も観察される。これらの層準の珪藻分析結果では、03-4調査区で化石の保存状態が不良であったのに対し、03-5調査区では湖沼沼沢湿地指標種群や沼沢湿地付着生種群が概して多産する傾向となる。また、03-4調査区では当該期の堆積層において赤褐色を呈する管状ないし糸根状の斑紋が顕著に観察されるのに対し、03-5調査区でそのような斑紋がほとんど観察されない。

上記の堆積層観察および珪藻分析結果から、古代～中世には浮遊土砂を多く含む氾濫水の流入と、その沈降が繰り返されるような滞水域や湿地の堆積環境が形成されたと考えられる。このような堆積環境下において、03-5調査区は、03-4調査区に比べ相対的な水位が高く、非常に湿潤な環境下にあったことが想定される。03-5調査区で顕著に累重する泥層は、本調査区において、排水不良の後背湿地の堆積環境が継続的に形成されたことが示唆される。03-5調査区は、縄文時代晩期以降に断続的に形成された扇状地ロープの末端部に位置する03-4調査区と、弥生時代以降に顕著な自然堤防堆積物が累重する03-6調査区に挟在される。このような調査区の配置から、03-5調査区で古代以降顕著となった泥層の累重は、本調査区の周囲が閉塞され排水不良になったことに起因するものと推定される。このような堆積環境変化に対応して、調査区内では、古墳時代に引き続き、水湿地生の草本が繁茂するような植生景観が成立していたと考えられる。

・中世末～近世

中世末～近世には、03-4調査区から03-5調査区東半部においてShの累重からなる砂層の堆積が認められる。本層で認められるShには、非常に明瞭な平行葉理が観察される。この平行葉理は、高流領域に生じる平滑なベットフォームと判断される。調査区内におけるこれらの堆積相の分布状況から、このShは、流路からの破堤によって調査区に流入した洪水堆積物と判断される。Shの堆積が及んでいない領域およびその下部と上部には、当該期に形成された耕作土が存在している。

破堤堆積物であるShは、03-4・03-5調査区に広く分布している。このような洪水堆積物は、中世以前に調査区内において認められない。このことから、讃良郡条里遺跡では、中世末頃から洪水堆積物が累重するようになり、堆積環境に変化が生じたことが示唆される。このような状況は、本遺跡の立地をふまえると、後背地の山地斜面からの土砂供給に変化があった可能性が高いと判断される。

当該期の花粉分析結果では、マツ属花粉が優占するとともに、草本花粉の比率が卓越する。花粉分析結果からは、後背地の生駒山地西麓斜面で、中世末以降に疎林ないしハゲ山化していたと解釈される。

上記の堆積環境および古植生変化をふまえると、讃良郡条里遺跡の03-4・03-5調査区付近で認められた、それ以前より相対的に頻度と強度が大きい、中世末頃以降の粗粒な洪水堆積物の流入は、後背地の生駒山地西麓斜面の植生破壊に基因する土砂流出量の増大に基因すると判断される。

同様の堆積環境および古植生変化は、本遺跡の北東約12kmの生駒山地西麓斜面に位置する交野地域の天野川流域の上私部遺跡、私部南遺跡、津田遺跡などでも確認されている。また、讃良郡条里遺跡に隣接する葎屋北遺跡では、岡部川沿いの調査区において古代後半～中世に顕著な洪水堆積物の累重が報告されている（辻・辻本,2006）。さらに、交野地域の山地斜面麓部の津田遺跡での開析谷内の花粉分析結果では、土砂流出量の増大とマツ属花粉の優占が鎌倉時代頃から認められることも確認されている。私部北川の天井川沿いの微高地に隣接する上私部遺跡では、中世以降のマツ属の急増と、近世の層準で03-5調査区のk地点の中世末～近世のshと同様の洪水堆積物の存在が報告されている（辻ほか,2007）。隣接する私部南遺跡でも同様の堆積環境および古植生変遷が確認されている（辻・辻本,2007）。

上記した遺跡や讃良郡条里遺跡が立地する生駒山地西麓では、流下する諸河川が、現在すべて天井川となっている。これまでの考古遺跡の調査・分析から、生駒山地西麓部の諸河川における天井川化は、中世以降の山地斜面での植生破壊に基因する土砂流出量の増大およびそれに伴う洪水様式の変化と、人為的な河道固定によって形成されたと考えられる。

なお、この時期には、調査区やその周囲で水田を中心とした耕作地が広範囲に展開し、イネやソバ属といった栽培種の他、ガマ属、ミクリ属、ヒルムシロ属、サジオモダカ属、オモダカ属、クロモ属、ミズオオバコ属、ヨシ属、イボクサ属、ミズアオイ属、スイレン属、ヒシ属、アサザ属、ゴキズル属、ミズウラボシ属、サンショウモ、アカウキクサ属、クンショウモといった水湿地生の草本や、ススキ属、コブナグサ属、イチゴツナギ亜科、ヨモギ属、キク亜科といった草本からなる耕作地雑草が分布していたと推定される。

（5）軟X線写真による堆積・土壌相の観察

・分析目的

本分析では、調査区から採取した不攪乱堆積物試料について軟X線写真撮影を実施し、その写真画像から、堆積層の層相を詳細に観察し、堆積過程、堆積後の環境変遷や人間活動について検討を行う。

今回の分析目的は、現地での堆積層観察で可能性が示唆された縄文時代晩期および縄文時代晩期から弥生時代前期の層準での変形構造の地質学的検証、ある時期の安定した地形面の存在が予想される縄文時代晩期から弥生時代前期の黒褐色腐植質シルト質粘土層における耕作などの人間活動痕跡の有無の確認、水田跡が検出された弥生時代中期の堆積層の詳細な地質学および土壌学記載である。以下に各地点における記載と考察を示す。

・7地点

i) 記載

本地点では、縄文時代晩期から弥生時代前期～中期の層準である旧第20層から第3-2b層にかけての堆積層の観察を行っている（図284・285）。

灰色を呈すシルト質粘土層の旧第20層では、下向き凸型なす葉理や直径10～20mm前後のブロック状の構造が観察される。黒褐色を呈す腐植質に富むシルト質粘土層の第3-3a層の最下部から上部にかけては、羽毛状、火焰状を呈す流線パターンをなす葉理が顕著に認められる。第3-3a層最上部では、ほぼ塊状を呈す層相をなし、極めて不明瞭な水平をなす葉理が所々に散見される。第3-3a層と、灰色を呈す粘

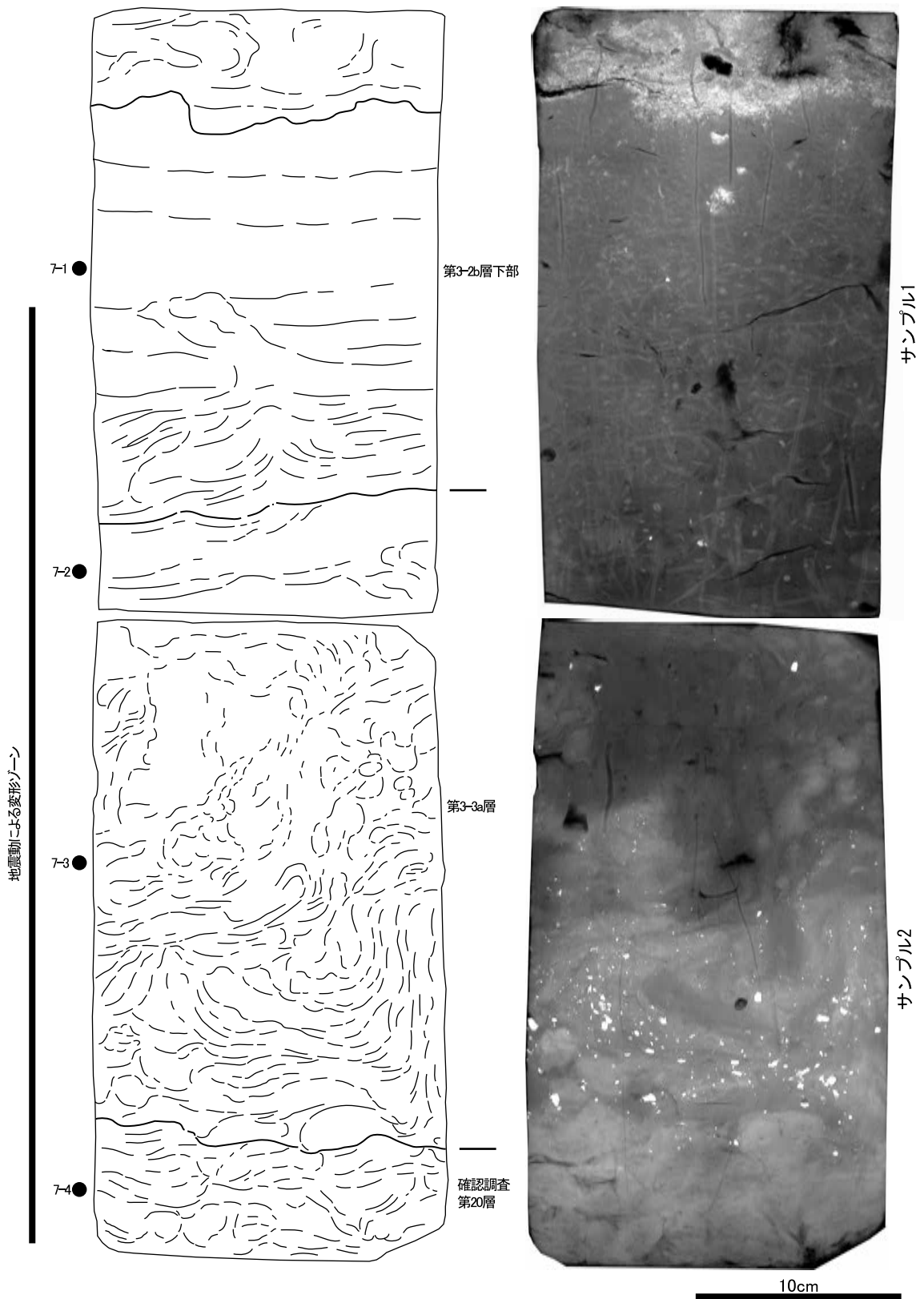
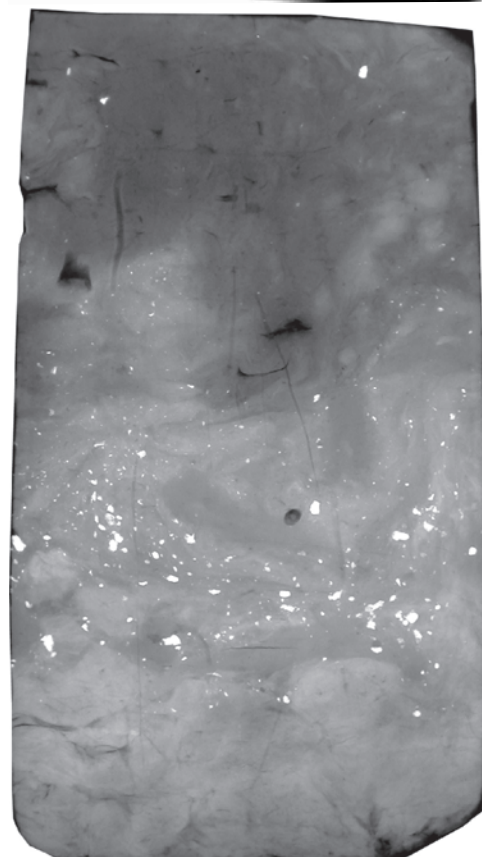
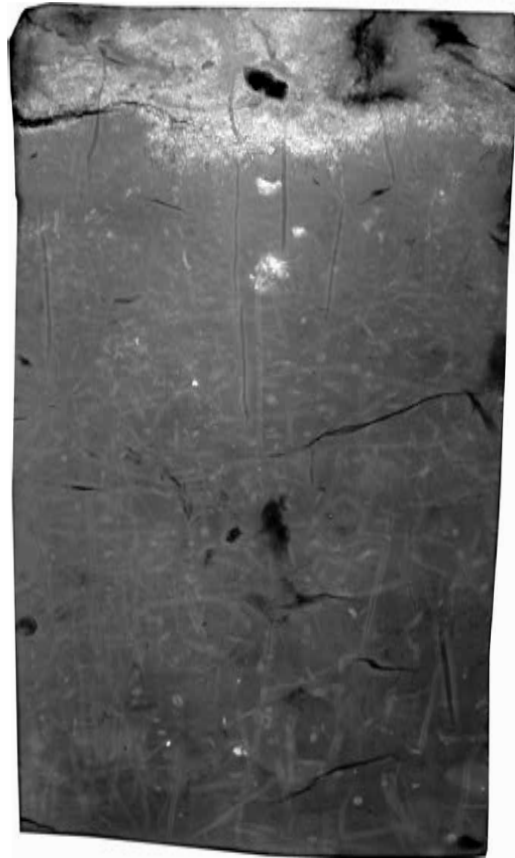


図284 7地点の軟X線写真とその解釈図

7地点 試料写真



7地点 軟X線写真



10cm

図285 7地点試料および軟X線写真

土質シルト層の第3-2b層の層理面は、現地において激しい凹凸が認められた。軟X線写真の観察では、第3-3a層と第3-2b層の層理面とその直下と直上の20mm前後の層準が、互いに水平に接することなく、全体的に変形していることが読みとれる。その直上、50mm前後の第3-2b層の層準では、羽毛状を呈する乱れた流線パターンを示す。この層準より上位の堆積層では、不明瞭な平行葉理をなして積層する。

ii) 堆積・土壌構造

軟X線写真の観察により、旧第20層から第3-2層最下部では、層理面や葉理において、激しく乱れた流線パターンが見いだされた。このような構造は、これまでの河内平野における完新統の氾濫原に累重した泥質堆積物の変形構造の研究（Matsuda,1999・松田,1999）から、地震動によって形成されたものであると判断される。

Matsuda（1999）・松田（1999a）によると、1回の地震動によって変形した堆積物の垂直範囲を変形ゾーンと呼び、水底に堆積した泥質堆積物（上部ほど水分を多く含むとともに、厚密を受けていないため流動性に富む。より下位では粘性・可塑性に富み、最下部では剛性が高まる性質をもつ）に認められる1つの変形ゾーンは、上から順に（1）水と堆積物が乱流によって混ざり合い、ほとんど塊状を呈する液層の流動変形ユニット（liquidized deformation unit）、（2）上部で、変形に際して引きずり上げられた下位層の羽毛状、火焰状（ただしフレーム構造とは別種）の流線パターンや細粒の中礫サイズ以細のブロックの散乱、下部に下向きに凸な形に変形した葉理から構成されるロード構造をなす含水塑性変形ユニット（hydroplastic deformation unit）、（3）下向きのフィッシャーや微小断層がみられる脆性変形ユニット（brittle deformation unit）、から構成されるとされる。

以上のMatsuda（1999）・松田（1999a）の定義に従うと、旧第20層最上部から第3-3a層上部は、含水塑性変形ユニットに、第3-3a層最上部は流動変形ユニットに対比される。また、第3-3a層と第3-2b層の層理面付近と第3-2b層最下部の変形構造は、含水塑性変形ユニットの可能性のあるものと考えられる。

発掘調査の結果、第3-3b層は縄文時代晩期、第3-3a層は縄文時代晩期～弥生時代前期、第3-2b層は弥生時代前期～中期に形成された可能性が高い。これまでの河内平野における完新統の泥質堆積物の地震動による変形構造の研究では、縄文時代晩期、弥生時代前期、弥生時代中期の層準において変形ゾーンが確認されている（Matsuda,1999・松田,1999）。

これらの研究成果をふまえると、河内平野の地震層序において、旧第20層最上部から第3-3a層最上部は、縄文時代晩期ないし弥生時代前期、第3-3a層と第3-2b層の層理面付近と第3-2b層最下部は弥生時代前期ないし弥生時代中期の変形ゾーンに対比される。本調査区では、出土遺物に乏しく堆積層の形成年代の見積りに幅があるため、周囲の調査区での発掘および層序対比結果をふまえ、地震発生層準のより詳細な絞り込みを行っていくことが課題であると考えられる。

iii) 堆積環境と土地利用

軟X線写真の観察を行った7地点では、撮影を実施した不攪乱堆積物サンプルから植物珪酸体分析試料も同時に採取を行っている。植物珪酸体分析では、第3-3a層と第3-2b層において、栽培種であるイネ属珪酸体が多産し、機動細胞珪酸体の含量で5,000～9,000個/gの値を示した。周囲の分析地点でも、同層準においてイネ属珪酸体を確認されている。イネ属珪酸体含量の高さからは、軟X線写真の観察を行った地点での稲作の可能性も示唆される。

しかしながら、本地点の軟X線写真の観察では、地震動による変形を被っているものの、人間による踏み込みに伴う変形構造や耕作に伴う加工時、機能時に形成された擾乱層やその影響が及ぶ層準、耕作

地に分布していた生物活動による土壌化の痕跡がまったく認められない。

本地点で認められたような地震動による泥質堆積物の変形は、水底に堆積し、ほとんど液相を呈す飽和状態になる堆積物で認められる（松田,1999a）。このことから、地震動に伴う変形構造が確認された旧第20層から第3-2b層最下部付近では、地震発生当時、堆積層上面が水底下にあったことが予想される。

珪藻分析結果では、第3-3a層と第3-2b層において、沼沢地湿地付着生種群を伴う流水性不定種や富栄養～中栄養を好む止水性種に分類される水生珪藻が多く検出され、塩類の豊富な沼沢地や池沼の水域が推定されている。植物珪酸体分析では、湿潤な環境を好むヨシ属が優占した。また、腐植質に富む第3-3a層では、堆積層の上位に向かって植物珪酸体含量が増加傾向を示す。この植物珪酸体含量変化は、第3-3a層の上部で堆積環境が安定し、下位に比べ土壌中により多くの珪酸体を取り込まれるようになったためであると考えられる。

軟X線写真では、第3-3a層上部で根痕が顕著に認められるとともに、微細な植物片の挟在も多くなる。植物珪酸体分析と軟X線写真での層相観察をふまえると、第3-3a層上部では、堆積速度が小さくなり、植物が安定して生育するような場所が形成されたことが示唆される。この第3-3a層に含まれる微細な植物片の多くは、地震動による変形を受けているものの、横位をなして挟在する。第3-2層でも含まれる植物遺体も横位をなすとともに、層内で不明瞭ながら平行葉理が認められる。なお第3-2b層では、下位の第3-3a層に比べ腐植含量が極端に減少するとともに、植物珪酸体含量も少なくなることから、堆積速度が増大したことが示唆される。このような第3-3a層と第3-2b層の植物遺体の産状と層相からは、これらの堆積層が静水域の水底下に沈降した泥粒子と有機物の累重によって形成されたことを示している。

以上のことをふまえると、軟X線写真観察を行った7地点の第3-3b層から第3-2b層は、ヨシ属が生育するような比較的水深の浅い、沼沢地や池沼などの静水域の堆積環境下で形成されたと考えられる。上記した層相とその解釈から、本地点で多く検出されたイネ属珪酸体は、周囲から、沼沢地や池沼の7地点へ流れ込んだ異地性の化石と判断される。なお、分析地点や本調査区は遺跡範囲内において相対的に低所に位置していることを考慮すると、第3-3a層と第3-2b層に対比される本調査区の近い場所であつより高所で離水した場所において、稲作地が存在していたことが示唆される。

・14地点

i) 記載

本地点では、弥生時代前期から中期の第3-2b層最上部から、弥生時代中期の水田跡が検出された第3-2a層にかけての堆積層の観察を行っている（図286・287）。

軟X線写真観察を行った範囲内の第3-2b層は、氾濫堆積物の砂礫層最上部に形成されたオリーブ黒色の泥混じり砂からなる古土壌に相当する。この部分では、最下部に葉理が認められる層準が存在する。その上部には、塊状を呈す層準が観察された。

暗灰色を呈す砂質粘土質シルト層の第3-2a層に相当する部分では、A～C層の3つの層準に細分される。最下部のC層では、材化石の小片や植物遺体や炭化物の細片を挟在するとともに、直径5～15mm程度の垂角塊状を呈す偽礫が発達する。本層は、下位の層準である第3-2b層最上部に比べ密度が小さく、全体的にしまりが悪く孔隙量が多いことが読みとれる。A・B層は、C層に比べ緻密で偽礫の存在が顕著ではない。しかしながら、堆積物の淘汰が非常に悪く、砂礫と泥粒子がよく攪拌され、壁状の層相を示す。また現地での観察では、このような均質な層相を示す堆積物が側方へ連続することが確認された。さらに軟X線写真によるより詳細な観察では、これらの均質な堆積物が平坦な葉理をなして2～3段の

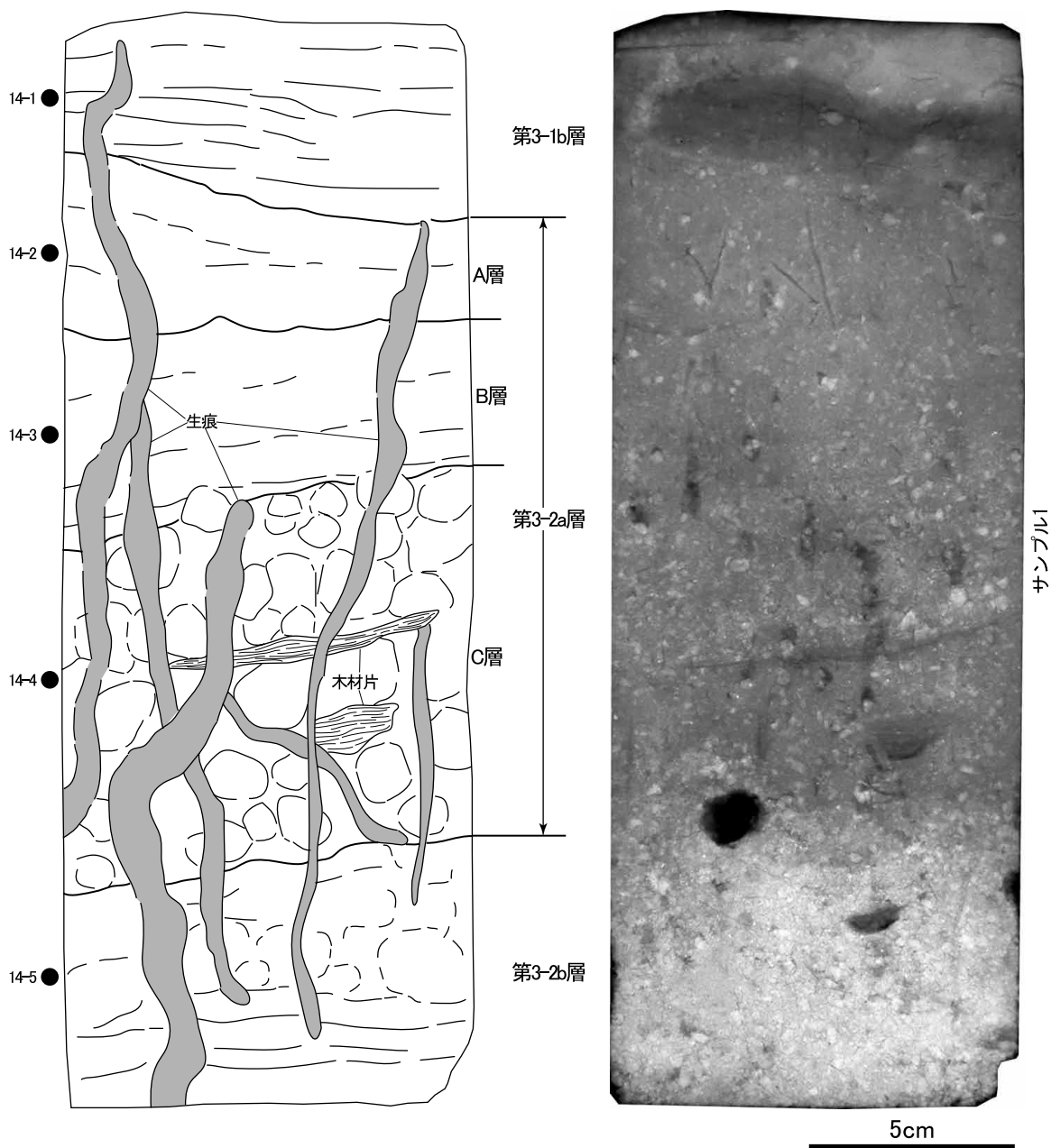


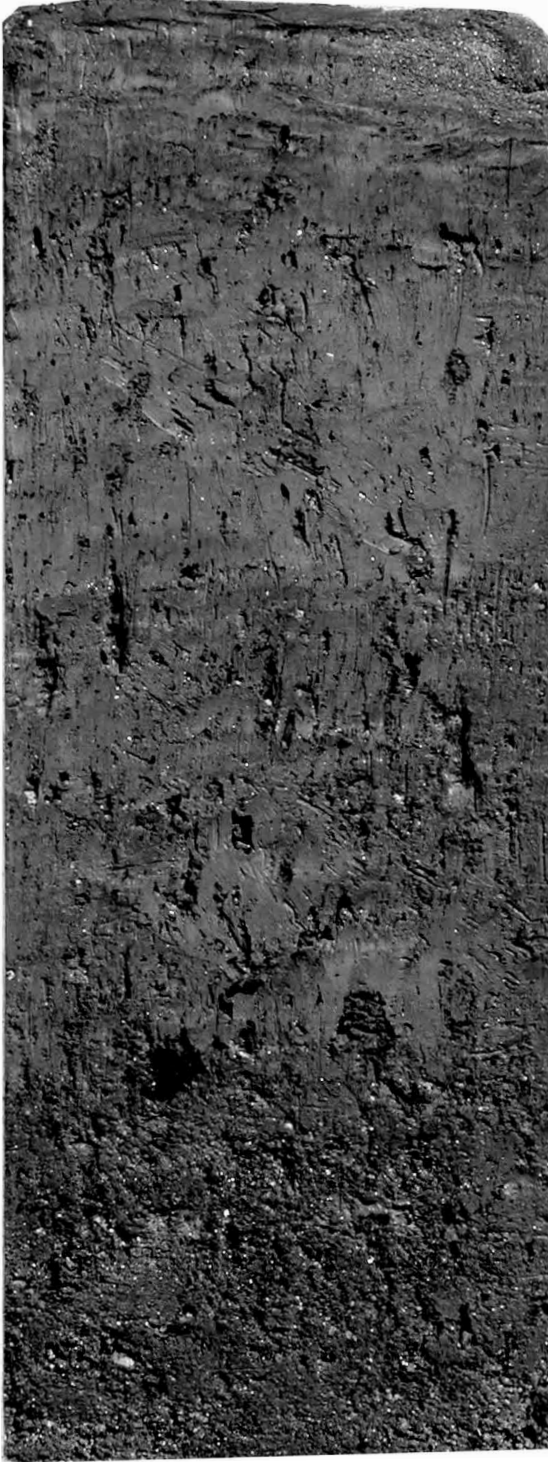
図286 14地点の軟X線写真とその解釈図

積層を示すことが認識された。このようなA層とB層の層理面では、下に凸型をなす形態が認められた。また、第3-2a層では、幅5～15mm程度の管状の生痕が多く分布することも指摘される。

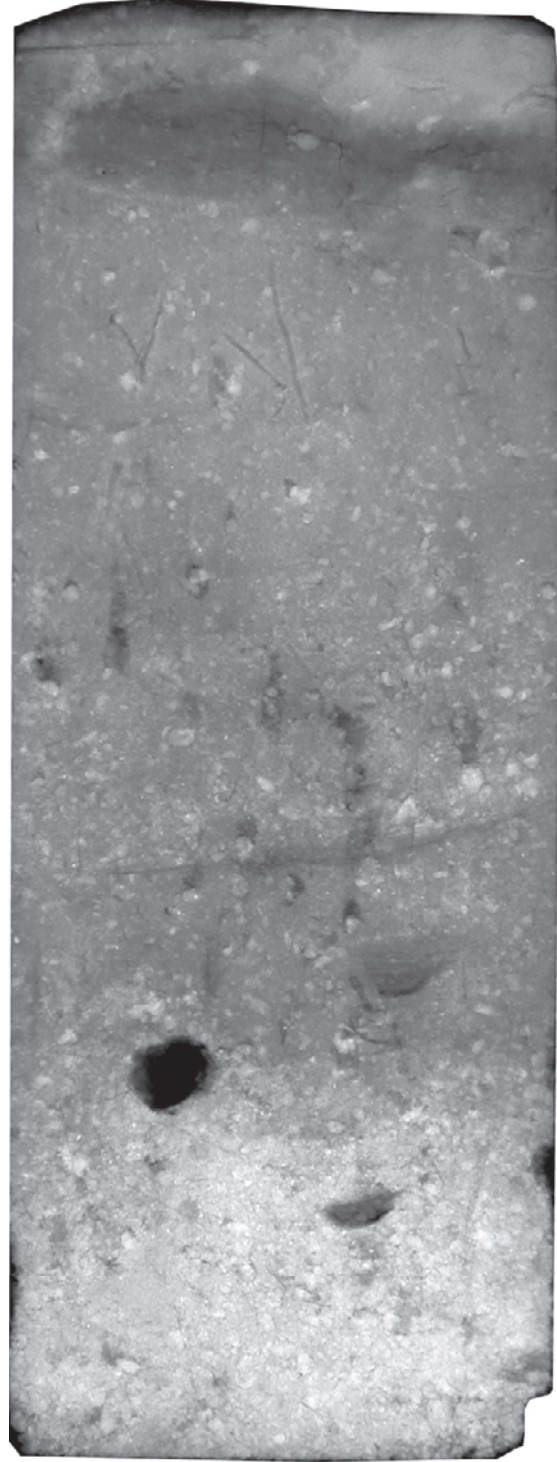
ii) 堆積・土壌構造

軟X線写真の観察により、第3-2a層で細分されたA層とB層の層理面では、下に凸型をなす形態が認められた。A～C層やその上位と下位の層準で堆積層全体にわたるような変形構造が観察されないことと、本層準から水田跡が検出されていることをふまえると、A層とB層の層理面の下に凸状の構造は、人間の踏み込みによるものと判断される。このような第3-2a層では、堆積層中に偽礫の発達や、攪拌された均質な堆積物が側方へ連続する状況が、現地調査によって確認されている。上記のような層相を形成した堆積ないし土壌営力は、自然状態では想定が難しく、人為的営力によるものと判断される。

14地点 試料写真



14地点 軟X線写真



5cm

図287 14地点試料および軟X線写真

なお、現成の耕作土では、軟X線写真（造影剤撮影）や土壌薄片の観察に基づく、微細構造の研究が蓄積されてきている。これらの研究では、水田作土について、湛水しろかき後の還元環境下で形成される凝集状態により団粒が崩壊し、それに伴う泥化の進行により、細粒質からなる壁状構造と、しろかきによる粗粒子のすみやかな沈降により形成された砂の局部的集積からなる単粒状構造が普遍的にみられ

るとされる(齋藤,1971)。これに対し、畑地作土では水田作土に比べ、土壌間隙量(土壌固相以外の部分)が多く(森ほか,1992)、団粒化の程度が大きい(寺沢,1971,1983)ことが確認されている。また、考古遺跡での古畑地土壌でも、粒団構造が発達することが指摘されている(松田・別所,1997・松田,2001,2004)。

これらのような現成の耕作土の既往研究事例をふまえると、人為的営力による自然堆積層の擾乱層として形成された第3-2a層については、本層最上部付近で水田跡が検出されていることを考慮すると、よく攪拌され壁状の層相を示すA・B層が水田作土、C層が作土の基盤をなす水田造成時(加工時)に形成された層準であると考えられる。

なお、珪藻分析結果では、第3-2a層と第3-2b層で陸生珪藻が多産しており、これらの堆積層が形成された当時の地表面は基本的に大気下に曝されるような土壌環境であったと考えられる。しかしながら珪藻化石やその他の微化石の保存状態が良好なことから、止水性種などの水生珪藻が伴うことから、当該期には、常時非常に乾燥した地表面が維持されるような場所というより、地下水位が高く、降雨時などに地表面が冠水することもあるような湿潤な土壌環境であったことが推定される。このような環境が示唆される第3-2a層と第3-2b層の珪藻化石群集は、比較的水深の浅い、沼沢地や池沼などの静水域の堆積環境下で形成された第4a層・第3-4a層・第3-2b層下部と明らかな差異が存在している。

上述の珪藻分析結果および現地での堆積層観察をふまえると、03-5-8~10トレンチ付近では、弥生時代前期から中期に氾濫堆積物の流入による相対的な氾濫原面上昇に伴い、地形面が離水し、そのような地形面上において、弥生時代中期に水田が形成されたと考えられる。

また、植物珪酸体分析結果では、古土壌と判断された第3-2b層では、イネ属機動細胞の含量が700個/gであったのに対し、水田層である第3-2a層で2,000~3,000個/g検出され、層相観察結果と調和的と言える産状を示している。水田層の第3-2a層は、明瞭な平行葉理が観察される褐色を呈す粘土質シルト層の第3-1b層によって覆われており、相対的な水位上昇に伴って洪水堆積物によって埋没したことが確認される。但し、この第3-1b層による埋没が水田放棄の直接的な要因かどうかの判断を地質学的ないし土壌微細形態学的に立証することは、現段階で非常に難しい。水田作土についても2層準確認されたが、これについて水田面の上方への付加を伴う再構築の可能性も想定されるが、立証については困難な状況である。

以上、現地での堆積層の記載、微化石分析、軟X線写真によるより詳細な堆積層観察により、弥生時代中期に03-5-8~10トレンチにおいて、湿潤な状態ながら、地表面が大気下に曝される期間が長い土壌環境下で水田の造成とその維持・管理を主とする人間活動が展開するとともに、その水田で基盤層と作土が認定されたこと、かつその耕作期間中、堆積環境は次第に不安定となり、相対的水位が上昇傾向にあったことが指摘される。但し現状では、考古学的解釈により求められる上段で述べたような事象などについて、説得的に説明することが難しい状況である。この点については、検討課題として、今後さらに研究を行っていく必要があることが認識される。

第4項 小結

今回の自然科学分析によって、03-5調査区において以下のような古環境変遷が推定される。

・堆積環境および珪藻分析

1.03-5調査区は、扇状地扇端部付近から沖積低地面にかけて位置する。

2.縄文時代晩期~弥生時代前期には、03-5-5トレンチ3地点では、珪藻化石の産出が不良であり、層相をふまえると好氣的な土壌環境下での風化が推定された。03-5-8トレンチ6地点では、しばしば乾燥す

るような湿地のような堆積環境が推定された。6地点以西では、塩類の豊富な沼沢地や池沼のような止水域であったことが示唆された。

3.縄文時代晩期～弥生時代前期に03-4～03-5調査区では、03-4調査区東半部で扇状地扇端最末端部、03-4調査区西半部から03-5調査区東半部で扇状地扇端最末端部～沖積低地への移行帯、03-5調査区西半部で湿地や沼沢地の堆積環境が形成された。

4.弥生時代前期～中期には当初、7地点で安定した止水域、11・14地点で流水の影響がある湿地が形成された。その後、湿地は洪水砂層に埋積され、その上面で乾燥した土壌環境が形成された。

5.弥生時代中期には、地表面付近がしばしば乾燥する状況において、好氣的環境下で安定して土壌発達が行われた。

6.弥生時代中期に、氾濫堆積物の高まりに囲まれた凹地である3地点では、過湿の土壌環境ないし、降雨後には浅い滞水域となるような堆積環境であった。また、5地点は3地点よりも湿潤な環境であったことが示唆された。

7.弥生時代中期以降～古墳時代には、地表面で土壌が発達するような好氣的な環境から湿地ないし滞水域へと堆積環境がまず変化した。

8.その後、弥生時代中期以降～古墳時代には、03-5調査区東半部で扇状地のロープが形成された。調査区西半部では、埋没時に滞水域や湿地および池沼～沼沢地のような止水域の環境が形成された流路が存在した。

9.古墳時代までに、調査区西半部で形成された扇状地ロープ上は地下水位が高く、地表面付近で湿潤な環境が形成され、ヨシ属などが生育していた。

10.古代～中世には、調査区の全域で滞水域や湿地の堆積環境が形成された。

11.古代～中世において滞水域や湿地が形成された要因は、03-4調査区での扇状地発達と、03-6調査区での自然堤防形成といった、03-5調査区をとりまく調査区での堆積物累重による排水不良が原因であると推定された。

12.近世には、調査区東半部で厚い洪水堆積物の流入が存在した。東半部では、中世に引き続き滞水域や湿地の堆積環境が形成された。

13.讚良郡条里遺跡の03-4・03-5調査区付近で認められた、それ以前より相対的に頻度と強度が大きい、中世末頃以降の粗粒な洪水堆積物の流入は、後背地の生駒山地西麓斜面の植生破壊に基因する土砂流出量の増大に基因すると判断された。

14.生駒山地西麓部の諸河川における天井川化は、中世以降の山地斜面での植生破壊に基因する土砂流出量の増大およびそれに伴う洪水様式の変化と、人為的な河道固定によって形成されたと考えられた。

・軟X線写真による層相観察

1.縄文時代晩期から弥生時代前期～中期にかけて形成された7地点の旧第20層から第3-2層最下部では、地震動による堆積層の著しい変形構造が確認された。今回、認められた変形を引き起こした地震は、2回のイベントによるものである可能性が示唆された。

2.7地点の旧第20層から第3-2b層は、ヨシ属が生育するような比較的水深の浅い、沼沢地や池沼などの静水域の堆積環境下で形成された。

3.軟X線写真による層相の観察を併用することにより、7地点の第3-3a層と第3-2b層下部で多く検出された栽培種のイネ属珪酸体は、近隣からの流れ込みによるもので、本地点で稲作は行われなかったと考

えられた。

4.14地点の第3-2a層は弥生時代中期の水田耕作土であり、作土層とその基盤層に区分されることが明らかとなった。

5.14地点の第3-2a層が形成された当時の地表面付近の環境は、湿潤な状態ながら、基本的に地表面が大気下に曝されるような土壌環境であったことが捉えられた。

6.弥生時代中期に水田が形成されていた期間、調査区では、堆積環境は次第に不安定となり、相対的水位が上昇傾向にあった。

7.弥生時代中期の水田耕作土は、河川氾濫によって供給された泥層によって埋没しており、この時期に調査区周辺は水没するような環境であったと考えられた。

・古植生

1.縄文時代晩期以前～弥生時代中期には、調査区背後の山地斜面で、カシ類・シイ類などの常緑樹や、モミ属、ツガ属、マツ属、スギ属などの針葉樹などを主体とする森林が広く成立し、林縁部にヤマモモ属、山地斜面の谷沿いなどを中心としてサワグルミ属-クルミ属、クマシデ属-アサダ属、カバノキ属、コナラ亜属といった落葉樹、沖積扇状地表面上の流路沿いや氾濫原面に、コナラ亜属、クリ属、ニレ属-ケヤキ属、エノキ属-ムキノキ属の落葉樹が分布していたと解釈された。

2.人間活動が本格化する以前の縄文時代晩期～弥生時代前期ないしそれ以前の調査区では、ヨシ属を中心とする草本が生育する湿地が広がっていたと考えられた。

3.これに対し、03-4調査区でもこの時期には、ヨシ属が多く生育していたと考えられるが、扇状地ロープ上や相対的に標高の高い調査区東半部付近を中心にススキ属やヨモギ属といった比較的乾いた場所を好む草本も分布していたことが推察された。

4.弥生時代前期～中期には、居住地や耕作地形成とその領域増加に伴う人間活動により、明るく開けた草地の領域が拡大し、そのような場所にヨシ属、ススキ属などのイネ科、サナエダ節-ウナギツカミ節、カヤツリグサ科、ヨモギ属など分布していたと推定された。

5.弥生時代中期には、相対的水位が低下するとともに土壌発達が進行する好気的環境が維持される地表面となる領域が03-4～03-5調査区に広がり、花粉化石の保存状態が全体的に不良となる。

6.弥生時代中期には03-4～03-5調査区で広く水田が造成される。そのような場所では、03-5調査区でヨシ属を中心とする草本が分布する一方、03-4調査区でヨシ属の他にコブナグサ属やススキ属、ナデシコ科、アブラナ科、ヨモギ属といった草本が相対的に多く分布していたものと考えられた。さらに、03-4調査区の水田耕作土では、03-5調査区で検出されていない樹木起源の珪酸体が広く検出されていることにも注目された。

7.古墳時代には、冷涼・多雨化の気候変化に伴い、モミ属、ツガ属、コウヤマキ属、マツ属、スギ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科の針葉樹が調査区背後の山地斜面で増加したと判断された。

8.古墳時代に調査区では、相対的水位の上昇傾向に伴って、ガマ属、ミクリ属、オモダカ属、クロモ属、ヨシ属、イボクサ属、ミズアオイ属、ヒシ属、アサザ属、ミズワラビ属、サンショウモ、アカウキクサ属、クンショウモといった水湿地生の草本の種類数が増加し、出現率も高くなることが指摘された。

9.古代～中世に調査区内では、古墳時代に引き続き、水湿地生の草本が繁茂するような植生景観が成立していた。

10.中世～近世には、山地斜面での人間による植生干渉の頻度と強度の高まりによる二次林化ないしハゲ

山化によって、マツ属の急増とモミ属、ツガ属、コウヤマキ属、マツ属、スギ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科の針葉樹、アカガシ亜属の常緑樹、コナラ亜属の落葉樹の減少が確認された。

11.中世～近世には、イネやソバ属といった栽培種の他、ガマ属、ミクリ属、ヒルムシロ属、サジオモダカ属、オモダカ属、クロモ属、ミズオオバコ属、ヨシ属、イボクサ属、ミズアオイ属、スイレン属、ヒシ属、アサザ属、ゴキズル属、ミズワラビ属、サンショウモ、アカウキクサ属、クンショウモといった水湿地生の草本が、ススキ属、コブナグサ属、イチゴツナギ亜科、ヨモギ属、キク亜科などと共に、水田内、畦畔や休閒地、耕作地周囲などに雑草して生育していたと推定された。

・栽培植物のイネ属の産状

1.縄文時代晩期～弥生時代前期に形成された腐植質に富む黒褐色泥層では、7地点、8地点、14地点でイネ属が多く検出された。軟X線写真の層相観察をふまえると、これらのイネ属珪酸体は、周囲からの流れ込みによるものと判断されるとともに、この堆積層に対比される周囲において、稲作地が存在した可能性が高いことが示唆された。

2.弥生時代中期にはイネ属が多産し、植物珪酸体分析からも本時期に調査区内で稲作が行われていたことが指示された。

(辻 康男・辻本裕也)

引用文献

千木良 雅弘,1995,風化と崩壊,近未来社,204p.

江口 誠一,1994,沿岸域における植物珪酸体の分布 千葉県小櫃川河口域を例にして,植生誌研究,2,19-27.

江口 誠一,1996,沿岸域における植物珪酸体の風化と堆積物のpH値,ペトロジスト,40,81-84.

波田 善夫,1987,花粉分析からみたマツ林の歴史,松くい虫被害対策として実施される特別防除が自然生態系に与える影響評価に関する研究 -松くい虫等被害に伴うマツ林生態系の攪乱とその動態について-資料集,財団法人 日本自然保護協会,41-49.

井上 智博,2003,目的と概要.「尺度遺跡Ⅱ-国道165号(南阪奈道路)の建設に伴う発掘調査報告書」,(財)大阪府文化財センター-, 153.

小杉 正人,1987,北江古田遺跡の珪藻化石群集と古環境,北江古田遺跡発掘調査報告書(2),中野区北江古田遺跡調査会,419-433.

近藤 練三,1988,植物珪酸体(Opal Phytolith)からみた土壌と年代,ペトロジスト,32,189-202.

松田 順一郎,1999a,瓜生堂遺跡第45-2時発掘調査でみられた古地震痕跡,都市計画道路大阪瓢箪山線建設に伴う瓜生堂遺跡第45時発掘調査概要報告,財団法人東大阪市文化財協会,233-242.

松田 順一郎,1999b,瓜生堂第40次調査地における河川堆積作用の変化.「瓜生堂・若江北・山賀遺跡発掘報告書-電気工事予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の調査報告」,(財)東大阪市文化財協会,93-105.

松田 順一郎,2000,八尾市小阪合遺跡における弥生時代～古代の河川堆積作用と地形発達.「小阪合遺跡-都市基盤整備公団八尾団地建替に伴う発掘調査報告書」,(財)大阪府文化財調査研究センター-,259-276.

松田 順一郎,2001,大阪府布市遺跡の中世畑地耕作土にみられた微細堆積相,日本文化財科学会第18回大会研究発表要旨,日本文化財科学会,56-57.

松田 順一郎,2004,古墳時代と江戸時代の畑地堆積物堆積構造の比較-大阪府久宝寺遺跡、京都府山崎遺跡の事例-,日本文化財科学会第21回大会研究発表要旨,日本文化財科学会,62-63.

- 松田 順一郎・パリノ・サーヴェイ,1996,「北島遺跡の耕作地と古環境－寝屋川南部流域植付ポンプ場土木工事に伴う北島遺跡第1次発掘調査報告書－」,(財)東大阪市文化財協会,157p.
- 松田 順一郎・別所 秀高,1997,大阪府北島遺跡における畑地形成と地形発達.日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨,日本文化財科学会,70-71.
- Miall,A.D.,1992,Alluvial Deposits,in Walker,R.G. and James,N.P. (ed) Facies Models.Geological association of Canada,119-142.
- Miall,A.D.,1996,The Geology of fluvial deposits:Sedimentary facies, basin analysis,and petroleum Geology. Springer,582p.
- 森 也寸志・滋賀 摂子・岩間 憲治・渡辺 紹裕・丸山 利輔,1992,土地利用による土壌間隙構造の差異－軟X線による観察を中心として－.土壌の物理性,No.66,19-27.
- 中嶋 雅宏・中山 勝博・百原 新・塚腰 実,2004,中新統土岐口陶土層の堆積過程と産出する大型植物化石の水理的挙動－岐阜県多治見市大洞地区の例－.地質学雑誌,110,204-221.
- 那須 孝悌,1980,花粉分析からみた二次林の出現.関西自然保護機構会報,4,3-9.
- 日本ペトロロジー学会編,1997,土壌調査ハンドブック 改訂版.博友社,169p.
- パリノ・サーヴェイ,2006,軟X線写真による堆積物の層相観察.東倉治遺跡Ⅱ,(財)大阪府文化財センター,48-52.
- パリノ・サーヴェイ,2007,池島・福万寺遺跡の古環境変遷 2.池島・福万寺遺跡 3,(財)大阪府文化財センター,48-52.
- 齋藤 万之助,1971,水田土壌の凝集性.土木試験所報告,56,1-49.
- 杉山 真二,2000,植物珪酸体(プラント・オパール)分析.考古学と自然科学 3考古学と植物学,辻 誠一郎編著,同成社,189-213.
- 鈴木 茂,2006,2.植物珪酸体分析.(財)大阪府文化財センター調査報告書第138集 寝屋川市讃良郡条里遺跡Ⅳ 一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書,(財)大阪府文化財センター,120-124.
- 高原 光,1996,近畿地方の植生史.図説 日本列島植生史,安田 喜憲・三好 教夫編,朝倉書店,114-137.
- 寺沢 四郎,1971,水田土壌群の物理性特性に関する研究.農業技術研究所報告,22,86-207.
- 寺沢 四郎,1983,各種インパクトを受けた土壌の物理性.農業技術研究所報告,36,233-267.
- 辻 康男・辻本裕也・田中義文・馬場健司・松元美由紀,2004,付章 前田遺跡の自然科学分析.
「前田遺跡(第20地点)発掘調査概要報告書－弥生前期水田跡の構造と水利動態－」,芦屋市教育委員会,1-36.
- 辻 康男・辻本 裕也,2006,葦屋北遺跡における古環境の復元.葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅳ-自然科学編,大阪府教育委員会,25-37.
- 辻 康男・辻本 裕也,2007,私部南遺跡の古環境解析.私部南遺跡Ⅰ,(財)大阪府文化財センター,158-180.
- 辻 康男・辻本 裕也・大嶋 秀明・高橋 敦・斉藤 紀行・伊藤 良永・馬場 健司,2007,上私部遺跡の古環境解析.上私部遺跡Ⅱ,(財)大阪府文化財センター,174-204.

第2節 樹種同定

はじめに

讃良郡条里遺跡（03-5・06-2）から出土した古墳時代を主とする農具、井戸枿材等の木製品を対象として、木材利用状況を把握するために樹種同定を実施する。なお、今回の報文では、紙面の都合上、木材組織の記載や図表について割愛し、実施した分析結果の一部を抜粋して掲載している。分析結果のうち、同定根拠となる木材組織の記載については、財団法人大阪府文化財センターに保管しているので、参照されたい。

第1項 試料

試料は、溝、杭列、流路等から出土した杭材や木製品212点である。

第2項 分析方法

剃刀の刃を用いて木口（横断面）・柁目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラル（抱水クロラル、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で木材組織を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。なお、木材組織の名称等についての用語は、島地・伊東（1982）、Wheeler他（1998）、Richter他（2006）に従う。また、各樹種の木材組織の記載は、林（1991）や伊東（1995,1996,1997,1998,1999）を参考にする。

第3項 分析結果

樹種同定結果を表1に示す。木材は、針葉樹11分類群（マツ属複維管束亜属・モミ属・ツガ属・スギ・コウヤマキ・ヒノキ・サワラ・ヒノキ科・マキ属・イヌガヤ・カヤ）と広葉樹19種類（ヤナギ属・コナラ属コナラ亜属クヌギ節・コナラ属コナラ亜属コナラ節・コナラ属アカガシ亜属・クリ・ツブラジイ・スタジイ・ケヤキ・ヤマグワ・クスノキ・サカキ・ヒサカキ・モッコク・アジサイ属・ウメ・サクラ属・マメ科・センダン・シャシャンボ）に同定された。

第4項 時代別の木材利用状況

樹種同定を実施した木製品の時期を遺物そのものから導くことは難しく、おもに出土遺構、出土層位の年代観によっている。このため、製品そのものの実年代を断定できるものではない。特に弥生時代後期～古墳時代前期については他の遺物も少なく、想定年代の確度は低い。このような前提をふまえた分類では、弥生時代中期、弥生時代後期～古墳時代前期、古墳時代中期～後期、奈良時代、古代以降に大別されるが、古墳時代中期～後期の資料が179点で大半を占めている。これらの木製品には、合計30分類群が利用されている。

（1）弥生時代中期

弥生時代中期の木製品は、工具、農耕土木具、建築部材など22点があり、針葉樹5分類群、広葉樹6分類群が利用されている（表2）。工具では、8点中6点が点け木で、針葉樹のヒノキおよびヒノキ科が

表1 樹種同定結果(1)

遺物番号	サンプル番号	通サンプル番号	調査名	登録番号	トレンチ	出土遺構・層など	取上げ番号など	名称	最終の使用形態	材の形状	時期	樹種
不掲載		124	03-5	1875	6	建物01-02		柱根	建物の柱		古墳時代中～後期?	ク
2		126	03-5	1881	6	建物01-08		柱根	建物の柱		古墳時代中～後期?	コナラ属コナラ亜属コナラ節
4		128	03-5	1897	6	建物02-08		柱根	建物の柱		古墳時代中～後期?	コウヤマキ
5		125	03-5	1880	6	建物03-11		柱根	建物の柱		奈良時代?	スギまたはヒノキ科
6		127	03-5	1882	6	建物03-13		柱根	建物の柱		奈良時代?	ヒノキ
7		120	03-5	1407	7	建物04-02		柱根	建物の柱	丸 筋残る	奈良時代?	モミ属
14	H19-22	193	03-5	1929	6	井戸1		加工木 杭か	井戸に投棄		奈良時代	モミ属
不掲載		121	03-5	1478	7	土坑14		不明	土坑に投棄		古墳時代中～後期?	ヤマガク
不掲載	七19	212	03-5	2143	8	建物07-06		礎板	柱穴内に使用		古墳時代中～後期	ヤナギ属
不掲載	七17	210	03-5	2141	8	建物08-01		礎板	柱穴内に使用		古墳時代中～後期	スギ
不掲載	七18	211	03-5	2142	8	建物08-02		礎板	柱穴内に使用		古墳時代中～後期	スギ
不掲載	七15	208	03-5	2139	8	建物08-03		礎板	柱穴内に使用		古墳時代中～後期	スギ
不掲載	七14	207	03-5	2138	8	建物08-04		礎板	柱穴内に使用		古墳時代中～後期	スギ
不掲載	七16	209	03-5	2140	8	建物09-09		礎板	柱穴内に使用		古墳時代中～後期	アカガシ亜属
不掲載	H19-16	187	06-2	-	4	井戸2	上段	井戸枠	井戸枠	板状	古墳時代中～後期?	モミ属
不掲載	H19-17	188	06-2	-	4	井戸2	下段	井戸枠	井戸枠	板状	古墳時代中～後期?	モミ属
不掲載	H19-18	189	03-5	-	8	井戸3	井戸枠2	井戸枠	井戸枠	板状	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載	H19-19	190	03-5	-	8	井戸3	井戸枠4	井戸枠	井戸枠	板状	古墳時代中～後期	ツブラジイ
不掲載	H19-20	191	03-5	-	8	井戸3	井戸枠9	井戸枠	井戸枠	板状	古墳時代中～後期	スダジイ
188		144	03-5	675	2	井戸4		井戸枠(扉転用)	井戸枠		古墳時代中～後期	ツブラジイ
189		136	03-5	665	2	井戸4		井戸枠(扉転用)	井戸枠		古墳時代中～後期	モミ属
189		137	03-5	666	2	井戸4		井戸枠(扉転用)	井戸枠		古墳時代中～後期	モミ属
190		143	03-5	674	2	井戸4		井戸枠(扉転用)	井戸枠		古墳時代中～後期	モミ属
191		142	03-5	673	2	井戸4		井戸枠(扉転用)	井戸枠		古墳時代中～後期	モミ属
192		141	03-5	672	2	井戸4		井戸枠(柱)	井戸枠		古墳時代中～後期	シヤンセンボ
193		139	03-5	668	2	井戸4		井戸枠(柱)	井戸枠		古墳時代中～後期	ツブラジイ
194		138	03-5	667	2	井戸4		井戸枠(柱)	井戸枠		古墳時代中～後期	ツブラジイ
195		140	03-5	671	2	井戸4		井戸枠(柱)	井戸枠		古墳時代中～後期	スダジイ
196		145	03-5	676	2	井戸4		井戸枠(農具転用?)	井戸枠		古墳時代中～後期	ヒノキ
197		146	03-5	677	2	井戸4		井戸枠(棒)	井戸枠		古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	H19-12	183	06-2	256	3	土坑67		不明	土坑に投棄	割れた板状 あるいは杭状	古墳時代中～後期	スギ
311	H19-13	184	06-2	257	3	土坑69		木鏝	土坑に投棄		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載	H19-10	181	06-2	245	3	土坑72		杭?	土坑に投棄	杭状	古墳時代中～後期	ツブラジイ
不掲載	H19-11	182	06-2	252	3	土坑72		不明	土坑に投棄	板状 半分程度残って炭化	古墳時代中～後期	ヒノキ
486		150	03-5	1458	7	流路1-1城		耳杯	流路に投棄		古墳時代中～後期	サクラ属
487	七5	198	03-5	1504	7	流路1-1城		礎(伏? (名称不明))	流路に投棄		古墳時代中～後期	ヒノキ
488		123	03-5	1508	7	流路1-1城		礎?	流路に投棄		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
489		122	03-5	1506	7	流路1-1城		材	流路に投棄	棒状・有軸	古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
490		151	03-5	1504	7	流路1-1城		経道具	流路に投棄		古墳時代中～後期	サカキ
491	H19-14	185	06-2	287	4	流路1-1城		棒?	流路に投棄		古墳時代中～後期	マキ属
492	H19-15	186	06-2	288	4	流路1-1城		礎?	流路に投棄		古墳時代中～後期	マキ属
493		152	03-5	1507	7	流路1-1城		農具? 柄	流路に投棄		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載		46	03-5	1484	7	流路1-1城		材	流路に投棄		古墳時代中～後期	スギ
不掲載		47	03-5	1484	7	流路1-1城		材	流路に投棄		古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		48	03-5	1484	7	流路1-1城		材	流路に投棄		古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		49	03-5	1503	7	流路1-1城		材	流路に投棄		古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		50	03-5	1505	7	流路1-1城		材(網杵?)	流路に投棄	ア一チ状	古墳時代中～後期	マメ科
不掲載		51	03-5	1536	7	流路1-1城		材	流路に投棄		古墳時代中～後期	ツブラジイ
758		118	03-5	869	4	流路1-2城		材	流路に投棄	板状	古墳時代中～後期	ヒノキ
759	七2	195	03-5	904	4	流路1-2城		柄頭	流路に投棄		古墳時代中～後期	クルミ科
760	七4	197	03-5	915	4	流路1-2城		後軸	流路に投棄		古墳時代中～後期	ヒノキ

表1 樹種同定結果(2)

遺物番号	サンプル番号	通サンプル番号	調査名	登録番号	トレンチ	出土遺構・層など	取上げ番号など	名称	最終の使用形態	材の形状	時期	樹種
761	7-1	194	03-5	856	4	流路1-2城		ナスビ形楦	流路に腐葉		古墳時代中～後期	アカガシ亜属
762	7-3	196	03-5	905	4	流路1-2城		背負子	流路に腐葉		古墳時代中～後期	ヒノキ
763		119	03-5	886	4	流路2		材(柱材?)	流路に腐葉	角	古墳時代中～後期	モミ属
764		148	03-5	936	4	流路1-2城		杭	流路に腐葉		古墳時代中～後期	モミ属
765		147	03-5	884	4	流路1-2城		建築部材 けたし?	流路に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載		19	03-5	832	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板状 杭 先焼	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		20	03-5	832	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板状 杭 先焼	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		21	03-5	832	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	角材	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		22	03-5	845	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	ヒノキ科
不掲載		23	03-5	847	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	丸 杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		24	03-5	847	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		25	03-5	857	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板状の杭	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		26	03-5	859	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	断面角 杭	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		27	03-5	859	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	サワラ
不掲載		28	03-5	859	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		29	03-5	859	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		30	03-5	859	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	丸 杭	古墳時代中～後期	コナラ属コナラ亜属クスギ節
不掲載		31	03-5	859	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	杭	古墳時代中～後期	コナラ属コナラ亜属クスギ節
不掲載		32	03-5	862	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		33	03-5	885	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		34	03-5	885	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板 角状	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		35	03-5	885	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板 角状	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		36	03-5	894	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		37	03-5	894	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	丸 杭	古墳時代中～後期	イヌガヤ
不掲載		38	03-5	901	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	板材	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		41	03-5	937	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	丸 杭	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		42	03-5	937	4	流路1-2城		材	流路に腐葉	杭 丸木半割り	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		43	03-5	962	4	流路1-2城		材	堆積層中から出土		古墳時代中～後期	ツブラジイ
872		116	03-5	619	2	流路1-3城		加工材	流路に腐葉	板	古墳時代中～後期	ヒノキ科
不掲載		10	03-5	534	2	流路1-3城		材	流路に腐葉	丸木半割り	古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載		11	03-5	545	2	流路1-3城		材	流路に腐葉	板で小口の木取り	古墳時代中～後期	ケヤキ
不掲載		12	03-5	545	2	流路1-3城		材	流路に腐葉	断面角 杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		13	03-5	545	2	流路1-3城		材	流路に腐葉	板材 刀形	古墳時代中～後期	スタジイ
不掲載		14	03-5	545	2	流路1-3城		材	流路に腐葉	杭	古墳時代中～後期	ヤナギ属
不掲載		15	03-5	545	2	流路1-3城		材	流路に腐葉	細い角材	古墳時代中～後期	ヒノキ
1588	7-8	166	03-5	2331	10	流路1-4城		楔?	流路に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1589		201	03-5	2338	10	流路1-4城		背負子	流路に腐葉		古墳時代中～後期	サカキ
1590	H19-9	180	06-2	168	3	流路1-4城		アカト	流路に腐葉		古墳時代中～後期	ケヤキ
1591		170	03-5	2402	10	流路1-4城		藁の腕木	流路に腐葉		古墳時代中～後期	マツ属複雑管束亜属
1592		165	03-5	2286	10	流路1-4城		(名称不明)	流路に腐葉	棒状・有溝・塗布物	古墳時代中～後期	イヌガヤ
1593	H19-1	172	06-2	44	2	流路1-4城		棒?	流路に腐葉	棒状・有溝	古墳時代中～後期	カヤ
1594	H19-6	177	06-2	132	3	流路1-4城		弓幹(ゆがら)	流路に腐葉		古墳時代中～後期	マツ属複雑管束亜属
1595		164	03-5	2286	10	流路1-4城		三稜楯	流路に腐葉		古墳時代中～後期	アジノイ属
1596		133	03-5	370	1	流路1-4城		舟形木製品	流路に腐葉		古墳時代中～後期	モミ属
1597		167	03-5	2335	10	流路1-4城		輪盤	流路に腐葉		古墳時代中～後期	ヤナギ属
1598		163	03-5	2283	10	流路1-4城		輪盤?	流路に腐葉		古墳時代中～後期	スタジイ
1599		168	03-5	2401	10	流路1-4城		輪盤?	流路に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1600		169	03-5	2401	10	流路1-4城		輪盤?	流路に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1601	H19-8	179	06-2	162	3	流路1-4城		ナスビ形動	流路に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1602	H19-4	175	06-2	132	3	流路1-4城		駒	流路に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1603		3	03-5	307	1	流路1-4城		材	溝に腐葉		古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1604	H19-7	178	06-2	157	3	流路1-4城		材	流路に腐葉	板状	古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
1605	H19-5	176	06-2	132	3	流路1-4城		棒?	流路に腐葉		古墳時代中～後期	ツガ属
1606	7-6	199	03-5	2321	10	流路1-4城		鉄条の柄(柄)	流路に腐葉		古墳時代中～後期	アカガシ亜属
1606	7-7	200	03-5	2321	10	流路1-4城		鉄条の柄(頭)	流路に腐葉		古墳時代中～後期	アカガシ亜属

表1 樹種同定結果(3)

遺物番号	サンプル番号	通サブル番号	調査名	登録番号	トレンチ	出土遺構・層など	取り上げ番号など	名称	最終の使用形態	材の形状	時期	樹種
1607		130	03-5	2445	10	流路1-4城		舷側板?	流路に投棄	板材 ほぞ穴 縦じ皮	古墳時代中～後期	スギ
1608		114	03-5	307	1	流路1-4城		舷側板	溝に投棄	板	古墳時代中～後期	ヒノキ
1609	H19-3	174	06-2	132	3	流路1-4城		材	流路に投棄		古墳時代中～後期	スギ
1610		171	03-5	2458	10	流路1-4城		杭(船材転用?)	流路に打設		古墳時代中～後期	スギ
1611		115	03-5	343	1	流路1-4城		杭(転用)	流路に打設	大型の丸木材	古墳時代中～後期	ヒノキ
1612		131	03-5	344	1	流路1-4城		杭	流路に投棄		古墳時代中～後期	スギ
1613	H19-21	192	03-5	271	3	流路1-4城		建築材	流路に投棄		古墳時代中～後期	スギ
1614	H19-2	173	06-2	132	3	流路1-4城		天科棒	流路に投棄		古墳時代中～後期	スギ
1615		129	03-5	1907	7	流路1-4城		材(柱材?)	流路に投棄		古墳時代中～後期	ヒノキ科
不掲載		56	03-5	2323	10	杭列4	1	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	ウメ
不掲載		71	03-5	2355	10	杭列4	2	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	マツ属 縄文管束垂属
不掲載		57	03-5	2324	10	杭列4	3	杭	流路に打設		古墳時代中～後期	スギ
不掲載		58	03-5	2325	10	杭列4	4	杭(転用)	流路に打設	杭 割り材	古墳時代中～後期	スギ
不掲載		59	03-5	2326	10	杭列4	5	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		60	03-5	2327	10	杭列4	6	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		61	03-5	2328	10	杭列4	7	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		62	03-5	2329	10	杭列4	8	杭	流路に打設	角材 先端加工	古墳時代中～後期	コナラ属 コナラ亜属 コナラ節
不掲載		72	03-5	2356	10	杭列4	2?	杭(転用)	流路に打設	板材 先端杭状	古墳時代中～後期	ツブラライ
不掲載		73	03-5	2357	10	杭列4		杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		64	03-5	2339	10	杭列5	2	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	スギ
不掲載		75	03-5	2366	10	杭列5	3	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		65	03-5	2340	10	杭列5	4	杭	流路に打設		古墳時代中～後期	コナラ属 アカガシ亜属
不掲載		66	03-5	2341	10	杭列5	5	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	サカキ
不掲載		67	03-5	2342	10	杭列5	6	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	モッコク
不掲載		68	03-5	2343	10	杭列5	7	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		74	03-5	2358	10	杭列5	10	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ツブラライ
不掲載		69	03-5	2344	10	杭列5	11	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	カヤ
不掲載		70	03-5	2345	10	杭列5	12	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		78	03-5	2409	10	杭列6	1	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ツブラライ
不掲載		79	03-5	2410	10	杭列6	2	杭(転用)	流路に打設		古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		81	03-5	2412	10	杭列6	4	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		82	03-5	2413	10	杭列6	5	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		83	03-5	2414	10	杭列6	6	杭(転用)	流路に打設	杭 角材	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		84	03-5	2415	10	杭列6	7	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		85	03-5	2416	10	杭列6	8	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		86	03-5	2417	10	杭列6	9	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	コナラ属 アカガシ亜属
不掲載		87	03-5	2418	10	杭列6	10	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		88	03-5	2419	10	杭列6	11	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ツブラライ
不掲載		89	03-5	2420	10	杭列6	12	杭	流路に打設	杭 四分の三割	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		90	03-5	2421	10	杭列6	13	杭(転用)	流路に打設	角材?	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		91	03-5	2422	10	杭列6	14	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	サカラ属
不掲載		92	03-5	2423	10	杭列6	15	杭(転用)	流路に打設	角材	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		80	03-5	2411	10	杭列6		杭	流路に打設		古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		93	03-5	2424	10	杭列6		杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		94	03-5	2425	10	杭列7	1	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		95	03-5	2426	10	杭列7	2	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		96	03-5	2427	10	杭列7	3	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	コナラ属 アカガシ亜属
不掲載		97	03-5	2428	10	杭列7	4	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ツブラライ
不掲載		98	03-5	2429	10	杭列7	5	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		99	03-5	2430	10	杭列7	6	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	コナラ属 アカガシ亜属
不掲載		100	03-5	2431	10	杭列7	7	杭	流路に打設	角材 杭 ほぞ穴	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載		101	03-5	2432	10	杭列7	8	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載		102	03-5	2433	10	杭列7	9	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ツブラライ
不掲載		103	03-5	2434	10	杭列7	10	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	スダジイ
不掲載		104	03-5	2435	10	杭列7	11	杭	流路に打設	丸 杭	古墳時代中～後期	ツガ属

表1 樹種同定結果(4)

遺物番号	サンプル番号	通サンプル番号	調査名	登録番号	トレンチ	出土遺構・層など	取の上げ番号など	名称	最終の使用形態	材の形状	時期	樹種
不掲載	105	03-5	2436	10	杭列7	12	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載	106	03-5	2437	10	杭列7	13	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	スタジイ
不掲載	107	03-5	2438	10	杭列7	14	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	サカキ
不掲載	108	03-5	2439	10	杭列7	15	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載	109	03-5	2440	10	杭列7	16	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	コナラ属コナラ亜属コナラ節
不掲載	110	03-5	2441	10	杭列7	17	杭(転用)	流路に打設	流路に打設	杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載	111	03-5	2442	10	杭列7	18	杭(転用)	流路に打設	流路に打設	杭	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載	76	03-5	2405	10	土橋1	盛土断面(3)の杭	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	サウラ
不掲載	77	03-5	2407	10	土橋1	盛土断面(2)の杭	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	112	03-5	2408	10	土橋1	盛土断面(4)の杭	杭	流路に打設	流路に打設	丸杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	1	03-5	221	1	流路1-4城		角材	流路に礎葉	流路に礎葉	角材	古墳時代中～後期	ヤマグワ
不掲載	2	03-5	221	1	流路1-4城		角材	流路に礎葉	流路に礎葉	角材	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	4	03-5	261	1	流路1-4城		材	流路に礎葉	流路に礎葉	その他	古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載	5	03-5	261	1	流路1-4城		材	流路に礎葉	流路に礎葉	その他	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載	6	03-5	261	1	流路1-4城		杭(角材転用)	流路に礎葉	流路に礎葉	断面角杭	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	7	03-5	261	1	流路1-4城		材	流路に礎葉	流路に礎葉	板材	古墳時代中～後期	スギ
不掲載	8	03-5	311	1	流路1-4城		材	流路に礎葉	流路に礎葉	板材	古墳時代中～後期	モミ属
不掲載	55	03-5	2313	10	流路1-4城		材	流路に礎葉	流路に礎葉	丸杭 両端加工	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	113	03-5	2445	10	流路1-4城		材	流路に礎葉	流路に礎葉	その他 自然木	古墳時代中～後期	スギ
不掲載	9	03-5	316	1	流路1-4城		材	薄に礎葉	薄に礎葉	板材	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	18	03-5	816	4	流路2		材	流路に礎葉	流路に礎葉	板材 杭 先焼	古墳時代中～後期	ヒノキ
不掲載	39	03-5	924	4	流路2		材	流路に礎葉	流路に礎葉	大型	古墳時代中～後期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載	16	03-5	594	2	第2b層		不明	堆積層中から出土	堆積層中から出土	大型	弥生時代後期～古墳時代前期?	ヒノキ
不掲載	40	03-5	928	4	第2b層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	丸木 先端加工	弥生時代後期～古墳時代前期?	ヒノキ
不掲載	44	03-5	1252	5	第2b層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	丸木 先端加工	弥生時代後期～古墳時代前期?	マツ属短葉松亜属
不掲載	63	03-5	2333	10	第2b層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	板材 角材 先端加工	弥生時代後期～古墳時代前期?	スギ
不掲載	17	03-5	635	2	第3-1b層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	板材 大型	弥生時代後期～古墳時代前期?	ヒノキ
1996	713	206	03-5	2188	8	第3-2b層	点け木	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ
1997	712	205	03-5	2178	8	第3-2b層	点け木	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ
1998	711	204	03-5	2167	8	木材集中1	農具?	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ
1999	161	03-5	2201	8	第3-4a層		(名称不明)	堆積層中から出土	堆積層中から出土	板状・有孔(2ヶ所)	弥生時代中期	ツブラジイ
2000	160	03-5	2199	8	第3-4a層		(名称不明)	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	クスノキ
2001	203	03-5	2163	8	第3-4a層		建築部材?	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	コウヤマキ
2002	七未20	213	03-5	2201	8	第3-4a層	建築部材?	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ
2003	159	03-5	2184/2189	8	第3-4a層		田下駄	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ
2004	セ9	202	03-5	2175	8	第3-4a層	(名称不明)	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	コウヤマキ
2005	158	03-5	1951	6	ヒツ187		点け木	穴に投棄	穴に投棄		弥生時代中期	ヒノキ科
2006	155	03-5	1936	6	第3-2b層		点け木	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ科
2007	117	03-5	651	2	第3-4層		点け木	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ
2008	156	03-5	1936	6	第3-2b層		点け木	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ヒノキ科
2009	157	03-5	1936	6	第3-2b層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	棒状・有溝	弥生時代中期	ヒノキ科
2010	162	03-5	656	2	第3-4b～第4a層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	板状・炭化	弥生時代中期	スギ
2011	149	03-5	1267	5	第3-2b層		横縄	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	マツ属短葉松亜属
2012	154	03-5	1930	6	第3-2b層		組合せ軸	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	コナラ属アカガシ亜属
2013	135	03-5	657	2	第3-4層		柄の一部?	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	クワ
2014	153	03-5	1928	6	第3-2b層		木樋丁	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載	45	03-5	1290	5	第3-3a層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載	52	03-5	2196	8	第3-4a層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	コナラ属アカガシ亜属
不掲載	53	03-5	2196	8	第3-4a層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土		弥生時代中期	ツブラジイ
不掲載	54	03-5	2200	8	第3-4a層		材	堆積層中から出土	堆積層中から出土	杭 四分の三割	弥生時代中期	スタジイ
2113	134	03-5	377	2	第1-3～5層		(名称不明)	堆積層中から出土	堆積層中から出土	薄い板状	古代以降(中世?)	ヒノキ科
2114	132	03-5	361	2	第1-3～5層		下駄	堆積層中から出土	堆積層中から出土		古代以降(中世?)	センダン

表2 弥生時代中期および弥生時代後期～古墳時代前期の器種別種類構成

	弥生時代中期										弥生後期～古墳前期		合計
	工具			農耕土木具				建築部材	その他		その他		
	横槌	点け木	柄の一部?	組合せ鋤	田下駄	木庖丁	農具?	建築部材?	材	不明	材	不明	
複雑管束亜属	1										1		2
スギ									1		1		2
コウヤマキ								1		1			2
ヒノキ		3			1						1	1	6
ヒノキ科		3								1			4
コナラ節											1		1
アカガシ亜属				1		1				2			4
クリ			1										1
ツブラジイ									1	1			2
スタジイ									1				1
ブナ科							1						1
クスノキ										1			1
合計	1	6	1	1	1	1	1	1	5	4	4	1	27

利用されている。ヒノキおよびヒノキ科は、木材が比較的軽軟で、製油成分を含むために火付きがいいことから、こうした材質が利用の背景に考えられる。この他、横槌には強度の高いマツ属複雑管束亜属、柄の一部?には強度・耐朽性の高いクリが利用されている。

農耕土木具では、組合せ鋤、田下駄、木庖丁、不明農具?がある。組合せ鋤と木庖丁はいずれもアカガシ亜属であり、硬い木材が選択されている。一方、田下駄はヒノキであり、比較的軽く耐水性の高い木材が選択されている。建築部材?は針葉樹のコウヤマキであり、木理が通直で加工が容易であり、耐水性が高い木材を利用している。

この他、器種不明の資料にスギ、コウヤマキ、ヒノキ科、アカガシ亜属、ツブラジイ、スタジイ、クスノキが利用されている。

(2) 弥生時代後期～古墳時代前期

木製品は5点あるが、全て器種不明であり、針葉樹の複雑管束亜属、スギ、ヒノキ、広葉樹のコナラ節が利用されていた。

(3) 古墳時代中期～後期

この時期に帰属する資料は、厳密に時期を特定できない木製品も含めて179点があり、針葉樹11分類群、広葉樹18分類群が利用されていた。これらの木製品は、工具、農耕土木具、編み具・紡織具、運搬具、漁労具、祭祀具、威儀具、武器・武具・馬具、容器、建築部材、施設材・器具材、土木材、その他に分類される。

工具では、鉄斧柄、柄頭、楔?があり、柄頭にクルミ科が認められた他は全てアカガシ亜属であった。アカガシ亜属は重硬で強度が高い材質を有しており、クルミ科にも重硬な木材が含まれることから、工具では強度の高い木材を選択していたことが推定される。

農耕土木具では、ナスビ形鋤、ナスビ形鋤、鋤、農具?柄がある。全てアカガシ亜属が利用されており、工具と同様に強度の高い木材を利用していたことが推定される。このうち、鋤や鋤は、これまでの調査でもアカガシ亜属が多くを占めており、既存の調査事例とも調和的である。

編み具・紡織具では、経送具と木錘があり、経送具はサカキ、木錘はアカガシ亜属に同定された。サカキも重硬な材質を有している。同時期の経巻具あるいは布巻具の樹種に関する資料は、大阪府内では確認できない。一方、奈良県内では南郷大東遺跡で古墳時代中期～後期の経巻具・布巻具について樹種同定が実施されており、ヒノキ・サワラ・スギ等の針葉樹を中心に広葉樹のアカガシ亜属も混じる結果

表3 古墳時代中期～後期の器種別種類構成

樹種\器種	工具				農耕土木具				編み具・紡織具		運搬具				祭祀具
	鉄斧柄		柄	楔	鋏	鋤		農具?	織機	編台	天秤棒	背負子	舷側板	櫂?	形代
	頭	柄	柄頭	楔?	ナスビ形	ナスビ形	鋤	柄	経送具	木錘					舟形
複雑管束亜属															
モミ属															
ツガ属															
スギ											1		1		
コウヤマキ															
ヒノキ												1	1		
サワラ															
ヒノキ科															
マキ属															
イヌガヤ															
カヤ															
クルミ科			1												
ヤナギ属															1
クヌギ節															
コナラ節															
アカガシ亜属	1	1		1	1	1	1	1		1				1	
クリ															
ツブラジイ															
スダジイ															
ケヤキ															
ヤマグワ															
サカキ									1			1			
ヒサカキ															
モッコク															
アジサイ属															
ウメ															
サクラ属															
マメ科															
シヤンパンボ															

樹種\器種	威儀具		武器・武具・馬具					漁労具		容器		建築部材			
	儀仗?	蓋 腕木	馬具 後輪	輪錠	輪錠?	木鏃 三稜鏃	弓 弓幹	アカトリ	網杵?	槽?	耳杯	柱材?	礎板	けなし?	建築材
複雑管束亜属		1								1					
モミ属						1						1			
ツガ属													4		1
スギ															
コウヤマキ															
ヒノキ	1		1												
サワラ															
ヒノキ科												1			
マキ属															
イヌガヤ															
カヤ															
クルミ科															
ヤナギ属													1		
クヌギ節															
コナラ節															
アカガシ亜属					2								1	1	
クリ															
ツブラジイ															
スダジイ				1											
ケヤキ															
ヤマグワ								1							
サカキ															
ヒサカキ															
モッコク															
アジサイ属							1								
ウメ															
サクラ属											1				
マメ科									1						
シヤンパンボ															

樹種\器種	施設材・器具材						土木材				その他				
	井戸枠			農具転用?			樁		転用杭		加工材	角材	材	不明	
	井戸枠	柱	樁	農具転用?	扉転用	樁?	杭	杭?	角材?	船材?					その他
複雑管束亜属															
モミ属	2				4		9				1			6	
ツガ属						1	1								
スギ							2			1	2			10	1
コウヤマキ		1													
ヒノキ			1	1			7		1		5		1	14	1
サワラ							1							1	
ヒノキ科												1		1	
マキ属						2									
イヌガヤ														1	1
カヤ							1							1	
クルミ科															
ヤナギ属														1	
クヌギ節														2	
コナラ節		1					2								
アカガシ亜属							4							6	
クリ															
ツブラジイ	1	2			1		5	1			1			2	
スダジイ	2	1					7							2	
ケヤキ														1	
ヤマグワ													1		1
サカキ							2								
ヒサカキ															
モッコク							1							1	
アジサイ属															
ウメ											1				
サクラ属							1								
マメ科															
シヤンパンボ		1													

が得られている(福田,2003)。樹種は異なるが、重硬なアカガシ亜属が利用されている結果は、今回のサカキの利用とも調和的である。木錘は、葺屋北遺跡でアカガシ亜属、サカキ、ツバキ属など重硬な木材が利用される傾向が確認されており、今回の結果とも調和的である。

運搬具では、天秤棒、背負子、舷側板、櫂?があり、天秤棒はスギ、背負子はヒノキとサカキ、舷側板はスギとヒノキ、櫂?はアカガシ亜属に同定された。天秤棒は同様の資料について樹種を明らかにした例が知られていないため、木材利用については不明であり、今後の資料蓄積が課題である。一方、背負子については、西岩田遺跡等で弥生時代後期～古墳時代初頭の資料にサカキ、ツバキ属、ユズリハ属など重硬な木材が利用された結果が報告されている(松田,1983)。古墳時代中期～後期の資料については分析例が知られていないが、サカキの利用は弥生時代後期～古墳時代初頭の結果とも調和的であり、同様の木材利用が継続していた可能性がある。舷側板は、本遺跡03-4調査区で井戸に転用されていた資料にスギとヒノキが確認されており、これまでの結果とも調和的である。櫂は、同時期の資料としては、溝咋遺跡(その3)でコウヤマキが確認された例がある程度で、調査例が少ないが、弥生時代の資料では西岩田遺跡や高宮八丁遺跡でアカガシ亜属が確認された例があり、本資料が櫂としても矛盾はしない(松田,1983,1989;財団法人大阪府文化財調査研究センター,2000)。今後は、各時期の資料を蓄積し、時期による木材利用の違いなどにも明らかにする必要がある。

漁労具は、アカトリと網杵?があり、アカトリはケヤキ、網杵はマメ科に同定された。ケヤキは重硬で強度・耐朽性に優れた材質を有する。マメ科は、材質も様々であるが、比較的重硬な材質を有する種類が多い。アカトリについては、溝咋遺跡(その3)で古墳時代の資料にスギが確認された例があるが、他には調査事例が無い。今回の結果から、少なくとも針葉樹のスギと広葉樹のケヤキが利用されていたことが推定される。また、網杵は、これまでの調査では時代に関わらず、イヌガヤ、カヤ、マキ属等の韌性のある針葉樹材が多い傾向があり、広葉樹材の利用は西岩田遺跡でサカキが認められた1例のみである。そのため、本資料については、網杵以外の器種に由来する可能性もある。

祭祀具では、舟形木製品がヤナギ属に同定されている。ヤナギ属は、軽軟で加工は容易であるが、保存性は低いとされる。大阪府内の調査例をみると、舟形には針葉樹のスギやヒノキを利用する例が多く、広葉樹材の利用は少ない。広葉樹材では、久宝寺南遺跡のサカキ(弥生後期)や下田遺跡のツバキ(古墳前期)があり、散孔材で緻密・重硬な材質を有する種類が利用されている。本遺跡で確認されたヤナギ属は、これまで確認された広葉樹材とは材質的に異なっており、今回の結果から軽軟な広葉樹材も利用されていたことが推定される。

威儀具では、儀仗?と蓋の腕木があり、儀仗?はヒノキ、蓋の腕木はマツ属複維管束亜属に同定された。大阪府内の明らかに儀仗とわかる資料は、亀井遺跡や高宮八丁遺跡の弥生時代を中心とした資料で、種類不明の広葉樹やサカキが確認されている(大阪府教育委員会,1983;松田,1989)。針葉樹材では、下田遺跡でイヌガヤが確認された例があるが(財団法人大阪府文化財調査研究センター,1996)、イヌガヤは比較的軽硬・緻密な木材であり、ヒノキよりもサカキに近い材質である。ヒノキの事例は確認されなかったが、今回の結果からヒノキについても利用されていたことが推定される。蓋は、西岩田遺跡や下田遺跡で古墳時代前期の資料について樹種同定が行われており、シイノキ属とカヤが確認されているが、いずれも軸を対象とした調査であり、腕木について樹種を明らかにした例は確認できない。今回の結果から、少なくともマツ属複維管束亜属が利用されていたことが推定される。

武器・武具・馬具では、馬具の後輪や輪轆、木鏃(三稜鏃)、弓幹があり、後輪はヒノキ、輪轆はシイ

ノキ属、輪鏡？は2点ともアカガシ亜属、三稜鎌はモミ属、弓幹はアジサイ属に同定された。輪鏡および輪鏡？では比較的硬い広葉樹材が利用されているが、後輪や三稜鎌では針葉樹材が利用され、強度等よりも加工性が重視されていることが推定される。なお、弓幹のアジサイ属は、現在の分布、樹高、直径等を考慮すると、比較的大型になり、木材も重硬な材質を有するノリウツギなどを利用している可能性がある。

大阪府内の鞍に関する資料では、玉櫛遺跡から出土した前輪がツバキ属に同定されているが、他には鞍の前輪・後輪の樹種に関する資料がほとんどない。ツバキ属は重硬・緻密な木材であり、ヒノキとは材質が異なる。今回の結果から、鞍の前輪・後輪は、広葉樹が利用される場合と針葉樹が利用される場合とがあったことが推定される。輪鏡は、葦屋北遺跡でアカガシ亜属が確認されており、今回の結果とも調和的である。一方、矢については、紫金山古墳等から出土した古墳時代前期の資料で矢柄にタケが多い結果が報告されているが（岡田,2005）、木鎌そのものを対象とした調査例はほとんど無く、木材利用については不明である。今回の結果から、少なくとも針葉樹のモミ属が利用されていたことが推定される。弓は、弥生時代の飾り弓や素木の丸木弓を対象とした調査が中心で、針葉樹のカヤやイヌガヤが多い結果が得られているが、アジサイ属の確認例は知られていない。また、古墳時代については、弓の形態に関わらず、樹種に関する情報はほとんどないため、木材利用については不明であり、今後の資料蓄積が課題である。

容器では、槽？がマツ属複維管束亜属、耳杯がサクラ属に同定された。古墳時代中期～後期の槽については、葦屋北遺跡、長原遺跡、森遺跡、溝昨遺跡などで樹種が明らかにされており、針葉樹のモミ属やスギが確認されている（景守,1997;財団法人大阪市文化財協会,2002;大阪府教育委員会,2006）。マツ属複維管束亜属の利用例は確認できないが、針葉樹が利用されている点では共通する。なお、マツ属複維管束亜属は、宮ノ下遺跡の弥生時代中期末～6世紀とされる槽に確認された例がある（パリノ・サーヴェイ,1996）。耳杯については、同様の製品について樹種を明らかにした例が無いので、サクラ属の利用が一般的かは不明である。なお、同時期の容器類にサクラ属が確認された例は確認できないが、弥生時代では瓜生堂遺跡の高杯、池上遺跡の鉢、高宮八丁遺跡の不明容器等に確認された例がある（松田,1980,1989;大阪市文化財協会,1999）

建築部材には、柱材？にモミ属とヒノキ科、礎板にスギ、ヤナギ属、アカガシ亜属、けなし？にアカガシ亜属、器種不明の建築材にスギが認められた。柱材？では、樹種は異なるが、大径木になる針葉樹材が利用されている。礎板、けなし？、建築材では、割りやすく板の加工が容易なスギや、強度の高いアカガシ亜属がみられるが、強度・保存性の低いヤナギ属も1点認められる。

既存の調査例をみると、柱材には様々な木材が利用されており、モミ属やヒノキ科も確認例がある。柱材？2点の樹種同定結果は、既存の結果とも調和的である。けなし？と礎板については、同時期における同様の資料について樹種を明らかにした例がないが、今回の結果からスギやアカガシ亜属が利用されていたことが推定される。

施設材・器具材は、井戸枠を中心に器種不明の棒が含まれる。井戸枠は、柱や棒などがあり、転用材も含まれている。井戸枠では、モミ属、ツブラジイ、スタジイ、柱材はコウヤマキ、コナラ節、クリ、ツブラジイ、スタジイ、棒はヒノキ、農具転用材？はヒノキ、扉転用材はモミ属とツブラジイとなっている。耐水性の高い木材はヒノキやコウヤマキが僅かに認められるのみで、雑多な木材が利用されている。大阪府内では、同時期の井戸枠に関する資料は西岩田遺跡でスギやヒノキが4点ほど確認されてい

るのみであったが（松田,1983）、今回の結果をみると様々な木材が利用されていたことが推定される。なお、モミ属の扉材が井戸に転用された例は、本遺跡（長保寺遺跡）で過去にも確認されている（大阪府教育委員会,1989）。

土木材は、全て杭材であり、角材や船材から転用された資料も含まれている。針葉樹のモミ属、ヒノキ、広葉樹のツブラジイ、スダジイを中心に15分類群が利用されている。重硬な木材（アカガシ亜属、コナラ節、サカキ等）、耐水性の高い木材（ヒノキ、サワラ、カヤ等）、保存性の低い木材（モミ属、ツブラジイ、スダジイ等）が混在しており、材質的にも雑多な種類構成となっている。また、転用杭の中には栽培種のウメも認められ、周辺に生育していた樹木、栽培されていた果樹、加工時の余材など様々な木材を利用していることが推定される。

（4）奈良時代

奈良時代の資料では、井戸に投棄された杭の可能性のあるモミ属の加工木1点がある。また、奈良時代？とされる建物の柱2点がスギまたはヒノキ科とヒノキに同定されている。奈良時代前後の柱材については、久宝寺南遺跡や難波宮址などで樹種同定が実施されているが、スギやヒノキなどの針葉樹が比較的多くみられ、今回の結果とも矛盾しない（島地,1987;高橋,2000）。

（5）古代以降

古代以降の資料は、古代以降？とされる柱材1点がモミ属に同定されている。また、古代以降（中世？）とされる下駄がセンダン、器種不明の材がヒノキ科に同定されている。このうち、下駄に認められたセンダンは、鬼虎川遺跡でも中世の連歯下駄に確認された例がある（株式会社東都文化財保存研究所,2000）。この他、中世の下駄では、三日市遺跡でスギ、マツ属、西ノ辻遺跡でクリとネズコ属が確認されており（山口,1988;東大阪市教育委員会・財団法人東大阪市文化財協会,1995）、これらの樹種と共に利用されていたことが推定される。

（高橋 敦・辻本裕也）

引用文献

- 福田 さよ子,2003,南郷大東遺跡出土木製品の樹種・材の樹種同定-「南郷遺跡群Ⅲ」,奈良県立橿原考古学研究所調査報告第74冊,奈良県教育委員会,250-273.
- 林 昭三,1991,日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
- 東大阪市教育委員会・財団法人東大阪市文化財協会,1995,木製品観察表.「西ノ辻遺跡第22次発掘調査報告書」,135-141.
- 伊東 隆夫,1995,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料,31,京都大学木質科学研究所,81-181.
- 伊東 隆夫,1996,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料,32,京都大学木質科学研究所,66-176.
- 伊東 隆夫,1997,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料,33,京都大学木質科学研究所,83-201.
- 伊東 隆夫,1998,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料,34,京都大学木質科学研究所,30-166.
- 伊東 隆夫,1999,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料,35,京都大学木質科学研究所,47-216.
- 景守 紀子,1997,森遺跡から出土した木炭および木材の樹種.「森遺跡Ⅴ」,交野市埋蔵文化財調査報告1996-II,41-45.
- 松田 隆嗣,1980,木質遺物の樹種について.「池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書 第6分冊 自然遺物編」,大阪文化財センター,131-144.
- 松田 隆嗣,1983,西岩田遺跡出土木製遺物の樹種について.「西岩田近畿自動車道天理-吹田線建設に伴う埋蔵文化財

- 発掘調査概要報告書」,大阪府教育委員会,309-342.
- 松田 隆嗣,1989,高宮八丁遺跡出土木製遺物の樹種について.「高宮八丁遺跡 木器編」,寝屋川市教育委員会,84-88.
- 岡田 文男,2005,紫金山古墳出土有機質遺物の材質調査.「紫金山古墳の研究 古墳時代前期における対外交渉の考古学的研究」,京都大学大学院文学研究科,243-246,
- 大阪府教育委員会,1983,亀井 近畿自動車道天理-吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書,263p.
- 大阪府教育委員会,1989,板扉のまとめ.「都市計画道路国守黒原線建設工事に伴う讃良郡条里遺跡発掘調査概要・I - 寝屋川市昭栄町所在 -」,24-25.
- 大阪府教育委員会,2006,葎屋北遺跡発掘調査概要V,43p.
- パリオ・サーヴェイ株式会社,1996,出土木製品の樹種.「宮ノ下遺跡第1次発掘調査報告書 第1分冊」,東大阪市教育委員会・東大阪市文化財協会,113-138.
- Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E. (編),2006,針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡の特徴リスト.伊東 隆夫・藤井 智之・佐野 雄三・安部 久・内海 泰弘(日本語版監修),海青社,70p. [Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E. (2004) IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification].
- 島地 謙,1987,出土船材並びに杭材の樹種.「久宝寺南(その2)久宝寺・加美遺跡の調査 近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書」,大阪府教育委員会・大阪文化財センター,577-579.
- 島地 謙・伊東 隆夫,1982,図説木材組織.地球社,176p.
- 高橋 利彦,2000,前期難波宮水利施設出土木材の樹種同定.「難波宮址の研究第十一 - 前期難波宮内裏西方官衙地域の調査 -」,(財)大阪市文化財協会, 209-216.
- 株式会社 東都文化財保存研究所,2000,鬼虎川遺跡第44次調査で出土した木製品の樹種.「一般国道170号線西石切立体交差事業に伴う 鬼虎川遺跡第44次発掘調査報告」,東大阪市教育委員会,117-126.
- Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編),1998,広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東 隆夫・藤井 智之・佐伯 浩(日本語版監修),海青社,122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].
- 山口 誠治,1988,三日市遺跡出土木製遺物の樹種について.「大阪府河内長野市 三日市遺跡発掘調査報告書Ⅱ」,三日市遺跡調査会,229-232.
- 財団法人東大阪市文化財協会,1999,都市計画道路大阪瓢箪山線建設に伴う瓜生堂遺跡第45次発掘調査概要報告.250p.
- 財団法人大阪府文化財調査研究センター,1996,下田遺跡 - 都市計画道路常盤浜寺線建設に伴う発掘調査報告書 - 第I分冊 本文編,368p.
- 財団法人大阪府文化財調査研究センター,2000,溝昨遺跡(その3・その4) - 茨木・学園町地区埋蔵文化財発掘調査3次・4次報告書 - 大阪府文化財調査研究センター調査報告書第50集.
- 財団法人大阪市文化財協会,2002,大阪市平野区 長原遺跡発掘調査報告IX - 市営長吉長原東第2住宅建設工事に伴う発掘調査報告書 -」,29p.

第3節 動物遺存体の同定・分析

はじめに

讃良郡条里遺跡（03-5・06-2調査）から出土した古墳時代を主とする動物遺存体について、同定作業の結果を報告する。また、同定結果に基づき、分析作業を行った。同定結果については巻末に一覧表を掲載した（動物遺存体一覧表1～2）。

第1項 概要

今回、報告する動物遺存体は、5世紀後半の流路と遺物包含層から出土したものであり、調査地が湿地環境であったため、微生物による分解をまぬがれ、保存されたと考えられる。これらの動物遺存体は、ビビアナイトの析出が著しく、全体的に青色を呈し、採集した後の乾燥によって著しく劣化している。そのため、肉眼および顕微鏡によって解体や被熱などの痕跡を観察することが困難である。

出土した動物遺存体は、破片数にして総計98点を数えるが、種類および部位が同定できた破片は56点にとどまる。その内訳はウマが48点、イヌが3点、ニホンジカが2点、イノシシが1点、ヒトが1点、カニ類が1点である（表4）。また、鹿角製の工具の柄と思われるものが1点含まれているほか、金属製の刀子が装着された状態の鹿角製の柄が1点出土している（第4章第2節、図版262-1542）。

第2項 種類別の特徴

カニ類 可動指あるいは不可動指が1点のみ出土している。保存状態に恵まれず、先端部のみが出土しており、種類や大きさは不明である。

イヌ 脛骨3点（右3）が出土している。このうち1点はほぼ完存しており、最大長160.2mmを測り、体高45.0cmと推定され（註1）、長谷部言人（1952）によるイヌの大きさの分類では、中級に相当する。他の2点は接合できないが、おそらく同一個体と思われ、近位、遠位の両骨端部は癒合していない1.5歳未満の幼獣と推測される。

ウマ 本種が、最も多く同定された。顎骨から遊離した切歯と臼歯が20点出土しており、次いで下顎骨（左4右2結合1不明1）8点、上顎骨（左2右4）6点、橈骨（左2右1）3点、上腕骨（右1不明1）、中手骨（左1不明1）、中足骨（左1不明1）が2点ずつ、肩甲骨（左）、大腿骨（右）、脛骨（右）、踵骨（右）、指骨（不明1）が1点ずつ、計48点が出土している。このほか、中手骨あるいは中足骨、頭蓋骨と思われるものが1点ずつ出土している。上顎および下顎の臼歯列長から推定されるウマの体格は、日本の在来馬で与那国馬や宮古馬のような体高120cm程度の小型馬、御崎馬や木曾馬のような体高130から135cm程度の中型馬、それ以上のサラブレッドのような大型馬に相当する個体が含まれている。年齢は

表4 種名表

節足動物門	ARTHROPODA
甲殻綱	Brachyur
十脚目	Decapoda
カニ類	Brachyura, gen. et sp. indet.
脊椎動物門	VERTEBRATA
哺乳綱	Mammalia
霊長目	Primates
ヒト科	Hominidae
ヒト	Homo sapiens
食肉目	Carnivora
イヌ科	Canidae
イヌ	<i>Canis familiaris</i>
奇蹄目	Perissodactyla
ウマ科	Equidae
ウマ	<i>Equus caballus</i>
偶蹄目	Artiodactyla
イノシシ科	Suidae
イノシシ	<i>Sus scrofa</i>
シカ科	Cervidae
ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>

歯冠高の計測によって、5歳から8歳程度の若齢の個体のほか、5歳以下の幼齢の個体が推定される。歯根が破損しており計測できなかった歯には、咬耗が進行した壮齢から老齢の個体も含まれている。

ウシ 中手骨あるいは中足骨と思われるものが1点のみ出土している。

イノシシ 上顎の第1後臼歯あるいは第2後臼歯が1点のみ、顎骨から遊離した状態で出土している。

ニホンジカ 枝角が2点出土しており、そのうち1点は工具の柄に加工している可能性がある。

ヒト 切歯が1点のみ、顎骨から遊離した状態で出土している。

第3項 分析

当調査では、動物遺存体が流路およびその周辺に集中して出土している（図289）。調査区は全体的に低湿地環境にあり、地点によって動物遺存体の保存状態に差異が生じたとは考えにくい。流路とその周辺から出土した動物遺存体は、すべて散乱状態で出土しており、解体した後に投棄されたことが考えられる。ウマが最も多く、ついでイヌ、ニホンジカ、イノシシ、ウシ、ヒト、カニ類が出土している。

ウマ、ウシは皮、肉、蹄、血、内臓、骨、角鞘などが利用されたことが史料、民族誌、遺跡出土の遺存体に残された加工痕からわかるが、今回出土したウマの骨やウシの歯は加工痕が明瞭でないため、利用の程度は明らかにできない。イノシシは食用と考えて差し支えなく、イヌやカニ類も解体痕は見られないが、食用となった可能性がある。しかし、ニホンジカは枝角が出土しているのみで、鹿角製の刀子柄も出土していることから、食用であったかどうかは定かではない。ヒトは臼歯が1点のみ出土しており、そのみで人間と動物が恒常的に同じ場に遺棄されたかどうかを論ずることは困難である。

出土した動物遺存体の9割以上を占めるウマは、最少個体数が6個体（右上顎第2前臼歯）と算定される（註3）。ウマの部位別の出土量を見ると、遊離歯が最も多く出土している（図288）。ウマの歯は、1個体に占める数が多いだけでなく、他の哺乳類に比して大きな歯であり、強固なエナメル質に覆われ、全身骨格の中でも遺存しやすい部位である。そのほか頭蓋骨と下顎骨といった頭部の骨が多く出土している。それに対して肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、中手骨、大腿骨、脛骨、踵骨、中足骨、指骨といった四肢骨は各部位が少量ずつ出土するに留まり、椎骨や肋骨といった胴部の骨は出土していない。実際には、全身の各部位が投棄されていたが、胴部や四肢の骨は土中で分解され、歯とその周囲の顎骨が保存された結果、出土部位が頭部に集中していると考えられる。

当遺跡で出土したウマの上顎と下顎の全臼歯列長は、上顎が174.1mmから182.4mm、下顎が168.8mmから176.2mmを測り、日本在来の御崎馬や木曾馬に相当する中型馬のほか、サラブレッドに相当する大型馬が推定される（表5）。一方、四肢骨から推定される体高は100cmから130cmまでに収まり、日本の在来馬である野間馬、与那国馬、宮古馬のような小型馬、御崎馬や木曾馬のような中型馬に相当する値を示す（表5）。四条畷市葎屋北遺跡から出土した5世紀後半の埋葬されたウマは、第2胸椎棘突起から末節骨までは127cmを測り、長管状の四肢骨の最大長から推定される体高125cmとほぼ合致するが、上顎の全臼歯列長は199.3mmを測り、サラブレッドに相当する値を示す（安部2006）。葎屋北遺跡の埋葬されたウマは、日本の在来馬と比較すると、四肢の長さに対して頭部が大きいことが指摘されている（小浜2008）。古墳時代以降の

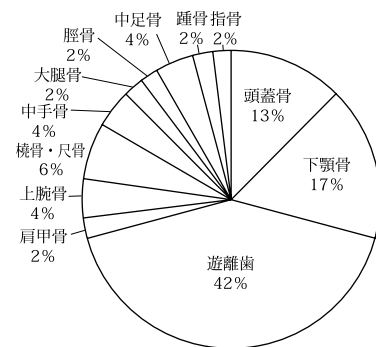


図288 ウマの部位組成 (N=48)

遺跡から出土するウマの体格は、小型馬から中型馬に相当するものばかりとされることから（西中川編1991）、当遺跡で出土したウマもまた、小型馬あるいは中型馬に相当する大きさで、四肢の長さに対して頭部の大きな個体が含まれていることが予想される。

当遺跡が所在する寝屋川市南部の一部から四条畷市、大東市の一部の讚良郡域は、古墳時代中期には馬の生産地であったと考えられている（野島1984・2008）。四条畷市の中野遺跡、奈良井遺跡、鎌田遺跡、南野米田遺跡などの古墳時代の遺跡から、ウマの遺存体が井戸や溝などの遺構から出土しており、祭祀に伴う犠牲と考えられている（野島2005）。大東市の鍋田川遺跡や寺川遺跡では、古墳時代後期から奈良時代にはウマが、ウシ、イノシシ、シカとまとめて河川へ投棄されている（中達・安部2005、黒田・安部2005）。当遺跡では、出土した動物遺存体の大部分がウマであり、なかには幼齢や若齢の個体が含まれ（表6）、周辺の古墳時代や古代の遺跡からウマが出土する多さや文献史料との関連から、当遺跡も馬飼集団との関連が想定される。しかし、前述の中野遺跡や奈良井遺跡のような祭祀に伴う犠牲、葦屋北遺跡や東大阪市の日下遺跡にみられるようなウマの全身を埋葬する状況とは異なり、ウマの遺骸をイヌ、イノシシ、ニホンジカなどの動物と同様に投棄していたと考えられる。

第4項 小結

当調査で出土した動物遺存体はウマが主体であり、カニ類、ヒト、イヌ、イノシシ、ニホンジカが含まれる。これらは流路とその周辺に集中して出土しており、ウマをはじめとする動物の遺骸を投棄する場となっていたことが考えられる。出土した動物遺存体の多くが、ウマであること、そのなかには幼齢や若齢の個体が含まれることを考慮すると、従来から指摘される河内の馬飼集団との関連が想定される。

当地付近において牧が経営されていたならば、そこでは小型馬や中型馬が飼育され、当遺跡や葦屋北遺跡に共通して見られるような四肢の長さに対して頭部が大きな個体が含まれる。また、当遺跡で出土するウマは、短命に終わった幼齢、若齢の個体で、それが解体され、流路に投棄されたことは、これまでの当地周辺の5世紀後半の祭祀に伴うと考えられているウマの発掘事例とは様相が異なる。ウマの死に際して、祭祀に伴う犠牲や殉葬、葦屋北遺跡例のように丁寧な埋葬を施すもの以外に、当遺跡のように他の動物と一緒に投棄することが明らかとなった。（丸山真史）

表5 推定されるウマの大きさ

番号	種類	部位	部分	左右	計測値	*推定体高
5	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	右	前臼歯列長92.76	
10	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	右	全臼歯列長180.29+	
18	ウマ	頭蓋骨	上顎骨・前上顎骨	右	前臼歯列長101.54	
34	ウマ	頭蓋骨	上顎骨・前上顎骨	左	全臼歯列長182.44	
38	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	右	前臼歯列長98.73	
74	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	左	全臼歯列長174.09	
9	ウマ	下顎骨		左右	全臼歯列長175.29	
25	ウマ	下顎骨		左	全臼歯列長174.55	
56	ウマ	下顎骨	下顎体	左	全臼歯列長176.20	
57	ウマ	下顎骨	下顎体	右	全臼歯列長168.78	
73	ウマ	下顎骨	下顎体	右	全臼歯列長169.79	
43	ウマ	上腕骨	骨幹部-遠位端	右	Bd68.99	120～125cm
48	ウマ	橈骨	近位	右	Bp73.81	125～130cm
90	ウマ	橈骨	近位	左	Bp60.60+	100～105cm
21	ウマ	中手骨	遠位	-	Bd46.61	130～135cm
81	ウマ	中手骨		左	Bd40.89+	115～120cm
11	ウマ	脛骨	遠位	右	Bd65.01	125～130cm
94	ウマ	踵骨		右	GB46.74	
60	ウマ	中足骨		左	Bd48.80	130～135cm

* 西中川編（1991）に基づく

表6 推定されるウマの年齢

番号	種類	部位	部分	左右	歯冠高	*推定年齢
3	ウマ	遊離歯	下顎P2?	右	53.9	3歳以下?
18	ウマ	頭蓋骨	上顎M1	右	53.07	5-6歳
34	ウマ	頭蓋骨	上顎P3	左	61.20-	5歳以下
71	ウマ	遊離歯	上顎P2	右	39.9	6-7歳
74	ウマ	頭蓋骨	上顎P3	左	56.63-	6歳以下
76	ウマ	遊離歯	上顎P3?	右	41.6	8-9歳?

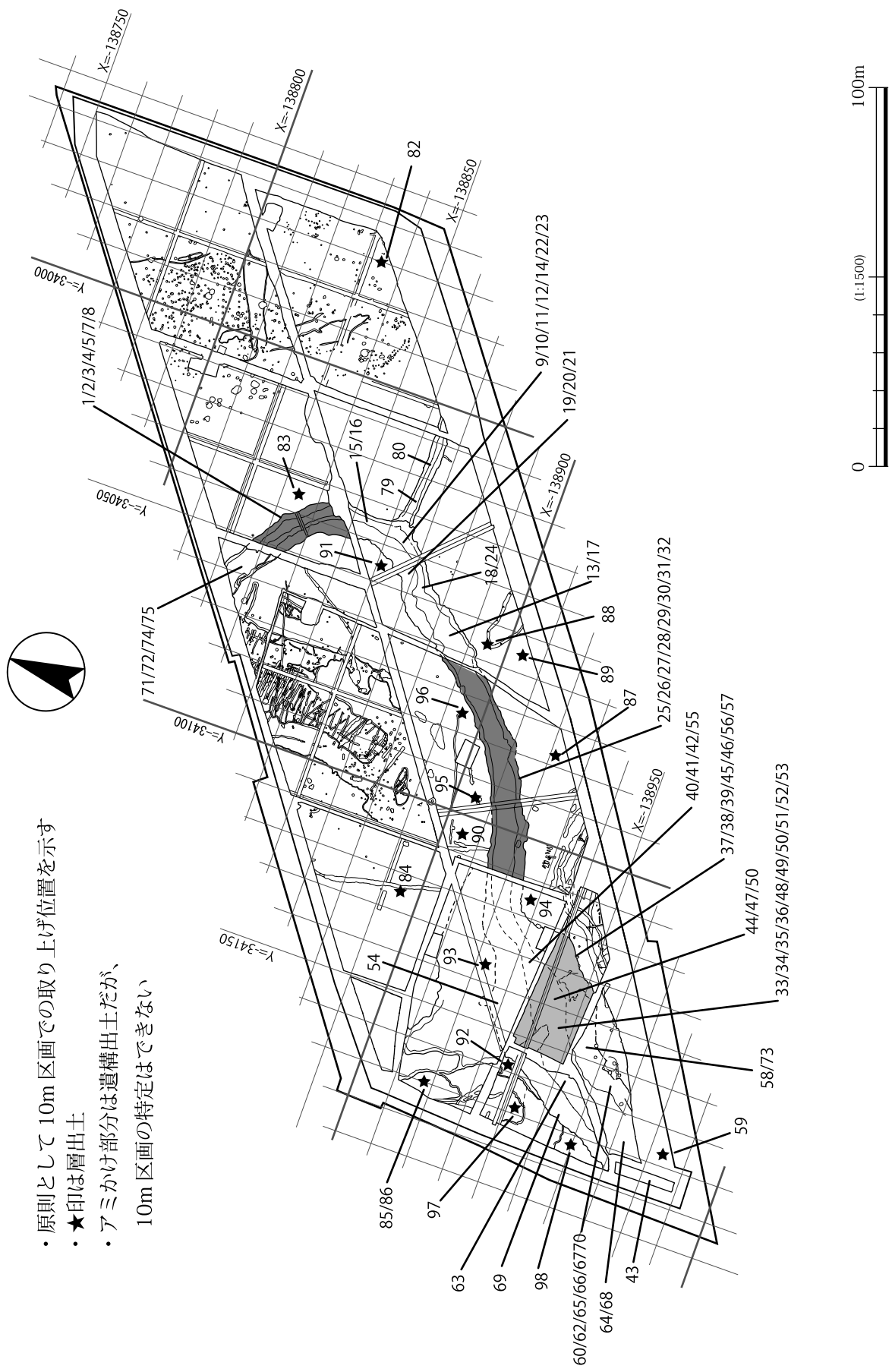
* 西中川編 (1991) に基づく

註

- 1 西中川駿ほか (2008) に基づく。
- 2 Conwall (1974) に基づく。
- 3 1個体が有する1つの部位について、出土した重複する最大の破片点数を最少個体数とする。
- 4 西中川駿編 (1991) に基づく。

参考文献

- 安部みき子2006「古墳時代中期のウマの形質復元と保存(概要)」『葦屋北遺跡発掘調査概要Ⅳ』大阪府教育委員会pp.5-11
- 大阪の部落史委員会編2005『大阪の部落史』第1巻 解放出版社pp.44-46,49-56
- 小浜 成2008「古墳時代ウマの骨格復元 -大阪府立近つ飛鳥博物館の資料製作-」『鹿児島大学総合研究博物館 Newsletter』NO.18 鹿児島大学総合研究博物館編pp.2-7
- 黒田 淳・安部みき子2005「寺川遺跡」『大阪の部落史』第一巻 大阪の部落史研究会編 部落解放・人権研究所pp.65-66
- 中達健一・安部みき子2005「鍋田川遺跡」『大阪の部落史』第一巻 大阪の部落史研究会編 部落解放・人権研究所 pp.61-64
- 西中川駿編1991『古代遺跡出土骨から見たわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究』平成2年度文部省科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告
- 西中川駿・福島晶・谷山敦・池田省吾・土岐学司・小山田和央・松本光春2008「イヌの骨計測値から骨長並びに体高の推定法」『動物考古学』第25号 動物考古学研究会pp.1-11
- 野島 稔1984「河内の馬飼」『万葉集の考古学』森浩一編 筑摩書房 pp.402-408
- 野島 稔2005「中野遺跡」「鎌田遺跡」「南野米田遺跡」「奈良井遺跡」『大阪の部落史』第一巻 大阪の部落史研究会編 部落解放・人権研究所pp.44-46,49-56
- 長谷部言人1952「犬骨」『吉胡貝塚』文化庁pp.146-150
- 林田重幸・山内忠平1957「馬における骨長より体高の推定法」『鹿児島大学農学部学術報告書』第6号pp.146-156
- 山内忠平1958「犬における骨長より体高の推定法」『鹿児島大学農学部学術報告書』第7号pp.125-131
- I.W. Conwall 1974 *Bones for the archaeologist*



- 原則として 10m 区画での取り上げ位置を示す
- ★印は層出土
- アミかけ部分は遺構出土だが、10m 区画の特定はできない

図289 第1面 動物遺体分布図 (s=1/1500)

第4節 古墳時代集落構造の基礎分析

はじめに

本調査においては、第1面において、古墳時代中期～後期に帰属すると考えられる集落（居住域）を検出した。決して大規模な居住域ではなく、存続時期についても不明瞭な部分を多く残すが、後述するように長期にわたって機能した居住域とは考えがたく、当該期の居住域形成にかかわる属性の抽出が、比較的容易であろうと推測される。本節においては第1面微高地2上において確認した居住域の基礎的分析を試み、調査成果の総括のための材料を抽出したいと考える。

第1項 居住域の範囲と検出した遺構

第1面微高地2は今回の調査範囲の中では中央北寄りに位置するもので、微高地の南縁は微低地3、さらに流路1の流れる低地部へといたる。逆に北側に関しては、調査範囲外の様相については不明であるが、微高地がのびる可能性は高い。今回検出した範囲はおおむね、南北60mであり、東西の規模は微高地の幅となる40m程度を測る。

検出した遺構は第0-5面の溝を含み、錯綜した状態で分布するが、確実に古墳時代の居住域を構成する遺構と考えられるものに、掘立柱建物3棟（建物7～9）、井戸3基（井戸3～5）があげられる（図290）。掘立柱建物は束柱をもつものが2棟、柱配置が完結しないもの1棟（建物8）で、これについては礎板を残しながら柱根・柱痕跡がみられないなどの状況もあり、建築途中で廃棄された可能性を想定したところである。井戸については井戸3が上部の崩落した井桁組のもの、井戸4は倉庫の扉板を転用した井戸側をもつもので、ともに特徴的なものである。井戸5は素掘りのものであるが、韓式系土器長胴甕を埋納するもので、韓式系土器は井戸3からも数点出土している。井戸4からは遺物の出土がみられなかった点も特徴的である。なお06-2-4トレンチにおいても1基の井戸を検出したが（井戸2）、時期が不詳であり、条里型地割とのかかわりも想起されるため、一応除外しておく。また、厳密に時期比定ができてはいないが、微高地を横断する溝5、あるいは低地部分において同じ方向をとる溝8に関連する可能性をみる。また直接居住という行為とかかわるものではないが、土器埋納遺構としてピット148・153が微高地の東西に分布し、ピット153には韓式系土器甕が納められていた。

第2項 居住域の規模と井戸の位置

微高地2に分布する居住関連遺構の内、建物7～8は比較的まとまった分布をみせるが、3基の井戸はそれぞれ散漫な分布をみせる。しかし溝と井戸との位置関係に注目すると、井戸3は溝5の北側に接して、井戸4はやや距離をおくものの、やはり溝8の北側に位置することがわかる。特に井戸4と井戸5を結ぶラインを想定すると、溝8と平行する様相が看取され、井戸の位置と溝の位置、方向には相関関係があるとみなすことができる。この見立てが正しいものとする、溝5、溝8は微高地上を区画する性格をもつ溝であり、それぞれがひとつの単位を構成する可能性を指摘することができる。すなわち、溝8、井戸4・5、建物7～9が一応のまとまりをもつものと考えられるのであって、溝5と井戸3は調査区外に分布すると予想する建物とのまとまりをもつものと推測されるのである。ここで注意したい点は、建物群の分布が上記に想定した居住域の単位の中で、南寄りに偏って位置していることである。先述のように、これら建物の中には重複や建替えが無く、建設中に廃棄された可能性を指摘しうるもの

を含んでおり、長期間にわたって居住が続けられたものでないことはあきらかである。仮に居住が長期にわたり、掘立柱建物の耐用年数を超える期間に達すれば、当然建替えもなされたであろうし、新規の建物の建設は、同一の遺構面における遺構分布密度を高めることになる。居住が短期間であれば、居住域全体のプランのうち、極初期のものだけが残されたことになる。すなわち、今回の調査例は居住域全体のプランが満たされる前に廃絶したとみることができるのであって、結果的に偏った位置にのみ、建物遺構が残されるようになったものと推測される。

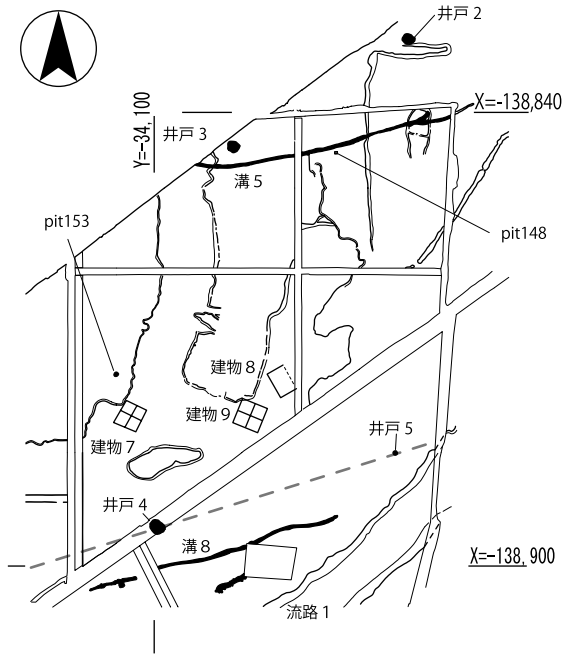
以上の推測が正鵠を射ているものであれば、井戸の配置は建物配置にかかわらず、居住域全体のプランの中で重要な位置を占めており、居住域の区画と同じ段階に、先行して掘削された可能性を示唆する。今回の調査範囲は極めて低湿な環境にあり、井戸を用いずとも取水に不足はないと考えられる。にもかかわらず先行して井戸の掘削が行われた可能性が認められるのであって、しかも井戸3・5とも短期間で埋没、あるいは崩壊した可能性も認められるところである。これらを総合的に解釈すると、かかる居住域の形成にはまず井戸の掘削が重要な位置を占めており、居住域全体のプランの中に位置づけられていたが、ここでは井戸そのものが短期間に使用不可能となり、建物の建設すら中断し、居住域の形成自体が断念されたということになる。そして後述するように、居住域の形成断念が、必ずしも飲料水が得られないという即物的な理由ではないと想定される点が、居住集団を理解するうえで重要となる。

第3項 他遺跡の事例からの分析

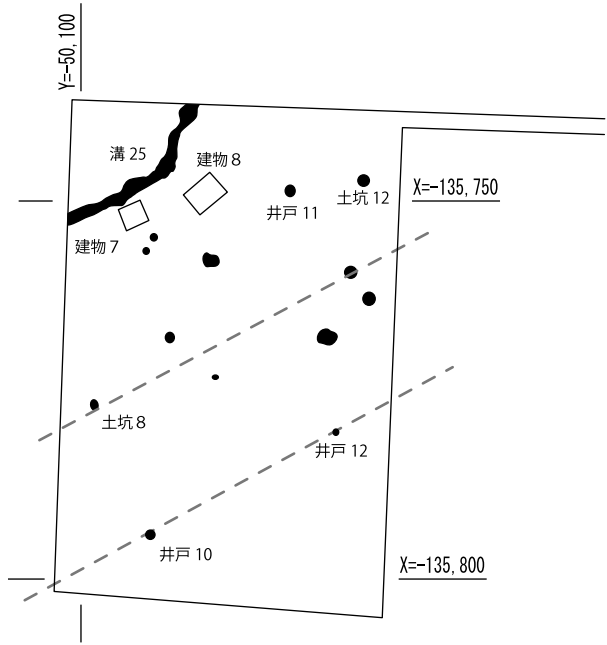
前項での解釈はいささか恣意的なものを含んでおり、調査事例の総括を行うための前段階の作業としては方法的に問題を多く含む。これを緩和するため、時期的に近しい類例において、同様の理解が可能であるかどうかを検証したい。古墳時代集落のまとまった調査事例は少なく、またその分析も十分に進んでいるとはいいがたい（森本ほか2007）ため、管見にふれた3遺跡の調査事例を示したい（図290）。

豊中市勝部遺跡（大阪府文化財センター2003）で検出された古墳時代居住域は、報告書においては前期集落とされているが、出土遺物の様相をみる限り古墳時代中期、大庭寺段階直前に下る居住域と考えられる。検出された居住域にかかわる遺構は建物2棟と井戸、土坑、溝で、建物数が少なく、短期間で廃絶したと想定される点は讃良郡条里遺跡例と同じである。溝25と建物が近接した分布を示すが、井戸はそれらと距離をおいて位置し、井戸10、井戸12を結ぶラインから南東方向には遺構が分布しない。溝などの遺構は伴わないがやはりこのラインが居住域として設定された範囲の一端を示すものと考えられる。他方、調査範囲外についてはわからないが、今のところ溝25が居住域区画の北西側を画するものと考えられる。井戸10・12のラインから建物群の間には土坑が散在する空地があるが、集落が長期にわたって存続した場合は、この部分に建物が順次建設されていた可能性を想定することができる。

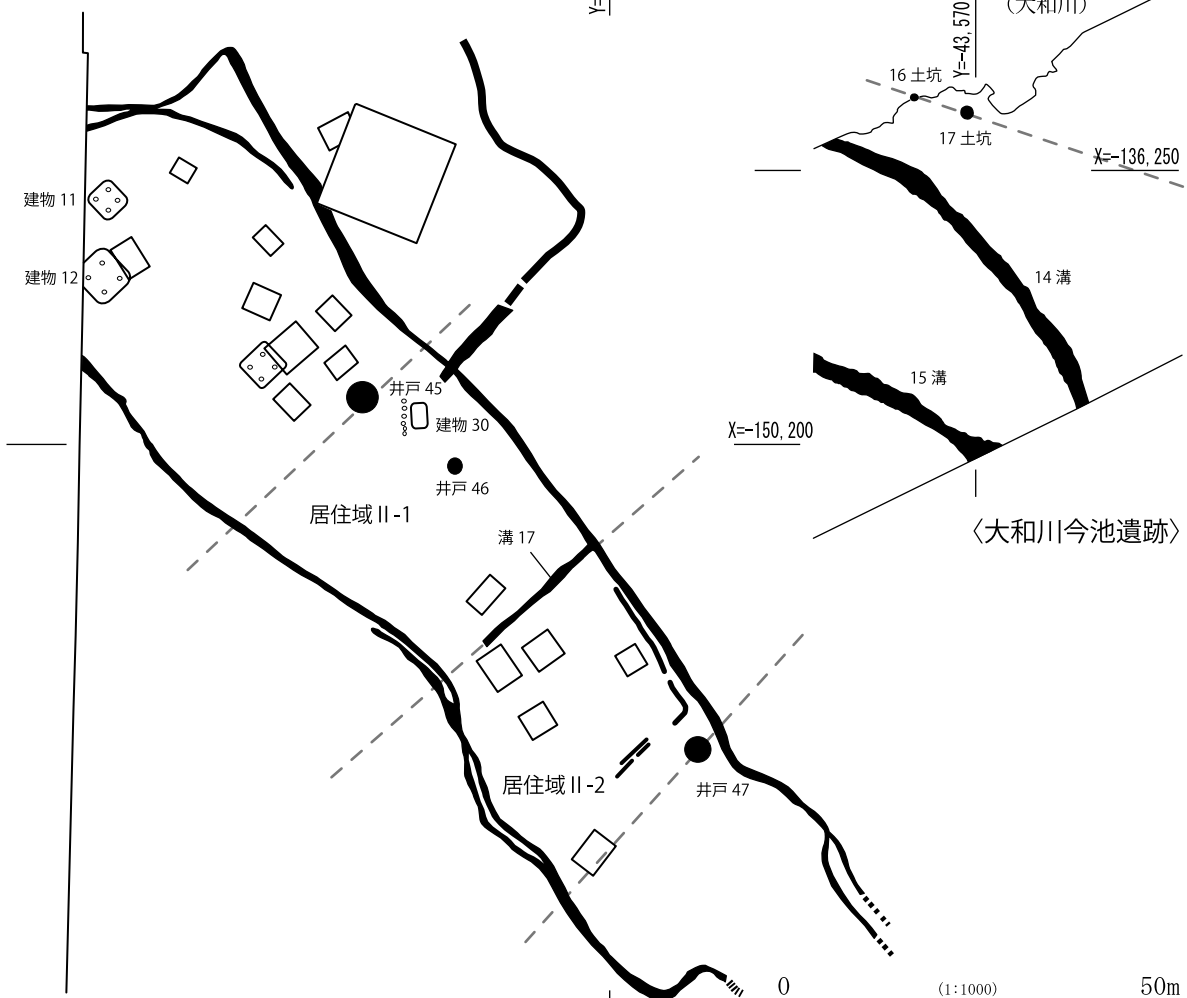
実際に居住域の存続期間が長期にわたる事例については、池島・福万寺遺跡の事例が参考となる。八尾市池島・福万寺遺跡（大阪府文化財センター2002）では相当に広い範囲の調査が進められており、福万寺Ⅰ期地区において、古墳時代中期～後期（5世紀後半～6世紀後半）にかけての集落域がまとまって検出された。調査成果は膨大で、分析視点も多岐にわたるものであるが、ここでは居住域Ⅱとされた範囲の建物、溝、井戸のかかわりについてのみ抽出し、観察したい。居住域Ⅱでは溝により矩形の区画が形成されている。最終的には居住域Ⅱ-1・Ⅱ-2とする単位に細分される遺構分布をみせるが、居住域Ⅱ-2は6世紀代に入って形成が進んだと考えられ、5世紀後半と考えられる集落形成の嚆矢は居住域Ⅱ-1における建物11・12とされる竪穴建物である。この2棟の建物は矩形の区画の北西寄りに位



〈讃良郡条里遺跡 03-5 (本書報告)〉



〈勝部遺跡〉



〈池島・福万寺遺跡 (福万寺 I 期地区) 居住域 II〉

〈大和川今池遺跡〉

図290 居住域構成の比較 (模式図)

置しているが、居住域Ⅱ－1における井戸の位置は中央から南東寄りにあり、2棟の建物とは距離を置いて位置している。この空閑地にはその後に掘立柱建物などが順次建てられ、最終的には区画内は各種の遺構で埋めつくされる。井戸からは廃絶時の遺物は出土するが、掘削時期を示す遺物は無く、建物11・12と同時期とする根拠はないが、居住域Ⅱ－2、図示していない居住域Ⅰにおける遺構配置も類似し、集落の拡大に際しても井戸の位置が区画内で定められていた可能性は高い。図290に示した補助線は恣意的なものであるが、井戸の位置が、区画溝や矩形の区画外の溝の方向とも整合する可能性をみせる。

以上のような居住域構成の作法とでも呼ぶべき手続きが存在したことが妥当であれば、井戸のみが検出され、建物遺構が検出されない調査例についても、一定の距離をおいたところに関連遺構が分布する可能性も指摘することができる。一例として大和川今池遺跡の事例（大阪府文化財調査研究センター2000）を挙げるが、ここでは現大和川河川敷の調査において、河岸に接して2基の井戸（報告書では土坑と記載）が検出された。2基の井戸、あるいはやや距離を置いて位置する溝が直接の関係をもつかどうかはわからないが、それぞれの方向性を加味すると、居住域の区画にかかわる可能性があり、建物などは大和川により侵食された位置にあったものと推測する。

第4項 小結

各居住域の形成開始時期と居住集団についての見通しを加味し、小結とする。讃良郡条里遺跡例は時期を限定しがたいが、およそ5世紀前半～中頃、勝部遺跡は4世紀末～5世紀初頭、池島・福万寺遺跡は5世紀後半、大和川今池遺跡は5世紀前半頃と考えられる。讃良郡条里遺跡では井戸3より韓式系土器の出土があり、勝部遺跡、大和川今池遺跡では層出土遺物に初期須恵器の器台や陶質土器がある。池島・福万寺遺跡では栄山江流域産と指摘される陶質土器（朴2007）の出土とともに、建物12からは須恵器器台の出土をみた。直接に渡来人の居住が想定される例は讃良郡条里遺跡のみであるが、讃良郡条里遺跡、池島・福万寺遺跡では百済系の、勝部遺跡、大和川今池遺跡では加耶・新羅系の渡来人とかかわる集団の居住が推測される。また弥生時代から古墳時代前期にかけては井戸が居住域に不可欠のものではないことが指摘されているが（埋蔵文化財研究会2008）、渡来人集団の影響が認められる集落において、必ずしも必要ではなかった井戸が居住域形成の重要な位置を占めているということは、古墳時代中期以降の井戸のありようもまた、渡来文化の一つであり、その後の居住域形成、生活文化に大きな影響を与えた可能性を指摘することができる。

参考文献

(財)大阪府文化財センター2002『池島・福万寺遺跡2』調査報告書第79集

(財)大阪府文化財センター2003『勝部遺跡』調査報告書第100集

(財)大阪府文化財調査研究センター2000『大和川今池遺跡(その1・その2)』調査報告書第53集

朴天秀2007『加耶と倭』講談社新書メチエ398 講談社

埋蔵文化財研究会2008『井戸再考』(第57回埋蔵文化財研究集会発表要旨集)

森本 徹・廣瀬時習・島崎久恵・市村慎太郎2007「摂河泉古墳時代集落の基礎研究」『研究調査報告 第5集』(財)大阪府文化財センター

第5節 ヘラ記号・底部圧痕

はじめに

本調査における出土遺物のうち、須恵器についてはいくつかの個体にヘラ記号の施される例がみられ、坏内面に同心円圧痕の残される例もみられた。また韓式系土器の平底土器（平底鉢・浅鉢）には底部に台の痕跡の残るものがみられ、土師器高坏の脚裾内面に布圧痕の残る例もみられた。これらについては第4章において個別に報告したが、版面の関係で図示できなかった拓影の掲出を本節で行う。

第1項 須恵器のヘラ記号と内面圧痕

ヘラ記号の施された須恵器と内面に圧痕の残る須恵器の実測図（再掲）と拓影を図292に示す。ヘラ記号の種類は「-」、「三」、「井」、「×」、「L」、「己」字状を呈するものなどがあるが、部分的にしか残存しない個体も多い。施される位置は底部外面が多いが、甕などでは頸部に施されるものもある。坏蓋内面に同心円圧痕の残されるものは2点認められる。

第2項 韓式系土器の底部痕跡

韓式系土器の平底鉢の底面に、いわゆる方形のゲタ痕跡が認められる例が3点みられる。また浅鉢とされる平底土器の底部には外面から続くタタキ痕跡と粒状の圧痕が認められる。957の高坏脚裾内面には布圧痕が残り、製作時の台などの痕跡かと考えられる。いずれも実測図（再掲）と拓影を図291に示す。

参考文献

寺井 誠2002「遺構と遺物の検討」『大坂城跡V』（財）大阪市文化財協会

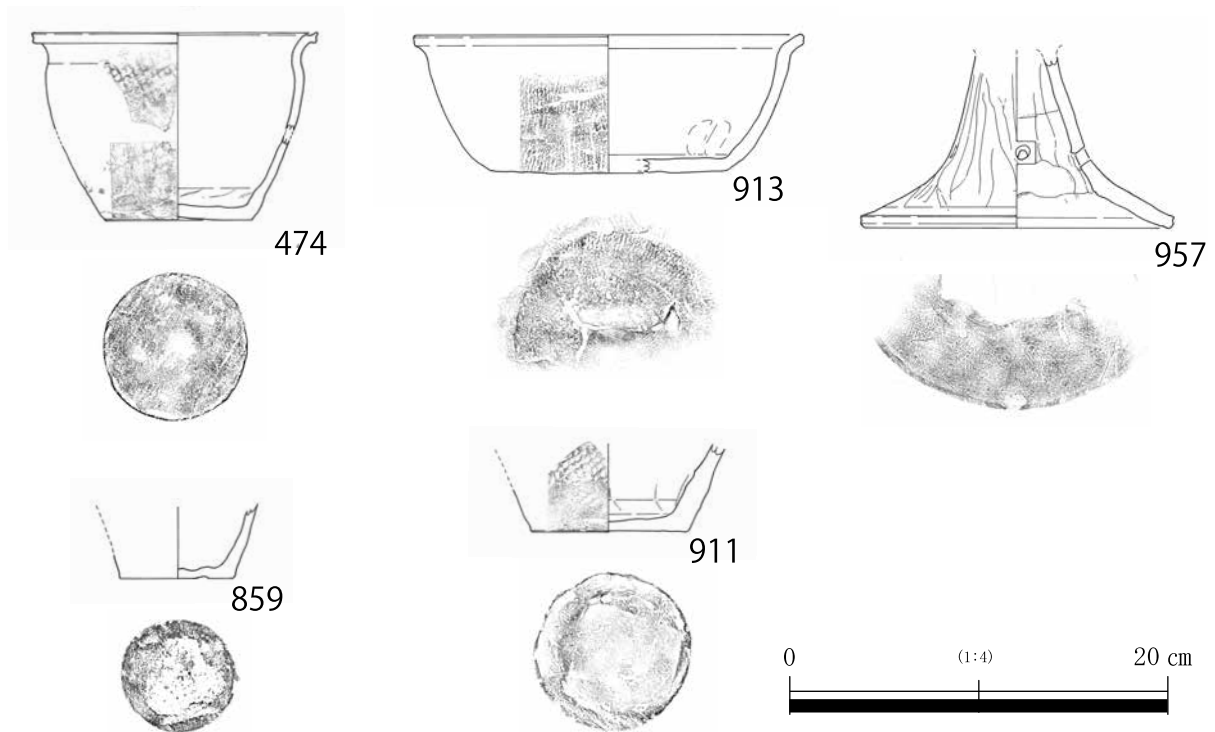


図291 底部圧痕

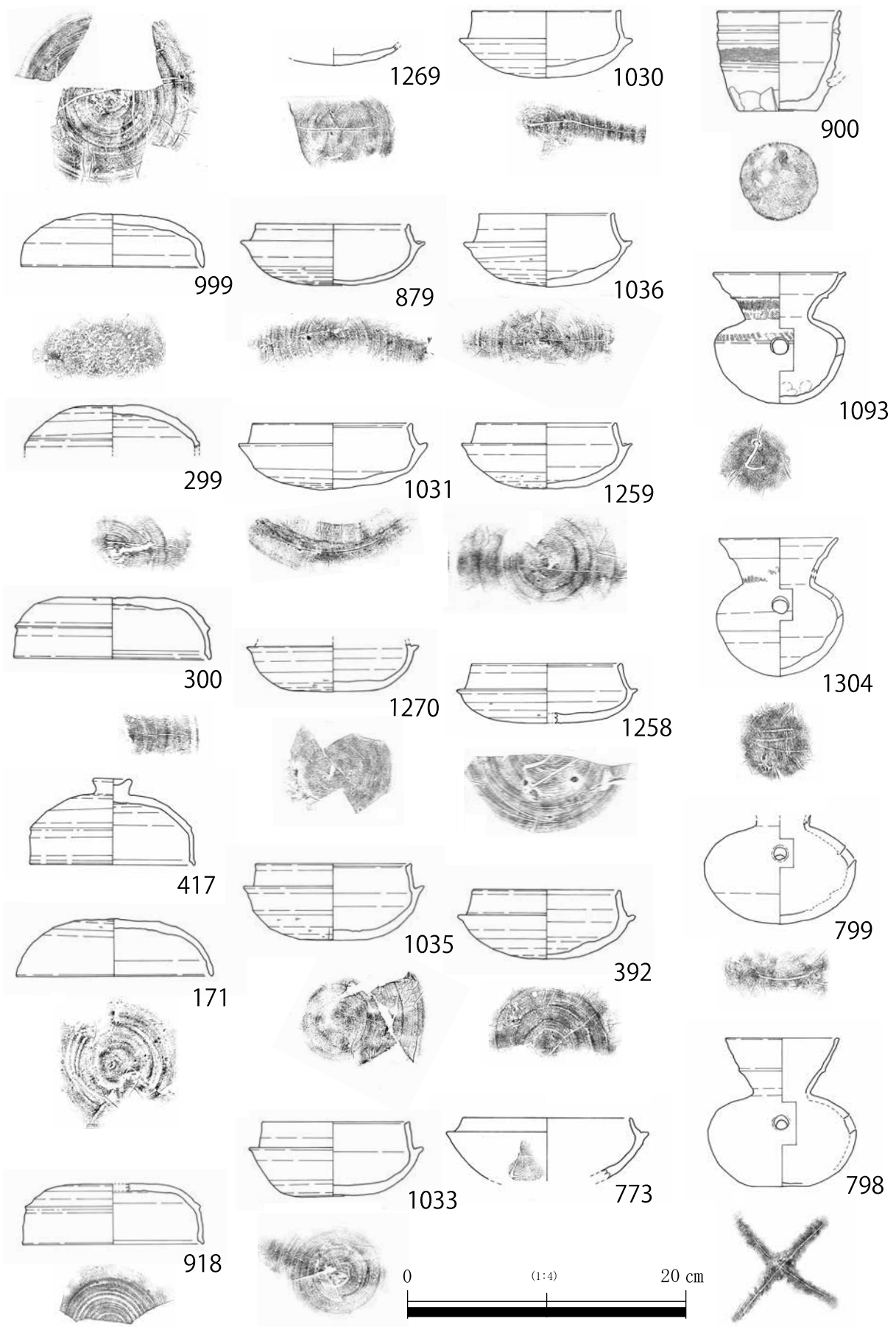


図292 須恵器ヘラ記号

第6節 土器煮沸具に残されたスス・コゲ等の分析

はじめに

今回の調査では、第1面流路1出土遺物を中心に、古墳時代中～後期に属する土器資料のまとまった出土がみられた。これら土器資料に対する分析項目には多岐にわたるものが存在するが、その中のひとつとして、本節においては土師器、韓式系土器といった煮沸具たる土器資料に残された使用痕跡の分析から、これら土器の使用状況の復元を試み、派生する問題に対しても若干の検討を加え、調査成果の総括に向けての材料を抽出する。

第1項 研究略史と問題の所在

土器使用痕に関する研究は、使用痕観察の方法・現象の理解に関する研究と、その基礎的研究を踏まえた炊事・食文化に関する研究に大きく分けられる。

使用痕観察の方法・現象の理解に関する研究は、先史時代を主な対象として小林正史氏が精力的に進めており、容量と器種、使用痕の相関関係などから調理法の復元を目指している（小林1991・1992など）。また、関東地域では竪穴住居の遺存状況が良好な調査例が多いが、外山政子氏は群馬県における調査事例を中心に、おもに竈導入期から古代を対象として、加熱施設と煮沸具の両方の使用痕観察から使用法の復元をおこなっている（外山1990・1991など）。

このような基礎研究を前提として、炊事・食事文化の復元的研究も試みられ、中西克宏氏（中西1985）、藤田至希子氏（藤田1986）、宇野隆夫氏（宇野1998）、大庭重信氏ら（大庭ほか2006）をはじめとする各氏により食器や調理法の変遷や画期、変革の背景などに論が及びつつある。

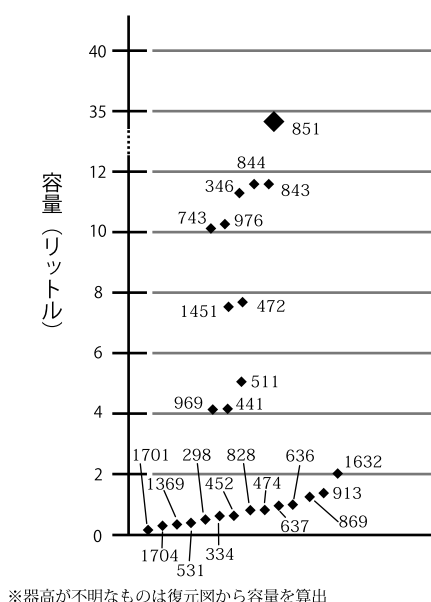
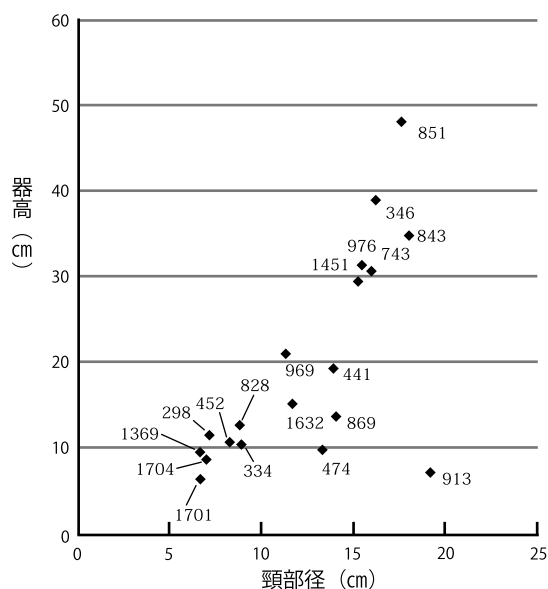


図293 法量分布と容量分布

具体的な論点としては①火処の構造、②土器の設置方法、③加熱方法、④内容物、⑤使用のあり方などがあげられ、調理行為を総合的に把握する材料が提示されている。しかし東日本地域における良好な資料を用いた検討に比べ、西日本地域での検討が量的に不足していることも否めない。本節における作業もこのような研究状況に鑑み、とりわけ竈を使った炊事文化の導入期前後の様相把握を試みる研究への素材の提出を念頭におき、使用痕の分析が土器研究において必要不可欠な作業であり、調査成果の総合的理解に必要であるという立場から、出土土器の分析を行うものである。

第2項 観察対象とする土器の抽出と分類

分析の対象とする土器は、残存率が高く、使用痕の遺存状態が良好であり、かつ量的に担保された資料群であることが望ましい。また時期的な変遷過程を検証するためには時期比定の可能な一括性の高い資料群であることも重要である。今次調査ではこれらすべての条件を満たす資料の提示はかなわず、古墳時代中期から後期にかけての遺物が多量に出土した流路1出土土師器を中心に、口縁部から底部までの復元が可能で、使用痕の遺存状態がよい25点を抽出した。使用痕の遺存状態はよいが、完形のものとは含まれず、厳密な時期比定や、一括性を担保する出土状態ではない。

観察に先立ち、土器の容量や器形による違いと使用痕、ひいては使用方法とのかかわりを検討するため、容量分類と器種分類を行った。対象資料の容量の分布からは、大・中・小の分類が比較的明瞭である(図293)。これを2ℓ以下のものを小型、4～8ℓのものを中型、10ℓ以上のものを大型とした。この区分に器形も併せて、器種を小型壺・小型甕・平底系土器(平底鉢や浅鉢)、中型球胴甕・長胴系甕・長胴

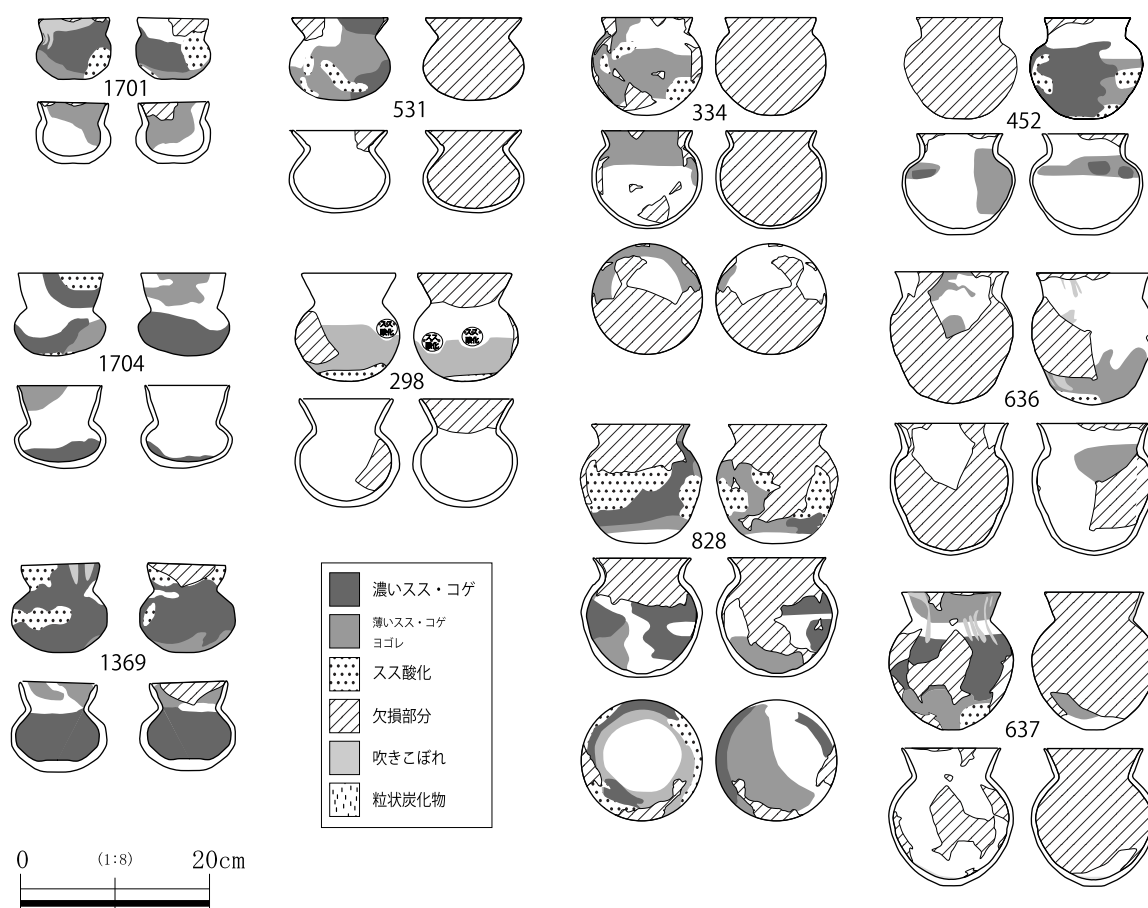


図294 小型壺・小型甕の使用痕観察図

甕・大型壺に分類する。なお、平底系土器に分類した869は弥生土器の可能性はある。

第3項 使用痕の観察

使用痕の観察は小林正史氏の指導を受け実施し（註1）、また記載には外山政子氏の研究成果（註2）も参照して①竈か炉か（加熱施設）②直置きか浮き置きか（設置方法）③竈の場合一つ掛けかそうでないか④側面加熱をおこなっているかといった点に特に注意して観察をおこなった。観察結果については表7ならびに図294～298に示した。観察結果と器種分類にはあるていどの相関関係があり、器種ごとの使用内容と使用時の設置方法についてある程度推定が可能である。

第4項 使用方法と内容物の復元

観察所見に基づく使用方法・内容物の復元には小林正史氏の研究成果（註1）ならびに外山政子氏による観察方法（註2）を参考とした。以下、器種分類を基本に、観察結果から推定される調理内容について記す。

○小型壺（1701・1704・1369・531・298）

小型壺はススの付着状況から、下方からの加熱と側面加熱の2つの方法により加熱されていることが特徴である。これらはコゲが濃く付着するものと、薄いまたは付着しないものに分けられ、1701・298はコゲが付着せず、531のコゲは底部に付着せず全体的に薄く付着することから調理最終段階に水分量の多

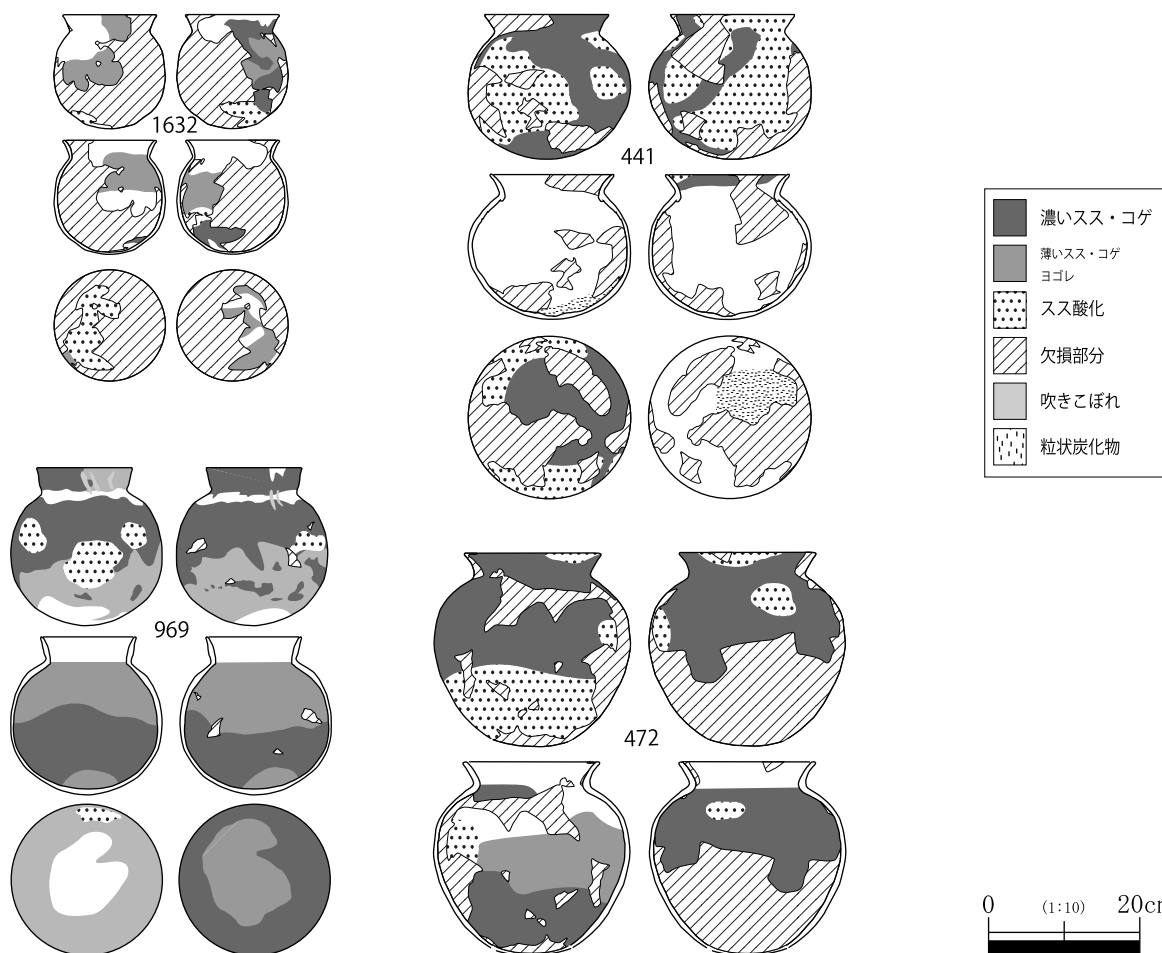
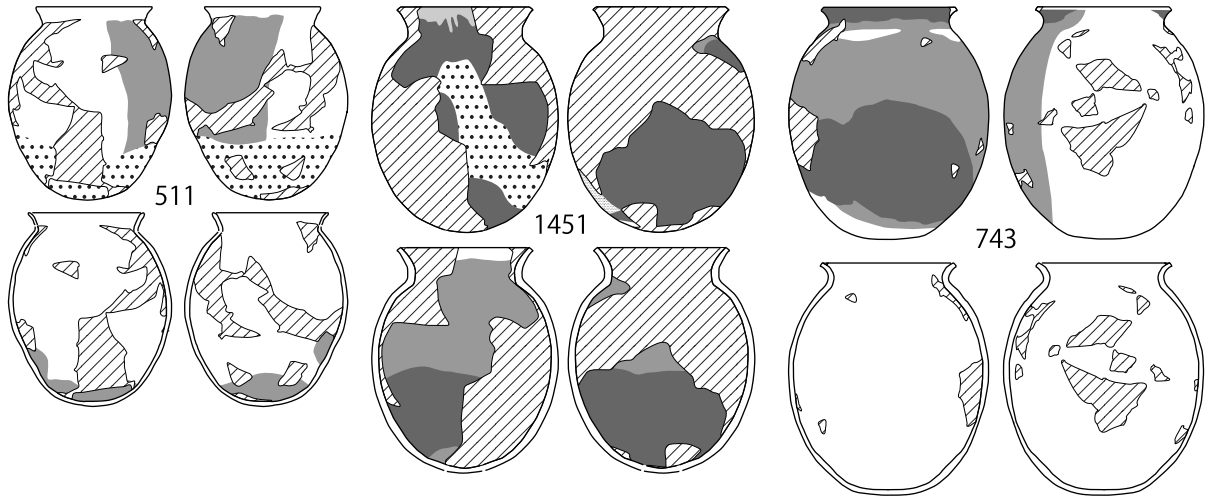
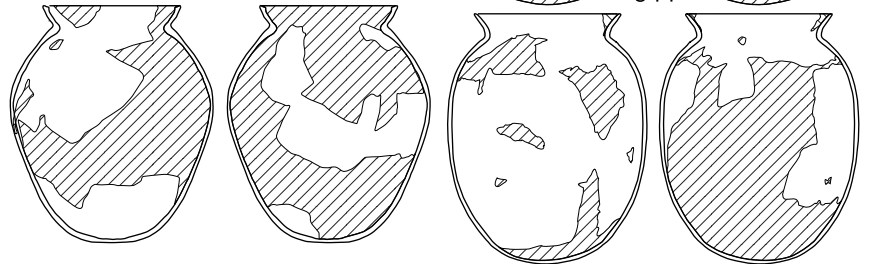
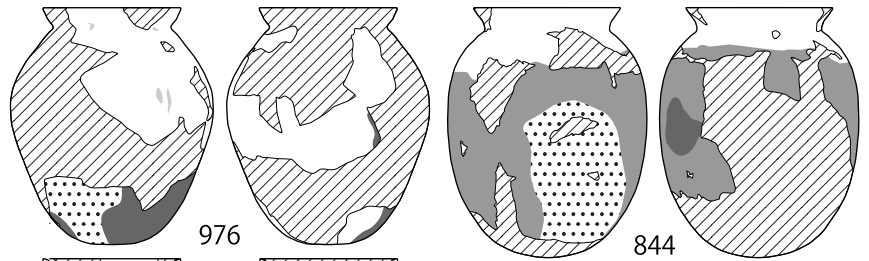


図295 中型球胴甕の使用痕観察図



- 濃いスス・コゲ
- 薄いスス・コゲ
ヨゴレ
- スス酸化
- 欠損部分
- 吹きこぼれ
- 粒状炭化物



0 (1:10) 20cm

*346は外面のみ（左上：外A面、右上：外B面、
左下：右側面、右下：左側面）図示。

図296 長胴甕・長胴系甕の使用痕観察図

い調理がなされたと解釈される。他の1704・1396は明瞭なコゲが残ることから調理最終段階に水分量が少なくなる調理に使われたと考えられる。ただし、1369の内面で頸部以下の全面にコゲが付着しているのに対し、1704が底部内面のみが付着していることには注意が必要である。

また小型壺は容量が500ml以下と一般的な調理量と比較すると少なく、日常生活における調理に使用されたと積極的に理解しがたい容量である。

○小型甕 (334・452・828・637・636)

小型甕ではススの付着状況から、下方からの加熱と側面加熱の2つの加熱方法による痕跡が認められるもの (334・452・828) と、下方からの加熱のみのもの (636・637) に分けられる。また、コゲの付着状況から334・452は調理最終段階まで水分量の多いもので、内面のコゲが胴上部で直線的に残る喫水線上コゲと判断でき、内容物はスープ状のものなどが想定できる。636は内面に不明瞭なヨゴレがわずかに付着し、外面も底部に薄いススが付着するのみで湯沸しのような、637は吹きこぼれがあることから炊飯に使われた可能性があるが、欠損部が多く内面も明瞭なコゲの付着が認められないことから不明である。

今回対象となった小型甕の使用痕の特徴として、334・828の底部内外面においてスス・コゲが円形状に付着しないか極端に薄い付着であることがあげられる。これは強い被熱によるススの酸化消失、もしくは使用時にその部分が覆われて直接熱を受けなかったかのどちらかの理由が考えられる。とくに828の底部外面ではススが付着しないか薄い部分が明瞭な円形であることから、たとえば高杯の杯部もしくは倒立させて脚裾部のような部位が底部を覆って加熱されたような状況が想定できる (註3)。

○中型球胴甕 (1632・969・441・472)

中型球胴甕も小型壺と同様、下方からの加熱と側面加熱の2つの方法により加熱された痕が残る。441

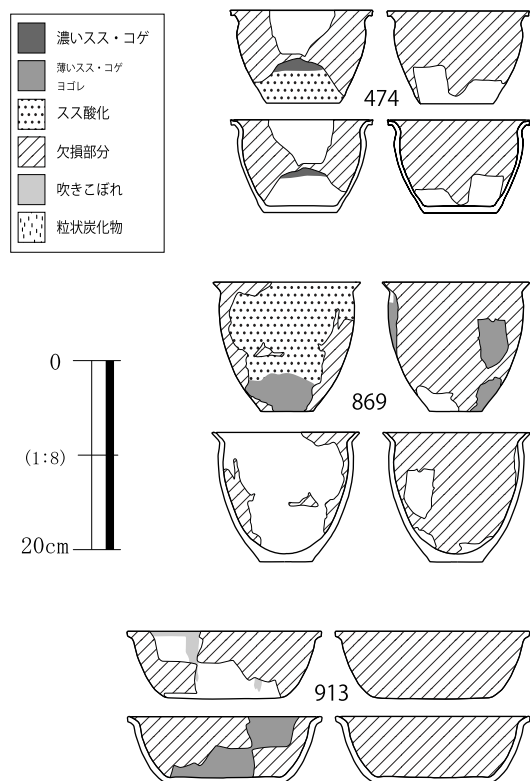


図297 平底土器の使用痕観察図

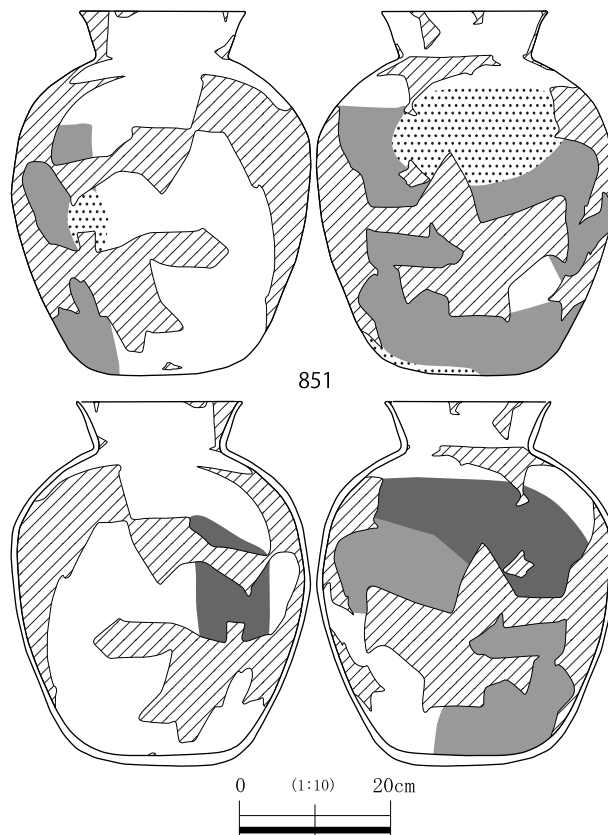


図298 大型直口壺の使用痕観察図

表7 観察結果一覧表(1)

遺物番号	容量(ℓ)	器種	使用痕跡観察					内外面の使用痕跡対応	使用時の設置方法(置き方)	使用頻度	使用内容	備考	
			上:内面 下:外面										
			胴下部(底面合)	胴中部	胴上部	口縁部	吹きこぼれ						支脚等関連痕跡
1701	0.174	小型壺	底部はなし。胴下部～胴上部にうすいコゲのなかに一部濃いコゲ(対応)。			うすいコゲ	—	なし	胴部	直置きか	少ない	水分量多い	喫水線上コゲか
			底部は斑状のうすいス。胴下～上部はうすいス、ストビ(対応)あり。				白色	なし					
1704	0.327	小型壺	コゲ	うすいコゲ	なし	うすいコゲ(対応)	—	なし	口縁部	浮き置きか	不明	水分量少ない。シチュー状のものか。	側面加熱。底部外器壁剥離。
			うすいス ストビ(底部)	うすいス	なし	うすいス(部分的) ストビ(対応)	なし	なし					
1369	0.350	小型壺	濃いコゲ	濃いコゲ	濃いコゲ	弧状のコゲ(対応)	—	?	口縁部	直置きか	不明	水分量少ない。シチュー状のものか。	側面加熱
			ややうすいス	円形の側面加熱痕(5～6個、一部対応)			白色	?					
531	0.395	小型壺	胴下部:なし 底部:欠損	なし	なし	なし	—	なし	なし	不明	不明	水分量多い。湯沸しか。	側面加熱
			胴下部:濃いス 底部:欠損	濃いス(側面加熱痕)	うすいス	濃いス(側面加熱痕)	なし	なし					
298	0.508	小型壺	なし	なし	なし	なし	—	なし	なし	直置きか	少ない	水分量多い。湯沸しか。	弱い加熱。少し側面加熱。
			胴下部:ス 底部:胴下部よりうすいス	ス	ストビ	なし	なし	なし					
334	0.641	小型壺	なし	コゲ(対応)	コゲ(対応)	うすいヨゴレ(喫水線上)	—	なし	胴中部 胴上部	浮き置きか	不明	水分量多い	側面加熱
			うすいス	ス ストビ(対応)	ス ストビ(対応)	うすいス(部分的)	なし	なし					
452	0.659	小型壺	胴下部:うすいコゲ(部分的) 底部:なし	うすいコゲ(部分的)コゲ抜け(対応)	喫水線上コゲコゲ抜け(対応)	うすいコゲ(部分的)	—	なし	胴下部 胴上部		不明	水分量の多い	側面加熱
			胴下部:ス 底部:ストビ	胴中～上部にス 胴中部にストビ(対応)		うすいス(部分的)	なし	なし					
828	0.812	小型壺	うすいコゲ(部分的)	コゲ	コゲ(対応)	欠損のため不明	—	底部にほとんどコゲが付かない部分あり	あり(胴上部)	浮き置き	複数回	水分量多い	側面加熱
			胴下部:ス 底部:円形のス付着部と非付着部	ス ストビ(円形)	ス ストビ(円形)	欠損のため不明	欠損のため不明	円形のス付着部と非付着部					
637	1.002	壺? 甕?	うすいヨゴレ	なし	なし	なし	—	なし	なし	浮き置き	少ない	米か	
			ストビ	帯状のス	なし	うすいス(部分的)	白色・多い	なし					
636	1.019	小型壺	胴下部:なし 底部:欠損	不明瞭なヨゴレ(部分的)	不明瞭なヨゴレ(部分的)	なし	—	なし	なし	不明	1回か	水分量多い。湯沸しか。	喫水線上コゲか。底部円形に欠損。
			胴下部:うすいス 底部:欠損	なし	なし	うすいス	黒色	なし					
1632	2.054	中型壺	コゲ コゲ抜け(対応)	なし	うすいヨゴレ	ス ヨゴレ	—	底部	胴下部	浮き置きか	不明	水分量少ない	底部のコゲ抜けは三点支脚のようなものか
			ス(円形 対応) ストビ	うすいス	ス うすいス	ス うすいス	なし	なし					
969	4.149	中型壺	胴下部:コゲ 底部:うすいコゲ	コゲ	うすいコゲ コゲ(円形 対応)	なし	—	外面に対応してコゲのうすい部分(形もほぼ対応)	胴中部	浮き置き	複数回	炊飯か	水面下コゲ。側面加熱。
			胴下部:ス 底部:なし	層状ス ストビ	層状ス ストビ(対応)	ス	白色・多い	底面にス非付着部					
441	4.180	中型壺	全面に黒斑が残るため詳細な観察は不可能であるが、胴下部に粒状炭化物らしきものがある。			コゲ(部分的 対応)	—	なし	底部 口縁部	直置き・浮き置き	複数回	炊飯	側面加熱
			ス(円形 対応)	ス ストビ(円形)	ス ストビ(円形)	ス(部分的) ストビ(対応)	なし	ス付着の輪郭がきれいな弧状である。					

表7 観察結果一覧表(2)

遺物番号	容量(ℓ)	器種	使用痕跡観察						内外面の使用痕跡対応	使用時の設置方法(置き方)	使用頻度	使用内容	備考
			上:内面			下:外面							
			胴下部(底面含)	胴中部	胴上部	口縁部	吹きこぼれ	支脚等関連痕跡					
472	7.728	中型甕(韓式系土器)	胴下部:喫水線上コゲ(帯状)、円形コゲ(対応)。底部:欠損のため不明	コゲ、部分的に濃いコゲ(対応) 器壁に小円形剥落が見られる	うすいコゲ 濃いコゲ(部分的、対応)	ヨゴレ?	—	なし	口縁部	(高い位置での側面加熱痕から大きな炎による加熱の可能性)	複数回	米炊飯か	側面加熱
			胴下部:スス・スストビ(対応) 底部:欠損のため不明	スス スストビ(対応)	層状のスス スストビ(対応)	スス スストビ	なし	なし					
511	5.083	長胴系甕	コゲ(対応)	なし	なし	欠損のため不明	—	なし	底部~ 胴下部	浮き置き	2回か	不明	下からの加熱のち片面加熱。
			スス スストビ(対応)	スス	うすいスス	欠損のため不明	なし	なし					
1451	7.579	長胴系甕(韓式系土器)	胴下部:ヨゴレ 底部:うすいヨゴレ	やや濃いヨゴレ	ヨゴレ (喫水線上)	ヨゴレ	—	なし	なし	浮き置き(籠)?	不明	湯沸しか	喫水線わかる
			胴下部:スス・スストビ。底部:スス、スス非付着部(にぶい円形)	スス スストビ	スス うすいヨゴレ	うすいスス (直線的に切れる)	白色	底部ににぶい円形のスス非付着部あり					
743	10.134	長胴系甕(韓式系土器)	なし	なし	なし	なし	—	なし	なし	直置きか	少ない	湯沸しか	片面加熱
			胴下部:スス(片面のみ) 底部:なし	スス(片面のみ)	スス(片面のみ)	スス(片面のみ、 ススもれ)	なし	なし					
976	10.318	長胴系甕	底部:濃いヨゴレ	なし	なし	なし	—	なし	なし	浮き置き(籠、 一個掛けか)	不明	湯沸し	
			スス スストビ	なし	濃いスス	スス (ススモレ)	黒色 (水の流れた痕)	にぶい円形のスス非付着部あり					
844	11.623	長胴系甕	なし	なし	なし	なし	—	欠損しているため不明	なし	浮き置き(籠、 一つ掛けか)	不明	水分量多い。湯沸か。	
			うすいスス スストビ 底部:欠損	うすいスス (付着のち摩滅か)	うすいスス (付着のち摩滅か)	なし	なし	欠損しているため不明					
843	11.634	長胴甕	なし	なし	なし	なし	—	不明	なし	浮き置き(籠、 一つ掛けか)	少ない	湯沸し	
			スス スストビ	スス	スス (肩部で直線的)	スス (部分的、ススモレ)	白色 (水が流れた痕)	不明					
346	11.345	長胴甕	うすいヨゴレのようなものが付着するが、積極的に使用痕と判断できるものではない。			欠損しているため不明	—	欠損しているため不明	なし	浮き置き(籠)	複数回	水分量多い。湯沸しか。	
			層状スス スストビ	スス	スス	欠損しているため不明	なし	欠損しているため不明					
474	0.830	平底鉢(韓式系土器)	なし	喫水線上コゲ	二次加熱により不明	二次加熱により不明	—	なし	あり(喫水線)	不明	1回	水分量多い	
			胴下部:スストビ 底部:うすいスス	スス	二次加熱により不明	二次加熱により不明	なし	なし					
869	1.274	平底鉢?	なし	なし	なし	なし	—	なし	なし	不明	不明	水分量多い。湯沸しか。	
			スス	スストビ	不明	不明	なし	なし					
913	1.390	浅鉢(韓式系土器)	うすいコゲ	うすいコゲ	うすいコゲ	うすいコゲ	—	なし	なし	不明	火にかけた印象うすい	不明	
			うすいスス	うすいスス	うすいスス	うすいスス	黒色	なし					
851	33.949	直口壺	胴下~上部に部分的にヨゴレがあり、とくに濃いヨゴレが2ヶ所ある			なし	—	なし	胴中~ 上部	横に倒して直置きしていたか	不明	不明	
			底部はスス、スストビ。胴下~上部に部分的にスス付着し、2ヶ所のスストビあり。			なし	なし	なし					

は底部全体にススが付着していることから三石のような支脚、もしくは竈で浮き置きによる加熱と側面加熱された可能性が考えられる。これも、小型甕（828）と同様底部外面のスス付着が明瞭な円形である。969は外面にススが付着しない部分があり、内面の対応する位置のコゲも薄いことから支脚の使用が想定され、下方からの加熱の可能性を示す。また、胴中部にいくつか残る円形のスス酸化消失部から側面加熱が想定でき、下方からの加熱と側面加熱の2つの方法で加熱されている。

内容物については、内面に粒状炭化物の付着（441）や、小円形剥落（472）が見られることから炊飯に使用されたと考えられる。カリンガ族の民族調査によると、炊飯は最初沸騰して吹きこぼれるまで強火で加熱し、しばらくして蓋を取り、上部の煮汁を数杯掻き出す。その後水分が均等にいきわたるように米をかき回す。はじめに米を炊いてある程度水分量が少なくなったらオキ火の一部が三石の横に取り出されて、その上に置くことでオキ火と炉の炎によって下からと側面からの加熱で米を蒸らす（小林2007）という過程でおこなわれる。下方からの加熱と側面加熱の2つの方法による加熱は、このような調理過程の結果と考えられる。

○長胴甕（346・843）・長胴系甕（511・1451・743・976・844）

長胴甕・長胴系甕におけるススの付着状況は3種に分類できる。一つ目は、頸部以上に一直線状にススが付着しないもの（844・843・346）で、内面にコゲは付着しない。二つ目は全体的にススが付着し側面に酸化消失部が認められる（1451）。三つ目は甕の片面にのみススが付着しているもの（511・743・976）であり、511は底部外面にススの酸化消失部が内面にはコゲが付着していることからオキ火上加熱と片面加熱の両方が認められ、743・976は片面加熱のみで内面にコゲが付着しないものとさらに分けられる。

これらの設置方法や内容物については、一つ目（844・843・346）は竈の使用が考えられ、竈での使用状況については3点ともスス酸化消失部が被熱部を中心として扇形になっている、もしくはそれがいくつか重なり合っている状況から一回の加熱が一方からであったことが考えられ、さらに底部外面には直径5cmほどのススが付着しない部分があることから、一つかけの竈で一本の支脚で支えられて据えられていたことが想定でき、内容物は内面にコゲが付着しないことから湯沸しが想定できる。二つ目（1451）は全体的にススが付着することから炉で下方と側面の2方向から加熱され、調理最終段階には水分が少なくなる調理が行われた状況が想定できる。三つ目（511・743・976）の片面加熱痕は基本的に一側面からの加熱により調理がなされた結果と考えられ、たとえば主となる調理の火元の傍らに甕を置いてその火を借りるような形で加熱した結果と考えられる。ただし、511は先述のとおり下方からの加熱痕が認められ、オキ火上加熱で調理がおこなわれた痕跡も残る。743・976は内面にコゲが付着しないことから湯沸しに、511は外面のスス酸化消失部に対応して内面底部にコゲが付着していることから調理最終段階には水分量が少なくなる調理がおこなわれたことが想定できる。

○平底系土器（474・869・913）

平底土器（869）は、胴中部から胴下部にかけてのススが付着し、胴中部以上の一部ではススが酸化消失している。内面は何も残らない。平底鉢（474）は、内面に一部明瞭な喫水線上コゲが残り、それに対応してススも濃淡が明瞭である。浅鉢（913）はスス・コゲともに薄く付くのみである。これらはいずれも欠損部分が多く加熱方法を想定するのは難しいが、内容物は調理最終段階まで水分量の多いものであり、869は湯沸し、474はスープ状のものが想定でき、913は不明である。

○大型壺（851）

大型壺は底部のススが酸化消失しており、胴下部～上部の間で大きな内外面使用痕の対応が見られる。

オキ火上に直置きして胴部上位を側面から加熱したか、あるいは大型にもかかわらず側面加熱の位置が高いことから（図298外B面）、横倒しにして側面を接地させて使用したことが想定できる。内面のコゲはススの酸化消失部に対応して明瞭にコゲが付着するが、内容物については不明である。

以上、各器種の使用痕を概観すると、それぞれ全てではないが長胴甕・長胴系甕は湯沸かしに使われた傾向が、中型球胴甕と小型壺については下方からと側面からの2つの方法による加熱で使用された傾向が伺える。しかし、小型甕については下方からと側面からの2つの方法による加熱で使用されたものと、下方からの加熱のみで使用されたものがあり、さらに内容物についても湯沸しやスープ状のもの、炊飯の可能性など傾向は一様でないことが特徴としてあげられる。さらに小型器種に限ったことではないが、小型器種は使用回数が少ない傾向があり、とくに小型壺は先述したように容量も一般的な調理量に比べると少ないことから非日常的な場面での使用の可能性も考えられる。

第5項 土器煮沸具の使用とその変化にかかわる予察

煮沸具として土器の使用については、日常生活における湯沸しや食物などの調理のための使用と、祭祀など非日常的な使用によるものの二者を想定することができ、今回の観察においても容量と使用頻度の面から、両者が含まれる可能性を指摘することができる。

日常的な使用について述べると、それぞれ全てではないが長胴甕と長胴系甕は一つかけの竈で湯沸し、中型球胴甕は浮き置きで炊飯、と器形に対する設置・加熱方法、内容物に安定的な傾向がみられる。一方、小型品に関しては複雑な使用状況、多様な用途に用いられた可能性を示している。このような復元結果は先行研究に示されたもの（大庭ほか2006）と同じ傾向を示しており、ある程度一般化が可能な状況を認めることができる。一方、今回の観察結果を先行研究に加味することで指摘し得る新視点も存在する。まず、湯沸し用の器種と使用方法は各地域で一定ではないという点である。各地域の事例をみると、長原遺跡例では分析の事例が少ないが、4世紀後半から5世紀後半を通じて胴部球胴で浮き置き、炊飯用の煮沸形態が継続するという。また、5世紀後半において、奈良県平城京下層の古墳時代集落でも、胴部球胴で浮き置き、炊飯用の甕が認められるという（宇野1998）。一方、5世紀代の摂津地域では、長胴甕が認められず、竈を敷設した住居からは本稿の長胴系甕と甑が出土する。体系的な使用痕の分析はなされていないが、そのセット関係から湯沸かし用として使用した球胴の甕に甑を掛けたと考えられている（中久保2008）。また、4世紀末ごろと考えられる京都府佐山遺跡では、竈を敷設した住居からやや長胴化した本稿長胴系甕が出土しており、湯沸しに使用された可能性がある（高野編2003）。このように、畿内地域における竈を用いた煮沸形態の導入期の様相は複雑で、竈・甑・長胴甕がセットで導入されたとは言いがたい。5世紀前半段階での長胴甕が出土する遺跡は限定されており（京嶋1993・中野2008）、それ以外の地域では中久保氏が指摘するように長胴系甕を湯沸かし用として使用していたようである。このような複雑な様相を整理するには、甕の系統や形態分類をさらに進めると同時に、それらの使用痕観察も必要である。また、この背景には、時期差、地域差に加えて、当該期に多く移住するとされる渡来人の存在なども影響すると考えられ、多角的な検討が必要である。

一方、このように長胴系甕が湯沸し用として使用されていたという事実は、長胴甕の機能的な利点に対して問題を投げかけている。5世紀前半段階において長胴甕を欠いているとしていた地域でも、6世紀以降になると長胴甕が出現する。従来長胴甕は熱効率において長じていると考えられていた。長胴甕が展開していくことからある程度の利点があるとは考えられるが、具体的には明らかではない。また、

6世紀段階になっても長胴系甕は一定量残存し、一部の地域では、これが卓越する可能性もある（三好2003）。宇治市域の事例を検討した橋本勝行氏によると、この形態の甕には竈に掛けた痕跡があるという（橋本1995）。通時的に長胴系甕と長胴の機能分化と長胴の利点を問わなければならない。

今回分析した長胴甕には、一様に竈に掛けられた痕跡が認められ、使われ方の規範が存在した可能性があるが、5世紀前半の長原遺跡の分析例や奈良県南郷遺跡群（坂1996）では、長胴甕の内面にもコゲが認められる例があり、導入期には設置方法も一様でないことが窺える。当遺跡の所在する北河内地域も韓式系土器が多量に出土し、長胴甕も5世紀前半段階に導入される地域である（中野2008）ため、今後、複雑な様相が認められる可能性もある。

先行研究における小型壺の在り方としては、祭祀形態の変化を反映したものとする意見（西1982）や、それを認めつつも従来の器種の欠落に対する代用として、特定の内容物の調理に特化した使用を指摘する意見（大庭ほか2006）がある。容量が小さく、使用回数の少ない小型品を日常的な使用に供されたものではないとみなすことが許されるならば、また底部が円形に欠損しているもの（531・636）も偶然ではなく底部穿孔によるものであるとすると、今回対象とした小型壺・小型甕のなかには非日常的な使用とみなされるものがあり、祭祀に用いられた可能性は高まるといえる。さらに、特殊な器形である大型壺が火にかけている点も日常炊事とは異なった使用を示しており、長胴甕（346）や小型壺（298）が土坑から出土していることも、非日常的な使用を示唆する。

第6項 小結

古墳時代中～後期に属する煮沸用土器たる土師器の使用痕観察からは、土器の使用方法等の復元のみならず、該期の遺跡や地域を超えた土器使用の実態や変化を考える材料を得ることができる。今回の分析においても先行研究の追認と新たな視点の提示ができたものとする。これらをふまえた調査成果総体の評価については、次章において総括する。

本稿の作成に際し、使用痕観察の実施にあたっては小林正史先生より丁寧なご指導をいただきました。文末ではありますが、深く感謝いたします。また、宮内信雄氏、青柳泰介氏、兪炳瑑氏、鄭修鈺氏、中久保辰夫氏のご助力・ご助言にもお礼申し上げます。

土器の容量測定については、十日町市教育委員会の宮内信雄氏から、筑波大学藤巻晴行氏作成の「Simple Digitizer3.1.1」によって取得する計測座標値を、考古資料の容積計算に応用するための方法と計算式をご教示いただきました。記して感謝いたします。（中野 咲・市来真澄・森本 徹）

註

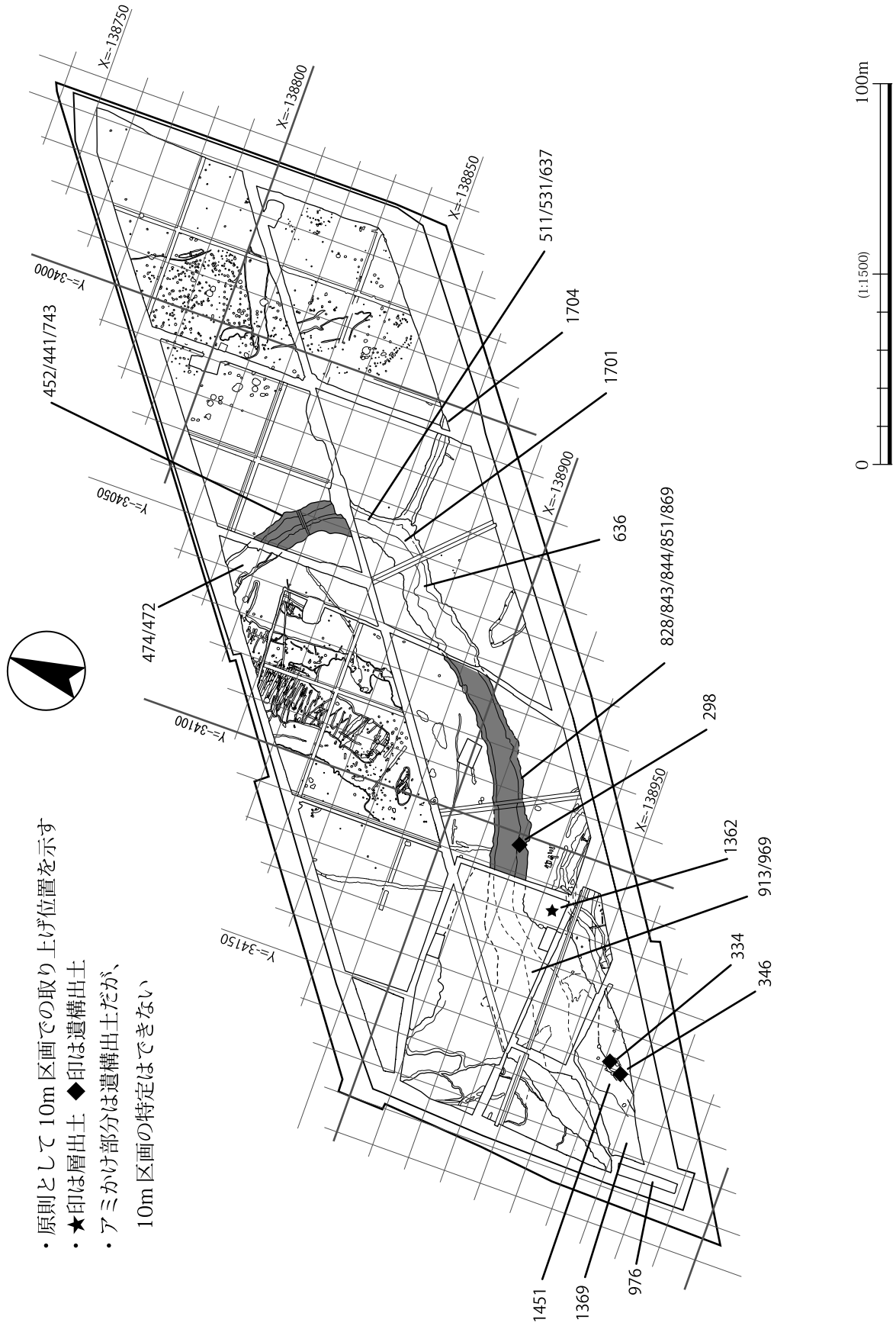
1. 使用痕跡の記録は、外面については、ススが付着しない、薄いススまたは濃いススが付着する、スス酸化（最も強い加熱を受けた部分はススが酸化して消滅する）、吹きこぼれの痕跡を記録し、内面はコゲやヨゴレ、粒状炭化物の付着状況を記録した。図は小林氏の図示方法に従って内外面4面配置し、基本は、左上に外A面（焼成時の設置面黒斑が付着する面）、右上を外B面（焼成時の上向き面）、左下を外A面の内側、右下を外B面の内側とし、さらに内側の観察の下段に底部（左：底外面、右：底内面）の状況を図示しているものもある。また、竈に掛けたと考えられる被熱痕が偏在する場合は、それが良く図に表れるよう、被熱箇所（竈の正面側）を外A面として記録した。（小林2004など）
2. 炉に掛けた土器の特徴は、①口縁部を含めほぼ前面にススが回る。②ススが付着しない部分に規則性がない。③内面のコゲが著しい。④外面に粘土の付着が認められない。竈にかけた土器の特徴は、①口縁部から6～7cm下

がったあたりから底部にかけ一線を描くようにススが付着する。②しばしば右下がり、左下がりにススが付着する③胴部のススがない部分や頸部に竈材の粘土が付着する。④内面は外面と対応し、外面のスス付着部よりわずかに下がったあたりからヨゴレがめぐる。⑤コゲツキは炉使用の甕類と比較すると極端に少ない。⑥内面にはススは付着しない(外山1990)。

3. 一方で、直置きの場合でも円形の痕跡が残るという具体例もある(加藤2008)。

参考文献

- 宇野隆夫1999「古墳時代中・後期における食器・調理法の革新—律令制的食器様式の確立過程—」『日本考古学』第7号 日本考古学協会
- 大庭重信・杉山拓己・中久保辰夫2006「スス・コゲからみた長原遺跡古墳時代中期の煮炊具の使用法—小型鍋(平底鉢)を中心に—」『大阪歴史博物館 研究紀要』第5号 財団法人 大阪市文化財協会
- 加藤雅士2008「把手つけたはなし」『和田晴吾先生還暦記念論文集』同刊行会
- 京嶋 覚1993「韓式系土器から土師器へ」『韓式系土器研究』V 韓式系土器研究会
- 高野陽子編2003『佐山遺跡』(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
- 小林正史1989「先史時代土器の器種分類について」『北越考古学』第2号 北越考古学研究会
- 小林正史1991「土器の器形と炭化物からみた先史時代の調理方法」『北陸古代土器研究』創刊号 同研究会
- 小林正史1992「煮沸実験に基づく先史時代の調理方法の研究」『北陸古代土器研究』第2号 同研究会
- 小林正史1997a「弥生時代から古代の農民は米をどれだけ食べたか」『北陸学院短期大学紀要』第29号 同大学
- 小林正史1997b「炭化物から見た弥生時代の甕の使い分け」『北陸古代土器研究』第7号 同研究会
- 小林正史2003「使用痕跡からみた縄文・弥生土器による調理方法」『石川考古学研究会々誌』第46号 同研究会
- 小林正史2005「稲作農耕民の土器作りの民俗誌の分析から見た弥生土鍋の作り分け」『考古学ジャーナル』529
- 小林正史2007「スス・コゲからみた炊飯用鍋とおかず用鍋の識別-カリंगा土器の使用痕分析-」『国立歴史民俗博物館研究報告』第137集, 267-304頁 国立歴史民俗博物館
- 小林正史2008「古墳時代後期から古代の米蒸し調理」『芹沢長介先生追悼 考古・民族・歴史学論集』六一書房
- 小林正史・鐘ヶ江賢二2008「スス・コゲから見た北部九州の弥生後期から古墳初頭の深鍋による調理法」『第74回日本考古学協会総会発表要旨』同協会
- 外山政子1990「(5) 羽田倉遺跡の煮沸具の観察から—古墳時代を中心にして—」『長根羽田倉遺跡』《本文編》(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告第99集 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 外山政子1991「第1節 三ツ寺Ⅱ遺跡のカマドと煮炊」『三ツ寺Ⅱ遺跡』本文編(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告第93集 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 外山政子1992「炉かカマドか—もう一つのカマド構造について」『研究紀要』10 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 中久保辰夫2008「摂津地域における古墳時代中期の煮沸器」『待兼山遺跡Ⅳ』大阪大学埋蔵文化財調査委員会
- 中西克宏1985「須恵器出現期の土師器—煮沸用土器を中心に—」『紀要』1 財団法人東大阪市文化財協会
- 中野 咲2008「韓式系土器分布論の現状と課題」『橿原考古学研究所論集』第十五 八木書店
- 西 弘海1982『土器様式の成立とその背景』真陽社
- 橋本勝行1995「宇治市出土の土師器甕についての覚書」『旦稜遺跡第1次発掘調査概報』宇治市教育委員会
- 坂 靖編1996『南郷遺跡群Ⅰ』奈良県立橿原考古学研究所
- 藤田至希子1986「古墳時代前期の煮沸形態について」『矢部遺跡』奈良県立橿原考古学研究所
- 三好美穂2003「6世紀の土師器甕—大和盆地での様相—」『S字甕を考える』第7回東海考古学フォーラム三重大会



- 原則として 10m 区画での取り上げ位置を示す
- ★印は層出土 ◆印は遺構出土
- アミかけ部分は遺構出土だが、10m 区画の特定はできない

図299 観察資料出土位置図 (s=1/1500)

第7節 土師器把手の分析

はじめに

今回の調査では古墳時代の土師器を中心に、136点にのぼる多数の把手が出土した。把手についてはその形態的な特徴の認識や、推定される土器個体数の復元などに有為である部位ではあるが、把手部分のみが遺存する場合、積極的に報告される例は多くはない。しかしいうまでもなく把手は土器素地の塊が大きく遺存しやすいことから部位として認識しやすいものであり、また製作技法や形態変化の把握は、古墳時代中期における新しい器種の導入に伴う属性として重要な位置を占めるものと予想される。本節では土師器把手の形態に着目した先行研究（京嶋1992・杉井1999）などを念頭におきつつ、今回の調査における出土資料に分析を加え、把手分析の有効性を検証するとともに、調査成果の総括に向けての材料を抽出する。

第1項 把手の観察点

今回試料とする把手136点は甑や鍋、移動式竈に付属するもののみ抽出したものであり、椀や蓋などに付くものは対象としない。また大型の胴部片に付随するものも除外した。

把手の形態については「牛角形」「扁平形」といった二者に分類されることが多い。しかしいずれも典型的な形態に収斂するものではなく、さまざまな形態がみられることも事実である。そこで先端を正面として最も幅広い所を垂直方向に切った断面形態を基本に、先端部の形態、切込み、刺突痕、接合部形態のそれぞれを属性として設定し、その類別と相関関係を整理し、一覧表にまとめた（表8）。把手の属性についての認識を以下にまとめる。

①断面形態

断面形態には円形・半円形・楕円形・扁平形の4つがある。円形や半円形はそのとおりの形のことを指すが、楕円形は上部がやや凹むものも含み、幅が厚みの2倍以下のもので扁平と区別する。扁平形は幅が厚みの2倍以上ある薄いもので、舟底状に上部が凹むものが多い。

②先端部形態

先端部形態は面の有無で2分類する。さらに詳細な形態区分も可能ではあるが、それらには偶然を反映したものも多く含まれると考えられるため、何らかの規範を反映する点は、面の有無に限定してよいと考える。

③切込み・刺突痕

把手の上面からの切込みや下面に痕跡の残る竹管圧痕状の刺突痕は、古式土師器にはみられない技法であり、韓式系土器と認定する基準となる。細分の余地を残す属性であるが、ここではその有無について確認するのみとする。

④接合部形態

把手と本体胴部の接合方法には、まず本体胴部の表面に貼り付ける場合と、胴部に穴を開け把手を挿入する場合に区分が可能であるが、今回は前者の例がみられないため、後者の技法のなかで把手の観察から判断できる分類を試みた。なお、把手を胴部へ挿入し、接合する場合には胴部外面からの挿入と、胴部内面からの挿入の2者が想定されるが、この区分は接合型の分類に含めて把握する。

接合を反映する把手の形態には、大きく分けて「平面型」と、「突出型」がある。さらに分けると、平

表 8 把手一覽表

報告書 番号	断面形態				接合部形態		先端 形態	切込 み	刺突 痕(個 数)	報告書 番号	断面形態				接合部形態		先端 形態	切込 み	刺突 痕(個 数)
	円	半円	楕円	扁平	接合部形 態1	接合部形 態2					円	半円	楕円	扁平	接合部形 態1	接合部形 態2			
1468	●				平面	不明	面	●		1663				●	突出	不明	丸		
1189	●				平面	不明	面	●	3~4	1666				●	突出	不明	丸		
247	●				平面	不明	面	●		1168				●	突出	消極的突出	不明		
2050	●				平面	不明	面	●		1416				●	突出	積極的突出	不明		
791	●				平面	不明	面	●貫	3	1420				●	突出	積極的突出	不明		
2106	●				平面	不明	面	●		1422				●	突出	消極的突出	不明		
283	●				平面	棒	面	●		1440				●	突出	消極的突出	不明		
2108	●				平面	未広	面	●	2	以下、断面形態・接合部形態不明分									
249	●				平面	未広	面	●		896	●				不明	不明	面	●	3
277	●				平面	未広	面	●		995	●				不明	不明	面	●	5
994	●				平面	未広	面	●		1174	●				不明	不明	面		1
996	●				平面	未広	面	●		30	●				不明	不明	面		
1188	●				平面	未広	面	●		127	●				不明	不明	不明	●	
1469	●				平面	未広	面		1	1486	●				不明	不明	尖		1
912	●				平面	未広	面		1	893	●				不明	不明	尖		
827	●				平面	未広	面			1444	●				不明	不明	尖		
853	●				平面	未広	面			1446	●				不明	不明	尖		
1190	●				平面	不明	尖	●下		1700	●				不明	不明	尖		
128	●				平面	棒	尖	●	1	1638	●				不明	不明	丸		1
129	●				平面	棒	尖	●		275	●				不明	不明	丸		
246	●				平面	棒	尖	●		1445	●				不明	不明	丸		
2049	●				平面	棒	尖			1664	●				不明	不明	丸		
1465	●				平面	未広	尖	●	1	2107	●				不明	不明	丸		
1460	●				平面	未広	尖	●	1	1428		●			不明	不明	尖		
185	●				平面	未広	尖	●		1431		●			不明	不明	尖		
1464	●				平面	未広	尖	●		1433		●			不明	不明	尖		
1191	●				平面	不明	丸	●	5?	1471		●			不明	不明	丸	●	
1485	●				平面	不明	丸	●	3	411		●			不明	不明	不明		
854	●				平面	不明	丸		1	1441			●		不明	不明	丸		
1661	●				平面	不明	丸			1665			●		不明	不明	丸		
278	●				平面	棒	丸	●		1167			●		不明	不明	不明		
248	●				平面	棒	丸			1426			●		不明	不明	不明		
852	●				平面	未広	丸	●		894			●		不明	不明	尖		
245	●				平面	不明	不明	●		1415			●		不明	不明	尖		
250	●				平面	不明	不明	●		1417			●		不明	不明	尖		
132	●				平面	棒	不明			1470			●		不明	不明	丸	●	
1448	●				平面	未広	不明			1472			●		不明	不明	丸	●	
413	●				突出	消極的突出	尖	●		26			●		不明	不明	丸		
276	●				突出	積極的突出	尖			291			●		不明	不明	丸		
1447	●空				特別	不明	尖			1162			●		不明	不明	丸		
897		●			平面	棒	不明			1163			●		不明	不明	丸		
338		●			突出	積極的突出	尖	●		1165			●		不明	不明	丸		
130		●			突出	積極的突出	尖			1172			●		不明	不明	丸		
1443		●			突出	積極的突出	尖			1173			●		不明	不明	丸		
1466		●			突出	積極的突出	丸	●貫		1402			●		不明	不明	丸		
1442		●			突出	積極的突出	不明			1409			●		不明	不明	丸		
1432			●		平面	棒	丸			1410			●		不明	不明	丸		
1467			●		突出	積極的突出	尖	●貫		1411			●		不明	不明	丸		
2048			●		突出	積極的突出	尖			1412			●		不明	不明	丸		
1166			●		突出	不明	丸			1413			●		不明	不明	丸		
1170			●		突出	不明	丸			1414			●		不明	不明	丸		
1171			●		突出	不明	丸			1418			●		不明	不明	丸		
1438			●		突出	積極的突出	丸			1423			●		不明	不明	丸		
412			●		突出	消極的突出	尖			1427			●		不明	不明	丸		
2047			●		突出	消極的突出	尖			1429			●		不明	不明	丸		
2078			●		突出	積極的突出	尖			1419			●		不明	不明	不明		
339			●		突出	積極的突出	丸			409			●		不明	不明	不明		
340			●		突出	積極的突出?	丸			1164					不明	不明	丸		
410			●		突出	積極的突出	丸			740					平面	未広	丸?		
986			●		突出	積極的突出	丸			131					突出	積極的突出	尖		
1421			●		突出	積極的突出	丸			1169					平面	棒	不明		
1424			●		突出	消極的突出	丸			181					平面	未広	面	●	3
1425			●		突出	積極的突出	丸			987					不明	不明	面		
1430			●		突出	積極的突出	丸			2079					不明	不明	一	●貫	
1434			●		突出	積極的突出	丸			895					突出	積極的突出	不明		
1435			●		突出	消極的突出	丸			985					不明	不明	不明		
1436			●		突出	不明	丸			1192					不明	不明	不明		
1437			●		突出	積極的突出	丸			*注 空:内部空洞、貫:貫通、下:下側にある									
1439			●		突出	積極的突出	丸												
1662			●		突出	積極的突出	丸												

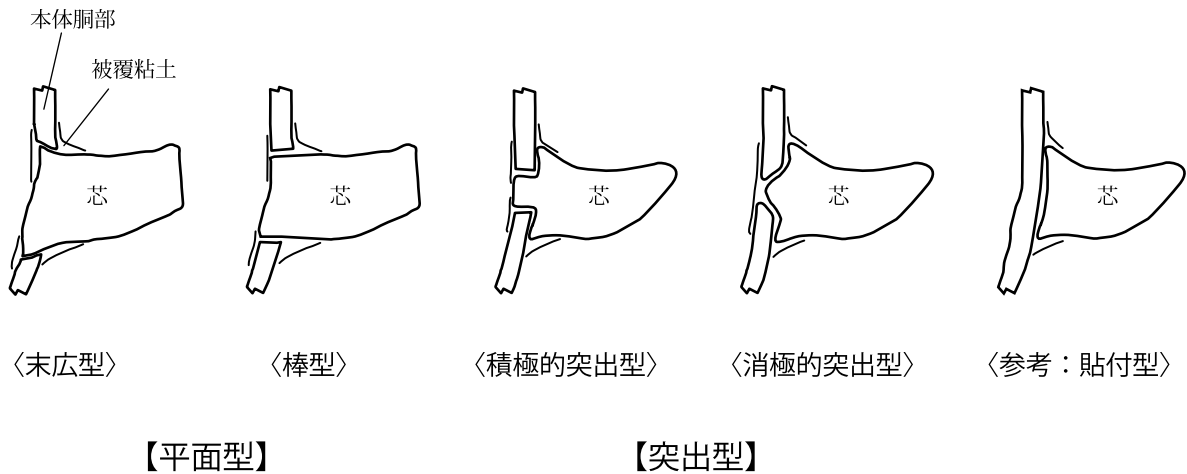


図300 接合方法分類模式図

面型には接合部が広がるもの（末広型）とそのま棒状にまっすぐなもの（棒型）がある。また、突出型には明瞭な突出部をもつもの（積極的突出型）とつまみ出したような突出部をもつもの（消極的突出型）がある。

第2項 分析

（1）断面形態について

断面形態は円形・半円形・楕円形・扁平形に4分類される。円形はこれまで「牛角形」と呼ばれているものに多く、扁平形はそのまま「扁平形」と呼ばれているものに多い。他の属性とのかかわりでは、先端部に面をもつものは断面円形のものにみられ、切込みと刺突痕のあるものもそのほとんどが断面円形にみられることがわかる。

先行研究で指摘されているように、先端部を面取りするものや把手上部に切込みのあるものは韓式系土器の特徴と考えられている（門田1985・京嶋1992・杉井1999）おり、今回の分析においてもそれらが相関関係を示すことから、同様に理解することができる。これ以外の断面形態においては切込みや刺突の痕跡が少数となることから、断面形態の変化が韓式系土器から土師器への変化の過程を示すものと理解することもできる。この変化過程を時間経過とみることも可能ではあるが、韓式系土器の流入が一時期に限られるものではない以上、単純に時系列に置き換えることは難しい。また祖形たる韓式系土器の形状が単一であるかどうかの検証も必要となる。

（2）接合部形態・接合方法について

把手の観察からあきらかなことは、把手には芯とも呼ぶべき粘土塊の部分があり、それを本体に挿入した後で、本体の内側と外側から被覆粘土で体部と把手の接合を補強し、表面を整えている。したがって、接合部形態は厳密に言うと芯の形である。接合部形態には先述のように大別2類、細分4類に分類が可能である。

まず「平面型」について、「末広型」は本体胴部内側から外側に向けて、広がっている把手根元部分が器壁に引っかかるように挿入し接合部の内外両面において、上から粘土をかぶせて補強・整形している。

「棒型」もこれと同じ方法と考えられるが、把手根元が広がらないため、外側から挿入される場合も想定される。また、「突出型」には「積極的突出型」と「消極的突出型」があるが、これらは本体とつながる部分が突出部分のみであることから本体外側から内側に向けて根元のみ挿入されたもので、本体外側から把手にかけて上から粘土で覆われ補強・整形されるが、本体内側には粘土の被覆はなされず、そのまま突出部が見えているものがある。このような接合型と断面形態とのかかわりをみると、断面円形のものには「接合部平面型」が多く、「突出型」はわずかであり、断面扁平形のものには「突出型」のみである。このことから「接合部平面型」は韓式系土器の把手の特徴であると判断される。また断面円形のものにわずかながら「接合部突出型」のものがあり、断面半円形、楕円形、扁平形の順でその割合を増していくことから、断面形態の変化に対応して、接合方法も平面型から突出型へ変化する可能性が高い。これも韓式系土器から土師器への変化過程を示していると考えられる。さらに今回の資料では確認できないが、本体胴部に挿入して接合する把手に対して、把手接合位置に浅いくぼみを設けるか、もしくは何も細工なしにそのまま器壁に貼り付けられる方法もある（杉井1999）という。時系列的な検討を経たものではないが、把手の接合に際して、「平面型」から「突出型」へ、さらには「積極的突出型」から「消極的突出型」へという、本体への挿入度合いが大きいものから小さいものへと変化するセリエーションが組める可能性があり、外面への貼付けという手法もその一方に置き得る可能性がある。しかし、表面に貼付けた把手では強度的に弱いことも事実であり、機能的な側面も念頭におく必要がある。

一例のみであるが、特殊な接合方法を示す例がある。これは把手内部が空洞で、断面はドーナツ状の円形となるものであるが、接合には挿入はされるものの、本体胴部内面と把手内部の空洞表面とが粘土で補強・整形されるものである。類例として、溝咋遺跡出土の移動式竈に同じような把手が取り付けられていることから、これも移動式竈のもの可能性がある。

第3項 小結

以上、断面形態、接合部形態、先端部形態、切り込みや刺突痕の有無などの相関から、把手の形態と接合方法の組み合わせについて分析を加えた。それぞれの組み合わせの序列から、祖形である韓式系土器から土師器への変化の過程が把手にも反映している可能性が高いことがあきらかとなった。変化の程度については形態と接合方法には差があると想定され、断面形態の変化は漸位的に、接合方法の変化は段階的なものであるとみることができる。 (市来真澄・森本 徹)

参考文献

- 門田誠一1985「有溝牛角形把手—韓式系土器についてのメモ—」『考古学と移住・移動』同志社大学考古学シリーズ
Ⅱ 同刊行会
京嶋 覚1992「第2節 古墳時代後半期における土師器の器種構成」『長原・瓜破遺跡発掘調査報告 Ⅲ』(財)大阪
市文化財協会
杉井 健1999「甗形土器の地域性」『国家形成期の考古学』大阪大学考古学研究室

第6章 総括

前章までに発掘調査における成果を報告し、不十分ながらそれに対する分析を実施した。本章ではそれらを総括し、今回の讃良郡条里遺跡調査成果のまとめとしたい。

弥生時代から近世にかけての地形環境の変遷

今回の調査地における地形環境の変遷については考古学的な知見に加え、先行調査における成果（第2章第1節）を参照し、堆積学や土壌学の方法による検討を加えた（第5章第1節）。讃良郡条里遺跡の範囲は広く、内在する地形環境は多岐に渡るが、今回の調査範囲付近は現在の寝屋川と生駒山地より派生する扇状地にはさまれた沖積地に立地しており、従前、「水浸かりのしやすい低湿な土地」という位置付けが一般的であった。調査成果をふまえた評価は、全体的に後背湿地であった時期が長く、低湿な土地環境が長く続いたものでありつつも、細かな地形変遷の過程を示すものであった。

第4層とした黒色粘土と緑灰色粘土が互層をなす層準は調査範囲全体に認められ、今回の調査においても原則的に最終の調査面として意識したところである。帰属時期や土地利用については不明であるが、離水と水没を頻繁に繰り返すような環境において、埋積が進行したと考えられる。この層の上面を一部削る形で第3-4層が形成されるが、この削平は調査範囲北東部で浅く、南西部で深いことがあきらかとなった。ベースとなる地形を反映した可能性もあるが、地形を勘案しながらも、特定の範囲に対して水田域の造成が積極的に進められたとみることもできる。

第3-4層の形成時期は弥生時代前期～中期のいずれかの段階におくことが妥当と考えるが、これ以降、弥生時代中期には比較的活発な土砂の堆積があり、起伏に富んだ地形を形成することになる。調査範囲北東部の厚い堆積は微高地1を形成し、その上部は古墳時代から奈良時代にかけても居住域として利用される。この段階では比較的乾燥が進み水田域として利用される微高地域と、低湿で水に浸かる低地域があり、調査範囲南側の微高地も古墳時代にまで残るものであるが、この段階には堆積ごとに水田の造成を繰り返したようである（第3-1～3-3層）。一方、北側からはこの時期以降に堆積が進んだ範囲があり、微高地2を形成している。3箇所微高地にはさまれることとなる低地域は弥生時代後期～古墳時代前期にかけて泥の堆積が進むが（第2b層）、第1面段階にいたっても低湿な環境はかわらない。

弥生時代を通じての堆積の進行により形成された第1面は古墳時代から古代にかけて比較的安定した環境であったようで、微高地上には居住域が形成され、集落遺構が残される。一方、低地部分を縫うように流れる流路は泥を主体とする堆積物で満たされており、流れの少ないよどんだ環境が推測される。流路1は葦屋北遺跡の西縁を流れ、おそらく河内湖にまで達していたと推測される。

古墳時代から古代にかけての微地形である微高地と低地・流路の景観は、古墳時代後期までの流路の埋没と、その後、古代から中世にかけて進んだ低地部の泥の埋積と微高地上の削平により、平坦化が進行する。第1面を直接覆う第1-5層は第1面の削平を伴い形成されるが、この段階には条里型地割に規制された造成も一部でなされたようである。しかし中世段階と想定される第1-3層の堆積も微高地以外の低地域に限られ、なお起伏の残る地形であったと考えられる。中世後期と推測する第1-2層の堆積時期には調査範囲全域はほぼ平坦化したと考えられ、第1-2層も全域に分布する層である。古代から中世にかけての堆積物はやはり泥を主体にしたものであり、滞水域や湿地の環境が続いたものと考えられる。第3-3層

にもみられたが、第1-2層にも地震による変形構造が認められ、慶長地震によるものと推定する。

中世末～近世初頭には、流路の固定化がなされた讚良川を供給源と推測する破堤堆積物により、調査範囲全体が覆われるが（近世洪水砂）、この堆積も北東側に厚く、南東側に薄いものであり、その後の土地利用に与えた影響も多い。すなわち北東側ではこのような砂を母材に島畑や水田が造成され、耕作域として明瞭に認識できるようになるが、南西側は耕作土の形成も不明瞭で、低湿な環境が続くようである。そしてこの様相は今回の調査直前まで継続するものであった。

弥生時代の水田

弥生時代の水田については特別の分析項目は立てず、第4章第3節において事実報告を中心に記載した。水田遺構、あるいは水田作土の可能性のある土壌は、第2面の細分した各面において確認された。最も古い段階のものは第2-4面のもので、調査範囲南側を中心に、断片的ながら畦畔と溝が確認された。畦畔の特徴は比較的規模の大きいもので、溝ともども直線的にのびる配置をみせる点にある。一般的に理解されているように、弥生時代の小区画水田が地形の高低を克服するための技術であったとすると、第2-4面で検出した畦畔は地形が平坦であったか、地形の高低を意識しないものであった可能性がある。溝も検出されたが、水田への給水を意図したものではないようである。

第2-3面において検出した水田は、調査範囲南側の微高地上においてのみ検出されたが、上面が砂に覆われていることもあり、明瞭に検出された。小区画水田というにはやや大きめの区画をもつが、地形の方向を意識した畦畔の配置がみられ、高低差がそれほど無い、平坦な地形における水田造成を示しているものと考えられる。直線的にのびる溝も検出したが、これも水田への給水を明確に示すものではなかった。この水田面では人の足跡が多量に、かつ良好に遺存していた。詳細についての記述は本文に譲るが、いくつかの根拠から、水田面が洪水に襲われたさなかの歩行痕跡ではないかと推測した。

第2-2面における水田も調査範囲南側の微高地上においてのみ検出されたものであるが、砂を母材とする大ぶりの畦畔が確認された。基本的には地形の等高線の直交する方向の畦畔と、それにより区画された範囲を地形に合わせて細分する畦畔がみられ、地形に即した水田造成とみることができる。水路はみられず、給排水の構造は不明である。また明確な遺構は確認できなかったが、石庖丁が2点近い場所から出土しており、埋納行為を推測する。

第2-1面では土壌そのものの残存が、調査範囲南側の微高地上の一部に認められたのみであり、畦畔や水路は確認していない。同一段階を想定する流路3には堰状の施設（杭列9・10）が設置されているが、水田との関係はわからない。

弥生時代の集落

南側の微高地において、第2-2面の水田作土（第3-2a層）を除去した段階で検出した第2-2b面において、溝や土坑、柱穴を確認し、水田土壌からのものも含め、多くの土器類を検出した。検出範囲が狭く、住居などを想定するにはいたらなかったが、微高地上に展開する居住域の縁辺を検出したものと理解し、調査範囲南側に広がる微高地上に集落の広がりを予想する。時期は弥生時代中期と考えられ、出土遺物には壺・甕・高坏といった土器があり、古墳時代の流路1から出土した敲石や磨石、台石などの石製品類にも、本来はこの集落に帰属したのではないかと考えられるものが含まれる。集落の存続時期などを詳細に示す材料はないが、廃絶後、耕作域へと変貌したものと考えられる。

古墳時代の集落

古墳時代の集落遺構は調査範囲東寄りに位置する微高地1と中央北寄りに位置する微高地2において検出した。いずれも確認できた建物は掘立柱建物が数棟程度であり、近接する葦屋北遺跡の様相と比較するまでもなく、規模としては小さいものと考えられる。掘立柱建物の用途を明確に知ることはできないが、束柱をもつものも多く、居住域内に竪穴建物を含まないことから、床をもつ住居が含まれるか、あるいは小規模な倉庫であった可能性もある。居住域の性格や存続期間はさておき、低湿な土地条件に囲まれているにもかかわらず、積極的に井戸の掘削を行っている点は特筆される。井桁状の井戸枠をもつもの（井戸3）や倉庫扉を転用するもの（井戸4）があり、他調査の事例にある船材の転用などもあわせると、北河内地域の河内湖沿岸地域に特徴的な事象として理解できる可能性が高い。なお、井戸の掘削と居住域の設定にかかわる分析を第5章第4節において行った。この結果から、今回検出した居住域の形成が渡来人と深くかかわる可能性が示され、韓式系土器の出土という直接的な根拠も含め、集落形成にかかる視点を提示した。微高地2における居住域の形成時期は5世紀代を中心とするものと考えられるが、微高地1では6世紀末にかかる長脚2段の須恵器高坏の出土が目立つ様相もあり、時期を限定することには躊躇を覚える。弥生時代後期～奈良時代にかけての遺構が同一面において検出される状況の中で、多くの遺構の帰属時期を特定しがたいという状況である。

この集落出土土器も含み、後述の流路出土土器共にスス・コゲといった使用痕分析を第5章第6節において行なった。当該期の煮沸土器をめぐる具体相の一端が示されることになったと評価する。渡来人の携えた韓式系土器の影響を受け、土師器の器種構成が大きく変化することは周知のことであるが、その変革の様相は地域、遺跡間で決して一様ではない。今回の分析からは、長胴甕やそれに類する形態をもつ甕（長胴系甕）は竈にかけられた湯沸し用に限定される使われ方を示すが、微高地2において土坑に甕が埋納されていた例（ピット153）を引くまでもなく、竈・長胴甕・甕のセットが比較的早い段階で導入された例となる可能性が高い。ただし、出土遺物に移動式竈は含まれるものの、検出した遺構に竈そのものが認められない点には注意が必要であろう。分析対象とした資料が検出した居住域における使用を反映したものではない可能性もあるが、居住域そのものが炊飯などの日常生活の場ではなかった可能性もある。形成の過程において破棄された居住域である可能性は第5章第4節における分析において提示し、後述する流路とのかかわりにおいて祭祀行為が想定される点については、第5章第6節、小型土器におけるスス・コゲの分析においても想定したところである。

古墳時代の流路と出土遺物

第1面の低地部を流走する流路については、一部の人間の手が加わった可能性を想定し、杭列などの設置にとどまらず、土嚢を用いた土橋の造成や、埋没後に再掘削された可能性をも想定する。近接する人間の活動領域が先述の小規模な集落域のみであるにもかかわらず、千数百点にのぼる図示可能な遺物が含まれており、居住域からの単純な廃棄物投棄の痕跡とみることは難しい。出土遺物についての詳細な分析はなし得ず、その評価に関わる根拠も第4章における事実報告において示した程度にとどまるが、出土遺物の種類は多岐にわたり、特徴的な遺物も多く見いだせる。詳細を繰り返すことは避けるが、埋置された土馬の周囲に散布された可能性の高い700点を超える臼玉や、ほとんど錆がみられない釣針や鉄鏃などの鉄製品類、特に曲げられた状態の鉄剣（鎗）は時期的な点や、流路からの出土という点でも特

筆される。さらに木製品にも興味深い遺物が多く、鞍（後輪）や鐙のような馬具、農工具、機織具（経送具）、儀仗？など多岐にわたり、後輪については製作途中の破損による廃棄を想定したが、装飾の施される経送具については纏向遺跡土坑資料にみられるように祭祀的な性格をもつものかと考えられる（石野1991）。時期幅をもつ遺物群であるので、すべてを一概に評価できるものではないが、流路への投棄行為を伴う祭祀がなされた可能性は高い。土器の使用痕についての分析に示したように、小型土器の一時的な使用についても非日常的な使われ方を想定したところである。しかし一方で、器表面の遺存状態が良好でありながら、完形土器をまったく含まない点にも注意したい。詳細な根拠を示すことはできないが、近接する居住域規模に比して多量の遺物が出土する背景に、流通途上における破損品の廃棄を想定する。これは調査範囲内にまで達していたかはわからないが、近接地まで船が溯上し、物資の運搬がなされていたという想定に依存するところも多い。微高地2における居住域の存続時期を想定する5世紀中ごろの遺物に加え、6世紀前半の遺物も多く出土することも居住域の存在と直接関わらない土器類の流入を想定する根拠とする。6世紀中ごろ以降の遺物量は激減し、7世紀代の遺物が少量含まれる点は、埋没の最終段階を示しているものと考えられる。

流路1を中心に、比較的多くの動物遺存体、とりわけウマ遺体が多く出土した点も特筆される。出土遺存体の同定と分析は第5章第3節において行った。若年のウマが含まれている点からは、馬匹生産にかかわるあり方とみることができ、木製馬具の出土と調和的である。葦屋北遺跡にみられた「頭部の大きな」個体がここにもみられ、地域的な共通性を指摘することができる反面、一定の解体の後、流路に投棄されるという扱い方がみられ、埋葬土坑を伴う事例との違いについても意識が必要であろう。

古代の集落

奈良時代の集落については、微高地1上にそれ以前の遺構と重複して分布するようであり、時期の判明する遺構には曲物を用いた井戸（井戸1）がある。微高地1上の建物2・3などが該期の建物かと推定するが、近接地域において条里型地割に則った開発が開始されている可能性が指摘されていることをふまえると、一般的な集落としてのみではなく、開発のために一時的に営まれた可能性も想定しておきたい。なお、井戸1からは平瓦が出土しているが、調査範囲内はもとより、近接地においても瓦葺の建物は存在しないことから、扇状地に位置する古代寺院やその経営との関係も想起されるところである。

中世以降の土地利用

部分的な確認にとどまったが、中世以降、近世にいたる土地利用の変遷についても一定の見通しを得ることができた。より東側に位置する、03-4調査区などにおいては、古代以降の条里型地割の変遷が詳細に明らかにされているが、今回の調査範囲はそのような変遷を良好に追うことのできる部分の西縁に位置していることからとらえることができ、きわめて低湿な地形条件を反映し、積極的な土地利用はなされなかった可能性を想定しておきたい。近世に至り、流路からの破堤堆積物により「地上げ」がなされた調査範囲東寄りの部分では、島畑や水田が営まれるように変貌し、現代に至るものと理解できる。

以上、今回の調査成果について要約し、讚良郡条里遺跡03-5・06-2調査範囲の変遷を軸に、現時点での総括を行った。この成果が地域史の具体相を描くための素材となることを期待し、まとめとしたい。

参考文献

- 石野博信1991「総論」『古墳時代の研究 3 生活と祭祀』雄山閣出版
- 市川 創・島崎久恵2005「畿内における集落遺跡出土の滑石製品」『古墳時代の滑石製品－その生産と消費－』（第54回埋蔵文化財研究集会発表要旨・資料集）
- 市本芳三2006『太秦遺跡・太秦古墳群Ⅱ』財団法人大阪府文化財センター調査報告書第143集
- 井上智博2008『讃良郡条里遺跡Ⅵ』財団法人大阪府文化財センター調査報告書第173集
- 岩瀬 透他2006『葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅲ』大阪府教育委員会
- 岩瀬 透2007『葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅵ』大阪府教育委員会
- 大野左千夫1991「6. 漁労」『古墳時代の研究 4 生産と流通Ⅰ』雄山閣出版
- 岡田 賢2006『葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅴ』大阪府教育委員会
- 神谷正弘1987「大阪府堺市 百舌鳥陵南遺跡出土木製鞍の復元」『考古学雑誌』第72巻3号 日本考古学会
- 北新町遺跡調査会編1986『北新町遺跡第1次発掘調査概要報告書』大東市北新町遺跡調査会
- 北新町遺跡調査会編1991『北新町遺跡第2次発掘調査概要報告書』大東市北新町遺跡調査会
- 京嶋 覚1992「古墳時代後半期における土師器の器種構成」『長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅲ』（財）大阪市文化財協会
- 京嶋 覚1993「古墳時代後半期の土器の変遷」『長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅴ』（財）大阪市文化財協会
- 工楽善通1991『水田の考古学』UP考古学選書12 東京大学出版会
- 黒須亜希子2003「3. 確認調査（その3）調査成果」（『門真西地区、讃良郡条里遺跡西地区、讃良郡条里遺跡、大尾遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群、打上遺跡、寝屋南遺跡、寝屋東遺跡、私部南遺跡、東倉治遺跡、津田城遺跡東地区』）財団法人大阪府文化財センター調査報告書第93集
- 古代の土器研究会編1992『古代の土器1 都城の土器集成』古代の土器研究会
- 小林義孝他2006『葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅳ－自然科学編－』大阪府教育委員会
- 小森俊寛2005『京から出土する土器の編年的研究』京都編集工房
- 篠原祐一2005「白玉研究私論」『研究紀要』第3号 （財）栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 清水 哲2003「2. 確認調査（その2）調査成果」（『門真西地区、讃良郡条里遺跡西地区、讃良郡条里遺跡、大尾遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群、打上遺跡、寝屋南遺跡、寝屋東遺跡、私部南遺跡、東倉治遺跡、津田城遺跡東地区』）財団法人大阪府文化財センター調査報告書第93集
- 杉山秀宏1988「古墳時代の鉄鏃について」『橿原考古学研究所論集 第八』吉川弘文館
- 積山 洋2004「大阪湾沿岸の古墳時代土器製塩」『季刊考古学・別冊14 畿内の巨大古墳とその時代』雄山閣
- 田辺昭三1966『陶邑古窯址群Ⅰ』平安学園考古学クラブ
- 田辺昭三1981『須恵器大成』角川書店
- 中世土器研究会編1995『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社
- 辻 美紀1999「古墳時代中・後期の土師器に関する一考察」『国家形成期の考古学』大阪大学考古学研究室
- 辻 美紀2002「河内地域における古墳時代中期の土師器」『長原遺跡発掘調査報告Ⅸ』（財）大阪市文化財協会
- 寺井 誠2002「遺構と遺物の検討」『大坂城跡Ⅴ』（財）大阪市文化財協会
- 寺沢 薫・森岡秀人編1989『弥生土器の様式と編年 近畿編Ⅰ』木耳社
- 寺沢 薫・森岡秀人編1990『弥生土器の様式と編年 近畿編Ⅱ』木耳社

- 奈良国立文化財研究所編1985『木器集成図録－近畿古代篇－』奈良国立文化財研究所史料第27冊
- 奈良国立文化財研究所編1993『木器集成図録－近畿原始篇－』奈良国立文化財研究所史料第36冊
- 西口陽一1989『讚良郡条里遺跡発掘調査概要・Ⅰ』大阪府教育委員会
- 西口陽一1991『讚良郡条里遺跡発掘調査概要・Ⅱ』大阪府教育委員会
- 橋本高明1992『讚良郡条里遺跡発掘調査概要・Ⅲ』大阪府教育委員会
- 濱田延充1993『長保寺遺跡－伊藤喜工作所開発に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書－』寝屋川市文化財資料19
寝屋川市教育委員会
- 原田昌則1995「Ⅰ 八尾南遺跡(第8次調査)」『八尾南遺跡』財団法人八尾市文化財調査研究会報告47
- 東村純子2008「輪状式原始機の研究」『古代文化』第60巻Ⅰ号 (財)古代学協会
- 平井 勝1991『弥生時代の石器』考古学ライブラリー64 ニュー・サイエンス社
- 藤田道子2005『葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅱ』大阪府教育委員会
- 藤田由理1995「巨摩遺跡出土の古墳時代前期の籠－出土例と保存処理について－」『巨摩・若江北遺跡発掘調査報告－第4次－』(財)大阪文化財センター
- 埋蔵文化財研究会2003『埴輪－円筒埴輪製作技法の観察・認識・分析－』(第52回埋蔵文化財研究集会発表要旨集)
- 埋蔵文化財研究会2005『古墳時代の滑石製品－その生産と消費－』(第54回埋蔵文化財研究集会発表要旨・資料集)
- 埋蔵文化財研究会2007『古墳時代の海人集団を再検討する－海の生産用具から20年－』(第56回埋蔵文化財研究集会
発表要旨・資料集)
- 埋蔵文化財研究会2008『井戸再考－弥生時代から古墳時代前期を対象として－』(第57回埋蔵文化財研究集会発表要
旨・資料集)
- 松木武彦2007『日本列島の戦争と初期国家形成』東京大学出版会
- 宮崎泰史2002『讚良郡条里遺跡(葦屋北遺跡)発掘調査概要・Ⅳ』大阪府教育委員会
- 村上恭通2006『原始・古代の鉄製品の腐蝕と土中環境の対応性に関する研究』Ⅳ
- 森田克行1993『新池』高槻市教育委員会
- 山上 弘他2004『葦屋北遺跡発掘調査概要・Ⅰ』大阪府教育委員会
- 山田良三1994「古代の木製馬鞍」『橿原考古学研究所論集 第十二』吉川弘文館

- 01 遺構一覽表 (1) ~ (4)
- 02 遺物觀察表 (1) ~ (54)
- 03 木製品一覽表 (1) ~ (3)
- 04 鉄製品一覽表
- 05 石製品一覽表 (1) ~ (6)
- 06 白玉一覽表 (1) ~ (4)
- 07 動物遺存体一覽表 (1) ~ (2)
- 08 植物遺存体一覽表 (1) ~ (4)

01遺構一覧表（1）

遺構名	遺構名		遺構面		調査名-トレンチ			調査時名称	エリア
	遺構種類	遺構番号	遺構面	トレンチ	遺構名	番号	遺構種類		
建物									
1	柱穴	01-02	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	093	ビット	微高地1	
	柱穴	01-03	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	171	ビット	微高地1	
	柱穴	01-04	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	096	ビット	微高地1	
	柱穴	01-05	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	146	ビット	微高地1	
	柱穴	01-05	第1b面	03-5-6		003	ビット	微高地1	
	柱穴	01-06	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	139	ビット	微高地1	
	柱穴	01-07	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	100	ビット	微高地1	
	柱穴	01-07	第1b面	03-5-6		026	ビット	微高地1	
	柱穴	01-08	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	145	ビット	微高地1	
	柱穴	01-08	第1b面	03-5-6		005	ビット	微高地1	
2	柱穴	01-09	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	111	ビット	微高地1	
	柱穴	01-09	第1b面	03-5-6		015	ビット	微高地1	
	柱穴	01-10	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	114	ビット	微高地1	
	柱穴	01-10	第1b面	03-5-6		024	ビット	微高地1	
	柱穴	02-01	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	120	ビット	微高地1	
	柱穴	02-02	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	164	ビット	微高地1	
	柱穴	02-03	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	163	ビット	微高地1	
	柱穴	02-04	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	121	ビット	微高地1	
	柱穴	02-05	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	166	ビット	微高地1	
	柱穴	02-06	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	165	ビット	微高地1	
3	柱穴	02-07	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	169	ビット	微高地1	
	柱穴	02-07	第1b面	03-5-6		057	ビット	微高地1	
	柱穴	02-08	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	168	ビット	微高地1	
	柱穴	02-09	第1b面	03-5-6	掘立柱建物2	167	ビット	微高地1	
	柱穴	02-09	第1b面	03-5-6		079	ビット	微高地1	
	柱穴	03-01	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	122	ビット	微高地1	
	柱穴	03-02	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	159	ビット	微高地1	
	柱穴	03-03	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	125	ビット	微高地1	
	柱穴	03-03	第1b面	03-5-6		047	ビット	微高地1	
	柱穴	03-04	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	126	ビット	微高地1	
4	柱穴	03-04	第1b面	03-5-6		048	ビット	微高地1	
	柱穴	03-05	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	160	ビット	微高地1	
	柱穴	03-06	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	127	ビット	微高地1	
	柱穴	03-07	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	161	ビット	微高地1	
	柱穴	03-07	第1b面	03-5-6		053	ビット	微高地1	
	柱穴	03-08	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	158	ビット	微高地1	
	柱穴	03-09	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	162	ビット	微高地1	
	柱穴	03-10	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	124	ビット	微高地1	
	柱穴	03-10	第1b面	03-5-6		046	ビット	微高地1	
	柱穴	03-11	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	132	ビット	微高地1	
5	柱穴	03-12	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	157	ビット	微高地1	
	柱穴	03-13	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	156	ビット	微高地1	
	柱穴	03-14	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	155	ビット	微高地1	
	柱穴	03-15	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	154	ビット	微高地1	
	柱穴	03-16	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	129	ビット	微高地1	
	柱穴	03-17	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	130	ビット	微高地1	
	柱穴	03-18	第1b面	03-5-6	掘立柱建物1	131	ビット	微高地1	
	柱穴	04-01	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	05	ビット	微高地1	
	柱穴	04-02	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	18	ビット	微高地1	
	柱穴	04-03	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	17	ビット	微高地1	
6	柱穴	04-04	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	15	ビット	微高地1	
	柱穴	04-05	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	14	ビット	微高地1	
	柱穴	04-06	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	09	ビット	微高地1	
	柱穴	04-07	第1b面	03-5-7	掘立柱建物1	13	ビット	微高地1	
	柱穴	05-01	第1b面	03-5-6		149	ビット	微高地1	
	柱穴	05-02	第1b面	03-5-6		150	ビット	微高地1	
	柱穴	05-05	第1b面	03-5-6		151	ビット	微高地1	
	柱穴	05-05	第1b面	03-5-6		087	ビット	微高地1	
	柱穴	05-03	第1b面	03-5-6				微高地1	
	柱穴	05-07	第1b面	03-5-6				微高地1	
6	柱穴	06-09	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	14	ビット	微高地1	
	柱穴	06-08	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	15	ビット	微高地1	

遺構名	遺構名		遺構面		調査名-トレンチ			調査時名称	エリア
	遺構種類	遺構番号	遺構面	トレンチ	遺構名	番号	遺構種類		
建物									
6	柱穴	06-07	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	16	ビット	微高地1	
	柱穴	06-06	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	17	ビット	微高地1	
	柱穴	06-05	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	18	ビット	微高地1	
	柱穴	06-04	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	19	ビット	微高地1	
	柱穴	06-03	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	20	ビット	微高地1	
	柱穴	06-02	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	21	ビット	微高地1	
	柱穴	06-01	第1b面	03-5-5	掘立柱建物1	22	ビット	微高地1	
	柱穴	07-01	第1b面	03-5-8	建物3	49	ビット	微高地2	
	柱穴	07-02	第1b面	03-5-8	建物3	50	ビット	微高地2	
	柱穴	07-03	第1b面	03-5-8	建物3	51	ビット	微高地2	
7	柱穴	07-04	第1b面	03-5-8	建物3	56	ビット	微高地2	
	柱穴	07-05	第1b面	03-5-8	建物3	57	ビット	微高地2	
	柱穴	07-06	第1b面	03-5-8	建物3	52	ビット	微高地2	
	柱穴	07-07	第1b面	03-5-8	建物3	55	ビット	微高地2	
	柱穴	07-08	第1b面	03-5-8	建物3	54	ビット	微高地2	
	柱穴	07-09	第1b面	03-5-8	建物3	53	ビット	微高地2	
	柱穴	08-01	第1b面	03-5-8	建物2	46	ビット	微高地2	
	柱穴	08-02	第1b面	03-5-8	建物2	47	ビット	微高地2	
	柱穴	08-03	第1b面	03-5-8	建物2	27	ビット	微高地2	
	柱穴	08-04	第1b面	03-5-8	建物2	26	ビット	微高地2	
8	柱穴	08-05	第1b面	03-5-8	建物2	48	ビット	微高地2	
	柱穴	09-01	第1b面	03-5-8	建物1	39	ビット	微高地2	
	柱穴	09-02	第1b面	03-5-8	建物1	40	ビット	微高地2	
	柱穴	09-03	第1b面	03-5-8	建物1	41	ビット	微高地2	
	柱穴	09-04	第1b面	03-5-8	建物1	38	ビット	微高地2	
	柱穴	09-05	第1b面	03-5-8	建物1	44	ビット	微高地2	
	柱穴	09-06	第1b面	03-5-8	建物1	42	ビット	微高地2	
	柱穴	09-07	第1b面	03-5-8	建物1	36	ビット	微高地2	
	柱穴	09-08	第1b面	03-5-8	建物1	43	ビット	微高地2	
	柱穴	09-09	第1b面	03-5-8	建物1	28	ビット	微高地2	
井戸									
井戸	1	第1b面	03-5-6			183	井戸	微高地1	
井戸	2	第1b面	06-2-4			07	井戸	微高地2	
井戸	3	第1b面	03-5-8			01	土坑(井戸)	微高地2	
井戸	4	第1b面	03-5-2			3	井戸	微高地2	
井戸	5	第1b面				20	土坑	微高地3	
土坑									
土坑	1	第1b面	03-5-6			091	土坑	微高地1	
土坑	2	第1b面	03-5-6			115	土坑	微高地1	
土坑	3	第1b面	03-5-6			102	ビット	微高地1	
		第1b面	03-5-6			017	ビット	微高地1	
土坑	4	第1b面	03-5-6			180	土坑	微高地1	
		第1b面	03-5-6			170	土坑	微高地1	
土坑	5	第1b面	03-5-6			058	ビット	微高地1	
		第1b面	03-5-6			179	ビット	微高地1	
土坑	6	第1b面	03-5-6			174	ビット	微高地1	
土坑	7	第1b面	03-5-6			184	ビット	微高地1	
土坑	8	第1b面	03-5-5			26	土坑	微高地1	
土坑	9	第1b面	03-5-7			36	土坑	微高地1	
土坑	10	第1b面	03-5-7			35	土坑	微高地1	
土坑	11	第1b面	03-5-7			37	土坑	微高地1	
土坑	12	第1b面	03-5-7			28	土坑	微高地1	
土坑	13	第1b面	03-5-7			29	土坑	微高地1	
土坑	14	第1b面	03-5-7			38	土坑	微高地1	
土坑	15	第1b面	03-5-7			21	土坑	微高地1	
土坑	16	第1b面	03-5-7			22	土坑	微高地1	
土坑	17	第1b面	03-5-7			23	土坑	微高地1	
土坑	18	第1b面	03-5-7			40	土坑	微高地1	
土坑	19	第1b面	03-5-7			24	土坑	微高地1	
土坑	20	第1b面	03-5-7			34	土坑	微高地1	
土坑	21	第1b面	03-5-7			33	土坑	微高地1	
土坑	22	第1b面	03-5-7			32	土坑	微高地1	
土坑	23	第1b面	03-5-7			30	土坑	微高地1	
土坑	24	第1b面	03-5-7			30	土坑	微高地1	

01遺構一覧表（2）

遺構名	遺構名		調査名-トレンチ	調査時名称			エリア
	遺構種類	遺構番号		遺構名	番号	遺構種類	
土坑							
	土坑	25	第1b面	03-5-7		25	土坑 微高地1
	土坑	26	第1b面	03-5-7		26	土坑 微高地1
	土坑	27	第1b面	03-5-7		27	土坑 微高地1
	土坑	28	第1b面	03-5-7		39	土坑 微高地1
	土坑	29	第1b面	03-5-7		41	土坑 微高地1
	土坑	30	第1b面	03-5-7		31	土坑 微高地1
	土坑	31	第1b面	03-5-7		42	土坑 微高地1
	土坑	32	第1b面	03-5-6			微高地1
	土坑	33	第1b面	03-5-6			微高地1
	土坑	34	第1b面	03-5-6		110	土坑 微高地1
	土坑	35	第1b面	03-5-6		153	土坑 微高地1
			第1b面	03-5-6		123	土坑 微高地1
	土坑	36	第1b面	03-5-6		043	ビット 微高地1
			第1b面	03-5-6		044	ビット 微高地1
	土坑	37	第1b面	03-5-6		045	土坑 微高地1
			第1b面	03-5-6		172	ビット 微高地1
	土坑	38	第1b面	03-5-6		133	土坑 微高地1
	土坑	39	第1b面	03-5-6		13	土坑 微高地1
	土坑	40	第1b面	03-5-6		51	土坑 微高地1
	土坑	41	第1b面	03-5-6		52	土坑 微高地1
	土坑	42	第1b面	03-5-6		25	土坑 微高地1
	土坑	43	第1b面	03-5-6		28	土坑 微高地1
	土坑	44	第1b面	03-5-6		32	ビット 微高地1
	土坑	45	第1b面	03-5-6	-	-	微低地1
	土坑	46	第1b面	03-5-8		06	土坑 微高地2
	土坑	47	第1b面	03-5-8		03	土坑 微高地2
	土坑	48	第1b面	03-5-8		13	土坑 微高地2
	土坑	49	第1b面	03-5-8		12	土坑 微高地2
	土坑	50	第1b面	03-5-8		14	土坑 微高地2
	土坑	51	第1b面	03-5-8		10	土坑 微高地2
	土坑	52	第1b面	03-5-8		24	土坑 微高地2
	土坑	53	第1b面	03-5-8		33	土坑 微高地2
	土坑	54	第1b面	03-5-2		18	土坑 微低地3
	土坑	55	第1b面	03-5-2		19	土坑 微低地3
	土坑	56	第1b面	03-5-2		17	溝 微低地3
	土坑	57	第1b面	03-5-2		21	土坑 微低地3
	土坑	58	第1b面	03-5-2		14	土坑 微低地3
	土坑	59	第1b面	03-5-9		02	土坑 微低地3
	土坑	60	第1b面	03-5-2		9	土坑 微高地3
	土坑	61	第1b面	03-5-2		12	土坑 微高地3
	土坑	62	第1b面	03-5-2		11	土坑 微高地3
	土坑	63	第1b面	03-5-1		5	土坑 微高地3
	土坑	64	第1b面	06-2-3		10	土坑 微高地3
	土坑	65	第1b面	06-2-3		09	土坑 微高地3
	土坑	66	第1b面	06-2-3		14	土坑 微高地3
	土坑	67	第1b面	06-2-3		06	土坑 微高地3
	土坑	68	第1b面	06-2-3		15	土坑 微高地3
	土坑	69	第1b面	06-2-3		13	土坑 微高地3
	土坑	70	第1b面	06-2-3		05	炭層 微高地3
	土坑	71	第1b面	06-2-3		03	土坑 微高地3
	土坑	72	第1b面	06-2-3		04	土坑 微高地3
	土坑	73	第0-5面	03-5-5		06	土坑 微高地1
	土坑	74	第0-5面	03-5-5		07	土坑 微高地1
	土坑	75	第0-5面	03-5-5		12	土坑 微高地1
	土坑	76	第2-2b面	03-5-10		17	土坑
	土坑	77	第2-2b面	03-5-10		16	土坑
	土坑	78	第2-2b面	03-5-10		21	土坑
	土坑	79	第2-2b面	03-5-10		23	土坑
	土坑	80	第2-2b面	03-5-10		25	ビット
	土坑	81	第2-2b面	03-5-10			兩壁の遺構
	土坑	82	第2-4面	03-5-5		57	土坑
	土坑	83	第2-4面	03-5-5		58	土坑
	土坑	84	第2-4面	03-5-5		59	土坑

遺構名	遺構名		調査名-トレンチ	調査時名称			エリア
	遺構種類	遺構番号		遺構名	番号	遺構種類	
土坑							
	土坑	85	第2-4面	03-5-5		60	土坑
	土坑	86	第2-4面	03-5-5		61	土坑
	土坑	87	第2-4面	03-5-5		62	土坑
ビット							
	ビット	001	第1b面	03-5-6		173	ビット 微高地1
	ビット	002	第1b面	03-5-6		138	ビット 微高地1
	ビット	003	第1b面	03-5-6		090	ビット 微高地1
	ビット	004	第1b面	03-5-6		092	ビット 微高地1
	ビット	005	第1b面	03-5-6		152	ビット 微高地1
	ビット	006	第1b面	03-5-6		004	ビット 微高地1
	ビット	007	第1b面	03-5-6		109	ビット 微高地1
	ビット	008	第1b面	03-5-6		095	ビット 微高地1
	ビット	009	第1b面	03-5-6		011	ビット 微高地1
	ビット	010	第1b面	03-5-6		012	ビット 微高地1
	ビット	011	第1b面	03-5-6	掘立柱建物3	094	ビット 微高地1
			第1b面	03-5-6		010	ビット 微高地1
	ビット	012	第1b面	03-5-6		013	ビット 微高地1
	ビット	013	第1b面	03-5-6		027	ビット 微高地1
	ビット	014	第1b面	03-5-6		028	ビット 微高地1
	ビット	015	第1b面	03-5-6		084	ビット 微高地1
	ビット	016	第1b面	03-5-6		014	ビット 微高地1
	ビット	017	第1b面	03-5-6		009	ビット 微高地1
	ビット	018	第1b面	03-5-7		03	ビット 微高地1
	ビット	019	第1b面	03-5-7		04	ビット 微高地1
	ビット	020	第1b面	03-5-7		06	ビット 微高地1
	ビット	021	第1b面	03-5-7		07	ビット 微高地1
	ビット	022	第1b面	03-5-7		08	ビット 微高地1
	ビット	023	第1b面	03-5-7		10	ビット 微高地1
	ビット	024	第1b面	03-5-7		11	ビット 微高地1
	ビット	025	第1b面	03-5-6		101	ビット 微高地1
	ビット	026	第1b面	03-5-6		008	ビット 微高地1
	ビット	027	第1b面	03-5-6		112	ビット 微高地1
	ビット	028	第1b面	03-5-6		148	ビット 微高地1
	ビット	029	第1b面	03-5-6		075	ビット 微高地1
	ビット	030	第1b面	03-5-6		141	ビット 微高地1
			第1b面	03-5-6		018	ビット 微高地1
	ビット	031	第1b面	03-5-6		142	ビット 微高地1
			第1b面	03-5-6		019	ビット 微高地1
	ビット	032	第1b面	03-5-6		105	ビット 微高地1
			第1b面	03-5-6		062	ビット 微高地1
	ビット	033	第1b面	03-5-6		038	ビット 微高地1
	ビット	034	第1b面	03-5-6		107	ビット 微高地1
	ビット	035	第1b面	03-5-6		089	土坑 微高地1
	ビット	036	第1b面	03-5-6		020	ビット 微高地1
	ビット	037	第1b面	03-5-6		137	ビット 微高地1
	ビット	038	第1b面	03-5-6		103	ビット 微高地1
			第1b面	03-5-6		035	ビット 微高地1
	ビット	039	第1b面	03-5-6		036	ビット 微高地1
	ビット	040	第1b面	03-5-6		106	ビット 微高地1
	ビット	041	第1b面	03-5-6		144	ビット 微高地1
	ビット	042	第1b面	03-5-6		108	ビット 微高地1
	ビット	043	第1b面	03-5-6		083	ビット 微高地1
	ビット	044	第1b面	03-5-6		116	ビット 微高地1
	ビット	045	第1b面	03-5-6		073	ビット 微高地1
	ビット	046	第1b面	03-5-6		143	ビット 微高地1
	ビット	047	第1b面	03-5-6		104	ビット 微高地1
	ビット	048	第1b面	03-5-6		037	ビット 微高地1
	ビット	049	第1b面	03-5-6		072	ビット 微高地1
	ビット	050	第1b面	03-5-6		021	ビット 微高地1
	ビット	051	第1b面	03-5-6		064	ビット 微高地1
	ビット	052	第1b面	03-5-6		065	ビット 微高地1
	ビット	053	第1b面	03-5-6		066	ビット 微高地1
	ビット	054	第1b面	03-5-6		067	ビット 微高地1

01遺構一覧表（3）

遺構名	遺構名		遺構面	調査名-トレンチ	調査時名称			エリア
	遺構種類	遺構番号			遺構名	番号	遺構種類	
ビット								
	ビット	055	第1b面	03-5-6		002	ビット	微高地1
	ビット	056	第1b面	03-5-6		097	ビット	微高地1
	ビット	057	第1b面	03-5-6		016	ビット	微高地1
	ビット	058	第1b面	03-5-6		098	ビット	微高地1
	ビット	059	第1b面	03-5-6		099	ビット	微高地1
	ビット	060	第1b面	03-5-6		068	ビット	微高地1
	ビット	061	第1b面	03-5-6		007	ビット	微高地1
	ビット	062	第1b面	03-5-6		006	ビット	微高地1
	ビット	063	第1b面	03-5-6		147	ビット	微高地1
	ビット	064	第1b面	03-5-6		069	ビット	微高地1
	ビット	065	第1b面	03-5-6		071	ビット	微高地1
	ビット	066	第1b面	03-5-6		023	ビット	微高地1
	ビット	067	第1b面	03-5-6		022	ビット	微高地1
	ビット	068	第1b面	03-5-6		070	ビット	微高地1
			第1b面	03-5-6		113	ビット	微高地1
	ビット	069	第1b面	03-5-6		182	ビット	微高地1
			第1b面	03-5-6		030	ビット	微高地1
	ビット	070	第1b面	03-5-6		074	ビット	微高地1
	ビット	071	第1b面	03-5-6		029	ビット	微高地1
	ビット	072	第1b面	03-5-6		031	ビット	微高地1
	ビット	073	第1b面	03-5-6		032	ビット	微高地1
	ビット	074	第1b面	03-5-6		117	ビット	微高地1
	ビット	075	第1b面	03-5-6		052	ビット	微高地1
	ビット	076	第1b面	03-5-6		034	ビット	微高地1
	ビット	077	第1b面	03-5-6		033	ビット	微高地1
	ビット	078	第1b面	03-5-6		049	土坑	微高地1
	ビット	079	第1b面	03-5-6		054	土坑	微高地1
	ビット	080	第1b面	03-5-6		085	ビット	微高地1
	ビット	081	第1b面	03-5-6		050	ビット	微高地1
	ビット	082	第1b面	03-5-6		140	ビット	微高地1
	ビット	083	第1b面	03-5-6		078	ビット	微高地1
	ビット	084	第1b面	03-5-6		041	ビット	微高地1
	ビット	085	第1b面	03-5-6		039	ビット	微高地1
	ビット	086	第1b面	03-5-6		076	ビット	微高地1
	ビット	087	第1b面	03-5-6		042	ビット	微高地1
			第1b面	03-5-6		118	ビット	微高地1
	ビット	088	第1b面	03-5-6		040	ビット	微高地1
	ビット	089	第1b面	03-5-6		077	ビット	微高地1
	ビット	090	第1b面	03-5-6		119	ビット	微高地1
	ビット	091	第1b面	03-5-6		061	ビット	微高地1
	ビット	092	第1b面	03-5-6		060	ビット	微高地1
	ビット	093	第1b面	03-5-6		059	ビット	微高地1
	ビット	094	第1b面	03-5-6		055	ビット	微高地1
	ビット	095	第1b面	03-5-6		056	ビット	微高地1
	ビット	096	第1b面	03-5-6		128	ビット	微高地1
	ビット	097	第1b面	03-5-6		081	ビット	微高地1
	ビット	098	第1b面	03-5-6		088	ビット	微高地1
	ビット	099	第1b面	03-5-6		082	ビット	微高地1
	ビット	100	第1b面	03-5-6		185	ビット	微高地1
	ビット	101	第1b面	03-5-6		136		微高地1
	ビット	102	第1b面	03-5-6		178	ビット	微高地1
	ビット	103	第1b面	03-5-6		063	ビット	微高地1
	ビット	104	第1b面	03-5-6		080	ビット	微高地1
	ビット	105	第1b面	03-5-6		177	ビット	微高地1
	ビット	106	第1b面	03-5-6		181	ビット	微高地1
	ビット	107	第1b面	03-5-6		086	ビット	微高地1
	ビット	108	第1b面	03-5-6		176	ビット	微高地1
	ビット	109	第1b面	03-5-6		175	ビット	微高地1
	ビット	110	第1b面	03-5-6		134	ビット	微高地1
	ビット	111	第1b面	03-5-6		135	ビット	微高地1
	ビット	112	第1b面	03-5-5		24	ビット	微高地1
	ビット	113	第1b面	03-5-5		23	ビット	微高地1
	ビット	114	第1b面	03-5-5		54	ビット	微高地1

遺構名	遺構名		遺構面	調査名-トレンチ	調査時名称			エリア
	遺構種類	遺構番号			遺構名	番号	遺構種類	
ビット								
	ビット	115	第1b面	03-5-5		27	ビット	微高地1
	ビット	116	第1b面	03-5-5		50	ビット	微高地1
	ビット	117	第1b面	03-5-5		55	ビット	微高地1
	ビット	118	第1b面	03-5-5		35	ビット	微高地1
	ビット	119	第1b面	03-5-5		38	ビット	微高地1
	ビット	120	第1b面	03-5-5		49	ビット	微高地1
	ビット	121	第1b面	03-5-5		40	ビット	微高地1
	ビット	122	第1b面	03-5-5		42	ビット	微高地1
	ビット	123	第1b面	03-5-5		31	ビット	微高地1
	ビット	124	第1b面	03-5-5		30	ビット	微高地1
	ビット	125	第1b面	03-5-5		41	ビット	微高地1
	ビット	126	第1b面	03-5-5		53	ビット	微高地1
	ビット	127	第1b面	03-5-5		39	ビット	微高地1
	ビット	128	第1b面	03-5-5		33	ビット	微高地1
	ビット	129	第1b面	03-5-5		34	ビット	微高地1
	ビット	130	第1b面	03-5-5		45	ビット	微高地1
	ビット	131	第1b面	03-5-5		47	ビット	微高地1
	ビット	132	第1b面	03-5-5		37	ビット	微高地1
	ビット	133	第1b面	03-5-5		44	ビット	微高地1
	ビット	134	第1b面	03-5-5		46	ビット	微高地1
	ビット	135	第1b面	03-5-5		48	ビット	微高地1
	ビット	136	第1b面	03-5-5		56	ビット	微高地1
	ビット	137	第1b面	03-5-5		43	ビット	微高地1
	ビット	138	第1b面	03-5-5		29	ビット	微高地1
	ビット	139	第1b面	03-5-4		05	ビット	微低地1
	ビット	140	第1b面	03-5-4		08	ビット	微低地2
	ビット	141	第1b面	06-2-4		04	Pit	微高地2
	ビット	142	第1b面	06-2-4		08	Pit	微高地2
	ビット	143	第1b面	06-2-4		09	Pit	微高地2
	ビット	144	第1b面	06-2-4		12	Pit	微高地2
	ビット	145	第1b面	06-2-4		10	Pit	微高地2
	ビット	146	第1b面	06-2-4		11	Pit	微高地2
	ビット	147	第1b面	03-5-8		05	ビット	微高地2
	ビット	148	第1b面	03-5-8		16	土器	微高地2
	ビット	149	第1b面	03-5-8		31	ビット	微高地2
	ビット	150	第1b面	03-5-8		08	ビット	微高地2
	ビット	151	第1b面	03-5-8		07	ビット	微高地2
	ビット	152	第1b面	03-5-8		30	ビット	微高地2
	ビット	153	第1b面	03-5-8		22	土坑(ビット)	微高地2
	ビット	154	第1b面	03-5-8		20	ビット	微高地2
	ビット	155	第1b面	03-5-8		35	ビット	微高地2
	ビット	156	第1b面	03-5-8		19	ビット	微高地2
	ビット	157	第1b面	03-5-8		18	ビット	微高地2
	ビット	158	第1b面	03-5-8		17	ビット	微高地2
	ビット	159	第1b面	03-5-8		11	ビット	微高地2
	ビット	160	第1b面	03-5-8		34	ビット	微高地2
	ビット	161	第1b面	03-5-8	建物1	37	ビット	微高地2
	ビット	162	第1b面	03-5-8	建物1	45	ビット	微高地2
	ビット	163	第1b面	03-5-8		21	ビット	微高地2
	ビット	164	第1b面	03-5-8		15	ビット	微高地2
	ビット	165	第1b面	03-5-8		32	ビット	微高地2
	ビット	166	第1b面	03-5-8		29	ビット	微高地2
	ビット	167	第1b面	06-2-4		03	Pit	微低地3
	ビット	168	第1b面	03-5-10		10	ビット	微高地3
	ビット	169	第1b面	03-5-10		09	ビット	微高地3
	ビット	170	第1b面	03-5-10		07	ビット	微高地3
	ビット	171	第1b面	03-5-10		08	ビット	微高地3
	ビット	172	第1b面	06-2-3		12	土坑	微高地3
	ビット	173	第1b面	06-2-3		11	Pit	微高地3
	ビット	174	第0-5面	03-5-5		10	ビット	微高地1
	ビット	175	第1b面	03-5-10		11	ビット	流路14
	ビット	176	第1b面	03-5-10		12	ビット	流路14
	ビット	177	第1b面	03-5-10		13	ビット	流路14

01遺構一覧表（4）

遺構名	遺構名		調査名-トレンチ	調査時名称			エリア
	遺構種類	遺構番号		遺構名	番号	遺構種類	
ピット							
	ピット	178	第2-2b面	03-5-10		33	ピット
	ピット	179	第2-2b面	03-5-10		26	ピット
	ピット	180	第2-2b面	03-5-10		27	ピット
	ピット	181	第2-2b面	03-5-10		30	溝
	ピット	182	第2-2b面	03-5-10		31	ピット
	ピット	183	第2-3面	03-5-2		25	ピット
	ピット	184	第2-4面	03-5-5		63	ピット
	ピット	185	第2-4面	03-5-5		64	ピット
	ピット	186	第2-4面	03-5-5		66	ピット
	ピット	187	第2-4面	03-5-6		187	ピット
	ピット	188	第2-4面	03-5-6		188	ピット
	ピット	189	第2-4面	03-5-6		189	ピット
土器集中							
	土器集中	1	第1b面	03-5-4		01	遺構(土坑) 微高地1
木材集中							
	木材集中	1	第2-4面	03-5-8		58	木材集中部
落込み							
	落込み	1	第1b面	06-2-4		06	落 微高地2
	落込み	2	第1b面	06-2-2		02	流路 微高地4
溝							
	溝	1	第1b面	06-2-4		05	溝 微高地2
	溝	2	第1b面	03-5-8		09	溝 微高地2
	溝	3	第1b面	03-5-8		23	溝 微高地2
	溝	4	第1b面	03-5-8		25	溝 微高地2
	溝	5	第1b面	03-5-8		04	溝 微高地2
	溝	6	第1b面	06-2-4		02	溝 微高地3
	溝	7	第1b面	03-5-2		15	溝 微高地3
	溝	8	第1b面	03-5-2		16	溝 微高地3
	溝	9	第1b面	03-5-2		01	溝 微高地3
	溝	10	第1b面	03-5-2		13	溝 微高地3
	溝	11	第1b面	03-5-2		23	溝 微高地3
	溝	12	第1b面	03-5-2		4	溝 微高地3
	溝	13	第1b面	03-5-2		7	溝 微高地3
	溝	14	第1b面	03-5-2		6	溝 微高地3
	溝	15	第1b面	03-5-2		5	溝 微高地3
	溝	15	第1b面	03-5-10		02	溝 微高地3
	溝	15	第1b面	06-2-3		07	溝 微高地3
	溝	16	第1b面	06-2-3		08	溝 微高地3
	溝	17	第1b面	03-5-2		8	溝 微高地3
	溝	17	第1b面	03-5-10		03	溝 微高地3
	溝	18	第1b面	03-5-10		04	溝 微高地3
	溝	19	第1b面	03-5-10		05	溝 微高地3
	溝	20	第1b面	03-5-10		06	溝 微高地3
	溝	21	第1b面	06-2-3		02	溝 微高地3
	溝	21	第1b面	03-5-1		2	溝 微高地4
	溝	22	第1b面	03-5-1		1	溝 微高地4
	溝	23	第1b面	03-5-1		3	溝 微高地4
	溝	21	第2-1面	03-5-2		22	溝
	溝	22	第2-2b面	03-5-10		19	溝
	溝	23	第2-2b面	03-5-10		18	土坑
	溝	24	第2-2b面	03-5-10		20	溝
	溝	25	第2-2b面	03-5-10		22	溝
	溝	26	第2-2b面	03-5-10		29	溝
	溝	27	第2-2b面	03-5-10		24	溝
	溝	28	第2-2b面	03-5-10		28	溝
	溝	29	第2-2b面	03-5-10		32	溝
	溝	30	第2-3面	03-5-4		12	溝
	溝	31	第2-4面	03-5-5		65	溝
	溝	32	第2-4面	03-5-2			
	溝	33	第2-4面	03-5-7		01	溝

遺構名	遺構名		調査名-トレンチ	調査時名称			エリア	
	遺構種類	遺構番号		遺構名	番号	遺構種類		
溝群								
	溝群	1	第0-5面	03-5-6			溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-7			溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-5		03	溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-5		04	溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-5		05	溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-5		08	溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-5		09	溝群 微高地1	
			第0-5面	03-5-5		11	溝群 微高地1	
	溝群	3	第1b面	03-5-8			溝群 微高地2	
	溝群	3	第1b面	03-5-8		02	溝群 微高地2	
	溝群	4	第1b面	03-5-2		-	溝群 微高地3	
流路								
	流路		第1b面	06-2-4		01	流路 流路11	
	流路		第1b面	03-5-7		19	流路 流路11	
	流路		第1b面			20	流路 流路11	
	流路		第1b面	03-5-4		02	流路 流路12	
	流路	1	第1b面	03-5-2		04	流路 流路12	
	流路		第1b面	03-5-2		10	流路 流路13	
	流路		第1b面	03-5-1		4	溝 流路14	
	流路		第1b面	06-2-2		01	流路 流路14	
	流路		第1b面	03-5-3			流路14	
	流路		第1b面	06-2-3		01	流路 流路14	
	流路		第1b面	03-5-10		01	流路 流路14	
	流路	2	第1b面	03-5-4		03	流路 流路2	
	流路		第1b面	03-5-5		36	流路 流路2	
	流路	3	第2-1面	06-2-1		01	流路	
	流路	4	第2-1面	06-2-2		03	流路	
	流路		第2-1面	03-5-1				
	流路	5	第2-1面	03-5-2		10	溝	
杭列								
	(堰・橋)	杭列	1	第1b面	03-5-2		24	堰 流路13
	(係留杭?)	杭列	2	第1b面	03-5-1		6	杭 流路14
	(堰・係留杭?)	杭列	3	第1b面	03-5-1		7	杭列 流路14
		杭列	4	第1b面	03-5-10		14	杭列 流路14
	(土橋1)	杭列	5	第1b面	03-5-10		15	杭列 流路14
		杭列	6	第1b面	03-5-10		34	杭列 流路14
		杭列	7	第1b面	03-5-10		35	杭列 流路14
	(堰)	杭列	8	第1b面	03-5-4		11	堰 流路2
	(堰)	杭列	9	第2-1面	03-5-1		8	堰
	(堰)	杭列	10	第2-1面	03-5-1		9	堰

02遺物観察表(1)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構面・ 層名	遺構名		備 考
														遺構 種類	遺構 番号	
25	68	3	03-5	1814	須恵器	高坏	不良	古墳 後期	(16.5)脚 (6.7)	[外]灰N5/0~6/0, 赤灰2.5YR6/1 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	柱穴	02- 04	脚部残存は 40%
27	69	8	03-5	1908	土師器	坏	不良	古代	(16.6) (3.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密	[外]ヨコナデ,ヘラズリ後工具ナデ [内]ヨコナデ,暗文	第1b面	井戸	01	
27	69	9	03-5	1932	土師器	坏	不良	古代	(13.8) (2.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(砂礫微量)	[外]ヨコナデヨコナデ後ミガキ [内]観察難	第1b面	井戸	01	
27	69	10	03-5	1908	土師器	壺	不良	古墳 中期	(20) (2.8)	[外]灰黄褐10YR6/2, 褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR4/1	密(1mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	井戸	01	
27	68	11	03-5	1914	土師器	壺	良		16.2 15.4	[外]にぶい橙5YR7/3 [内]黒褐7.5YR3/1	粗(4mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]工具ヨコナデ,ハケ	第1b面	井戸	01	
27	68	12	03-5	1932	土師器	壺	やや 良	古墳中 ~後期	7.8 5.2	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/4	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ナデ	第1b面	井戸	01	ミニチュア か
27	69	13	03-5	1929	須恵器	壺	不良		—	[外]灰N5/0 [内]黄灰2.5Y6/1	やや粗(5mm以下の砂礫)	[外]平行タタキ後ナデ [内]同心円文後ナデ	第1b面	井戸	01	
27	69	15	03-5	1929	瓦	平瓦			—	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白7.5Y7/1	密(2mm以下の長石)	[外]縄目タタキ? [内]ケズリ,布目	第1b面	井戸	01	
35	68	16	03-5	1876	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳 後期	(14.1) (3.1)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(1mm以下の長石多 い)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後ナデ	第1b面	土坑	03	
35	70	17	03-5	1838	陶質 土器?		不良	古墳 中期	—	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石少量)	[外]縄文タタキ,沈線 [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	04	
35	68	18	03-5	1883	土師器	埴	良	古墳 後期	10.6 3.7	[外]淡黄2.5Y8/3, にぶい橙5YR7/4 [内]淡黄2.5Y8/3	密(2mm大の長石少量,1mm 以下の石英・黒色粒少量)	[外]工具ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	05	
35	68	19	03-5	1901	土師器	坏	良	古代	18.1 4.8	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰黄2.5Y6/2~7/2	密(2mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,ユビオサエ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	土坑	07	
35	68	20	03-5	1238	土師器	坏	やや 良	古代	(16.1) (4.2)	[外]灰白5Y7/2, 橙5YR6/6,黄灰2.5Y4/1 [内]灰白5Y7/2	密(1mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,押圧	第1b面	土坑	09	
35	70	21	03-5	1481	土師器	壺	不良	古墳 中期	(18.2) (6.7)	[外]黒褐2.5Y3/1, [内]黒褐2.5Y3/1, 浅黄2.5Y7/3	粗(2~3mmの長石・石英多 い)	[外]ヨコナデ(口縁),観察難(体部) [内]観察難	第1b面	土坑	15	
35	70	22	03-5	1444	土師器	壺	不良		(18) (5.2)	[外]灰黄褐10YR4/2 [内]浅黄橙10YR8/3, 黒10YR1,7/1	粗(5mm以下の長石多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	20	
35	70	23	03-5	1477	韓式系 土器		不良	古墳 中期	(14) (6.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ナデ,沈線 [内]観察難	第1b面	土坑	26	
35	71	24	03-5	1477	土師器	高坏	やや 良	古墳 後期	—	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(2mm大の礫少量,1 mm以下の長石・石英・黒色 粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,観察難(脚部付根部)	第1b面	土坑	26	脚部残存は 70%
35	68	25	03-5	1166	須恵器	長頸壺	不良	古代	(8.5) (—)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	密(白色礫少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	39	
35	70	26	03-5	1695	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	—	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]にぶい黄2.5Y6/3	やや粗(3mm以下の長石・ 雲母・黒色粒多い)	[外]ハケ,ナデ,ユビオサエ [内]ナデ	第1b面	土坑	36	把手残存は 100%
37	71	27	03-5	1173	須恵器	大甕	やや 不良	古墳 中期	34.95 (71.5)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,平行タタキ,カキ目,波状文 [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ	第2a層	土坑	42	
38	70	28	03-5	1614	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(13) (3.2)	[外]灰白5Y8/1 [内]灰白5Y8/1	密(1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	ピット	17	
38	71	29	03-5	1705	土師器	小型壺	やや 良	古墳 中期	(12) (11.2)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4	やや粗(3mm大の長石少 量,1mm以下の長石多い)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	ピット	68	
38	70	30	03-5	1697	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	—	[外]赤褐2.5YR4/6 [内]褐7.5YR4/4	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ユビオサエ [内]ナデ	第1b面	ピット	93	把手残存
38	70	31	03-5	1196	須恵器	壺	不良	古代	(9.6)台 (2.1)	[外]灰N6/0,灰白N8/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	ピット	115	残存率は高 台のみで 60%
38	70	32	03-5	1239	土師器	坏	不良	古代	(15.4) 5.5	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]にぶい黄2.5Y6/3	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ナデ	第1b面	ピット	116	
38	70	33	03-5	1211	土師器	皿	不良	古代	(19.6) (2.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(3mm以下の長石・ 雲母・黒色粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	ピット	132	
38	71	34	03-5	1736	弥生 土器	壺	やや 良	弥生 後期	(18.8) 11.6	[外]灰白10YR7/1 [内]灰白7.5YR8/2	粗(6mm以下の大のシャモツ ・砂礫多い)	[外]観察難(口縁),ユビオサエ,タタキ [内]観察難	第1b面	ピット	78	
38	72	35	03-5	1736	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	(16.4) (18.3)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(3mm以下の長石・ 石英・黒色粒やや多い)	[外]ヨコナデ,タタキ,ナデ [内]ヨコナデ,押圧,ナデ	第1b面	ピット	78	
38	71	36	03-5	1737	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	(14.55) (9.1)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(6mm以下の長石・ 石英・砂礫多い)	[外]ナデ,タタキか?(体部) [内]観察難	第1b面	ピット	79	
38	72	37	03-5	1737	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(15.1) —	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(3mm大の礫少量,2mm以 下の砂礫多い)	[外]観察難(口縁部),タタキ,一部ハケ [内]観察難	第1b面	ピット	79	
39	72	40	03-5	1759	黒色 土器	椀	不良	古代	(15) (4.5)	[外]黒N2/0, にぶい黄2.5Y6/3 [内]黒N2/0	密	[外]工具ナデ(口縁部),観察難(体部) [内]ヨコナデ,暗文	第1-5層			
39	72	41	03-5	1584	黒色 土器	椀	不良	古代	(6.9) (4.2)	[外]灰白5YR8/2, 黒N1.5/0 [内]黒N2/0	密	[外]ヨコナデ(口縁部),観察難(体部) [内]ヨコナデ	第1-5層			
39	72	42	03-5	1779	黒色 土器	椀	不良	古代	(14.6) (5)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]暗灰N3/0	密	[外]観察難 [内]ヨコナデ,暗文	第1-5層			
39	72	43	03-5	1146	須恵器	坏	不良	古代	(22.8)底 (1.7)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2.5mm大の礫少量,1mm以 下の砂礫微量)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			底部残存は 20%
39	72	44	03-5	1421	須恵器	坏	やや 不良	古代	(9.6) (0.9)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1~3mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第2a層			底部残存は 40%
39	72	45	03-5	1773	須恵器	坏	不良	古代	(7.9)底 (2)	[外]灰5Y6/1 [内]灰5Y6/1	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			底部残存は 20%
39	72	46	03-5	1345	須恵器	壺	やや 不良	古代	(9.4) (4.1)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(1.5mm大の礫少 量,1mm以下の砂礫多い)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層?			底部残存は 30%
39	73	47	03-5	1411	須恵器	坏	不良	古代	(9) (5.5)	[外]灰白N7/0~8/0 [内]灰白N8/0	密(1mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層			
39	72	48	03-5	1381	須恵器	坏	不良	古代	(9.8) (3.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	粗(鉱物粒多い,4mm以下の 砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層~ 第2層			
39	73	49	03-5	1764	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 後期	(14.4) (4.7)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫微量)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第1-5層			

02遺物観察表 (2)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (μ m)		色 調	胎 土	特 徴	透 視 図 ・ 層 名	透 視 名		備 考
									上:口径	下:器高					透 視 類 型	透 視 番 号	
39	73	50	03-5	1171	須恵器	坏蓋	不良	古墳後期	(14) (3.15)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				
39	73	51	03-5	1555	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳後期	(14.2) (3.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の長石)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	73	52	03-5	1752	須恵器	坏蓋	不良	古墳後期	(13.9) (3.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
39	74	53	03-5	1432	須恵器	坏蓋	不良	古墳後期	(13) (3.5)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				
39	73	54	03-5	1673	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳後期	(14) (4.25)	[外]青灰5B6/1 [内]明青灰5B7/1	密(2mm以下の長石・黒色粒)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ後ナデ,ヨコナデ	第1-5層				
39	73	55	03-5	1182	須恵器	坏蓋	不良	古墳中～後期	(14.9) (4.9)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2～3mmの長石少量,1mm以下の長石・黒色粒多い)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				
39	74	56	03-5	1430	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳中～後期	— (4.4)	[外]赤灰2.5Y5/1 [内]灰N6/0	やや粗(2mm以下の砂礫少量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				
39	73	57	03-5	1434	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳中～後期	(12.4) (5)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	やや粗(1mm以下の砂礫少量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				
39	74	58	03-5	1140	須恵器	坏蓋	不良	古墳中～後期	(11.9) (4.6)	[外]明青灰5PB7/1 [内]青灰5PB5/1	密(0.5mm以下の長石多い)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	74	59	03-5	1683	須恵器	高坏蓋	やや不良	古墳中～後期	— (3)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(2mm大の長石少量)	[外]ナデ,ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ナデ,ヨコナデ	第1-5層				
39	74	60	03-5	1720	須恵器	高坏蓋	不良	古墳中期	(13) (5.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ナデ,ヨコナデ	第1-5層				残存率はツマミのみでは100%
39	74	61	03-5	1742	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(12.4) (3.6)	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白N7/0	やや粗(2mm大の長石微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
39	74	62	03-5	1561	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(13.1) 3.9	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	やや粗(5mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1-5層				
39	73	63	03-5	1563	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(12.7) (4.2)	[外]灰白N7/0 [内]灰白7.5Y7/1	粗(0.5mm大の白色粒)矛盾	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	74	64	03-5	1767	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(14) (3.3)	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	74	65	03-5	1760	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(13) (2)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	74	66	03-5	1760	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(13) (1.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	75	67	03-5	1683	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(14.2) (3.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
39	75	68	03-5	1151	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(13.8) (3.1)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
39	75	69	03-5	1743	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(13.2) (4.4)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
39	75	70	03-5	1763	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(15.6) (3.7)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	73	71	03-5	1575	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(12.6) (3.9)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや粗(白色中礫少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
39	75	72	03-5	1780	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(13) (3.8)	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	75	73	03-5	1430	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(13.2) (3.7)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	やや密(砂粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層				
39	73	74	03-5	1748	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(14) 4.2	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	やや密(0.5mm以下の砂粒微量)矛盾	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層				
39	73	75	03-5	1576	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(12.9) (4.45)	[外]灰N6/0 [内]明青灰5PB7/1	密(2mm以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	75	76	03-5	1391	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(6.5) (4)	[外]灰白N8/0 [内]青灰5PB6/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	75	77	03-5	1582	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(12.6) (3.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
39	75	78	03-5	1720	須恵器	坏身	やや不良	古墳中期	(12.2) (2.9)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
40	77	79	03-5	1415	須恵器	坏身	不良	古墳中期	(11.6) (4.9)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(1～3mmの長石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第2a層				
40	76	80	03-5	1430	須恵器	坏身	やや不良	古墳中～後期	(12.6) (4.7)	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	やや粗(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第2a層				
40	77	81	03-5	1564	須恵器	坏身	不良	古墳中期	(11.55) (5.2)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(微細白色粒多い)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
40	77	82	03-5	1589	須恵器	坏身	不良	古墳中期	— (3.4)	[外]褐灰10YR6/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(微細白色粒多い)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ? [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1-5層				
40	76	83	03-5	1582	須恵器	有蓋高坏	やや不良	古墳後期	(6.6) (3.6)	[外]灰N6/0,灰白N7/0 [内]灰白N7/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層				
40	77	84	03-5	1162	須恵器	高坏	やや不良	古墳後期	(17.3)脚 (14.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,シボリ痕	第1-5層				脚部残存は30%
40	76	85	03-5	1421	須恵器	高坏	やや不良	古墳後期	(16.3)脚 (9.6)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0～6/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 長方形2段透孔(数不明)	第2a層				脚部残存は30%
40	76	86	03-5	1584	須恵器	高坏	やや不良	古墳後期	(15)脚 (8.6)	[外]暗灰N3/0 [内]灰白N7/0	密(2～5mmの長石少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 長方形2段透孔(数不明)	第1-5層				脚部残存は30%
40	76	87	03-5	1182	須恵器	高坏	やや不良	古墳中期	— 5.8	[外]灰白N8/0 [内]灰白N8/0	密(1mm以下の礫少量)	[外]ヨコナデ [内]シボリ痕後ナデ	第2a層				脚部残存は30%
40	76	88	03-5	1172	須恵器	壺	不良	古代	— (6.3)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰7.5Y7/1	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				
40	77	89	03-5	1563	須恵器	坏	不良	古代	(11.6) (5.6)	[外]灰白N7/0, 灰白2.5Y7/1 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1-5層				
40	76	90	03-5	1246	須恵器	壺	やや不良	古代	(11.3)胴 (6.9)	[外]灰白N8/0 [内]灰白N8/0	密(1～2mmの長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,ケズリ,列点文 [内]ユビオサエ,ナデ	第1-5層				
40	77	91	03-5	1205	須恵器	無頸壺	やや不良	古墳後期	(8.4) (3.4)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	やや粗	[外]ヨコナデ,工具ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層				

02遺物観察表 (3)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
40	77	92	03-5	1169	須恵器	壺	不良	古墳後期	(17.6) 4.5	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白N7/0	やや粗(3mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,同心円文	第2a層			
40	77	93	03-5	1740	須恵器	壺	不良	古墳中期	(10.6) 4.2	[外]灰10Y5/1 [内]灰10Y5/1	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具痕?	第1-5層			
40	77	94	03-5	1767	須恵器	平瓶	不良	古代	(11.6) —	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,当具痕後ナデ	第1-5層			
40	77	95	03-5	1589	須恵器	壺	不良	古墳後期	(12.4) (4.25)	[外]灰赤10R4/2 [内]灰N5/0	粗(白色小礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ後工具ナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,シボリ痕	第1-5層			
40	78	96	03-5	1759	須恵器	壺	不良	古墳後期	(12.8) (4.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	やや密(3mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラ記号	第1-5層			
40	78	97	03-5	1430	須恵器	壺	不良	古墳中期?	(14.2) (4.9)	[外]灰N6/0 [内]青灰5B6/1	密(5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
40	78	98	03-5	1748	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	— (3.8)	[外]灰5Y6/1 [内]灰7.5Y6/1	密(白色小礫微量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
40	78	99	03-5	1830	須恵器	壺	不良	古墳後期	(25.8) (5)	[外]青灰5B5/1 [内]灰赤2.5YR5/2	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラ状工具痕(頸部)	第1b面			
40	78	100	03-5	1489	須恵器	壺	不良	古代	(22) (8.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(白色小礫・極小礫少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後工具ナデ [内]ヨコナデ,同心円文	第1層			
41	78	101	03-5	1762	須恵器	壺	不良	古墳中期	(20.2) (6.3)	[外]灰N5/0 [内]青灰5PB6/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1-5層			
41	78	102	03-5	1759	須恵器	壺	不良	古墳中期	(18.8) (4.2)	[外]灰白N7/0 [内]灰黄2.5Y5/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
41	78	103	03-5	1172	須恵器	壺	不良	古墳中期	(19.6) (3.7)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	やや粗(1mm大の白色粒多い)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第2a層			
41	78	104	03-5	1336	須恵器	平瓶	不良	古代	—	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密	[外]ナデ [内]ナデ	第1-5層			
41	78	105	03-5	1759	須恵器	器台	不良	古墳	(27.9) (5.2)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密	[外]ヨコナデ,ナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1-5層			
41	78	106	03-5	1420	陶質土器?	壺	不良	古墳中期	—	[外]灰N6/0 [内]青灰5PB6/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]縄文タタキ,凹線 [内]ナデ	第1-5層			
41	78	107	03-5	1869	陶質土器?	壺	不良	古墳中期	—	[外]灰N6/0 にふい赤褐2.5YR5/3 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]縄文タタキ,凹線 [内]ヨコナデ	第1-5層			
41	78	108	03-5	1386	陶質土器?	壺	不良	古墳中期	—	[外]灰N5/0 [内]青灰5PB5/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]縄文タタキ,凹線 [内]ヨコナデ	第1-5層			
41	78	109	03-5	1410	陶質土器?	壺	不良	古墳中期	—	[外]灰N5/0 [内]青灰5PB6/1	密	[外]縄文タタキ [内]ナデ	第2a層			
41	79	110	03-5	1172	土師器	坏	不良	古代	(14) (3.05)	[外]にふい黄7.5YR6/4 [内]にふい黄7.5YR7/4	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			
41	79	111	03-5	1168	土師器	坏	やや不良	古墳後期	10 3.6	[外]灰黄2.5YR7/2 にふい黄橙10YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫少量)	[外]ミガキ? [内]ナデ?	第2a層			
41	79	112	03-5	1386	土師器	高坏	不良	古墳後期	(11.4) (2.2)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2mm以下の砂礫少量,シャモット)	[外]ナデ [内]ナデ	第1-5層			
41	79	113	03-5	1559	土師器	坏	不良	古代	(12.2) (2.7)	[外]浅黄2.5Y7/4 [内]浅黄2.5Y7/4	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難	第1-5層			
41	79	114	03-5	1430	土師器	坏	やや不良	古代	(13) (4)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(1mm大の白色礫少量)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			
41	79	115	03-5	1554	土師器	坏	不良	古代	(14) (3.1)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層			
41	79	116	03-5	1311	土師器	皿	不良	古代	(16.5) (2.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の砂礫微量)	[外]観察難一部押圧,ヨコナデ [内]観察難	第1層～ 第2b層			
41	79	117	03-5	1168	土師器	坏	不良	古代	(15.8) (3.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]暗灰N3/0	密(1mm大の白色粒・透明粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第2a層			
41	79	118	03-5	1674	土師器	高坏	やや不良	古墳中期	(17.2) (4.5)	[外]浅黄橙7.5YR8/3, 灰白2.5Y7/1 [内]浅黄橙7.5YR8/3	粗(3.5mm以下の砂礫少量)	[外]観察難 [内]観察難一部にナデ	第1-5層			
41	79	119	03-5	1762	土師器	坏	不良	古墳後期	(19.2) (6.4)	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]灰白10YR8/2	密(1～2mmの長石・雲母・黒色粒)	[外]観察難一部に工具ナデ [内]観察難	第1-5層			
41	79	120	03-5	1746	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(20.8) (5.4)	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	やや粗(1～2mmの砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ,ナデ	第2a層			
41	79	121	03-5	1157	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(18) (11.1)	[外]黄褐2.5Y5/3, にふい黄2.5Y6/3 [内]暗灰黄2.5Y4/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難(口縁部),押圧,ヘラケズリ	第2a層			
41	80	122	03-5	1168	土師器	羽釜	不良	古墳中期	(22.2) (6.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にふい黄2.5Y6/3	粗(2.5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ナデ	第2a層			
41	80	123	03-5	1563	土製品				—	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1mm大の白色礫少量)	[外]観察難一部にハケ [内]観察難 円孔	第1-5層			
41	80	124	03-5	1563	土師器	移動式甕	不良	古墳中～後期	—	[外]褐灰10YR5/1 [内]にふい褐7.5YR5/3	粗(1～2mmの長石・石英・チャート多い)	[外]ナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第1-5層			
41	80	125	03-5	1422	韓式系土器	壺	不良	古墳中期	—	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]灰5Y6/1	密(1mm大の長石微量)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第2a層			
41	80	126	03-5	1206	韓式系土器	平底鉢	不良	古墳中～後期	(13) 2.9	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1～2mmの長石・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ後平行タタキ [内]ヨコナデ,押圧	第2a層 シルト			
42	80	127	03-5	1249	韓式系土器	把手	不良	古墳中期	—	[外]橙2.5YR6/6 [内]にふい黄2.5Y6/3	やや粗(2mm以下の砂礫少量)	[外]ユビオサエ [内]観察難,ユビオサエ	第1層			把手残存 100%
42	80	128	03-5	1771	韓式系土器	把手	不良	古墳中期	—	[外]黄灰2.5Y4/1～6/1 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(白色小礫多く,中礫多い)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			把手残存 95%
42	80	129	03-5	1148	韓式系土器	把手	不良	古墳中期	—	[外]にふい黄2.5Y6/3 [内]にふい黄2.5Y6/3	やや粗(1～3mm砂礫)	[外]工具ナデ,刺突痕(把手下部) [内]観察難	第1-5層			把手残存 95%
42	80	130	03-5	1140	土師器	把手	不良	古墳中期	—	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]明褐灰7.5YR7/2	粗(1mm以下の長石・石英・チャート・赤色斑粒)	[外]ユビオサエ,ナデ [内]観察難,ユビオサエ	第1-5層			把手残存 95%
42	80	131	03-5	1394	土師器	把手	不良	古墳中期	—	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]灰白10YR8/2	粗(2mm大の礫少量)	[外]観察難一部ナデ [内]ユビオサエ	第1-5層			把手残存 90%
42	80	132	03-5	1420	土師器	把手	不良	古墳中期	—	[外]淡赤橙2.5YR7/3 [内]淡赤橙2.5YR7/3	密(2mm以下の長石,1mm以下の石英)	[外]観察難一部に工具ナデ [内]ナデ [外]の表面)ユビオサエ	第1-5層			把手残存 60%
43	81	133	03-5	1561	瓦	平瓦	不良	古代	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや密(1～3mm長石・黒色粒)	[外]観察難,工具痕 [内]観察難一部に布目圧痕	第1-5層			

02遺物観察表 (4)

探 回 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構面・ 層名	遺構名		備 考
														遺構 種類	遺構 番号	
44	82	134	03-5	1753	土師器	壺	不良	古墳 前期	(13) (9)	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]黒褐2.5Y3/1	粗(3mm以下の砂礫多い)	[外]観察難(口縁部),タタキ(体部) [内]観察難	第1-5層			
44	83	135	03-5	1760	土師器	壺	不良	古墳 前期	(12.2) (7.6)	[外]にぶい黄褐10YR6/3 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(3mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,ナデ,タタキ [内]観察難,ユビオサエ	第1-5層			
44	82	136	03-5	1171	弥生 土器	壺	不良	弥生 時代	(4.3)底 (6.2)	[外]にぶい黄褐10YR6/3, 黒褐2.5Y3/1 [内]褐灰5YR5/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難,押圧(底部)	第2a層			底部残存 70%
44	81	137	03-5	1422	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(4.5)底 (9.7)	[外]にぶい橙10YR7/3 [内]にぶい橙10YR7/4	やや密(1~3mmの長石・黒 色粒少量)	[外]工具ナデ,ナデ [内]ナデ?	第2a層			底部残存 40%
44	81	138	03-5	1770	弥生 土器	壺	良	弥生 前期	(8.2) (13.9)	[外]浅黄2.5Y7/3, 黒褐2.5Y3/1 [内]灰黄2.5Y6/2	粗(4mm以下の砂礫多い)	[外]観察難一部にハケ,ユビオサエ [内]観察難,ユビオサエ?	第1-5層			
44	82	139	03-5	1776	土師器	鉢	やや 不良	古墳 前期	11~12 4.8	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(3mm以下の砂礫少 量)	[外]タタキ,観察難(底部) [内]工具ナデ?	第1-5層			
44	83	140	03-5	1873	土師器	鉢	不良	古墳中 ~後期	(18) (5.7)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR7/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
44	83	141	03-5	1248	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(15.2) (2.8)	[外]黒10YR1,7/1 [内]灰黄褐10YR5/2	密(2mm大の長石少量)	[外]ヨコナデ,列点文 [内]ヨコナデ	第2b層			
44	83	142	03-5	1311	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14.8) (1.5)	[外]浅黄橙7.5YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ?波状文 [内]ナデ?	第1層~ 2b層			
44	83	143	03-5	1156	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(15.4) (2.3)	[外]灰黄褐10YR4/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	粗(1~3mmの長石・石英・ チャート多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
44	83	144	03-5	1182	弥生 土器	壺	不良	弥生 時代	(6.9)底 (3.4)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰黄2.5Y6/2	粗(3~5mmの白色礫・透明 礫多い,2mm以下の砂礫多 い)	[外]全体的に観察難,ユビオサエ(底部) [内]工具ナデ	第2a層			
44	81	145	03-5	1384	弥生 土器	壺	良	弥生 後期	12.1 (22)	[外]淡黄2.5Y8/4 [内]黒5Y2/1	やや粗(1~6mmの白色長 石・黒色粒)	[外]ナデ,タタキ後ナデ,タタキ [内]ナデ,ユビオサエ	第1-5層			
44	81	146	03-5	1161	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	(7)底 (17.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/4~ 7/6	密(7mm以下の砂礫)	[外]観察難,ユビオサエ(底部) [内]ハケ	第1-5層			
44	82	147	03-5	1384	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(4.7) —	[外]にぶい黄2.5Y6/3 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(1~3mmの砂礫少 量)	[外]観察難 [内]観察難	第1-5層			底部残存 40%
44	82	148	03-5	1245	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	(16) (25.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にぶい黄2.5Y6/3	やや密(1~3mmの長石・雲 母)	[外]ヨコナデ,ハケ?・ケズリ後ナデ,押圧 [内]ヨコナデ,ナデ押圧?	第2b層			
47	83	151	03-5	792	土師器	鉢	不良	古墳 前期	(10.7) (4.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/4	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]観察難	第1b面	土器 集中	01	
47	83	152	03-5	922	土師器	鉢	不良	古墳 前期	(10.8) (5.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/4	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]観察難 [内]観察難	第2b層	土器 集中	01	
47	83	153	03-5	792	土師器	鉢	不良	古墳 前期	(12.1) (5.5)	[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR7/3	粗(2.5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ後ハケ [内]観察難	第1b面	土器 集中	01	
47	83	154	03-5	792	土師器	鉢	不良	古墳 前期	(11.4) (4)	[外]にぶい黄7.5YR5/3 [内]にぶい黄7.5YR5/4	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	土器 集中	01	
47	83	155	03-5	792	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	— (4.3)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1~3mmの白色長石・赤 色粒・黒色粒)	[外]観察難一部ハケ [内]観察難	第1b面	土器 集中	01	
47	82	156	03-5	792	土師器	小型壺	やや 良	古墳 中期	(11) (6.9)	[外]にぶい黄橙10YR6/3, にぶい橙7.5YR6/4, 褐灰7.5YR4/1 [内]にぶい橙7.5YR6/4, 黒褐10YR3/1	やや粗(2mm以下の長石・石 英多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ	第1b面	土器 集中	01	
47	82	157	03-5	828	土師器	鉢	やや 良	古墳 前期	(12.2) (6.32)	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(2mm以下の長石・石英・ 赤色粒少量)	[外]観察難 [内]ハケ(口縁部),観察難(体部)	第1b面	土器 集中	01	
47	84	158	03-5	828	土師器	鉢	不良	古墳 前期	(12.2) (3.9)	[外]橙7.5YR6/6 [内]橙7.5YR6/6	密(1.5mm以下の砂礫微量)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	土器 集中	01	
47	84	159	03-5	792	土師器	鉢	不良	古墳 中期	(12.2) (4.2)	[外]灰白2.5Y8/2, 橙5YR7/6 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(砂粒微量)	[外]観察難 [内]工具ナデ,ナデ	第1b面	土器 集中	01	
47	84	160	03-5	804	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(16.8) (5.1)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫 少量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ケズリ [内]観察難	第2a層			
47	84	161	03-5	792	土師器	高坏	不良	古墳 中期	— (5.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/2, にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR6/4	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ [内]ケズリ	第1b面	土器 集中	01	
47	84	162	03-5	792	土師器	器台?	やや 不良	古墳 前期	— (3.4)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰白10YR8/2	密(砂礫微量)	[外]ミガキ [内]ハケ,ナデ	第1b面	土器 集中	01	
47	84	163	03-5	792	土師器	高坏	不良	古墳 前期	— (3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ミガキ? [内]ナデ	第1b面	土器 集中	01	
47	84	164	03-5	792	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ~後期	(11.3) (4.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(0.5mm以下の長石・石 英・雲母)	[外]ヨコナデ? [内]ヨコナデ? 内外ともに観察難	第1b面	土器 集中	01	
47	85	165	03-5	792	土師器	壺	やや 良	古墳中 ~後期	(14) (6.15)	[外]灰白10YR8/2, 灰白10YR7/1 [内]にぶい黄橙10YR7/3, 灰白10YR7/1	やや粗(3mm以下の長石・石 英・シャモット多い)	[外]観察難 [内]観察難一部ユビオサエ・工具ナデ?	第1b面	土器 集中	01	
47	82	166	03-5	792	土師器	壺	やや 良	古墳 後期	12.8 5.9	[外]にぶい橙5YR6/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4, 褐灰10YR5/1	やや粗(3mm以下の砂礫多 い)	[外]観察難(体部以上),ヘラケズリ(底部) [内]ハケ	第1b面	土器 集中	01	製塩土器か
47	84	167	03-5	828	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(10.6) (2.5)	[外]黒褐10YR3/2 [内]黒褐2.5Y3/1	粗(2.5mm以下の礫多い)	[外]工具ナデ [内]ナデ	第1b面	土器 集中	01	
47	84	168	03-5	828	土師器	壺	不良	古墳 後期	(11.8) (5.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/3, 灰黄褐10YR5/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3, 灰黄褐10YR5/2	密(0.5mm大の砂粒微量)	[外]ミガキ [内]ミガキ	第1b面	土器 集中	01	
48	85	169	03-5	697	瓦器	椀	不良	中世	(14.65) (4.15)	[外]暗灰N3.0,灰白N7.0 [内]暗灰N3.0	密(0.5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,ナデ,ヘラミガキ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラミガキ	第1層			
48	85	170	03-5	727	瓦器	皿	やや 不良	中世	(13.7) (3.2)	[外]黒N2.0,灰白2.5Y8/2 [内]黒N2.0	密(0.5mm以下の長石・石 英・赤色粒)	[外]工具ナデ,ヨコナデ [内]ヘラミガキ	第1層			
48	85	171	03-5	744	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳 後期	(13.8),4.1	[外]灰白N7.0 [内]灰白N7.0	密(5mm大の長石微量,2mm 以下の長石・石英少量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,当具痕(天井部)	第1層			
48	85	172	03-5	737	須恵器	高坏	不良	古墳 後期	(14.8)脚 (3.25)	[外]灰N6.0 [内]灰N6.0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			脚部残存は 15%

02遺物観察表 (5)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	上:口径 下:器高	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
															遺 構 種 類	遺 構 番 号	
56	87	173	03-5	2102	土師器	壺	不良	古墳 中期	(14.5) (3.9)		[外]にぶい橙5YR6/4 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	柱穴	09- 09	
56	87	174	03-5	2052	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(9.2) (4.7)		[外]灰白N7/0,灰N6/0 [内]黄灰2.5Y6/1	密(1mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	井戸	03	
56	85	175	03-5	2113	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	— (4.7)		[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]にぶい黄橙10YR7/3, 橙2.5YR6/6	密(1~3mmの長石多い)	[外]ヨコナデ,ナデ(坏部)ナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏部)工具ナデ(脚部) 円孔3方向	第1b面	井戸	03	
56	87	176	03-5	2112	土師器	鉢	不良	古墳 前期	(16.4) (6.7)		[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(2mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ハケ	第1b面	井戸	03	
56	85	177	03-5	2113	土師器	壺	やや 良	古墳 中期	10.9 8.3		[外]にぶい黄橙10YR6/3, 灰黄褐10YR4/2 [内]明黄褐10YR7/6, 灰黄褐10YR4/2	やや粗(1.5mm以下の砂礫 多い)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	井戸	03	
56	87	178	03-5	2113	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	6.0底 (3.2)		[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR6/3	粗(1mm以下の長石・チャ ート・雲母多い)	[外]ハケ後ナデ,ヨコナデ,ナデ [内]ナデ,ユピオサエ	第1b面	井戸	03	底部残存 100%
56	87	179	03-5	2052	土師器	壺	不良	古墳 中期	(22) (4.8)		[外]灰黄2.5Y7/2, にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ(口縁部),観察難(体部) [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	井戸	03	
56	87	180	03-5	2113	韓式系 土器	甌	不良	古墳 中期	(24.7) (8.35)		[外]浅黄橙7.5YR8/3, にぶい橙7.5YR7/4 [内]暗灰N3/0	密(2mm以下の長石・石英, 1mm以下の黒色粒)	[外]観察難(口縁部)縄文タタキ, 縄文タタキ後ナデ [内]観察難	第1b面	井戸	03	
56	87	181	03-5	2113	韓式系 土器	把手(銅)	不良	古墳 中期	— (8.5)		[外]灰白10YR8/2 [内]黄灰2.5Y5/1	やや粗(1mm以下の長石・ 石英・赤色斑粒多い)	[外]ナデ,縄文タタキ [内]ヨコナデ,ユピオサエ 切り込み(把手上部)	第1b面	井戸	03	把手残存は 100%
56	87	182	06-2	293	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳中 ~後期	(14.8) (5)		[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,平行タタキ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	落込み	01	
56	85	183	06-2	293	土師器	壺	やや 不良		14.5 (15.4)		[外]淡黄2.5Y8/3, 黄灰2.5Y4/1 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ(口縁部),観察難(体部) [内]ヨコナデ,ユピオサエ,ナデ?	第1b面	落込み	01	
56	87	184	06-2	293	土師器	壺	不良		(1.4)底 (1.4)		[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にぶい橙2.5YR6/4	密	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	落込み	01	底部残存は 100%
56	87	185	03-5	2082	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—		[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]淡橙5YR8/3	密(2mm以下の長石・石英, 1mm以下の橙色粒)	[外]ユピオサエ [内]観察難,ユピオサエ	第1b面	溝	02	把手残存は 95%
56	87	186	03-5	2098	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(8.4) (2.5)		[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	溝	04	
56	85	187	03-5	2099	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳 中期	(12.1) (9.2)		[外]淡赤橙2.5Y7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(6mm大の長石微量,3mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	溝	04	
63	86	198	03-5	2115	土師器	小型壺	良	古墳 中期	10.4 12.3		[外]にぶい黄橙10YR7/3, 褐灰10YR6/1 [内]橙7.5YR7/6	やや粗(2~3mmの長石・砂 礫多い,1mm以下の長石少 量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]観察難(口縁部), ユピオサエ後工具ナデ,ナデ,ナデ	第1b面	ピット	148	
63	86	199	03-5	2115	土師器	小型壺	良	古墳 中期	10 11.6		[外]にぶい赤褐5YR5/4 [内]橙7.5YR6/6	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]観察難(口縁部),ナデ	第1b面	ピット	148	
63	86	200	03-5	2123	韓式系 土器	甌	やや 良	古墳 中期	(21.0) 24.1		[外]にぶい黄橙10YR7/3, 橙5YR6/6 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗	[外]ヨコナデ,格子目タタキ, [内]ナデ,押圧(ユピオサエ?)後ナデ	第1b面	ピット	153	
63	88	201	03-5	2123	土師器	坏	不良	古墳中 ~後期	— (6)		[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1~2mmの白色長石・石 英・黒色粒)	[外]ナデ [内]工具ナデ,ナデ	第1b面	ピット	153	
63	88	202	03-5	2123	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(10.6)脚 (5.7)		[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の雲母・黒色粒 微量)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	ピット	153	脚部残存は 30%
68	86	203	03-5	550	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(10) (9.45)		[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	溝	07	
68	86	204	03-5	551	土師器	高坏	やや 良	古墳中 ~後期	(16.7) (13.4)		[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ,ヨコナデ後ハケ,工具ナデ (坏部)ナデ後ミガキ,ヨコナデ(脚部) [内]にぶい黄橙10YR7/2	第1b面	溝	08	
68	86	205	03-5	584	韓式系 土器	長胴甌	やや 良	古墳中 ~後期	— (19.4)		[外]橙7.5YR6/6 [内]にぶい橙7.5YR6/4	密(6mm大の長石・石英微 量,3mm以下の長石・石英多 い)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	井戸	05	
68	88	206	03-5	562	土師器	高坏	不良	古墳中 ~後期	(19.6) (9.4)		[外]橙2.5YR6/6 [内]橙2.5YR6/6	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,暗文 [内]不明	第1b面	土坑	56	
68	88	207	03-5	549	土師器	甌	不良	古墳中 ~後期	(14.4)底 (4.9)		[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]不明 [内]ナデ	第1b面	土坑	56	
68	88	208	03-5	562	土師器	甌	不良	古墳中 ~後期	(9.8)底 (2.55)		[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]不明 [内]不明	第1b面	土坑	56	
68	88	209	03-5	574	土師器	壺	不良	古墳 前期	(12.9) (7.4)		[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	土坑	56	
68	88	210	03-5	549	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(17) (10.5)		[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	粗(長石ほか多い)	[外]ナデ,ハケ [内]観察難(口縁部)ケズリ(体部)	第1b面	土坑	56	
68	88	211	03-5	562	土師器	鉢か鍋	不良		(21.4) (4.6)		[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]浅黄橙7.5YR8/4	密(2mm大の礫)	[外]不明 [内]不明	第1b面	土坑	56	
68	88	212	03-5	562	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 前期	(13.5) (5.45)		[外]褐灰7.5YR4/1 [内]褐灰7.5YR4/1	密(0.5mm以下の長石)	[外]ハケもしくは工具ナデ後ミガキ [内]ハケもしくは工具ナデ後ミガキ	第1b面	土坑	56	
68	85	213	03-5	549	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ~後期	(8.6)脚 5.0		[外]淡赤橙2.5YR7/3 [内]にぶい橙2.5YR6/4	やや粗(3mm以下の長石・石 英多い,1mm以下のシャモツ ト・雲母少量)	[外]ミガキ,ナデ [内]工具ナデ,ナデ	第1b面	土坑	56	脚部残存は 80%
70	89	215	03-5	2002	瓦器	椀	不良	中世	(14.1) (3.5)		[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密	[外]ヨコナデ,ヘラミガキ,ユピオサエ,ナデ [内]ヘラミガキ	第1-3層~ 第1-5層			
70	89	216	03-5	2055	瓦器	椀	やや 不良	中世	5.9底 (2.05)		[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ハケ後暗文	第1-3層~ 第1-5層			底部残存は 70%
70	89	217	03-5	2030	黒色 土器	椀	やや 良	古代	(7.4) (3.2)			密(2.5mm以下の砂礫少量)	[外]観察難 [内]暗文	第1-3層~ 第1-5層			残存率は高 台のみでは 80%
70	89	218	03-5	2034	土師器	皿	やや 良	古代	15.2 (2.2)		[外]灰白7.5YR8/2 [内]灰白7.5YR8/2	密	[外]ヨコナデ,ナデ,ユピオサエ [内]ヨコナデ,ナデ,ユピオサエ	第1-3層~ 第1-5層			
70	89	219	03-5	2048	土師器	坏	不良	古代	— (2.5)		[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1.5mm以下の砂礫微量)	[外]ナデ,ヨコナデ,ミガキ [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			底部残存は 20%
70	89	220	03-5	2002	土師器	盤	不良	古代	(33.4) (3.1)		[外]明黄褐10YR7/6 [内]灰白10YR8/2	密(微細白色粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,暗文	第1-3層~ 第1-5層			
70	89	221	03-5	2002	土師器	盤	不良	古代	(34.0) (4.8)		[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(微細白色粒多い)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,観察難	第1-3層~ 第1-5層			

02遺物観察表 (6)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
70	89	222	03-5	2001	土師器	坏	不良	古代	(14.2) (2.4)	[外]淡黄2.5Y8/3 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			
70	89	223	03-5	2002	須恵器	蓋	不良	古代	(17.4) (2.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(0.5mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後ナデ	第1-3層~ 第1-5層			
70	89	224	03-5	2000	須恵器	蓋	不良	古代	(21) (1.7)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(5mm大の礫)	[外]回転ヘラズリ後ヨコナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-3層~ 第1-5層			
70	89	225	03-5	2045	緑釉 陶器	碗	やや 不良	古代	6.4台 (1.9)	[外]暗オリーブ灰2.5GY4/1 [内]オリーブ灰2.5GY5/1	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1-3層~ 第1-5層			残存率は高 台のみでは 95%
70	90	226	03-5	2046	須恵器	坏	やや 不良	古代	(12.0)台 (1.6)	[外]灰白N8/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			残存率は高 台のみでは 50%
70	90	227	06-2	266	須恵器	坏	不良	古代	(12.1)台 (1.3)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1~4mmの長石)	[外]ナデ,回転ヘラズリ後ナデ [内]ナデ	第1-5層			底部残存は 10%
70	90	228	03-5	2027	須恵器	壺	不良	古代	(17.8)胴 (5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1-3層~ 第1-5層			
70	90	229	03-5	2007	須恵器	平瓶	不良	古代	(3.7) (4.2)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1~2mmの白色長石・黒 色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ナデ,押圧,ヨコナデ	第1-3層~ 第1-5層			
70	90	230	03-5	2055	須恵器	壺	不良	古代	(17.6) (5.5)	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白7.5Y7/1	密(1~3mmの白色長石・黒 色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,当具痕	第1-3層~ 第1-5層			
70	90	231	03-5	2010	須恵器	壺	不良	古代	(20.2) (4.9)	[外]灰N5/0 [内]灰白N7/0,灰N5/0	密(1~2mmの黒色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-3層~ 第1-5層			
70	91	232	06-2	276	須恵器	壺	やや 不良		(19.9) (11.0)	[外]灰白N6/0 [内]灰白N6/0	密(5mm大の長石微量,2mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後カキ目後ナデ, 平行タタキ後カキ目 [内]ヨコナデ,同心円文	第1層			
70	90	233	06-2	275	須恵器	高坏蓋	不良	古墳 中期	(16.8) (3.1)	[外]灰10Y6/1 [内]灰N6/0	密(2~3mmの橙色粒微量)	[外]工具ヨコナデ,ナデ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第1層			
70	89	234	03-5	2053	須恵器	ハンウ	やや 不良	古墳 中期	(10.2)胴 (6.8)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,工具痕(頸部)	第1-3層~ 第1-5層			
70	90	235	06-2	282	須恵器	樽形 ハンウ	不良	古墳 中期	— (3.2)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密	[外]ナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ	第1層			残存率は注 口のみでは 100%
71	91	236	03-5	2053	土師器	壺	不良	古墳 中期	(14) (2.8)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(1mm以下の長石・石英 多し)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			
71	91	237	03-5	2058	土師器	壺	不良	古墳 中期	(15.8) (4.15)	[外]にふい橙7.5YR7/4 [内]にふい橙7.5YR7/3	粗(2mm以下の砂礫多し)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			
71	91	238	03-5	2033	土師器	鉢	やや 不良	古墳中 ~後期	(13.3) (6)	[外]淡黄橙7.5YR8/3 [内]にふい橙7.5YR7/3	やや粗(3mm以下の長石・ 石英多し,2mm以下の雲母 微量)	[外]観察難 [内]観察難	第1-5層			
71	91	239	03-5	2018	土師器	壺	不良		(15.0) (3.7)	[外]黒N2/0 [内]黒N2/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]工具ナデ,ヨコナデ,ハケ	第1-3層~ 第1-5層			
71	91	240	03-5	2007	製塩土 器小	壺	不良		— — —	[外]にふい黄橙10YR7/3, 橙7.5YR6/6 [内]にふい黄橙	粗(2mm大の長石少量,1mm 以下の長石・黒雲母多し)	[外]観察難一部押圧 [内]観察難一部押圧・工具痕?	第1-3層~ 第1-5層			
71	91	241	03-5	2055	韓式系 土器	壺	不良	古墳 前期	(17) (3.4)	[外]灰白2.5Y8/3 [内]灰白2.5Y8/2	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			
71	91	242	03-5	2029	韓式系 土器	平底鉢	不良	弥生 中期	(16.3) (7.4)	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR5/2	粗(4mm以下の砂礫)	[外]観察難,ヨコナデ(口縁部) [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			
71	91	243	03-5	2058	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳中 ~後期	(9) (5)	[外]にふい橙7.5YR7/4, 浅黄橙7.5YR8/4 [内]浅黄橙10YR8/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			底部残存は 50%
71	91	244	03-5	2035	土師器	瓶	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(0.5mm以下の砂粒 少量)	[外]ナデ [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			底部残存は 10%
71	92	245	06-2	275	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰白5Y7/2 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(4mm以下の砂礫少 量)	[外]観察難,切り込み(把手上部) [内]観察難	第1層			把手残存 90%
71	92	246	03-5	2032	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]浅黄橙10YR8/4	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			把手残存 95%
71	92	247	03-5	2007	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]浅黄橙10YR8/3	密(1~3mmの白色長石・赤 色粒)	[外]ナデ,刺突痕(把手下側) [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			把手残存 100%
71	92	248	03-5	2003	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰白2.5Y7/1, 浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]観察難 [内]観察難一部にユビオサエ	第1-3層~ 第1-5層			把手残存 100%
71	92	249	03-5	2037	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]浅黄2.5Y6/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			把手残存 95%
71	92	250	03-5	2047	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黒2.5Y2/1	密(3mm以下の長石・石英 多し)	[外]観察難 [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			把手残存 90%
71	92	251	03-5	2054	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密	[外]平行タタキ後ナデ,洗線 [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			
71	92	252	03-5	2051	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(砂粒少量)	[外]平行タタキ,洗線 [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			
71	92	253	03-5	2056	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,平行タタキ [内]ヨコナデ	第1-3層~ 第1-5層			
71	92	254	03-5	2002	陶質 土器?	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]赤灰2.5YR6/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]縄文タタキ [内]押圧	第1-3層~ 第1-5層			
71	92	255	03-5	2053	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1-3層~ 第1-5層			
71	92	256	03-5	2053	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密	[外]縄文タタキ [内]観察難	第1-3層~ 第1-5層			
71	92	257	03-5	2004	弥生土 器	壺	不良	弥生 中期	(13.2) (7.7)	[外]にふい橙5YR7/3 [内]にふい橙5YR6/4	密(5mm大の長石微量,3mm 以下の長石・石英微量)	[外]ケズリ,ナデ [内]ケズリ,工具ナデ,ユビオサエ	第1-3層~ 第1-5層			
72	93	258	03-5	1978	土師器	皿	不良	古代	(16.3) (1.9)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ後ナデ [内]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部)	第1-5層			
72	93	259	03-5	1981	須恵器	壺	不良	古代	(23) (3.05)	[外]灰10Y5/1 [内]灰10Y6/1	密(1mm大の長石・黒色粒・ 橙色粒微量,0.5mm以下の 長石微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
72	93	260	03-5	1975	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ~後期	(12.6) (4.2)	[外]灰白N7/0~8/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
72	93	261	03-5	1979	須恵器	有蓋 高坏	不良	古墳中 ~後期	— (3.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm大の灰色粒微量,0.5 mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層			

02遺物観察表 (7)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
72	93	262	03-5	838	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(23.7) (7.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部)	第2a層			
72	93	263	03-5	1969	須恵器	壺	不良	古墳 中期	—	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石少量)	[外]平行タタキ,沈線 [内]ナデ	第1-5層			
72	93	264	03-5	2080	弥生 土器	壺	不良	—	(4.4) (2.9)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]ミガキ,ナデ,ヘラケズリ [内]工具ナデ,ユビオサエ	第1-5層～ 第2層			底部残存は 100%
73	94	267	03-5	2117	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(15.9) (2)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第2a層			
73	93	268	03-5	2065	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(8.9) (7)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石・石英・ 黒色礫微量)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ヨコナデ,ナデ?	第2a層			
73	93	269	03-5	2074	土師器	壺	良	—	(8.4) 7	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(1～5mmの長石・石 英・雲母・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ヨコナデ,ナデ?	第2a層			
73	93	270	03-5	2074	土師器	高坏	やや 不良	古墳 後期	(11.6) (6.25)	[外]灰白10YR8/2 [内]赤10R5/8	密(1mm以下の長石・石英・ シャモット微量)	[外]観察難 [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第2a層			
73	93	271	06-2	263	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(15.4) (6.5)	[外]橙5YR6/8 [内]橙5YR6/8	やや粗(5mm以下の砂礫少 量,シャモット少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ナデ	第2a層			坏部残存は 50%
73	94	272	03-5	2067	土師器	甌	不良	古墳 中期	(16)度 (2.7)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]灰白7.5YR8/2	やや粗(1～2mmの長石・石 英)	[外]観察難,ナデ? [内]観察難	第2a層			底部残存は 5%
73	94	273	03-5	2049	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(6.2)底 —	[外]灰黄橙10YR5/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗	[外]格子目タタキ [内]ナデ?	第2a層			
73	94	274	03-5	2065	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	—	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]灰5Y6/1	密(6mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]格子目タタキ後ナデ,格子目タタキ [内]観察難	第2a層			
73	94	275	06-2	268	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]浅黄橙7.5YR8/4	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英・橙色粒)	[外]ユビオサエ [内]観察難,ユビオサエ	第2a層			把手残存は 95%
73	94	276	03-5	2064	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ [内]の表面,ユビオサエ	第2a層			把手残存は 90%
73	94	277	03-5	2074	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2.5mmの砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			把手残存は 100%
73	94	278	03-5	2061	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR7/3	粗(3.5mm以下の砂礫多い)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			把手残存は 95%
73	94	279	06-2	264	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(16.4) (18.25)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石,6mm以 下の石英多い)	[外]観察難,一部ハケ,竹管文 [内]観察難,ヘラケズリ(体部), シボリ痕?(頸部)	第2a層			
74	95	280	03-5	2266	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(17.5) (3.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]浅黄橙10YR8/3	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ	(第2a層)			
74	95	281	03-5	2266	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	—	[外]褐灰10YR6/1 [内]褐灰10YR6/1	密	[外]タタキ,タタキ後ナデ [内]ユビオサエ	(第2a層)			
74	95	282	03-5	2266	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	—	[外]淡赤橙2.5YR7/4 [内]淡赤橙2.5YR7/4	密(1～2mmの長石・石英)	[外]観察難 [内]観察難,ユビオサエ	(第2a層)			
74	95	283	03-5	2266	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]褐灰10YR6/1 [内]オリーブ黒5Y3/1	密(9mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]押圧,ナデ [内]ナデ	(第2a層)			把手残存は 100%
75	95	286	03-5	1573	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(11) (2.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm大の石英・黒色粒・ 橙色粒微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第0-5面	溝群	01	
75	96	287	03-5	1560	須恵器	坏身	やや 良	古墳 後期	(12) 3	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石・石英少量)	[外]観察難 [内]観察難	第0-5面	溝群	01	
75	95	288	03-5	1600	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(13.4) (3.5)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	粗(3mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第0-5面	溝群	01	
75	95	289	03-5	1581	須恵器	高坏	やや 不良	古墳 後期	(15.9)脚 (8.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,シボリ痕 長方形透孔(数不明)	第0-5面	溝群	01	脚部残存は 20%
75	95	290	03-5	1606	陶質? 土器	壺	不良	古墳 中期	—	[外]青灰5B5/1 [内]青灰5B6/1	密(0.5mm以下の長石少量)	[外]縄文タタキ,沈線 [内]ナデ	第0-5面	溝群	01	
75	95	291	03-5	1580	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]浅黄橙10YR8/3	密(3mm以下の長石・石英,1 mm以下の橙色粒)	[外]ユビオサエ,ナデ,ハケ [内]観察難	第0-5面	溝群	01	把手残存は 100%
75	95	292	03-5	1110	須恵器	坏蓋	不良	古墳時 代後期	(13.2) (2.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm・5mm大の礫少量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第0-5面	溝群	02	
75	95	293	03-5	1113	須恵器	把手 付鉢	やや 不良	古墳 中期	(11) (4.05)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰白7.5Y7/1	密	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ,波状文,列点文 [内]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部)	第0-5面	土坑	74	
75	95	294	03-5	1113	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄褐10YR4/2 [内]灰黄2.5Y6/2	粗(2～3mmの白色礫多い)	[外]格子目タタキ [内]観察難	第0-5面	土坑	74	
75	95	295	03-5	1119	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(11)脚 (6.3)	[外]浅黄2.5Y7/4 [内]淡黄2.5Y8/3	密(2mm大の長石・黒色礫 微量,1mm以下の長石・石 英・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ?,工具ナデ,観察難(脚幅部) [内]観察難	第0-5面	土坑	74	脚部残存は 30%
75	95	296	03-5	1155	須恵器	高坏	不良	—	(13) (1.8)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N8/0	密(1mm大の長石・橙色粒 微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第0-5面	土坑	75	
85	96	298	03-5	527	土師器	小型壺	やや 良	古墳 中期	(9.7) 11.5	[外]灰白2.5Y8/1, 黒5Y2/1 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母・黒色粒微量)	[外]ハケ後ナデ [内]ハケ後ナデ,ナデ,ハケ	第1b面	土坑	60	
85	96	299	06-2	249	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(3.05)	[外]灰白N7/0 [内]灰N5/0	粗(1～2mmの砂礫多い,3mm 以上の礫少量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ,ヘラ記号 [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	64	
85	96	300	06-2	232	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(14) 4.4	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや粗(3mm以下の長石・黒 色粒微量)	[外]回転ヘラケズリ,ナデ,ヨコナデ [内]当て具痕?(天井部),ヨコナデ後ナデ, ヨコナデ	第1b面	土坑	64	
85	96	301	06-2	232	須恵器	坏身	良	古墳中 ～後期	(11.9) (4.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(6mm大の長石微 量,2mm以下の長石・石英・ 黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	64	
85	96	302	06-2	225	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 後期	(12) (4.1)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	密(4mm以下の長石・石英・ 黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	64	
85	97	303	06-2	232	須恵器	壺	不良	古墳中 ～後期	(15.4) (4.8)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,カキ目 [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	64	
85	97	304	06-2	225	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(13.8) (8)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,平行タタキ後ナデ [内]ヨコナデ,同心円文	第1b面	土坑	64	
85	96	305	06-2	225	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(17.3) (15)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ユビオサエ	第1b面	土坑	64	
85	97	306	06-2	210	須恵器	蓋	不良	古墳中 ～後期	— (1.7)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰5Y5/1	密(2mm以下の砂礫微量)	[外]ナデ,ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]工具ナデ	第1b面	土坑	65	残存率はツ マミのみで は100%

02遺物観察表 (8)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
85	96	307	06-2	241	須恵器	蓋	100% 良	古墳中 ～後期	12.4 5.9	[外]灰N4/0,灰白N7/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	65	
85	96	308	06-2	241	土師器	小型壺			6.1	[外]灰褐10YR6/2 [内]こぶい黄褐10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母微量)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	65	
85	97	309	06-2	208	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(9.4) (4.75)	[外]灰N5/0 [内]灰5Y5/1	密(1mm以下の長石,0.5mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	67	
85	96	310	06-2	256	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(7.5)脚 (5.35)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(5mm大の礫微量,2mm以 下の長石・石英微量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ(坏部) 工具ヨコナデ,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏,脚部)	第1b面	土坑	67	脚部残存は 90%
86	98	312	06-2	214	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12) (4.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(3mm大の礫微量,2mm以 下の長石・石英微量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	313	06-2	205	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12.2) (4.2)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・黒色 粒少量)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	314	06-2	239	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(13.7) (4.6)	[外]灰N4/0 [内]暗灰N3/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	315	06-2	204	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(12.4) (5.2)	[外]灰N5/0～6/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・砂粒少 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	316	06-2	247	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 中期	(11) (3.75)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	317	06-2	204	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	— (4.1)	[外]灰N5/0 [内]灰N4/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	318	06-2	246	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳 中期	12 6.1	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ナデ,回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	土坑	70	
86	99	319	06-2	246	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	— (3.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1～3mmの白色長石微 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,工具ヨコナデ後ナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	320	06-2	205	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(2.5) —	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	残存率はツ マミのみで は100%
86	99	321	06-2	204	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	— (3.1)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	やや密(3mmの砂礫)	[外]ナデ,回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	土坑	70	残存率はツ マミのみで は100%
86	99	322	06-2	206	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳中 ～後期	— (5.3)	[外]灰N4/0 [内]灰白N8/0	密(1mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ後ナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	323	06-2	207	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(13.4) (5)	[外]灰白N7/0 暗オリーブ灰2.5GY4/1 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	324	06-2	247	須恵器	有蓋 高坏	良	古墳中 ～後期	(10.4) 9.1	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	やや密(3mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ(坏部) カキ目,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏,脚部)	第1b面	土坑	70	
86	99	325	06-2	204	須恵器	有蓋 高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(10.8) 9.6	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,回転ヘラケズリ(坏部) カキ目,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏,脚部) 長方形透孔3方向	第1b面	土坑	70	
86	99	326	06-2	216	須恵器	有蓋 高坏	不良	古墳 中期	(10.8) (5.2)	[外]灰黄褐10YR6/2, 灰N6/0,こぶい橙5YR6/3 [内]褐灰10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ(坏,脚部) 透孔(形・数不明)	第1b面	土坑	70	
86	99	327	06-2	207	須恵器	有蓋 高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(10.6) (4.6)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の長石・石 英・砂礫微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
86	99	328	06-2	206	須恵器	高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(18) (5.45)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ(坏,脚部) [内]ナデ(坏部),ナデ,ヨコナデ(脚部) 三角形透孔3方向	第1b面	土坑	70	脚部残存は 50%
86	99	329	06-2	205	須恵器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(8.8)脚 (6)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ(坏部),カキ目,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏,脚部)	第1b面	土坑	70	脚部残存は 40%
86	97	330	06-2	247	須恵器	ハンウ	やや 良	古墳 中期	(9) —	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・黒色粒 微量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ,波状文 [内]ヨコナデ,押圧	第1b面	土坑	70	
86	97	331	06-2	208	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	17 (6.8)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	67	口縁部 残存は80%
86	97	332	06-2	216	須恵器	甕	不良	古墳 中期	(22.8) (9.2)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後,工具ナデ [内]ヨコナデ,押圧,同心円文後,ヨコナデ, 同心円文後ナデ	第1b面	土坑	70	
87	97	333	06-2	204	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(17.8) (4.9)	[外]こぶい橙5YR7/4 [内]こぶい橙7.5YR7/4	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	70	
87	97	334	06-2	216	土師器	甕	やや 良	古墳中 ～後期	(9.6) (10.4)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい黄褐2.5Y6/3	やや粗(4mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	土坑	70	
87	100	335	06-2	204	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(14.8) (4.8)	[外]黒2.5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(1～5mmの長石・砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	70	
87	100	336	06-2	214	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(20) (5.7)	[外]こぶい黄褐10YR7/2 [内]灰白10YR7/1	密(1～2mmの長石・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ナデ	第1b面	土坑	70	
87	100	337	06-2	166	土師器	羽釜	不良	古墳中 ～後期	(19) (7.35)	[外]こぶい橙10YR7/2, 褐灰10YR4/1 [内]こぶい橙10YR7/2, 褐灰10YR4/1	やや密(1～3mmの長石・黒 色粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後,ハケ,ヘラケズリ	第1b面	土坑	70	
87	100	338	06-2	216	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	やや密(1～3mmの長石)	[外]ナデ,ユビオサエ,ハケ, 切り込み(把手上部) [内]こぶい黄橙10YR7/2	第1b面	土坑	70	把手残存は 95%
87	100	339	06-2	230	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR6/1	密	[外]ナデ,ユビオサエ [内]観察難	第1b面	土坑	70	残存率は把 手のみでは 100%
87	100	340	06-2	216	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]こぶい黄橙10YR6/4 [内]こぶい黄橙10YR6/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ユビオサエ,ハケ [内]ナデ	第1b面	土坑	70	把手残存は 100%
87	100	341	06-2	205	土師器	U字形 板状 土製品	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]こぶい橙7.5YR6/4	やや粗(2～3mmの礫微量)	[外]ナデ,観察難 [内]観察難(ナデ?)	第1b面	土坑	70	
87	100	342	06-2	216	土師器	U字形 板状 土製品	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm大の礫少量)	[外]ナデ [内]ナデ,ハケ	第1b面	土坑	70	
87	100	343	06-2	205	土師器	U字形 板状 土製品	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]暗灰N3/0 [内]黄灰2.5Y6/1	密(1mm大の礫少量)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	土坑	70	

02遺物観察表 (9)

探 出 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
87	100	344	06-2	207	韓式系土器	平底鉢	不良	古墳中期	—	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]灰白10YR8/2	密(1~2mmの長石・石英)	[外]平行タタキ? [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	70	
87	100	345	06-2	222	弥生土器	甕	不良	弥生後期	(5.4)底 (2)	[外]褐灰10YR4/1 [内]淡黄2.5Y8/3	密(1~2mmの長石・雲母・黒色粒)	[外]ハケ,ヨコナデ,ナデ [内]ナデ	第1b面	土坑	70	底部残存は50%
88	103	346	06-2	231	土師器	長胴甕	やや不良	古墳中~後期	(17.7) (39.0)	[外]にふい橙7.5YR7/4 [内]にふい黄橙10YR7/2	密	[外]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ,押圧,ハケ	第1b面	土坑	71	
88	101	347	06-2	252	須恵器	坏蓋	100%	古墳中~後期	10.3 4.95	[外]灰5Y4/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	72	
88	101	348	06-2	252	須恵器	坏蓋	100%	古墳中~後期	(12.4) (4.8)	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(3mm以下の長石・石英微量)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	72	
88	101	349	06-2	254	須恵器	坏身	やや不良	古墳中~後期	(11.2) (5.4)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	土坑	72	
88	101	350	06-2	254	須恵器	有蓋高坏	100%	古墳中期	(10.95) (9.7)	[外]灰7.5Y5/1 [内]オリーブ黒7.5Y3/1	やや粗(2mm以下の長石・石英・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ後ナデ(坏部),ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部),ヨコナデ(脚部) 長方形透孔3方向	第1b面	土坑	72	
88	101	351	06-2	251	須恵器	有蓋高坏	100%	古墳中期	11.1	[外]暗灰N3/0 [内]灰N6/0	やや粗(3mm以下の砂粒多い)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部),ヨコナデ(脚部) 長方形透孔3方向	第1b面	土坑	72	
88	101	352	06-2	252	土師器	小型壺	良	古墳中期	— (4.95)	[外]にふい黄橙10YR7/4 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英・雲母・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	土坑	72	ミニチュアか
88	101	353	06-2	252	土師器	小型壺	100%	古墳中期	8.6 8.8	[外]にふい黄橙10YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/4	密(2mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,ハケ, [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	土坑	72	
88	101	354	06-2	254	土師器	甕	完形	古墳中~後期	10.45 14.4	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,工具ナデ	第1b面	土坑	72	
91	102	355	03-5	480	須恵器	坏蓋	良	古墳中~後期	11.9 5.4	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(4mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	12	
91	102	356	03-5	480	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳中~後期	12.7 5.1	[外]明青灰5PB7/1 [内]青灰5PB6/1	密	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	12	
91	102	357	03-5	480	須恵器	坏身	良	古墳中~後期	(10.6) (4.7)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の長石,1mm以下の石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	溝	12	
91	102	358	03-5	480	須恵器	ハソウ	良	古墳中~後期	(11.1) (10.8)	[外]黄灰5B6/1 [内]黄灰5B6/1	密(6mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,ナデ,波状文,列点文 [内]ヨコナデ,突出痕	第1b面	溝	12	
91	102	359	03-5	580	土師器	甕	不良	古墳中~後期	(18.7) (11.3)	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ(口縁部)観察難(体部)	第1b面	溝	12	
91	102	360	03-5	511	土師器	坏	やや不良	古墳後期	(12.2) (3.2)	[外]橙2.5YR6/8 [内]橙2.5YR6/8	密	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	溝	12	
91	102	361	03-5	486	須恵器	壺	やや不良	古墳中~後期	(13.3) (4.35)	[外]灰N5/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	溝	13	口縁部残存は80%
91	102	362	03-5	2262	須恵器	坏蓋	不良	古墳中~後期	— (3.5)	[外]灰N5/0 [内]灰白N7/0	密(2mm大の長石・黒色粒)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	17	
91	102	363	03-5	2262	須恵器	坏身	不良	古墳中~後期	(10.3) (3.1)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(砂粒微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	17	
91	102	364	03-5	2262	須恵器	壺	不良	古墳中~後期	(8) (8.8)	[外]灰N6/0, 灰オリーブ5Y5/2 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]工具ナデ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	17	
91	102	365	03-5	2292	土師器	高坏	不良		—	[外]にふい橙7.5YR6/4, 褐灰7.5YR4/1 [内]にふい黄橙10YR7/4, 灰黄褐10YR5/2	密(0.5mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]ヨコナデ [内]観察難	第1b面	ピット	168	
92	104	366	03-5	605	須恵器	坏蓋	不良	古墳中~後期	(11.7) (4.1)	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰10Y6/1	密(1mm以下の長石,3mm以下の石英)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	15	
92	104	367	03-5	488	須恵器	坏身	不良	古墳中~後期	(10.8) (3.75)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石,3mm以下の石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	15	
92	104	368	03-5	605	須恵器	坏身	不良	古墳中~後期	(11.3) (3.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	15	
92	103	369	03-5	488	須恵器	坏身	やや不良	古墳中~後期	(10.5) (4.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	15	
92	103	370	03-5	524	須恵器	坏身	不良	古墳中~後期	(12.7) (3.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	溝	15	
92	104	371	03-5	2259	土師器	壺	不良		(15.4) (3.9)	[外]橙5YR6/6~7/6 [内]橙5YR7/6	密(4mm以下の砂粒)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	溝	15	
92	103	372	03-5	524	土師器	高坏	やや不良	古墳中~後期	(9.2)脚 (8.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にふい黄2.5Y6/3	密(4mm以下の長石・石英)	[外]工具ナデ,ナデ(坏部),ヨコナデ(脚部) [内]ナデ,工具ナデ(坏部) ヨコナデ,工具ナデ(脚部)	第1b面	溝	15	
92	103	373	03-5	572	土師器	甕	やや不良		(16.6) (18.6)	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(1~3mmの長石)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1層			
92	103	374	03-5	605	土師器	壺	やや不良		(13.8) (12.6)	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい橙7.5YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・赤色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ(口縁部),観察難(体部)	第1b面	溝	15	
92	103	375	03-5	605	土師器	壺	やや不良		(17.2) (12.5)	[外]橙2.5YR 7/6 [内]橙5YR7/6	密(1mm大の長石)	[外]ヨコナデ(口縁部),観察難(体部) [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	溝	15	
95	104	387	03-5	2241	黒色土器	碗	不良	古代	(14) (3.1)	[外]にふい橙5YR6/4, にふい黄橙10YR7/3, 暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	やや粗(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ヨコナデ,暗文	第2a層			
95	104	388	03-5	2251	土師器	皿	やや不良	古代	(9) 1.8	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y8/1	密	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ [内]ナデ	第2a層			
95	104	389	03-5	2241	須恵器	坏蓋	不良	古墳中期	(13.5) (3.4)	[外]灰N5/0~6/0 [内]灰白N7/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]観察難(天井部),ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
95	104	390	03-5	2306	須恵器	坏蓋	不良	古墳中~後期	(11.8) (4.2)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
95	104	391	03-5	2310	須恵器	坏蓋	不良	古墳中期	(12.5) (4.4)	[外]灰N5/0 [内]黄灰2.5Y5/1	密(2mm以下の砂粒少量)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第2a層			
95	106	392	06-2	130	須恵器	坏身	やや不良	古墳中~後期	(10.5) 4.9	[外]灰N5/0 [内]青灰5B6/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後ナデ	第2a層			
95	106	393	03-5	2298	須恵器	坏身	やや不良	古墳中期	(11.2) (4.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1~3mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層			
95	106	394	03-5	2306	須恵器	坏身	良	古墳中~後期	(9.9) 4.5	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ナデ,布目?	第2a層			

02遺物観察表 (10)

押 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
95	106	395	03-5	2306	須恵器	無蓋高坏	やや良	古墳中期	(9.6)底 (9)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N5/0	密	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 回転ヘラケズリ後ヨコナデ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏部)ヨコナデ,ナデ(脚部)	第2a層			脚部残存は 85%
95	104	396	03-5	2306	須恵器	壺	不良	古墳中期	(9) (4.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第2a層			
95	106	397	03-5	2225	須恵器	ハンウ	やや不良	古墳中 〜後期	— (6.95)	[外]灰N5/0 [内]灰白N7/0	密(1~2mm長石・黒色粒)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ナデ,波状文 [内]ヨコナデ,ユビオサエ,工具痕	第2a層			
95	104	398	03-5	2235	須恵器	甕	不良	古墳中期	— —	[外]青灰5PB5/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石)	[外]格子目タタキ,沈線 [内]ナデ	第2a層			
95	104	399	03-5	2252	須恵器	壺	不良	古墳中 〜後期	(24.7) (2.4)	[外]灰白N7/0,灰N6/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
95	104	400	03-5	355	須恵器	大甕	不良	古墳中 〜後期	(40.1) (15.9)	[外]灰N5/0,灰5Y4/1 [内]黄灰2.5Y6/1~5/1	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,平行タタキ,波状文,自然釉 [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ,自然釉	第2a層			
96	105	401	03-5	2241	土師器	甌	不良	古墳中 〜後期	(22.7) (6.1)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ナデ?	第2a層			
96	105	402	03-5	2195	土師器	甕	不良	古墳中 〜後期	(15) (6.4)	[外]こぶい黄褐10YR5/3 [内]こぶい黄褐10YR5/3	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第2a層			
96	105	403	03-5	2195	土師器	甕	不良	古墳中期	(16.7) (4.5)	[外]浅黄橙10YR7/3 [内]灰黄2.5Y7/3	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]観察雑 [内]観察雑	第2a層			
96	103	404	03-5	2310	土師器	高坏	やや不良		(8.8)脚 (4.6)	[外]こぶい黄橙10YR7/3, 橙2.5YR6/6 [内]こぶい黄橙10YR7/2, 橙2.5YR6/6	密	[外]工具ナデ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第2a層			脚部残存は 40%
96	103	405	03-5	2310	土師器	器台	やや不良		(8) (4.5)	[外]こぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]観察雑 [内]観察雑	第2a層			脚部残存は 60%
96	105	406	03-5	2265	土師器	移動式 甕	不良	古墳中 〜後期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい褐7.5YR5/4	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ナデ [内]ユビオサエ後ナデ	第2a層			
96	105	407	03-5	2310	土師器	羽釜	不良		(31.4) (5.15)	[外]褐灰10YR6/1, 浅黄橙10YR8/3 [内]黄灰2.5YR6/1	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層			
96	105	408	03-5	2195	土師器	羽釜	不良		(31) (4.2)	[外]黄灰2.5Y4/1, 灰黄2.5Y7/2 [内]灰5Y4/1	やや粗(2mm大の白色礫微量)	[外]押圧?ナデ?,ナデ,押圧 [内]無調整	第2a層			
96	105	409	03-5	2195	土師器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2, 黄灰2.5Y5/1 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石・石英,1mm以下の橙色粒)	[外]観察雑,一部にナデ・ユビオサエ [内]観察雑	第2a層			把手残存は 100%
96	105	410	06-2	130	土師器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ,ナデ,ハケ [内]観察雑,ユビオサエ	第2a層			把手残存は 100%
96	105	411	03-5	2241	土師器	把手	不良		— —	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英,5mm以下の橙色粒)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			把手残存は 95%
96	105	412	03-5	2306	土師器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]こぶい黄橙10YR7/3 [内]浅黄2.5Y7/3	やや密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ユビオサエ,ナデ,ハケ [内]—	第2a層			把手残存は 100%
96	105	413	03-5	599	韓式系 土器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]こぶい黄橙10YR7/4 [内]橙2.5YR6/6	密(3mm大の礫,2mm大の石英,1mm大の雲母)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			把手残存は 100%
105	106	415	03-5	1460	須恵器	坏蓋	良	古墳中期	12.9 4.5	[外]灰7.5Y5/1 [内]灰5Y6/1	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
105	109	416	03-5	1439	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(13.2) (4.35)	[外]灰N6/0,灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
105	106	417	03-5	1440	須恵器	高坏蓋	良	古墳中 〜後期	11.75 6.2	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(2mm大の石英,4.5mm大の黒色粒)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
105	106	418	03-5	1484	須恵器	有蓋高坏	良	古墳中期	10 10.7	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1~4mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,ケズリ後ナデ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,工具ナデ?(坏部) ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
105	106	419	06-2	286	須恵器	壺	良	古墳中期	(13.5) (16.8)	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(1~2mmの長石・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,波状文,沈線 [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
105	109	420	03-5	1484	須恵器	壺	不良	古墳中期	(15.7) (4.9)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
105	109	421	06-2	286	須恵器	壺	不良	古墳後期	(12.8) (6.3)	[外]灰N4/0 [内]灰白7.5Y8/1	密(2mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	1279と 同一か
105	109	422	06-2	286	須恵器	壺	やや不良	古墳中期	— (13.6)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,波状文 [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	1280と 同一か
105	107	423	03-5	1393	須恵器	壺	やや良	古墳中期	11.9 23.85	[外]灰N6/0~4/0(土器)オリ ープ灰10Y4/2(自然釉) [内]灰N5/0(土器), 灰白N8/0(自然釉)	密(1~3mm大の砂礫,1mm以下の黒色粒)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
105	107	424	03-5	1484	須恵器	壺	やや不良	古墳中期	(17.2) (13.8)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(4mm大の長石・石英微量,2mm以下の長石・石英・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,押圧(当具痕?) 後ナデ	第1b面	流路	01	
106	107	425	03-5	1466	須恵器	壺	やや良	古墳中期	14.5 (31)	[外]灰N4/0,灰赤10YR6/2 [内]灰N4/0, オリープ灰2.5GY6/1	密(1~4mmの長石)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
106	108	426 427 428	06-2	286	須恵器	甕	やや不良	古墳中期	(20.9) (11.8)	[外]褐灰10YR6/1,こぶい 黄橙10YR7/4,浅黄2.5Y7/3 [内]灰白10YR7/1,褐灰 10YR6/1,褐灰7.5YR5/1	やや密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,タタキ後スリケン,ナデ, タタキ後ナデ,タタキ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ(当具痕?)	第1b面	流路	01	
107	107	429	03-5	1482	須恵器	甕	やや不良	古墳中期	(21) (10)	[外]赤灰7.5R5/1 [内]暗赤灰10R4/1	密(3~5mmの長石微量,2mm以下の長石・橙色粒微量)	[外]ヨコナデ,自然釉(頸部) [内]ヨコナデ,ナデ(当具痕?押圧?)	第1b面	流路	01	
107	109	430	03-5	1482	須恵器	大甕	やや良	古墳中期	(50.2) 89	[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密	[外]ヨコナデ,格子目タタキ後ナデ, 自然釉(頸部) [内]ヨコナデ,ユビオサエ後ヨコナデ, タタキ後ナデ,ヨコナデ, 当具痕(同心円文?)後ナデ,自然釉(頸部)	第1b面	流路	01	
108	111	431	03-5	1466	土師器	甕	不良	古墳前期	(17) (4.35)	[外]黄褐2.5Y5/3,黒N2/0 [内]暗灰黄2.5Y5/2, 黄灰2.5Y4/1	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (11)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
108	110	432	06-2	286	土師器	壺	不良		(15.2) (6.4)	[外]黒5Y2/1 [内]黒5Y2/1	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
108	110	433	03-5	1466	土師器	壺	やや不良	古墳前期	(14.8) (8.3)	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白2.5Y8/1	密(5mm大の灰色礫微量,3mm大の茶色礫微量,2mm以下の長石・石英・黒色粒・茶褐色粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ(一部ハケ・ナデ) [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ, ナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
108	111	434	03-5	1475	土師器	壺	不良	古墳中期	(16) (10.1)	[外]灰黄2.5Y6/3, 黒7.5Y2/1 [内]灰5Y4/1,灰5Y5/1, 灰5Y6/1	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,観察難 [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
108	111	435	06-2	289	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	(15) (10.2)	[外]灰黄2.5Y7/2, 黒褐2.5Y3/1 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
108	110	436	03-5	1468	土師器	壺	やや不良	古墳前期	(14.3) (14.6)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ(一部押圧),ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
108	111	437	03-5	1459	土師器	壺	不良	古墳前期	(10.65) (5.3)	[外]にぶい褐7.5YR5/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
108	110	438	06-2	286	土師器	壺	やや不良	古墳中期	(12.7) (7.3)	[外]灰白2.5Y7/1, 灰白2.5Y8/2 [内]灰黄2.5Y6/1	密(1.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
108	111	439	03-5	1438	土師器	壺	不良	古墳中期	(17.6) (6)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ後ヨコナデ, ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
108	111	440	03-5	1466	土師器	壺	不良		(13.4) (6.7)	[外]黒2.5Y2/1 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
108	110	441	03-5	1487	土師器	壺	やや良	古墳前期	(16.2) (19.2)	[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ナデ後ヨコナデ,工具ナデ,ケズリ [内]ナデ後ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
108	110	442	03-5	1456	土師器	壺	やや不良	古墳中 ~後期	(19) (12.5)	[外]淡黄橙10YR8/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(3~5mmの長石・石英微量,2mm以下の長石・石英多い)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ? [内]ハケ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
109	111	443	03-5	2154	土師器	小型壺	不良	古墳中期	— (3.9)	[外]褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR6/1	やや粗(1mm以下の長石・石英・褐色粒多い,0.5mm以下の雲母少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
109	111	444	03-5	2154	土師器	壺	不良	古墳前期	(13) (3.2)	[外]にぶい褐7.5Y6/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗	[外]櫛描文?(ヨコナデ?),観察難(頸部) [内]観察難	第1b面	流路	01	
109	111	445	06-2	286	土師器	壺	不良	古墳中期	(18.8) (9.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y6/2, 黄灰2.5Y5/1	密(3mm以下の長石・石英,1mm以下の褐色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ後ヨコナデ, 工具ナデ,観察難(肩部) [内]ヨコナデ,工具ナデ後ヨコナデ, 工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
109	112	446	06-2	286	土師器	壺	不良	古墳中期	23.75 (5.55)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(4mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は60%
109	112	447	06-2	286	弥生土器	壺	不良	弥生後期	(11.4) (6.4)	[外]淡黄2.5Y7/3 [内]淡黄2.5Y7/3	密(3mm大の長石微量,2mm以下の長石・石英・金雲母・黒灰色粒少量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,タタキ [内]ナデ,ユビオサエ,ハケ	第1b面	流路	01	
109	111	448	06-2	286	土師器	壺	不良	古墳前期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2, にぶい橙5YR6/4 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,ハケ,タタキ後ハケ [内]工具ナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
109	111	449	03-5	1475	土師器	壺	不良		— —	[外]にぶい黄橙7.5Y7/4, 黄灰2.5Y6/1,暗灰N3/0 [内]にぶい橙7.5Y5/4	やや粗(1mm以下の長石・石英・黒色粒多い)	[外]工具ナデ,刺突文 [内]ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
109	110	450	03-5	1468	土師器	壺	不良	古墳中期	(13.3) (8.6)	[外]橙5YR7/6 [内]灰白10YR7/1	密(1.5mmの砂粒,シャモット)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
109	112	451	03-5	1486	土師器	壺	良	古墳中期	10.7 18.4	[外]灰黄褐10YR6/2, 橙7.5YR7/6,褐灰10YR6/1, 暗灰N3/0 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
109	112	452	03-5	1440	土師器	小型壺	良	古墳中期	(9) (10.7)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1~2mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ(一部ユビオサエ),ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ後ナデ・押圧	第1b面	流路	01	
109	112	453	03-5	1468	製塩土器	壺形	やや良	古墳前期	(11.6) (16.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(5mm大の灰褐色礫微量,1mm以下の長石・石英・シャモット・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
109	112	454	06-2	286	土師器	小型壺	やや不良	古墳中期	(9.6) (11)	[外]にぶい橙5YR7/4, 淡橙5YR8/4 [内]橙5YR7/6, にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英微量)	[外]ハケ後ナデヨコナデ,ナデ [内]ハケ後ナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
109	111	455	03-5	2154	土師器	壺	不良	古墳中期	— —	[外]にぶい黄橙 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(1.5mm大の長石・石英・褐色粒少量,1mm以下の長石・石英・金雲母・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
109	111	456	03-5	1466	土師器	小型壺	不良	古墳中期	— (5.8)	[外]褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR4/1	密(4mm以下の砂礫少量)	[外]ハケ,ヨコナデ [内]ハケ,ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
109	112	457	06-2	286	土師器	小型壺	やや良	古墳中期	— (6.85)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰白10YR7/1, 黄灰10YR7/3	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,押圧後ナデ [内]工具ナデ,ナデ後ハケ,ハケ, ユビオサエ?	第1b面	流路	01	
109	111	458	06-2	286	土師器	鉢	不良	古墳中 ~後期	(22) (8)	[外]にぶい黄褐7.5YR5/3 [内]にぶい赤褐5YR5/4	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
110	113	459	03-5	1466	土師器	高坏	やや良	古墳中 ~後期	18.3 13.4	[外]にぶい橙6/3, 橙7.5Y7/6,褐灰7.5Y6/1, [内]褐灰2.5Y5/1, にぶい橙7.5Y7/4	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ミガキ [内]ハケ,ナデ,工具ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
110	114	460	03-5	1468	土師器	高坏	不良	古墳中 ~後期	(15.8) (6.2)	[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]黒褐10YR3/2	密(1mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
110	113	461	03-5	1457	土師器	高坏	やや不良	古墳中 ~後期	(16) (4)	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]明褐灰7.5YR7/2	密(1mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ(口縁部),観察難(坏部)	第1b面	流路	01	
110	113	462	03-5	1468	土師器	高坏	やや良	古墳中 ~後期	(17.6) (5.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ユビオサエ, ハケ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (12)

押 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
110	114	463	03-5	1457	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(16.9) (5.55)	[外]にぶい橙5YR6/4 [内]にぶい褐7.5YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ後ヨコナデ、ハケ、未調整 [内]ヨコナデ、ハケ後ヨコナデ、工具ナデ	第1b面	流路	01	
110	114	464	03-5	1438	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(17) (4.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]浅黄橙7.5YR8/4	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ナデ・工具ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
110	113	465	03-5	1460	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(14) (5.5)	[外]橙2.5YR7/6 [内]灰白7.5YR8/2	密(1～2mmの長石・石英・黒色 粒)	[外]ヨコナデ、ハケ後ナデ?(一部押圧) [内]ヨコナデ、ハケ、ミガキ後ナデ	第1b面	流路	01	
110	113	466	03-5	1459	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(15) (4.75)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石・石英多 い)	[外]ヨコナデ、ハケ、観察難(坏部) [内]ハケ後ヨコナデ、刺突痕	第1b面	流路	01	
110	114	467	03-5	1466	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(15.6) (6.9)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]浅黄橙10YR8/3	密(2～5mm以下の灰色礫・ 赤褐色礫微量、1mm以下の 灰色粒・赤褐色粒少量)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ	第1b面	流路	01	
110	113	468	03-5	1439	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(18.6) (6.7)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ、ハケ後ナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
110	113	469	03-5	1457	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(18.1) (4.45)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ハケ後ヨコナデ、ヘラミガキ(底部)	第1b面	流路	01	
110	114	470	03-5	2154	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	— (5.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の砂礫・シャ モット)	[外]観察難 [内]ナデ、ミガキ、ナデ	第1b面	流路	01	
110	113	471	03-5	1466	土師器	高坏	やや 良	古墳 前期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙7.5YR6/4	密(3mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ、ヘラミガキ(坏部)、工具ナデ? ヘラミガキ(脚部) [内]ヘラミガキ、ヨコナデ、ヨコナデ?ナデ?後 ヘラミガキ(坏部)、ハケ、シボリ痕(脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は 60%
111	113	472	06-2	286	韓式系 土器	甕	やや 良	古墳中 ～後期	18 (24.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄褐10YR5/3	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ナデ、格子目タキ、ナデ [内]ヨコナデ、ナデ、工具ナデ、当具痕?	第1b面	流路	01	
111	113	473	06-2	286	韓式系 土器	平底鉢	やや 良	古墳 中期	(15.85) (14.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]浅黄2.5Y7/3	密(0.5mm以下の長石・石 英・雲母・褐色粒微量)	[外]ヨコナデ、ハケ、ナデ [内]工具ナデ後ナデ、工具ナデ	第1b面	流路	01	
111	14-11	474	06-2	286	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳中 ～後期	(15) (9.8)	[外]黒5Y2/1、黄灰2.5Y4/1 [内]黒2.5Y2/1、 にぶい黄橙10YR7/3	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、格子目タキ後ナデ、 格子目タキ、ナデ、ハケ、ヘラズリ [内]ヨコナデ、ヘラズリ	第1b面	流路	01	
111	114	475	06-2	286	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(12)底 (1.2)	[外]褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR4/1、 灰白10YR8/2	密(1mm以下の長石・石英・ 黒色粒)	[外]ナデ? [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 10%
111	114	476	03-5	1466	韓式系 土器	甕	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2、 黄灰2.5Y5/1 [内]黄灰2.5Y6/2	やや粗(3mm大の褐色礫微 量、1.5mm以下の長石・石英 多い)	[外]縄文タタキ [内]ケズリ	第1b面	流路	01	
111	114	477	06-2	286	韓式系 土器	壺	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]平行タタキ、沈線 [内]ナデ	第1b面	流路	01	
111	114	478	06-2	286	韓式系 土器	甕	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰白10YR8/1 [内]にぶい黄橙10YR7/4	密(1mm以下の長石・石英・ 雲母)	[外]格子目タキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
111	114	479	03-5	1466	韓式系 土器	甕	不良	古墳 中期	— —	[外]黒褐2.5Y3/1 [内]黒褐2.5Y3/1	密(2mm以下の長石・石英・ 暗褐色粒少量)	[外]格子目タキ、 格子目タキ後スリケシ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
111	114	480	03-5	1483	韓式系 土器	甕	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	粗(3mm大の長石・石英・灰 色礫少量、1mm以下の長石・ 石英・雲母・黒色粒多い)	[外]ナデ、格子目タキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
111	114	481	03-5	1468	韓式系 土器	甕	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 雲母少量)	[外]格子目タキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
111	114	482	03-5	1466	韓式系 土器	甕	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(4mm大の長石・灰色 礫微量、2mm以下の長石・石 英・金雲母・黒雲母少量)	[外]格子目タキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
111	114	483	03-5	1484	韓式系 土器	甕	不良	古墳 中期	— —	[外]黒褐2.5Y3/1 [内]灰黄褐10YR6/2	粗(3mm大の長石・石英少 量、2mm以下の長石・石英・ 金雲母・暗褐色粒多い)	[外]格子目タキ [内]当具痕後ナデ(スリケシ)	第1b面	流路	01	
115	115	494	03-5	717	須恵器	坏蓋	良	古墳 後期	14.65 4.2	[外]灰白N7/1 [内]灰白N7/1	密(3mm以下の長石・石英)	[外]回転ヘラズリ、ヨコナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	115	495	03-5	869	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(11) 4.5	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0、灰白N7/0、 灰赤2.5YR6/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラズリ、ヨコナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	115	496	03-5	869	須恵器	坏蓋	良	古墳 中期	11.9 4.6	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	116	497	03-5	858	須恵器	坏蓋	不良	古墳 中期	(11.6) (3.3)	[外]灰N5/0～6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]観察難(天井部)、ヨコナデ(口縁部) [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
115	116	498	03-5	869	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳 中期	(11) (3.2)	[外]灰N6/0、灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ後ナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	116	499	03-5	776	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(12) (4.5)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(2mm大の灰色粒微量、0.5 mm以下の長石・石英・黒色 粒多い)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
115	115	500	03-5	831	須恵器	有蓋 高坏	やや 良	古墳 中期	10.9 (5.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0～6/0	密(9mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	116	501	03-5	831	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳 中期	(20.4) (4.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0、黄灰2.5YR5/1、 暗オリーブ7.5Y4/3	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	116	502	03-5	847	須恵器	壺	不良	古墳中 ～後期	— (2.55)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	115	503	03-5	743	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(12) (5.25)	[外]灰白N7/0、灰N4/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
115	115	504	03-5	888	須恵器	罎	やや 良	古墳 中期	(8.3) 7.2	[外]灰N6/0、オリーブ灰 2.5GY6/1、緑黒10GY2/1 [内]オリーブ灰2.5GY6/1、 灰N5/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ナデ、観察難(底部) [内]ヨコナデ、観察難(底部)	第1b面	流路	01	
115	115	505	03-5	823	須恵器	壺	やや 良	古墳 中期	(24.2)胴 (17.6)	[外]灰N6/0、緑黒5GY2/1 [内]灰N6/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、平行タタキ後ナデ、 平行タタキ、波状文 [内]ヨコナデ、ユビオサエ、当具痕	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (13)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 順 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
115	116	506	03-5	577	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(22) (4.3)	[外]橙5YR6/6, にぶい黄橙10YR7/4 [内]橙5YR7/6,にぶい黄橙 10YR7/4,浅黄橙10YR8/4	密(6mm以下の礫)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	
115	116	507	03-5	846	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(14.2) (3.7)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
115	116	508	03-5	832	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(11.2) (5.8)	[外]淡赤橙2.5YR7/4 [内]明赤灰2.5YR7/2	密	[外]ヨコナデ,ユビオサエ, ナデ後ヘラミガキ [内]ヨコナデ,ナデ,ヨコナデ,ユビオサエ, 観察難(体部)	第1b面	流路	01	
115	116	509	03-5	869	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(15.6) (9.7)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1～2mmの長石・雲母)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
115	116	510	03-5	830	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(14.6) (5.1)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]褐灰10YR6/1	密(1～3mmの長石・石英・ 雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
115	115	511	03-5	830	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(21.8)銅 (2.3)	[外]灰白7.5YR8/2, 赤橙10R6/8 [内]明褐灰2.5YR7/2	密(3mm大の長石・石英微 量,2mm以下の長石・石英・ 暗褐色粒少量)	[外]ハケ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,押圧	第1b面	流路	01	
116	118	512	03-5	830	土師器	壺	不良	古墳 前期	(13.5) (7.5)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]にぶい橙5YR7/4	密(1～2mmの長石)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ,列点文 [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
116	118	513	03-5	847	土師器	壺	不良	古墳 中期	(14.4) (5.2)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]にぶい橙5YR7/4	やや粗(1～2mmの長石・雲 母・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
116	118	514	03-5	869	土師器	壺	不良	古墳 中期	(18.8) (7.5)	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]にぶい橙7.5YR6/4	粗(長石・石英・雲母・赤色 斑粒多い)	[外]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
116	117	515	03-5	829	土師器	壺	不良	古墳 中期	14.35 (4.1)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は90%
116	118	516	03-5	829	土師器	壺	不良	古墳 中期	(13.6) (3.45)	[外]黒7.5YR2/1 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
116	119	517	03-5	815	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(15.6) (5.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]工具ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
116	119	518	03-5	845	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(11.3)頭 (5.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英・赤色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
116	119	519	03-5	845	土師器	壺	不良	古墳 中期	(16) (4.4)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1～2mmの長石・石英・ 雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
116	119	520	03-5	845	土師器	壺	不良		(13.1) (6.75)	[外]橙5YR6/6～7/6 [内]にぶい黄橙10YR7/2～ 7/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
116	119	521	03-5	806	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(10.4) (7.9)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰褐5YR5/2	やや粗(1～2mmの長石・石 英・雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
116	118	522	03-5	862	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(21.4) (6.55)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y4/1	密(5mm以下の長石・石英 多い)	[外]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部) [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
116	118	523	03-5	864	土師器	壺	不良		(6.2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
116	118	524	03-5	845	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(13.3) (15.4)	[外]赤橙10R6/8 [内]にぶい橙7.5YR7/6	密(1～3mmの長石)	[外]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ヨコナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
116	118	525	03-5	832	土師器	壺?	不良		(16.4) (2.65)	[外]黒5Y2/1 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
116	118	526	03-5	847	土師器	壺	不良	古墳 前期	(11) (4.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
116	117	527	03-5	846	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(14.5) (13.5)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1～2mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ,押圧	第1b面	流路	01	
117	117	528	03-5	860	土師器	壺	良	古墳 前期	(10.6) (16)	[外]にぶい黄5YR6/4 [内]灰黄褐10YR6/2	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,ヘラミガキ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
117	117	529	03-5	868	土師器	壺	良	古墳 前期	(9.3) 16.4	[外]橙2.5YR6/6 [内]橙5YR7/6	密(1mm以下の長石・石英,2 mm以下の橙色粒)	[外]ヨコナデ後ヘラミガキ,ヨコナデ, ヘラミガキ,観察難(体部) [内]ヨコナデ後ヘラミガキ,ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
117	117	530	03-5	847	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	10.6 (5.2)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白10YR8/2	やや密(1～2.5mmの砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
117	117	531	03-5	787	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(9.8) (8.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/2, 黒褐10YR3/1 [内]にぶい黄橙10YR7/2, 灰白10YR7/1	やや密(3mm大の礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ, 観察難(底部)	第1b面	流路	01	
117	116	532	03-5	846	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(10.6)銅 (5.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英・金雲母・橙色 粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
117	117	533	03-5	861	土師器	小型壺	良	古墳 中期	(12.2)銅 (9.8)	[外]灰白10YR8/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2～5mmの礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
117	119	534	03-5	831	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(6.5) 9.9	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(4mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,工具ナデ, 観察難(胴部)	第1b面	流路	01	
117	117	535	03-5	845	土師器	小型壺	良	古墳 中期	(10.1) (11)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]淡赤橙2.5YR7/4	密(1～5mmの長石・石英・黒 色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
117	119	536	03-5	869	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(9.5) (3.7)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
117	119	537	03-5	848	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(8.8)銅 (6.1)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
117	120	538	03-5	786	土師器	小型壺	やや 良	古墳中 ～後期	(7.9) 8.1	[外]黒2.5Y2/1 [内]黒2.5Y2/1	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
117	120	539	03-5	772	土師器	壺	良	古墳 前期	(9) (10.5)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(2mmの長石,1mm以下の 黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	体部に穿孔 あり
117	119	540	03-5	862	土師器	壺	不良		(10.1) (4.15)	[外]明黄褐2.5Y6/6 [内]明黄褐2.5Y6/6	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
117	119	541	03-5	845	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(10.8) (5)	[外]灰白10YR8/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ [内]ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
117	119	542	03-5	866	土師器	壺	やや 不良		(5.45) (4.2)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	ミニチュア か

02遺物観察表 (14)

探出番号	図版番号	遺物番号	調査名	登録番号	種別	器形	保存状態	時期	法量(m)	色調	胎土	特徴	透視面・断面	遺構名		備考
														遺構種類	遺構番号	
118	120	543	03-5	829	土師器	高坏	良	古墳中～後期	(14.8) 11.7	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英・金雲母)	[外]ハケ後ヨコナデ・工具ナデ(坏部) ヘラミガキ・ハケ後ヨコナデ(脚部) [内]ハケ後ヨコナデ(坏部)工具ナデ・ハケ後ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
118	123	544	03-5	829	土師器	高坏	不良	古墳中期	(17) (4.3)	[外]橙5YR6/6,にぶい橙5YR6/3,褐灰10YR6/1 [内]橙5YR6/6,にぶい褐7.5YR6/3,褐灰10YR4/1	密(1.5～2mmの長石・石英・茶色礫微量,1mm以下の長石・石英・灰色粒少量)	[外]ヨコナデ・ハケ [内]ハケ	第1b面	流路	01	
118	120	545	03-5	866	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(15.3) (6.5)	[外]橙2.5YR6/6 [内]橙2.5YR7/6	密(0.5mm以下の長石・雲母微量)	[外]ヨコナデ・ハケ・ナデ・工具ナデ [内]ヨコナデ・ハケ・ナデ	第1b面	流路	01	坏部残存は70%
118	123	546	03-5	845	土師器	高坏	不良	古墳後期	(13.9) (4.45)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ・ヘラミガキ [内]ヨコナデ(口縁部)観察難	第1b面	流路	01	
118	123	547	03-5	829	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(16.8) (8.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1～2mmの長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ [内]ヨコナデ・ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
118	123	548	03-5	831	土師器	高坏	不良	古墳中期	(15.6) (2.7)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・黒色粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ・ナデ [内]ヨコナデ・ナデ	第1b面	流路	01	
118	120	549	03-5	847	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(16) (4)	[外]橙5YR7/6,灰白10YR8/2,黒褐10YR3/1 [内]明赤褐2.5YR5/6,浅黄橙10YR8/4,黒褐10YR3/1	密(0.5mm以下の石英・雲母・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ハケ	第1b面	流路	01	
118	123	550	03-5	787	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(15.6) (5)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の黒色粒)	[外]ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ハケ・ハケ後ナデ?	第1b面	流路	01	
118	120	551	03-5	829/830	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(18) (5.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ・ナデ [内]ヨコナデ(一部)工具ナデ	第1b面	流路	01	
118	123	552	03-5	845	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(14.8) (3)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	やや密(2mm以下の長石・石英・黒色粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ・ハケ後ナデ? [内]ヨコナデ・ハケ後ナデ?	第1b面	流路	01	
118	123	553	03-5	845	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(15.6) (4.5)	[外]橙5YR7/6 [内]にぶい赤橙10R6/4	密(1～2mmの長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ・ハケ後ナデ? [内]ヨコナデ・ハケ後ナデ?	第1b面	流路	01	
118	120	554	03-5	786	土師器	高坏	やや良	古墳中～後期	(18.2) (5.7)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・橙色粒)	[外]ハケ後ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ(坏部)・ヘラミガキ(脚部) [内]ヨコナデ・ナデ(坏部)工具ナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
118	120	555	03-5	860	土師器	高坏	やや良	古墳中～後期	12.4 (7.2)	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白10YR8/1	やや密(2mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ [内]ナデ・押圧	第1b面	流路	01	1546と同一か土師質坏部残存100%
118	123	556	03-5	847	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(7.6)脚 (3.5)	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白10YR8/1	やや密(2mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存30% 1546と同一か土師質
118	121	557	03-5	857	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (8.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石・金雲母・黒雲母少量)	[外]ナデ・ハケ後ナデ(坏部)工具ナデ・ナデ(脚部) [内]ヨコナデ・ナデ(坏部)ナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
118	123	558	03-5	831	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (8.2)	[外]にぶい褐7.5YR5/4 [内]暗灰N3/0	密	[外]ユビオサエ後ナデ・ナデ [内]ケズリ・ヨコナデ	第1b面	流路	01	
118	123	559	03-5	846	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	— (5.4)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y8/1	密(1mm以下の黒色粒)	[外]工具ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
118	123	560	03-5	809	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	— (5.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1.5～2mmの長石・石英・赤灰色礫・黄褐色礫微量,1mm以下の長石・石英・灰色粒・茶色粒多い)	[外]ハケ後ナデ・ハケ [内]ヘラケズリ・ナデ	第1b面	流路	01	
118	121	561	03-5	845	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (6.9)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(2mm以下の長石・石英微量,1mm以下の長石・石英多い,1mm以下の茶褐色粒微量)	[外]ナデ・工具ナデ後ナデ・ナデ [内]ケズリ・ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	01	
118	123	562	03-5	830	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	— (6.5)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1～2mmの長石・石英・黒色粒)	[外]ユビオサエ・工具ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
118	121	563	03-5	830	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (5.1)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ・ヘラミガキ [内]工具ナデ・ユビオサエ後ハケ・ナデ	第1b面	流路	01	
118	123	564	03-5	831	土師器	高坏	やや不良	古墳後期	— (6.7)	[外]褐灰10R6/1 [内]暗灰黄10YR5/2	密(2～3mmの長石・黒色礫微量,1mm以下の長石・雲母・灰色粒少量)	[外]工具ヨコナデ [内]ユビオサエ後ナデ	第1b面	流路	01	
118	121	565	03-5	830	土師器	高坏	やや不良	古墳前期	9.5脚 (5.6)	[外]橙2.5YR7/6 [内]橙5YR7/6	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	脚部残存は70%
118	121	566	03-5	869	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(8.55)脚 (6.4)	[外]浅黄橙7.5YR8/3 [内]浅黄橙7.5YR8/3	密	[外]ハケ・工具ナデ・ヨコナデ [内]ヨコナデ・ユビオサエ・工具ナデ・シボリ痕	第1b面	流路	01	脚部残存は85%
118	121	567	03-5	829	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(11.4)脚 (7.1)	[外]灰褐7.5YR5/2 [内]灰褐7.5YR5/2	密(2mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ハケ・ヘラミガキ・ヨコナデ [内]ケズリ・ハケ・ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は50%
118	121	568	03-5	887	土師器	高坏	やや良	古墳中～後期	(12) (7.2)	[外]にぶい橙5YR7/4,橙5YR6/6 [内]にぶい橙7.5YR6/4	密(3mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ後ナデ・ハケ後ナデ・ヨコナデ [内]ケズリ・ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は93%
119	121	569	03-5	887	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	13.45 (8.7)	[外]にぶい褐7.5YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ヘラミガキ・ヘラミガキ後ナデ・工具ヨコナデ [内]ナデ・ユビオサエ後ハケ	第1b面	流路	01	脚部残存は70%
119	120	570	03-5	829	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(12.2)脚 (8.2)	[外]にぶい橙7.5YR7/3,にぶい橙5YR7/4・2.5YR6/4 [内]にぶい橙2.5YR6/4	密(1mm以下の長石・石英・金雲母・シャモット・黒色粒少量)	[外]工具ナデ後ハケ・ナデ [内]ヘラケズリ・ハケ	第1b面	流路	01	脚部残存は30%
119	122	571	03-5	861	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(12.3) (8.4)	[外]にぶい橙5YR6/4,にぶい黄10YR7/2 [内]にぶい褐7.5YR6/3,灰黄褐10YR6/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ・ナデ・ヨコナデ [内]ケズリ・ハケ [内]孔1	第1b面	流路	01	脚部残存は95%
119	124	572	03-5	845	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(14.2) (2.9)	[外]灰褐7.5YR4/2 [内]にぶい褐7.5YR5/3	やや密(2mm以下の砂礫・シャモット)	[外]ハケ後ナデ・ヨコナデ [内]ハケ後ナデ・ヨコナデ	第1b面	流路	01	
119	124	573	03-5	830	土師器	高坏	不良	古墳中期	(11)脚 (1.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや密(砂粒少量)	[外]ヨコナデ・ヨコナデ後ナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ヨコナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
119	122	574	03-5	861	土師器	甕	やや不良	古墳中～後期	(23.1) (11.75)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (15)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
119	121	575	03-5	858	製塩土器	坩形	やや良	古墳前期	(12.4) (5.2)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ,ユビオサエ [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
119	124	576	03-5	845	製塩土器	脚台付坩形	不良	古墳前期	1.65底 (1.4)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]にふい黄橙2.5Y6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は100%
119	124	577	03-5	845	製塩土器	甕形	不良	古墳前期	(11) (4.65)	[外]にふい橙5YR7/4 [内]にふい褐7.5YR6/3, 褐灰10YR4/1	やや粗(2mm次の長石・石英・褐色礫微量,1mm以下の長石・石英多い)	[外]ナデ [内]ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
119	124	578	03-5	845	製塩土器	甕形	やや不良	古墳前期	— (6.3)	[外]橙5YR6/6 [内]褐灰10YR4/1, 灰黄2.5Y7/2	やや粗(2~3mmの長石・石英・灰色礫微量,1mm以下の長石・石英多い)	[外]ナデ [内]ヨコナデ後ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
119	124	579	03-5	845	韓式系土器	甕	不良	古墳中期	(17.8) (5.8)	[外]褐灰10YR6/1 [内]褐灰10YR6/1	密(1~3mmの長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
119	124	580	03-5	831	土師器	鉢	やや不良	古墳中～後期	(15.8) (4.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	製塩土器か
119	124	581	03-5	831	弥生土器	壺	不良	弥生中期	(5.4)底 (6.15)	[外]黒7.5Y2/1, にふい橙7.5YR6/4 [内]にふい橙7.5YR6/4	密(4mm以下の長石・石英多い)	[外]ハケ,ヨコナデ,ナデ [内]ハケ	第1b面	流路	01	底部残存は50%
119	124	582	03-5	966	弥生土器	壺	不良	弥生時代	5.6底 (2.2)	[外]橙10YR6/8, 黒褐10YR3/1 [内]黒2.5Y2/1	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ナデ,観察難(底部) [内]観察難	第1b面	流路	01	底部残存は60%
119	124	583	03-5	845	弥生土器	甕	不良	弥生後期	(6.1)底 (3.0)	[外]にふい黄橙10YR7/2, 褐灰10YR5/1 [内]灰白2.5Y8/1	密(1mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]観察難(体部)ナデ(底部) [内]観察難	第1b面	流路	01	底部残存は50%
120	125	585	03-5	901	須恵器	有蓋高坏	やや不良	古墳中期	(11.2) (5.15)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm大の黒色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ(口縁部),観察難(底部)	第1b面	流路	01	
120	122	586	03-5	891	須恵器	壺	やや良	古墳中期	(14.9)胴 (9.8)	[外]灰N5/0, 褐灰10YR6/1 [内]黄灰2.5Y5/1	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ,沈線,波状文 [内]ヨコナデ,当具痕(底部),自然釉	第1b面	流路	01	
120	124	587	03-5	866	須恵器	壺	やや良	古墳中期	14.4 32	[外]灰赤7.5R4/2 [内]灰10Y4/1	密(1mm以下の砂粒,白濁色少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ,ナデ,波状文 [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
121	125	588	03-5	902	土師器	甕	やや不良	古墳中期	(16) (20.3)	[外]黒5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(長石少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	125	589	03-5	1475	土師器	甕	やや不良	古墳中期	(14) (11.2)	[外]黒10Y2/1,浅黄橙 10YR8/3,にふい橙 7.5YR6/3 [内]にふい黄褐10YR5/3, 暗灰黄2.5Y4/2	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	125	590	03-5	894	土師器	甕	不良	古墳前期	(17.3) (4)	[外]にふい黄5.5Y6/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
121	125	591	03-5	899	土師器	甕	不良	古墳前期	(17) (5)	[外]黒N2/0 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1.5~2mmの礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
121	125	592	03-5	901	土師器	甕	やや不良	古墳中期	(13.5) (6.9)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1~3mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,列点文? [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
121	125	593	03-5	901	土師器	甕	不良	古墳中期	(14.6) (3.9)	[外]にふい黄褐10YR5/3 [内]にふい黄褐10YR5/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
121	126	594	03-5	908	土師器	甕	不良	古墳前期	(11.8) (9.1)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	126	595	03-5	925	土師器	甕	やや不良	古墳中期	(13.2) (10.3)	[外]にふい黄橙10YR5/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm大の長石・石英・雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
121	126	596	03-5	910	土師器	甕	不良	古墳中期	(14.9) (8.35)	[外]にふい黄褐10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	126	597	03-5	903	土師器	甕	不良	古墳中期	(13.4) (11)	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい橙7.5YR6/4	密(1~1.5mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	126	598	03-5	910	土師器	甕	不良	古墳中期	(11.6) (8.8)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ後ユビオサエ, ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	126	599	03-5	912	土師器	甕	不良	古墳中期	(15.3) (6.7)	[外]黒2.5Y2/1, 暗灰黄2.5Y5/2 [内]黄灰2.5Y5/1	やや密(6mm以下の砂礫・雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
121	125	600	03-5	910	土師器	甕	不良	古墳中期	(12.4) (6.8)	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	やや粗(1~3mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	口縁部残存は70%
121	125	601	03-5	908	土師器	甕	やや不良	古墳中～後期	(14.4) (6.7)	[外]淡赤橙2.5YR7/4, にふい黄橙10YR7/3	密(1~2mmの長石・石英・赤色石)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	口縁部残存は70%
122	127	602	03-5	901	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(15.8) (7.4)	[外]黒5Y2/1 [内]黒褐10YR3/1	密(1~2mmの長石)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
122	126	603	03-5	894	土師器	甕	やや不良	古墳中～後期	(14.4) (10.9)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1~3mmの長石(ほか))	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
122	127	604	03-5	912	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(12.1) (7.2)	[外]淡橙5YR8/3 [内]淡橙5YR8/3	密(2mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]工具ナデ後ヨコナデ, ヨコナデ,観察難(体部)	第1b面	流路	01	
122	126	605	03-5	912	土師器	甕	不良	古墳中期	(14.6) (6.8)	[外]黒10YR2/2 [内]灰黄褐10YR4/2	粗(1mm以下の長石・石英・赤色礫多い)	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	127	606	03-5	902	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(10) (8.8)	[外]灰黄2.5Y6/2,にふい黄 橙10YR7/2,橙5YR7/6 [内]灰黄2.5Y6/2,にふい黄 橙10YR7/3,にふい橙 7.5YR6/4	密(1mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	127	607	03-5	899	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(12.4) (6.5)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	やや粗(1~2mmの長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
122	129	608	03-5	899	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(11.4) (7.65)	[外]灰白10YR7/1, 灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	127	609	03-5	899	土師器	甕	不良	古墳前期	(10.4) (6.6)	[外]にふい橙5YR6/3 [内]褐灰7.5YR5/1	密(2mm大の金雲母微量,1mm以下の長石・石英・金雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	127	610	03-5	908	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(12) (3.2)	[外]灰白10YR7/1 [内]褐灰10YR8/1	密(1mm以下の長石・石英・雲母)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (16)

押印番号	図版番号	遺物番号	調査名	登録番号	種別	器形	保存状態	時期	法量 (cm)	色調	胎土	特徴	遺構面・層名	遺構名		備考
														遺構種類	遺構番号	
122	127	611	03-5	940	土師器	壺	不良	古墳前期	(10.5) (2.95)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石・石英・1mm以下の橙色粒・金雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ?	第1b面	流路	01	
122	128	612	03-5	893	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(14.4) (3.9)	[外]暗灰黄2.5Y5/2, 灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2～7/2, 黄灰2.5Y5/1	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
122	129	613	03-5	829	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(13) (4.5)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
122	127	614	03-5	899	土師器	壺	不良	古墳前期	(13.5) (4.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/3, 黒N2/0 [内]にぶい黄橙10YR7/2, 灰白10YR7/1	やや粗(2mm以下の長石・石英・砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,押圧	第1b面	流路	01	
122	127	615	03-5	900	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(7) (5.45)	[外]黒N5/0 [内]灰白2.5Y8/2	密(1～3mmの長石・石英・砂礫)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	128	616	03-5	812/ 912	土師器	壺	不良	弥生中期	(11.2) (6)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや密(1～3mmの礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
122	128	617	03-5	902	土師器	壺	不良		(18.1) (6.2)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(1.5～2mmの長石微量,1mm以下の長石・石英・灰色粒多い)	[外]ヨコナデ,ハケ,波状文 [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ 円孔?円孔の蓋のようなものあり	第1b面	流路	01	
122	127	618	03-5	908	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(10.4) (7.8)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	129	619	03-5	908	土師器	壺	不良	古墳中～後期	12.7 (6)	[外]浅黄褐7.5YR8/3 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(4mm以下の長石・石英・泥岩)	[外]ナデ,ハケ [内]ハケ後ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
122	127	620	03-5	908	土師器	壺	不良	古墳前期	(16) (3.8)	[外]灰褐5YR5/2, 暗灰N3/0 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
123	127	621	03-5	893	韓式系土器	壺	不良	古墳中～後期	(15.9) (11)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,タタキ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
123	129	622	03-5	902	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(11.1) (10.4)	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(1～2mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ後ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
123	129	623	03-5	847	土師器	壺	不良	古墳中期	(15.4) (9.8)	[外]灰白10YR8/2 [内]黄灰2.5Y5/1	粗(2mm以下の長石・石英・赤色斑粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は50%
123	129	624	03-5	899	土師器	壺	やや不良		(21.0) (10.0)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]褐灰10YR6/1	密(6mm以下の長石,1mm以下の雲母)	[外]ナデ,ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
123	127	625	03-5	899	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(19.5) (7.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]橙7.5YR7/6	密(3～5mmの礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
123	129	626	03-5	901	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(12.4) (6.2)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]浅黄2.5Y7/3	密(2mm以下の長石・石英微量)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
123	127	627	03-5	898	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(14.2) (4.1)	[外]浅黄2.5Y7/3,黒N2/0 [内]にぶい黄2.5Y6/3	やや粗(1mm以下の長石・石英・雲母少量,0.5mm以下の砂粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
123	130	628	03-5	830	土師器	壺	不良	古墳中期	(11.7) (6.75)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
123	130	629	03-5	898	土師器	壺	不良	古墳中～後期	(9.9) (7.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]浅黄2.5Y7/3	密(5mm以下の長石,3mm以下の石英・橙色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
123	130	630	03-5	892	土師器	壺	不良		(13.7) (4.35)	[外]黄灰2.5Y7/1 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部) [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
123	130	631	03-5	912	土師器	壺	不良		(9.7) (5.15)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	
123	130	632	03-5	903	土師器	小型壺	不良	古墳中期	(10.8) (4.9)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]黒2.5Y2/1	密(1.5mm以下の長石・石英・砂礫微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
123	130	633	03-5	902	土師器	壺	やや不良		(10.9) (4.05)	[外]にぶい橙7.5YR7/3, 褐灰10YR5/1 [内]にぶい橙7.5YR6/4, 黒10YR2/1	密(1mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部)	第1b面	流路	01	
123	130	634	03-5	847	土師器	壺	不良	古墳中期	(12.2) (5.6)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2～3mmの長石・石英・灰色礫微量,1mm以下の長石・石英・灰色粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
123	130	635	03-5	902	土師器	壺	やや不良		(15.6)胴 (12.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1.5mm以下の長石・石英・雲母・砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
123	129	636	03-5	902	土師器	壺	やや良	古墳中～後期	(12) (14)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1～8mmの長石)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
123	129	637	03-5	908	土師器	壺	やや良	古墳中期	(10.4) (14.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]浅黄2.5Y7/3	密(1mm大の長石)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後ヨコナデ,工具ナデ, ユビオサエ後ナデ	第1b面	流路	01	
123	130	638	03-5	901	土師器	壺	やや不良	古墳中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2, 黒N1.5/0 [内]黒褐10YR3/1, 黒10YR1.7/1	密(2mm大の長石,1mm以下の黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
124	131	639	03-5	894	須恵器	壺	良	古墳中期	(9.3) (14)	[外]暗オリーブ2.5GY4/1 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ? [内]ヨコナデ,観察難(底部)	第1b面	流路	01	
124	131	640	03-5	902	土師器	壺	やや良	古墳中期	(10.1) (16.4)	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白10YR8/2	密(1mm以下の長石・石英・チャート少量)	[外]工具ナデ,ヨコナデ,ナデ [内]ナデ,ナデ後工具ナデ	第1b面	流路	01	
124	141	641	03-5	962	土師器	壺	良	古墳中～後期	10.4 15.2	[外]橙5YR7/6,にぶい橙7.5YR7/4,褐灰7.5YR5/1 [内]にぶい橙7.5Y7/4	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	132	642	03-5	894	土師器	壺	不良	古墳中期	(12.4) (10.8)	[外]灰黄2.5Y6/2, 浅黄橙7.5YR8/4 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
124	132	643	03-5	692	土師器	壺	やや不良	古墳中期	(12.6) (11.9)	[外]浅黄2.5Y7/3,黒N2/0 [内]灰白2.5Y7/1, 浅黄2.5Y7/3	密(4mm大の礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ,ナデ, ユビオサエ	第1b面	流路	01	
124	132	644	03-5	894	土師器	小型壺	不良	古墳中期	(13) (5.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
124	132	645	03-5	910	土師器	壺	やや不良	古墳前期	(11.4)胴 (7.5)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の黒色粒)	[外]ヨコナデ,ケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (17)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
124	132	646	03-5	909	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(8.2) (3.6)	[外]橙7.5YR7/6 [内]にぶい黄橙10Y7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデハケ	第1b面	流路	01	
124	132	647	03-5	910	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(13.7)胴 (5.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]淡赤橙2.5YR7/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	132	648	03-5	962	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(7.85) (6.2)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2～3mmの長石微量,1mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
124	132	649	03-5	912	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	— (3.9)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]黄灰10YR5/1	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ [内]ナデ,工具ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
124	131	650	03-5	913	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	— (5.5)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	密(1mm以下の長石・石英・ 雲母・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]工具ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
124	132	651	03-5	912	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(9.4)胴 (7.3)	[外]灰N4/0 [内]褐灰10YR6/1	密(3mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
124	132	652	03-5	909	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(9.8)胴 (8.7)	[外]淡黄橙10YR8/4 [内]にぶい橙7.5YR7/5	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	132	653	03-5	898	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(9.4) (4.35)	[外]にぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ナデ,ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
124	132	654	03-5	912	土師器	小型壺	不良	古墳中 ～後期	(9) (5.65)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(3mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英少量,金 雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	131	655	03-5	900	土師器	小型壺	良	古墳 中期	8.4胴 (6.9)	[外]にぶい橙7.5YR6/4, 灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,シボリ痕(底部)	第1b面	流路	01	
124	131	656	03-5	847	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(9.6) (7.3)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・黒色 粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	657	03-5	912	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(7.7) (4.55)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1～4mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,工具ナデ後ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	658	03-5	902	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(9.9) (4.45)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の長石,3mm以 下の石英,1mm以下の金雲 母)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	659	03-5	899	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(8.9) (6.15)	[外]黒2.5Y2/1, 灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y6/1, 黒2.5Y2/1	密(1～2mmの石英)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	660	03-5	912	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(9.4) (4.4)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1～2mmの長石・金雲 母・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	661	03-5	912	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(7.1) (6.4)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰黄2.5Y7/2,灰N4/0	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	662	03-5	910	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(8.2) (4.8)	[外]褐灰 [内]にぶい黄10YR7/3	密(1mm以下の石英・黒色 粒・雲母)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
124	133	663	03-5	892	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(8.65)胴 (5.9)	[外]橙5YR6/6 [内]にぶい橙7.5YR6/4	密(2mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ハケ後ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
124	133	664	03-5	903	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	— (6.5)	[外]にぶい橙7.5YR6/3 [内]にぶい橙5YR6/4	密(2mm大の長石・石英微 量,1mm以下の長石・石英・ 灰色粒多い)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ナデ,ユビオサエ後ナデ	第1b面	流路	01	
124	131	665	03-5	901	土師器	小型壺	良	古墳 中期	(10.3)胴 (6.5)	[外]淡黄2.5Y7/3 [内]黄灰2.5Y5/1	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ハケ後ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ 円孔	第1b面	流路	01	体部に円孔 あり
125	134	666	03-5	962	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(16.7) 11.5	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(砂粒・シャモット少量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ハケ,シボリ痕	第1b面	流路	01	
125	134	667	03-5	900	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(16) (5.8)	[外]にぶい橙5YR6/3 [内]にぶい橙5YR6/4	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,工具ナデ後ヘラミガキ [内]ヨコナデ,ヘラミガキ?	第1b面	流路	01	
125	134	668	03-5	940	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(12) (5.2)	[外]にぶい橙5YR6/4 [内]にぶい橙7.5YR6/4	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ミガキケズリ [内]ミガキ,ハケ?	第1b面	流路	01	
125	134	669	03-5	908	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	— (4.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい橙7.5YR6/3	密(3.5mm以下の砂礫少量)	[外]工具ナデ後ミガキ,ナデミガキ [内]ヨコナデ後ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
125	135	670	03-5	913	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(16) (4.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2～4mmの長石微量,1mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
125	134	671	03-5	846	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	23.2 (8.9)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]淡黄2.5Y8/3	密(1～3mmの長石・雲母・ 黒色粒)	[外]ヨコナデ,ヨコナデ,ハケ後ミガキ [内]ヨコナデ後ミガキ	第1b面	流路	01	坏部残存は 70%
125	133	672	03-5	912	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(23.6) (8.9)	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 黒褐10YR3/1 [内]黒N2/0	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ミガキ	第1b面	流路	01	
125	134	673	03-5	578	土師器	高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(24.5) (9.2)	[外]にぶい赤褐5YR5/3 [内]にぶい橙5YR6/4	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	坏部残存は 95%
125	135	674	03-5	903	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(18.5) (5.05)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1～3mm以下の長石・石 英・金雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ(一部ナデ) [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
125	133	675	03-5	912	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	— (6.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]淡黄2.5Y8/3	やや密(1～2mmの砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
125	134	676	03-5	901	土師器	高坏	不良	古墳 中期	17.5 (5.7)	[外]橙2.5YR7/8,橙5YR7/6 [内]淡黄橙7.5YR6/6, 橙5YR6/6	密(3mm大の礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ミガキ	第1b面	流路	01	
125	135	677	03-5	898	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	— (6.7)	[外]灰白2.5Y7/1, 灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y7/1, 灰黄2.5Y7/2	密(2mm大の長石・石英・灰 色礫・茶褐色礫微量,1mm以 下の長石・石英・茶褐色粒 少量)	[外]ハケ後ヨコナデ,ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ヨコナデ,ナデ, 工具ナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
125	134	678	03-5	908	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(14.4) (6)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR6/4	密(1mm以下の黒色粒・赤 色粒)	[外]ハケ後ヨコナデ,ミガキ [内]ハケ,ナデ後ミガキ	第1b面	流路	01	
125	135	679	03-5	899	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(14.1) (5.1)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒,0.5mm以下の金雲 母)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ナデ後ハケ [内]工具ナデ・ヨコナデ後ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
125	135	680	03-5	912	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(10) (4.2)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR6/2	やや密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
126	134	681	03-5	894	土師器	高坏	良	古墳中 ～後期	16 11.4	[外]橙2.5YR6/6, にぶい黄橙10YR7/3 [内]橙2.5YR7/6, にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ後ナデ,ハケ(坏部) 工具ナデ後ハケ,工具ナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ミガキ(坏部)工具ナデ,ナデ, ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (18)

押 込 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	形 状	残 存 状 態	時 期	量 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
126	134	682	03-5	831	土師器	高坏	良	古墳 中期	(17.7) (13)	[外]黄橙10YR7/3,橙 5YR7/6,褐灰5YR5/1 [内]こぶい橙7.5YR7/4・ 5YR7/4,灰白10YR8/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ(坏部),ハケ, 工具ナデ,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ハケ,ヨコナデ(坏部),ケズリ, シボリ痕,ハケ(脚部)	第1b面	流路	01	
126	136	683	03-5	848	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(16.4) (11.15)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ,ミガキ(坏部) ミガキ,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部),シボリ痕, ユビオサエ,ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
126	137	684	03-5	898	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(16) (4.4)	[外]橙2.5YR7/6 [内]淡橙5YR8/4	密(1～2mmの長石・石英・ 黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ? [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
126	137	685	03-5	902	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	— (5.65)	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]こぶい黄橙10YR7/3	密(1.5～3mmの長石・石英・ 灰色微量,1mm以下の長 石・石英・灰色粒少量)	[外]ハケ後ヨコナデ,ヨコナデ [内]工具ナデ後ヨコナデ・ナデ	第1b面	流路	01	
126	136	686	03-5	962	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(16.1) (5.3)	[外]赤橙10R6/6, こぶい橙7.5YR6/4 [内]橙2.5YR6/6	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英・赤色粒)	[外]ハケ,ヘラミガキ [内]ヨコナデ,ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
126	137	687	03-5	899	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(16) (4.6)	[外]こぶい黄橙10YR7/3, 橙2.5YR7/6,赤灰2.5YR5/1 [内]こぶい黄橙10YR6/3, 橙2.5YR7/6	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
126	136	688	03-5	829	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(19.6) (4.3)	[外]こぶい橙2.5Y6/4 [内]こぶい橙2.5Y6/4	密(1～2mmの長石・石英・黒 色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ?	第1b面	流路	01	
126	136	689	03-5	901	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	22.6 (8.45)	[外]灰白2.5Y8/1～8/2 [内]灰白2.5Y8/1	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ後ハケ,ヘラケズリ, ハケ後ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
126	137	690	03-5	898	土師器	高坏	不良	古墳 前期	(16) (5)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]こぶい黄2.5Y6/3	やや粗(2mm以下の礫)	[外]観察難(口縁部),ヘラミガキ,工具ナデ [内]ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
126	137	691	03-5	898	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(16) (3.9)	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]灰白10YR8/1	密(1～2mmの長石・石英・ 雲母・黒色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
126	137	692	03-5	913	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	— (4.2)	[外]灰白2.5Y8/2, 黄灰2.5Y5/1 [内]こぶい橙7.5YR7/3	密(1～3mmの長石・石英・ 雲母)	[外]ハケ後ナデ,ハケ,工具ナデ, ユビオサエ [内]ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
126	137	693	03-5	912	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	— (5.3)	[外]浅黄橙10YR8/4 [内]こぶい黄橙10YR6/3	密(1～2mmの長石・石英・ 黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ,押圧 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
127	136	694	03-5	910	土師器	高坏	不良	古墳 後期	(18.1) (12.8)	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]灰白10YR7/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ナデ,工具ナデ後ナデ,ナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ(回転)	第1b面	流路	01	
127	138	695	03-5	910	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(17) (4.2)	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
127	138	696	03-5	962	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(17.6) (5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ハケ後ヨコナデ	第1b面	流路	01	
127	136	697	03-5	899	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(17.2) (4.8)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]こぶい黄橙10YR7/3	粗(3mm大の長石・石英少 量,2mm以下の長石・石英・ 灰色粒多い)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ後ナデ, 一部ハケ	第1b面	流路	01	
127	136	698	03-5	941	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(17.2) (5.3)	[外]橙7.5YR7/6 [内]こぶい橙7.5YR6/4	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ(口縁部),観察難,シボリ痕	第1b面	流路	01	
127	138	699	03-5	899	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(19.4) (6.1)	[外]こぶい赤褐5YR5/4 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英・ 金雲母・シャモット少量)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]観察難(口縁部),工具ナデ(坏底部)	第1b面	流路	01	
127	136	700	03-5	846	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(19) (6.4)	[外]こぶい橙5YR7/4 [内]こぶい橙5YR7/4	密(1～2mm以下の長石・石 英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
127	138	701	03-5	893	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(18) (3.1)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y8/1	密(1～2mm以下の長石・石 英・黒色粒)	[外]ヨコナデ(一部ハケ) [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ?	第1b面	流路	01	
127	138	702	03-5	900	土師器	高坏	不良	古墳 後期	(15) (4.8)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
127	136	703	03-5	829	土師器	高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(12.8) (4.1)	[外]橙5YR7/6～6/6 [内]こぶい橙7.5YR7/4, 灰黄橙10YR4/2	やや粗(1mm以下の砂粒多 い,4mm大の礫)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
127	136	704	03-5	846	土師器	高坏	良		13 (3.5)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
127	136	705	03-5	913	土師器	高坏	やや 良	古墳 後期	(7)脚 (3)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存 60%須恵器 の焼成不良品 の可能性も
127	138	706	03-5	899	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(14.8) (3)	[外]こぶい黄橙10YR7/3 [内]浅黄2.5Y7/3	密(1.5mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英・金雲母 少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
127	139	707	03-5	859	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(16.3) (4.5)	[外]こぶい橙7.5YR7/4 [内]こぶい橙7.5YR7/4	粗(3～5mmの長石・石英・黒 色粒少量,2mm以下の長石・ 石英・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ,押圧 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
127	139	708	03-5	846	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	14.4 (5.9)	[外]灰黄2.5Y7/2, こぶい橙7.5YR6/4 [内]こぶい黄橙10YR7/2	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
127	138	709	03-5	902	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	— (3.6)	[外]こぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1.5～5mmの長石・石英 少量,1mm以下の長石・石英 多い)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
127	138	710	03-5	908	土師器	高坏	不良	古墳 前期	(16.8)脚 (4.2)	[外]こぶい黄橙10YR7/2, 黒N2/0 [内]浅黄橙7.5YR8/4, 黒褐10YR3/1	密(0.5mm以下の長石・石 英・砂粒少量)	[外]ハケ後ナデ,ヨコナデ [内]ナデ,ハケ後ナデ,ヨコナデ	第1b面	流路	01	
127	139	711	03-5	830	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(10.2)脚 (7.65)	[外]灰白10YR8/1 [内]褐灰10YR6/1	密(1～2mm以下の長石・石 英・黒色粒)	[外]ナデ,ハケ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
127	139	712	03-5	910	土師器	高坏	不良	古墳 前期	(11.2) (7.3)	[外]浅黄橙7.5YR8/3 [内]こぶい橙7.5YR7/3	密(1.5mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英微量)	[外]ヘラミガキ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ,シボリ痕	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%
127	138	713	03-5	847	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(8.3) (6.6)	[外]橙5YR7/6 [内]こぶい橙7.5YR7/4	密(4mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,工具ナデ後ナデ,ヨコナデ [内]工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%

02遺物観察表 (19)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
127	138	714	03-5	902	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(13.3)脚 (7.9)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]にぶい橙5YR7/4	密(2~4mmの長石・石英微量,1mm以下の長石・石英多い)	[外]観察難(脚部上半),ヨコナデ,ハケ [内]ケズリ,ハケ,ヨコナデ	第1b面	流路	01	
127	139	715	03-5	846	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(11.35)脚 (5)	[外]にぶい橙7.5YR6/3 [内]にぶい橙5YR6/3	密(4mm大の長石微量,1mm以下の長石・石英微量)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ケズリ,ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は40%
127	139	716	03-5	829	土師器	高坏	やや良	古墳中～後期	10.2脚 (6.95)	[外]橙5YR7/6 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(2mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]ナデ,ハケ,ヨコナデ [内]工具ナデ,ナデ,ハケ後ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は90%
128	139	717	03-5	898	土師器	高坏	やや良	古墳中～後期	(10.8)脚 (8.5)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]浅黄橙10YR8/3	密(1~2mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,工具ナデ後ナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は100%
128	139	718	03-5	903	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (7.85)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(3mm以下の長石・石英,1mm以下の金雲母)	[外]ヘラミガキ,工具ナデ [内]工具ナデ,シボリ痕	第1b面	流路	01	
128	139	719	03-5	910	土師器	高坏	やや不良	古墳中期	— (7.15)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(1.5~3mmの長石・石英少量,1mm以下の長石・石英多い)	[外]ハケ後ナデ,ナデ [内]ケズリ,ナデ	第1b面	流路	01	
128	140	720	03-5	898	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (7.9)	[外]灰黄2.5Y4/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(3mm大の長石・石英少量,1mm以下の長石・石英・黒色粒多い)	[外]ナデ,ハケ [内]ハケ?,工具ナデ	第1b面	流路	01	
128	140	721	03-5	908	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(11.8)脚 (8.3)	[外]にぶい赤褐2.5YR5/4,灰赤2.5YR6/2,灰白10YR8/1 [内]灰赤2.5YR6/2,にぶい橙2.5YR6/4,にぶい黄橙10YR7/2	密(1~2mmの長石微量,1mm以下の長石・石英・シャモット少量)	[外]工具ナデ,ナデ [内]ヘラケズリ,ハケ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	脚部残存は50%
128	140	722	03-5	901	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(12.6)脚 (8.9)	[外]灰黄2.5Y7/2,にぶい赤褐2.5YR4/4 [内]灰黄2.5Y7/2,にぶい赤褐2.5YR4/4	密(3mm以下の砂礫)	[外]観察難(坏部),ナデ,工具ヨコナデ(脚部) [内]観察難(坏部),ヘラケズリ,ナデ,ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は50%
128	140	723	03-5	809	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(10.8)脚 (7.75)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の黒色粒)	[外]ナデ,ハケ後ナデ?,ヨコナデ [内]ナデ(一部押圧?),工具ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は40%
128	140	724	03-5	902	土師器	高坏	やや不良	古墳中期	— (7.65)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2~3mmの長石微量,1mm以下の長石・石英多い)	[外]ナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ナデ,ケズリ,工具ヨコナデ	第1b面	流路	01	
128	140	725	03-5	910	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(12) (7.35)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(1~3mmの長石・石英・雲母・赤色粒)	[外]工具ナデ,ナデ,ヨコナデ [内]シボリ痕,ケズリ,ハケ	第1b面	流路	01	脚部残存は70%
128	140	726	03-5	913	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(13.5)脚 (8)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]工具ナデ後ナデ,ヨコナデ [内]工具ナデ後ヨコナデ,工具ナデ,シボリ痕	第1b面	流路	01	脚部残存は60%
128	141	727	03-5	902	土師器	高坏	不良	古墳後期	(13) (2.15)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1~2mmの長石・石英・黒色粒)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
128	141	728	03-5	908	土師器		不良		(14.8)脚 (2.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y5/1	やや密(2mm以下の長石・石英・雲母)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	
128	141	729	03-5	913	土師器	高坏	不良	古墳後期	(10)脚 (2.3)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(4mm大の長石微量,1mm以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ [内]ヘラケズリ,ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
128	141	730	03-5	903	土師器	高坏	やや良	古墳中～後期	(10) (2.8)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm大の長石微量,1mm以下の長石・石英少量)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ハケ後ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
128	141	731	03-5	899	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(11.6)脚 (2.15)	[外]橙5YR7/6,浅黄橙10YR8/3 [内]橙5YR6/6,にぶい橙7.5YR7/4	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
128	141	732	03-5	892	土師器	器台?	不良		(11.1)脚 (1.45)	[外]にぶい黄橙10YR7/3,にぶい橙5YR6/3 [内]浅黄7.5Y7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,刻み目(口縁端部) [内]ナデ後ミガキ	第1b面	流路	01	
128	141	733	03-5	858	土師器	鉢	やや不良	古墳中期	(11.4) (5.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]浅黄橙10YR8/3,橙7.5YR7/6	密(1mm以下の長石・黒色粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
128	141	734	03-5	899	土師器	坏	不良	古墳中～後期	(12.3) (4.1)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ハケ,ナデ [内]ハケ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
128	141	735	03-5	910	土師器	塊	不良	古墳中～後期	(14.4) (4.7)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2,黄灰2.5Y4/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
128	140	736	03-5	894	土師器	壺	不良	古墳中期	(13.95)脚 (6.5)	[外]にぶい黄橙7.5YR7/4 [内]にぶい黄橙7.5YR7/4	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ(一部ハケ?) [内]工具ナデ,ハケ後工具ナデ	第1b面	流路	01	
128	143	737	03-5	898	土師器	鍋	不良		(21.5) (7.8)	[外]橙5YR6/6 [内]橙2.5YR6/6	密(1~2mmの礫多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
128	141	738	03-5	917	土師器	甌?	不良		—	[外]褐灰10YR4/1 [内]灰黄褐10YR5/2,にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]観察難 [内]工具ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
128	142	739	03-5	848	製埴土器	甕形	やや不良	古墳前～中期	11.5 23.4	[外]灰白2.5Y8/2,灰白5Y8/1 [内]浅黄橙10YR8/3,橙2.5YR7/6	やや密(4mm大の礫)	[外]ナデ,工具ナデ,タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
129	144	740	03-5	893	土師器	把手	不良	古墳中～後期	—	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1mm以下の石英・黒色粒)	[外]ナデ [内]ハケ	第1b面	流路	01	把手残存は95%
129	144	741	03-5	892	韓式系土器	長胴甕	不良	古墳中期	(18.9)胴 (14.7)	[外]灰黄2.5Y6/2,黄灰2.5Y4/1 [内]灰黄2.5Y7/2	密(7mmの長石,1~3mmの雲母)	[外]格子目タタキ,沈線 [内]工具ナデ,押圧?	第1b面	流路	01	
129	144	742	03-5	832	韓式系土器	壺	不良	古墳中期	(19.7) (8.7)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1,にぶい橙7.5YR6/3	密(1mm以下の長石・石英・橙色粒・黒色粒)	[外]ヨコナデ,縄文タタキ [内]ヨコナデ,当具痕後ナデ	第1b面	流路	01	
129	142	743	03-5	909	韓式系土器	甕	良	古墳中期	17.2 30.7	[外]にぶい黄橙10YR7/2,黒褐10YR3/2 [内]灰白10YR7/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,タタキ,沈線(螺旋状) [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
129	144	744	03-5	832	韓式系土器	平底鉢	不良	古墳中期	(15.1) (4.95)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(4mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ [内]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ(一部ハケ)	第1b面	流路	01	
129	144	745	03-5	903	韓式系土器	甌	不良	古墳中期	—	[外]オリーブ黒5Y3/1 [内]オリーブ黒7.5Y3/1	密(1mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]格子目タタキ?,沈線 [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (20)

探 査 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
129	142	746	03-5	832	韓式系土器	甌	やや不良	古墳中期	(29.8) —	[外]にぶい黄橙10YR7/2、 黒10YR7/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm~3mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ、タタキ、ナデ、ケズリ後ナデ、 沈線 [内]ヨコナデ、ナデ、工具ナデ 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01	
130	144	747	03-5	902	弥生土器	壺	不良	弥生後期	(15.4) (5.15)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ	第1b面	流路	01	
130	144	748	03-5	913	弥生土器	壺	不良	弥生時代	3.6底 (2.5)	[外]灰白10YR8/1 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(1~3mmの隙)	[外]ヘラケズリ、観察難(底部) [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 95%
130	144	749	03-5	912	弥生土器	壺	不良	弥生後期	3.2底 (5.0)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白10YR8/2	やや密(4mm以下の長石、2 mm次の石英)	[外]タタキ、ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 90%
130	144	750	03-5	912	土師器	壺	不良	古墳前期	2.9底 (2.6)	[外]灰白2.5Y7/2 [内]浅黄橙10YR8/3、 赤橙10R6/6	密(2mm大の長石)	[外]ナデ、 [内]ヨコナデ、工具ナデ後ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
130	144	751	03-5	940	弥生土器	壺	不良	弥生後期	(3)底 (3.8)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y4/1	粗(5mm以下の長石・石英多 い、0.5mm以下の砂粒多い)	[外]タタキ、ナデ [内]ハケ	第1b面	流路	01	底部残存は 40%
130	144	752	03-5	903	弥生土器	壺	不良	弥生後期	(4.3)底 (1.3)	[外]黒N2/0、 暗灰黄2.5Y5/2 [内]黒N2/0	密(2mm以下の長石・石英少 量)	[外]タタキ、ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 50%
135	145	766	03-5	688	瓦器	椀	やや不良	中世	(13.9) (5)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、ユビオサエ後ナデ [内]ヨコナデ、ナデ、ヘラミガキ	第1層			
135	143	767	03-5	697	瓦	平瓦	不良	古代	—	[外]にぶい黄橙5YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや密(1~5mmの長石、1 mm次の石英・雲母)	[外]粗い斜格子目タタキ [内]布目疔痕	第1層			
135	143	768	03-5	720	須恵器	坏蓋	やや良	古墳後期	13.6 (4.1)	[外]青灰5B6/1 [内]青灰5B6/1	密(2mm以下の長石・石英)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1層			
135	145	769	03-5	745	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳後期	(14) 3.95	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白7.5Y7/1	密(1mm以下の長石・黒色 粒)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1層			
135	145	770	03-5	747	須恵器	坏蓋	不良	古墳後期	(12.6) (3.6)	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	771	03-5	752	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ~後期	(14.4) (4.2)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英 多い)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	772	03-5	747	須恵器	坏蓋	やや良	古墳中 ~後期	— (3.6)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	773	03-5	720	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(11.9) (4.35)	[外]灰N5/0、灰白10YR8/1 [内]灰白5Y8/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ヘラ記号 [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	774	03-5	703	須恵器	壺	不良	古墳中期	(15.7) (1)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	775	03-5	741	須恵器	壺	不良	古代	(22) (3.7)	[外]灰白N7/0、 オリープ灰2.5GY5/1 [内]灰白N7/0	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	776	03-5	720	土師器	壺	不良		(14.9) (5.1)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ナデ [内]ナデ	第1層			
135	145	777	03-5	749	土師器	椀	不良		(11.6) 5	[外]にぶい黄橙7.5YR7/4 [内]にぶい黄橙5YR7/4	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]観察難 [内]観察難	第1層			
135	145	778	03-5	720	土師器	高坏	やや良	古墳中 ~後期	— (7.9)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の長石・石英・ 橙色粒多い)	[外]観察難 [内]観察難、シボリ痕(脚柱部)	第1層			脚部残存
135	145	779	03-5	724	土師器	高坏	やや不良	古墳中 ~後期	(8.2)脚 (3.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英 多い、1mm以下の橙色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
135	145	780	03-5	747	陶質土器?	壺	不良	古墳中期	—	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]縄文タタキ、沈線 [内]工具ナデ	第1層			
136	143	782	03-5	814	須恵器	坏身	やや不良	古墳後期	(11) (3.5)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(1~2mmの長石・黒色 粒)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第2a層			
136	146	783	03-5	807	須恵器	坏身	不良	古墳中 ~後期	(15.8) (4.5)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰白N7/0	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
136	146	784	03-5	805	陶質土器?	壺	不良	古墳中期	(18) (5)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(3mm大の灰色礫・1mm大 の橙色粒微量、0.5mm以下 の長石多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ、ハケ	第2a層			
136	146	785	03-5	783	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	(11) (5.6)	[外]赤黒2.5YR1.7/1 [内]橙2.5YR7/6、 赤黒2.5YR7/1	粗(1~3mmの長石・石英多 い)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			
136	146	786	03-5	797	土師器	壺	やや不良	古墳中期	(14.2) (7.45)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ナデ、ヘラケズリ	第2a層			
136	146	787	03-5	799	土師器	小型壺	不良	古墳中期	(9.5) (4.5)	[外]明赤褐2.5Y5/6 [内]明赤褐2.5Y5/6	密(2mm大の長石微量、0.5 mm以下の長石・シャモット 多い)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ、ユビオサエ	第2a層			
136	146	788	03-5	929	土師器	鉢	やや不良	古墳中 ~後期	(12.4) (6)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部) [内]観察難	第2a層			
136	146	789	03-5	812	土師器	高坏	やや不良	古墳中 ~後期	(16.2) (6.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石、1mm以 下の石英多い)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]観察難	第2a層			
136	146	790	03-5	799	製塩土器	甕形	やや不良	古墳中 ~後期	— (7.8)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1mm以下の砂粒多 い)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ナデ、ヘラケズリ?後ナデ	第2a層			
136	143	791	03-5	806	韓式系土器	把手	不良	古墳中期	—	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ナデ、ユビオサエ [内]ナデ、ユビオサエ、刺突痕3(把手下部)	第2a層			把手残存は 100%
137	147	794	03-5	531	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳中 ~後期	(12.8) (5.05)	[外]灰白N8/0 [内]灰白N8/0	密(3mm大の長石)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
137	147	795	03-5	544	須恵器	高坏蓋	やや良	古墳中 ~後期	(12.2) (4.9)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm大の礫)	[外]ナデ、回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
137	147	796	03-5	472	須恵器	高坏蓋	やや良	古墳中 ~後期	11.1 4.1	[外]灰N7/0 [内]灰N7/0	密(2mm以下の長石微量、0.5 mm以下の砂粒微量)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
137	149	797	03-5	559	須恵器	高坏	不良	古墳中期	(8.96) (4.25)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(3mm大の長石)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
137	147	798	03-5	523	須恵器	ハソウ	良	古墳中期	(7.8) (10.6)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ、ナデ、ヘラ記号(底部) [内]観察難	第1b面	流路	01	
137	147	799	03-5	523	須恵器	ハソウ	やや良	古墳中期	(10.8)胴 (7.7)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm大の石英)	[外]ヨコナデ、ヘラケズリ後ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
137	147	800	03-5	543	須恵器	把手付鉢	やや良	古墳中期	(10.8) (8.7)	[外]灰白N7/0、灰N6/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・砂粒少 量)	[外]ヨコナデ、ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
137	149	801	03-5	559	須恵器	壺	不良	古墳中期	—	[外]灰N5/0 [内]灰10Y5/1	密(0.5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (21)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)		色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
									上:口径	下:器高					遺 構 種 類	遺 構 番 号	
137	149	802	03-5	560	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(6.9)頸 (3.75)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
137	147	803	03-5	557	須恵器	壺	良	古墳 中期	(15.1) (19.3)	[外]灰10Y5/1,灰N6/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,自然釉(頸部),波状文 [内]観察難(口縁,底部)ヨコナデ(頸,体部), 自然釉	第1b面	流路	01		
137	149	804	03-5	532	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(15.9) (2.95)	[外]灰N4/0 [内]明オリーブ灰 2.5GY7/1	密(0.5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
137	148	805	03-5	552	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(11)頸 (8.9)	[外]暗紫灰5PB4/1 [内]暗紫灰5PB4/1	密(1mm以下の長石・砂粒微 量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01		
137	149	806	03-5	545	須恵器	壺	不良	古墳中 〜後期	(18.8) (4.8)	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(3mm大の礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
137	148	807	03-5	530	須恵器	壺	やや 良	古墳中 〜後期	(21) (29)	[外]暗青灰5PB4/1 [内]青灰5PB5/1	密(3mm以下の長石少量,0.5 mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後カキ目,波状文 [内]ヨコナデ,当具痕	第1b面	流路	01		
137	149	808	03-5	529	陶質 土器?	壺	不良	古墳 中期	—	[外]オリーブ灰2.5GY5/1 [内]オリーブ灰2.5GY5/1	密(1mm以下の長石,4mm以 下の石英)	[外]編席文タタキ,沈線 [内]スリケン	第1b面	流路	01		
137	149	809	03-5	532	陶質 土器?	壺	不良	古墳 中期	—	[外]灰N5/0 [内]オリーブ灰2.5GY5/1	密(1.5mm以下の長石,3mm以 下の石英)	[外]編席文タタキ,ナデ,沈線 [内]スリケン	第1b面	流路	01		
138	148	810	03-5	851	須恵器	壺	やや 良	古墳 中期	17.6 39.4	[外]灰N6/0 [内]暗青灰10BG4/1	密(1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01		
139	150	811	03-5	532	土師器	高坏	やや 良	古墳中 〜後期	13 11.3	[外]橙2.5YR7/6 [内]淡赤橙2.5YR7/4	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ(坏部) ナデヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部) ナデヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01		
139	150	812	03-5	556	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(14.7) (6.95)	[外]灰白10YR8/2, にふい橙2.5YR6/3 [内]淡黄橙10YR8/3(坏部) にふい橙2.5YR6/3(脚部)	密(3mm以下の長石・石英,1 mm以下の赤色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ(坏部) 工具ナデ(脚部) [内]ヨコナデ,工具ナデ(坏部) シボリ痕(脚部)	第1b面	流路	01		
139	150	813	03-5	545	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(24.8) (9.95)	[外]橙5YR7/6 [内]橙5YR6/6	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部) ハケ(底部) [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	坏部残存は 40%	
139	149	814	03-5	543	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(17.9) (6.75)	[外]にふい橙7.5YR7/4 [内]にふい橙7.5YR7/4	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の赤色粒)	[外]ヨコナデ,観察難(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
139	150	815	03-5	557	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(14.1) (9.65)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ(坏部) ミガキ,ナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部) ナデ(脚部)	第1b面	流路	01		
139	150	816	03-5	552	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(11.4)脚 (9.5)	[外]灰白7.5YR8/2 [内]灰白7.5YR8/2, 黒5Y2/1	密(1.5mm以下の長石・石 英・雲母・砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ(坏部) ナデヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ユビオサエ後工具ナデ (坏部)工具ナデ(脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%	
139	150	817	03-5	557	土師器	高坏	やや 良	古墳中 〜後期	(14.1) (10.9)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]橙2.5YR6/6, にふい橙7.5YR7/4	密(1mm以下の長石・石英 多し)	[外]ヨコナデ(坏部)ミガキ,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,工具ナデ(坏部) 工具ナデ,ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01		
139	150	818	03-5	555	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(12.8) (5.3)	[外]淡赤橙2.5YR7/3 [内]淡赤橙2.5YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
139	150	819	03-5	523	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(16.8) (12.45)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]灰白2.5Y7/1, 灰10Y4/1(坏部)にふい黄 橙10YR7/2(脚部)	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ヨコナデ,ミガキ(坏部) ヨコナデ,ミガキ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部) シボリ痕,ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01		
139	151	820	03-5	532	土師器	高坏	やや 不良	古墳 前期	(15.4) (13)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ハケ後ナデ(坏部) ミガキ,ナデ後ヨコナデ(脚部) [内]ハケ後ナデ(坏部) 工具ナデ,ハケ(脚部)	第1b面	流路	01		
139	149	821	03-5	556	土師器	高坏	不良	古墳 後期	(11.1) (3.5)	[外]橙2.5YR 6/6 [内]明赤橙2.5YR5/6	密(2.5mm大の礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
139	151	822	03-5	557	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(13.8) (5.2)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
139	149	823	03-5	545	土師器	壺	やや 不良	古墳中 〜後期	(14.2) (5.4)	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]淡黄橙7.5YR8/4	密(1mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01		
139	151	824	03-5	552	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(9.85)脚 (7.9)	[外]淡赤橙2.5YR7/3 [内]淡赤橙2.5YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ミガキ?,ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデシボリ痕 円形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 80%	
139	151	825	03-5	552	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(9.6)脚 (5.7)	[外]橙7.5YR7/6 [内]にふい橙7.5YR7/4	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]ナデ [内]工具ナデ,押圧ハケ	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%	
139	149	826	03-5	555	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	(5.5) (4.4)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石微量)	[外]タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
139	149	827	03-5	529	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石・赤色 粒,1mm以下の石英)	[外]ナデ,ユビオサエ(芯部分) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%	
140	151	828	03-5	557	土師器	壺	やや 良	古墳中 〜後期	(11) 12.65	[外]灰黄褐10YR5/2, 黒10YR1.7/1 [内]明褐灰7.5YR7/2	密(1mm以下の長石・黒色 粒,3mm大の石英・赤石)	[外]ナデ,ハケ後ナデ [内]観察難(口縁部)ヨコナデ,ナデ(体部)	第1b面	流路	01		
140	151	829	03-5	533	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(10.7) (10.7)	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい橙5YR6/4	密(1.5mm以下の長石・石 英・砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
140	151	830	03-5	555	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	11.35 (5.25)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01		
141	151	831	03-5	543	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(10.7) (5.4)	[外]橙5YR7/6 [内]橙5YR7/6	密(1~3mmの礫)	[外]ナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ナデ,ユビオサエ後ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は50%	
140	154	832	03-5	529	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(10.7) (9)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,観察難(体部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
140	152	833	03-5	543	土師器	壺	やや 良	古墳 中期	9.7 (6.4)	[外]灰白10YR8/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(6mm大の礫)	[外]ナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01		
140	154	834	03-5	543	土師器	小型壺	やや 良	古墳 中期	(8.5) (5.5)	[外]淡黄橙 10YR8/3 [内]褐灰10YR6/1	やや粗(3mm以下の石英少 量,0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
140	152	835	03-5	608	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(10.5) (7.5)	[外]黒N2/0,灰5Y6/1 [内]オリーブ黒7.5Y3/1	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ハケ後ヨコナデ [内]ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01		

02遺物観察表 (22)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 附 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
140	154	836	03-5	661	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(11.1) (7.4)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR6/4	やや粗(2mm以下の長石・石 英少量,0.5mm以下の砂粒 微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
140	154	837	03-5	555	土師器	鉢	やや 不良	古墳中 ~後期	(11.8) (4.8)	[外]浅黄橙7.5YR8/3 [内]浅黄橙7.5YR8/3	密(0.5mm以下の雲母・砂粒 微量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
140	152	838	03-5	532	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(15.6) (15.9)	[外]にぶい橙5YR6/4 [内]黒N2/0	密(1~9mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
140	152	839	03-5	523	土師器	壺		古墳中 ~後期	(15.4) (14.1)	[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(長石・雲母)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
140	154	840	03-5	530	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	(23) (6.4)	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]淡橙5YR8/4	密(4mm大の礫)	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ,ユビオサエ後ナデ	第1b面	流路	01	
140	152	841	03-5	557	土師器	坏	やや 不良	古墳中 ~後期	(12.3) (4.9)	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]橙2.5YR6/6	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,暗文	第1b面	流路	01	
140	152	842	03-5	545	土師器	高坏?	不良	古墳中 ~後期	(15.2) (5.4)	[外]にぶい黄橙5YR6/4 [内]橙5YR6/6	密(2mm以下の長石・石英,4 mm以下の赤色粒)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ミガキ(単位観察難)	第1b面	流路	01	
141	152	843	03-5	532	土師器	長胴壺	やや 不良	古墳中 ~後期	20.5 35	[外]にぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR5/2, 黒褐10YR2/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3, 灰黄褐10YR6/2, にぶい黄褐10YR5/3	密(2.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
141	153	844	03-5	545	土師器	長胴壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(19.2) (30.2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	粗(3mm以下の長石・石英多 い,0.5mm以下の砂粒多い)	[外]ナデ,ハケ,観察難(底部) [内]ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
141	154	845	03-5	523	土師器	壺	不良	古墳 中期	(14.4) (7.9)	[外]淡赤褐2.5YR7/4 [内]にぶい赤褐2.5YR5/3	密(2~3mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
141	154	846	03-5	558	土師器	壺	不良	古墳 中期	(16.5) (5.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm大の長石)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
141	152	847	03-5	543	土師器	壺	やや 不良	古墳 前期	(13.8) (8.7)	[外]淡黄2.5Y8/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1~5mm以下の長石・雲 母)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は80%
141	152	848	03-5	661	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	(21.3) (8.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1~2mm大の長石・石 英・雲母少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
141	152	849	03-5	557	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(15.6) (13)	[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(1~3mmの長石・石 英・雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ,ケズリ	第1b面	流路	01	
141	154	850	03-5	545	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	(19.2) (5)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm大の長石・石英・雲 母)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ [内]ハケ,ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
142	153	851	03-5	545	土師器	壺	良		22 48	[外]橙2.5YR7/6, 浅黄橙7.5YR8/4 [内]赤橙10YR6/6, にぶい橙7.5YR7/4	密(0.5mm以下の砂粒)	[外]ナデ,ハケ,ハケ後ケズリ 未調整(底部) [内]ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
143	155	852	03-5	555	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰N4/0 [内]灰5Y4/1	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
143	155	853	03-5	523	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR5/2	密(3mm以下の長石,1mm以 下の石英・雲母・赤色粒)	[外]工具ナデ,ナデ,沈線(体部) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
143	155	854	03-5	556	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄2.5Y7/2, 黄灰2.5Y5/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の長石・石 英,0.5mm以下の雲母・赤色 粒)	[外]ハケ,ユビオサエ,ナデ, 刺突痕1(把手下部) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
143	152	855	03-5	531	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳 中期	(9.2) (6.35)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英・雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
143	156	856	03-5	531	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(7.3) (8.4)	[外]橙2.5YR 6/6 [内]にぶい橙5YR 6/3	やや密(3mm大の礫)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
143	155	857	03-5	554	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(15.7) (6.4)	[外]褐灰10YR6/1 [内]黒2.5Y2/1	密(1mm以下の石英・雲母少 量)	[外]ヨコナデ,縄文タタキ後ナデ [内]ヨコナデ,当具痕	第1b面	流路	01	
143	155	858	03-5	523	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(17.8) (6.7)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/2	粗(2mm以下の長石・石英多 い,0.5mm以下の雲母・砂粒 少量)	[外]ナデ,格子目タタキ,沈線 [内]ナデ	第1b面	流路	01	
143	152 ・ 155	859	03-5	557	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳 中期	6底 (3.8)	[外]褐灰10YR4/1 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(3~4mmの礫多い)	[外]ナデ,ヨコナデ,ヘラケズリ後ヨコナデ, ゲタ目(底部) [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
143	155	860	03-5	543	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(10)底 (3.4)	[外]灰5Y6/1 [内]灰白5Y7/1	やや粗(2.5mm以下の長石・ 石英少量,0.5mm以下の砂 粒少量)	[外]格子目タタキ,工具ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 15%
143	155	861	03-5	552	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(10.8)底 (2.3)	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]灰白7.5YR8/1	密(4mm大の黒色礫少量,3 mm以下の長石・石英・雲母 少量)	[外]ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 40%
143	155	862	03-5	556	韓式系 土器	甌	不良	古墳中 ~後期	(28.4) (8.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR6/4	やや粗(4mm以下の石英少 量,0.5mm以下の雲母・砂粒 少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
143	155	863	03-5	622	韓式系 土器	壺	不良	古墳中 ~後期	(17.3) (7.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1~2mmの長石)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
143	156	864	03-5	556	韓式系 土器	壺	不良	古墳中 ~後期	—	[外]灰白10YR8/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(3mm大の長石,1mm以下 の石英・黒色粒)	[外]平行タタキ後ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
143	156	865	03-5	532	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	(18.1)類 (11.4)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ後 ヨコナデもしくはナデ,沈線 [内]ヨコナデ,当具痕後スリケン後 工具ナデ	第1b面	流路	01	
144	156	866	03-5	556	土師器	甌	不良	古墳中 ~後期	(29.8) (6.35)	[外]褐灰10YR5/1 [内]黒褐10YR3/1	密(1mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
144	158	867	03-5	523	土師器	甌	不良	古墳中 ~後期	(12.6) —	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石,3mm以 下の石英,1mm以下の雲母)	[外]ハケ,押圧・ナデ [内]工具ナデ,ヨコナデ	第1b面	流路	01	
144	156	868	03-5	558	土師器	鍋	不良		(13.4) (5.2)	[外]にぶい褐7.5YR6/3 [内]橙5YR6/6	密(3mm大の礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
144	157	869	03-5	529	土師器	壺	やや 不良		(15.6) (13.7)	[外]褐灰7.5YR5/1 [内]橙2.5YR6/6, にぶい黄橙10YR7/2	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ケズリか [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
144	156	870	03-5	543	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(15.8) (10.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(4mm以下の長石少量,1 mm以下の石英・砂粒少量)	[外]ナデ,タタキ [内]ハケ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (23)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 年 号	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構面・ 層名	遺構名		備 考
														遺構 種類	遺構 番号	
144	157	871	03-5	543	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	4.2底 (6.8)	[外]褐灰10YR4/1 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(2mm以下の長石少量、1 mm以下の石英・砂粒少量)	[外]タタキ [内]ハケ、ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
145	157	874	03-5	412	黒色 土器	椀	不良	古代	14.7 5.7	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]黒N2/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ナデ、墨ガキ、ヨコナデ [内]ミガキ	第1層			残存率は高 台のみでは 60%
145	158	875	03-5	475	土師器	埴	不良	古代	— (1)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以上の長石、1mm大の 赤色粒)	[外]ナデ、墨書(底部) [内]ナデ	第2a層			底部残存は 20%
145	157	876	03-5	477	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 後期	(10.9) (3.1)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石、2mm以 下の黒色粒)	[外]回転ヘラズリ、ヨコナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
145	157	877	03-5	376	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 後期	(12.6) (4.85)	[外]灰10Y6/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
145	157	878	03-5	492	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.4) 4.8	[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(3mm以下の長石、5mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
145	157	879	03-5	479	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.9) (4.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、 ヘラ記号(底部) [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
145	157	880	03-5	477	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.3) 5.6	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(5mm以下の長石、1mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第2a層			
145	158	881	03-5	474	須恵器	有蓋 高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.1) (6.3)	[外]灰7.5Y6/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ、ナデ(坏部)観察難(脚部)	第2a層			
145	158	882	03-5	477	須恵器	有蓋 高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.3) (4.5)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
145	157	883	03-5	486	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(8.8)脚 (5.6)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の長石)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ(坏部)ヨコナデ(脚部) 長方形透孔3方向	第2a層			脚部残存は 50%
145	158	884	03-5	452	須恵器	無蓋 高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(16.2) (5.9)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(4mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、波状文 [内]ヨコナデ	第2a層			
145	159	885	03-5	471	須恵器	壺	不良	古代	(17.9) (3.15)	[外]青灰5B6/1 [内]青灰5B6/1	密(3mm以下の長石、1mm以 下の石英・赤色粒)	[外]ヨコナデ、ハケ?後ナデ、ヘラ記号(頸部) [内]ヨコナデ	第2a層			
145	159	886	03-5	497	須恵器	壺	やや 不良	古墳 後期	(20.6) (9.45)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第2a層			
145	160	887	03-5	426	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(21) (7.2)	[外]褐灰7.5YR5/1 [内]褐灰5YR6/1、 灰N6/0	密(1mm以下の長石、2mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ、工具ナデ、 平行タタキ後力目 [内]ヨコナデ	第2a層			
145	159	888	03-5	487	須恵器	大甕	不良	古墳中 ～後期	(42.3) (5.9)	[外]灰N5/0 [内]灰白N7/0	密(3mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第2a層			
145	158	889	03-5	497	陶質 土器?	壺	不良	古墳 中期	—	[外]灰10Y5/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石、2mm以 下の石英)	[外]縄文タタキ、沈線 [内]スリケシ	第2a層			
146	160	890	03-5	487	土師器	高坏	やや 不良	古墳 後期	(10.4) (8.3)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の長石、1mm以 下の石英・赤色粒)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			
146	160	891	03-5	487	土師器	高坏	やや 不良	古墳 後期	10脚 (8.55)	[外]にぶい黄橙10YR7/3、 にぶい橙5YR7/4 [内]橙7.5YR7/6、 灰5Y6/1(坏部)浅黄橙 10YR8/3、橙5YR7/6	密(1mm以下の長石・赤色 粒)	[外]観察難(坏・脚上部) ヨコナデ(脚部) [内]観察難(坏部) ヨコナデ、工具ナデ(脚部)	第2a層			脚部残存は 90%
146	160	892	03-5	486	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(9.4)脚 (8.7)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(1mm以下の長石・赤色 粒)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			脚部残存は 80%
146	159	893	03-5	539	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石、2mm以 下の石英)	[外]ナデ [内]観察難	第2a層			把手残存は 80%
146	159	894	03-5	489	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]にぶい橙5YR7/3	やや密(4mm以下の長石、2 mm以下の石英・雲母・黒色 粒)	[外]ナデ [内]ナデ、ユビオサエ	第2a層			把手残存は 95%
146	159	895	03-5	486	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	[外]にぶい褐7.5YR5/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・黒色 粒、2mm以下の石英)	[外]ナデ、ユビオサエ [内]ナデか	第2a層			把手残存は 80%
146	159	896	03-5	621	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石、1mm以 下の石英・橙色砂粒)	[外]ナデ、刺突痕2(把手下側) [内]ナデ	第2a層			把手残存は 95%
146	159	897	03-5	486	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白10YR8/1	密(1mm以下の黒色粒・赤 色粒)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			把手残存は 80%
147	161	900	03-5	316	須恵器	把手付 鉢	やや 不良	古墳 中期	(8.7) 7.05	[外]灰N5/0、黄灰2.5Y6/1 [内]灰N5/0、黄灰2.5Y5/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ヘラズリ、ナデ、波状文 [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
147	161	901	03-5	299	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(13) (3.3)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は70%
147	162	902	03-5	299	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(19.5) (10.05)	[外]灰N6/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、平行タタキ後力目、波状文 [内]ヨコナデ、当具痕後スリケシ	第1b面	流路	01	
147	162	903	03-5	316	土師器	壺	不良	古墳 中期	(15.8) (4.25)	[外]灰白2.5YR8/2 [内]灰白2.5YR8/2	やや粗(1.5mm以下の長石・ 石英・チャート・雲母多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
147	162	904	03-5	291	土師器	壺	不良	古墳 前期	(14.7) (4.45)	[外]暗灰N3/0 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ハケ、ケズリ	第1b面	流路	01	
147	162	905	03-5	291	土師器	埴	やや 不良	古墳中 ～後期	(12.7) (5.1)	[外]橙2.5YR6/6 [内]橙2.5YR6/6	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ、工具ナデミガキ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
147	160	906	03-5	253	土師器	高坏	良	古墳中 ～後期	(13.8) (10.3)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]淡赤橙2.5YR7/4	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ヘラミガキ [内]ヨコナデ、暗文	第1b面	流路	01	
147	162	907	03-5	299	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(13.8) (3.6)	[外]赤橙10R6/6 [内]にぶい橙5YR7/3	密(2mm以下の長石、1mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ、工具ナデ、暗文	第1b面	流路	01	
147	162	908	03-5	299	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(14.2) (4.9)	[外]赤橙10R6/8 [内]赤橙10R6/8	密(0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ、ナデ、工具ナデ [内]ヨコナデ、ナデ、暗文	第1b面	流路	01	
147	161	909	03-5	299	土師器	高坏	やや 不良	古墳 後期	(10.2)脚 (6)	[外]赤橙10R6/6 [内]にぶい赤橙10R6/4	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ミガキ、ナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 80%
147	161	910	03-5	291	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(9.5) (11.5)	[外]橙7.5YR7/6 [内]浅黄橙7.5YR8/3	密(3mm以下の礫)	[外]ヨコナデ、ハケ後ナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
147	161	911	03-5	291	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳 中期	8.1底 (4.6)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]浅黄橙10YR8/4	密(2.5mm以下の長石・石 英・チャート微量)	[外]格子目タタキ、ナデ、グタ目(底部) [内]工具ナデ、ユビオサエ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
147	162	912	03-5	291	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(6mm以下の長石、1mm以 下の石英・橙色粒)	[外]工具ナデ、刺突痕1(把手下側) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
147	161	913	03-5	291	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳中 ～後期	(20.4) (7.2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]黒10YR1/1	密(2mm以下の長石)	[外]ナデ、縄文タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (24)

押 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	形 状	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
148	161	914	03-5	175	須恵器	坏蓋	良	古墳後期	12.4 (3.75)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(4mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	162	915	03-5	263	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.6) (4.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2mm大の長石、5mm大の礫)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	162	916	03-5	240	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12.2) (4.8)	[外]灰N6/0、灰N4/0 [内]灰N6/0	密(長石多い5mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	162	917	03-5	255	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(12.4) 4.7	[外]灰N4/0～6/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	162	918	03-5	351	須恵器	坏蓋	不良	古墳 中期	(13) (4.3)	[外]灰7.5Y5/1 [内]褐灰10YR4/1	密(3.5mm大の長石、1mm以下 の黒色粒、2mm大の礫)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ、工具ナデ	第1b面	流路	01	
148	164	919	03-5	236	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.95) 4.4	[外]灰N5/0、灰白N7/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部残存 10%以下
148	163	920	03-5	351	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳 中期	(12.1) (4.6)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	921	03-5	351	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳 中期	(12.8) 4.3	[外]灰白2.5GY8/1、 黒N2/0 [内]暗灰N3/0	密(1mm以下の黒色粒、2mm 大の長石)	[外]観音雑(天井部)ヨコナデ(口縁部) [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	922	03-5	236	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳 中期	(12.5) (3.45)	[外]青灰5B5/1 [内]青灰5B5/1	密(4mm以下の長石、1mm以下 の石英)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	923	03-5	264	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 中期	(11.8) (3.7)	[外]オリーブ黒5Y3/1 [内]灰N5/0	密(3～4mmの礫)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	924	03-5	236	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.2) (3.25)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	925	03-5	351	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 中期	(12.7) 4.4	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	926	03-5	236	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳 中期	(12.4) 5.1	[外]灰N6/0 [内]褐灰10YR5/1	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	927	03-5	351	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	— (3.1)	[外]オリーブ黒5Y3/1 [内]灰5Y5/1	密(3mm以下の長石、1mm以下 の石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	928	03-5	255	須恵器	坏身	良	古墳中 ～後期	(10.2) 4.6	[外]にぶい褐7.5YR6/3、 灰N5/0 [内]にぶい赤褐5YR5/3	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
148	163	929	03-5	236	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(9.7) 4.7	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
148	164	930	03-5	236	須恵器	坏身	やや 良	古墳 中期	(9.7) 4.7	[外]灰N5/0 [内]紫灰5P6/1	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、 ヘラ記号(底部) [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
148	164	931	03-5	175	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(9.5) (3.85)	[外]暗灰N3/0、 灰褐5YR6/2 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	932	03-5	236	須恵器	坏身	不良	古墳 中期	(9.9) (4.75)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の長石、1mm以下 の石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	933	03-5	263	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(11) 4.65	[外]灰N5/0 [内]灰5Y4/1	密(7mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	934	03-5	236	須恵器	坏身	良	古墳中 ～後期	10.1 4.7	[外]灰7.5Y6/1 [内]灰7.5Y6/1	密(2mm以下の長石、8mm以下 の黒色粒)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
148	166	935	03-5	236	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.1) 5.45	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	164	936	03-5	255	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 中期	(10.3) (4.45)	[外]灰N5/0 [内]黄灰2.5Y5/1	密(3mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	937	03-5	351	須恵器	坏身	やや 良	古墳 中期	(11.5) 4.6	[外]灰10Y6/1、 暗緑灰7.5GY4/1、灰白 10Y7/1 [内]にぶい黄褐10YR5/3	密(1～2mmの礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	938	03-5	272	須恵器	有蓋 高坏	やや 良	古墳 中期	(5.6) 9.1	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(1mm大の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、ナデ(坏部) カキ目後ナデ(脚部) [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	
148	166	939	03-5	351	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳中 ～後期	(12.45) (4.3)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	166	940	03-5	244	須恵器	高坏	不良	古墳 中期	(9.7)脚 (4.6)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(8mm以下の長石)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 20%
148	166	941	03-5	235	須恵器	高坏	不良	古墳 後期	— (4)	[外]灰5Y6/1 [内]緑黒5G2/1(坏部) 灰N6/0(脚部)	密(3mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリヨコナデ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏部)観音雑(脚部) 透孔3方向(形態は不明)	第1b面	流路	01	
148	166	942	03-5	255	須恵器	壺	不良	古墳中 ～後期	(10.8) (4.8)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	943	03-5	317	須恵器	ハソウ	やや 良	古墳 中期	(10.7)胴 (7.45)	[外]灰7.5Y5/1 [内]灰7.5Y5/1	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、ナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
148	163	944	03-5	303	須恵器	ハソウ	やや 良	古墳 中期	10.4胴 (7)	[外]暗灰N3/0、灰N5/0 [内]灰N4/0	密(3mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	体部残存は 100%
148	166	945	03-5	255	須恵器	鉢	不良	古代?	(10.2) (4.95)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(2mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
149	166	946	03-5	350	須恵器	壺	不良	古墳 後期	(14.3)胴 (6.7)	[外]灰N5/0、 灰白7.5YR8/1 [内]灰N4/0、 灰白7.5Y7/1	やや密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、カキ目、列点文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
149	165	947	03-5	255	須恵器	壺	良	古墳中 ～後期	16 23	[外]灰白10YR7/1 [内]褐灰10YR6/1、 灰黄褐10YR6/2	密(0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ、平行タタキ [内]同心円文	第1b面	流路	01	
149	166	948	03-5	303	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(17.4) (5.85)	[外]灰N3/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]ヨコナデ、平行タタキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は20%
149	166	949	03-5	351	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(16.5) (1.35)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
149	166	950	03-5	351	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(19.9) (2.3)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
149	166	951	03-5	311	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(19.2) (5.65)	[外]オリーブ黒5Y3/1 [内]オリーブ黒5Y3/2	密(1mm以下の長石、0.5mm以下 の石英)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (25)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構面・ 層名	遺構名		備 考
														遺構 種類	遺構 番号	
149	165	952	03-5	236	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(14.8) (7.65)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(3mm大の礫2～4mmの長 石)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後カキ目,波状文 [内]ヨコナデ,当具痕後ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は50%
149	165	953	03-5	250	須恵器	壺	不良	古墳中 ～後期	(19) (7)	[外]青黒10BG2/1 [内]暗灰N3/0	密(長石)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は40%
149	165	954	03-5	255	須恵器	壺	弥生 中期	古墳中 ～後期	(13.9) (12)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後カキ目,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
150	165	955	03-5	318	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(14.9) (10.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(5mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
150	168	956	03-5	318	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(13.5) (4.1)	[外]橙2.5YR 6/6 [内]橙2.5YR 6/6	密(1mm以下の長石)	[外]ナデ,工具ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
150	167	957	03-5	303	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(16)脚 (8.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ミガキ,ヨコナデ [内]ナデ,工具ナデ 円孔4方向	第1b面	流路	01	備 考
150	167	958	03-5	285	土師器	高坏	やや 不良	古墳 後期	(9.7)脚 (7.85)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]淡黄2.5Y8/3	密(1mm大の長石・石英)	[外]ナデ後ミガキ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
150	167	959	03-5	303	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(10)脚 (6)	[外]明赤褐2.5YR6/8 [内]にぶい橙2.5YR6/4	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ナデ,ミガキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	坏部残存は 80%
150	165	960	03-5	257	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	21.2 15.7	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]浅黄橙7.5YR8/3	密(長石・雲母片)	[外]ハケ後ヨコナデ,ナデ(坏部) ミガキ,ヨコナデ(脚部) ヨコナデ,ナデ(坏・脚部)	第1b面	流路	01	
150	167	961	03-5	320	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(19.9) (7.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(長石・石英・雲母片)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	坏部残存は 70%
150	168	962	03-5	255	土師器	高坏	不良	古墳 中期	— (7.5)	[外]灰白10YR7/1, 赤橙10R6/6 [内]灰白10YR7/1, 褐灰10YR5/1	やや密(2mmの石英・長石, 1mm以下の黒色粒多い)	[外]ナデ,ハケ後ナデ [内]ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
150	168	963	03-5	311	土師器	壺	不良	古墳 前期	(8.6)頭 (8.5)	[外]にぶい赤褐5YR5/4 [内]灰5Y5/1, 灰黄褐10YR5/2	密(1mm以下の長石・石英・ 角閃石)	[外]ヨコナデ後ミガキ,ハケ後ミガキ [内]ヨコナデ,ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
150	168	964	03-5	320	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(8.8) (5.2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(長石, 雲母)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
150	168	965	03-5	318	土師器	壺	不良	古墳 中期	(10.2) (8.4)	[外]オリーブ褐2.5Y4/4 [内]オリーブ褐2.5Y4/4	粗(3mm以下の礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ケズリ	第1b面	流路	01	
150	167	966	03-5	270	土師器	坏	やや 不良	古墳 中期	(6.9) (5)	[外]灰黄2.5Y8/1 [内]灰黄2.5Y8/1	密(1～2mmの赤色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ,ヘラケズリ [内]ナデ,暗文	第1b面	流路	01	
150	168	967	03-5	351	土師器	鉢	不良	古墳中 ～後期	(20.4) (5.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後工具ナデ	第1b面	流路	01	
150	168	968	03-5	320	土師器	壺	不良	古墳 中期	(11.7) (4.9)	[外]灰白2.5Y7/1, 淡黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y6/2	密(4mm以下の長石, 2mm以 下の石英・橙色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ(口縁部) 観察難(肩部) [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
151	167	969	03-5	303	土師器	壺	良	古墳 中期	12.5 20.9	[外]にぶい黄褐10YR7/2, 黒5Y2/1 [内]にぶい黄褐10YR6/3, 黒褐10YR3/1	密(長石)	[外]ハケケズリ [内]ハケケズリ	第1b面	流路	01	
151	169	970	03-5	263	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(22.7) (3.4)	[外]褐灰10YR5/1 [内]褐灰10YR5/1	密(1mm以下の長石・黒色 粒・黒雲母・金雲母)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
151	169	971	03-5	351	土師器	壺	不良	古墳 中期	(22.6) (8.9)	[外]灰白10YR7/1, 黒N1.5/0 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(4mm大の長石, 3mm 大の礫, 2mm以下の石英な ど多い)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
151	169	972	03-5	255	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(20.2) (7.5)	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4(口 縁部)にぶい橙 7.5YR6/4(体部)	粗(5mm以下の長石・石英多 い,0.5mm以下の砂粒多い)	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ,ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
151	167	973	03-5	351	土師器	壺	やや 不良	古墳 後期	(15.4) (12.7)	[外]赤橙10R6/6 [内]にぶい橙7.5YR6/4	密(1～2mmの長石など)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
151	169	974	03-5	351	土師器	壺	不良	古墳 前期	(18.4) (3.85)	[外]黒7.5YR2/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英,2 mmの赤色粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
151	169	975	03-5	258	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(16.8) (5.2)	[外]黒褐10YR3/2, 黒5Y2/1 [内]黒褐2.5Y3/1	密(長石)	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は70%
151	169	976	03-5	270	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(18) 31.5	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1～2mmの長石・雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
151	170	977	03-5	351	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	(3.5) (4.3)	[外]赤褐10R5/4 [内]赤灰10R6/1	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
151	167	978	03-5	255	製塩 土器	コップ形	やや 不良	古墳 中期	(3.7) (4.2)	[外]橙2.5YR6/6 [内]浅黄2.5Y7/3	密(2mm以下の礫)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
151	170	979	03-5	255	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	(3.6) (5.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰褐7.5YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ,ハケ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
151	170	980	03-5	255	土師器	鉢?	不良	古墳 中期	(5)底 (4)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ハケ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 50%
151	167	981	03-5	270	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	(3.8) (3.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の石英微量)	[外]ナデ,タタキ [内]ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
151	170	982	03-5	351	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	(3.9) (3.5)	[外]褐灰10YR6/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石)	[外]タタキ [内]ユビオサエ後ナデ	第1b面	流路	01	
151	170	983	03-5	351	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	— (3)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰N5/0	密	[外]タタキ [内]ユビオサエ	第1b面	流路	01	
151	170	984	03-5	351	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	— (3.6)	[外]橙2.5YR7/6 [内]橙2.5YR7/6	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]タタキ,ナデ [内]ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
152	170	985	03-5	351	土師器	鉢	不良	古墳 中期	— (11.8)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]赤灰2.5Y6/2	密(2mm以下の長石, 1mm以 下の石英)	[外]ユビオサエ,ナデ(把手)ハケ(体部) [内]ユビオサエ,ハケ後工具ナデ	第1b面	流路	01	
152	170	986	03-5	351	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	[外]にぶい褐7.5YR6/3 [内]—(欠損により観察不 可)	密(3mm以下の長石・石英)	[外]工具ナデ [内]—(欠損により観察不 可)	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
152	170	987	03-5	303	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm大の長石・石英,1mm 大の雲母)	[外]ナデ,ユビオサエ,ミガキ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%

02遺物観察表 (26)

探 査 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状態	時 期	法 量	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
									上:口径 下:器高					遺 構 種 類	遺 構 番 号	
152	170	988	03-5	236	土師器	移動式甗	不良	古墳中 ～後期	(33.6) (9.15)	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい褐7.5YR6/3	密(2mm以下の長石・1mm以 下の石英・赤色粒・黒色 粒)	[外]ユビオサエ、ハケ、ヨコナデ [内]ユビオサエ、工具ナデ、ヨコナデ	第1b面	流路	01	
153	169	989	03-5	255	韓式系 土器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(19.2) (27.5)	[外]明褐灰7.5YR7/2、 にふい橙7.5YR7/4 [内]にふい赤褐2.5YR5/4、 にふい橙7.5YR6/4	密(0.2mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ、格子目タタキ [内]ヨコナデ、ナデ後当具痕?	第1b面	流路	01	
153	170	990	03-5	303	韓式系 土器	壺	不良	古墳中 ～後期	(19.4) (5.45)	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(0.4mm以下の石英)	[外]ヨコナデ、格子目タタキ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存10%
153	170	991	03-5	303	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	(14.3) (6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y7/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ、縄文タタキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は10%
153	167	992	03-5	309	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳 中期	(8.1)底 (2.9)	[外]褐灰7.5Y4/1、 にふい黄橙10YR 7/3 [内] 灰白2.5Y7/1	密(長石・雲母)	[外]平行タタキ、ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 80%
153	170	993	03-5	279	韓式系 土器	平底鉢	やや 不良	古墳 中期	(4.6) (4.9)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]にふい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石)	[外]平行タタキ後ナデ(体部) 工具ナデ(底部) [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 30%
153	170	994	03-5	266	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄褐10YR5/3 [内]灰黄褐10YR5/2	密(3mm以下の長石、2mm以 下の石英)	[外]ナデ、格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
153	170	995	03-5	320	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい褐7.5YR6/3 [内]浅黄橙10YR8/3	密(5mm以下の長石、2mm以 下の石英)	[外]工具ナデ、格子目タタキ、 刺突痕5ヶ所(把手下部)、 切り込み(把手上部) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
153	170	996	03-5	311	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄褐10YR5/3 [内]灰黄褐10YR5/2	密(5mm以下の長石、1mm以 下の石英)	[外]工具ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
154	171	997	03-5	2277	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 後期	(12.1) (4.3)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
154	171	998	03-5	2255	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 後期	(12.1) (3.6)	[外]灰白N7/1 [内]灰白N7/1	やや密(1.5mm以下の砂礫 少量)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	171	999	03-5	2255	須恵器	坏蓋	不良	古墳 後期	(13) (4.15)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(2.5mm以下の礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、ヘラ記号 [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1000	03-5	2276	須恵器	坏蓋	不良	古墳 後期	(14) (3)	[外]灰白10YR7/1、 暗灰N3/0 [内]灰白10YR7/1、 暗灰N3/0	密(3mm大の長石微量、1mm 以下の灰色粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1001	03-5	2278	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12.1) (4.35)	[外]灰白10YR7/1 [内]灰5Y6/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、ヨコナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1002	03-5	2335	須恵器	坏蓋	良	古墳 中期	13.1 4.5	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、工具ナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1003	03-5	2286	須恵器	坏蓋	良	古墳中 ～後期	12.9 (4.2)	[外]灰N4/0、灰白N7/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1004	03-5	2278	須恵器	坏蓋	良	古墳中 ～後期	1.2 4.4	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、自然釉 [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1005	03-5	2285	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(13.3) (4.9)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラズリ、ヨコナデ、自然釉 [内]ヨコナデ、自然釉	第1b面	流路	01	
154	173	1006	03-5	2278	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	— (1.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ 回転ヘラズリ後ヨコナデ [内]ヨコナデ、カキ目	第1b面	流路	01	
154	173	1007	03-5	2278	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.5) (4.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ後ヨコナデ、 回転ヘラズリ [内]ヨコナデ、カキ目後ナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1008	03-5	2285	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(14) (4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ?、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1009	03-5	2256	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(14) (3.6)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1010	03-5	2307	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	12.3 4.3	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1011	03-5	2285	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.6) (4.8)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ?、回転ヘラズリ、自然釉 [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1012	03-5	2257	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.6) (4.5)	[外]灰5Y6/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1013	03-5	2277	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12) (4.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	171	1014	03-5	2278	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11) (4.8)	[外]灰N6/0 [内]灰5Y5/1	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1015	03-5	2278	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.8) (4.5)	[外]灰N5/0、灰白N7/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1016	03-5	2277	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(10.5) (4.3)	[外]灰N5/0、灰白N7/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1017	03-5	2281	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.5) (3.05)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1018	03-5	2255	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11) (3.4)	[外]灰N5/0～6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1019	03-5	2247	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11.2) (3.45)	[外]灰白N8/0 [内]灰N6/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1020	03-5	2198	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(10.6) (3.85)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1021	03-5	2334	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳 中期	(12.6) 5.2	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(4mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1022	03-5	2278	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(12.3) (5.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ナデ、回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1023	03-5	2287	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12) 5.1	[外]灰N6/0 [内]灰N4/0	やや密(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ、 回転ヘラズリ後ヨコナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1024	03-5	2256	須恵器	高坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(2.6)つ (4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ [内]	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (27)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)		色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
									上:口径	下:器高					遺 構 種 別	遺 構 番 号	
154	173	1025	03-5	2256	須恵器	高坏蓋	不良	古墳中 ～後期	3.7つ (1.7)		[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(砂粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	残存率はソ マミのみで は100%
154	173	1026	03-5	2209	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	2.4つ 一		[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ナデ,工具ナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1027	03-5	2276	須恵器	坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(11.5) (4)		[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや密(5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 回転ヘラケズリ後ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1028	03-5	2277	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 後期	(9.8) (4.5)		[外]灰N4/0,灰白7.5Y8/1 [内]灰白7.5Y8/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,未調整(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	173	1029	03-5	2275	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10.3) (3.3)		[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白7.5Y7/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1030	03-5	2296	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.6) (4.75)		[外]灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ヘラ記号 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
154	172	1031	03-5	2278	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(11.4) (5.2)		[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 未調整(底部) [内]ヨコナデ,ナデ,同心円文	第1b面	流路	01	
154	172	1032	03-5	2285	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(11) (5.7)		[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石・灰褐色粒少 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	172	1033	03-5	2271	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(10.4) (5.1)		[外]灰N5/0 [内]青灰N5/1	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ヘラ記号 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
155	172	1034	03-5	2302	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.8) (5)		[外]灰N4/0 [内]黄灰2.5Y5/1	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	174	1035	03-5	2277	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.1) 5.4		[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	やや密(2mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ後ヨコナデ, 回転ヘラケズリ,ナデ, 回転ヘラケズリ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
155	174	1036	03-5	2277	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	9.6 5.15		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ヘラ記号, 自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
155	175	1037	03-5	2256	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10.8) (3.6)		[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	174	1038	03-5	2278	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(10.2) 5.9		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	175	1039	03-5	2319	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10.1) (3.3)		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	175	1040	03-5	2256	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10.4) (3.95)		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	175	1041	03-5	2255	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10.7) (3.4)		[外]灰N6/0,灰N4/0 [内]灰N7/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	174	1042	03-5	2247	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(11) (5.1)		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(9mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
155	174	1043	03-5	2248	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(5) (5.2)		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
155	175	1044	03-5	2271	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	一 一		[外]灰N4/0～5/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
155	174	1045	03-5	2287	須恵器	有蓋 高坏	良	古墳 中期	10.7 9.5		[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ(坏部), ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部),ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
155	174	1046	03-5	2307	須恵器	有蓋 高坏	良	古墳中 ～後期	10.5 9.4		[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	やや粗(3mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,ケズリ(坏部), ヨコナデ,カキ目(脚部) [内]ヨコナデ(坏部),ヨコナデ,ナデ(脚部) 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	
155	174	1047	03-5	2275	須恵器	有蓋 高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(10) (8.6)		[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏・脚部) 長方形透孔4方向?	第1b面	流路	01	
155	174	1048	03-5	2198	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(9.3)脚 (6.45)		[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ(坏部) カキ目,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏・脚部) 長方形透孔3方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%
155	176	1049	03-5	2255	須恵器	無蓋 高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	一 (4.1)		[外]灰N5/0,灰赤2.5YR5/2 [内]灰N6/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ後ヨコナデ?, カキ目 [内]ヨコナデ 長方形透孔4方向	第1b面	流路	01	
155	175	1050	03-5	2281	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(9.3)脚 (5.5)		[外]灰N5/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の長石・赤褐 色粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,カキ目 [内]ヨコナデ,ナデ 透孔4～5方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
155	175	1051	03-5	2288	須恵器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(7.9)脚 (5.1)		[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,自然釉 [内]ヨコナデ,自然釉 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 30%
155	176	1052	03-5	2255	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(9)脚 (5.2)		[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ナデ(坏部)ヨコナデ(脚部) 長方形透孔3方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%
155	175	1053	03-5	2195	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(8.3)脚 (4.5)		[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや密(5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ(坏部) ナデ,ヨコナデ(脚部) [内]ナデ,ヨコナデ(坏・脚部) 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
155	175	1054	03-5	2317	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(8)脚 (4.4)		[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白7.5Y7/1	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,沈線 [内]ヨコナデ,ナデ,沈線 長方形透孔3方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%
155	176	1055	03-5	2248	須恵器	高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(7.5)脚 (4.7)		[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ(坏・脚部) [内]ヨコナデ(坏部)ヨコナデ,ナデ(脚部) 長方形透孔3方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は 60%
155	175	1056	03-5	2256	須恵器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(8.8)脚 (5.9)		[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/1	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ 長方形透孔3方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は 20%

02遺物観察表 (28)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (mm)		色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
									上:口径	下:器高					遺 構 種 類	遺 構 番 号	
155	176	1057	03-5	2278	須恵器	高坏	やや不良	古墳中～後期	7.3脚 (4.35)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	[外]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石・石英・茶色粒)	[外]ヨコナデ(坏・脚部) [内]ヨコナデ(坏・脚部) 長方形透孔3方向?	第1b面	流路	01	脚部残存は40%
155	175	1058	03-5	2278	須恵器	高坏	不良	古墳中～後期	(9.2)脚 (4.1)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	[外]灰N5/0	密	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は30%
155	176	1059	03-5	2257	須恵器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(9.4)脚 (5.2)	[外]灰N5/0,灰白N8/0 [内]灰N6/0,灰白N8/0	[外]灰N5/0,灰白N8/0	密(1mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,カキ目? [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は50%
156	176	1060	03-5	2277	須恵器	有蓋高坏	良	古墳中～後期	(9.7) (6.65)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	[外]灰N5/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は100%
156	176	1061	03-5	2248	須恵器	有蓋高坏	やや不良	古墳中～後期	(7.9)脚 (2.8)	[外]灰白N7/0,灰N6/0 [内]灰N5/0	[外]灰白N7/0,灰N6/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は100%
156	176	1062	03-5	2255	須恵器	無蓋高坏	やや不良	古墳中～後期	(13.1) (9)	[外]灰N5/0 [内]紫灰5RP6/1	[外]灰N5/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ケズリ後ナデ(坏部), カキ目,ヨコナデ(脚部),自然釉 [内]ヨコナデ(坏・脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は30%
156	175	1063	03-5	2195	須恵器	無蓋高坏	不良	古墳中期	— (0.6)	[外]灰赤2.5YR5/2 [内]灰N5/0	[外]灰赤2.5YR5/2	やや密(5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ 透孔3方向?	第1b面	流路	01	
156	176	1064	03-5	2334	須恵器	高坏	やや良	古墳中期	(11.3)脚 (6.6)	[外]黒N2/0 [内]灰N6/0	[外]黒N2/0	やや密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,観察難(脚部) [内]観察難(坏部),ナデ,ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は70%
156	175	1065	03-5	2278	須恵器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(9.6) (3.1)	[外]橙5YR6/6, 浅黄橙10YR8/3 [内]橙5Y6/6, 浅黄橙10YR8/3	[外]橙5YR6/6	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 透孔4方向(形不明)	第1b面	流路	01	脚部残存は30% 土師質
156	175	1066	03-5	2286	須恵器	高坏	不良	古墳中～後期	(9.5) (1.35)	[外]こぶい楊7.5YR6/3, にぶい赤褐5YR5/4 [内]灰白10YR8/1	[外]こぶい楊7.5YR6/3	密(0.5mm以下の長石・石英・橙色粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 透孔(形・数不明)	第1b面	流路	01	脚部残存は10% 土師質
156	178	1067	03-5	2255	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(14.4) (6.4)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	[外]灰白2.5Y7/1	密(1mm以下の長石・石英・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,ヨコナデ,平行タタキ,波状文 [内]ヨコナデ,同心円文	第1b面	流路	01	
156	178	1068	03-5	2251	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(15.3) (8.7)	[外]灰N7/0 [内]灰N6/0	[外]灰N7/0	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,カキ目,平行タタキ後カキ目, 平行タタキ,波状文 [内]ヨコナデ,当具痕後ナデ,当具痕	第1b面	流路	01	
156	177	1069	03-5	2285	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(20) (6.1)	[外]暗灰N3/0, 灰白2.5GY8/1 [内]暗灰N3/0, 灰白2.5GY8/1	[外]暗灰N3/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,自然釉(ヨコナデ?),波状文 [内]自然釉(ヨコナデ?)	第1b面	流路	01	
156	178	1070	03-5	2252	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(19) (4.6)	[外]灰N6/0, 暗オリーブ灰2.5GY3/1 [内]灰N4/0,灰白N8/0, 暗オリーブ灰2.5GY3/1	[外]灰N6/0	密(2mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,自然釉 [内]ヨコナデ,自然釉	第1b面	流路	01	
156	178	1071	03-5	2256	須恵器	壺	やや不良	古墳中～後期	(13.5) (5.1)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	[外]灰N6/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,波状文後ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部残存は60%
156	178	1072	03-5	233	須恵器	壺	やや不良	古墳中期	(15.2) (5.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	[外]灰N5/0	密(1.5～2.5mmの長石・石英微量,1mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,波状文,自然釉 [内]ヨコナデ,自然釉	第1b面	流路	01	口縁部残存は30%
156	178	1073	03-5	2275	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(11.8) (4)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	[外]灰白N7/0	やや粗(2～4mmの長石・青灰色礫少量,1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
156	178	1074	03-5	2195	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(15.2) (4.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	[外]灰N5/0	密(2mm大の長石微量,0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,カキ目 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は20%
156	177	1075	03-5	2255	須恵器	壺	やや不良	古代	(17.3) (7.3)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	[外]灰N6/0	やや粗(3mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,工具ヨコナデ, 平行タタキ後ナデ,ヘラ記号 [内]ヨコナデ,当具痕	第1b面	流路	01	口縁部残存は50%
156	178	1076	03-5	2309	須恵器	壺	不良	古墳後期	— —	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	[外]灰N5/0	やや粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,沈線,カキ目 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
156	178	1077	03-5	2274	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(14) (3.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	[外]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
156	178	1078	03-5	2256	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(21.6) (4.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0,灰N4/0	[外]灰N6/0	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
156	177	1079	03-5	2255	須恵器	壺	不良	古墳中期	(22) (7.6)	[外]灰N4/0,灰N5/0 [内]灰N6/0	[外]灰N4/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後押圧・ナデ, 平行タタキ後ヨコナデ(工具ナデ?) [内]ヨコナデ,押圧,同心円文	第1b面	流路	01	
157	179	1080	03-5	2287	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(17) (5.4)	[外]灰白2.5Y8/2,灰白N8/0, オリーブ黒7.5Y3/2, 灰N6/0 [内]灰白2.5Y8/1,オリーブ黒7.5Y3/2,灰N6/0	[外]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,自然釉 [内]自然釉(ヨコナデ?)	第1b面	流路	01	
157	179	1081	03-5	2255	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(24) (5.7)	[外]灰N5/0,灰白N7/0 [内]黄灰2.5Y6/1,灰N5/0	[外]灰N5/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	177	1082	03-5	2255	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(26) (7.65)	[外]灰N4/0,灰白N7/0 [内]灰白N7/0,灰N5/0	[外]灰N4/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,カキ目,カキ目後ナデ, ヨコナデ?,ヘラ記号? [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部残存は40%
157	179	1083	03-5	2275	須恵器	壺	不良	古墳後期	(23) (8.5)	[外]灰N5/0,灰N6/0, 灰N4/0,灰白N8/0 [内]灰N5/0,灰白N7/0	[外]灰N5/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヨコナデ後ハケ, タタキ後カキ目 [内]ヨコナデ,同心円文	第1b面	流路	01	
157	179	1084	03-5	2195	須恵器	壺	不良	古墳後期	(21.8) (4.1)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	[外]灰白N7/0	密(2mm大の長石・黒色礫・茶褐色礫微量,1mm以下の長石・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ヘラ記号?	第1b面	流路	01	
157	179	1085	03-5	2224	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	— (3.1)	[外]灰白N8/0 [内]灰白N8/0	[外]灰白N8/0	密(1mm以下の長石・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	179	1086	03-5	2271	須恵器	壺	不良	古代	— —	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y7/1	[外]灰白2.5Y8/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	177	1087	03-5	2369	須恵器	把手付鉢	やや良	古墳中期	(11.6) (8.4)	[外]灰N4/0,灰白N7/0 [内]灰N4/0,灰白N7/0	[外]灰N4/0	密(1.5mm大の長石微量,1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ,波状文,把手痕? [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
157	179	1088	03-5	2347	須恵器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]黒N2/0,灰N5/0 [内]—	[外]黒N2/0	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]押圧,ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は100% 把手付鉢のものか

02遺物観察表 (29)

探 査 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
									上:口径 下:器高					遺 構 種 類	遺 構 番 号	
157	177	1089	03-5	2278	須恵器	把手付鉢	やや不良	古墳中期	(12.8) (12)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,波状文,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	179	1090	03-5	2402	須恵器	鉢	不良	古墳中期	— (2.6)	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白5Y7/2	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
157	179	1091	03-5	2285	須恵器	鉢	不良	古代	(8.6) (3.1)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	179	1092	03-5	2336	須恵器	壺	不良	古墳中期	(11.6) (3.7)	[外]灰N5/0 [内]灰白7.5Y7/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	180	1093	03-5	2278	須恵器	ハソウ	良	古墳中～後期	(9.4) (9.3)	[外]灰白N7/0～4/0 [内]灰白N8/0～6/0	密(1.5～3mmの長石微量,1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ナデ,ナデ,波状文,櫛描列点文,自然釉(口縁部),ヘラ記号 [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ(底部)孔あり	第1b面	流路	01	
157	180	1094	03-5	2288	須恵器	ハソウ	良	古墳中～後期	— (9.2)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,沈線,波状文 [内]ヨコナデ 孔あり	第1b面	流路	01	
157	180	1095	03-5	2296	須恵器	ハソウ	良	古墳中期	— (12.9)	[外]灰白N7/0,暗灰N3/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ,ハケ?,ハケ後ヨコナデ?,カキ目,ナデ,沈線,櫛描列点文,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ 孔あり	第1b面	流路	01	
157	179	1096	03-5	2225	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	— (3.6)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白N8/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	177	1097	03-5	2256	須恵器	短頸壺	やや不良	古墳中～後期	(8) 6.9	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(2mm大の長石微量,1mm以下の長石・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ,回転ヘラズリ,沈線,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
157	179	1098	03-5	2257	須恵器	短頸壺	不良	古墳中～後期	(4.2) (4.9)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(5mm大の黒色粒微量,1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,カキ目 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
157	177	1099	03-5	2278	須恵器	短頸壺	やや不良	古墳中～後期	(10.7) (11.9)	[外]灰白2.5Y7/1,灰N4/0 [内]灰白2.5Y7/1	密(1.5～2mmの長石・赤灰色礫微量,1mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,ヘラズリ,タタキ [内]ヨコナデ,当具痕	第1b面	流路	01	
158	180	1100	03-5	2248	須恵器	樽形ハソウ	良	古墳中期	—	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2～4mmの長石微量,0.5mm以下の長石・石英微量)	[外]ナデ,ナデ後波状文,ヨコナデ,沈線, [内]ヨコナデ,一部押圧	第1b面	流路	01	
158	182	1101	03-5	2256	須恵器	鉢か	不良	古墳	(22) (4.7)	[外]灰N6/0 [内]灰N4/0,灰白N8/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
158	182	1102	03-5	2255	須恵器	高坏形器台か	不良	古墳	—	[外]灰N4/0 [内]灰白N7/0	密(1.5mm大の長石微量,1mm以下の長石・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
158	182	1103	03-5	31	須恵器	高坏形器台	不良	古墳中期	— (4)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1.5～3mmの長石・茶色礫微量,1mm以下の長石多い)	[外]ヨコナデ,刻み目 [内]ナデ,同心円文 三角形透孔(2つ確認)	第1b面	流路	01	接合部残存は30%
159	181	1104	03-5	2255	須恵器	壺	不良	古代	— (33.7)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(5mm以下の砂礫)	[外]タタキ後ハケ後ヨコナデ,ヨコナデ,タタキ後ヨコナデ,タタキ [内]ユビオサエ後ヨコナデ,同心円文	第1b面	流路	01	
159	181	1105	03-5	2278	須恵器	壺	やや不良	古墳中期	— (32.5)	[外]灰N5/0,灰白2.5Y7/1 [内]黄灰2.5Y6/1,灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]平行タタキ後ナデ,平行タタキ [内]同心円文後ナデ	第1b面	流路	01	
160	183	1106	03-5	2314	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(16) —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ(坏部) ナデ,ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,観察難(坏部) ヨコナデ,ケズリ(脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は40%
160	182	1107	03-5	2337	土師器	高坏	不良	古墳後期	(14) (3.3)	[外]橙2.5YR6/6, 淡赤橙2.5YR7/4 [内]橙2.5YR6/6, 淡赤橙2.5YR7/4	密(0.5mm以下の長石・雲母微量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]観察難	第1b面	流路	01	
160	182	1108	03-5	2187	土師器	高坏	不良	古墳	(15.2) (3)	[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・橙色粒)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	
160	182	1109	03-5	2334	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(15) (3.65)	[外]橙5YR7/6 [内]淡黄橙7.5YR8/4	密(0.5mm以下の橙色粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ヘラミガキ [内]ナデ,ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
160	182	1110	03-5	2445	土師器	高坏	不良	古墳中期	(15.8) (4.05)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ・ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
160	182	1111	03-5	2445	土師器	高坏	不良	古墳中期	— (4)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
160	182	1112	03-5	2311	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	— (3.4)	[外]にぶい褐7.5YR6/3 [内]灰褐7.5YR4/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
160	183	1113	03-5	2287	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(25.1) (9.9)	[外]灰白10YR8/2 [内]黒N2/0	やや粗(2mm大の長石微量,1mm以下の長石・石英・金雲母少量)	[外]ヨコナデ [内]観察難 坏部と脚部境に刻み目	第1b面	流路	01	
160	183	1114	03-5	2397	土師器	高坏	やや不良	古墳中期	(17.8) (12.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y5/1	密(1mm以下の長石・黒灰色粒微量)	[外]ハケ後ナデ,ヘラミガキ(坏部) ヘラミガキ,ヘラズリ後ナデ(脚部) [内]ハケ後ナデ,ハケ(坏部) 工具ナデ,ハケ(脚部)	第1b面	流路	01	
160	183	1115	03-5	2347	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	16.2脚 (9.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]工具ナデ,ナデ [内]工具ナデ,ユビオサエ,ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	脚部残存は90%
160	183	1116	03-5	2314	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(14) (9.4)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]にぶい橙5YR7/4	粗(4mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ナデ(坏部)ナデ(脚部) [内]ヨコナデ,工具ナデ(坏部) 工具ナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
160	185	1117	03-5	2285	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	— (7)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・黒灰色粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ(坏部), ナデ,工具ナデ(脚部) [内]ヨコナデ,工具ナデ(坏部), ヨコナデ,ハケ(脚部)	第1b面	流路	01	
160	185	1118	03-5	2307	土師器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(10.3)脚 (7.8)	[外]橙5YR6/6 [内]橙5YR7/6(脚部), 黄橙10YR7/2(坏部)	密(0.5mm以下の長石・石英・灰色粒・シャモット少量)	[外]ナデ(坏部) ナデ,工具ナデ,ヨコナデ(脚部) [内]ヘラミガキ(坏部) ナデ,ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	01	
160	185	1119	03-5	2255	土師器	高坏	やや不良	古墳	— (5.7)	[外]にぶい褐7.5Y5/4 [内]にぶい赤褐5YR5/4	粗(2～4mmの長石・石英多い,1mm以下の長石・石英・金雲母多い)	[外]観察難(一部ユビオサエ) [内]ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (30)

探出 番号	図版 番号	遺物 番号	調査 番号	登録 番号	種別	器形	保存 状態	時期	法量 (mm)	色調	胎土	特徴	遺構・ 層名	遺構名		備考
														遺構 種類	遺構 番号	
160	183	1120	03-5	2354	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	— (8.4)	[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(1.5~4mmの長石・ 石英・シャモット少量,1mm以 下の長石・石英・シャモット 多い)	[外]ナデ(坏部) ユビオサエ,工具ナデ,ハケ(脚部) [内]ユビオサエ,工具ナデ(坏部) ナデ,ハケ後ナデ(脚部)	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
160	185	1121	03-5	2334	土師器	高坏	やや 不良	古墳 前期	— (6.1)	[外]にぶい橙2.5Y6/4 [内]にぶい橙2.5Y6/4	密(3mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石微量)	[外]ナデ,ヘラミガキ,ヨコナデ [内]ナデ,工具ナデ,ヨコナデ	第1b面	流路	01	
160	185	1122	03-5	2238	土師器	高坏	不良	古代	— (3.15)	[外]淡黄2.5Y8/4 [内]淡黄2.5Y8/4	密(3mm大の赤茶色礫微 量,1mm以下の長石微量)	[外]工具ナデ [内]観察雑(坏・脚部)	第1b面	流路	01	
160	185	1123	03-5	2353	土師器	高坏	不良	古墳 中期	— (1.4)	[外]灰5Y5/1 [内]灰7.5Y5/1	密(1mm以下の長石・石英 微量)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1b面	流路	01	
160	185	1124	03-5	2348	土師器	鉢	不良	古墳中 ～後期	(14) (3.6)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(1mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,ハケ後,工具ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,観察雑(体部)	第1b面	流路	01	
161	184	1125	03-5	2281	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(22.2) (12.3)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]浅黄橙7.5YR8/4	やや密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後,ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
161	185	1126	03-5	2277	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(22) (5.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ?	第1b面	流路	01	
161	185	1127	03-5	2276	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(24.5) (2.95)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
161	185	1128	03-5	2248	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(22) (2.5)	[外]黒7.5Y2/1 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ハケ後,ヨコナデ	第1b面	流路	01	
161	185	1129	03-5	2286	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	— (2.6)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石・石英・金雲母 少量)	[外]ヨコナデ [内]工具ヨコナデ	第1b面	流路	01	
161	185	1130	03-5	2277	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	— (4.45)	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]橙5YR6/6	やや粗(3~4mmの長石少 量,1mm以下の長石・金雲母 少量)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1b面	流路	01	
161	185	1131	03-5	2278	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(19.2) (10.2)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや密(1.5mm以下の砂礫・ シャモット)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ, ケズリ後,ナデ,ハケ後,ケズリ	第1b面	流路	01	
161	186	1132	03-5	2316	土師器	甕	不良	古墳 中期	(12.8) (10.7)	[外]黒褐7.5YR3/1, 灰褐7.5YR5/2 [内]褐灰10YR4/1	粗(2.5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
161	184 ・ 186	1133	03-5	2287	土師器	甕	やや 不良	古墳中 ～後期	(19.8) (9.85)	[外]にぶい黄2.5Y6/3 [内]にぶい黄2.5Y6/4	やや粗(2mm以下の砂礫多 い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は20% 実1774と同 一固体
161	184 ・ 186	1133	03-5	2255	土師器	甕	やや 不良	古墳中 ～後期	— (7.6)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(3mm以下の砂礫多 い)	[外]ハケ,ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100% 実1773と同 一固体
161	186	1134	03-5	2277	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(13.7) (7.7)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ユビオサエ, 観察雑(体部)	第1b面	流路	01	
161	184	1135	03-5	2316	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(14) (5.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後,ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は60%
161	186	1136	03-5	2278	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(15.4) (3.2)	[外]灰黄褐10YR5/2, 黒N2/0 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
161	186	1137	03-5	2274	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
161	186	1138	03-5	2336	土師器	甕	不良	古墳 前期	— (3.9)	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]黄灰2.5Y5/1	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,ハケ後,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
161	186	1139	03-5	2287	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	— (6.8)	[外]暗灰黄2.5Y5/2, 黒褐2.5Y3/1 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
161	186	1140	03-5	2364	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(16) (5.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
161	186	1141	03-5	2445	土師器	甕	不良	古墳 前期	(14.8) (3)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2, 黄灰2.5Y4/1	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
162	184	1142	03-5	2363	土師器	甕	やや 良	古墳 前期	(17.6) (7.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(2.5mm以下の砂礫 多い)	[外]ハケ後,工具ヨコナデ,ナデ [内]ハケ,ナデ	第1b面	流路	01	
162	186	1143	03-5	2455	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(16.5) (5.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ後,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1144	03-5	2278	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(14) (3.2)	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 黒褐10YR3/1 [内]浅黄2.5Y7/3	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
162	187	1145	03-5	2278	土師器	甕	不良	古墳 中期	(12.8) (3.3)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR4/2, にぶい黄橙10YR4/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ハケ	第1b面	流路	01	
162	187	1146	03-5	2307	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(12) (3.3)	[外]黄灰2.5Y5/1 [内]黄灰2.5Y4/1	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1147	03-5	2334	弥生 土器	甕	不良	古墳 前期	(10.4) (3.9)	[外]黒褐2.5Y3/1 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm大の長石微 量,1mm以下の長石・石英多 い)	[外]ヨコナデ,ハケ,観察雑(頸部) [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	01	
162	187	1148	03-5	2334	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(12.4) (3)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(1.5mm以下の砂礫 多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1149	03-5	2288	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(10.9) (3.7)	[外]にぶい褐7.5YR6/3 [内]灰黄褐10YR5/2	密(2mm大の長石・赤灰色礫 微量,0.5mm以下の長石・金 雲母微量)	[外]ヨコナデ,観察雑 [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
162	187	1150	03-5	2276	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(10.9) (2.9)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ後 ハケ後,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1151	03-5	2288	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(10) (2.1)	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 黒褐10YR3/1 [内]黒褐10YR3/1, にぶい黄褐10YR5/3	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1152	03-5	2281	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(9.8) (2.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや密(3.5mm大の礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ後,ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (31)

探 図 号	図 版 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
162	187	1153	03-5	2276	土師器	鉢	不良	古墳中 ～後期	(9) (3.7)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ハケ,ナデ?	第1b面	流路	01	
162	184	1154	03-5	2277	土師器	小型壺	良	古墳 中期	(4.1)底 (6.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1155	03-5	2248	土師器	鉢	不良	古墳中 ～後期	(6.5) (3.8)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]黒10Y2/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	ミニチュア か
162	184	1156	03-5	2278	土師器	壺	良	古墳中 ～後期	5.8 4.3	[外]灰黄2.5Y7/2, 暗灰N3/0 [内]灰黄2.5Y7/2, 暗灰N3/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	ミニチュア
162	184	1157	03-5	2278	土師器	鉢	やや 良	古墳中 ～後期	(5.85) 3.4	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	ミニチュア
162	186	1158	03-5	2277	土師器	甌	不良	古墳中 ～後期	(26.2) (6.3)	[外]にふい橙7.5YR7/4 [内]橙2.5YR6/6	密(0.5mm以下の長石・石 英・橙色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,押圧 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1159	03-5	2277	土師器	甌	不良	古墳 中期	— (5.3)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(4mm以下の砂礫)	[外]ハケ [内]ナデ,ユビオサエ 孔(底部)5	第1b面	流路	01	底部残存は 70%
162	184	1160	03-5	2307	製塩 土器	塊形	やや 良	古墳 後期	(10.1) 2.65	[外]灰白5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1, 黄灰2.5Y5/1, にふい橙5YR7/4	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]観察難 [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
162	187	1161	03-5	2258	土師器	高坏	不良	古墳 後期	— —	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]にふい橙7.5YR7/4	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	須恵器の様 似か
163	188	1162	03-5	2278	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ,ユビオサエ,ナデ [内]ユビオサエ後ハケ, ユビオサエ後ナデ,ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
163	188	1163	03-5	2278	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— (7.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の砂礫)	[外]ハケ,ナデ [内]ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
163	188	1164	03-5	2276	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄 [内]—	やや粗(3～4mmの長石微 量,1mm以下の長石・石英・ 雲母・黒色粒多い)	[外]観察難(押圧?) [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 70%
163	188	1165	03-5	2286	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3, にふい橙7.5YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
163	188	1166	03-5	2286	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ,ナデ,ハケ [内]ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
163	188	1167	03-5	2296	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(4mm大の長石微 量,2mm以下の長石・石英多 い)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	把手残存は 50%
163	188	1168	03-5	2255	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]黄灰2.5Y6/1	密(2mm以下の長石少量)	[外]観察難(押圧?) [内]— 押圧(芯部)	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
163	188	1169	03-5	2255	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の長石・石英・ 黒色粒微量)	[外]ナデ(把手上部),観察難(把手下部) [内]観察難	第1b面	流路	01	把手残存は 40%
163	188	1170	03-5	2286	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ,ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
163	188	1171	03-5	2286	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,ハケ,ハケ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 70%
164	188	1172	03-5	2285	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ,ユビオサエ,ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
164	188	1173	03-5	2277	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(6mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
164	188	1174	03-5	2349	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,工具ナデ,刺突痕(把手下部) [内]観察難	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
164	189	1175	03-5	2247	土師器	移動式 甌	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(2～5mmの長石・灰褐色 礫微量,1mm以下の長石・灰 褐色粒多い)	[外]ハケ,ナデ,ユビオサエ [内]ハケ	第1b面	流路	01	
164	189	1176	03-5	2231	土師器	移動式 甌	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(2～3mmの長石・石英微 量,1mm以下の長石・石英少 量)	[外]ハケ [内]ケズリ	第1b面	流路	01	
164	189	1177	03-5	2198	土師器	移動式 甌	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(2～3mmの長石・石英微 量,1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ハケ [内]ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
164	189	1178	03-5	2277	土師器	移動式 甌	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y5/1	密(2～4mm以下の長石・石 英微量,1mm以下の長石・石 英少量)	[外]ハケ,ナデ [内]ハケ後ナデ,ケズリ,ナデ	第1b面	流路	01	
164	189	1179	03-5	2231	土師器	移動式 甌	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1mm以下の長石・石 英・灰褐色粒多い)	[外]ナデ [内]ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
164	189	1180	03-5	2307	土師器	U字形 板状 土製品	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3, 褐灰10YR4/1 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗(2mm大の黒色礫多 い,1mm以下の長石・黒色粒 多い)	ナデ,観察難	第1b面	流路	01	
164	189	1181	03-5	2277	土師器	移動式 甌	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にふい黄2.5Y6/3, 黒N2/0 [内]にふい黄橙10YR6/4, 褐灰10YR4/1	密(2～3mmの長石・石英微 量,1mm以下の長石・石英少 量)	[外]ハケ [内]ケズリ,ケズリ後ナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
164	189	1182	03-5	2285	製塩 土器	塊形	不良	古墳 前期	(9.4) (5.4)	[外]にふい黄2.5Y6/3 [内]にふい黄2.5Y6/3	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
164	189	1183	03-5	2285	製塩 土器	塊形	不良	古墳 前期	(9) (3.7)	[外]にふい橙7.5YR6/3, 褐灰10YR5/1 [内]灰黄2.5Y6/2, 黄灰2.5Y5/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01	
165	190	1184	03-5	2219	土師器	土馬	良	古墳中 ～後期	— (8.3)	[外]にふい橙10YR7/4 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(2～5mmの長石・石英少 量,1mm以下の長石・石英・ シャモット多い)	観察難	第1b面	流路	01	
165	189	1185	03-5	2251	土師器	甌	不良	古墳中 ～後期	— (4.5)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	やや粗(3mm大の石英微 量,1mm以下の長石・石英・ シャモット多い)	[外]観察難 [内]ナデ	第1b面	流路	01	残存率は踏 のみでは 90%

02遺物観察表 (32)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名	遺 構 種 類	遺 構 番 号	備 考
165	189	1186	03-5	2363	土製品	土鍾?	良		3.9径 2.6厚	にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(1~2mmの長石・石 英・雲母多い)	ナデ	第1b面	流路	01		
166	184	1187	03-5	2278	韓式系 土器	鍋	良	古墳 中期	24.4 (25.5)	[外]にぶい橙7.5YR7/4, にぶい黄橙10YR7/3, 黒2.5Y2/1 [内]にぶい橙5YR6/4, 暗赤褐5YR3/2	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ, ナデ,押圧,ハケ,ナデ,ナデ [内]ハケ,ユビオサエ後ナデ,ナデ,ハケ 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01		
166	191	1188	03-5	2307	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい褐7.5YR6/3, 灰褐7.5YR6/2 [内]にぶい褐7.5YR5/3	粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ユビオサエ,ナデ 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01		把手残存は 90%
166	191	1189	03-5	2319	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]観察難(一部ナデ) [内]観察難 ナデ(芯部) 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01		把手残存は 100%
166	191	1190	03-5	2317	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ,ハケ [内]ナデ 切り込み(把手下側)	第1b面	流路	01		把手残存は 95%
166	191	1191	03-5	2285	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2, 暗赤褐5YR3/3 [内]黒褐10YR3/1	やや粗(3~5mmの長石・灰 褐色礫少量,1mm以下の長 石・金雲母・黒色粒多い)	[外]ナデ [内]ナデ,ナデ(芯部) 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01		把手残存は 100% 把手下部に 刺突痕あり
166	191	1192	03-5	2302	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい褐7.5Y7/4 [内]明赤褐5YR5/6	密(2mm以下の長石・石英, 1mm以下の角閃石)	[外]タタキ?,ナデ [内]観察難	第1b面	流路	01		把手残存は 30%
166	189	1193	03-5	2402	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	(5.7)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ,平行タタキ,タタキ?後ケズリ	第1b面	流路	01		
166	189	1194	03-5	2337	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(9.7)底 (1)	[外]灰黄2.5Y4/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・黒色粒 微量)	[外]ヘラケズリ?,ナデ,ユビオサエ [内]ナデ	第1b面	流路	01		底部残存は 20%
166	191	1195	03-5	2319	陶質土 器?		不良	古墳 中期	— —	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]縄文タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1196	03-5	2278	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい橙7.5YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]縄文タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1197	03-5	2316	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	— —	[外]浅黄褐7.5YR8/3 [内]浅黄褐7.5YR8/3	やや粗(2mm大の長石・石 英・橙色粒微量,1mm以下の 長石・橙・橙色粒多い)	[外]縄文タタキ [内]同心円文後ナデ	第1b面	杭越	05		
167	191	1198	03-5	2288	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]縄文タタキ後ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1199	03-5	2286	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい橙5YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]縄文タタキ [内]押圧,ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1200	03-5	2455	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]にぶい褐7.5YR5/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]縄文タタキ後ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1201	03-5	2354	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]縄文タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1202	03-5	2307	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]にぶい褐7.5YR5/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]縄文タタキ [内]押圧,ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1203	03-5	2364	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]縄文タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1204	03-5	2278	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄2.5Y6/3	密(0.5mm以下の長石・金雲 母微量)	[外]平行タタキ [内]同心円文	第1b面	流路	01		
167	191	1205	03-5	2334	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白2.5Y8/1	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]格子目タタキ [内]押圧,ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1206	03-5	2288	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]褐灰10YR4/1 [内]灰白10YR8/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]格子目タタキ後ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1207	03-5	2334	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1208	03-5	2247	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1209	03-5	2278	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]橙5YR6/6 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石微量)	[外]格子目タタキ [内]観察難	第1b面	流路	01		
167	191	1210	03-5	2331	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]押圧,ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1211	03-5	2334	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰白7.5YR8/2 [内]灰白10YR8/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1212	03-5	2285	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい赤褐5YR5/4 [内]灰黄2.5Y6/4	密(1mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]観察難	第1b面	流路	01		
167	191	1213	03-5	2364	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]観察難	第1b面	流路	01		
167	191	1214	03-5	2278	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1215	03-5	2335	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]褐灰10YR4/1 [内]灰白10YR8/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
167	191	1216	03-5	2278	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]格子目タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
168	192	1217	06-2	189	須恵器	环蓋	やや 良	古墳 後期	(14.2) 4.1	[外]灰N4/0 [内]灰赤2.5YR5/2	粗(3mm以下の砂礫・長石・ 石英)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ, ヘラケズリ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
168	192	1218	06-2	167	須恵器	环蓋	やや 不良	古墳中 ~後期	(12.5) 4.2	[外]赤灰2.5Y6/1,灰N6/1 [内]灰N5/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
168	194	1219	06-2	176	須恵器	环蓋	不良	古墳中 ~後期	(12) 5.1	[外]灰N4/0,灰白N7/0, 紫灰5RP6/1 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
168	194	1220	06-2	153	須恵器	环蓋	不良	古墳 中期	(13) 5.3	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(4mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		
168	192	1221	06-2	189	須恵器	环蓋	不良	古墳中 ~後期	(11.4) 5.1	[外]灰白72.5Y7/1, 灰オリーブ7.5Y5/2, 灰白7.5Y8/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01		

02遺物観察表 (33)

探 目 号	図 版 号	遺 物 号	調 査 名	登 録 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
168	194	1222	06-2	200	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11) (3.2)	[外]灰N6/0, 暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰N6/0, 暗灰黄2.5Y5/2	密(1mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1223	06-2	169	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11) (4.9)	[外]灰N4/0,灰白N8/0 [内]灰N4/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1224	06-2	153	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.2) (4.7)	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰黄2.5Y6/2	やや密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1225	06-2	167	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12) (5)	[外]灰白N7/0 [内]灰5Y6/1	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1226	06-2	153	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.2) (4.3)	[外]灰N4/0 [内]黄灰2.5Y5/1	密(1mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ケズリ,ナデ,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1227	06-2	176	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12) (4.3)	[外]灰N5/0,灰7.5Y4/1 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1228	06-2	171	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.6) (4.9)	[外]灰白2.5Y7/1, 黄灰2.5Y6/1, にふい桶7.5YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3, 灰白2.5Y7/1	密(4.5mm以下の砂礫)	[外]回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1229	06-2	198	須恵器	坏蓋	不良	古墳 中期	(12.4) (4.75)	[外]黒10YR2/1, 黒褐10YR3/1,灰N5/0, 黄灰2.5Y4/1 [内]黒褐10YR3/1, 黄灰2.5Y5/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1230	06-2	176	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12.6) (4.9)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1231	06-2	177	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(12) (4.35)	[外]灰N4/0,灰白2.5Y8/2 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ(口縁部),自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1232	06-2	191	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12.6)底 (4.3)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫・長石・ 石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1233	06-2	176	須恵器	坏蓋	不良	古墳 中期	(12.6) (4.1)	[外]灰N6/0,灰白N8/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1234	06-2	161	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳 中期	(12) (6)	[外]灰5Y6/1 [内]黄灰2.5Y6/1	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ケズリ,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1235	06-2	176	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(11.8) 5.5	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	やや粗(5mm以下の砂礫・石 英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1236	06-2	167	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳 中期	(11.8) 5	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]黄灰2.5Y6/1	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ケズリ,自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	194	1237	06-2	189	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12) (5.3)	[外]灰N5/0,灰白N8/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	195	1238	06-2	155	須恵器	高坏蓋	不良		(3.1)つ (1.15)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	残存率はソ マミのみで は100%
168	195	1239	06-2	154	須恵器	高坏蓋	不良		(14.3) (5.7)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0,褐灰10YR5/1	密(4mm大の灰褐色礫微 量,1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデ,カキ目, 回転ヘラケズリ後ヨコナデ,列点文 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1240	06-2	176	須恵器	高坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11.4) (5.7)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2~4mmの長石微量,1mm 以下の長石・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1241	06-2	176	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(12) (4.9)	[外]灰N5/0,灰白N8/0 [内]黄灰2.5Y4/1,灰N5/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	192	1242	06-2	167	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.9) (5.7)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	やや密(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
168	195	1243	06-2	169	須恵器	高坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11.6) 6	[外]灰N6/0 [内]灰N4/0	密(2mm大の黒色礫微量,0.5 mm以下の長石・黒色粒少 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	193	1244	06-2	198	須恵器	高坏蓋	良	古墳中 ～後期	11.8 5.4	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや密(9mm以下の砂礫,長 石・角閃石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, ナデ後ヨコナデ,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
168	195	1246	06-2	177	須恵器	高坏蓋	やや 不良	古墳中 ～後期	(3)つ (4.6)	[外]灰N6/0 [内]灰N4/0	密(1.5~2mmの長石微量,1 mm以下の長石・黄褐色粒 微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ後ナデ, ナデ,自然釉 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	195	1247	06-2	129	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(10) (2.35)	[外]灰N4/0,灰白N8/0 [内]灰白N8/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01	
169	195	1248	06-2	129	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(12.8) (2.3)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0,灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	195	1249	06-2	129	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	— (3.8)	[外]灰白7.5Y7/1 [内]灰白7.5Y7/1	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ,ユピオサエ	第1b面	流路	01	
169	195	1250	06-2	152	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(11) (2.1)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1251	06-2	154	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(12) (4.5)	[外]灰N4/0,灰白N8/0 [内]黄灰2.5Y5/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 自然釉(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1252	06-2	212	須恵器	坏身	やや 良	古墳 中期	(10.2) 4.8	[外]灰N5/1 [内]黄2.5Y5/1	密(0.5mm以下の長石・石 英・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 回転ヘラケズリ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	192	1253	06-2	167	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(10) (5.05)	[外]灰N4/0,灰白2.5Y7/1, 灰7.5Y6/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,自然釉(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	195	1254	06-2	167	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 中期	(10) (4.8)	[外]灰7.5Y5/1 [内]褐灰5YR4/1	密(1.5mm以下の砂礫・雲 母?)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	195	1255	06-2	153	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10) (5)	[外]灰N5/1 [内]灰N5/1	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1256	06-2	189	須恵器	坏身	やや 不良	古墳中 ～後期	(10.9) 5	[外]灰赤2.5YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(3mm以下の砂礫・長石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1257	06-2	176	須恵器	坏身	やや 良	古墳中 ～後期	(11.2) 5.3	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	やや粗(礫・石英・角閃石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (34)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
169	195	1258	06-2	189	須恵器	坏身	やや不良	古墳中期	(10.6) (4.2)	[外]灰N6/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の砂礫・長石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ, ヘラ記号 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1259	06-2	176	須恵器	坏身	やや良	古墳中 ～後期	(10) (4.6)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]黄灰2.5Y6/1	密(4mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ヘラ記号	第1b面	流路	01	
169	196	1260	06-2	167	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10) (4.25)	[外]暗灰N3/0, 灰白10Y8/1 [内]暗灰N3/0,黒N2/0	密(1mm以下の長石・金雲母 微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 自然釉(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1261	06-2	64	須恵器	坏身	やや不良	古墳中 ～後期	(9.4) (4.75)	[外]灰N5/0,灰7.5Y6/1 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1262	06-2	212	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10) (5)	[外]黄灰2.5Y5/1, 灰白2.5Y8/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,自然釉(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1263	06-2	167	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10) (4.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1264	06-2	153	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(9.9) (4.6)	[外]黒N2/0 [内]黒7.5Y2/1	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ, ヘラケズリ後ナデ? [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1265	06-2	167	須恵器	坏身	やや不良	古墳中 ～後期	(11.1) (4.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1266	06-2	198	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(11) (4.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1267	06-2	174	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(11.2) (5.05)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズ リ [内]ヨコナデ	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1268	06-2	167	須恵器	坏身	やや不良	古墳中期	— (4.1)	[外]灰N4/0,灰白2.5Y7/1 [内]暗灰黄2.5Y4/2	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1269	06-2	176	須恵器	坏身	不良	古墳中期	— (1.4)	[外]灰白2.5Y7/1, 黄灰2.5Y5/1 [内]灰N5/0	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ヘラ記号	第1b面	流路	01	
169	196	1270	06-2	43	須恵器	坏身	やや不良	古墳中期	— (3.5)	[外]灰N5/0 [内]黄灰2.5Y5/1	やや密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 自然釉,ヘラ記号 [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1271	06-2	198	須恵器	坏身	良	古墳中期	(10.8) (5)	[外]黒褐10YR3/1,灰N4/0 [内]黒褐10YR3/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1272	06-2	176	須恵器	坏身	やや良	古墳中 ～後期	(10) (4.9)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1273	06-2	176	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(9.2) (4.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0,灰7.5Y6/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	193	1274	06-2	177	須恵器	坏身	良	古墳中 ～後期	9.5 4.9	[外]灰N5/0,灰N6/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	197	1275	06-2	169	須恵器	坏身	やや良	古墳中期	(10.4) (4.4)	[外]灰N5/0 [内]黄灰2.5Y5/1	密(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
169	197	1276	06-2	167	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(12.6) (4.95)	[外]灰N4/0,黄灰2.5Y5/1, 灰白7.5Y8/1 [内]灰5Y4/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ, 自然釉(底部) [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
169	196	1277	06-2	167	須恵器	坏身	不良	古墳中期	(10) (3.6)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
170	197	1278	06-2	169	須恵器	有蓋高坏	やや不良	古墳中 ～後期	(11.2) (8.4)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰5Y5/1	やや密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%
170	199	1279	06-2	198	須恵器	有蓋高坏	やや不良	古墳中 ～後期	(10.5) (4.8)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	やや密(2mm以下の砂礫・長 石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
170	197	1280	06-2	177	須恵器	有蓋高坏	不良	古墳中 ～後期	(10) (4.9)	[外]灰N4/0,黄灰2.5Y4/1 [内]灰2.5Y4/1	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ,ヨコナデ? [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
170	199	1281	06-2	176	須恵器	有蓋高坏	不良	古墳中 ～後期	(10) (4.2)	[外]灰N5/0,灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
170	197	1282	06-2	170	須恵器	有蓋高坏	やや不良	古墳中 ～後期	(10) (5.2)	[外]灰N4/0 [内]褐灰10YR4/1	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ケズリ後ナデ [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	
170	197	1283	06-2	175	須恵器	高坏	やや良	古墳中 ～後期	(8.3) (7.7)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(3mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ(坏部),ヨコナデ,ナデ(脚部) 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 80%
170	197	1284	06-2	200	須恵器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(7.6)脚 (5.4)	[外]黄灰2.5Y5/1, 暗灰黄2.5Y4/2 [内]暗灰黄2.5Y4/2, 黄灰2.5Y5/1	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ(脚部),ヨコナデ・ナデ(坏部)	第1b面	流路	01	脚部残存は 60%
170	197	1285	06-2	169	須恵器	高坏	やや不良	古墳中 ～後期	(8.5)脚 (5.1)	[外]灰N6/0,灰N5/0 [内]灰N5/0	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ [内]ヨコナデ(脚部),ヨコナデ(坏部) 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
170	197	1286	06-2	176	須恵器	高坏	やや良	古墳中期	(8.5)脚 (6.8)	[外]灰N5/0,灰白N8/0, 黒褐2.5Y3/2 [内]灰白N8/0,灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 100%
170	198	1287	06-2	201	須恵器	有蓋高坏	やや良	古墳中期	(10.1) (8.2)	[外]灰N4/0,黄灰2.5Y6/1 [内]灰5Y6/1,灰5Y5/1	密(2~3mmの長石微量,0.5 mm以下の長石・石英微量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ,ナデ(坏底部) 三角形透孔3方向	第1b面	流路	01	
170	198	1288	06-2	160	須恵器	高坏	やや良	古墳中期	(9.8)脚 (6.9)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ 三角形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 80%
170	199	1289	06-2	161	須恵器	高坏	やや不良	古墳中期	(8.2)脚 (4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石・黒色粒微量)	[外]ハケ後ナデ,ハケヨコナデ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 50%
170	198	1290	06-2	176	須恵器	高坏	やや良	古墳中 ～後期	(10.6)脚 (7.2)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ヘラケズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 95%

02遺物観察表 (35)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	流 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
170	198	1291	06-2	160	須恵器	有蓋 高坏	不良	古墳中 ～後期	(7)脚 (5.1)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(8mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ケズリ [内]ヨコナデ 孔あり	第1b面	流路	01	
170	198	1292	06-2	153	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(6.7)底 (1.9)	[外]灰N5/0、灰白8/0、 オリブ灰2.5GY5/1 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 95%
170	199	1293	06-2	170	須恵器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(8.2)底 (4.4)	[外]黒N2/0、 灰白2.5GY8/1 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
170	198	1294	06-2	53	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(8.3)脚 (5.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、カキ目 [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 70%
170	198	1295	06-2	154	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(9.3)脚 (7.45)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや密(1mm以下の砂粒・雲 母)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ、カキ目 [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 60%
170	198	1296	06-2	167	須恵器	高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(7.4)脚 (5)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N6/0	密(2~4mmの長石微量、1mm 以下の長石・金雲母少量)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ、ハケ後ナデ [内]ナデ、ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
170	198	1297	06-2	160	須恵器	無蓋 高坏	やや 良	古墳 中期	(16.3) (12.15)	[外]灰N4/0 [内]オリブ黒7.5Y3/1	密(2mm大の長石・灰色礫微 量、1mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ、 回転ヘラケズリ後ナデ、自然釉 [内]ヨコナデ(脚部)、 ヨコナデ・観察難(坏部)、自然釉 長方形透孔3方向	第1b面	流路	01	
170	200	1298	06-2	160	須恵器	無蓋 高坏	やや 不良	古墳 中期	15.7 (7.6)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ、沈線、波状文 [内]ヨコナデ?、自然釉(口縁部)	第1b面	流路	01	
170	199	1299	06-2	161	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳中 ～後期	(14.8) (6.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0、灰白7.5Y8/1	密(1.5mm大の茶色礫微量、1 mm以下の長石・黒褐色粒・ 灰色粒微量)	[外]ヨコナデ、ケズリ後工具ナデ、波状文 [内]ヨコナデ、自然釉(底部)	第1b面	流路	01	
170	200	1300	06-2	157	須恵器	無蓋 高坏	やや 不良	古墳 中期	(15.6) (11.6)	[外]暗灰N3/0、灰白 7.5Y7/2 [内]灰N4/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ、 波状文(坏部)、ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ、ナデ(坏部)、 ナデ、ヨコナデ(脚部) 長方形透孔4方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 30%
170	200	1301	06-2	33	須恵器	無蓋 高坏	やや 良	古墳中 ～後期	(10)脚 (9.4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ、 回転ヘラケズリ後ナデ、波状文 [内]ヨコナデ、カキ目、自然釉(坏底部)、 ヨコナデ(脚部) 長方形透孔4方向	第1b面	流路	01	脚部残存は 90%
170	199	1302	06-2	69	須恵器	高坏	不良	古墳 中期	— (2)	[外]暗灰N3/0 [内]紫灰5P6/1	密(2mm大の長石少量、1mm 以下の長石・石英・黒色粒 少量)	[外]回転ヘラケズリ、ヨコナデ、 [内]ヨコナデ、ナデ、ヨコナデ 長方形透孔?方向	第1b面	流路	01	
170	199	1303	06-2	198	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳 中期	(14) (4.75)	[外]灰N6/0、灰5Y5/1、 黒褐10YR3/1 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ、ヘラケズリ後ナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第1b面	流路	01	
171	200	1304	06-2	175	須恵器	ハソウ	やや 良	古墳中 ～後期	(9.4) —	[外]灰N6/0、灰N5/0、 暗オリブ灰5GY4/1、 灰白N7/0 [内]暗灰N3/0、灰白N7/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、回転ヘラケズリ後ナデ、 自然釉、波状文、ヘラ記号 [内]ヨコナデ、押圧	第1b面	流路	01	
171	201	1305	06-2	191	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(10) (1.95)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0、灰白7.5Y8/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]観察難(自然釉)	第1b面	流路	01	
171	200	1306	06-2	157	須恵器	ハソウ	やや 良	古墳中 ～後期	— (7.35)	[外]灰N5/0、灰白N8/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ(自然釉)、回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ、自然釉(底部) 孔あり	第1b面	流路	01	
171	200	1307	06-2	48	須恵器	ハソウ	良	古墳中 ～後期	— (9.5)	[外]灰N6/0、灰白N8/0 [内]灰N5/0、灰白N8/0	密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、タタキ後ナデ、沈線、 列点文、波状文、自然釉 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
171	200	1308	06-2	48	須恵器	ハソウ	良	古墳中 ～後期	— (7.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N4/0	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、ナデ、沈線、楕円列点文 [内]ヨコナデ、ナデ、当具痕? 孔あり	第1b面	流路	01	
171	200	1310	06-2	167	須恵器	ハソウ	良	古墳中 ～後期	(6) (10)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ケズリ後工具ナデ後ナデ、 波状文 [内]ヨコナデ、自然釉(底部) 孔あり	第1b面	流路	01	
171	201	1311	06-2	156	須恵器	ハソウ	やや 良	古墳 後期	— (8.8)	[外]灰5Y5/1 [内]灰N4/0	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、ケズリ後ナデ、沈線、 楕円列点文 [内]ヨコナデ、自然釉(底部) 孔あり	第1b面	流路	01	
171	201	1312	06-2	49	須恵器	壺	良	古墳中 ～後期	— (8.5)	[外]黄灰2.5Y5/1、 暗灰2.5GY3/1 [内]黄灰2.5Y5/1、 暗灰2.5GY3/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]自然釉 [内]ヨコナデ、自然釉	第1b面	流路	01	
171	201	1313	06-2	161	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(11) (16.3)	[外]灰N4/0 [内]黄灰2.5Y4/1	密(2mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、カキ目、ナデ、沈線、波状文、 楕円列点文、自然釉(頸部付近) [内]ヨコナデ、ナデ後ヨコナデ、ナデ、 自然釉(口縁・底部)	第1b面	流路	01	
171	202	1314	06-2	176	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— (10.6)	[外]黄灰2.5Y5/1~6/1、 灰白N8/0 [内]灰白2.5Y7/1、 黄灰2.5Y6/1	密(1.5~2mmの長石・灰色 礫微量、1mm以下の長石・黒 色粒少量)	[外]ヨコナデ、カキ目後ナデ、カキ目、タタキ [内]ヨコナデ、ユビオサエ、当具痕	第1b面	流路	01	
171	202	1315	06-2	160	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— (10.5)	[外]灰N6/0 [内]黄灰2.5Y4/1	密(0.5mm以下の長石・石英・ 黒色粒微量)	[外]平行タタキ後カキ目後波状文、 平行タタキ後カキ目後ナデ、平行タタキ、 ユビオサエ、自然釉 [内]ヨコナデ、ユビオサエ	第1b面	流路	01	
171	202	1316	06-2	153	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— (10)底	[外]灰N6/0~5/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ナデ(一部タタキ?) [内]ヨコナデ、押圧後ヨコナデ、工具ナデ	第1b面	流路	01	
171	201	1317	06-2	160	須恵器	短頸壺	良	古墳中 ～後期	9.5 7.7	[外]灰N6/0、灰N5/0 [内]灰N6/0	密(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、カキ目、ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
171	201	1318	06-2	188	須恵器	把手付 鉢	不良	古墳 中期	(9.2) 6.2	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・灰色粒 微量)	[外]ヨコナデ、ケズリ後ナデ、ナデ、 波状文(一部ナデ) [内]ヨコナデ、工具ナデ、ナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (36)

押 印 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
171	201	1319	06-2	200	須恵器	把手付鉢	不良	古墳 中期	(4.4)底 (3.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N4/0, 暗オリブ5Y4/3	密(0.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,ケズリ,ナデ,波状文 [内]観察難(自然釉)	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
171	201	1320	06-2	160	須恵器	把手付鉢	不良	古墳 中期	(6.2)底 (3.6)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の長石・石 英・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,ハケ?平行タタキ?,ナデ, 波状文 [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ, 自然釉(体部~底部)	第1b面	流路	01	底部残存は 40%
171	201	1321	06-2	235	陶質 土器?	浅鉢	不良	古墳 中期	(12.6) (3.35)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
171	203	1322	06-2	152	須恵器	提瓶	不良	古墳 後期	8.9 (4.8)	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
172	204	1323	06-2	154	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(15) (5)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰白2.5Y8/1, 黄灰2.5Y6/1	密(0.5mm以下の長石・黒色 粒微量)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ,自然釉(口縁部)	第1b面	流路	01	
172	203	1324	06-2	200	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(18) (6.45)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の黒色粒)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
172	204	1325	06-2	188	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(17.4) (5.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2.5~5mmの長石微量,1 mm以下の長石多い)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
172	204	1326	06-2	157	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(16) (7.2)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(砂粒少量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ナデ沈線, 波状文 [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
172	203	1327	06-2	175	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(15.4) (20.8)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ハケ, 自然釉(頸部),波状文 [内]自然釉(口縁部~底部)	第1b面	流路	01	
172	204	1328	06-2	201	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(17) (5.9)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,自然釉(口縁部,頸部) [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
172	203	1329	06-2	175	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(18) (5.95)	[外]灰オリブ7.5Y4/2, 灰N5/0 [内]黄灰2.5Y6/1,灰オリ ブ7.5Y4/2,灰白2.5Y8/1	密(2mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ(自然釉) [内]ヨコナデ(自然釉)	第1b面	流路	01	
172	204	1330	06-2	154	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(20) (6.85)	[外]暗灰N3/0,灰白 2.5GY8/1,黒2.5GY2/1 [内]灰N4/0,黒2.5GY2/1	密(8mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,カキ目 [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
172	203	1331	06-2	188	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(19.4) (7.8)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	やや粗(3mm以下の砂粒多 い)	[外]ヨコナデ,カキ目,平行タタキ,自然釉 [内]ヨコナデ(自然釉),ヨコナデ,当具痕	第1b面	流路	01	
172	204	1332	06-2	167	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(15) (6.5)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,平行タタキ [内]ヨコナデ,当具痕後ナデ	第1b面	流路	01	
172	203	1333	06-2	154	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(16.8) (12.2)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,カキ目,タタキ後カキ目 [内]ヨコナデ,青海波文	第1b面	流路	01	口縁部 残存は70%
172	203	1334	06-2	153	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(18) (4.7)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(砂粒微量)	[外]ヨコナデ,沈線,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は60%
172	204	1335	06-2	178	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(17.4) (7.8)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(2~3mmの長石少量,1mm 以下の長石・茶色粒・灰色 粒少量)	[外]ヨコナデ,自然釉,波状文 [内]ヨコナデ,ユビオサエ後ヨコナデ, 自然釉	第1b面	流路	01	
172	204	1336	06-2	171	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(20) (9.3)	[外]灰オリブ5Y6/2 [内]灰5Y4/1	密(0.5mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ(自然釉) [内]ヨコナデ(自然釉)	第1b面	流路	01	
173	205	1337	06-2	188	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(22.8) (7)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(2.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,カキ目 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
173	203	1338	06-2	171	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(18.6) (8.5)	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0~4/0	密(3.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,格子目タタキ [内]ヨコナデ,同心円文	第1b面	流路	01	
173	205	1339	06-2	189	須恵器	壺	やや 不良	古墳 中期	(19) (6.5)	[外]灰5Y6/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
173	205	1340	06-2	153	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(20.2) (8.3)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,カキ目,平行タタキ後カキ目 [内]ヨコナデ,同心円文後ナデ	第1b面	流路	01	
173	203	1341	06-2	188	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(22) (12.3)	[外]灰白5Y8/1,灰N4/0 [内]灰N5/0,灰白5Y8/1	密(3.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,平行タタキ,自然釉(口縁部) [内]ヨコナデ,青海波文,自然釉(口縁部)	第1b面	流路	01	
173	205	1342	06-2	48	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(27.3) (5.85)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
173	203	1343	06-2	43	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(22) (13.4)	[外]灰N4/0,灰白2.5GY8/1 [内]灰N5/0	密(2mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,平行タタキ,自然釉 [内]ヨコナデ,当具痕,自然釉(口縁部)	第1b面	流路	01	
173	203	1344	06-2	188	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(23.4) (7.2)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(3mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ(自然釉),平行タタキ [内]ヨコナデ,同心円文,自然釉(口縁部)	第1b面	流路	01	
174	205	1345	06-2	150	須恵器	壺	やや 不良	古墳中 ~後期	(21.4) (6.8)	[外]黄灰2.5Y5/1, 黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y5/1	密(4mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,カキ目,タタキ, 自然釉(口縁部),タタキ後カキ目, 平行タタキ(体部) [内]ヨコナデ,同心円文,自然釉(口縁部)	第1b面	流路	01	
174	205	1346	06-2	43	須恵器	壺	不良	古墳中 ~後期	(23.6) (13.6)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(0.5~4mmの砂粒少量)	[外]ヨコナデ,タタキ(一部ヨコナデ) [内]ヨコナデ,同心円文後スリケン	第1b面	流路	01	
174	206	1347	06-2	200	須恵器	壺	不良	古墳 中期	— (11.3)	[外]灰N6/0,褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR4/1, 黒5Y2/1,灰N5/0	密(0.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,平行タタキ後ヨコナデ (螺旋状) [内]ヨコナデ,同心円文	第1b面	流路	01	スス・コゲ付 着
174	206	1348	06-2	33	須恵器	大甕	不良	古墳 中期	(44) (7.2)	[外]黒10YR2/1 [内]灰N5/0	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ, ユビオサエ後ヨコナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ後ヨコナデ, 当具痕	第1b面	流路	01	口縁部 残存は30%
174	206	1349	06-2	161	須恵器	大甕	不良	古墳 中期	(27.9) —	[外]灰N4/0 [内]灰N5/0	密(1.5~2mmの長石微量,1 mm以下の長石・黒色粒多 い)	[外]ヨコナデ,平行タタキ [内]ヨコナデ,当具痕後スリケン	第1b面	流路	01	
175	207	1350	06-2	153	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(15.4) (8.6)	[外]にぶい橙5YR6/4, 明褐灰7.5YR7/2 [内]にぶい橙5YR7/4,にぶ い橙7.5YR6/3,褐灰 7.5YR6/1	やや粗(2.5mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,工具ナデ,ケズリ, 一部ハケ [内]ハケ,ヨコナデ	第1b面	流路	01	
175	207	1351	06-2	155	土師器	高坏	不良	古墳中 ~後期	(14.4) (9.8)	[外]明赤褐2.5YR5/8 [内]明赤褐2.5YR5/8	やや粗(2mm以下の砂粒少 量)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ,工具ナデ? [内]ヨコナデ,工具ナデ(回転),暗文 透孔3方向	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (37)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
175	208	1352	06-2	155	土師器	高坏	不良	古墳中 ～後期	(14) (6)	[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]灰黄褐10YR4/2	粗(4mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,工具ナデ?ケズリ?後ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
175	207	1353	06-2	34	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(9.8)脚 (6.6)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ミガキ,ヨコナデ [内]ナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	脚部残存は 40%
175	207	1354	06-2	161	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(12.6) (6.4)	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 褐灰10YR4/1 [内]灰黄褐10YR6/2, 褐灰10YR4/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ミガキ,ナデ [内]ナデ,工具ナデ,ケズリ後ナデ	第1b面	流路	01	脚部残存は 70%
175	207	1355	06-2	52	土師器	高坏	不良	古代	(7.7) (2.6)	[外]橙2.5YR6/6 [内]橙2.5YR6/6	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ナデ,ヨコナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ヨコナデ後ナデ, ユビオサエ	第1b面	流路	01	残存率は脚 部のみで は40%
175	207	1356	06-2	155	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(9.7)脚 (7.4)	[外]にぶい橙5YR6/4 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(砂粒少量,シャモット)	[外]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ?,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ケズリ,ナデ 孔(3)あり	第1b面	流路	01	脚部残存は 100%
175	208	1357	06-2	201	土師器	壺	不良	古墳 前期	(20) (5.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/2, 黒10YR2/1 [内]灰白10YR8/2,にぶい 橙5YR6/4,にぶい黄橙 10YR6/3	やや粗(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,タタキ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
175	207	1358	06-2	160	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(15.4) (6)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]灰白10YR7/1	やや粗(1mm以下の砂粒少 量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は40%
175	208	1359	06-2	177	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(20) (4.2)	[外]灰黄褐10YR6/2, 黄灰2.5Y4/1 [内]にぶい黄橙10YR7/3, にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
175	208	1360	06-2	155	土師器	壺	不良	古墳 中期	(15) (4.95)	[外]にぶい橙5YR6/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4, にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(2mm以下の長石・石 英・雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	01	
175	207	1361	06-2	153	土師器	壺	不良		(17.2) (7.3)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(0.5mm以下の長石・雲母 微量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
175	207	1362	06-2	201	土師器	壺	不良		(19.2) (5.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/3, 黒10YR2/1 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,工具ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は50%
175	208	1363	06-2	64	土師器	壺	不良		(17) (6.7)	[外]にぶい橙10YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR6/3	密(1mm以下の砂礫微量)	[外]工具ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
175	208	1364	06-2	171	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(10) (10.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/3, 褐灰10YR5/1 [内]にぶい黄橙10YR7/4	密(1.5～2mmの長石・石英 微量,1mm以下の長石・石 英・シャモット・金雲母微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
175	208	1365	06-2	167	土師器	壺	不良		(9.2) (7.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR7/4	やや密(砂礫,シャモット)	[外]ヨコナデ,ナデ,ミガキ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ,工具ナデ後ナデ, ユビオサエ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
175	208	1366	06-2	154	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(10.4) (3.7)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石・石英・ シャモット・雲母少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ヨコナデ(一部ハケ)	第1b面	流路	01	
175	208	1367	06-2	198	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(10.6) (4.3)	[外]黄灰2.5Y6/1,灰黄 2.5Y6/2,黒褐2.5Y3/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2, 黒褐2.5Y3/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
175	208	1368	06-2	152	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(23.8) (9.6)	[外]橙2.5YR6/6 [内]橙2.5YR6/6	密(1mm以下の砂礫微量)	[外]ヨコナデ,工具ナデ後ヘラミガキ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ヘラミガキ	第1b面	流路	01	
176	209	1369	06-2	161	土師器	小型壺	良	古墳 中期	8.1 9.5	[外]黒10YR2/1,にぶい黄 橙10YR6/3,にぶい橙 7.5YR6/4 [内]にぶい黄褐10YR5/3, 黒褐10YR2/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
176	210	1370	06-2	143	土師器	鉢	やや 不良	古墳中 ～後期	(8) (5.4)	[外]浅黄橙7.5YR8/4, 灰オリーフ5Y6/2 [内]にぶい褐7.5YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]ナデ?,工具ナデ?	第1b面	流路	01	
176	210	1371	06-2	190	土師器	小型壺	不良		(5) (3.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mmの砂礫・長石)	[外]ナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	ミニチュア か
176	210	1372	06-2	176	土師器	小型壺	やや 不良		(5.4) (3.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y5/1	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石・雲母微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	ミニチュア か
176	209	1373	06-2	161	土師器	壺	良		(3.5) (4.4)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(5mm以下の砂礫・雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	ミニチュア
176	210	1374	06-2	123	土師器	鉢	不良	古墳中 ～後期	(9.2) (4.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(0.5mm以下の長石・石 英・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ミガキ [内]ハケ,ミガキ	第1b面	流路	01	10%以下
176	210	1375	06-2	176	土師器	鉢	不良	古墳中 ～後期	(12.6) (3.3)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
176	210	1376	06-2	198	製塩 土器	埴形	不良		(12) (3.4)	[外]浅黄橙7.5YR8/3 [内]淡橙5YR8/4	やや粗(1mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
176	209	1377	06-2	48	土師器	埴	やや 不良	古墳中 ～後期	(11.8) (4.2)	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]にぶい橙7.5YR6/4	密(1mm以下の砂粒)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	
176	210	1378	06-2	153	製塩 土器	埴形	不良	古墳 前期	(8) (4.6)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01	
176	209	1379	06-2	171	製塩 土器		良		(6.8) (5.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]にぶい褐7.5YR6/4	やや密(3mm以下の砂礫・雲 母微量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
176	210	1380	06-2	43	製塩 土器	コップ形?	不良	古墳 中期	— (2.2)	[外]にぶい橙5YR7/4 [内]灰褐7.5YR6/2	やや密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ,格子タタキ [内]ナデ,爪痕	第1b面	流路	01	
176	210	1381	06-2	153	製塩 土器	コップ形	不良	古墳 中期	(6) (4.9)	[外]明赤褐5YR5/6, 灰褐5YR4/2 [内]にぶい褐7.5YR6/3, 灰褐5YR5/2	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]タタキ [内]押圧	第1b面	流路	01	
176	210	1382	06-2	160	製塩 土器	コップ形	やや 良	古墳 中期	— (10.5)	[外]にぶい黄橙10YR7/3, 褐灰10YR4/1,灰白 10YR7/1,淡赤褐2.5YR7/3 [内]灰白10YR6/1, 褐灰10YR5/1	やや粗(4.5mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]押圧後ナデ,一部タタキ(底部)	第1b面	流路	01	
176	210	1383	06-2	161	製塩 土器	壺形?	不良		(14) (3.35)	[外]橙5YR6/6 [内]にぶい黄褐10YR5/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (38)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構面・ 層名	遺構名		備 考
									上:口径 下:器高					遺構 種類	遺構 番号	
176	210	1384	06-2	180	土師器	鉢	不良		(23) (5.7)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR6/1	粗(1.5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ・ハケ?工具ナデ?ハケ?ナデ? [内]ヨコナデミガキ	第1b面	流路	01	
176	210	1385	06-2	189	土師器	鉢?	不良	古墳 中期	(15.8)底 (4.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3	粗(6mm以下の砂礫多い)	[外]ハケ [内]ナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 20%
176	210	1386	06-2	161	土師器	把手付 椀	不良	古墳 後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]—	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 40%
176	210	1387	06-2	181	土製品	有孔 円盤	良		— —	[外]灰褐7.5YR5/2 [内]灰褐7.5YR6/2	密(2mm以下の砂少量,長 石・角閃石・シャモット)	[外]ハケ [内]観察難 孔あり(径3.7×ヨコ4.2×厚み0.75)	第1b面	流路	01	土器片を利用
176	209	1388	06-2	154	土師器	甕	やや 不良	古墳 中期	(16.4) —	[外]浅黄褐7.5YR8/4 [内]灰白2.5Y8/1,黒 2.5Y2/1,浅黄橙7.5YR8/3	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,工具ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ後ハケ,ナデ,工具ナデ, 工具ナデ後ナデ,ユビオサエ後工具ナデ, ユビオサエ	第1b面	流路	01	
176	210	1389	06-2	157	土師器	甌	不良		(10.6) (8)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/1	密(2mm以下の砂礫・シャ モット)	[外]ヨコナデ,ハケ後工具ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ナデ	第1b面	流路	01	口縁部 残存は10%
177	211	1390	06-2	153	土師器	甌	不良	古墳中 ~後期	(22) (23)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデヨコナデ(一部ハケ), ハケ(一部押圧)ハケ,ナデ [内]ヨコナデ,押圧・ハケ・工具ナデ, 押圧・ナデ・工具ナデ	第1b面	流路	01	
177	211	1391	06-2	170	土師器	甌	不良	古墳中 ~後期	(26) (4.75)	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 褐灰10YR6/1 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ [内]ヨコナデ,ハケ	第1b面	流路	01	
177	211	1392	06-2	164	土師器	移動式 甕	不良		— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3, 明褐7.5YR5/6	密(2~4mmの長石・黒色礫 微量,1mm以下の長石・石 英・金雲母・黒色粒多い)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
177	211	1393	06-2	160	韓式系 土器	移動式 甕	不良		— —	[外]にぶい黄橙10YR5/3 [内]にぶい黄橙10YR5/3	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ケズリ?,平行タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
177	211	1394	06-2	189	韓式系 土器	移動式 甕	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR6/4	粗(3mm以下の砂礫多い)	[外]平行タタキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
177	211	1395	06-2	123	土師器	移動式 甕	不良		(2.9)	[外]暗灰黄2.5Y4/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(2mm以下の長石・石 英・雲母・黒色粒多い)	[外]ナデ,ゆびおさえ後ナデ [内]ハケ?タタキ?	第1b面	流路	01	
177	211	1396	06-2	161	土師器	移動式 甕	不良		(3.5)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]にぶい褐7.5YR6/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
177	211	1397	06-2	161	韓式系 土器	移動式 甕	不良	古墳 中期	(32)底 —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR5/2, にぶい橙5YR6/4	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ,平行タタキ,ヨコナデ [内]ナデ(一部押圧),ヨコナデ	第1b面	流路	01	
178	213	1400	06-2	161	土師器	移動式 甕	不良		— —	[外]橙2.5YR6/6 [内]にぶい橙5YR7/4	密(2mm以下の砂礫・角閃 石)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
178	213	1401	06-2	176	土師器	移動式 甕	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2, 黄灰2.5Y4/1	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,工具ナデ	第1b面	流路	01	2067と同一 か
178	213	1402	06-2	176	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]褐灰10YR5/1, 灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の金雲母)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ [内]押圧・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100% 2066と同一 か
179	213	1403	06-2	154	土師器	移動式 甕	不良		(8.1)	[外]にぶい橙7.5YR6/4, 灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい橙5YR6/4	やや粗(2~5mmの長石・黒 色礫少量,1mm以下の長石・ 石英・シャモット・黒色粒多 い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	
179	213	1404	06-2	181	土師器	移動式 甕	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]にぶい橙7.5YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ユビオサエ	第1b面	流路	01	
179	213	1405	06-2	160	土師器	U字形 板状 土製品	不良		— —	[外]暗灰黄2.5Y5/2, オリーブ褐2.5Y4/3 [内]暗灰黄2.5Y5/2	粗(0.9mm以下の砂礫)	[外]ナデ(一部ハケ) [内]ハケ	第1b面	流路	01	
179	213	1406	06-2	175	土師器	移動式 甕	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]灰白2.5Y8/2 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(2mm以下の砂礫多 い)	[外]ユビオサエ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
179	213	1407	06-2	160	土師器	移動式 甕	不良		— —	[外]にぶい橙7.5YR7/4, にぶい橙2.5YR6/4, 黄灰2.5YR5/1 [内]にぶい黄橙10YR7/4	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	
179	213	1408	06-2	191	韓式系 土器	移動式 甕	不良	古墳 中期	(39.8) (5.8)	[外]黒7.5Y2/1 [内]にぶい黄橙10YR6/4	やや粗(2mm以下の砂礫多 い)	[外]平行タタキ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
180	214	1409	06-2	161	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 灰黄褐10YR5/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
180	214	1410	06-2	160	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]黒10YR2/1	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ハケ,ナデ [内]ハケ(一部ナデ)	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
180	214	1411	06-2	188	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい橙7.5Y7/3, 褐灰10YR5/1 [内]褐灰10YR5/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ(一部ハケ),刺突痕? [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
180	214	1412	06-2	190	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]橙5YR6/6, 褐灰10YR5/1 [内]にぶい橙2.5YR6/4	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ハケ,ナデ [内]ハケ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
180	214	1413	06-2	176	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2, にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ [内]ハケ(一部押圧)	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
180	214	1414	06-2	175	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ(一部ハケ),ハケ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
180	214	1415	06-2	211	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰7.5YR6/1	粗(6mm以下の砂礫多い)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
180	214	1416	06-2	160	土師器	把手	不良	古墳中 ~後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3, 灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ,一部ハケ, ユビオサエ・ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
180	214	1417	06-2	129	土師器	把手	不良	古墳 後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/4, 明赤褐2.5YR5/6 [内]—	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ハケ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%

02遺物観察表 (39)

探 目 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	上:口径 下:器高	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
															遺 構 種 類	遺 構 番 号	
180	214	1418	06-2	43	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]にふい橙7.5YR6/4, にふい黄橙10YR7/3, 灰褐7.5YR5/2 [内]—	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
181	214	1419	06-2	75	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい橙5YR6/4	密(1mm以下の長石・石 英,0.5mm以下の金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
181	214	1420	06-2	153	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]灰白10YR8/2, にふい黄橙10YR7/3	密(6mm以下の砂礫)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ [内]観察難	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
181	214	1421	06-2	53	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]浅黄2.5Y7/3	密(1mm以下の長石・石 英,0.5mm以下の金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ・ナデ [内]ナデ,ユビオサエ・ハケ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
181	214	1422	06-2	153	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	やや密(1～3mmの白色長 石・石英・雲母・赤色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
181	215	1423	06-2	160	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]—	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
181	215	1424	06-2	160	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ハケ後ナデ,ナデ [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
181	215	1425	06-2	189	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい橙5YR7/3, にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい橙5YR7/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ユビオサエ・ハケ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
181	215	1426	06-2	175	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]—	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
181	214	1427	06-2	167	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]褐灰10YR6/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ, ハケ,ユビオサエ・ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
181	215	1428	06-2	153	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(4mm以下の長石,3mm以下 の石英,1mm以下の金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ [内]ナデ?	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
181	215	1429	06-2	161	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい褐7.5YR6/3, にふい黄橙10YR6/3 [内]黒褐2.5Y3/1	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ,一部ハケ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
181	215	1430	06-2	188	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR7/2～ 7/3 [内]灰白10YR7/1	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]押圧・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
182	215	1431	06-2	176	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄2.5Y6/3	密(1mm以下の長石・石英多 い)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ [内]押圧・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
182	215	1432	06-2	191	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい橙7.5YR7/3	密(2mm以下の長石・石英・ 黒色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]観察難	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
182	215	1433	06-2	189	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ [内]押圧・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
182	214	1434	06-2	190	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の長石,1mm以 下の石英・黒雲母・褐色 粒)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ [内]ユビオサエ・ナデ(一部ハケ), 押圧(芯部)	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
182	215	1435	06-2	200	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	(4.3)	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]明褐灰7.5YR7/2	やや粗(2mm以下の砂礫・長 石・雲母)	[外]ナデ [内]ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
182	215	1436	06-2	161	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ハケ,ユビオサエ・ナデ(一部ハケ), ユビオサエ・ナデ [内]ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
182	215	1437	06-2	201	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ後ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
182	215	1438	06-2	161	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]暗灰N3/0	密(1mm以下の長石・石 英,0.5mm以下の金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
182	216	1439	06-2	169	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]灰黄褐10YR6/2, 褐灰10YR4/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ [内]ユビオサエ(芯部)	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
182	216	1440	06-2	160	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(1.5mm以下の長石・石 英・金雲母)	[外]ハケ後ナデ,ユビオサエ・ナデ [内]ユビオサエ後工具ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
183	216	1441	06-2	43	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]灰黄2.5Y7/2, 橙5YR6/6 [内]灰黄2.5Y7/2, 橙5YR6/6	密(4mm以下の長石・石英,1 mm以下の橙色粒)	[外]ナデ,ユビオサエ後ナデ,ハケ後ナデ [内]ハケ後一部ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
183	216	1442	06-2	34	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,ユビオサエ・ナデ [内]—	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
183	216	1443	06-2	175	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白2.5Y8/1	密(2mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]押圧(芯部)	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
183	216	1444	06-2	200	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]黒7.5Y2/1 [内]黒7.5Y2/1	やや粗(2mm以下の砂礫多 い)	[外]工具ナデ後ナデ,工具ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
183	216	1445	06-2	161	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	—	—	[外]橙5YR6/6, にふい黄橙10YR6/3 [内]灰白2.5Y7/1, にふい橙5YR6/4	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ,ハケ [内]ハケ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
183	216	1446	06-2	172	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]にふい橙7.5YR7/3, 灰褐5YR6/2 [内]褐灰10YR4/1	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母・橙色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ(一部ハケ) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
183	216	1447	06-2	160	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	—	[外]にふい黄橙7.5YR6/4 [内]にふい黄橙7.5YR6/4	密(3mm以下の長石・石英,1 mm以下の橙色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ(一部ハケ) [内]観察難(芯内面) 内部空洞	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
183	216	1448	06-2	259	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	(6.9)	[外]にふい橙7.5YR7/4 [内]にふい橙7.5YR6/4	やや粗(2mm以下の長石・雲 母・シャモット・砂礫少量)	[外]ハケ・ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 50%
183	217	1449	06-2	200	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	—	(14.5)	[外]黒10YR2/1 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の砂礫・長石)	[外]ヨコナデ,タタキ,タタキ後工具ナデ, ユビオサエ [内]ナデ,工具ナデ後ナデ	第1b面	流路	01	
183	216	1450	06-2	161	韓式系 土器	平底鉢	不良	古墳 中期	(9.4)	(2.3)	[外]灰黄褐10YR4/2 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 20%
184	209	1451	06-2	153	韓式系 土器	壺	やや 不良	古墳 中期	(16.9)	(29.5)	[外]明赤褐5YR5/6 [内]灰褐7.5YR4/2, 黒褐7.5YR3/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,沈線,格子目タタキ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ミガキ,ナデ, ユビオサエ	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (40)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
184	216	1452	06-2	167	韓式系 土器	瓶	不良	古墳 中期	(22) (6.5)	[外]灰黄褐10YR6/2. にふい橙7.5YR6/4. 褐灰10YR6/1 [内]黒5YR2/1. 灰黄2.5Y6/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ.平行タタキ [内]ヨコナデ.ハケ	第1b面	流路	01	
184	217	1453	06-2	167	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	— (7.5)	[外]褐灰10YR4/1. 黒2.5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2. 灰褐7.5YR5/2	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]平行タタキ.沈線 [内]押任.当具痕?	第1b面	流路	01	
184	217	1454	06-2	187	韓式系 土器	鉢	やや 不良	古墳 中期	(25.4) (9.4)	[外]にふい黄橙10YR6/3. にふい褐7.5YR5/4. 黒褐2.5Y3/2 [内]灰黄褐10YR4/2. 黒褐10YR3/1	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ.格子目タタキ [内]ヨコナデ.工具ナデ	第1b面	流路	01	
184	209	1455	06-2	164	韓式系 土器	壺	不良	古墳 中期	(19.3) (8)	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の砂礫・雲母)	[外]ヨコナデ.格子目タタキ [内]ヨコナデ.ユビオサエ	第1b面	流路	01	
184	217	1456	06-2	123	土師器	壺	不良		— (4.4)	[外]黒褐10YR3/1 [内]灰黄褐10YR4/2	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ.沈線.波状文 [内]ヨコナデ.ナデ	第1b面	流路	01	
184	217	1457	06-2	160	瓦質 土器	壺	不良		(17.5) (8.65)	[外]灰5Y6/1~5/1 [内]灰白5Y7/1.黒5Y2/1	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
184	218	1458	06-2	169	瓦質 土器	瓶	やや 不良	古墳 中期	(26.6) (17.35)	[外]灰黄褐10YR4/2. にふい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR6/2. にふい黄橙10YR7/2	密(1.5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ.ハケ後ヨコナデ.ハケ. ハケ後ナデ.ユビオサエ.ナデ(一部ハケ) [内]ハケ後.工具ナデ.ナデ 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01	
185	218	1459	06-2	177	韓式系 土器	瓶	不良	古墳中 ~後期	(26.8) (7.9)	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄褐10YR5/3	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒.2mm以下の黒色粒 多い)	[外]ヨコナデ.平行タタキ後ヨコナデ. 平行タタキ [内]ヨコナデ.ナデ	第1b面	流路	01	
185	218	1460	06-2	177	韓式系 土器	瓶	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄褐7.5YR6/3. 褐灰10YR5/1 [内]にふい黄褐10YR5/3	密(0.5mm以下の長石・石 英.2mm以下の黒色粒多い)	[外]ナデ.刺突痕 [内]ナデ.押任.ハケ.ナデ(芯部) 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01	把手残存は 100%
185	218	1461	06-2	177	韓式系 土器	瓶	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にふい黄褐10YR5/3	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒.2mm以下の黒色粒 多い)	[外]押任.ハケ?ヨコナデ [内]ケズリ?.ハケ?	第1b面	流路	01	2078.2079と 同一か
185	218	1462	06-2	188	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— (5.7)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい橙5YR7/4	やや粗(3mm以下の長石・石 英.シャモット微量)	[外]沈線.縄文タタキ [内]当具痕後.工具ナデ	第1b面	流路	01	
185	218	1463	06-2	201	韓式系 土器		不良	古墳 中期	— (4.6)	[外]橙2.5YR6/6 [内]にふい橙5YR7/4	粗(3mm大の石英多い.2mm 以下の長石・石英・シャモ ット多い)	[外]縄文タタキ後ヨコナデ. 縄文タタキ [内]同心円文	第1b面	流路	01	
185	218	1464	06-2	64	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2. 褐灰10YR4/1 [内]灰黄褐10YR6/2. 褐灰10YR4/1	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母・黒雲母)	[外]ユビオサエ.ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
185	218	1465	06-2	167	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2. にふい黄橙10YR7/3 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1mm以下の長石・石 英.1.5mm以下の橙色・黒色 粒)	[外]ユビオサエ.ナデ.刺突痕 [内]ナデ.押任(芯部) 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
185	218	1466	06-2	155	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ.ナデ(一部ハケ) [内]ユビオサエ.ナデ(芯部) 切り込み(貫通)	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
185	219	1467	06-2	129	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ユビオサエ.ナデ.一部ハケ [内]ナデ 切り込み	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
185	219	1468	06-2	171	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]暗灰N3/0	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ナデ [内]ナデ.ハケ(芯部) 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
185	219	1469	06-2	154	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ナデ.刺突痕 [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 90%
186	219	1470	06-2	161	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい橙5YR6/4. にふい黄橙10YR6/3 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ハケ(一部ユビオサエ). ユビオサエ.ナデ.ハケ [内]ナデ 切り込み(把手上部)	第1b面	流路	01	把手残存は 100% 1972に類似
186	219	1471	06-2	160	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英・ 黒雲母)	[外]ハケ.ユビオサエ.ナデ [内]ハケ後ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 95%
186	219	1472	06-2	161	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ハケ.ユビオサエ.ナデ [内]ハケ後.工具ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100% 1973に類似
186	219	1473	06-2	167	土師器	U字形 板状 土製品	不良		— (9.5)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y6/1	密(6mm大の赤色岩片.角閃 石・石英・雲母)	[外]ヨコナデ.ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
186	219	1474	06-2	123	土師器	U字形 板状 土製品	不良	古墳 中期	— (2.9)	[外]灰5Y4/1 [内]灰5Y4/1	やや粗(1mm以下の長石・石 英・雲母・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
186	219	1475	06-2	160	土師器	U字形 板状 土製品	不良		— —	[外]暗灰黄2.5Y5/2. 黒褐2.5Y3/1 [内]にふい黄2.5Y6/3. 暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
186	219	1476	06-2	212	土師器	U字形 板状 土製品	不良	古墳 中期	— —	[外]にふい黄褐10YR5/4 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(2~5mmの長石少 量.1mm以下の長石・石英・ 雲母・黒色多い)	[外]ナデ(一部ハケ) [内]ナデ	第1b面	流路	01	
186	219	1477	06-2	171	土師器	U字形 板状 土製品	不良		— (8)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(5mm大の赤色岩片.石 英・角閃石・雲母)	[外]ナデ.ハケ? [内]ナデ	第1b面	流路	01	
187	220	1478	03-5	2452	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ~後期	(13) (3.7)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]回転ヘラズリ.ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
187	220	1479	03-5	2452	須恵器	坏身	不良		— —	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ.ナデ.ヘラ記号 [内]ヨコナデ	第1b面	流路	01	
187	220	1480	03-5	2452	土師器	壺	不良	古墳中 ~後期	(22) (3.4)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ.ハケ [内]ハケ	第1b面	流路	01	
187	220	1481	03-5	2452	土師器	壺	不良		(10.8) (2.6)	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白10YR8/1	密(0.5mm以下の長石・石英 少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ.ハケ?	第1b面	流路	01	

02遺物観察表 (41)

探 目 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
187	220	1482	03-5	2452	土師器	壺	不良 弥生後期	— (16) (2.45)	[外]暗灰黄2.5Y5/2, 黒褐2.5Y3/1 [内]にふい黄2.5Y6/3, 暗灰黄2.5Y5/2	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]タタキ?後ナデ,ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01		
187	220	1483	03-5	2452	土師器	甌	不良 古墳中 ~後期	— (4.5)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	220	1484	03-5	2452	韓式系 土器	壺	不良 古墳中 期	— (8.4)	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]褐灰2.5Y5/1	やや粗(2mm大の長石・石英 微量,1mm以下の長石・石 英・金雲母少量)	[外]ヨコナデ,縄文タタキ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	220	1485	03-5	2369	韓式系 土器	把手	不良 古墳中 期	— —	[外]にふい褐7.5YR6/3 [内]淡赤橙2.5YR7/3	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の橙色粒)	[外]ユビオサエ後ナデ, 刺突痕3(把手下部) [内]ユビオサエ後ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%	
187	220	1486	03-5	2399	韓式系 土器	把手	不良 古墳中 期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の金雲母)	[外]縄文タタキ,ユビオサエ,ナデ, 刺突痕1(把手下部) [内]ナデ	第1b面	流路	01	把手残存は 100%	
187	220	1487	03-5	316	弥生土 器	壺	不良 弥生後 期	(12.7) (9.1)	[外]浅黄褐 7.5YR8/3 [内]にふい黄褐10YR5/4	やや粗(3mm以下の長石・石 英少量)	[外]タタキ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01		
187	220	1488	03-5	2288	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(11.2) (4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の金雲母)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後工具ナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	220	1489	06-2	180	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(14.8) (7.8)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(1.5mm以下の砂礫 少量)	[外]工具ヨコナデ,ナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1b面	流路	01	スス付着	
187	220	1490	06-2	180	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (5.2)	[外]にふい褐2.5YR6/4 [内]褐7.5YR4/3	やや粗(礫・長石・雲母)	[外]ヨコナデ,爪痕? [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01	スス・コゲ付 着	
187	220	1491	03-5	2349	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (3.7)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	220	1492	06-2	51	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(25.8) (8.2)	[外]灰黄2.5Y6/2, 灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y6/2, 灰黄2.5Y7/2	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	221	1493	03-5	2319	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (5.2)	[外]にふい褐7.5YR6/3, 褐7.5YR4/3,黒褐2.5Y3/1 [内]明褐7.5YR5/6, 黄灰2.5Y4/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難	第1b面	流路	01		
187	221	1494	06-2	170	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(12) (6.1)	[外]にふい黄褐10YR7/2 [内]にふい黄褐10YR7/2	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	221	1495	03-5	2354	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (2.9)	[外]黒2.5Y2/1 [内]黄灰2.5Y5/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	221	1496	03-5	2286	弥生土 器	壺	不良	(14.7) (4.9)	[外]灰黄褐10YR6/2, 黒褐10YR3/1 [内]褐灰10YR5/1, 灰黄褐10YR5/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ [内]ヨコナデ,工具ナデ,ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01		
187	221	1497	06-2	81	土師器	壺	不良 古墳前 期	(17.7) (3.7)	[外]黒10YR3/1, 灰白10YR8/2 [内]にふい黄褐10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,刻み目	第1b面	流路	01		
188	221	1498	06-2	107	弥生土 器	壺	やや 不良 弥生中 期	(19) —	[外]にふい黄褐10YR7/2, 灰白10YR7/1 [内]にふい黄褐10YR7/2, 褐灰10YR6/1	密(5mm以下の砂礫)	[外]ハケヨコナデ,木葉痕 [内]ハケ,ハケ後ユビオサエ,ナデ, ユビオサエ	第1b面	流路	01		
188	221	1499	03-5	288	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(16.4) —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にふい黄褐10YR7/2	密(4mm以下の長石,2mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ,ハケ(口縁,体部) 観察難(底部) [内]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1500	03-5	2455	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (10.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y7/1	密(3mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1501	03-5	2400	弥生土 器	壺	不良	— (3.9)	[外]にふい黄褐10YR6/3 [内]褐灰10YR6/1	やや密(砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1502	03-5	2313	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— —	[外]黒7.5YR1.7/1, にふい黄褐10YR7/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1503	06-2	154	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(17) (4.4)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ハケ,刻み目 [内]ハケ後ナデ,ハケ	第1b面	流路	01		
188	222	1504	03-5	2314	弥生土 器	壺	不良	(17) (3.9)	[外]黒褐10YR3/1, にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい橙7.5YR7/3・ 5YR7/3	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	01		
188	222	1505	03-5	2322	弥生土 器	壺	不良	(17) (3.4)	[外]黒10YR2/1, 灰白10YR8/2 [内]浅黄橙7.5YR8/3・ 10YR8/3	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1506	03-5	300	弥生土 器	壺	不良 弥生後 期	(18.7) (4.1)	[外]淡黄2.5Y8/3 [内]淡黄2.5Y8/3	やや密(1mm大の長石・石 英,5.5mm大の礫)	[外]ユビオサエ後ナデ,ヨコナデ [内]ユビオサエ後ナデ,ヨコナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1507	03-5	2363	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	(14) (2.7)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ?,波状文	第1b面	流路	01		
188	222	1508	06-2	180	弥生土 器	壺	不良 弥生後 期	(14) (3.5)	[外]灰黄褐10YR6/2, 褐灰10YR4/1 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ,ミガキ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01		
188	222	1509	06-2	144	弥生土 器	無頸壺	不良 弥生中 期	— (3.2)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]浅黄2.5Y7/3	密(0.5mm以下の長石・石英 少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ナデ,押圧 内孔	第1b面	流路	01		
188	222	1510	06-2	166	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (8.7)	[外]にふい黄2.5Y6/3, 黒褐2.5Y3/1 [内]黒褐2.5Y3/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ミガキ,波状文,縞描文 [内]ナデ,ハケ	第1b面	流路	01		
188	224	1511	03-5	2402	弥生土 器	壺	やや 不良 弥生中 期	— (10.9)	[外]にふい黄褐10YR6/3 [内]灰黄褐10YR6/2	密(3mm以下の長石・石英,1 mm以下の橙色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ,縞描文 [内]ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	01		
189	223	1512	03-5	300	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (6.3)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]にふい黄褐10YR5/3	密(3mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]工具ナデ,縞描文 [内]ユビオサエ後工具ナデ	第1b面	流路	01		
189	223	1513	03-5	262	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— (10.2)	[外]灰黄褐10YR4/2 [内]暗灰黄2.5Y4/2	やや密(6mm以下の砂礫)	[外]ナデ,縞描文 [内]ユビオサエ	第1b面	流路	01		
189	223	1514	03-5	2290	弥生土 器	壺	不良 弥生中 期	— —	[外]褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR5/1	やや密(4mm以下の砂礫)	[外]ナデ,縞描文,縞状文 [内]ハケ,ナデ	第1b面	流路	01		

02遺物観察表 (42)

押 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	形 状	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 名 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
189	223	1515	03-5	2247	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ、沈線 [内]ハケ	第1b面	流路	01	
189	223	1516	06-2	77	弥生 土器	壺	不良	弥生 時代	— (4.3)	[外]にふい橙7.5YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、ハケ、刻み目、列点文 [内]ナデ、ハケ	第1b面	流路	01	
189	223	1517	06-2	82	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(7.4)底 (3.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや密(5.5mm以下の砂礫)	[外]ミガキ、ナデ [内]ハケ、ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 50%
189	223	1518	03-5	2363	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (6.3)	[外]灰黄褐10YR6/2、 黒2.5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2、 黒2.5Y2/1	密(0.5mm以下の長石・石英 少量)	[外]ハラミガキ、ナデ [内]ハケ、ナデ	第1b面	流路	01	
189	223	1519	03-5	2443	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	(4)底 (4.3)	[外]にふい黄橙10YR7/3、 にふい橙5YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	やや粗(5mm以下のシャモツ ト多い、1mm以下の長石少 量)	[外]タタキ、工具ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 30%
189	224	1520	03-5	2452	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	3.75 (3.1)	[外]にふい黄7.5YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(3mm以下の長石・石英1 mm以下の金雲母・黒雲母)	[外]タタキ、ナデ、押圧 [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
189	223	1521	06-2	182	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(6.4)底 (4.4)	[外]褐灰10YR4/1 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ、ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
189	224	1522	06-2	82	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(6)底 (4.15)	[外]暗灰黄2.5Y5/2、 灰褐5YR5/2 [内]黒褐2.5Y3/1	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ミガキ、ナデ [内]工具ナデ、ユビオサエ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
189	224	1523	03-5	2452	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(5.6)底 (4.8)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(2mm大の長石・石 英・褐色礫少量、1mm以下の 長石・石英少量)	[外]ナデ、ユビオサエ後ナデ [内]観察雑、一部に押圧	第1b面	流路	01	底部残存は 60%
189	223	1524	03-5	2402	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(5.2)底 (3.3)	[外]にふい赤褐5YR5/3、 暗灰黄2.5Y4/2、黒2.5Y2/1 [内]褐灰10YR4/1	密(2mm大の長石微量、0.5mm 以下の長石・灰褐色粒少 量)	[外]観察雑、ナデ(底部) [内]ユビオサエ、ナデ	第1b面	流路	01	
189	223	1525	03-5	2313	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(5) (5.5)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR5/1	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ハラミガキ、ハケ、ナデ、工具ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	
189	224	1526	06-2	75	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(7.4)底 (3.4)	[外]にふい黄2.5Y6/3 [内]オリーブ黒7.5Y3/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 40%
189	225	1527	06-2	179	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(6.4)底 (5.4)	[外]暗灰黄2.5Y5/2、 黄灰2.5Y4/1 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ、木葉痕 [内]工具ナデ、ユビオサエ後工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
189	225	1528	06-2	180	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(5.2)底 (3.3)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2、 黒10YR2/1、 にふい黄7.5YR5/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ、ユビオサエ、ナデ、木葉痕 [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100% コゲ? 付着
189	223	1529	03-5	2402	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(7) (2.8)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黒2.5Y2/1	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 30%
189	224	1530	06-2	164	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(5)底 (4.9)	[外]褐褐7.5Y6/2、2.RN4/0 [内]暗灰N3/0	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ [内]ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 50%
189	224	1531	06-2	180	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(6.4) (2.9)	[外]灰褐7.5YR6/2 [内]褐灰7.5YR4/1	密(1.5~2mmの長石・石英 微量、1mm以下の長石・石 英・灰色粒・赤灰色粒少量)	[外]工具ナデ、ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 5%
189	224	1532	06-2	33	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(10) (2.3)	[外]褐灰10YR4/1 [内]浅黄2.5Y7/3	密(0.5mm以下の金雲母少 量)	[外]ナデ、ユビオサエ [内]ナデ(工具ナデ?)	第1b面	流路	01	
189	224	1533	06-2	82	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(6.3)底 (5)	[外]にふい橙5YR7/3 [内]にふい橙5YR7/3	やや密(1mm以下の砂礫・雲 母・シャモツ)	[外]ハケ、ミガキ、ユビオサエ、ナデ [内]ハケ、ミガキ	第1b面	流路	01	底部残存は 30%
189	224	1534	06-2	79	弥生 土器	高坏	不良	弥生 中期	(16.6) (4.3)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、刻み目、ミガキ [内]ナデ	第1b面	流路	01	
189	224	1535	03-5	85	土師器	甕	不良	古墳中 ~後期	(19.7) (3)	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]黒褐2.5Y5/1	密(1mm大の長石・雲母・黒 色粒微量)	[外]ヨコナデ(口縁端部)観察雑 [内]ヨコナデ、ナデ?	第1b面	流路	01	
189	224	1536	03-5	54	弥生 土器	鉢	不良	弥生 中期	(22.8) (3.9)	[外]黄灰2.5Y5/1、 灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y5/1	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ミガキ [内]ミガキ	第1b面	流路	01	
189	225	1537	06-2	200	弥生 土器	鉢	やや 不良	弥生 後期	(11.1) (6.5)	[外]にふい黄橙10YR6/3、 にふい橙5YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]タタキ後ナデ、ナデ [内]工具ナデ	第1b面	流路	01	底部残存は 100%
189	225	1538	06-2	198	弥生 土器	高坏	やや 不良	弥生 後期	11.2脚 (4.6)	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ナデ、ハケ、工具ナデ、ユビオサエ [内]ハケ後ナデ、ハケ(脚部)、ナデ(坏部)	第1b面	流路	01	脚部残存は 60%
189	225	1539	06-2	81	弥生 土器	高坏	やや 不良	弥生 中期	(11.9)脚 (9.9)	[外]黒褐7.5YR3/1、 黒褐7.5YR3/2 [内]黒褐7.5YR3/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ハケ後ナデ、ヨコナデ? [内]ナデ、ハケ、ヨコナデ?	第1b面	流路	01	脚部残存は 90%
207	227	1616	03-5	2223	青磁	碗	不良	中世	(5.6) (1.1)	[外]灰白2.5Y8/1 [内]灰白7.5Y8/1	密	[外]ヨコナデ、回転ヘラズリ後ナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第1-5層		01	底部残存は 25%
207	227	1617	03-5	2224	土師器	皿	不良	中世	(10.2) 1.1	[外]にふい黄橙10YR7/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(2mm大の石英微量)	[外]観察雑、一部にユビオサエ [内]観察雑	第1-5層		01	
207	227	1618	03-5	2224	土師器	皿	不良	中世	(10.9) (1.2)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(2mm以下の石英微量)	[外]観察雑、ヨコナデ? [内]観察雑	第1-5層		01	
207	227	1619	03-5	125	土師器	皿	不良	古代	(14.5) (3)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白2.5YR8/2	密(1mm以下の長石・石英・ 雲母・赤色斑粒)	[外]ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ [内]ヨコナデ、ユビオサエ	第1-5層		01	
207	227	1620	03-5	141	土師器	皿	不良	古代	(18) (2.2)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(2mm大の褐色粒微量)	[外]ヨコナデ、ナデ?、ユビオサエ? [内]工具ナデ?	第1-5層		01	
207	227	1621	03-5	2214	黒色 土器	碗	不良	古代	(12) (1.65)	[外]灰白2.5Y8/1、黒N2/0 [内]黒N2/0	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]観察雑、一部にナデ [内]暗文	第1-5層		01	
207	227	1622	03-5	2204	黒色 土器	碗	不良	古代	(3.45)底 (1.6)	[外]黒N1.5/0 [内]黒N1.5/0	密(0.5mm以下の砂礫微量)	[外]ハラミガキ、ヨコナデ [内]ハラミガキ	第1-5層		01	底部残存は 60%
207	227	1623	03-5	2207	土師器	壺	不良	古代	(5.7) (3.05)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1-5層		01	ミニチュア か
207	227	1624	03-5	2224	土師器	壺	不良	古墳 後期	— (4.7)	[外]にふい橙5YR7/4 [内]にふい黄橙10YR7/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]観察雑、波状文 [内]ヨコナデ	第1-5層		01	土師質
207	226	1625	06-2	139	須恵器	壺	やや 不良	古代	(7.1)脚 (3.8)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1~2mmの長石・黒色粒)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ	第2a層		01	底部残存は 100%
207	226	1626	06-2	131	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 後期	(13) (4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(2mm以下の砂礫多 い)	[外]ナデ、ヨコナデ [内]ナデ、ヨコナデ	第2a層		01	

02遺物観察表 (43)

探 目 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
207	227	1627	03-5	141	須恵器	坏蓋	不良	古墳中 ～後期	(11.1, 4.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	やや密(2mm以下の砂礫少 量)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ナデヨコナデ	第1-5層			
207	227	1628	03-5	2209	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳中 ～後期	— (2.9)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0,灰白7.5Y7/1	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ,波状文 [内]ヨコナデ	第1-5層			
207	227	1629	03-5	141	土師器	小型壺	不良	古墳 中期	(10.1, 3.1)	[外]浅黄橙10YR8/4 [内]灰黄2.5Y7/2	やや密(1mm以下の砂粒少 量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ [内]観察難	第1-5層			
207	227	1630	03-5	2223	土師器	壺	不良		(14, 4.5)	[外]にぶい褐7.5YR6/3, 灰褐7.5YR6/2 [内]褐灰10YR6/1	密(3mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層			
207	227	1631	03-5	130	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(17.7, 6.9)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR4/2	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ(口縁部)観察難(体部) [内]ヨコナデ,工具ナデ	第1-5層			
207	226	1632	03-5	121	土師器	壺	やや 良	古墳中 ～後期	(13.2, 15.2)	[外]灰赤2.5YR5/2 [内]灰黄褐10YR4/2	やや粗(1mm以下の石英・ 雲母・褐色粒多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ,ユビオサエ	第1-5層			
207	227	1633	03-5	2222	土師器	甌	不良	古墳中 ～後期	(20.6, 6.2)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1~2mmの長石・黒色 粒・赤色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,押圧	第1-5層			
207	227	1634	03-5	2209	土師器	甌	不良	古墳中 ～後期	— (1.45)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3	やや粗(1~2mmの礫少量)	[外]観察難 [内]観察難,一部押圧	第1-5層			底部残存は 5%
207	227	1635	03-5	136	土師器	壺	不良	古墳 後期	(15, 2.5)	[外]黒10YR1.7/1 [内]黒褐10YR3/1	密(1mm大の長石・石英微 量,0.5mm以下の長石・石英 少量)	[外]ヨコナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層			
207	227	1636	03-5	140	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(18, 3)	[外]褐灰10YR5/1 [内]褐灰10YR5/1	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
207	227	1637	03-5	99	土師器	壺	不良	古墳 後期	(16.6, 3.1)	[外]にぶい黄2.5Y6/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-5層			
207	227	1638	03-5	141	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(5mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]ハケ,ナデ,ユビオサエ, 刺突痕1(把手下部) [内]ナデ?	第1-5層			把手残存は 100%
208	228	1639	03-5	76	須恵器	坏蓋	不良	古墳 後期	(13.6, 3.2)	[外]灰N5/0,灰白N8/0 [内]灰白N8/0	密(0.5mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリ?ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第1-5層			
208	226	1640	03-5	198	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 中期	(11.6, 3.8)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の長石)	[外]回転ヘラズリヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
208	226	1641	03-5	2197	須恵器	高坏蓋	やや 良	古墳中 ～後期	(12, 5.1)	[外]灰N6/0 [内]青灰5PB5/1	やや粗(2mm大の礫少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ナデ,ヨコナデ	第2a層			
208	226	1642	06-2	125	須恵器	有蓋 高坏	やや 不良	古墳中 ～後期	(9.3, 8.6)	[外]暗灰N3/0 [内]灰5Y5/1	やや密(3mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ, 回転ヘラズリ後ナデ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏部) ヨコナデ,ナデ(脚部) 長方形透孔4方向	第2a層			
208	226	1643	03-5	163	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 後期	(13, 3.9)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(2mm以下の長石)	[外]ナデ,回転ヘラズリ [内]ナデ	第2a層			
208	226	1644	03-5	190	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 後期	(13, 4.9)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石,0.5mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第2a層			
208	228	1645	06-2	102	須恵器	坏身	やや 不良	古墳 中期	(11, 5.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(2mm大の微量,1mm以下 の長石少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層			
208	228	1646	03-5	2198	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(11, 3.8)	[外]灰N4/0~6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第2a層			
208	228	1647	03-5	2198	須恵器	坏身	不良	古墳中 ～後期	(10, 4.4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層			
208	228	1648	06-2	141	須恵器	無蓋 高坏	不良	古墳 中期	(19.9, —)	[外]灰黄2.5Y6/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英 多い,2mm大の灰色礫微量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第2a層			
208	228	1649	06-2	141	須恵器	短頸壺	不良	古墳中 ～後期	(10.2, 3.3)	[外]灰N5/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
208	226	1650	06-2	11	須恵器	短頸壺	やや 良	古墳中 ～後期	(8, 19.9)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	やや密(2mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,カキ目,カキ目後ナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ	第2a層			
209	228	1651	06-2	147	須恵器	壺	不良	古墳 中期	(52.0, 5.6)	[外]灰N5/0~4/0 [内]灰N5/0	密(3mm大の長石微量,1mm 以下の長石多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第2a層			
209	228	1652	03-5	62	須恵器	壺	不良	古墳 後期	(57.7, 14.9)	[外]灰7.5Y6/1 [内]灰N6/0	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,沈線,刺突文 [内]ヨコナデ	第1-5層			
209	230	1653	03-5	184	須恵器	大甕	やや 良	古墳中 ～後期	(47.4, 93.8)	[外]灰N4/0,灰白N8/0, 灰N4/0~6/0 [内]灰N4/0~5/0,灰N6/0	密(1mm以下の長石)	[外]ヨコナデ,平行タタキ, 平行タタキ後カキ目,波状文 [内]ヨコナデ,同心円文	第2a層			
210	229	1654	06-2	142	土師器	高坏	不良	古墳 中期	(14.6, 4.3)	[外]橙2.5YR6/6 [内]にぶい橙2.5YR6/4	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,暗文	第2a層			
210	230	1655	03-5	174	土師器	壺	良		6 4.6	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(3mm以下の長石)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			ミニチュア か
210	229	1656	03-5	131	土師器	壺	やや 不良	古墳中 ～後期	(5, 3.45)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]浅黄橙10YR8/3	密(2mm以下の長石,1mm以 下の石英・褐色粒)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			底部残存は 20%
210	229	1657	03-5	2197	製埴 土器	尖底形	やや 不良	古代	(9.8, 5.75)	[外]灰白10YR7/1~8/1 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英 多い,1mm以下の褐色粒少 量)	[外]観察難 [内]ナデ	第2a層			
210	229	1658	03-5	2198	土師器	移動式 甕	不良	古墳中 ～後期	(23.2, 7.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄褐10YR5/2	粗(1mm以下の石英・雲母・ 黒色粒多い)	[外]ナデ,ハケ [内]ハケ	第2a層			
210	229	1659	06-2	141	土師器	甕	不良	古墳中 ～後期	(29.2, 5.5)	[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい褐7.5YR6/3	やや密(シャモット少量)	[外]ヨコナデ [内]ハケ,ヨコナデ,ナデ	第2a層			
210	229	1660	03-5	2198	土師器	把手付 鉢	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(0.5mm以下の長石)	[外]観察難 [内]観察難	第2a層			把手残存は 100%
210	229	1661	06-2	125	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]観察難	第2a層			把手残存は 95%
210	229	1662	03-5	190	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]にぶい橙7.5YR7/4	密(3mm以下の長石,2mm以 下の石英)	[外]ナデ [内]ナデ	第2a層			把手残存は 100%
210	229	1663 1666	06-2	31	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ナデ,ユビオサエ [内]観察難	第2a層			把手残存は 100%

02遺物観察表 (44)

押 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	番 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
210	229	1664	06-2	125	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ナデ [内]ナデ?	第2a層			把手残存は 100%
210	229	1665	06-2	140	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]浅黄橙10YR8/3	密(3mm以下の長石・4mm以下 の石英・1mm以下の橙色 粒)	[外]ユビオサエ・ナデ [内]ナデ	第2a層			把手残存は 90%
213	230	1669	03-5	897	須恵器	ハンウ	やや 不良	古墳 中期	10.5脚 (7.15)	[外]灰10Y6/1 [内]灰10Y6/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデナデ [内]ナデヨコナデ	第1b面	流路	01	
213	232	1670	03-5	810	土師器	高坏	不良	古墳 後期	(15.5) (4.8)	[外]こぶい黄橙10YR6/3 [内]灰黄褐10YR6/2. こぶい橙7.5YR7/4	密(3mmの白石・1mmの赤色 粒)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ・ナデ [内]ヨコナデ・ハケ後ナデ	第1b面	流路	02	
213	230	1671	03-5	819	土師器	高坏	良	古墳中 〜後期	17.2 9.4	[外]こぶい黄橙10YR5/3 [内]こぶい黄橙10YR5/3	密(2mm以下の長石・石英・1 mm以下の橙色粒・金雲母)	[外]ヨコナデ・ナデ(坏部) ナデヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ・ナデ(坏部) 工具ナデヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	02	
213	230	1672	03-5	818	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(15.2) (6)	[外]こぶい橙7.5YR7/4 [内]浅黄橙7.5YR8/3	やや粗(1mm以下の雲母・ 赤色粒・黒色粒・2mm以下の 長石)	[外]ナデ・ハケ後ミガキ・ハケ [内]ハケ・ナデ後ミガキ	第1b面	流路	02	
213	232	1673	03-5	1019	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(20.5) 8.65	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい赤褐5YR5/3	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ・ハケ後ナデ・ナデ [内]ヨコナデ・ハケ・ナデ	第1b面	流路	02	
213	231	1674	03-5	771	土師器	高坏	良	古墳中 〜後期	15 10.65	[外]こぶい黄橙10YR6/3 [内]こぶい黄橙10YR6/3	密(3mm以下の長石・1mm以 下の石英・赤色粒)	[外]ヨコナデ・ハケ(坏部) ヘラミガキヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ・ヘラミガキ(坏部) 工具ナデ・ハケ(脚部) 円形透孔4方向	第1b面	流路	02	
213	232	1675	03-5	816	土師器	高坏	不良	古墳中 〜後期	(15.8) (4.5)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(1mm大の礫)	[外]ナデ・ハケ後ナデ・工具ナデ [内]ナデ・観察不可(坏底部)	第1b面	流路	02	
213	232	1676	03-5	818	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(16.9) (4.55)	[外]こぶい黄橙10YR7/2. こぶい橙5YR7/3 [内]こぶい黄橙10YR7/3. こぶい黄褐10YR5/3	密(3mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ・ハケ後ヘラミガキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	02	
213	231	1677	03-5	816	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(17.3) (5.4)	[外]浅黄橙10YR8/4 [内]こぶい黄橙10YR7/4	密(1mm以下の長石・金雲母 少量)	[外]ヨコナデ・ナデ・ハケ・ハケ後ナデ [内]ヨコナデ・ハケ後ナデ・工具ナデ・ナデ	第1b面	流路	02	
213	231	1678	03-5	802	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	17.2 (4.8)	[外]こぶい橙7.5YR7/4 [内]明褐灰7.5YR7/2	密(1~5mmの長石・石英・ 雲母・黒色粒多い)	[外]ヨコナデナデ [内]ヨコナデ・ナデ(坏部)工具痕(脚部)	第1b面	流路	02	坏部残存は 50%
213	232	1679	03-5	1209	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(17.6) (5.7)	[外]浅黄橙7.5YR8/4 [内]こぶい橙7.5YR6/3	やや密(2mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ・ハケ [内]ヨコナデ・ハケ・ナデ	第1b面	流路	02	
213	232	1680	03-5	819	土師器	高坏	やや 不良	古墳 中期	(16.4) (5.2)	[外]淡橙5YR8/3 [内]淡橙5YR8/3. 暗赤褐10YR3/2	やや粗(2mm以下の長石・石 英・シャモット・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	02	
213	231	1681	03-5	810	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	(11.5)脚 (8.7)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]工具ナデヨコナデ(坏部) ヨコナデ・ハケ後ナデ(脚部) [内]ハケ後ナデ(坏部) ナデ・工具ナデ・ヨコナデ(脚部)	第1b面	流路	02	脚部残存は 40%
213	231	1682	03-5	819	土師器	高坏	やや 良	古墳 中期	(13.2)脚 (8.85)	[外]灰白10YR8/2 [内]淡橙5YR8/4	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヘラミガキ [内]工具ナデ	第1b面	流路	02	脚部残存は 30%
213	231	1683	03-5	816	土師器	高坏	やや 良	古墳中 〜後期	(12.4)脚 (7.3)	[外]こぶい黄橙10YR7/3 [内]こぶい黄橙10YR6/3	密(4mm以下の長石・3mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ・ヘラミガキ [内]観察難	第1b面	流路	02	脚部残存は 60%
213	231	1684	03-5	818	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	9.4脚 (5.4)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(1~3の長石・1mm以下の 黒色粒)	[外]ナデ・ヨコナデ [内]工具ナデ・ヨコナデ	第1b面	流路	02	脚部残存は 80%
213	231	1685	03-5	795	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	10.8脚 (7.3)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]灰白2.5Y8/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヘラミガキ・ヨコナデ [内]工具ナデ・ナデ・ハケ・シボリ痕	第1b面	流路	02	脚部残存は 60%
214	234	1686	03-5	802	土師器	壺	不良	古墳 中期	(13.2) (5.6)	[外]橙2.5YR 6/6 [内]褐灰10YR4/1	粗(3mm以下の長石・石英多 い・0.5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデナデ [内]ヨコナデ・ケズリ	第1b面	流路	02	
214	234	1687	03-5	816	土師器	壺	不良	古墳中 〜後期	(14.2) (4.4)	[外]浅黄橙7.5YR8/6 [内]こぶい橙5YR7/4	密(1.5~4mmの礫)	[外]ヨコナデ [内]ケズリ	第1b面	流路	02	
214	233	1688	03-5	1019	土師器	壺	やや 不良	古墳中 〜後期	(16) (7.9)	[外]浅黄2.5Y7/3. 黒褐2.5Y3/1 [内]灰白10YR8/2	やや粗(2.5mm以下の礫)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ・ハケ [内]ヨコナデ・ユビオサエ・ナデ・ヘラケズリ	第1b面	流路	02	
214	234	1689	03-5	835	土師器	壺	不良	古墳 前期	(13.7) (5.1)	[外]灰白10YR8/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・4mm以 下の石・0.5mm以下の橙色 粒)	[外]ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ナデ	第1b面	流路	02	
214	234	1690	03-5	820	土師器	壺	不良	古墳中 〜後期	(16) (6.4)	[外]こぶい黄橙10YR6/3. 黒N2/0 [内]こぶい黄橙10YR7/2	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ヘラケズリ後ユビオサエ	第1b面	流路	02	
214	234	1691	03-5	924	土師器	壺	不良	古墳 中期	(14.9) (3.9)	[外]黒10YR1.7/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(4mm大の石英微量・1mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ・ナデ [内]ヨコナデ・ナデ	第1b面	流路	02	
214	235	1692	03-5	819	土師器	壺	やや 不良	古墳 前期	(12.8) (7.4)	[外]灰白5YR8/2 [内]灰白7.5YR8/1	やや粗(1mm以下の長石・石 英多い)	[外]ヨコナデ・ナデ? [内]ヨコナデ・ケズリ・ケズリ後ナデ	第1b面	流路	02	
214	233	1693	03-5	817	土師器	壺	不良	古墳 中期	(15.2) (7.6)	[外]黒褐10YR3/1 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1~2mmの長石・石英・ 赤色斑粒多い)	[外]ヨコナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	第1b面	流路	02	
214	235	1694	03-5	1209	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(15.2) (9.2)	[外]灰黄2.5Y6/2. 黒褐2.5Y3/1 [内]浅黄2.5Y7/3	粗(2~4mmの長石・石英多 い・1mm以下の長石・石英・ 黒灰色粒多い)	[外]ヨコナデ・ハケ後ナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ヘラケズリ	第1b面	流路	02	
214	234	1695	03-5	852	土師器	壺	やや 不良	古墳 中期	(16.4) (18.7)	[外]浅黄橙7.5YR8/3 [内]こぶい橙7.5YR7/3	やや粗(1~5mmの長石・雲 母・灰色粒)	[外]ヨコナデ・ナデ・ハケ [内]ヨコナデ・ハケ後ヨコナデ・ ユビオサエ・ナデ	第1b面	流路	02	口縁部 残存は80%
214	233	1696	03-5	1019	土師器	鉢	不良	古墳 前期?	(13.5) 8.4	[外]こぶい橙7.5YR6/4 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ハケ(観察難) [内]ハケ・ハケ後工具ナデ	第1b面	流路	02	
214	233	1697	03-5	819	製塩 土器?	甕形?	不良	古墳 前期?	— (6.75)	[外]褐灰10YR4/1. こぶい橙7.5YR6/4 [内]こぶい黄橙10YR5/3. 灰黄褐10YR4/2	密(1mm以下の長石・石英・5 mm以下の灰色粒)	[外]工具ナデ [内]ユビオサエ・工具ナデ	第1b面	流路	02	
214	235	1698	03-5	819	土師器	器台	やや 不良	古墳 前期	— (3.5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(0.5mm以下の長石・石 英・砂粒少量)	[外]ミガキ [内]工具ナデ 円孔あり(数は不明)	第1b面	流路	02	

02遺物観察表 (45)

探 図 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
214	233	1699	03-5	1209	製塩土器	脚台付 壺形	不良	古墳 前期	(2)脚 (2.5)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(1~2mmの長石・石 英・砂粒)	[外]ナデ? [内]ナデ?	第1b面	流路	02	底部残存は 100%
214	235	1700	03-5	819	土師器	把手	不良	古墳 中期	—	[外]黄灰2.5Y6/1, 浅黄2.5Y7/3 [内]黒5Y2/1	密(0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ユビオサエ,ナデ,ハケ [内]ユビオサエ,ナデ	第1b面	流路	02	把手残存は 100%
215	233	1701	03-5	907	土師器	小型壺	良	古墳 中期	7.3 6.4	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3, 橙7.5YR7/6	密(2mm大の礫)	[外]ヨコナデ,工具ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ	第1b面	流路	02	
215	233	1702	03-5	813	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 中期	(10.8)胴 (8.6)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(2mm大の礫)	[外]ヨコナデ,ナデ,ミガキ,ハケ [内]ヨコナデ,ケズリ	第1b面	流路	02	
215	235	1703	03-5	820	土師器	小型壺	やや 不良	古墳 前期	(10.3) (5.7)	[外]にぶい黄橙10YR5/4 [内]にぶい黄橙10YR6/4	密(2mm以下の長石・石英微 量,0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ミガキ [内]ヨコナデ	第1b面	流路	02	
215	233	1704	03-5	1209	土師器	壺	良		8.85 8.75	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]明褐灰7.5YR7/2	密(1mm大の長石・石英・黒 色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ後ナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ	第1b面	流路	02	
215	235	1705	03-5	819	土師器	壺	不良	古墳 中期	(10.8) (9.2)	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]浅黄橙7.5YR8/3, 灰白2.5Y8/1,灰N5/0	密(1mm以下の長石・石英,4 mm以下の橙色粒)	[外]ヨコナデ,ヨコナデ(一部工具ナデ), 工具ナデ [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	02	
215	235	1706	03-5	800	土師器	壺	不良	古墳 中期	(11.3) (9.95)	[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]にぶい橙7.5YR7/3	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ,工具ナデ(一部押圧) [内]ヨコナデ,ヘラケズリ	第1b面	流路	02	
215	235	1707	03-5	853	土師器	壺	やや 不良	古墳中 〜後期	— (13.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい黄橙10YR6/3	やや密(3mm以下の砂礫)	[外]ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後ナデ,ナデ,ヘラケズリ, ヘラケズリ後ナデ	第1b面	流路	02	古墳時代後 期
215	235	1708	03-5	851	土師器	壺	良	古墳 前期	15.1 35.8	[外]赤褐10R6/8 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗(1mm以下の長石・赤 色斑粒多い)	[外]ヨコナデ(爪痕?),平行タキ後ナデ, ナデ [内]ヨコナデ,ユビオサエ,ナデ,ナデ	第1b面	流路	02	
215	235	1709	03-5	819	弥生 土器	壺?	不良		3.9底 (2.5)	[外]にぶい黄2.5Y6/3 [内]黄灰2.5Y4/1~6/1	やや粗(4mmの礫)	[外]工具ナデ,ナデ,ユビオサエ [内]ユビオサエ後工具ナデ	第1b面	流路	02	底部残存は 100%
220	237	1715	03-5	259	土師器	壺	不良	古墳 前期	(17) (4.85)	[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]褐灰10YR7/2	密(0.5mm大の礫)	[外]ヨコナデ,タタキ [内]ヨコナデ,ケズリ	第2b層			
220	237	1716	03-5	918	土師器	壺	不良	古墳 中期	(18) (2.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ	第2b層			
220	237	1717	03-5	259	土師器	壺	不良	古墳 中期	(15.6) (4.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/4 [内]灰白2.5Y8/2	密(0.6mm大の礫)	[外]ナデ,ハケ [内]ナデ,ハケ	第2b層			口縁部 残存は10%
220	236	1718	03-5	284	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	(14.2) (19.25)	[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]にぶい黄褐10YR5/3	密(4mm以下の長石,1mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,タタキ,竹管文,刺突文 [内]ナデ,ミガキ	第2b層			
220	237	1719	03-5	2299	弥生 土器	壺	不良		(16) (1.9)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR4/1	やや粗(1mm以下の長石・石 英・砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ	第2b層~3 層			
220	237	1720	06-2	104	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(33.5) (3.65)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,刻み目,扇形文 [内]ヨコナデ,ナデ	第2b層 (最下層)			
220	236	1721	03-5	462	弥生 土器	壺	やや 良	弥生 後期	(10.4) 17.7	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(3mm大の礫)	[外]ヨコナデ,ハケ,タタキ [内]ハケ後ナデ,ナデ,ハケ	第2b層			
220	236	1722	03-5	779	弥生 土器	壺	良	弥生 後期	(9.6) 9.2	[外]にぶい黄橙10YR7/3, 暗灰黄2.5Y5/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3	粗(2mm大の礫)	[外]ナデ,タタキ [内]ナデ	第2a層~ 第2b層			
220	237	1723	03-5	896	弥生 土器	鉢	不良	弥生 後期	— (6.9)	[外]黄灰2.5Y6/1, 黒2.5Y2/1 [内]浅黄2.5Y8/3, 黒2.5Y2/1	密(長石,黒色粒,赤色粒)	[外]タタキ,ナデ [内]ナデ	第2b層			
220	237	1724	03-5	807	土師器	壺	不良	古墳中 〜後期	(16) (7.2)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	粗(1~4mmの長石・石英・ 砂粒多い)	[外]観察難,ヨコナデ?(口縁部) [内]観察難,ヨコナデ?(口縁部)	第2b層			
220	237	1725	03-5	602	弥生 土器	壺	不良		(12.5) (8.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y6/1	粗(7mm大の長石多い,4mm 以下の長石・石英・砂粒多 い)	[外]ナデ(口縁部観察難(体部)) [内]ナデ,ハケ	第2b層			
220	236	1726	03-5	303	弥生 土器	壺	不良		(8.2)底 (4.9)	[外]赤褐10R4/3 [内]赤黒10R2/1	やや粗(3mm以下の長石少 量,1.5mm以下の石英少量)	[外]ナデ後ミガキ [内]工具ナデ後ミガキ	第2b層			底部残存は 100%
220	236	1727	03-5	318	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(11.8)底 (5.8)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ハケ,ナデ [内]工具ナデ	第2b層			底部残存は 70%
220	237	1728	03-5	106	弥生 土器	壺	不良		5.75 (2.55)	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(2mm以下の長石・橙色 粒,1mm以下の石英)	[外]ヘラミガキ,ナデ? [内]観察難	第1-5層			底部残存は 100%
220	237	1729	03-5	106	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(3.4)底 (4.4)	[外]褐灰10YR6/1 [内]褐灰10YR6/1	粗(1~3mmの長石・雲母・ 黒色粒)	[外]観察難 [内]観察難	第1-5層			底部残存は 20%
220	237	1730	03-5	2359	弥生 土器	壺	不良	弥生 時代	(4.1) (2.65)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]褐灰10YR6/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]観察難一部に押圧 [内]工具ナデ?	第2b層(砂 ・炭)			底部残存は 30%
220	237	1731	03-5	2359	弥生 土器	高坏	やや 不良	弥生 中期	(14.3)脚 (12.8)	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y4/1	やや粗(1mm以下の長石・石 英・黒色粒・茶色粒多い)	[外]ハケ(一部ミガキ?),ヨコナデ [内]シボリ痕,工具ナデ,ナデ	第2b層(砂 ・炭)			底部残存は 40%
221	236	1732	06-2	98	弥生 土器	水差形 土器	やや 不良	弥生 中期	— (15.8)	[外]褐灰7.5YR4/1 [内]黄灰2.5Y4/1	やや粗(1~3mmの長石・石 英・雲母)	[外]ハケ,ハケ後ケズリ,刺突文 [内]ハケ(一部押圧),ハケ(一部ナデ)	第2b層			
221	236	1733	03-5	938	土師器	手焙形 土器	やや 良	古墳 前期	(16.4) (11.4)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(微細雲母,0.5~1mmの灰 色粒・白色粒少量)	[外]ケズリ後ハケ,ヘラケズリ,ハケ,タタキ, 工具ナデ,ナデ [内]ハケ,ヘラケズリ	第2b層			
221	236	1734	03-5	929	土師器	鉢	やや 良	古墳中 〜後期	(13.9) (7.35)	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]にぶい橙7.5YR7/3	やや密(1~4mmの長石・黒 色粒)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ナデ	第2b層			
222	237	1735	06-2	100	弥生 土器	無頸壺	不良	弥生 中期	(14) (7.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/3	粗(5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ後ナデ	第2-1面	流路	04	
225	239	1739	03-5	2373	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(13.4) (4.7)	[外]黒7.5Y2/1 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm大の長石・石英 少量,1mm以下の長石・黒色 粒微量)	[外]ヨコナデ,工具ナデ?,刻み目 [内]ヨコナデ,ナデ	第2-2b面	土坑	77	
225	239	1740	03-5	2373	弥生 土器	壺	不良	古墳 中期	(12) (5.4)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(3mm大の長石)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ後ナデ,ナデ	第2-2b面	土坑	77	
225	239	1741	03-5	2373	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(24.2) (1.1)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(1.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第2-2b面	土坑	77	

02遺物観察表 (46)

探 査 号	図 版 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構面・ 層名	遺構名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
225	239	1742	03-5	2373	弥生 土器	鉢	不良		(24) (5)	[外]明赤褐5YR5/6 [内]褐7.5YR4/6	密(1mm以下の長石・黒色粒 少量)	[外]ヨコナデ、ヘラミガキ? [内]ヨコナデ?	第2-2b面	土坑	77	
225	239	1743	03-5	2373	弥生 土器	鉢	不良	弥生 中期	(19.6) (5.4)	[外]灰黄褐10YR6/2、 暗灰N3/0 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石、0.5mm以 下の石英・橙色粒)	[外]ヨコナデ、ナデ、櫛描文、刻み目 [内]ヨコナデ、ナデ、刻み目	第2-2b面	土坑	77	
225	238	1744	03-5	2373	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	(5.3)底 (4.3)	[外]灰黄2.5Y6/2、 黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y5/1	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]タタキ、ナデ [内]ユビオサエ、ナデ	第2-2b面	土坑	77	底部残存は 100%
225	238	1745	03-5	2373	弥生 土器	甕	不良		(4.2)底 (2.3)	[外]灰黄褐10YR5/2、 黒褐10YR3/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm大の長石微量、0.5mm 以下の長石多い)	[外]ナデ [内]観察難	第2-2b面	土坑	77	底部残存は 70%
225	239	1746	03-5	2373	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(6.2)底 (1.7)	[外]橙5YR7/6 [内]黒褐10YR3/1	密(0.5mm以下の長石少量)	[外]ナデ? [内]ハケ、押圧	第2-2b面	土坑	77	底部残存は 80%
225	239	1747	03-5	2373	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	—	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(2mm大の長石微 量、1mm以下の長石・石英・ 黒雲母少量)	[外]ナデ、櫛描文 [内]ナデ	第2-2b面	土坑	77	
225	239	1748	03-5	2373	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	—	[外]褐灰10YR4/1 [内]黒褐2.5Y3/1	密(0.5mm以下の長石・石英 多い)	[外]櫛描文 [内]ナデ?	第2-2b面	土坑	77	
225	238	1749	03-5	2378	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(16.4) (8.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・ チャート・雲母)	[外]ヨコナデ、工具ナデ [内]ヨコナデ、工具ナデ	第2-2b面	土坑	78	
225	238	1750	03-5	2378	弥生 土器	甕	不良		(7.4) (4.2)	[外]橙5YR6/6 [内]こぶい黄橙5YR5/3	粗(1~2mmの長石・石英・ 雲母・赤色斑粒)	[外]ハケ、ヨコナデ、工具ナデ [内]ヘラズリ、ナデ	第2-2b面	土坑	78	底部残存は 100%
225	239	1751	03-5	2382	弥生 土器	甕	不良	古墳 中期	(14) (1.6)	[外]黒N1.5/0 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1mm以下の長石・石 英・黒雲母少量)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ハケ	第2-2b面	土坑	80	
225	239	1752	03-5	2396	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(21) (12.6)	[外]灰黄2.5Y7/2、 灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	粗(3.5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ(口縁部)、観察難(ナデ?、ミガ キ?)、波状文 [内]ヨコナデ(口縁部)、観察難(ナデ?)	第2-2b面	土坑	81	
225	239	1753	03-5	2396	弥生 土器	甕	不良		(20) (3.4)	[外]黒N2/0 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(3mm大の長石微 量、1mm以下の長石・黒雲母 少量)	[外]ヨコナデ、ナデ(一部ユビオサエ) [内]ヨコナデ、ナデ	第2-2b面	土坑	81	
225	239	1754	03-5	2396	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(11) (5.7)	[外]黒N2/0 [内]灰黄褐10YR4/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ(一部ナデ) [内]ヨコナデ、観察難(ハケ?)	第2-2b面	土坑	81	
225	239	1755	03-5	2379	弥生 土器	甕	不良		(9) (2.9)	[外]黒2.5Y2/1 [内]灰黄2.5Y6/2	やや密(1mm以下の砂粒少 量)	[外]ヨコナデ、ハケ後ナデ [内]ハケ、ナデ	第2-2b面	溝	25	
225	239	1756	03-5	2379	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(16) (1.7)	[外]暗灰黄2.5Y4/2、 黒2.5Y2/1 [内]こぶい黄橙10YR6/3	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ、波状文 [内]ヨコナデ	第2-2b面	溝	25	
225	239	1757	03-5	2375	弥生 土器	壺(甕)	不良	弥生 中期	(9.4) (8.5)	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ハケ、ナデ、ユビオサエ、工具ナデ	第2-2b面	溝	23	
225	239	1758	03-5	2375	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(16.4) (9.5)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1~5mmの長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ	第2-2b面	溝	23	
225	238	1759	03-5	2375	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	4.3 (4.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR5/1	密(1mm以下の長石・雲母)	[外]工具ナデ、ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ、 木葉痕(底部) [内]工具ナデ、ユビオサエ	第2-2b面	溝	23	底部残存は 100%
226	240	1760	03-5	2376	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(7.6) (3.8)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm大の長石微量、1mm 以下の長石・石英・灰色粒 少量)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ、ナデ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1761	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(17) (7.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ナデ、ハケ	第2-3b面	溝	22	
226	240	1762	03-5	2376	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(33.2) (4.4)	[外]こぶい黄褐10YR5/3、 こぶい黄橙10YR7/2、黒褐 10YR3/1 [内]褐灰10YR6/1	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ナデ、櫛描、波状文 [内]ヨコナデ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1763	03-5	2376	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (8.1)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(4mm以下の長石・石英、2 mm以下の橙色粒)	[外]ナデ?、櫛描文、波状文 [内]ユビオサエ、ナデ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1764	03-5	2376	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	3.8 (2.9)	[外]こぶい黄褐10YR4/3 [内]こぶい橙7.5YR6/4	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]ヘラミガキ、ナデ? [内]観察難、一部にハケ	第2-2b面	溝	22	底部残存は 80%
226	238	1765	03-5	2456	弥生 土器	甕	不良		(4.9)底 (3.05)	[外]こぶい黄橙10YR6/4、 褐灰10YR4/1 [内]黒10YR2/1	やや粗(2mm以下の長石・石 英多い)	[外]工具ナデ、ナデ [内]ハケ	第2-2b面	溝	22	底部残存は 100%
226	240	1766	03-5	2376	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (6.6)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒少量)	[外]ハケ、櫛描文 [内]ハケ(一部ナデ)	第2-2b面	溝	22	
226	240	1767	03-5	2456	弥生 土器	壺	不良	古墳中 ~後期	(16) (14)	[外]黒褐10YR3/1 [内]灰赤7.5YR4/2	密(微細雲母多い、2mm以下 の白色粒少量)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ、工具ナデ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1768	03-5	2376	弥生 土器	壺	不良	古墳 中期	(15.6) (4.7)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	やや密(2.5mm以下の砂礫 微量)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ナデ、工具ナデ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1769	03-5	2376	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(18) (2.6)	[外]灰白10YR7/1 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英 少量)	[外]ヨコナデ、ハケ、刻み目 [内]ヨコナデ、ハケ、ナデ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1770	03-5	2456	弥生 土器	甕	不良		(16.8) (3.8)	[外]黒N1.5/0 [内]灰白5Y8/1	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデ?、ハケ [内]ヨコナデ?、ハケ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1771	03-5	2376	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	(19.4) (3.3)	[外]黒7.5Y2/1 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(2mm大の長石微 量、1mm以下の長石・石英少 量)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ、ナデ?、沈線	第2-2b面	溝	22	
226	240	1772	03-5	2376	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	(15.9) (4.9)	[外]灰白10YR7/1 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(微細長石・石英)	[外]ヨコナデ、ハケ(口縁部)、観察難(体部) [内]ヨコナデ、ハケ	第2-2b面	溝	22	
226	240	1773	03-5	2386	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (2)	[外]こぶい黄橙10YR4/3 [内]こぶい橙5YR7/4	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ、斜格子文 [内]ヨコナデ、ヘラミガキ?	第2-2b面	溝	26	
226	240	1774	03-5	2381	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(20.7) (2.9)	[外]こぶい黄橙10YR6/3 [内]こぶい黄橙10YR6/3	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ(口縁部)、観察難(体部) [内]ヨコナデ、工具ナデ	第2-2b面	溝	27	
226	238	1775	03-5	2377	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	5.3底 (4.3)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]灰黄褐10YR4/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ [内]ナデ	第2-2b面	溝	24	底部残存は 100%
226	238	1776	03-5	2395	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	(5.8) (4.8)	[外]こぶい橙2.5YR6/3 [内]灰黄褐10YR6/2	やや密(1.5mm以下の砂礫 少量)	[外]観察難、ナデ(底部) [内]ナデ	第2-2b面	溝	29	底部残存は 50%
226	241	1777	03-5	2389	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(20) (13.3)	[外]こぶい橙5YR6/4 [内]灰褐7.5YR6/2	粗(3mm以下の長石・石英多 量、0.5mm以下の金雲母微 量、0.5mm以下の赤色斑粒 少量)	[外]ヨコナデ(口縁部)、 観察難(ハケ?ミガキ?) [内]観察難	第2-2b面	溝	29	

02遺物観察表 (47)

探 目 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構層・ 層名	遺構名		備 考
														遺構 種類	遺構 番号	
228	241	1779	03-5	2369	弥生 土器	蓋	やや 不良	弥生 中期	(21.6) (7.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1~3mmの長石・石英・雲 母)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ [内]ナデ,ハケ	第3-2a層			
228	242	1780	03-5	2371	弥生 土器	蓋	不良	弥生 中期	— (2.3)	[外]黒褐10YR3/2, 灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR4/1, 灰黄褐10YR6/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]観察雑 [内]ヨコナデ,ナデ	第3-2a層			
228	242	1781	03-5	2371	弥生 土器	蓋	不良	弥生 中期	— —	[外]褐灰10YR5/1~6/1 [内]灰黄褐10YR5/2~6/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母)	[外]ヨコナデ,押圧 [内]観察雑	第3-2a層			
228	241	1782	03-5	2369	弥生 土器	蓋	やや 不良	弥生 中期	(4)天 (5.4)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y6/1, 黒褐2.5Y3/1	密(2mm大の石英微量,0.5mm 以下の長石・灰色粒少量)	[外]ヨコナデ,工具ナデミガキ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ	第3-2a層			
228	241	1783	03-5	2369	弥生 土器	蓋	不良	弥生 中期	(5.6)天 (3.5)	[外]灰黄2.5Y7/2,灰N4/0 [内]にぶい黄灰10YR7/3, 暗灰N3/0	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石・黒雲母微量)	[外]ハケ後ナデ [内]ハケ後ナデ	第3-2a層			底部残存は 100%
228	242	1784	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(21) (7)	[外]褐灰10YR5/1 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(砂粒多い)	[外]ヨコナデ,ハケ,波状文 [内]ハケ,ハケ後ナデ	第3-2a層			
228	242	1785	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 前期	(12) (0.9)	[外]暗灰黄2.5Y5/2, 黒褐2.5Y3/2 [内]黒褐2.5Y3/1	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石少量)	[外]ヨコナデ,刻み目 [内]ヨコナデ	第3-2a層			
228	242	1786	03-5	2370	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(17.1) (1.2)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y6/1	やや密(砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ナデ [内]ハケ,ナデ	第3-2a層			
228	242	1787	03-5	2370	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(15.9) (1.7)	[外]褐灰10YR5/1 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石 英,0.5mm以下の金雲母)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第3-2a層			
228	242	1788	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(18.8) (1.7)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙7.5YR7/3	密(1~2mmの長石・石英・ 赤色粒・黒色粒)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ヨコナデ	第3-2a層			
228	242	1789	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(21.8) (1.7)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(0.5mm以下の長石・石英 少量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,刻み目 [内]ヨコナデ(口縁端部),観察雑	第3-2a層			
228	242	1790	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (1.8)	[外]黄灰2.5Y5/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(0.5mm以下の長石多い)	[外]観察雑,ヨコナデ,刻み目 [内]観察雑	第3-2a層			
228	242	1791	03-5	2306	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,刻み目 [内]ヨコナデ,ハケ	第3-2a層			
228	241	1792	03-5	2371	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 中期	(19.7) (1.9)	[外]にぶい黄橙20YR6/3 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm大の長石微量,0.5mm 以下の長石・石英金雲母・ 角閃石少量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ, [内]ハケ	第3-2a層			
228	242	1793	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(24) (5.2)	[外]黒褐2.5Y3/1 [内]黄灰2.5Y5/1	やや粗(5mm以下の灰色礫 少量,1mm以下の長石・黒色 粒少量)	[外]観察雑,刻み目 [内]観察雑	第3-2a層			
228	242	1794	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14.8) (8.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや密(2.5mm以下の砂礫)	[外]ハケ後ナデ,ハケ,刻み目 [内]ナデ,ヨコナデ,ハケ,ハケ後ナデ, ユビオサエ	第3-2a層			
228	241	1795	03-5	407	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 中期	(9.65)頸 (8.45)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2mm大の長石・石 英・黒色粒)	[外]ヨコナデ,ナデ,刻み目,描描文 [内]ナデ,ケズリ	第3-2a層			
228	242	1796	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(16) (2.1)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(1~3mmの長石少 量,0.5mm以下の長石・石英 黒雲母少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ハケ,ナデ	第3-2a層			
228	242	1797	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(18.4) (2.4)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(3mm大の長石微 量,0.5mm以下の長石・石英 黒色粒・橙色粒少量)	[外]工具ナデ,ヨコナデ,ハケ [内]工具ナデ,ナデ	第3-2a層			
228	242	1798	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14) (6.7)	[外]にぶい橙7.5YR7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/2	やや粗(4mm大の長石微 量,1mm以下の長石・石英・ 金雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ後ヨコナデ	第3-2a層			
228	242	1799	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(15.6) (2.5)	[外]灰白10YR7/1 [内]灰白10YR7/1	密(1~3mmの長石・石英)	[外]ナデ [内]工具ナデ	第3-2a層			
228	242	1800	03-5	2394	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(16.4) (4.8)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(3mm大の長石・石英微 量,1mm以下の長石・雲母微 量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ	第3-2a層			
228	242	1801	03-5	2306	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(20) (3.2)	[外]黒5Y2/1 [内]灰5Y5/1	密(0.5mm以下の長石・石 英・シャモット多い)	[外]ヨコナデ? [内]ヨコナデ?	第3-2a層			
229	243	1802	03-5	2310	弥生 土器	無頸壺	不良	弥生 中期	(14.5) (5)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y4/1	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,刻み目,波状文,描描文 [内]ヨコナデ,ナデ?	第3-2a層			
229	243	1803	03-5	2306	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (5.2)	[外]淡黄2.5Y7/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 角閃石・橙色粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ,ナデ? [内]ナデ,ハケ後ナデ	第3-2a層			
229	243	1804	03-5	2295	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰白10YR7/1 [内]黒10YR1.7/1	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石・灰色粒少量)	[外]工具ナデ,描描文 [内]観察雑	第2b層~ 第3層			
229	243	1805	03-5	2368	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (5.8)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ナデ,波状文 [内]ナデ,ハケ後ナデ	第3-2a層			
229	243	1806	03-5	2370	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]橙7.5Y7/6 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗(1~5mmの長石・石 英多い)	[外]ハケ,描描文 [内]観察雑	第3-2a層			
229	243	1807	03-5	2370	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(0.5mm以下の長石・金雲 母多い)	[外]ナデ,沈線?,描描文 [内]ナデ	第3-2a層			
229	243	1808	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y5/1	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ハケ,描描文 [内]観察雑	第3-2a層			
229	243	1809	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(3mm大の長石微量,1mm 以下の長石・灰色粒少量)	[外]ハケ,描描文 [内]ナデ	第3-2a層			
229	243	1810	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2, オリブ黒5Y3/1	密(2mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英・灰色粒 少量)	[外]ヨコナデ,波状文 [内]ハケ,ヨコナデ	第3-2a層			
229	243	1811	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰N4/0,黄灰2.5Y5/1 [内]黄灰2.5Y5/1	密(1mm以下の砂粒)	[外]ハケ,描描文 [内]ナデ	第3-2a層			
229	243	1812	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]灰白10YR8/1 [内]黄灰2.5Y4/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ,描描文 [内]工具ナデ	第3-2a層			
229	243	1813	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(10.8) (4)	[外]にぶい黄2.5Y6/4 [内]灰黄2.5Y6/2	粗(5mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]工具ナデ	第3-2a層			
229	243	1814	03-5	2372	弥生 土器	鉢	不良	弥生 中期	(19.1) (4.4)	[外]黒2.5Y2/1 [内]灰黄2.5Y7/2	密(砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ミガキ [内]ヨコナデ,ミガキ,ナデ	第3-2a層			

02遺物観察表 (48)

探 査 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 類 別	遺 構 番 号	
229	243	1815	03-5	2372	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	(20) (4.6)	[外]灰黄2.5Y7/2, 暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(0.5mm以下の長石・石 英・雲母・黒色粒微量)	[外]ヨコナデミガキ [内]ハケミガキ	第3-2a層				
229	243	1816	03-5	2371	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	(25.3) (3.4)	[外]橙5YR6/6 [内]橙5YR6/6	密(1.5mm以下の長石・石 英・雲母)	[外]ヨコナデハケ [内]ヨコナデ,ユビオサエ後ナデ	第3-2a層				
229	243	1817	03-5	2371	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	(28) (3.7)	[外]表面剥離のため観察 不可 [内]こぶい黄橙10YR7/3	やや粗(1~2mmの長石・石 英・雲母)	[外]観察不可 [内]ヨコナデハケ後ナデ	第3-2a層				
229	243	1818	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	— (1.5)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(1~2mmの長石・石英・ 雲母)	[外]ヨコナデ,ユビオサエハケ [内]ヨコナデハケ?	第3-2a層				
229	243	1819	03-5	2371	弥生 土器	高坏	やや 不良 弥生 中期	(18) —	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(1~3mmの長石・石英・ 雲母)	[外]ヨコナデハケ後ナデ(坏部), ハケ,ユビオサエナデ(脚部) [内]ヨコナデ,ナデ(坏・脚部)	第3-2a層				
229	243	1820	03-5	2371	弥生 土器	高坏	不良 弥生 中期	(9.2) (2.2)	[外]褐灰10YR4/1 [内]褐灰10YR5/1	密(1.5mm以下の砂礫少量)	[外]ハラミガキ,ナデ [内]ナデ	第3-2a層				
229	243	1821	03-5	2306	弥生 土器	高坏	不良 弥生 中期	(11)脚 (2.4)	[外]淡黄2.5Y8/4 [内]淡黄2.5Y8/4	やや粗(1~2mmの長石・石 英)	[外]ヨコナデ? [内]ハケ	第3-2a層				
229	243	1822	03-5	2370	弥生 土器	高坏	不良 弥生 中期	(11)脚 (4.7)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]暗灰N3/0	やや粗(5mm以下の長石微 量,1mm以下の長石・石英少 量)	[外]ミガキ,ヨコナデ [内]工具ナデ,シボリ痕?	第3-2a層				
229	243	1823	03-5	2371	弥生 土器	高坏	不良 弥生 中期	(12)脚 (3.6)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm大の長石・石英・褐 灰色礫微量,1mm以下の長 石・石英・雲母・灰色粒少 量)	[外]ハケ,ヨコナデ [内]ハケ,ヨコナデ	第3-2a層				
229	243	1824	03-5	2371	弥生 土器	高坏	不良 弥生 中期	— (2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR5/2	やや粗(2mm大の長石微 量,1mm以下の長石・石英・ 黒雲母多い)	[外]観察難(脚),ナデ(脚端部) [内]ヨコナデ	第3-2a層				
229	243	1825	03-5	2368	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(19.6) (2.35)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(0.5mm以下の長石多い)	[外]ヨコナデ,刻み目,波状文 [内]ヨコナデ	第3-2a層				
229	243	1826	03-5	2371	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	(16) (2.2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(0.5mm以下の長石・茶色 粒少量)	[外]ナデ,ヨコナデハケ,刻み目 [内]ナデハケ	第3-2a層				
229	243	1827	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 後期	— (1.8)	[外]黒2.5Y2/1 [内]こぶい黄2.5Y6/3	密(2mm大の長石・石英・灰 色礫少量,0.5mm以下の長 石・石英微量)	[外]ヨコナデハケ,刻み目 [内]ナデハケ	第3-2a層				
229	243	1828	03-5	2368	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	— —	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR4/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ?刻み目,沈線,波状文 [内]ヨコナデハケ後ナデ?	第3-2a層				
230	244	1829	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(13.4) (2.7)	[外]灰黄褐10YR4/2~6/2 [内]灰黄褐10YR4/2, こぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英微 量)	[外]ヨコナデハケ [内]ハケ	第3-2a層				
230	244	1830	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(16) (3.3)	[外]黒10YR2/1 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(1~6mmの長石・石 英・雲母)	[外]ナデハケ [内]ナデハケ?	第3-2a層				
230	244	1831	03-5	2368	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(14) (5.5)	[外]灰黄2.5Y6/2, 黄灰2.5Y4/1 [内]黄灰2.5Y4/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハケ?後ナデ [内]ヨコナデ	第3-2a層				
230	244	1832	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(14) (2.65)	[外]黒10YR2/1, こぶい黄褐10YR5/3 [内]こぶい黄橙10YR7/2, 灰黄褐10YR4/2	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ナデハケ [内]ハケ後ナデ,ヨコナデ	第3-2a層				
230	244	1833	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(15.9) (2.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y4/1,黒5Y2/1	密(2mm以下の長石・石英,1 mm以下の黒雲母)	[外]ヨコナデハケ後一部ナデ [内]ヨコナデハケ,ナデ,ユビオサエ, 工具ナデ	第3-2a層				
230	244	1834	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(17.2) (5.7)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y5/1	密(3mm以下の砂礫少量)	[外]ナデ,ヨコナデハケ後ナデハケ [内]ハケ,工具ナデ	第3-2a層				
230	244	1835	03-5	2394	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(12.6) (4.3)	[外]黒褐10YR3/2 [内]黒褐10YR3/2	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデハケ [内]ハケ,工具ナデ	第3-2a層				
230	244	1836	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(13.8) (4.4)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(2mm大の石英・黒色礫・ 灰色礫微量,1mm以下の長 石・石英・灰色粒少量)	[外]ヨコナデハケ [内]ヨコナデハケ	第3-2a層				
230	244	1837	03-5	2398	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	— (5)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR5/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ(口縁部),観察難 [内]ヨコナデハケ後ナデ,ナデ	第3-2a層				
230	244	1838	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(15.8) (3.6)	[外]こぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(0.5mm以下の黒色粒微 量)	[外]ヨコナデハケ,ユビオサエ [内]ハケ,ナデ	第3-2a層				
230	244	1839	03-5	2305	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	— (2.8)	[外]黄灰2.5Y5/1 [内]灰黄2.5Y7/2	密(0.5mm以下の長石多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第3-2a層				
230	244	1840	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(17.9) (5.4)	[外]こぶい黄橙7.5YR7/3 [内]灰白10YR8/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデハケ [内]ヨコナデハケ	第3-2a層				
230	244	1841	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良 古墳中 ~後期	(19.6)底 (4.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(1mm以下の長石・石 英少量)	[外]ヨコナデ一部工具ナデハケ後ナデ [内]ヨコナデハケ	第3-2a層				
230	244	1842	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 古墳中 ~後期	(37.8) (7.9)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]灰白2.5Y8/2	やや粗(3mm大の長石微 量,1mm以下の長石・橙色粒 多い)	[外]ヨコナデハケ [内]ヨコナデハケ	第3-2a層				
230	244	1843	03-5	2393	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	— (3.7)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]こぶい黄橙10YR6/3	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ,ハラミガキ? [内]ヨコナデ,ナデ	第3-2a層				
230	244	1844	03-5	2371	弥生 土器	鉢	不良 弥生 中期	(22) (4.7)	[外]こぶい黄橙10YR6/3 [内]褐灰10YR6/1	やや粗(3mm大のシャモツ 微量,1mm以下の長石・石 英・黒灰粒多い)	[外]ヨコナデ,ハラミガキ [内]観察難	第3-2a層				
230	244	1845	03-5	2399	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	— (3.4)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ナデ,ユビオサエ [内]ヨコナデ,工具ナデ	第3-2a層				
230	244	1846	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(14) (4)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]こぶい黄橙10YR6/3	密(2mm大の長石・石英微 量,0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデハケ [内]ヨコナデ,ナデハケ	第3-2a層				
230	244	1847	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	(14.8) (4.25)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]黄灰2.5Y6/1	密(1mm大の長石少量,0.5mm 以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデハケ?工具ナデ? [内]ヨコナデ,ナデ	第3-2a層				
230	244	1848	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良 弥生 中期	— —	[外]黒褐10YR3/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(0.5mm以下の長石・石 英・金雲母)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデハケ	第3-2a層				

02遺物観察表 (49)

探 四 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構 面・ 層 名	遺構 名		備 考
														遺 構 種 別	遺 構 番 号	
230	244	1849	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良		(17.4) (1.6)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]褐灰10YR6/1	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ [内]ナデ	第3-2a層			
230	244	1850	03-5	2306	弥生 土器	壺	不良	古墳 中期	(17.4) (5.1)	[外]にふい黄橙10YR6/3 [内]にふい黄橙10YR6/3	粗(3mm以下の砂礫多い)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ	第3-2a層			
230	244	1851	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(15.9) (3)	[外]褐灰10YR4/1、 黄灰2.5Y6/1 [内]灰黄褐10YR4/2、 灰白5Y8/1	密(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ、刻み目 [内]観察難	第3-2a層			
230	244	1852	03-5	2371	弥生 土器	鉢	不良	弥生 前期	(14) (3.9)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]暗黄2.5Y5/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]ハケ、ナデ	第3-2a層			
230	244	1853	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良		(16) (2.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]にふい黄2.5Y6/3	密(2~3mmの長石微量、1mm 以下の長石・黒色粒微量)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ	第3-2a層			
231	245	1854	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(7.6)底 (7.5)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1~2mmの長石・石英・砂 粒多い)	[外]ミガキ、ナデ [内]観察難	第3-2a層			底部残存は 30%
231	245	1855	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(6.8)底 (4.35)	[外]灰黄2.5Y7/2、 黄灰2.5Y5/1 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヘラミガキ、ナデ [内]ハケ後工具ナデ	第3-2a層			底部残存は 20%
231	245	1856	03-5	2370	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(9.4) (3.4)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の砂礫微量)	[外]ハケ、ナデ、木葉痕 [内]ヨコナデ、ナデ	第3-2a層			底部残存は 40%
231	245	1857	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(11.4)底 (5)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR4/1	密(0.5mm以下の長石・橙 色粒多い)	[外]ミガキ、観察難(底部) [内]観察難	第3-2a層			底部残存は 100%
231	245	1858	03-5	2310	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(10.4) (6.4)	[外]にふい黄橙10YR6/3、 オリブ黒2.5Y3/1 [内]灰黄褐10YR6/2、 オリブ黒2.5Y3/1	粗(砂粒多い、0.5~2mmの礫 少量)	[外]ヘラミガキ、ナデ [内]ハケ、ユビオサエ、ナデ	第3-2a層			底部残存は 40%
231	245	1859	03-5	2306	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(6.7)底 (3.4)	[外]にふい橙5YR7/4、 灰白10YR8/2 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(2mm以下の長石・石英、1 mm以下の橙色粒)	[外]ハケ、ユビオサエ、ナデ、木葉痕 [内]観察難(ナデ?)	第3-2a層			底部残存は 40%
231	245	1860	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(10)底 (6.4)	[外]にふい黄橙10YR6/3、 橙5YR7/6、黒褐10YR3/1 [内]灰黄褐10YR5/2、 橙5YR7/6	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ、木葉痕 [内]ハケ、ユビオサエ	第3-2a層			底部残存は 50%
231	245	1861	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(4.4)底 (4)	[外]にふい黄橙10YR7/3、 灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR4/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ、木葉痕 [内]ユビオサエ	第3-2a層			底部残存は 80%
231	245	1862	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(9)底 (4.7)	[外]にふい黄橙10YR6/3、 黒褐2.5Y3/1 [内]黄褐2.5Y5/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ユビオサエ、ナデ、木葉痕 [内]ハケ後ナデ	第3-2a層			底部残存は 50%
231	245	1863	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(5)底 (3.3)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]灰黄褐10YR6/2	やや粗(3mm以下の砂礫少 量)	[外]ハケ、ナデ、ハケ後ナデ [内]ナデ	第3-2a層			底部残存は 50%
231	246	1864	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(8)底 (3.1)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]暗黄2.5Y5/2	やや粗(4mm以下の砂礫多 い)	[外]ハケ、ナデ [内]ナデ	第3-2a層			底部残存は 40%
231	246	1865	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(7.2)底 (2.7)	[外]灰2.5Y7/2 [内]灰2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 金雲母少量)	[外]ハケ後工具ナデ?ミガキ?、ナデ [内]ナデ(一部ハケ?)	第3-2a層			底部残存は 50%
231	241	1866	03-5	2399	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(8.2)底 (5.4)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	密(1~5mmの長石・石英・雲 母)	[外]ハケ、ナデ [内]工具ナデ、ユビオサエ	第3-2a層			底部残存は 50%
231	246	1867	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(5.6)底 (4.9)	[外]暗黄2.5Y5/2 [内]黒2.5Y2/1	密(0.5mm以下の長石・黒色 粒・橙色粒多い)	[外]ミガキ、ナデ [内]観察難(一部ユビオサエ)	第3-2a層			底部残存は 50%
231	241	1868	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良		5.45底 (3.25)	[外]オリブ黒5Y3/1、 暗灰N3/0 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]観察難(体部)、ヨコナデ、ナデ(底部) [内]ナデ、ユビオサエ(底部)	第3-2a層			底部残存は 100%
231	241	1869	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良		(5.2)底 (2.1)	[外]にふい黄橙10YR7/2、 褐灰10YR4/1 [内]にふい黄橙10YR7/3、 黒褐10YR3/1	密(2mm大の長石微量、0.5mm 以下の長石・石英多い)	[外]観察難 [内]ユビオサエ	第3-2a層			底部残存は 50%
231	247	1870	03-5	2305	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(5.1)底 (3.4)	[外]灰黄2.5Y7/1 [内]黒2.5Y2/1	密(1~2mmの長石・石英・ 雲母)	[外]ハケ後ヨコナデ、ヨコナデ、ナデ、木葉痕 [内]ハケ、ナデ	第3-2a層			底部残存は 95%
231	246	1871	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(4.8)底 (1.9)	[外]暗黄2.5Y5/2 [内]暗黄2.5Y5/2	やや粗(5mm以下の白色砂 礫多い)	[外]ユビオサエ?後ナデ、観察難(底部) [内]工具ナデ	第3-2a層			底部残存 90%
231	246	1872	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(4.6)底 (3.2)	[外]灰黄2.5Y7/2、 黄灰2.5Y6/1 [内]灰黄2.5Y7/2、 黄灰2.5Y6/1	密(3mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ナデ、木葉痕 [内]ユビオサエ後ナデ、ユビオサエ	第3-2a層			底部残存は 40%
231	246	1873	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(5.7)底 (5.2)	[外]灰黄2.5Y6/2、 黄灰2.5Y4/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の長石、4mm以 下の石英)	[外]工具ナデ(一部ハケ)、ヨコナデ [内]工具ナデ?、ユビオサエ	第3-2a層			
231	246	1874	03-5	2369	弥生 土器	壺	不良		(6.1)底 (2.3)	[外]にふい黄橙10YR7/4 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(1~3mmの長石・石英多 い)	[外]観察難(工具ナデ?) [内]観察難	第3-2a層			底部残存は 30%
231	247	1875	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(5.2)底 (3)	[外]黄灰2.5Y6/1 [内]黄灰2.5Y6/1	やや粗(1~3mmの長石・石 英・黒色粒)	[外]ナデ [内]ナデ?	第3-2a層			底部残存は 100%
231	246	1876	03-5	2372	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(7)底 (3.1)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(1~4mmの長石・石英)	[外]工具ナデ、ヘラクスリ? [内]工具ナデ、ユビオサエ?	第3-2a層			底部残存は 50%
231	246	1877	03-5	2305	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(8.1)底 (3.4)	[外]灰黄2.5Y7/2、 黒褐2.5Y3/1 [内]黒褐2.5Y3/1	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]ハケ、観察難(底部) [内]ナデ	第3-2a層			底部残存は 100%
231	246	1878	03-5	2371	弥生 土器	壺	不良		(6.6)底 (3.2)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	粗(1~6mmの長石・石英多 い)	[外]観察難、ナデ(底部) [内]観察難	第3-2a層			
232	246	1879	03-5	2369	縄文 土器	鉢	不良	縄文 時代	(14) (5.4)	[外]黒2.1Y2/1 [内]黒褐2.5Y3/2	密(0.5mm以下の長石・石英 少量)	[外]ナデ、ハケ、刻み目 [内]ハケ、ナデ	第3-2a層			
232	246	1880	03-5	2392	弥生 土器	鉢	不良	弥生 中期	— (4.5)	[外]浅黄2.5Y7/3、 にふい黄2.5Y6/3 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ミガキ?、ユビオサエ [内]ヨコナデ、ナデ	第3-2層 ~4層			
232	246	1881	03-5	2280	弥生 土器	鉢	不良	弥生 中期	(27.8) (4)	[外]にふい橙7.5YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]観察難、ヨコナデ(口縁端部) [内]観察難	第3-3b 層?			
232	247	1882	06-2	173	土師 器?	高坏	やや 不良	古墳中 ~後期	— (5)	[外]にふい橙7.5YR7/4 [内]にふい橙7.5YR7/4	やや粗(2.5mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ユビオサエ後ナデ、コナデ [内]クスリ、ヨコナデ	第3-2b層			

02遺物観察表 (50)

探 査 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調査 名	登録 番 号	種 別	器 形	保存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺構 名・ 層 名	遺構 名		備 考
														遺構 種類	遺構 番号	
232	247	1883	03-5	2310	弥生 土器	壺	不良		(6.2)底 (4.8)	[外]灰黄2.5Y7/2, 黒2.5Y2/1 [内]浅黄2.5Y7/3	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]観察難、一部にヘラミガキ? [内]ハケ、ナデ	第3-2b層			底部残存は 100%
232	246	1884	03-5	2299	弥生 土器	壺?	不良		—	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰白10YR7/1	密(0.5mm以下の長石・石英)	[外]ユビオサエ [内]工具ナデ?	第2b層~ 第3層			
232	246	1885	03-5	2280	弥生 土器	壺	不良		(12.3) (4.6)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR4/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ(口縁部)、観察難(ナデ?)	第3-3b 層?			
236	248	1894	03-5	1534	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 後期	(16.8) (12.4)	[外]黒N1.5/0 [内]灰黄2.5Y5/1	密(3mm大の灰色礫微量、1 mm以下の長石・石英・金雲 母少量)	[外]ヨコナデタタキ [内]ヨコナデ、ハケ、押圧	第3-2b 層?			
236	248	1895	03-5	951	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(15.6) (7.9)	[外]黄褐2.5Y5/3、黒N2/0 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ、ハケ、ユビオサエ [内]ハケ	第3-2b層			
236	247	1896	03-5	947	弥生 土器	壺	不良	弥生 後期	(4)底 (7.8)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(2mm以下の長石・金 雲母微量)	[外]工具ナデ?、ユビオサエ、ナデ [内]工具ナデ	第3-1b層			底部残存は 80%
236	247	1897	03-5	1928	弥生 土器	鉢	良		(12.1) (8.2)	[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]にぶい黄褐10YR5/3	やや粗(3.5mm以下の砂礫)	[外]ユビオサエ、ナデ [内]ユビオサエ、工具ナデ	第3-2層			
236	248	1898	03-5	1923	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(30) (4.1)	[外]灰白10YR7/1 [内]灰黄2.5Y6/1、 灰黄2.5Y6/2	やや粗(5mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ? [内]ヨコナデ後ナデ	第3-2層			
236	248	1899	03-5	1263	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(26) (5.15)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(1~4mmの長石・石 英・雲母)	[外]ヨコナデ、ナデ [内]ヨコナデ、ハケ	第3-2b層			
236	248	1900	03-5	1264	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(24.1) (3.2)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]にぶい橙7.5YR7/3	粗(1~3mmの長石・石英多 い)	[外]観察難、刻み目、沈線 [内]観察難	第3-2b層			
236	247	1901	03-5	1080	弥生 土器	壺	100 %	弥生 中期	11.8 16.3	[外]黒褐10YR3/1、 黒10YR2/1 [内]灰黄褐10YR4/2、 黒10YR2/1	やや粗(5mm以下の砂礫多 い)	[外]ヨコナデ、ハケ、ハケ後ナデ、ミガキ [内]ヨコナデ、ハケ、ナデ、ユビオサエ	第3-2b層			
236	248	1902	03-5	1913	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14) (7.8)	[外]オリーブ黒5Y3/1 [内]黒10Y2/1	密(4mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ハケ後ナデ、ユビオサエ [内]ヨコナデ、ナデ、工具ナデ後ナデ、 ユビオサエ	第3層			
236	247	1903	03-5	1921	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	7.5 (5.5)	[外]灰黄2.5Y5/1、暗灰 N3/0 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ヘラズリ後ヘラミガキ、ナデ、 未調整(底部) [内]ヘラズリ、工具ナデ	第3-2層			底部残存は 95%
236	247	1904	03-5	1265	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14) —	[外]灰褐7.5YR4/2、 灰黄2.5Y7/2 [内]褐灰5YR4/1、 にぶい黄褐10YR5/3	やや粗(3mm大の長石微 量、2mm以下の長石・石英・ 灰色粒・赤色粒多い)	[外]ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ、ハケ、 木葉痕 [内]ヨコナデ、ユビオサエ	第3-2b層			
236	247	1905	03-5	951	弥生 土器	壺	不良		(6.2)底 (1.7)	[外]にぶい黄褐10YR5/3 [内]黒褐10YR3/1	やや粗(4mm大の長石・赤褐 色礫微量、2mm以下の長石・石 英・黒雲母・赤色粒多い)	[外]ナデ [内]ユビオサエ、ナデ	第3-2b層			底部残存は 100% 底部外面に 粉状痕あり
236	248	1906	03-5	1285	弥生 土器	高坏	不良	弥生 中期	(22.8) (4.4)	[外]灰黄褐10YR5/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]工具ヨコナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ	第3-2b層			底部残存は 70%
236	248	1907	03-5	1921	縄文 土器	深鉢	不良	縄文 時代	(30) (6.85)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]黄灰2.5Y4/1	粗(3mm大の長石・灰色礫少 量、2mm以下の長石・石英・ 灰色粒多い)	[外]観察難、刻み目? [内]観察難	第3-2層			
236	248	1908	03-5	1521	縄文 土器	深鉢	不良	縄文 晩期	—	[外]暗灰黄2.5Y4/2 [内]暗オリーブ褐2.5Y3/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]観察難 [内]観察難 刻み目?(口縁部)	第3-2b層			
236	248	1909	03-5	1911	縄文 土器	浅鉢	不良	縄文 晩期	(25.9) (2.7)	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]褐灰10YR6/1	密(2.5mm以下の長石)	[外]観察難、浮線文 [内]観察難	第3層			
236	248	1910	03-5	1921	縄文 土器	深鉢	不良	縄文 前期	(27.8) (4.2)	[外]黄灰2.5Y5/1 [内]黄灰2.5Y6/1	粗(1~4mmの長石・石英・ 雲母多い)	[外]ユビオサエ(口縁部)、観察難 [内]観察難 口縁部部の装飾	第3-2層			
236	248	1911	03-5	1272	縄文 土器	深鉢	不良	縄文 中期	—	[外]にぶい橙7.5YR7/4 [内]黒5Y2/1	粗(1~3mmの長石・石英)	[外]観察難、浮線文 [内]観察難	第3-2b層			
237	249	1912	03-5	1567	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(10) (6)	[外]橙5YR7/8 [内]黒褐5YR2/2	やや粗(2mm大の長石微 量、1mm以下の長石・石英・ 金雲母多い)	[外]ナデ、簾状文、描描文 [内]ナデ	第3-2b層			
237	249	1913	03-5	1273	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(17.2) (4.3)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y7/2	密	[外]ハケ、ヨコナデ [内]ハケ、ナデ	第3-2b層			
237	249	1914	03-5	1282	弥生 土器	台付鉢	不良	弥生 中期	(8.2)台 (5.6)	[外]黒N1.5/0 [内]灰黄2.5Y5/1	密(1mm以下の長石・石英・ 灰色粒少量)	[外]ハケ、沈線 [内]ヨコナデ 円孔	第3-2b層			
237	249	1915	03-5	1586	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14) (3.3)	[外]黒2.5Y2/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]工具ナデ、ナデ [内]ヨコナデ	第3-2b層			
237	249	1916	03-5	1567	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(18.4) (3.5)	[外]灰黄2.5Y6/2、 黒2.5Y2/1 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ヨコナデ後ハケ、ハケ [内]ヨコナデ、ヨコナデ後ハケ?	第3-2b層			
237	249	1917	03-5	1567	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(16) (4.8)	[外]黒2.5Y2/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(4mm以下の長石、0.5mm以 下の石英)	[外]ヨコナデ、ハケ [内]ヨコナデ、ハケ	第3-2b層			
237	249	1918	03-5	1936	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 中期	(17.4) (10.0)	[外]黒7.5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2、 黒褐2.5Y3/1	粗(1.5mm以下の砂礫多い)	[外]ナデ、ミガキ? [内]ヨコナデ、ナデ、工具ナデ、ユビオサエ	第3-2層			
237	249	1919	03-5	1940	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(17.2) (3.1)	[外]黒N2/0 [内]にぶい黄橙10YR6/3、 褐灰10YR4/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ、ハケ、刻み目 [内]ハケ	第3-2層			
237	249	1920	03-5	1627	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(16) (4.8)	[外]黒褐2.5Y3/2、 黒2.5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y4/2	密(1mm以下の砂礫少量)	[外]ヨコナデ、ミガキ(一条)、ハケ後簾状文 [内]ヨコナデ、ハケ、ミガキ、ナデ	第3-2層			
237	249	1921	03-5	1287	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(14) (5.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/2、 黒N2/0 [内]灰黄2.5Y7/2	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ [内]ハケ	第3-3a層			
237	249	1922	03-5	657	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (6.1)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(5mm以下の長石、2mm以 下の石英)	[外]ナデ、波状文 [内]ヨコナデ、ナデ	第3-3層			
237	249	1923	03-5	654	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	—	[外]灰黄褐10YR6/2 [内]黒N1.5/0	やや密(2.5mm大の石英・白 石)	[外]ナデ、描描文 [内]ハケ後ナデ	第3-3層			

02遺物観察表 (51)

探 洞 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
237	250	1924	03-5	1288	弥生 土器	壺	不良		(25) (3.8)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(1mm以下の黒雲母 多い,0.5mm以下の長石微 量)	[外]ハケ,ヨコナデ,沈線 [内]ヨコナデ?,ナデ?	第3-3a層			
237	240	1925	03-5	1684	弥生 土器	甕	やや 不良	弥生 中期	(21) —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	粗(3mm大の長石微量,2mm 以下の長石・石英・金雲母 多い)	[外]観察難,沈線,一部ハケ(底部) [内]観察難	第3-3層			
237	250	1926	03-5	1288	弥生 土器	高坏	不良	弥生 中期	(19.9)脚 (1.7)	[外]黒2.5Y3/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(1mm以下の長石・石 英・金雲母少量)	[外]ヘラミガキ,ヨコナデ,工具ナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第3-3a層			
237	250	1927	03-5	1678	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(35.4) (6.4)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(5mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヘラミガキ,ナデ	第3-3層			
238	251	1928	03-5	1925	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(17.5) (3.8)	[外]黒褐10YR3/1 [内]黄灰2.5Y6/1	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ(口縁部),観察難(体部) [内]ヘラミガキ,ハケ?	第3-2層			
238	251	1929	03-5	1685	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(16) (7.9)	[外]黒10YR1.7/1 [内]にぶい黄褐10YR5/3	やや密(2mm以下の砂礫少 量)	[外]ヨコナデ,ハケ後ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ナデ,ハケ後ナデ	第3-3層			
238	250	1930	03-5	1939	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	7.2 (4.9)	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	密(3mm以下の長石,1.5mm以 下の石英)	[外]工具ナデ,ナデ [内]工具ナデ,ナデ	第3-2b層			底部残存は 100%
238	251	1931	03-5	968	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(5.7)底 (1.5)	[外]にぶい黄2.5Y6/3 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1.5mm以下の長石・石 英)	[外]ナデ [内]ナデ	第3-3a層			底部残存は 40%
238	251	1932	03-5	1293	弥生 土器	鉢	やや 不良	弥生 中期	(23.2) (16.05)	[外]褐灰10YR6/1 [内]褐灰10YR6/1	粗(3mm大の長石微量,2mm 以下の長石・石英・金雲母 多い)	[外]ヨコナデ,工具ナデ?ヘラミガキ? [内]ヨコナデ(口縁部),ヘラミガキ	第3-3a層			
238	251	1933	03-5	975	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(24.4) —	[外]黒褐10YR3/1 [内]褐灰10YR4/1	やや密(9mm以下の砂礫・ 小石)	[外]ナデ,ユビオサエ,ハケ [内]ナデ,ユビオサエ	第3-4層			残存率は底 部のみ5%, 口縁部のみ で5%
238	251	1934	03-5	987	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(6.7) (3.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(3mm以下の砂礫)	[外]ナデ,ユビオサエ,ハケ,沈線 [内]ナデ	第3-4層			
238	251	1935	03-5	979	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— (10.6)	[外]黒褐7.5YR3/1 [内]黄灰2.5Y6/1	やや密(1.5mm以下の砂礫 少量)	[外]ナデ,掃描直線文 [内]ナデ,ユビオサエ	第3-4層			
238	250	1936	03-5	969	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	6.1底 (3)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ハケ,ナデ [内]ユビオサエ	第3-4層			底部残存は 100%
238	251	1937	03-5	977	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 中期	(6.6)底 (2.65)	[外]灰5Y4/1 [内]灰黄2.5Y6/2	密(3mm以下の長石・石英)	[外]ヘラミガキ?ユビオサエ,ナデ [内]観察難	第3-4層			底部残存は 50%
238	251	1938	03-5	980	弥生 土器	甕	不良		(6.8)底 (3.4)	[外]黒5Y2/1 [内]にぶい黄橙5YR7/4	粗(3mm大の長石少量,2mm 以下の長石・石英・黒雲母 多い)	[外]観察難 [内]観察難	第3-4層			底部残存は 50%
238	250	1939	03-5	985	土師器	高坏	やや 不良	古墳中 〜後期	18.95 (6.3)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]にぶい黄橙10YR7/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ハケ後ヨコナデ・ナデ,ナデシボリ痕 [内]ハケ後ヨコナデ・ナデ	第3-4層			坏部残存は 90%
238	251	1940	03-5	972	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	(15.2) (6.1)	[外]黒N1.5/0 [内]灰白N7/0	密(3mm大の長石微量,1mm 以下の長石・石英・黒雲母 ・金雲母多い)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ヨコナデ,ハケ,ナデ,ユビオサエ	第3-4b層			
238	251	1941	03-5	972	弥生 土器	壺	不良		(9.2) (3.7)	[外]褐灰10YR4/1 [内]灰黄2.5YR6/2	やや密(4mm以下の礫)	[外]ナデ [内]ナデ,ユビオサエ	第3-4b層			底部残存は 60%
238	251	1942	03-5	1383	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(18.5) (3.15)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1mm以下の長石・石英)	[外]ヨコナデ,ハケ,ユビオサエ,ナデ, 刻み目 [内]ユビオサエ,ナデ,ハケ	第2層			
238	251	1943	03-5	1735	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	— (3.2)	[外]灰黄2.5Y7/2, 暗灰黄2.5Y5/2 [内]黄灰2.5Y6/1, 黒褐2.5Y3/1	やや粗(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ,ユビオサエ,ナデ,木葉痕 [内]観察難	第3層			底部残存は 40%
238	251	1944	03-5	1304	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	— (1.9)	[外]灰白10YR8/1 [内]灰白10YR8/1	やや粗(2mm以下の砂礫少 量)	[外]ナデ,刻み目 [内]ヨコナデ	第1層			
238	251	1945	03-5	1383	弥生 土器	甕	不良	弥生 後期	1.6 (2.55)	[外]灰褐5YR5/2 [内]オリーブ黒7.5Y3/1	密(2mm以下の長石・石英 多い)	[外]ユビオサエ,ナデ [内]観察難	第2層			底部残存は 100%
243	250	1954	03-5	2152	弥生 土器	高坏	やや 不良	弥生 中期	(17.2) 14.4	[外]黒褐10YR3/2 [内]灰黄褐5/2	密(2mm以下の砂礫)	[外]ミガキ,ヨコナデ,沈線 [内]ヨコナデ,ミガキ,ケズリ,ナデ, ユビオサエ	第2b-2層			
243	253	1955	03-5	2155	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]褐灰10YR5/1,にぶい 黄橙5YR7/2 [内]黄灰2.5Y5/1	密(3mm以下の長石・石英多 い)	[外]観察難,沈線 [内]観察難,工具ナデ?押圧?	第2b-2層			
243	253	1956	03-5	2165	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(18.4) (5)	[外]黒褐10YR3/1 [内]灰黄褐10YR6/2	密(1.5mm以下の長石・石 英・黒雲母)	[外]ヨコナデ,工具ナデ,ナデ,掃描文 [内]ヨコナデ,ナデ	第3-2b層			
243	253	1957	03-5	2176	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]浅黄橙10YR8/3 [内]灰白10YR8/1	粗(2.5mm以下の砂礫多 い)	[外]ハケ後ナデ,掃描文 [内]ナデ	第3-2b層			
243	253	1958	03-5	2161	弥生 土器	甕	不良	弥生 中期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰黄2.5Y6/2	密(2mm以下の長石・石英・ 黒雲母)	[外]ナデ,沈線 [内]ナデ	第3-3層			
243	253	1959	03-5	2194	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]黒10YR2/1 [内]黒10YR2/1	やや粗(5mm以下の砂礫)	[外]ナデ,波状文 [内]ナデ	第3-3a層			
243	253	1960	03-5	2160	弥生 土器	壺	不良	弥生 前期	— —	[外]灰5Y5/1 [内]灰5Y4/1,灰オリーブ 5Y5/2	密(3mm以下の砂礫)	[外]ヨコナデ [内]ナデ	第3層〜第 4層			
243	253	1961	03-5	2266	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]黒7.5Y2/1 [内]暗灰N3/0	密(7mm以下の砂礫)	[外]ナデ,沈線 [内]工具ナデ	第3-3a層			
243	253	1962	03-5	2193	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/3 [内]褐灰10YR5/1	密(2mm以下の砂礫)	[外]掃描文 [内]ナデ	第3-3a層			
243	253	1963	03-5	2202	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	— —	[外]黒褐2.5Y3/1, 灰黄2.5Y7/2 [内]暗灰黄2.5Y4/2, 灰白2.5Y8/1	粗(2mm以下の長石・石英・ 灰色砂礫多い)	[外]ハケ,掃描文,連弧文,波状文 [内]ナデ	第3-3a層			
243	252	1964	03-5	2168	弥生 土器	壺	やや 不良	弥生 中期	(11.2) (7.8)	[外]にぶい黄2.5Y6/4 [内]にぶい黄2.5Y6/4	密(2mm以下の長石・石英)	[外]ナデ?,沈線 [内]ユビオサエ,ナデ	第3-3a層			
243	252	1965	03-5	2266	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(6.7)底 (17.9)	[外]暗灰黄2.5Y5/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(1.5mm以下の砂礫 多い)	[外]ナデ,掃描文 [内]ナデ,ナデ後部分的ミガキ	第3-3a層			底部残存は 100%
243	253	1966	03-5	2170	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(6.9)底 (3.5)	[外]にぶい黄2.5Y6/3 [内]にぶい黄橙10YR6/3	粗(2mm以下の砂礫多い)	[外]観察難,ユビオサエ,圧痕?(底部) [内]観察難,ユビオサエ	第3-3a層			底部残存は 95%
243	252 ・ 253	1967	03-5	2182	弥生 土器	壺	不良	弥生 中期	(5.8)底 (2)	[外]にぶい黄橙10YR7/2 [内]灰黄褐10YR5/2, 黒褐10YR3/1	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヘラミガキ,ユビオサエ,ナデ, 観察難(底部) [内]ハケ,ユビオサエ	第3-3a層			底部残存は 40%

02遺物観察表 (52)

押 込 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 類 別	遺 構 番 号	
243	253	1968	03-5	2161	弥生土器	壺	不良	弥生中期	(5.6)底 (3.4)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]灰5Y6/1	やや密(1.5mm以下の砂礫)	[外]ハケ後ナデハケナデ [内]ナデミガキ?	第3-3層			
243	252	1969	03-5	2170	弥生土器	壺	やや不良		(7)底 (3.6)	[外]灰黄2.5Y6/2、 黒褐2.5Y3/1 [内]灰黄2.5Y6/2	やや粗(2mm大の長石・石 英・灰色礫少量、1mm以下の 長石・石英多い)	[外]ナデ [内]ナデ、ユビオサエ	第3-3層			
243	253	1970	03-5	2168	弥生土器	甕	不良		(18) (3)	[外]褐灰10YR4/1 [内]にふい黄2.5Y6/3	やや粗(3mm以下の砂礫)	[外]ユビオサエ、ナデ [内]ナデ	第3-3a層			
243	253	1971	03-5	2179	弥生土器	甕	不良	弥生中期	(19.7) (8.6)	[外]黒7.5Y2/1 [内]灰黄2.5Y6/2	密(1.5mm以下の長石・石 英・黒雲母・橙色粒)	[外]押圧後ココナデ、工具ナデ後 ヘラミガキ [内]ココナデ・ナデ後ヘラミガキ、 ナデ後ヘラミガキ(一部押圧・ハケ)	第3-3a層			
243	252	1972	03-5	2194	弥生土器	甕	やや不良	弥生中期	(5)底 (9.1)	[外]にふい黄橙10YR6/3、 褐灰10YR5/1 [内]黒褐10YR3/1、 暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(5mm以下の砂礫)	[外]ヘラミガキ、ナデ [内]押圧、工具ナデ	第3-3a層			底部残存は 95%
243	252	1973	03-5	2190	弥生土器	壺	不良	弥生中期	(7.6)底 (4.7)	[外]黒2.5Y2/1 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや粗(4mm以下の砂礫少 量)	[外]ミガキ後ナデ、ユビオサエ、ナデ [内]ナデ、ユビオサエ	第3-3a層			底部残存は 100%
243	252	1974	03-5	2149	弥生土器	甕	不良	弥生中期	(11.6)底 (2.6)	[外]にふい黄2.5Y6/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	粗(3mm以下の砂礫)	[外]観察難(一部ミガキ?)、ナデ(底部) [内]ミガキ後ナデ?、ユビオサエ	第3-3層or 第4層			底部残存は 50%
243	253	1975	03-5	2162	弥生土器	壺	不良	弥生中期	(8)底 (6)	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]暗灰黄2.5Y5/2	やや密(砂粒微量)	[外]工具ナデ後ミガキ、ナデ [内]ナデ	第3-3a層			底部残存は 50%
252	254	2015	03-5	1369	瓦	軒丸瓦	不良	古代	—	[外]にふい黄橙10YR7/3 [内]にふい黄橙10YR7/3	やや粗(4mm以下の砂礫)	[外]観察難、複弁蓮華文 [内]欠損しているため不明	近世洪水 砂			
252	252	2016	03-5	1375	土師器	高坏	やや不良	古墳中 ~後期	— (6.9)	[外]にふい橙7.5Y6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(2~4mmの長石・石英微 量、1mm以下の長石・石英・ 金雲母少量)	[外]観察難 [内]シボリ痕、ケズリ、観察難(脚裾部)	近世洪水 砂			
252	254	2017	03-5	1369	埴輪か	形象埴輪	不良		—	[外]にふい橙10YR6/4 [内]にふい橙10YR7/3	密(0.5mm以下の長石・赤茶 色粒微量)	[外]ナデ、ハケ [内]ナデ?	近世洪水 砂			
252	254	2018	03-5	1362	埴輪	円筒埴輪	不良		—	[外]にふい黄橙10YR7/4 [内]にふい黄橙10YR7/4	密(2mm以下の砂礫)	[外]ハケ、ココナデ [内]ハケ	近世洪水 砂			
252	254	2019	03-5	1369	埴輪	円筒埴輪	不良		—	[外]にふい橙10YR6/4 [内]にふい橙10YR6/4	密(2mm大の長石・石英・橙 色礫・シャモット微量、1mm以 下の長石少量)	[外]観察難 [内]観察難一部にナデ	近世洪水 砂			
252	254	2020	03-5	1368	埴輪	盾形埴輪	不良		—	[外]にふい黄橙7.5YR6/4 [内]にふい黄橙10YR6/3	密(2~3mmの長石・黒色礫・ 赤灰色礫少量、1mm以下の 長石・黒色粒・赤灰色粒少 量)	[外]観察難 [内]観察難	近世洪水 砂			
252	252	2021	03-5	965	埴輪	円筒埴輪	不良		—	[外]浅黄橙10YR8/4 [内]浅黄橙10YR8/4	密(1~2mmの長石・石英)	[外]ナデ、ハケ? [内]ナデ 透孔(円形?)	機械掘削 層			
252	254	2022	03-5	1323	埴輪	円筒埴輪か	不良		—	[外]浅黄橙10YR8/4 [内]橙7.5YR7/4	密(1mm以下の長石・橙色 粒多い)	[外]ハケ [内]ユビオサエ、工具ナデ	近世洪水 砂			
252	254	2023	03-5	1006	埴輪	朝顔形埴輪	不良	古墳 前期	— (5.7)	[外]明黄褐10YR7/6 [内]明黄褐10YR6/6	やや粗(5mm大の黒色礫微 量、2mm以下の長石多い)	[外]ココナデ、ユビオサエ [内]ハケ、ユビオサエ	近世耕作 土層			
254	254	2024	03-5	1325	瓦器	椀	不良	中世	(5.8) (2)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]工具ココナデ、ナデ、ココナデ [内]工具ナデ、ナデ、ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2025	03-5	1322	瓦器	椀	不良	中世	(11.9) (2)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石・黒色粒 微量)	[外]ココナデ後ヘラミガキ、ナデ [内]ココナデ後ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2026	03-5	1320	瓦器	椀	不良	中世	(12.1) (2.2)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の灰色粒微 量)	[外]工具ココナデ、ナデ、ユビオサエ [内]ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2027	03-5	1024	瓦器	椀	不良	中世	(15.1) (3.45)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(1mm以下の長石・雲母 少量、0.5mm以下の石英微 量)	[外]観察難 [内]観察難	第1-2層			
254	254	2028	03-5	1326	瓦器	椀	不良	中世	(5.1)底 (1.1)	[外]灰N4/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ、ココナデ [内]ヘラミガキ	第1-2層			底部残存は 40%
254	254	2029	03-5	1333	瓦器	椀	不良	中世	(15.9) (3.15)	[外]黒N1.5/0 [内]黒N1.5/0	密(0.5mm以下の長石・赤色 粒微量)	[外]ココナデ、ナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ [内]ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2030	03-5	1318	瓦器	椀	不良	中世	(14) (3.4)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ココナデ、ヘラミガキ、ナデ、ユビオサエ [内]ココナデ、ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2031	03-5	1333	瓦器	椀	不良	中世	(15) (2.8)	[外]黒N1.5/0 [内]黒N1.5/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ココナデ、ヘラミガキ [内]ココナデ、ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2032	03-5	1037	瓦器	椀	やや不良	中世	(13.7) (5.5)	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(1mm以下の長石・雲母 少量)	[外]ココナデ、ユビオサエ、ナデ [内]ココナデ、ナデ、ヘラミガキ	第1-2層			残存率は高 台のみでは 95%
254	254	2033	03-5	1321	瓦器	椀	不良	中世	(14.8) (3.5)	[外]黒N2/0 [内]黒2.5GY2/1	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ココナデ、ナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ? [内]ココナデ、ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2034	03-5	1333	瓦器	椀	不良	中世	(16) (3.9)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ココナデ、ユビオサエ、ナデ、ヘラミガキ [内]ココナデ、ヘラミガキ	第1-2層			
254	254	2035	03-5	1041	瓦器	椀	不良	中世	(15.6) (4)	[外]灰N5/0 [内]灰N5/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量、0.5mm以下の黒色粒 少量)	[外]ココナデ、ナデ、ユビオサエ? ヘラミガキ? [内]ココナデ	第1-2層			
254	252	2036	03-5	1526	須恵器	坏蓋	やや不良	古墳 後期	(14) (4.2)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(2mm以下の長石微量、1 mm以下の黒色粒少量)	[外]回転ヘラケズリ、ココナデ [内]ココナデ	第1-2層			
254	255	2037	03-5	1523	須恵器	坏身	不良	古墳 中期	(12.4) (3.5)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(4mm以下の長石微量)	[外]ココナデ、回転ヘラケズリ [内]ココナデ	第1-2層			
254	255	2038	03-5	1512	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(14) (3.6)	[外]灰N5/0、灰白N7/0 [内]灰N6/0	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ココナデ、回転ヘラケズリ [内]ココナデ	第1-2層			
254	255	2039	03-5	1526	須恵器	坏身	不良	古墳中 ~後期	(10.8) (4)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm大の黒色粒・灰色粒 微量)	[外]ココナデ、 [内]ココナデ、ナデ	第1-2層			
254	255	2040	03-5	1041	須恵器	短頸壺	やや不良	古墳 後期	(7) (4)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の長石少 量、0.5mm以下の黒色粒微 量)	[外]ココナデ [内]ココナデ	第1-2層			
254	255	2041	03-5	1493	須恵器	壺	不良	古代	(21) (2.6)	[外]灰N4/0、灰5Y6/1 [内]灰白5Y7/1	密(0.5mm以下の黒色粒微 量)	[外]ココナデ [内]ココナデ	第1-2層			
254	255	2042	03-5	1522	土師器	羽釜	不良		(20.4) (2.6)	[外]明褐灰7.5YR7/2 [内]浅黄褐7.5YR8/3	やや粗(2mm以下の長石多 い、1mm以下の石英・黒色 粒・雲母少量)	[外]ナデ、ココナデ [内]ココナデ、ナデ?	第1-2層			

02遺物観察表 (53)

探 出 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	現 存 状 態	時 期	法 量 (mm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 面・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
254	255	2043	03-5	1517	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	— (5.1)	[外]橙5YR6/6, 浅黄橙10YR8/4 [内]橙2.5YR7/6, 浅黄橙10YR8/4	密(2.5mm以下の長石少 量,0.5mm以下の石英・赤色 粒微量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]観察雑	第1-2層			
254	255	2044	03-5	1511	土師器	壺	不良	古墳中 ～後期	(31.4) (6.3)	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]浅黄2.5Y7/4, 黄灰2.5Y5/1	やや粗(2mm以下の長石・黒 雲母・金雲母多い,1mm以 下の赤色粒少量)	[外]ヨコナデ,ハケ [内]ナデ,ハケ	第1-2層			
255	255	2047	03-5	1499	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]浅黄2.5Y8/3 [内]浅黄2.5Y8/3	やや粗(2mm以下の長石多 い)	[外]観察雑,一部にハケ [内]観察雑	第1-2層			把手残存は 95%
255	255	2048	03-5	1499	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]灰黄2.5Y6/2 [内]にぶい黄2.5Y6/3	密(2mm大の長石・赤色微 量,0.5mm以下の長石・雲母 多い)	[外]ヨビオサエ,ナデ [内]観察雑	第1-2層			把手残存は 95%
255	255	2049	03-5	1036	土師器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]にぶい黄橙10YR6/4 [内]にぶい黄橙10YR6/4	密(1mm以下の長石・雲母・ 赤色粒少量)	[外]ヨビオサエ,ナデ [内]観察雑	第1層			把手残存は 100%
255	255	2050	03-5	1041	韓式系 土器	把手	不良	古墳 中期	— —	[外]灰白5Y8/1 [内]灰白5Y8/1	やや粗(2～3mmの長石・茶 色微量,1mm以下の長石・ 石英・金雲母)	[外]ナデ,ヨビオサエ [内]観察雑	第1-2層			把手残存は 100%
255	255	2051	03-5	1537	瓦	軒平瓦	不良	中世	— —	[外]黒N2/0 [内]黒N2/0	やや粗(2mm大の長石・石英 微量,1mm以下の長石・石 英・金雲母多い)	[外]観察雑,斜格子の刻み目 [内]観察雑	第1-2層			額の剥離した 瓦当 珠紋列
256	256	2056	03-5	1365	瓦器	椀	良	中世	12.8 3.6	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,ヘラミガキ,ヨビオサエ,ナデ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラミガキ	第0-4面	溝	33	
257	257	2057	03-5	1543	瓦器	椀	不良	中世	(14.1) 4.7	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ヨビオサエ,ヘラミガキ [内]ヨコナデ,ヘラミガキ	第1-3層			
257	257	2058	03-5	1543	瓦器	椀	不良	中世	(13.6) (3.8)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(2mm以下の長石微量,1 mm以下の長石・石英少量)	[外]ヨコナデ,ヘラミガキ,ヨビオサエ,ナデ [内]ヘラミガキ	第1-3層			
257	257	2059	03-5	1343	瓦器	椀	不良	中世	(14) (3.5)	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ,ヨビオサエ後ナデ, ヘラミガキ [内]ヨコナデ,ナデ,ヘラミガキ	第1-3層			
257	257	2060	03-5	1338	黒色 土器	椀	不良	古代	(14) (3.9)	[外]にぶい黄橙10YR7/3, オリブ黒5Y3/1 [内]黒5Y2/1	密(0.5mm以下の石英・黒雲 母微量)	[外]観察雑 [内]ヘラミガキ	第1-3層			
257	257	2061	03-5	1543	瓦器	椀	不良	中世	(14) (4.5)	[外]暗灰N3/0 [内]暗灰N3/0	密(7mm大の長石・石英・灰 色微量,2mm以下の長石・ 砂粒微量)	[外]観察雑 [内]ヨコナデ,ヘラミガキ	第1-3層			
257	257	2062	03-5	1341	土師器	皿	不良	古代	(9.8) (1.9)	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]灰黄2.5Y7/2	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]観察雑 [内]ヨコナデ,ナデ	第1-3層			
257	256	2063	03-5	1143	須恵器	坏蓋	やや 不良	古墳 後期	(10.5) (4.7)	[外]灰白N7/0～8/0 [内]灰白N7/0～8/0	密(2.5mm大の長石・黒色微 量,1mm以下の長石・黒色 粒少量)	[外]未調整,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-3層			
257	257	2064	03-5	1602	須恵器	鉢	不良	古代	(19.4) (4.7)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の長石・黒色粒 少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-3層			
257	256	2065	03-5	1461	須恵器	長頸壺	不良	古代	(8.8)底 (9.7)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ,ヨコナデ? [内]ヨコナデ	第1-2層 以下			
257	257	2066	03-5	1489	須恵器	蓋	不良	古代	(12.6) 1.8	[外]灰白10Y8/1,灰N5/0 [内]灰白7.5Y7/1	密(1mm以下の砂粒少量)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ナデ,ヨコナデ	第1-2層～ 3層			
257	257	2067	03-5	1465	須恵器	坏蓋	不良	古墳 後期	(10) (3.3)	[外]灰N4/0～6/0, 灰白N7/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の長石・黒色微 量)	[外]回転ヘラズリ後ナデ?ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-2層 以下			
257	257	2068	03-5	1489	須恵器	坏身	不良	古墳 後期	(10.8) (3.2)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の砂粒少量)	[外]ヨコナデ,回転ヘラズリ [内]ヨコナデ	第1-2層～ 3層			
257	256	2069	03-5	1224	灰軸 陶器	坏	やや 不良	古代	(8.6)底 (2.4)	[外]灰白5Y8/1 [内]灰白5Y8/1	密(3mm大の赤色微量,1 mm以下の黒色粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			底部残存は 100%
257	256	2070	03-5	1373	土師器	壺	やや 不良	古墳 前期	(13) (15.7)	[外]橙5YR6/8 [内]橙7.5YR6/6	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ,ハケ?,ヘラミガキ? [内]観察雑(口縁～頸部),ナデ, ヨビオサエ,ハケ?	第1層			
257	257	2071	03-5	1084	土師器	壺	やや 良	古墳 中期	(12.7) (4.1)	[外]にぶい赤橙10R6/3 [内]黒褐5YR2/1	やや粗(1.5mm以下の長石 多い,0.5mm以下の石英・黒 雲母少量)	[外]観察雑,ヨビオサエ [内]観察雑	第1-4層			
257	257	2072	03-5	1084	土師器	壺	不良	古墳 前期	— (1.8)	[外]にぶい黄橙10YR7/3 [内]灰黄2.5Y6/2	粗(3mm以下の砂粒多い)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1-4層			
257	256	2073	03-5	1493	須恵器	鉢	やや 不良	古代	(19.6) —	[外]灰N6/0,灰白N8/0 [内]灰白N7/0	密(1mm以下の灰色粒微量)	[外]ナデ,ヨコナデ [内]ヨコナデ,ナデ?	第1-2層			
257	257	2075	03-5	1462	製塩 土器	深鉢形 ?	不良	古代	— —	[外]にぶい赤橙10YR6/4 [内]にぶい橙5YR7/4	粗(3mm大の長石・赤色微 量,2mm以下の長石・赤色微 量・灰色微・砂粒多し)	[外]観察雑 [内]ナデ	第1-2層 以下			
257	257	2076	03-5	1333	瓦器	椀	不良	中世	(13.6) (3.1)	[外]灰白N8/0,黒N1.5/0 [内]灰白N8/0	密(0.5mm以下の石英微量)	[外]ヨコナデ,ヨビオサエ,ナデ [内]ヘラミガキ	第1-2層			
257	256	2077	03-5	1037	須恵器	坏蓋	良	古墳中 ～後期	(12.3) (4.8)	[外]紫灰5P5/1 [内]青灰5P5/1	やや粗(4mm大の長石微 量,2.5mm以下の長石多い)	[外]回転ヘラズリ,ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1-2層			
257	257	2078	03-5	1462	土師器	把手	不良	古墳中 ～後期	— —	[外]浅黄2.5Y7/3 [内]浅黄2.5Y7/3	密(4mm大の黒色微量,2 mm以下の長石・石英・金雲 母少量)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1-2層 以下			把手残存は 100%
257	257	2079	03-5	1336	韓式系 土器	把手	不良	— —	[外]にぶい黄橙10YR7/2～ 7/3 [内]にぶい黄橙10YR7/3	密(3mm大の長石微量,1.5mm 以下の長石・石英・赤色粒 少量)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1-5層			把手残存は 90%	
258	258	2082	03-5	44	瓦器	椀	不良	中世	(14) (3.35)	[外]灰白5Y8/1,黒N1.5/0 [内]黒N1.5/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,ナデ? [内]ヨコナデ,ヘラミガキ	第1層			
258	258	2083	03-5	44	瓦器	椀	不良	中世	(12.4) (3)	[外]暗灰N3/0 [内]黒N2/0	密(0.5mm以下の長石・石英 微量)	[外]ヨコナデ,ナデ,ヨビオサエ [内]ヨコナデ,ハケ,ヘラミガキ	第1層			
258	258	2084	03-5	770	瓦器	椀	不良	中世	(12.7) 3.9	[外]灰N4/0 [内]灰N4/0～5/0	密(1mm以下の長石・石英 少量)	[外]ヨコナデ,ヨビオサエ後ナデ [内]ヨコナデ,ナデ後ヘラミガキ	第1層			
258	258	2085	03-5	401	瓦器	椀	不良	中世	(13.5) (2.5)	[外]黒2.5GY2/1 [内]黒N2/0	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ナデ,ミガキ [内]ミガキ	第1層			
258	258	2086	03-5	44	瓦器	椀	不良	中世	(14) (3.3)	[外]暗灰N3/0 [内]灰N4/0	密(0.5mm以下の長石・雲母 少量)	[外]ヨコナデ(口縁部)観察雑(体部) [内]ヨコナデ,ヘラミガキ	第1層			
258	258	2087	03-5	398	瓦器	椀	不良	中世	(15.2) (4.8)	[外]黒N2/0 [内]黒N2/0	密(0.5mm以下の砂粒少量)	[外]ミガキ [内]ミガキ	第1層			

02遺物観察表 (54)

押 込 番 号	図 版 番 号	遺 物 番 号	調 査 名	登 録 番 号	種 別	器 形	残 存 状 態	時 期	法 量 (cm)	色 調	胎 土	特 徴	遺 構 画 ・ 層 名	遺 構 名		備 考
														遺 構 種 類	遺 構 番 号	
258	256	2088	03-5	393	黒色土器	椀	やや良	古代	(15.6) (6)	[外]黒5Y2/1 [内]黒5Y2/1	密(2mm以下の長石・赤色粒少量)	[外]ミガキナデ [内]ミガキ	第1層			
258	258	2089	03-5	430	緑釉陶器	碗	やや不良	古代	6底 (1.9)	[外]灰オリーブ5Y4/2 [内]オリーブ黒7.5Y3/2	密(0.5mm以下の砂粒微量)	[外]ヨコナデ・回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1層			底部残存は70%
258	258	2090	03-5	434	須恵器	台付壺	やや不良	古代	8.5底 (1.3)	[外]灰白N7/0 [内]灰白N7/0~8/0	密(3mm以下の長石微量・1.5mm以下の長石・黒色粒少量)	[外]ヨコナデ・回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ後ナデ	第1層			底部残存は70%
258	258	2091	03-5	457	須恵器	坏身	不良	古墳後期	(12) (2.7)	[外]灰N6/0 [内]灰N6/0	密(4mm以下の長石微量・2mm以下の長石少量・1mm以下の黒色粒微量)	[外]ヨコナデ・回転ヘラケズリ [内]ヨコナデ	第1層			
258	258	2092	03-5	405	須恵器	坏身	不良	古墳中～後期	(9.6) (3.8)	[外]灰7.5Y6/1 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の長石・黒色粒多い)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
258	258	2093	03-5	437	須恵器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(9)脚 (6.15)	[外]青灰5B5/1 [内]青灰5B6/1	密(2mm以下の長石少量・0.5mm以下の黒色粒微量)	[外]回転ヘラケズリ・ヨコナデ(坏部) ヨコナデ(脚部) [内]ヨコナデ(坏部)ヨコナデ(脚部) 長方形透孔3方向	第1層			脚部残存は20%
258	256	2094	03-5	392	須恵器	高坏	やや不良	古墳中～後期	(8)脚 (4.5)	[外]灰N6/0 [内]灰N5/0	密(2mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ 長方形透孔3方向	第1層			脚部残存は60%
258	258	2095	03-5	52	須恵器	壺	不良	古墳中～後期	(20) (8.8)	[外]灰白N8/0・灰N4/0 [内]灰N6/0	密(1.5mm以下の長石少量)	[外]ヨコナデ 平行タタキ後カキ目 [内]ヨコナデ	第1層			
258	258	2096	03-5	56	土師器	高坏	不良	古墳中～後期	(14.1) (2.95)	[外]灰白2.5Y8/2・ 灰黄2.5Y7/2 [内]灰白2.5Y8/2・ 灰黄2.5Y7/2	密(1mm以下の長石・石英・ 橙色粒少量)	[外]ヨコナデ [内]ヨコナデ	第1層			
258	258	2097	03-5	5	土師器	埴	不良	古代	(13.2) (3.15)	[外]灰白5Y8/1 [内]灰白5Y8/1	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ・ナデ・ユビオサエ [内]ヨコナデ・ナデ	第1層			
258	258	2098	03-5	35	土師器	埴	不良	古代	(14) (3.1)	[外]灰白10YR8/2 [内]灰白10YR8/2	密(0.5mm以下の長石微量)	[外]ヨコナデ・ナデ [内]ヨコナデ・ヘラミガキ	第1層			
258	258	2099	03-5	392	土師器	皿	不良	古代	(15.3) (2)	[外]灰白10YR7/1 [内]灰黄2.5Y7/2	密(1.5mm以下の長石少量・ 0.5mm以下の石英・雲母 微量)	[外]ヨコナデ・ナデ・ユビオサエ [内]ヨコナデ・ナデ	第1層			
258	258	2100	03-5	1336	土師器	甕	不良	古墳中～後期	(26.6) (2.8)	[外]こぶい橙5YR7/4 [内]こぶい橙5YR7/4	粗(4mm以下の長石少量・0.5mm以下の橙色粒・黒色粒微量)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1-5層			
258	259	2101	03-5	387	瓦質土器	羽釜	不良	中世	(26.4) (7.5)	[外]灰白2.5Y7/1 [内]褐灰10YR4/1	密(2.5mm以下の長石微量・0.5mm以下の長石・石英・灰色粒微量)	[外]ヨコナデ [内]ナデ・ハケ後ナデ・ハケ	第1層			
258	259	2102	03-5	51	瓦質土器	羽釜	不良	中世	(31) (6.7)	[外]灰N4/0 [内]灰白2.5Y7/1	やや粗(2mm以下の長石少量・ 1mm以下の長石・石英・ 灰色粒多い)	[外]ヨコナデ・ユビオサエ? [内]ヨコナデ・ハケ後工具ナデ	第1層			
258	259	2103	03-5	32	瓦質土器	羽釜	不良	中世	— (5.1)	[外]オリーブ灰2.5GY5/1 [内]灰白5Y7/1	密(4~6mmの長石微量・1mm以下の長石・石英少量)	[外]ナデ・ナデ? [内]ハケ	第1層			
258	258	2104	03-5	1992	韓式系土器		不良	古墳中期	— —	[外]こぶい黄橙10YR7/3 [内]黒10YR1.7/1	密(1~2mmの長石・灰色粒微量・ 0.5mm以下の長石・石英・ 金雲母・シャモット少量)	[外]格子目タタキ [内]ナデ?	第1層			
258	258	2105	03-5	21	埴輪	円筒埴輪	不良	古墳中期	— —	[外]こぶい橙7.5YR7/3 [内]浅黄2.5Y7/4	やや粗(1mm以下の長石・石英・ 赤色斑粒多い)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1層			
259	259	2106	03-5	406	土師器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]こぶい黄橙10YR7/4 [内]こぶい黄橙10YR7/2	密(5mm以下の長石・3mm以下の石英・ 1mm以下の赤色粒)	[外]工具ナデ [内]観察雑	第1層			把手残存は90%
259	259	2107	03-5	444	土師器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]灰白2.5Y8/2 [内]灰白2.5Y8/2	密(3mm以下の長石・石英・ 赤色粒)	[外]ユビオサエ・ナデ [内] —	第1層			把手残存は95%
259	259	2108	03-5	456	韓式系土器	把手	不良	古墳中期	— —	[外]灰黄2.5Y7/2 [内]黄灰2.5Y6/1	密(4mm以下の長石・石英)	[外]観察雑・刺突痕(把手下部) [内]観察雑	第1層			把手残存は100%
259	259	2109	03-5	15	瓦	平瓦	不良	古墳中～後期	— —	[外]褐灰10YR5/1 [内]褐灰10YR5/1	やや粗(5mm大赤色礫微量・ 3.5mm以下の長石少量)	[外]観察雑 [内]観察雑	第1層			
-	319	3011	03-5 06-2	— 170 他	製塩土器	コップ形	不良	古墳中～後期	— —				第1b面	流路	01	総重量 1717g
-	319	3012	06-2	224 227	製塩土器	コップ形	不良	古墳中～後期	— —				第1b面	土坑	65	総重量 93g
-	319	3013	06-2	228	製塩土器	コップ形	不良	古墳中～後期	— —				第1b面	土坑	72	総重量 6g
-	320	3014	06-2	193 他	製塩土器	コップ形	不良	古墳中～後期	— —				第1b面	土坑	70	総重量 697g
-	320	3015	03-5 06-2	— 169 他	鉾津			古墳中～後期	— —				第1b面	流路	01	
-	320	3016	03-5	—	羽口		不良	古墳中～後期	— —				第1b面	流路	01	
-	213	3017	06-2	139	土師器	移動式甕	不良	古墳中～後期	— —				第1b面	流路	01	
-	320	3018	03-5	2209	羽口		不良	古墳中～後期	— —				第1-5層			
-	320	3019	03-5	2034	羽口		不良	古墳中～後期	— —				第1-3～ 第1-5層			

03木製品一覧表(1)

棟号 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査 名	トレ ンチ	遺構 名	名称	材の 形状	法量 ()は残存数値					最終の 使用形態	時期	樹種	備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	径 (cm)	高さ (cm)				
25	2	296	1881	03-5	6	建物 1-08	柱根		(30.8)			18		建物の柱	古代以 降?	コナラ属 コナラ亜属 コナラ節	
25	4	296	1897	03-5	6	建物 3-09	柱根		(39.4)			9.5		建物の柱	古代以 降?	コウヤマキ	
25	5	296	1880	03-5	6	建物 3-11	柱根		(42.8)			15		建物の柱	古代以 降?	スギまたは ヒノキ科	
25	6	296	1882	03-5	6	建物 3-13	柱根		(42.5)			10		建物の柱	古代以 降?	ヒノキ	
25	7	296	1407	03-5	7	建物 4-02	柱根	丸 節残る	(49.4)			5		建物の柱	古代以 降?	モミ属	
27	14	296	1929	03-5	6	井戸1	加工木杭 か		(13.5)	3.3	2.5			井戸に投棄	奈良時代	モミ属	
55	188	309	675	03-5	2	井戸4	井戸枠 (扉転用)		(67.9)	33.3 2.9軸	3.9 9.5門			井戸枠	古墳中～ 後期	ツブラジイ	
55	189	309	665 666	03-5	2	井戸4	井戸枠 (扉転用)		(66.9)	47.6	4.7			井戸枠	古墳中～ 後期	モミ属	
59	190	309	674	03-5	2	井戸4	井戸枠 (扉転用)		(70.3)	34 4.9軸	4.7			井戸枠	古墳中～ 後期	モミ属	
59	191	309	673	03-5	2	井戸4	井戸枠 (扉転用)		(70.9)	47.6 2.3軸	3.5			井戸枠	古墳中～ 後期	モミ属	
60	192	310	672	03-5	2	井戸4	井戸枠 (柱)		(88.6)	13.8	6.6			井戸枠	古墳中～ 後期	シャシャンボ	
60	193	310	668	03-5	2	井戸4	井戸枠 (柱)		(95.3)	7	6.5			井戸枠	古墳中～ 後期	ツブラジイ	
60	194	310	667	03-5	2	井戸4	井戸枠 (柱)		(74.3)	10.5	5.7			井戸枠	古墳中～ 後期	ツブラジイ	
60	195	310	671	03-5	2	井戸4	井戸枠 (柱)		(63.8)	12	8.5			井戸枠	古墳中～ 後期	スダジイ	
60	196	310	676	03-5	2	井戸4	井戸枠 (農具転 用?)		(31.9)	11.6	1.7			井戸枠	古墳中～ 後期	ヒノキ	
60	197	310	677	03-5	2	井戸4	井戸枠 (棒)		83.3	2.6	2.4			井戸枠	古墳中～ 後期	ヒノキ	
85	311	315	257	06-2	3	土坑48	木錘		16.1			8.6		土坑に投棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
112	486	297	1458	03-5	7	流路1	耳杯		(13.3)	(6.9)	1.1	(4.7)		流路に投棄	古墳中～ 後期	サクラ属	
112	487	298	1504	03-5	7	流路1	儀仗? (名称不 明)		(51.3)	2.2	1.4			流路に廃棄	古墳中～ 後期	ヒノキ	
112	488	299	1508	03-5	7	流路1	權?		(63.9)	9.4	1.4			流路に廃棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
112	489	297	1506	03-5	7	流路1	材	棒状・有軸	(29.9)	7	4.1			流路に廃棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
113	490	297	1504	03-5	7	流路1	経送具		(64.7)	5.5	1.8			流路に投棄	古墳中～ 後期	サカキ	
113	491	299	287	06-2	4	流路1	織具?		57.9			5.7		流路に廃棄	古墳中～ 後期	マキ属	
114	492	299	288	06-2	4	流路1	棒?		(70.7)	4.2	2.2			流路に廃棄	古墳中～ 後期	マキ属	
114	493	298	1507	03-5	7	流路1	棒?		(73.7)	3	4.6			流路に投棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
132	758	302	869	03-5	4	流路1	材	板状	(23.5)	4.8	0.5			流路に廃棄	古墳中～ 後期	ヒノキ	
132	759	31	904	03-5	4	流路1	把頭		(9.3)	5.6	3.4			流路に廃棄	古墳中～ 後期	クルミ科	
132	760	300	915	03-5	4	流路1	後輪		41.8	1.9	2.0	20.1		流路に廃棄	古墳中～ 後期	ヒノキ	
133	761	31	856	03-5	4	流路1	ナスビ形 鎌		(39.1)	11.7	1.3			流路に廃棄	古墳中～ 後期	アカガシ亜属	
133	762	31	905	03-5	4	流路1	背負子		27.8	4.6		5.6	12.7	流路に廃棄	古墳中～ 後期	ヒノキ	

03木製品一覧表(2)

挿入 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査 名	トレ ンチ	遺構 名	名称	材の 形状	法量 ()は残存数値					最終の 使用形態	時期	樹種	備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	径 (cm)	高さ (cm)				
133	763	31	886	03-5	4	流路2	材 (柱材?)	角	26.2	5.5	4.3		4.2	流路に廃棄	古墳中～ 後期	モミ属	
134	764	303	936	03-5	4	流路1	杭 (転用)		(98.1)	8	3.5			流路に投棄	古墳中～ 後期	モミ属	
134	765	303	884	03-5	4	流路1	建築部材 けなし?		(92.1)	13.2	3.1			流路に投棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
144	872	302	619	03-5	2	流路1	加工材	板	(41.3)	10.7	2.6			流路に廃棄	古墳中～ 後期	ヒノキ科	
200	1588	34	2331	03-5	10	杭列4	部材		(27.4)	4.5	6.1			流路に投棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
200	1589	34	2338	03-5	10	流路1	背負子		(36.05)	4.2	2.3		7.9	流路に廃棄	古墳中～ 後期	サカキ	
200	1590	305	168	06-2	3	流路1	アカトリ		(26.3)	6.6	1.6		6.4	流路に廃棄	古墳中～ 後期	ケヤキ	
200	1591	307	2402	03-5	10	流路1	きぬがさの 腕木		(19.5)				2.8	流路に投棄	古墳中～ 後期	マツ属 複雑管束亜 属	
200	1592	302	2286	03-5	10	流路1	(名称不 明)	棒状・有溝・ 塗布物	(14.5)				2.4	流路に投棄	古墳中～ 後期	イヌガヤ	
200	1593	302	44	06-2	2	流路1	(名称不 明)	棒状・有溝	(15.4)	2.6	(0.9)		1.4	流路に廃棄	古墳中～ 後期	カヤ	
201	1594	306	132	06-2	3	流路1	槽?		15.9	6.2			5.2	流路に廃棄	古墳中～ 後期	マツ属 複雑管束亜 属	
201	1595	306	2286	03-5	10	流路1	弓幹 (ゆがら)		(6.8)	1.5	0.8			流路に投棄	古墳中～ 後期	アジサイ属	
201	1596	307	370	03-5	1	溝12	三稜鐵		7.1	1.05	0.8			流路に投棄	古墳中～ 後期	モミ属	
201	1597	34	2335	03-5	10	流路1	舟形木製 品		(28.6)	5.9	4			流路に投棄	古墳中～ 後期	ヤナギ属	
201	1598	307	2283	03-5	10	流路1	輪鐙		(13.7)	5	3.1		(13.7)	流路に投棄	古墳中～ 後期	スダジイ	
201	1599	307	2401	03-5	10	流路1	輪鐙?		(3.5)		4		(7)	流路に投棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
201	1600	307	2401	03-5	10	流路1	輪鐙?		(5.8)	(3.3)	2.8		(2.8)	流路に投棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
202	161	305	162	06-2	3	流路1	ナスビ形 鋤		(21.25)	12.5	1.4			流路に廃棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
202	1602	305	132	06-2	3	流路1	鋤		(36.8)	(12.6)	1.5		(8)	流路に廃棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
202	1603	305	307	03-5	1	流路1	材		(36.1)	13.4	0.7			溝に廃棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
202	164	302	157	06-2	3	流路1	材	板状	(11.5)	7.1	1.1			流路に廃棄	古墳中～ 後期	コナラ属 アカガシ亜属	
202	1605	302	132	06-2	3	流路1	棒?		(28.2)	4.9	2.5			流路に廃棄	古墳中～ 後期	ツガ属	
203	1606	306	2321	03-5	10	杭列4	鉄斧の柄 (柄)		(83.2)	6.9	2.6			流路に廃棄	古墳中～ 後期	アカガシ亜属	
							鉄斧の柄 (頭)										
204	1607	308	2445	03-5	10	流路1	舷側板?	板材 ほぞ 穴 綴じ皮	(45.5)		3.0		16.6	流路に投棄	古墳中～ 後期	スギ	
204	1608	308	307	03-5	1	溝12	舷側板	板	(69.4)		3.4		21.1	溝に廃棄	古墳中～ 後期	ヒノキ	
204	1609	303	132	06-2	3	流路1	材		(77.5)	(8.1)	3.9			流路に廃棄	古墳中～ 後期	スギ	
205	1610	34	2458	03-5	10	杭列05	杭 (船材転 用?)		(80.6)	32.9	7.6			流路に打設	古墳中～ 後期	スギ	
206	1611	316	343	03-5	1	杭列02	杭 (転用)	大型の 丸木材	(102)	15		13.9		流路に打設	古墳中～ 後期	ヒノキ	
206	1612	316	344	03-5	1	第2b層	杭		151.6	12.6	10.4			流路に投棄	古墳中～ 後期	スギ	
206	1613	316	271	03-5	3	第2b層	建築材		(145.2)	6.6	2.2			古墳中～ 後期	スギ		

03木製品一覧表(3)

挿図 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査 名	トレ ンチ	遺構 名	名称	材の 形状	法量 ()は残存数値					最終の 使用形態	時期	樹種	備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	径 (cm)	高さ (cm)				
206	1614	316	132	06-2	3	流路1	天秤棒		(168.4)	5.4	3.5			流路に廃棄	古墳中～ 後期	スギ	
206	1615	316	1907	03-5	7	流路1	材		21.2	6.2	5.2			流路に投棄	古墳中～ 後期	ヒノキ科	
247	1996	313	2188	03-5	8	第3-2b 層	点け木		(17.2)	1.3	0.8			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ	
247	1997	313	2178	03-5	8	第3-2b 層	点け木		(16.6)	1.2	0.9			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ	
247	1998	317	2167	03-5	8	木材集 中1	(名称不 明)		(32.5)	(12.5)	0.8			自然木、杭な どと共に集中	弥生中期	ブナ科	
247	1999	314	2201	03-5	8	第3-3a 層	(名称不 明)	板状・有孔 (2ヶ所)	(26.5)	11.8	1.2			堆積層中から 出土	弥生中期	ツブラジイ	
247	2000	312	2199	03-5	8	第3-3a 層	(名称不 明)		(28.0)	(11.5)	3.6			堆積層中から 出土	弥生中期	クスノキ	
247	2001	317	2163	03-5	8	第3-3a 層	建築部 材?		(30.9)	8.3	1.5			堆積層中から 出土	弥生中期	コウヤマキ	
248	2002	314	2202	03-5	8	第3-3a 層	建築部材 か?	板状で端部 を削っており	(46)	7.5	2.4			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ	
248	2003	311	2184/ 2189	03-5	8	第3-3a 層	田下駄		25.9	22.2	3			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ	
248	2004	312	2175	03-5	8	第2-3 面	不明		15.5	48	1.4			堆積層中から 出土	弥生中期	コウヤマキ	
249	2005	313	1951	03-5	6	ビット 187	点け木		(17)	1.2	1.1			穴に投棄	弥生中期	ヒノキ科	先端が炭化
249	2006	313	1936	03-5	6	第3-2b 層	点け木		(13)	1.05	0.9			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ科	先端が炭化
249	2007	313	651	03-5	2	第3-3 層	つけ木		10.8	1.1	0.9			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ	先端が炭化
249	2008	313	1936	03-5	6	第3-2b 層	点け木		(12.6)	1.15	0.7			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ科	先端が炭化
249	2009	313	1936	03-5	6	第3-2b 層	(名称不 明)	棒状・有溝	(11.4)	1.6	0.7			堆積層中から 出土	弥生中期	ヒノキ科	
249	2010	314	656	03-5	2	第3-3 層	材	板状・炭化	(19.8)	11.7	2.6			堆積層中から 出土	弥生中期	スギ	
249	2011	311	1267	03-5	5	第3-2b 層	横槌		20.0			5.3 3.2持手		堆積層中から 出土	弥生中期	マツ属 複雑管束亜 属	
249	2012	311	1930	03-5	6	第3-2b 層	組合せ鋤		(28.15) (25.1)刃	17.9	2.1			堆積層中から 出土	弥生中期	コナラ属 アカガシ亜属	
249	2013	317	657	03-5	2	第3-3 層	材		(8.7)	2.9	2.1			堆積層中から 出土	弥生中期	クリ	
249	2014	314	1928	03-5	6	第3-2b 層	木庖丁		(8.95)	6.1	1.2			堆積層中から 出土	弥生中期	コナラ属 アカガシ亜属	
259	2113	315	377	03-5	2	第1層	(名称不 明)	薄い板状	(15.9)	(2.2)	0.2			堆積層中から 出土	古代以降 (中世?)	ヒノキ科	
259	2114	315	361	03-5	2	第1層	下駄		(23.3)	8.7 (10.2)歯	3		7.6	堆積層中から 出土	古代以降 (中世?)	センダン	
-	3003	318	362	03-5	2	第1層	曲物							堆積層中から 出土	古代以降 (中世?)	不明	
-	3004	318	253	06-2	3	土坑72	籠							土坑に投棄	古墳中～ 後期	不明	
-	3005	318	254	06-2	3	土坑72	籠							土坑に投棄	古墳中～ 後期	不明	
-	3006	318	844	03-5	4	流路1	組紐							流路に廃棄	古墳中～ 後期	不明	
-	3007	318	891	03-5	5	流路1	組紐							流路に廃棄	古墳中～ 後期	不明	
-	3008	318	545	03-5	2	流路1	皮紐							流路に廃棄	古墳中～ 後期	不明	
-	3009	318	160	06-2	3	流路1	皮紐							流路に廃棄	古墳中～ 後期	不明	
-	3010	318	1452	03-5	7	流路1	皮紐							流路に廃棄	古墳中～ 後期	不明	

04鉄製品一覧表

番号	押印番号	遺物番号	図版番号	調査名	トレンチ	登録番号	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	時期	備考
										長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)			
1	119	584	262	03-5	4	834	第1b面	流路1	鉄鏃	8.4	0.7	0.5	6.2	古墳時代中～後期	
2	135	781	261	03-5	4	721	第1層		鎌	(16)	(3.1)	(0.25)	21.4	古墳時代中～後期	
3	146	898	261	03-5	2	424	第1層		刀子?	(11.4)	1	(0.45)	9.6	古墳時代中～後期	
4	146	899	262	03-5	2	424	第1層		鉄鏃	9.4	0.7	0.4	7.1	古墳時代中～後期	
5	190	1540	262	03-5	10	2284	第1b面	流路1	釣針	7.6	2.4	0.3	2.1	古墳時代中～後期	
6	190	1541	263	03-5	10	2229	第1b面	流路1	鉾?	(11.6)	(1.4刃) 1.5袋	1.65袋	24.3	古墳時代中～後期	
7	190	1542	262	03-5	3	255	第1b面	流路1	鹿角装刀子	8.8	0.9	0.5	3.9	古墳時代中～後期	重量は柄も含めると11.8g
8	190	1543	263	06-2	3	174	第1b面	流路1	鉄剣	26.7	3.35	0.5刃	125.1	古墳時代中～後期	
9	190	1544	262	03-5	10	2289	第1b面	流路1	鉄鏃	7.6	1.2刃	0.3刃	9.5	古墳時代中～後期	
10	190	1545	262	06-2	3	171	第1b面	流路01	鉄鏃	(4.8)	0.65	0.4	2.6	古墳時代中～後期	
11	210	1668		03-5	3	180	第1層		鉄鏃	(5.3)	(1.2)	0.3	3.4	古墳時代中～後期	
12	254	2045	261	03-5	7	1328	第1-2層		鋤先	(6.4)	(10.5)	0.7	85.7	中世	
13	254	2046	261	03-5	5	1060	第1-2層		鎌	(14.5)	(1.8本体) (1.7刃)	0.2	14.8	中世	
14	257	2074	260	03-5	6	1552	第1-3層		馬鍬	(12.45)	1.5	1	83.3	中世	
15	257	2080	260	03-5	5	1241	第1層		馬鍬? 楔?	16.1	1.1	0.9	54.1	中世	
16	257	2081	260	03-5	5	1018	第1層～		釘?	14.5	1.2	0.6	35.4	中世	
17	259	2110	260	03-5	9	1970	第1-5層		雁又鏃	14	2.8	0.3	17.6	中世	
18	259	2111	260	03-5	4	681	第1層		馬鍬	19.9	2.4	1	245.6	中世	
19	259	2112	260	03-5	1	38	第1層		馬鍬	(19.2)	2	1.4	172.2	中世	

05石製品一覧表(1)

押印 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査名	ト レン チ	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	石質		備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		岩石名	備考	
20	1	276	1893	03-5	6	第1b面	建物3-01	砥石	(17.8)	(9.3)	(5.5)	650	砂岩		
38	38	290	1641	03-5	6	第0-5面	ピット77	投弾or リタッチャー	3.1	2.7	2.4	26.3	チャート		
38	39	269	1216	03-5	5	第1b面	ピット122	剥片	2.3	3.9	1.0	6.0	サヌカイト		
45	149	274	1489	03-5	6	第1-2層 ~第3層		砥石	(5.1)	(3.8)	(2.1)	50.2	流紋岩		
45	150	268	1094	03-5	5	第1-4層		石錐	4.2	0.9	0.7	1.9	サヌカイト		
69	214	284	549	03-5	2	第1b面	土坑56	敲石	12.5	5.7	4.5	524.6	砂岩		
72	265	265	494	03-5	2	第2a層		石柱	(7.8)	(2.8)	(1.7)	60.7	砂岩		
72	266	265	2037	03-5	8	第1-3層~ 第1-5層		双孔円板	2.0	1.9	0.25	1.8	蛇紋岩	滑石質	
74	284	271	397	03-5	2	第1層		剥片	5.5	4.6	1.3	27.6	サヌカイト		
74	285	265	441	03-5	2	第1層		双孔円板	2.7	3.1	0.35	5.3	蛇紋岩	滑石質	
76	297	270	1590	03-5	6	第0-5面	溝群1	剥片	4.8	4.4	2.0	27.1	サヌカイト		
93	376	278	249	06-2	3	第1b面	土坑64	砥石	(21.3)	(19.8)	(7.6)	4.1 (kg)	輝石安山岩	新第三紀	
93	377	264	480	03-5	2	第1b面	溝12	白玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
93	378	264	480	03-5	2	第1b面	溝12	白玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
93	379	264	221	03-5	10	第1b面	土坑70	白玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
93	380	265	2259	03-5	10	第1b面	溝15	有孔板	(2.6)	(2.5)	(0.3)	3.5	蛇紋岩	滑石質	
93	381	265	214	06-2	3	第1b面	土坑70	有孔板	2.2	1.5	0.5	2.9	蛇紋岩	滑石質	
93	382	265	213	06-2	3	第1b面	土坑70	石柱	(1.8)	(2.5)	(1.9)	7.2	砂岩		
93	383	281	258	06-2	3	第1b面	土坑66	敲石	14.3	11	5.4	1.2 (kg)	砂岩		
94	384	268	248	06-2	3	第1b面	土坑70	石鏃	2.0	1.5	0.3	0.7	サヌカイト		
94	385	268	230	06-2	3	第1b面	土坑70	楔形石器	4.3	2.2	0.95	11.5	無斑晶ガラス質 安山岩	サヌカイト	
94	386	269	247	06-2	3	第1b面	土坑70	剥片	3.4	2.2	0.5	3.9	サヌカイト		
97	414	272	469	03-5	2	第2a層		剥片	7.8	8.1	2.7	187.5	無斑晶ガラス質 安山岩	サヌカイト	
111	484	264	2154	03-5	7	第1b面	流路1	ガラス玉	0.4 (外径)	0.1 (内径)	0.25	0.06			青色
111	485	285	286	06-2	4	第1b面	流路1	敲石	9.9	6.7	3.6	336.5	砂岩		
131	753	288	908	03-5	4	第1b面	流路1	敲石or 磨石	11.3	8.4	2.2	272.9	砂岩		
131	754	279	962	03-5	4	第1b面	流路1	砥石or 台石	(6.6)	(10.1)	(6.0)	385.1	角閃石 花崗閃緑岩		
131	755	288	899	03-5	4	第1b面	流路1	磨石	10.8	7.8	3.2	308.5	砂岩		焼成痕あり
131	756	282	891	03-5	4	第1b面	流路1	敲石	15.6	8.9	5.1	1.0 (kg)	砂岩		
132	757	276	901	03-5	4	第1b面	流路1	砥石	(12.0)	(13.0)	(6.0)	1.1 (kg)	砂岩		
136	792	284	837	03-5	4	第1b面	流路1	磨石or 敲石	9.3	6.1	5.5	437.5	輝石安山岩		
136	793	274	794	03-5	4	第1b面	流路1	砥石	(7.2)	(2.7)	(3.2)	77.4	流紋岩		
144	873	288	579	03-5	2	第1b面	流路1	自然石	12.7	3.6	2.2	158.3	砂岩		
—	1245	195	198	06-2	3	第1b面	流路1	白玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
—	1309	201	48	06-2	3	第1b面	流路1	白玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
191	1546	264	316	03-5	1	第1b面	流路1	紡輪	5.3	5.3	1.2	44.9	蛇紋岩	滑石質	
191	1547	264	167	06-2	3	第1b面	流路1	紡輪	4.2(径)		1.3	25.3	蛇紋岩	滑石質	
191	1548	264	202	06-2	3	第1b面	流路1	子持勾玉	(3.0)	(2.7)	(1.7)	14.3	蛇紋岩	滑石質	
191	1549	265	171	06-2	3	第1b面	流路1	有孔板	2.3	2.7	0.4	5.0	蛇紋岩	滑石質	
191	1550	265	259	06-2	3	第1b面	流路1	有孔板	2.7	2.9	0.5	5.3	蛇紋岩	滑石質	

05石製品一覧表（2）

押印 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査名	レ ン チ	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	石質		備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		岩石名	備考	
191	1551	265	236	03-5	3	第1b面	流路1	有孔板	2.7	2.5	0.4	5.0	蛇紋岩	滑石質	
191	1552	265	2248	03-5	10	第1b面	流路1	模造品?	3.1	1.3	0.55	4.3	蛇紋岩	滑石質	
191	1553	264	349	03-5	3	第1b面	流路1	管玉	2.7	0.6(径)		1.8	蛇紋岩	滑石質	
191	1554	264	—	03-5	10	第1b面	流路1	管玉	2.6	0.6(径)		1.6	蛇紋岩	滑石質	土壌洗浄で検出
191	1555	264	2365	03-5	10	第1b面	流路1	管玉	2.2	0.4(径)		0.4	蛇紋岩	滑石質	
191	1556	264	—	03-5	10	第1b面	流路1	ガラス玉	0.4 (外径)	0.1 (内径)	0.4	0.1			青色 土壌洗浄で検出
191	1557	264	—	03-5	10	第1b面	流路1	白玉	別掲				流紋岩	赤玉質	赤色 土壌洗浄で検出
191	1558	274	140	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	(3.7)	(2.9)	(2.2)	32.5	流紋岩		
191	1559	274	157	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	(10.5)	(8.1)	(4.2)	359.8	流紋岩		
191	1560	274	2257	03-5	10	第1b面	流路1	砥石	(7.6)	(5.0)	(3.7)	154	砂岩		
192	1561	275	61	06-2	2	第1b面	落込み2	砥石	29.9	10.8	7.7	3.45 (kg)	流紋岩		
192	1562	289	156	06-2	3	第1b面	流路1	敲石	(6.2)	(4.2)	(1.8)	56.2	砂岩		
192	1563	278	188	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	18.3	14.5	5.8	432	砂岩		
193	1564	278	2313	03-5	10	第1b面	流路1	砥石	(17.6)	(14.5)	(13.3)	3.4 (kg)	ざくろ石黒雲母 流紋岩		
193	1565	278	188	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	(18.0)	(13.8)	(12.6)	3.3 (kg)	砂岩		
194	1566	277	2288	03-5	10	第1b面	流路1	砥石	(20.8)	(12.6)	(3.9)	1.8 (kg)	輝緑岩		スス?付着
194	1567	277	149	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	30.3	17.3	9.8	6.4 (kg)	頁岩		
195	1568	278	266	03-5	1	第1b面	流路1	砥石	(21.8)	(11.8)	(10.6)	3.5 (kg)	砂岩		スス?付着
195	1569	278	188	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	(22.0)	(27.9)	(9.9)	4.95 (kg)	ざくろ石黒雲母 流紋岩		
			2301	03-5	10										
196	1570	285	35	06-2	2	第1b面	流路1	砥石	(8.8)	(9.1)	(5.0)	432.6	砂岩		
196	1571	276	200	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	(6.8)	(6.4)	(4.7)	286.9	砂岩		
196	1572	285	161	06-2	3	第1b面	流路1	磨石	(11.3)	(7.8)	(7.0)	950	砂岩		
196	1573	286	153/ 155	06-2	3	第1b面	流路1	敲石	(7.1)	(8.7)	(5.7)	480.7	砂岩		
197	1574	289	143	06-2	3	第1b面	流路1	敲石or 磨石	5.9	4.7	2.4	93	砂岩		
197	1575	292	2286	03-5	10	第1b面	流路1	敲石or 磨石	5.2	3.8	2.1	56.7	砂岩		
197	1576	289	167	06-2	3	第1b面	流路1	敲石or 磨石	(3.3)	(2.7)	(2.0)	16.8	砂岩		
197	1577	289	129	06-2	3	第1b面	流路1	敲石or 磨石	8.1	2.6	1.9	62.4	黒雲母流紋岩		
197	1578	288	33	06-2	2	第1b面	流路1	敲石or 磨石	7.2	6.0	2.5	143.8	砂岩		
197	1579	286	153	06-2	3	第1b面	流路1	敲石or 石臼	(9.2)	9.2	6.2	565	砂岩		赤色顔料付着?
197	1580	283	157	06-2	3	第1b面	流路1	磨石	(17.8)	5.9	3.0	356.6	頁岩		
198	1581	282	2195	03-5	10	第1b面	流路1	磨石	12.8	10.6	5.1	1.5 (kg)	玄武岩 (緑色岩)		
198	1582	283	167	06-2	3	第1b面	流路1	凹石	(15.9)	(13.9)	(8.7)	3.3 (kg)	はんれい岩		
199	1583	281	167	06-2	3	第1b面	流路1	凹石	15.1	12.6	6.4	1.7 (kg)	砂岩		
199	1584	268	78	06-2	2	第1b面	流路1	石鏝	5.9	2.0	0.8	6.9	サヌカイト		
199	1585	269	167	06-2	3	第1b面	流路1	剥片	2.6	2.0	0.6	2.6	サヌカイト		
199	1586	271	219	06-2	3	第1b面	流路1	剥片	3.0	3.6	3.0	14.0	サヌカイト		
199	1587	272	123	06-2	3	第1b面	流路1	剥片	3.7	9.2	4.1	106.3	サヌカイト		
210	1667	274	29	06-2	2	第2a層		砥石	(6.2)	(6.0)	(2.7)	143.9	流紋岩		
216	1710	292	816	03-5	4	第1b面	流路2	自然石?	6.3	3.1	2.3	67.8	珪石		スス?付着

05石製品一覧表(3)

押印 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査名	ト レン チ	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	石質		備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		岩石名	備考	
216	1711	288	817	03-5	4	第1b面	流路2	敲石	12.0	6.8	7.7	570	砂岩		
216	1712	287	816	03-5	4	第1b面	流路2	敲石+砥石	12.8	7.8	3.0	435.3	砂岩		
216	1713	289	924	03-5	4	第1b面	流路2	磨石	(6.6)	(2.3)	(2.0)	28.9	砂岩		
216	1714	283	865	03-5	4	第1b面	流路2	磨石	20.7	8.0	4.3	1.1 (kg)	砂岩		
222	1736	286	655	03-5	2	第2b層		敲石	11.4	7.8	4.7	570	細粒黒雲母 トータル岩	円礫状	
222	1737	285	1235	03-5	5	第2b層		敲石	11.8	9.2	4.0	604	砂岩		
222	1738	269	97	06-2	2	第2-1面	流路4	剥片	2.0	2.0	0.3	0.7	サヌカイト		
227	1778	287	2373	03-5	10	第2-2b面	土坑77	敲石	11.6	7.2	2.7	246.3	砂岩		
232	1886	273	546	03-5	1	第3-2a層	(東側溝)	石庖丁	11.6	4.0	0.7	43.6	頁岩		
232	1887	273	648	03-5	2	第3-3a層		石庖丁	(5.4)	(3.5)	(0.6)	17.0	緑泥石片岩		
232	1888	265	116	06-2	3	第2a層以下	(南側溝)	石棒	(11.3)	(3.5)	(2.6)	105.2	頁岩		
232	1889	269	2371	03-5	10	第3-2a層		剥片	2.0	3.65	0.6	4.1	サヌカイト		
232	1890	271	2371	03-5	10	第3-2a層		剥片	4.6	4.6	1.9	34.2	サヌカイト		
233	1891	286	407	03-5	2	(第3-2a層 以下)	南側溝 (大畦畔)	敲石	(6.5)	(7.0)	(4.2)	270.8	脈石英	円礫状	
233	1892	286	2369	03-5	10	第3-2a層		砥石	(12.6)	(6.2)	(4.0)	323.5	砂岩		
233	1893	279	2452	03-5	10	第3-2a層		台石	(13.6)	(13.1)	(5.6)	1.5 (kg)	火山礫凝灰岩	high-Qz 含む	
239	1946	269	948	03-5	4	第3-1b層		剥片	1.8	1.9	0.3	0.7	頁岩		
239	1947	269	1263	03-5	5	第3-2層		剥片	2.8	2.8	0.7	2.8	サヌカイト		
239	1948	269	1269	03-5	5	第3-2層		剥片	1.3	3.8	0.65	2.5	サヌカイト		
239	1949	271	1940	03-5	6	第3-2層		剥片	3.0	3.4	1.0	8.2	サヌカイト		
239	1950	268	1927	03-5	6	第3-2層 シルト		石鏝	3.5	1.6	0.4	2.3	サヌカイト		
239	1951	270	1529	03-5	7	第3-2b層 (砂)		剥片	3.7	5.1	1.1	15.5	サヌカイト		
239	1952	290	1557	03-5	7	第3-2b層		投弾?	(2.2)	2.7	2.2	15.9	砂岩		
239	1953	290	1939	03-5	6	第3-2b層 (茶シルト)		投弾	5.3	3.8	3.1	80.4	チャート		
244	1976	273	1680	03-5	7	第3-3層		石庖丁	13.4	3.8	0.6	54.8	緑色片岩		
244	1977	273	1286	03-5	5	第3-3a層		石庖丁	(9.1)	(3.7)	(0.65)	30.2	頁岩		
244	1978	268	2169	03-5	8	第2-4面		石鏝	2.3	1.85	0.4	1.0	サヌカイト		
244	1979	268	1947	03-5	6	第3-3a層		石鏝	4.4	1.8	0.5	2.7	サヌカイト		
244	1980	269	2173	03-5	8	第3-3a層		剥片	4.5	1.6	1.1	6.2	サヌカイト		
244	1981	269	1946	03-5	6	第3-3a層		剥片	3.0	3.1	0.8	5.3	サヌカイト		
244	1982	271	1946	03-5	6	第3-3a層		剥片	3.6	4.3	0.9	10.5	サヌカイト		
244	1983	270	1253	03-5	5	第3-2層 以下		剥片	3.3	4.0	0.7	9.2	サヌカイト		
244	1984	270	14	06-2	2	10トレンチの 埋戻土		剥片	3.4	4.0	1.3	13.5	サヌカイト		
244	1985	268	1489	03-5	7	第1-2層 ~第3層		剥片	3.1	4.8	0.8	9.1	サヌカイト		
245	1986	290	1945	03-5	6	第3-3a層		投弾 リタツチャー	3.4	3.2	2.4	36.5	チャート		
245	1987	290	1947	03-5	6	第3-3a層		投弾	(4.5)	3.7	2.4	59.1	砂岩		
245	1988	290	1950	03-5	6	第3-3a層		投弾	5.1	4.1	3.5	96	チャート		
245	1989	290	2186	03-5	8	第3-3a層		投弾	3.6	2.7	2.7	38.3	チャート		
245	1990	290	2183	03-5	8	第3-3a層		投弾	5.4	3.7	2.9	73.6	チャート		
245	1991	290	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾 磨石	3.5	3.0	3.6	62.5	砂岩		

05石製品一覧表（4）

押込 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査名	レ ン チ	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	石質		備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		岩石名	備考	
246	1992	272	2190	03-5	8	第3-3a層		投弾 リタッチャー	5.9	4.3	2.0	78.1	砂岩		
246	1993	290	2190	03-5	8	第3-3a層		投弾 磨石	7.8	2.6	1.3	32.8	砂岩		
246	1994	290	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾 敲石	8.3	4.5	2.3	85.1	砂岩		
246	1995	272	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾 敲石	5.8	3.7	1.4	40.8	砂岩		
255	2052	274	1038	03-5	5	第1-2層		砥石	(4.3)	(4.9)	(2.8)	68.6	流紋岩		
255	2053	276	1051	03-5	5	第1-2層		砥石	(10.0)	(8.7)	(4.7)	602.9	砂岩		
255	2054	270	1056	03-5	5	第1-2層		剥片	3.8	4.1	0.8	7.6	サヌカイト		
255	2055	269	1056	03-5	5	第1-2層		剥片	3.1	4.1	0.5	4.0	サヌカイト		
260	2115	265	683	03-5	4	第1層		砥石	(11.9)	(4.1)	(1.2)	77.1	粘板岩		
260	2116	274	727	03-5	4	第1層		砥石	8.8	4.0	3.1	136.3	流紋岩		
	2117	264	2154	03-5	7	第1b面	流路1	臼玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
	2118	264	2154	03-5	7	第1b面	流路1	臼玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
	2119	264	2154	03-5	7	第1b面	流路1	臼玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
	2120	264	2154	03-5	7	第1b面	流路1	臼玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	
	2121	264	—	03-5	10	第1b面	流路1	不定形有孔板	0.9	0.8	0.3	0.3	蛇紋岩	滑石質	土壌洗浄で検出
	2122	264	—	03-5	10	第1b面	流路1	不定形有孔板	1.0	0.9	0.4	0.3	蛇紋岩	滑石質	土壌洗浄で検出
	2123	264	—	03-5	10	第1b面	流路1	不定形有孔板	0.7	0.6	0.3	0.2	蛇紋岩	滑石質	土壌洗浄で検出
	2124- 2523	266	—	03-5	10	第1b面	流路1	臼玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	土壌洗浄で検出
	2524- 2902	267	—	03-5	10	第1b面	流路1	臼玉	別掲				蛇紋岩	滑石質	土壌洗浄で検出
	2903	273	2162	03-5	8	第3-3a層		石庖丁	3.8	1.8	0.3	2.0	緑色片岩		
	2904	277	2444	03-5	10	第1b面	流路1	砥石	29	25	9.8	8.85 (kg)	頁岩		
	2905	278	261	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	25	19	9.0	8.8 (kg)	砂岩		
	2906	278	2361	03-5	10	第1b面	流路1	台石	21.0	15.5	10.3	6.45 (kg)	玄武岩 (緑色岩)		
	2907	279	161	06-2	3	第1b面	流路1	台石	15.1	10.4	2.9	552.3	珪化デイスサイト		
	2908	279	2459	03-5	10	第1b面	流路1	台石	21.0	8.2	6.3	1.3 (kg)	凝灰質砂岩		スス?付着
	2909	279	112	06-2	3	第2a層上面	重機掘削	砥石?	10.4	9.5	5.9	800.0	玄武岩 (緑色岩)		
	2910	279	2459	03-5	10	第1b面	流路1	台石	12.4	6.9	6.1	950.0	玄武岩 (緑色岩)		
	2911	280	177	06-2	3	第1b面	流路1	台石	6.1	5.7	5.8	330.0	黒雲母 花崗閃緑岩		
	2912	280	232	06-2	3	第1b面	土坑64	台石?	7.1	6.0	5.5	414.8	黒雲母 花崗閃緑岩		
	2913	280	129	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	12.8	7.0	5.4	571.7	珪長岩		
	2914	280	165	06-2	3	第1b面	流路1	台石	8.5	7.3	3.5	348.3	細粒黒雲母 花崗岩		
	2915	280	69	06-2	2	第1b面	流路1	台石	8.7	7.3	5.9	512.9	角閃石輝石 安山岩	新第三紀	
	2916	280	160	06-2	3	第1b面	流路1	台石	8.0	8.1	7.0	800.0	黒雲母花崗岩		
	2917	280	143	06-2	3	第1b面	流路1	台石	8.3	6.3	3.7	326.5	細粒黒雲母 花崗岩		X=-138960 ライン断割
	2918	280	153	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	5.0	4.4	5.4	249.3	砂岩		
	2919	289	44	06-2	2	第1b面	流路1	敲石	12.6	10.2	4.6	800.0	砂岩		
	2920	289	166	06-2	3	第1b面	流路1	敲石	7.1	5.1	5.3	271.8	砂岩		
	2921	289	160	06-2	3	第1b面	流路1	敲石	6.9	3.0	2.2	50.7	砂岩		
	2922	289	2287	03-5	10	第1b面	流路1	砥石	3.7	2.7	2.6	47.6	頁岩		
	2923	289	753	03-5	4	第1層		砥石?	8.9	4.3	2.3	152.2	チャート		

05石製品一覧表(5)

押込 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査名	ト レン チ	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	石質		備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		岩石名	備考	
2924	290	167	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	2.4	1.7	1.4	6.5	流紋岩質 凝灰岩			
2925	290	33	06-2	2	第1b面	流路1	自然石	3.3	2.5	1.5	15.5	流紋岩質凝灰岩 (石英斑岩様)	湖東 流紋岩類?		
2926	290	1773	03-5	6	第2a層		投弾	2.2	1.7	1.5	7.0	砂岩			
2927	290	1944	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.0	1.9	1.9	16.4	チャート			
2928	290	1773	03-5	6	第2a層		投弾	4.6	3.7	2.6	44.5	頁岩			
2929	290	1944	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.1	2.3	1.8	19.9	チャート			
2930	290	1945	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.8	3.2	2.6	40.5	チャート			
2931	290	1945	03-5	6	第3-3a層		投弾	4.0	2.3	2.6	38.2	チャート			
2932	290	1946	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.4	3.3	2.1	37.2	チャート			
2933	290	1948	03-5	6	第3-3a層		投弾	4.0	3.5	2.5	58.1	チャート			
2934	290	1950	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.7	2.5	2.2	25.9	チャート			
2935	290	1950	03-5	6	第3-3a層		投弾	4.6	3.0	2.4	56.9	チャート			
2936	290	1953	03-5	6	第3-3a層		投弾	4.2	2.9	2.7	58.3	チャート			
2937	290	1953	03-5	6	第3-3a層		投弾	4.0	3.1	2.5	50.1	チャート			
2938	290	1953	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.5	3.0	2.1	35.1	チャート			
2939	291	1953	03-5	6	第3-3a層		投弾	4.6	2.7	3.2	53.6	チャート			
2940	291	1954	03-5	6	第3-3a層		投弾	3.3	3.0	2.9	40.0	チャート			
2941	291	2186	03-5	8	第3-3a層		投弾	5.0	3.6	2.2	47.0	チャート			
2942	291	2190	03-5	8	第3-3a層		投弾	4.6	3.2	2.1	44.9	チャート			
2943	291	2190	03-5	8	第3-3a層		投弾	2.8	2.4	1.0	8.3	チャート			
2944	291	2190	03-5	8	第3-3a層		投弾	2.8	1.6	1.0	4.3	礫岩			
2945	291	2192	03-5	8	第3-3a層		投弾	3.9	2.7	2.1	31.0	チャート			
2946	291	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾	3.9	3.0	2.6	28.4	黒雲母 トータル岩			
2947	291	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾	3.2	2.8	2.6	43.1	チャート			
2948	291	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾	4.2	3.0	2.4	44.0	チャート			
2949	291	2193	03-5	8	第3-3a層		投弾	6.2	4.8	1.5	62.0	角閃石 花崗閃緑岩			
2950	291	2199	03-5	8	第3-3a層		投弾	4.1	2.7	2.2	36.8	チャート			
2951	291	2266	03-5	8	第3-3a層		投弾	6.7	4.4	3.5	125.8	黒雲母角閃石 花崗閃緑岩			
2952	291	2266	03-5	8	第3-3a層		投弾	3.6	2.2	2.2	25.6	チャート			
2953	291	2266	03-5	8	第3-3a層		投弾	4.8	2.5	2.4	45.3	チャート			
2954	291	74	06-2	2	第1b面	流路1	自然石	4.6	2.0	1.1	13.4	流紋岩質 溶結凝灰岩	古期		
2955	291	139	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	4.8	3.1	2.4	46.8	凝灰岩	古期		
2956	291	148	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	8.7	6.3	1.4	113.6	頁岩			
2957	291	167	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	4.6	2.5	1.1	13.3	チャート			
2958	291	190	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	1.8	1.1	0.7	1.8	チャート			
2959	291	190	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	2.6	1.1	1.0	3.6	チャート			
2960	291	190	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	2.0	1.3	0.9	3.7	脈石英			
2961	291	198	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	3.5	3.3	1.3	20.9	細粒黒雲母 花崗閃緑岩	珪長岩質		
2962	291	221	06-2	3	第1b面	土坑70	自然石	3.1	2.2	0.7	5.6	輝石安山岩	第四紀?		
2963	291	259	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	3.0	1.7	1.3	9.0	輝石安山岩	第四紀?		

05石製品一覧表(6)

押印 番号	遺物 番号	図版 番号	登録 番号	調査名	レ チ ン ト	面・層位	遺構名	名称	法量 ()は残存数値			重量 (g)	石質		備考
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		岩石名	備考	
	2964	291	220	06-2	3	第1b面		自然石?	3.0	2.0	1.6	9.0	輝石安山岩	第四紀?	
	2965	291	264	06-2	4	第2a層		自然石?	3.3	2.0	1.3	8.7	砂岩		
	2966	291	190	06-2	3	第1b面	流路1	剥片	4.1	3.4	1.4	17.2	頁岩	ホルンフェ ルス化	
	2967	291	157	06-2	3	第1b面	流路1	剥片	2.0	1.2	0.4	0.8	無斑晶ガラス質 安山岩		
	2968	291	167	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	1.9	1.5	1.0	4.1	酸化鉄塊		
	2969	292	155	06-2	3	第1b面	流路1	台石	3.5	3.2	1.3	15.4	流紋岩		
	2970	292	191	06-2	3	第1b面	流路1	砥石	4.6	4.0	1.5	45.8	流紋岩	high-Qz 含む	
	2971	292	33	06-2	2	第1b面	流路1	砥石	66.2	5.3	2.4	97.7	砂岩		
	2972	292	894	03-5	4	第1b面	流路1	自然石	70.2	5.0	3.7	262.3	砂岩		
	2973	292	920	03-5	4	第1b面	流路1	自然石	6.3	4.9	4.1	305.0	砂岩		
	2974	292	不明	03-5	6	—	—	自然石	7.9	6.5	4.6	226.3	細粒黒雲母 花崗岩		
	2975	292	2310	03-5	10		南側溝	自然石	9.1	8.9	8.5	900.0	細粒黒雲母 花崗閃緑岩	珪長岩質	焼成痕?
	2976	292	200	06-2	3	第1b面	流路1	台石	10.5	6.7	5.4	230.5	細粒ざくろ石 黒雲母花崗岩		
	2977	292	2007	03-5	8	第1-3層 ~第1-5層		自然石?	10.6	9.2	5.8	600.0	黒雲母花崗岩		
	2978	292	1929	03-5	6	第1b面	井戸1	自然石?	10.7	10.7	6.6	1.0 (kg)	砂岩		
	2979	293	1544	03-5	5	第1-3層		自然石	14.8	4.6	3.7	378.5	砂岩		
	2980	293	860	03-5	4	第1b面	流路1	自然石	15.2	7.2	3.2	514.5	石英片岩		
	2981	293	900	03-5	4	第1b面	流路1	自然石	17.5	10.5	3.8	900.0	砂岩		
	2982	293	2310	03-5	10		南側溝	自然石	17.4	9.4	6.7	1.6 (kg)	黒雲母 花崗閃緑岩		
	2983	293	2310	03-5	10		南側溝	自然石	16.0	8.0	7.9	1.35 (kg)	黒雲母 花崗閃緑岩		
	2984	293	2310	03-5	10		南側溝	自然石	20.0	9.5	7.3	1.65 (kg)	黒雲母 花崗閃緑岩		
	2985	294	161	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	7.5	4.1	2.1	77.6	砂岩		
	2986	294	200	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	6.5	4.6	3.8	203.1	砂岩		
	2987	294	262	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	10.3	8.8	5.0	750.0	凝灰岩	古期	
	2988	294	157	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	10.3	8.7	5.8	700.0	珪化頁岩		
	2989	294	74	06-2	2	第1b面	流路1	自然石	15	9.4	4.0	900.0	黒雲母角閃石 花崗閃緑岩		
	2990	294	167	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	13.3	9.3	8.2	1.8 (kg)	珪化流紋岩		
	2991	294	167	06-2	3	第1b面	流路1	自然石	17.0	6.3	6.3	800.0	頁岩		
	2992	295	2459	03-5	10	第1b面	流路1	自然石	16.5	14.3	8.4	2.85 (kg)	黒雲母 花崗閃緑岩		
	2993	295	2459	03-5	10	第1b面	流路1	自然石	11.1	8.4	8.4	1.2 (kg)	黒雲母 花崗岩	マサ土化	
	2994	295	2194	03-5	8	第3-3a層		自然石?	12.3	9.2	5.4	800.0	黒雲母花崗岩		
	2995	295	1929	03-5	6	第1b面	井戸1	石材?	23.5	20.0	7.6	3.6 (kg)	凝灰岩	緑色凝灰岩	
	2996		1044	03-5	5	第1-2層		砥石?	14.8	8.3	2.4	359.8			
	2997		1062	03-5	5	第1-2層		自然石	9.8	5.3	3.6	251.5			
	2998		1064	03-5	5	第1-2層		砥石?	8.1	5.4	4.2	392.6			
	2999		2373	03-5	10	第2-2b面	土坑77	自然石	16.5	7.8	6.9	1.4 (kg)			
	3000		2373	03-5	10	第2-2b面	土坑77	自然石	10.9	9.3	7.2	1.05 (kg)			
	3001		2315	03-5	10	第1b面	流路1	自然石	10.1	5.4	3.6	200.0			
	3002		2280	03-5	10	第3-3b層		砥石?	8.8	4.2	1.1	80.5			

06白玉一覽表(2)

白玉石号	造粒番号	内径による分類	流量(mm)				形状分類			土色計による色調	備考
			直径	孔径	最大厚	最小厚	側面形状	側面研削	端面形状		
201	2324	H	5.61	2.5	3.98	3.03	A	2	II	オリーブ灰 5GY5/1	
202	2325	H	5.85	2.0	3.08	2.30	B	3	II	暗緑灰 10GY4/1	製作途中?
203	2326	H	6.06	2.5	3.78	3.01	B	3	II	青灰 10BG5/1	
204	2327	H	5.77	3.0	3.39	1.57	B	3	II	青灰 5BG5/1	
205	2328	H	5.22	2.5	4.30	3.39	B	2	II	暗青灰 5BG3/1	
206	2329	H	5.83	2.5	4.61	3.17	A	2	II	青灰 10BG5/1	
207	2330	H	5.54	2.5	2.96	2.32	B	2	II	緑灰 5G5/1	
208	2331	H	5.75	2.5	3.84	3.14	B	1	I	緑灰 7.5GY5/1	
209	2332	H	5.82	3.0	3.63	2.43	B	3	II	暗青灰 5BG4/1	
210	2333	H	5.72	2.0	3.85	3.11	A	2	II	暗青灰 5BG4/1	
211	2334	H	5.44	2.0	4.42	2.09	B	2	II	暗緑灰 5G3/1	側面割れあり
212	2335	H	5.36	2.5	4.00	2.57	B	2	II	青灰 5BG5/1	
213	2336	H	5.76	2.0	3.55	2.85	B	2	II	暗緑灰 10G4/1	側面くぼみあり
214	2337	H	5.27	2.0	4.11	2.66	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	
215	2338	H	6.12	3.0	3.17	2.12	A	3	II	緑灰 10G5/1	
216	2339	H	5.66	3.0	3.56	1.93	B	3	II	青灰 10BG5/1	
217	2340	H	6.08	2.0	3.71	3.23	A	3	II	暗緑灰 10G4/1	側面くぼみあり
218	2341	H	6.92	2.5	3.30	2.71	A	2	II	青灰 5BG5/1	
219	2342	H	6.46	2.5	3.78	1.61	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	側面くぼみあり
220	2343	H	6.26	2.5	3.80	2.67	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	
221	2344	H	5.73	3.0	3.25	2.85	B	3	II	暗青灰 5BG4/1	
222	2345	H	6.05	2.5	3.59	3.15	A	2	II	青灰 5BG5/1	
223	2346	H	5.74	3.5	3.20	2.31	A	2	II	緑灰 10G5/1	
224	2347	H	5.65	2.0	3.66	3.00	B	3	II	暗オリーブ灰 2.5GY4/1	
225	2348	H	6.17	2.5	2.60	1.58	E	3	II	緑灰 10GY5/1	
226	2349	H	5.66	3.0	3.29	2.65	B	3	II	青灰 10BG5/1	
227	2350	H	6.41	2.0	3.34	2.04	B	3	II	青灰 5BG5/1	
228	2351	H	5.84	2.0	2.61	1.30	B	3	II	青灰 10BG5/1	
229	2352	H	6.36	3.0	3.55	2.94	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	
230	2353	H	6.05	2.5	3.33	1.98	B	3	II	暗緑灰 10G4/1	
231	2354	H	5.81	2.0	3.50	2.35	B	3	II	青灰 5BG5/1	
232	2355	H	5.18	2.0	3.41	2.50	B	3	II	暗青灰 10BG4/1	
233	2356	H	5.97	3.0	3.59	2.91	A	2	II	暗青灰 5BG4/1	側面くぼみあり
234	2357	H	5.31	2.0	3.32	2.90	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	
235	2358	H	5.66	3.5	3.14	1.96	B	2	II	暗緑灰 10G4/1	
236	2359	H	5.89	2.0	2.90	2.61	A	3	II	青灰 5BG5/1	
237	2360	H	5.50	2.5	3.33	2.59	B	2	II	青灰 10BG5/1	
238	2361	H	4.98	2.0	3.17	2.17	B	2	II	暗オリーブ灰 2.5GY4/1	
239	2362	H	6.02	2.5	4.00	3.65	B	2	II	青灰 5BG5/1	
240	2363	H	5.89	2.0	3.44	3.01	A	2	I	青灰 10BG5/1	
241	2364	H	5.38	3.0	2.51	1.72	B	3	II	緑灰 10G5/1	
242	2365	H	5.74	2.5	3.28	3.04	B	2	II	青灰 10BG5/1	
243	2366	H	5.94	2.5	3.40	2.03	B	3	II	緑灰 10G6/1	
244	2367	H	5.61	2.5	3.41	1.30	B	3	II	暗青灰 10BG4/1	
245	2368	H	6.15	2.0	3.23	2.88	E	3	I	青灰 10BG6/1	
246	2369	H	5.89	2.0	3.70	2.35	B	3	II	青灰 5BG6/1	
247	2370	H	5.59	2.0	4.11	2.56	E	3	II	青灰 10BG5/1	
248	2371	H	5.64	2.5	3.50	2.84	B	4	II	青灰 5BG5/1	側面くぼみあり
249	2372	H	6.20	2.5	4.73	3.60	A	2	II	緑灰 10G5/1	側面くぼみあり
250	2373	H	5.51	2.0	3.09	1.44	A	2	II	緑灰 10GY6/1	
251	2374	H	5.80	2.0	3.60	2.68	B	2	II	暗青灰 10BG4/1	
252	2375	H	5.57	2.0	3.00	2.70	B	3	II	緑灰 10GY6/1	
253	2376	H	5.97	3.0	4.64	3.07	A	3	II	青灰 10BG5/1	
254	2377	H	5.90	2.5	3.19	3.05	B	3	II	暗青灰 5BG4/1	
255	2378	H	5.23	2.0	3.49	2.52	B	2	II	暗青灰 10BG4/1	
256	2379	H	6.32	3.0	3.46	2.55	B	3	II	緑灰 10G5/1	製作途中?
257	2380	H	6.02	2.5	2.41	1.74	B	3	II	緑灰 10G5/1	
258	2381	H	5.53	2.5	3.36	2.85	B	4	I	緑灰 10GY6/1	
259	2382	H	5.34	2.5	2.64	1.04	B	3	II	暗青灰 10BG3/1	側面割れあり
260	2383	H	5.51	2.5	3.25	2.48	B	2	II	緑灰 5G5/1	
261	2384	H	5.80	2.5	3.01	2.65	A	2	I	青灰 5BG5/1	
262	2385	H	5.73	2.5	2.99	1.60	A	3	I	緑灰 10GY5/1	
263	2386	H	5.41	2.5	3.72	1.47	B	3	II	青灰 5BG5/1	
264	2387	H	5.36	2.0	2.79	1.99	B	3	II	暗青灰 10BG4/1	
265	2388	H	5.39	2.0	3.02	2.38	B	4	I	青灰 10BG5/1	
266	2389	H	5.32	2.5	3.21	2.11	B	2	II	青灰 5BG5/1	
267	2390	H	5.11	2.5	3.85	2.83	A	3	II	青灰 10BG5/1	
268	2391	H	5.56	2.5	3.31	2.64	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	
269	2392	H	5.58	2.0	2.85	2.09	A	2	II	緑灰 10GY5/1	側面くぼみあり
270	2393	H	5.54	2.0	3.04	1.95	B	3	II	暗青灰 5BG4/1	
271	2394	H	5.48	2.0	3.36	2.39	B	3	II	青灰 10BG5/1	
272	2395	H	5.38	2.0	3.27	1.69	B	2	II	暗青灰 10BG3/1	
273	2396	H	4.91	2.5	3.52	2.78	B	2	II	青灰 5BG5/1	
274	2397	H	5.54	2.5	3.10	2.37	B	2	II	青灰 5BG5/1	
275	2398	H	5.63	2.5	3.01	2.80	B	2	II	青灰 5BG5/1	
276	2399	H	4.81	2.5	3.18	2.24	B	4	II	緑灰 7.5GY5/1	
277	2400	H	5.84	3.0	3.28	2.65	A	3	II	暗緑灰 10GY4/1	
278	2401	H	5.90	2.0	3.17	2.27	B	2	II	緑灰 5G5/1	
279	2402	H	5.25	2.0	3.43	2.92	A	3	II	青灰 5BG5/1	
280	2403	H	4.80	2.0	2.81	2.62	E	3	I	緑灰 10G5/1	
281	2404	H	5.08	2.0	3.57	2.12	E	3	II	緑灰 10G5/1	
282	2405	H	5.10	2.5	3.81	2.90	B	3	II	暗青灰 5BG4/1	
283	2406	H	5.72	3.0	3.42	2.60	B	2	II	緑灰 5G5/1	側面くぼみあり
284	2407	H	5.59	2.5	2.87	2.54	B	4	I	青灰 10BG5/1	
285	2408	H	5.37	2.0	2.83	2.47	E	4	II	緑灰 5G5/1	製作途中?
286	2409	H	5.48	2.0	3.07	2.97	B	2	I	青灰 5BG5/1	
287	2410	H	5.27	2.5	2.68	2.27	B	2	I	青灰 10BG5/1	
288	2411	H	5.94	2.5	2.62	1.85	B	3	II	暗青灰 10BG4/1	
289	2412	H	4.97	2.0	3.26	2.75	E	3	I	緑灰 7.5GY5/1	側面くぼみあり
290	2413	H	5.76	2.5	3.36	2.87	A	3	II	緑灰 7.5GY5/1	
291	2414	H	5.14	2.5	3.49	2.70	A	2	II	緑灰 10G5/1	
292	2415	H	5.43	2.5	3.63	3.05	A	2	II	緑灰 7.5GY5/1	
293	2416	H	5.84	3.0	3.51	2.43	B	3	II	緑灰 10GY5/1	
294	2417	H	5.48	2.0	3.43	2.75	A	2	II	緑灰 10GY5/1	
295	2418	H	5.78	2.5	4.26	2.74	B	2	II	緑灰 10GY5/1	
296	2419	H	6.01	3.0	3.52	2.91	A	2	I	緑灰 10G5/1	側面くぼみあり
297	2420	H	5.30	3.0	4.17	2.57	B	4	II	暗オリーブ灰 5GY4/1	
298	2421	H	5.13	2.5	3.84	3.30	B	3	II	緑灰 10GY5/1	
299	2422	H	5.84	2.5	3.09	2.35	B	2	II	青灰 5BG5/1	
300	2423	H	5.63	2.5	3.67	3.24	A	3	II	緑灰 10G5/1	

06白玉一覽表 (4)

白玉石番号	造粒番号	内径による分類	流量(mm)			形状分類			土色計による色調	備考	
			直径	孔径	最大厚	最小厚	側面形状	側面研削			端面形状
601	2724	L	5.58	2.0	3.39	1.87	B	4	II	青灰 5BG5/1	
602	2725	L	5.56	2.0	3.70	2.38	B	3	II	灰オリーブ 7.5Y5/2	
603	2726	L	4.82	2.5	3.30	3.21	B	2	I	緑灰 10GY5/1	
604	2727	L	5.35	2.0	3.58	2.86	B	3	II	緑灰 7.5GY5/1	
605	2728	L	5.53	3.0	3.60	2.44	B	3	II	緑灰 7.5GY5/1	
606	2729	L	5.07	2.0	3.02	2.71	E	3	II	緑灰 10GY6/1	
607	2730	L	5.27	2.0	3.39	1.66	B	3	II	青灰 5BG5/1	
608	2731	L	5.24	2.0	3.65	2.43	B	3	II	青灰 5BG5/1	
609	2732	L	5.55	2.5	3.11	2.13	B	3	II	青灰 10BG5/1	
610	2733	L	5.14	2.5	3.81	3.16	B	3	II	オリーブ灰 10Y6/2	
611	2734	L	5.79	2.5	4.17	3.65	A	3	II	緑灰 10G5/1	側面くぼみあり、端面割れ加工?あり
612	2735	L	5.54	2.5	3.93	2.06	B	3	II	灰オリーブ 7.5Y5/3	
613	2736	L	6.37	2.5	3.61	2.81	B	3	II	オリーブ灰 5GY6/1	
614	2737	L	5.80	2.0	3.40	2.55	B	2	II	緑灰 10GY6/1	
615	2738	L	5.74	2.0	3.57	2.63	B	1	II	緑灰 7.5GY5/1	
616	2739	L	5.34	2.5	3.52	3.09	B	3	I	灰 10Y5/1	
617	2740	L	5.01	2.5	3.99	3.34	B	3	II	緑灰 10G5/1	
618	2741	L	5.81	2.5	3.05	1.45	B	3	II	緑灰 10G5/1	
619	2742	L	6.25	3.0	3.62	3.43	B	4	I	青灰 5BG6/1	
620	2743	L	6.20	2.0	3.45	2.67	B	2	II	青灰 5BG5/1	
621	2744	L	4.89	2.0	3.28	3.07	E	3	II	青灰 5BG5/1	
622	2745	L	5.57	2.0	3.43	2.82	B	3	II	青灰 5BG6/1	
623	2746	L	5.80	2.0	3.65	2.95	B	2	II	オリーブ灰 10Y5/2	
624	2747	L	5.49	2.0	2.76	2.39	B	3	I	緑灰 10GY6/1	側面くぼみあり
625	2748	L	5.48	2.5	4.30	3.20	A	3	II	緑灰 10GY6/1	
626	2749	L	5.25	2.0	3.18	2.76	A	4	II	緑灰 7.5GY5/1	
627	2750	L	5.55	2.0	3.62	2.77	A	2	II	緑灰 7.5GY6/1	
628	2751	L	5.67	2.5	3.84	2.44	A	2	II	緑灰 7.5GY6/1	側面ヒビあり
629	2752	L	6.04	2.5	3.68	2.62	B	2	II	暗青灰 5BG4/1	
630	2753	L	5.50	2.0	3.54	2.54	A	2	II	青灰 10BG5/1	
631	2754	L	5.12	2.0	3.35	2.86	B	3	II	緑灰 10GY5/1	端面加工あり
632	2755	L	5.83	2.0	4.43	2.97	B	3	II	暗緑灰 7.5GY4/1	
633	2756	L	5.50	2.5	3.49	2.62	B	3	II	青灰 10BG5/1	
634	2757	L	5.39	2.5	4.40	2.57	B	3	II	オリーブ灰 5GY6/1	
635	2758	L	5.50	2.0	3.49	2.34	B	3	II	緑灰 7.5GY6/1	
636	2759	L	5.78	2.0	3.39	2.16	B	3	II	青灰 10BG5/1	側面ヒビあり
637	2760	L	5.64	2.0	2.65	1.46	B	1	II	暗緑灰 10GY4/1	
638	2761	L	5.68	2.5	4.03	3.24	A	2	II	緑灰 7.5GY5/1	側面くぼみあり
639	2762	L	5.91	2.5	3.45	2.90	B	3	II	灰オリーブ 7.5Y5/3	
640	2763	L	5.26	2.0	2.94	2.50	E	3	II	暗青灰 10BG4/1	側面くぼみあり
641	2764	L	5.30	2.0	3.38	2.75	B	3	II	緑灰 5G6/1	
642	2765	L	5.73	2.5	3.07	1.93	B	3	II	暗オリーブ灰 5GY4/1	側面くぼみあり
643	2766	L	5.37	2.5	2.76	1.62	B	2	II	オリーブ灰 5GY5/1	
644	2767	L	6.03	2.5	3.24	1.51	B	3	II	緑灰 10GY5/1	
645	2768	L	5.41	2.0	2.96	2.67	B	2	II	緑灰 10GY5/1	
646	2769	L	5.47	2.5	3.48	2.85	A	3	II	青灰 5BG5/1	側面ヒビあり
647	2770	L	5.70	3.0	3.32	2.40	B	2	II	暗青灰 10BG4/1	
648	2771	L	5.66	2.0	3.62	2.72	B	2	II	オリーブ灰 10Y5/2	
649	2772	L	5.98	2.0	3.10	2.86	E	3	I	オリーブ灰 5GY5/1	
650	2773	L	5.41	2.5	3.50	2.30	B	2	II	青灰 5BG5/1	
651	2774	L	5.73	2.5	2.58	2.41	B	2	II	暗緑灰 10G4/1	
652	2775	L	5.60	2.5	2.82	2.30	B	3	II	緑灰 10G5/1	
653	2776	L	5.27	2.0	2.52	2.06	B	2	II	青灰 10BG5/1	
654	2777	M	4.97	2.0	2.21	1.56	B	2	I	灰オリーブ 7.5Y5/2	
655	2778	M	5.39	2.0	2.18	1.73	E	2	I	緑灰 7.5GY6/1	
656	2779	M	5.52	2.5	2.13	1.77	B	3	I	緑灰 10GY5/1	
657	2780	M	4.90	2.0	2.77	2.31	B	2	I	緑灰 7.5GY5/1	
658	2781	M	4.98	2.0	1.73	1.56	A	3	I	緑灰 7.5GY6/1	
659	2782	M	5.01	2.0	2.68	2.30	E	3	I	緑灰 7.5GY5/1	
660	2783	M	5.33	2.0	2.33	1.47	B	2	II	緑灰 7.5GY5/1	
661	2784	M	4.88	2.0	2.24	2.04	E	3	I	青灰 5BG6/1	
662	2785	M	5.72	2.0	2.48	1.93	B	3	II	暗青灰 10BG4/1	
663	2786	M	5.23	2.0	2.15	1.64	A	3	II	青灰 5BG6/1	
664	2787	M	5.71	3.0	1.77	1.48	A	4	I	緑灰 5G5/1	
665	2788	M	5.31	2.0	1.99	1.46	B	4	II	オリーブ灰 10Y5/2	
666	2789	M	4.81	2.0	2.49	2.12	B	4	I	オリーブ灰 5GY5/1	
667	2790	M	5.70	2.5	2.40	2.15	B	3	I	緑灰 10GY5/1	
668	2791	M	5.23	2.0	1.95	1.35	B	4	II	オリーブ灰 5GY5/1	
669	2792	M	5.92	2.0	2.10	1.44	B	3	II	緑灰 10GY6/1	
670	2793	M	5.35	2.5	2.93	1.99	B	2	II	緑灰 7.5GY5/1	
671	2794	M	5.95	2.5	1.96	1.89	B	3	I	緑灰 10GY5/1	
672	2795	N	5.50	2.0	2.02	1.60	B	2	II	緑灰 10GY5/1	
673	2796	N	5.64	2.0	2.52	2.03	B	4	II	緑灰 10G5/1	
674	2797	N	4.83	2.0	2.48	1.70	E	3	II	暗緑灰 10GY4/1	
675	2798	N	5.75	2.5	2.37	2.22	B	3	I	緑灰 10GY6/1	
676	2799	N	5.02	2.5	2.61	2.16	A	2	I	緑灰 10GY6/1	
677	2800	N	5.55	2.5	2.81	2.37	B	2	II	オリーブ灰 5GY6/1	
678	2801	N	5.28	2.0	2.72	2.60	B	2	II	緑灰 10GY5/1	
679	2802	N	5.60	2.0	1.97	1.11	B	2	II	青灰 10BG5/1	
680	2803	N	5.96	2.0	2.27	1.72	B	3	I	緑灰 7.5GY5/1	
681	2804	N	5.55	2.0	2.10	1.80	B	3	I	オリーブ灰 5GY6/1	
682	2805	N	5.93	2.5	3.00	1.49	B	3	II	暗緑灰 7.5GY4/1	
683	2806	N	5.91	2.5	2.22	1.97	A	2	I	オリーブ灰 5GY5/1	
684	2807	N	5.75	2.0	3.04	2.22	B	3	II	緑灰 7.5GY5/1	
685	2808	N	6.07	2.5	2.60	2.06	B	2	II	青灰 5BG5/1	
686	2809	N	5.77	2.5	2.55	2.11	B	2	II	オリーブ灰 10Y5/2	
687	2810	N	6.23	2.5	2.89	2.27	B	3	II	緑灰 10GY5/1	
688	2811	N	5.62	2.0	2.67	1.73	B	1	II	緑灰 7.5GY6/1	
689	2812	N	5.66	3.0	3.31	1.81	A	2	I	緑灰 10GY5/1	
690	2813	N	6.23	2.0	2.80	1.99	A	3	II	暗青灰 10BG4/1	
691	2814	N	5.67	2.0	2.66	1.35	B	4	II	緑灰 10G6/1	
692	2815	N	5.88	3.0	2.92	2.07	B	1	II	青灰 5BG5/1	
693	2816	N	6.02	3.0	2.35	1.88	B	3	II	暗オリーブ灰 5GY4/1	
694	2817	N	5.60	2.0	2.24	1.84	A	2	II	緑灰 10G5/1	
695	2818	N	5.84	2.0	2.21	1.69	B	3	II	青灰 5BG5/1	
696	2819	N	5.65	2.5	2.51	2.10	B	4	II	青灰 5BG6/1	
697	2820	N	6.02	2.0	2.29	1.09	B	4	II	暗緑灰 7.5GY4/1	
698	2821	N	5.66	2.0	3.42	2.23	B	2	II	緑灰 10GY5/1	
699	2822	N	5.76	2.0	2.10	1.70	A	2	I	緑灰 10GY5/1	
700	2823	N	5.84	2.0	2.88	1.81	B	2	II	暗緑灰 10GY4/1	

07動物遺存体一覧表（1）

試料番号	遺物番号	調査名	トレンチ	登録番号	地区	面・層位	出土遺構など (調査時名称)	種類	部位	部分	左右	備考
1	3020	03-5	7	1754		第1b面	流路1-1域	ウマ	尺骨+橈骨	近位	左	
2	3021	03-5	7	1754		第1b面	流路1-1域	哺乳類	不明	破片	-	
3	3022	03-5	7	1754		第1b面	流路1-1域	ウマ	遊離歯	下顎P2?	右	
4	3023	03-5	7	1755		第1b面	流路1-1域	ウマ	肩甲骨		左	
5	3024	03-5	7	1756		第1b面	流路1-1域	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	右	
6	3025	03-5	7	2154		第1b面	流路1-1域	ヒト	遊離歯	上顎切歯	-	
7	3026	03-5	7	2154		第1b面	流路1-1域	カニ	可動指/不可動指		-	
8	3027	03-5	7	1467	I6-15-11-5d	第1b面	流路1-1域	ウマ	遊離歯	切歯	-	
9	3028	03-5	4	873	I6-15-11-4g	第1b面	流路1-2域	ウマ	下顎骨		左右	
10	3029	03-5	4	874	I6-15-11-4g	第1b面	流路1-2域	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	右	
11	3030	03-5	4	874	I6-15-11-4g	第1b面	流路1-2域	ウマ	脛骨	遠位	右	
12	3031	03-5	4	875	I6-15-11-4g	第1b面	流路1-2域	ウマ	頭蓋骨?	上顎骨?	-	
13	3032	03-5	4	876	I6-15-11-6i	第1b面	流路1-2域	ウマ?	肩甲骨		-	
14	3033	03-5	4	867	I6-15-11-4g	第1b面	流路1-2域	哺乳類	不明		-	
15	3034	03-5	4	857	I6-15-11-4f	第1b面	流路1-2域	哺乳類	不明		-	
16	3035	03-5	4	866	I6-15-11-4f	第1b面	流路1-2域	ウマ	下顎骨	関節突起	-	
17	3036	03-5	4	869	I6-15-11-7i	第1b面	流路1-2域	哺乳類	不明		-	
18	3037	03-5	4	919	I6-15-11-5h	第1b面	流路1-2域(古)	ウマ	頭蓋骨	上顎骨・前上顎骨	右	
19	3038	03-5	4	911	I6-15-11-5g	第1b面	流路1-2域(古)	ウマ	下顎骨	P2P3	右	
20	3039	03-5	4	911	I6-15-11-5g	第1b面	流路1-2域(古)	ウマ	大腿骨	遠位端	右	
21	3040	03-5	4	911	I6-15-11-5g	第1b面	流路1-2域(古)	ウマ	中手骨	遠位	-	
22	3041	03-5	4	901	I6-15-11-5g	第1b面	流路1-2域(古)	哺乳類	不明		-	
23	3042	03-5	4	910	I6-15-11-4g	第1b面	流路1-2域(古)	ウマ	中手骨/中足骨?	骨幹部	-	
24	3043	03-5	4	914	I6-15-11-5h	第1b面	流路1-2域(古)	哺乳類	不明		-	
25	3044	03-5	2	628		第1b面	流路1-3域	ウマ	下顎骨		左	
26	3045	03-5	2	545	I6-15	第1b面	流路1-3域	ウシ/ウマ	四肢骨	破片	-	
27	3046	03-5	2	532		第1b面	流路1-3域	ウマ	遊離歯	下顎臼歯	-	
28	3047	03-5	2	532		第1b面	流路1-3域	ウマ	不明	不明	-	
29	3048	03-5	2	533		第1b面	流路1-3域	哺乳類	不明		-	
30	3049	03-5	2	552		第1b面	流路1-3域	ウシ/ウマ	四肢骨		-	
31	3050	03-5	2	557		第1b面	流路1-3域	ウシ/ウマ	中足骨	近位端	-	
32	3051	03-5	2	624		第1b面	流路1-3域	ヒト?	頭蓋骨	破片	-	
33	3052	03-5	10	2346	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	不明	不明	破片	-	
34	3053	03-5	10	2350	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	ウマ	頭蓋骨	上顎骨・前上顎骨	左	
35	3054	03-5	10	2352	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	不明	遊離歯?	臼歯?	-	
36	3055	03-5	10	2445	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	不明	不明		-	
37	3056	03-5	10	-		第1b面	流路1-4域	ウシ/ウマ	不明	破片	-	
38	3057	03-5	10	-		第1b面	流路1-4域	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	右	
39	3058	03-5	10	-		第1b面	流路1-4域	哺乳類	四肢骨?		-	
40	3059	03-5	1	303	I6-15-2J-4d	第1b面	流路1-4域	イヌ	脛骨	ほぼ完形	右	
41	3060	03-5	1	303	I6-15-2J-4d	第1b面	流路1-4域	イヌ	脛骨	近位部-骨幹部	右	
42	3061	03-5	1	303	I6-15-2J-4d	第1b面	流路1-4域	イヌ	脛骨	骨幹部-遠位端	右	
43	3062	03-5	3	269	I6-15-2J-8i	第1b面	流路1-4域	ウマ	上腕骨	骨幹部-遠位端	右	
44	3063	03-5	10	2254	I6-15-2J-4e	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	臼歯	-	
45	3064	03-5	10	2285	I6-15-2J	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
46	3065	03-5	10	2287	I6-15-2J	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
47	3066	03-5	10	2335	I6-15-2J-4e	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	臼歯	-	
48	3067	03-5	10	2337	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	ウマ	橈骨	近位	右	
49	3068	03-5	10	2349	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	不明	不明		-	
50	3069	03-5	10	2367	I6-15-2J-4e	第1b面	流路1-4域	ウマ	下顎骨		右	

07動物遺存体一覧表（2）

試料 番号	遺物 番号	調査 名	ト レン チ	登録 番号	地区	面・層位	出土遺構など (調査時名称)	種類	部位	部分	左右	備考
51	3070	03-5	10	2402	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
52	3071	03-5	10	2445	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	哺乳類	肋骨		-	
53	3072	03-5	10	2452	I6-15-2J-5e	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
54	3073	03-5	1	299	I6-15-2J	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
55	3074	03-5	1	303	I6-15-1I-4d	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	切歯	-	
56	3075	03-5	10	-		第1b面	流路1-4域	ウマ	下顎骨	下顎体	左	
57	3076	03-5	10	-		第1b面	流路1-4域	ウマ	下顎骨	下顎体	右	
58	3077	06-2	3	167	I6-15-2J-5f	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
59	3078	06-2	3	152	I6-15-2J-7i	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	上顎臼歯	-	
60	3079	06-2	3	153	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	ウマ	中足骨		左	
61	3080	06-2	3	153	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	ウマ	指骨	基節骨	左	
62	3081	06-2	3	164	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	ニホンジカ	枝角	分枝部直下	-	
63	3082	06-2	2	43	I6-15-2J-6f	第1b面	流路1-4域	ウマ?	遊離歯	-	-	
64	3083	06-2	3	161	I6-15-2J-7h	第1b面	流路1-4域	ウマ	上腕骨		-	
65	3084	06-2	3	160	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	ニホンジカ	枝角		-	
66	3085	06-2	3	160	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	ウシ	中手骨/中足骨?		-	
67	3086	06-2	3	160	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
68	3087	06-2	3	157	I6-15-2J-7h	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	上顎切歯	-	
69	3088	06-2	2	95	I6-15-2J-7f	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	臼歯	-	
70	3089	06-2	3	211	I6-15-2J-6g	第1b面	流路1-4域	哺乳類	不明		-	
71	3090	06-2	4	295	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	上顎P2	右	
72	3091	06-2	4	286	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	イノシシ	遊離歯	上顎M1/M2	-	
73	3092	06-2	3	199	I6-15-2J-5f	第1b面	流路1-4域	ウマ	下顎骨	下顎体	右	
74	3093	06-2	4	284	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	ウマ	頭蓋骨	上顎骨	左	
75	3094	06-2	4	285	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	ウマ?	四肢骨	骨幹部	-	
76	3095	06-2	4	285	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	上顎臼歯(P3?)	右	
77	3096	06-2	4	285	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	上顎臼歯(P4?)	右	
78	3097	06-2	4	285	I6-15-1I-6c	第1b面	流路1-4域	ウマ	遊離歯	上顎臼歯(M1?)	右	
79	3098	03-5	4	817	I6-15-1I-3g	第1b面	流路2	哺乳類	不明		-	
80	3099	03-5	4	828	I6-15-1I-2g	第1b面	流路2	ウマ	遊離歯	下顎臼歯	-	
81	3100	06-2	2	85		第1b面		ウマ	中手骨		左	
82	3101	03-5	5	1137	I6-16-20I-7/8d	第1-5層		ウシ?	遊離歯	臼歯	-	
83	3102	03-5	7	1398	I6-15-1I-4d	第1-5層		ウマ	遊離歯	上顎臼歯	左	
84	3103	03-5	9	1974	I6-15-1I-3j	第1-5層		ウマ	遊離歯	切歯?	-	
85	3104	03-5	1	1	I6-15-2J-8b	第1-5層		哺乳類	不明		-	
86	3105	03-5	1	36	I6-15-2J-7b	第1-5層		哺乳類	不明		-	
87	3106	03-5	2	393	I6-15-2J-8c	第1-5層		哺乳類	不明		-	
88	3107	03-5	4	702	I6-15-1I-6j	第1層		哺乳類	不明		-	
89	3108	03-5	4	692	I6-15-1J-6a/b	第1層		哺乳類	四肢骨	骨幹部	-	
90	3109	03-5	2	484	I6-15-2J-1a	第2a層		ウマ	橈骨	近位	左	
91	3110	03-5	4	822	I6-15-1I-5g	第2a層		ウマ	遊離歯	上顎臼歯	左	
92	3111	03-5	1	157	I6-15-2J-6d	第2a層		ウマ	遊離歯	下顎臼歯	左	
93	3112	03-5	1	193	I6-15-2J-4c	第2a層		哺乳類	不明		-	
94	3113	03-5	1	197	I6-15-2J-2c	第2a層		ウマ	踵骨		右	
95	3114	03-5	2	492	I6-15-1J-10a	第2a層		ウシ/ウマ	四肢骨		-	
96	3115	03-5	2	506	I6-15-1I-8j	第2a層		ウマ	遊離歯	上顎P2?	右	
97	3116	06-2	2	31	I6-15-2J-7e	第2a層		ウマ	中足骨		-	
98	3117	06-2	2	24	I6-15-2J-8g	第2a層		哺乳類	不明		-	

08植物遺存体一覧表(1)

試料 番号	遺物 番号	調査名	ト レン チ	登録 番号	面・層位	遺構名	種類	時期	備考
1	3118	03-5	1	299	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
2	3119	03-5	1	250	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	
3	3120	03-5	1	276	第1b面	流路1	モモ核3個、半分1個	古墳時代	
4	3121	03-5	1	309	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	
5	3122	03-5	1	320	第1b面	流路1	モモ核2個	古墳時代	
6	3123	03-5	1	9	第1層		オニバス?種子2個	古代~中世	
7	3124	03-5	2	523	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
8	3125	03-5	2	529	第1b面	流路1	モモ核2個	古墳時代	
9	3126	03-5	2	532	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
10	3127	03-5	2	533	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
11	3128	03-5	2	545	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
12	3129	03-5	2	557	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
13	3130	03-5	2	583	第1b面	流路1	モモ核片1個	古墳時代	
14	3131	03-5	2	577	第2b層		クルミ属核半分1個	弥生~古墳	
15	3132	03-5	2	376	第1層		モモ核1個	古代~中世	
16	3133	03-5	2	596	第2b層		モモ核1個	弥生~古墳	
17	3134	03-5	3	255	第1b面	流路1	モモ核8個、半分1個	古墳時代	
18	3135	03-5	2	426	第1層		モモ核1個	古代~中世	
19	3136	03-5	2	519	第2a層		モモ核1個	弥生~古代	
20	3137	03-5	4	894	第1b面	流路1	ヒョウタンの仲間果皮片2個	古墳時代	
21	3138	03-5	4	908	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
22	3139	03-5	4	815	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
23	3140	03-5	4	831	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
24	3141	03-5	4	845	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
25	3142	03-5	4	867	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	
26	3143	03-5	4	868	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
27	3144	03-5	4	924	第1b面	流路2	モモ核1個	古墳時代	
28	3145	03-5	4	820	第1b面	流路2	モモ核1個	古墳時代	
29	3146	03-5	4	692	第1層		モモ核1個	古代~中世	
30	3147	03-5	4	718	第1層		モモ核半分2個	古代~中世	
31	3148	03-5	4	746	第1層		モモ核1個	古代~中世	
32	3149	03-5	4	752	第1層		モモ核半分1個	古代~中世	
33	3150	03-5	4	798	第2a層		モモ核1個	弥生~古代	
34	3151	03-5	4	883	第2a層		モモ核1個	弥生~古代	
35	3152	03-5	4	963	第3-2b層		クルミ属核半分2個	弥生	
36	3153	03-5	5	1078	第1~3層		コナラ垂属 殻斗2個、堅果7個、アカガシ垂属 殻斗1個	弥生~古代	複数種あり
37	3154	03-5	5	1256	第3-2層		コナラ垂属 殻斗3個、幼果2個、堅果9個、アカガシ垂属 幼果1個、堅果10個、エゴノキ種子1個	弥生	複数種あり
38	3155	03-5	5		第2-3面	土坑82	ホタルイ属種子54個、カナムグラ種子3個、スゲ属種子3個	弥生	複数種あり
39	3156	03-5	5		第2-3面	土坑83	ホタルイ属種子18個	弥生	複数種あり
40	3157	03-5	5		第2-3面	土坑84	ホタルイ属180個、スゲ属種子6個、ブドウ属種子1個	弥生	複数種あり

08植物遺存体一覧表(2)

試料 番号	遺物 番号	調査名	レ ン チ	登録 番号	面・層位	遺構名	種類	時期	備考
41	3158	03-5	5		第2-3面	土坑85	ホタルイ属種子80個、スゲ属種子5個、カナムグラ種子2個、スミレ科種子2個、ナデシコ科種子1個、ヒョウタンの仲間種子1個	弥生	複数種あり
42	3159	03-5	5		第2-3面	土坑86	ホタルイ属種子50個、カナムグラ種子3個、スゲ属1個	弥生	複数種あり
43	3160	03-5	5		第2-3面	土坑87	ホタルイ属種子237個、スゲ属種子126個、タカサプロウ種子2個	弥生	複数種あり
44	3161	03-5	6	1916	第3-2b層		トチノキ種子1個	弥生	
45	3162	03-5	6	1941	第3-2層(シルト)		カヤ種子1個	弥生	
46	3163	03-5	7	1520	第3-2b層砂		ヤブツバキ果皮1個	弥生	
47	3164	03-5	7	1500	第1b面	土坑28	ヒョウタンの仲間種子156個	古墳時代	
48	3165	03-5	7	1906	第1b面	土坑28	ヒョウタンの仲間種子2263個	古墳時代	洗浄
49	3166	03-5	7	2154	第1b面	流路1	エゴノキ種子1個	古墳時代	
50	3167	03-5	7	1437	第1b面	流路1	モモ核半分2個	古墳時代	
51	3168	03-5	7	1452	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
52	3169	03-5	7	1457	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
53	3170	03-5	7	1466	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
54	3171	03-5	7	2154	第1b面	流路1	モモ核4個、半分3個	古墳時代	
55	3172	03-5	7	2154	第1b面	流路1	ヒョウタンの仲間種子4個	古墳時代	
56	3173	03-5	7	2154	第1b面	流路1	エゴノキ種子7個	古墳時代	
57	3174	03-5	7	2154	第1b面	流路1	スモモ核7個	古墳時代	
58	3175	03-5	7	1469	第1b面	流路1	サルノコシカケ類 子実体1個	古墳時代	
59	3176	03-5	10	2247	第1b面	流路1	モモ核2個	古墳時代	
60	3177	03-5	10	2248	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
61	3178	03-5	10	2274	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
62	3179	03-5	10	2277	第1b面	流路1	モモ核2個、半分1個	古墳時代	
63	3180	03-5	10	2285	第1b面	流路1	モモ核2個、半分2個	古墳時代	
64	3181	03-5	10	2286	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
65	3182	03-5	10	2287	第1b面	流路1	モモ核4個	古墳時代	
66	3183	03-5	10	2288	第1b面	流路1	モモ核2個、半分1個	古墳時代	
67	3184	03-5	10	2322	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	はり出し部盛土
68	3185	03-5	10	2336	第1b面	流路1	モモ核6個	古墳時代	はり出し部盛土
69	3186	03-5	10	2348	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	東側盛土
70	3187	03-5	10	2354	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
71	3188	03-5	10	2404	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	盛土断面5層
72	3189	03-5	10	2364	第1b面	流路1	モモ核4個	古墳時代	
73	3190	03-5	10	2316	第1b面	杭列5	モモ核1個	古墳時代	
74	3191	03-5	10	2443	第1b面	杭列7	モモ核2個、半分1個	古墳時代	
75	3192	03-5	10	2388	第2-2b面	ピット182	モモ核1個	弥生	
76	3193	03-5	10	2303	第1b面	ピット175	モモ核1個、半分1個	古墳時代	
77	3194	03-5	10	2318		南側溝	モモ核1個		
78	3195	03-5	10	2369	第3-2a層		モモ核1個	弥生	1流路の土含む
79	3196	03-5	10	2452	第3-2a層		モモ核1個	弥生	
80	3197	03-5	10	2288	第1b面	流路1	スモモ核1個	古墳時代	

08植物遺存体一覧表(3)

試料 番号	遺物 番号	調査名	ト レ ン チ	登録 番号	面・層位	遺構名	種類	時期	備考
81	3198	06-2	2	35	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
82	3199	06-2	2	56	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	
83	3200	06-2	2	43	第1b面	流路1	モモ核2個、半分1個	古墳時代	
84	3201	06-2	2	31	第2a層		モモ核半分2個	弥生～古代	
85	322	06-2	2	104	第2b層最下層		モモ核1個	弥生～古墳	
86	3203	06-2	3	166	第1b面	流路1	ヒョウタンの仲間種子1個	古墳時代	
87	3204	06-2	3	198	第1b面	流路1	ヒョウタンの仲間種子1個	古墳時代	完形の須恵器つまみ付坏蓋の中より出土
88	3205	06-2	3	200	第1b面	流路1	ヒョウタンの仲間種子1個	古墳時代	
89	3206	06-2	3	123	第1b面	流路1	モモ核1個、破片1個	古墳時代	断割
90	3207	06-2	3	259	第1b面	流路1	モモ核半分1個、破片1個	古墳時代	
91	3208	06-2	3	211	第1b面	流路1	モモ核5個、半分4個、破片1個	古墳時代	
92	3209	06-2	3	218	第1b面	流路1	モモ核6個、半分1個	古墳時代	
93	3210	06-2	3	235	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
94	3211	06-2	3	171	第1b面	流路1	モモ核破片1個	古墳時代	底部欠損小型壺より出土
95	3212	06-2	3	179	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
96	3213	06-2	3	180	第1b面	流路1	モモ核破片1個	古墳時代	
97	3214	06-2	3	187	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	
98	3215	06-2	3	198	第1b面	流路1	モモ核破片2個	古墳時代	完形の須恵器つまみ付坏蓋の中より出土
99	3216	06-2	3	200	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
100	3217	06-2	3	177	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	定形の須恵器坏身の中より出土
101	3218	06-2	3	178	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
102	3219	06-2	3	189	第1b面	流路1	モモ核4個	古墳時代	
103	3220	06-2	3	190	第1b面	流路1	モモ核2個、半分1個	古墳時代	
104	3221	06-2	3	145	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	
105	3222	06-2	3	150	第1b面	流路1	モモ核破片1個	古墳時代	
106	3223	06-2	3	152	第1b面	流路1	モモ核5個	古墳時代	
107	3224	06-2	3	153	第1b面	流路1	モモ核2個、半分2個、破片2個	古墳時代	
108	3225	06-2	3	154	第1b面	流路1	モモ核6個、破片5個	古墳時代	
109	3226	06-2	3	155	第1b面	流路1	モモ核4個、破片2個	古墳時代	
110	3227	06-2	3	156	第1b面	流路1	モモ核半分1個	古墳時代	
111	3228	06-2	3	157	第1b面	流路1	モモ核1個、半分1個	古墳時代	
112	3229	06-2	3	160	第1b面	流路1	モモ核4個、半分6個	古墳時代	
113	3230	06-2	3	161	第1b面	流路1	モモ核2個	古墳時代	土師壺の中より出土
114	3231	06-2	3	164	第1b面	流路1	モモ核5個、半分1個	古墳時代	
115	3232	06-2	3	167	第1b面	流路1	モモ核16個、半分3個	古墳時代	
116	3233	06-2	3	169	第1b面	流路1	モモ核14個、半分5個	古墳時代	
117	3234	06-2	3	170	第1b面	流路1	モモ核3個、半分2個	古墳時代	
118	3235	06-2	3	249	第1b面	土坑64	モモ核1個	古墳時代	
119	3236	06-2	3	210	第1b面	土坑65	モモ核1個、半分2個	古墳時代	
120	3237	06-2	3	217	第1b面	土坑65	モモ核半分2個	古墳時代	

08植物遺存体一覧表（4）

試料 番号	遺物 番号	調査名	ト レン チ	登録 番号	面・層位	遺構名	種類	時期	備考
121	3238	06-2	3	247	第1b面	土坑70	モモ核1個	古墳時代	
122	3239	06-2	3	206	第1b面	土坑70	モモ核3個	古墳時代	
123	3240	06-2	3	205	第1b面	土坑70	モモ核7個、半分2個	古墳時代	
124	3241	06-2	3	214	第1b面	土坑70	モモ核4個、半分1個	古墳時代	
125	3242	06-2	3	221	第1b面	土坑70	モモ核1個	古墳時代	
126	3243	06-2	3	229	第1b面	土坑70	モモ核1個、半分4個	古墳時代	
127	3244	06-2	3	204	第1b面	土坑70	モモ核17個、破片3個	古墳時代	
128	3245	06-2	3	213	第1b面	土坑70	モモ核4個、半分2個	古墳時代	
129	3246	06-2	3	239	第1b面	土坑70	モモ核3個、破片2個	古墳時代	
130	3247	06-2	3	246	第1b面	土坑70	モモ核6個、破片2個	古墳時代	
131	3248	06-2	3	228	第1b面	土坑72	モモ核27個、破片1個	古墳時代	
132	3249	06-2	3	245	第1b面	土坑72	モモ核8個、半分1個	古墳時代	
133	3250	06-2	3	254	第1b面	土坑72	モモ核1個	古墳時代	
134	3251	06-2	3	196	第1b面	(清掃時)	モモ核半分1個	古墳時代	
135	3252	06-2	3	143	X=-138960ライ ン断割り	流路1	モモ核1個	古墳時代	
136	3253	06-2	3	138	第1b面	流路1	モモ核2個	古墳時代	
137	3254	06-2	3	220	第1b面	(清掃時)	モモ核4個、半分1個	古墳時代	
138	3255	06-2	3	144	第1b面	流路1	スモモ核1個	古墳時代	
139	3256	06-2	3	153	第1b面	流路1	スモモ核1個	古墳時代	
140	3257	06-2	3	154	第1b面	流路1	スモモ核1個	古墳時代	
141	3258	06-2	3	160	第1b面	流路1	スモモ核2個	古墳時代	
142	3259	06-2	3	259	第1b面	流路1	スモモ核2個	古墳時代	
143	3260	06-2	3	211	第1b面	流路1	スモモ核1個	古墳時代	
144	3261	06-2	3	198	第1b面	流路1	ウリ科種子2個	古墳時代	
145	3262	06-2	3	228	第1b面	土坑72	スモモ核2個	古墳時代	
146	3263	06-2	3	204	第1b面	土坑70	スモモ核2個、半分1個	古墳時代	
147	3264	06-2	3	210	第1b面	土坑65	モモ核破片1個	古墳時代	
148	3265	06-2	3	227	第1b面	土坑65	ヒョウタンの仲間果皮片4個	古墳時代	
149	3266	06-2	4	286	第1b面	流路1	モモ核1個	古墳時代	

報告書抄録

ふりかな	さらぐんじょうりいせき 9							
書名	讃良郡条里遺跡 IX							
副書名	一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	(財)大阪府文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第188集							
編著者名	森本 徹(編集) 市来真澄 辻本裕也 辻 康男 高橋 敦 丸山真史 中野 咲							
編集機関	財団法人 大阪府文化財センター							
所在地	〒590-0105 大阪府堺市南区竹城台3丁21番4号							
発行年月日	2009年3月31日							
ふりかな 所収遺跡名	ふりかな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
さらぐんじょうり 讃良郡条里	ねやがわしんげ2ちょうめ 寝屋川市新家2丁目	27215	36	34 44 39	135 37 49	20030417- 20051031 20060830- 20070221	16125 1500	道路建設 道路建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
讃良郡条里	生産	古代末 ～近世	溝・畦畔・島畑		土師器・瓦器・須恵器 瓦質土器・黒色土器 緑釉陶器・埴輪・石製品			
	集落	奈良	掘立柱建物・溝・ピット 井戸・土坑 土器埋納遺構		土師器・須恵器		微高地上の小規模な 居住域	
	集落	古墳中期 ～後期	掘立柱建物・溝・ピット 井戸・土坑・流路 土器埋納遺構 杭列(堰・土橋)		須恵器・土師器・石製品 韓式系土器・鉄製品 滑石製玉類・ガラス玉 木製品・動物遺体		微高地上の小規模な 居住域 流路からの多量の 遺物の出土	
	集落・生産	弥生中期	流路・溝・水田・ピット 杭列(堰)		弥生土器・石器・木製品		重層する水田域 居住域の縁辺	
要約	讃良郡条里	<p>弥生時代には4面の遺構面があり、それぞれに堆積層の上面に水田を造成し、耕作域とした。水田造成前の一時期に微高地縁辺の居住域として利用された可能性がある。</p> <p>古墳時代中期～後期にかけては、弥生時代の堆積層により形成された微高地上に小規模な居住域が形成された。掘立柱建物と井戸から構成され、井戸には倉庫扉を転用したものがある。低地部分に流れる流路には多量の遺物が投棄される。流路出土木製品には農工具類のほか、後輪、鏝といった馬具があり、ウマ遺体の出土とも調和的である。鉄製品には短剣、長頸鏃、釣針などがあり、良好な遺存状態を保つ。土馬とともに、滑石製白玉、ガラス小玉が散布された状態が推定された。韓式系土器の出土があり、渡来人とのかかわりが推測された。準構造船の部材も出土し、船や流通にかかわる性格が想起される。</p> <p>奈良時代にも小規模な居住域が営まれるが、その後、条里型地割りによる開発がなされる。</p> <p>古代～中世にかけては条里型地割りに基づく低湿な耕作域として利用されるが、近世の洪水砂により、島畑を中心とする景観に変貌する。</p>						

(財)大阪府文化財センター調査報告書 第188集

讃良郡条里遺跡 IX

— 本 文 編 —

一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成21年3月31日

編集・発行／財団法人 大阪府文化財センター
〒590-0105 堺市南区竹城台3丁目21番4号
TEL 072-299-8791

印刷／株式会社 中島弘文堂印刷所
〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目6番8号
TEL 06-6976-8761